標 準 構 造 図 集

（ 土 木 一 般 工 事 ）

神 戸 市 土 木 技 術 管 理 委 員 会

令 和 ８年 ４ 月

取り扱い上の注意事項

１．目的

「標準構造図集（土木一般工事）（以下「構造図集」という）」は、本市が事業を実施する構造物の標準化・規格化を図り、土木工事の設計・積算・施工等における業務の簡素化及びコスト縮減を図るために定めたものである。

２．取り扱い

（１）「構造図集」は、本市の発注機関、設計業務等委託の受託者、並びに本市発注の工事の請負人において、予め備え付けておくものとし、その取り扱いは次の各項によるものとする。

（２）「構造図集」に掲載された土木構造物を設計・積算に採用したときは、その名称・記号等を設計図書に記入するものとし、必要に応じ「構造図集」の図面を設計図書に添付する。

（３）「構造図集」に掲載された土木構造物と「構造図集」に掲載されていない他の土木構造物との相互関係を明確にさせる必要があるとき、及びその必要と認めるときは、図面を設計図書に添付するものとする。

（４）「構造図集」に掲載されたコンクリート二次製品の寸法については、標準的なものを示したものであり、特定の製品を指定するものではない。

また、「構造図集」に掲載されていないコンクリート二次製品の施工承諾願いを請負人が提出した場合は、監督員が形状・規格・必要な強度等を確認し、認めたときに限り使用できるものとする。

３．注意事項

各々の土木構造物について、設計上の注意事項及び施工上の注意事項を記載しているので、熟読の上、誤りのないように使用すること。

４．その他

（１）法令又は設計基準の改訂等により、「構造図集」を改訂した際は本市ホームページにて公開する。

（２）受託者又は請負人が本市発注の設計業務委託又は工事に着手するときは、必ず本市ホームページ等にて改訂等について確認すること。

（標準構造図集の説明）

擁　壁　工

１．小型重力式コンクリート擁壁、重力式コンクリート擁壁の使用上の注意事項

①小型重力式コンクリート擁壁は、擁壁高さが 2.0m以下で載過重ｑ＝10KN／㎡の影響を受けない歩道に面した場所、のり尻擁壁及び境界擁壁等に利用し、それ以外は重力式擁壁を利用する。

②裏込土の種類

C_1	礫、礫質土、砂
C_2	砂質土
C_3	シルト、粘性土

小型重力式コンクリート擁壁は、対象裏込め土がC_1、C_2の場合のみであるので、裏込土がC_3の場合は重力式コンクリート擁壁を用いる。

③設計上地盤の許容支持力は、q_a＝200KN／㎡、滑動摩擦係数μ＝0.6,0.5としている。

（参考）支持地盤の種類と許容支持力度（常時値）（道路土工指針）

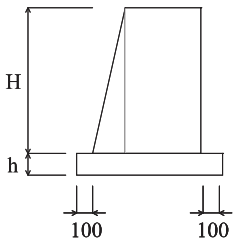
支持地盤の種類		許容支持力度 q_a (kN/㎡(tf/㎡))	備　考 q_a (kN/㎡(kgf/㎡))	備　考 N値
岩盤	亀裂の少ない均一な硬岩	1000(100)	10000以上（100以上）	－
	亀裂の多い硬岩	600(60)	10000以上（100以上）	－
	軟岩・土丹	300(30)	1000以上（10以上）	－
礫層	密なもの	600(60)	－	－
	密でないもの	300(30)	－	－
砂質地盤	密なもの	300(30)	－	30～50
	中位なもの	200(20)	－	20～30
粘性土地盤	非常に堅いもの	200(20)	(200～400)2.0～4.0	15～30
	堅いもの	100(10)	(100～200)1.0～2.0	10～15

（参考）基礎底面と地盤との間の摩擦係数と付着力（道路土工指針）

せん断面の条件	支持地盤の種類	摩擦係数μ＝tanϕ_B	付着力C_B
岩または礫とコンクリート	岩　盤	0.7	考慮しない
	礫　層	0.6	考慮しない
土と基礎のコンクリートの間に割り栗石または砕石を敷く場合	砂質土	0.6	考慮しない
	粘性土	0.5	考慮しない

③基礎部分の設計

施工箇所の条件	材　質	厚さｈ
普通（下記以外）の場合	再生砕石 ０～４㎝	２０㎝
水田等に近接して、基礎が透水層となる恐れがある場合	コンクリート σck＝18N/mm²	１０㎝
土質が岩の場合	なし	－



２．ブロック積（石積）擁壁

①分類
Ｒ（Ａ）－盛土部、あるいは盛土部と同等と判断できる切土部に使用する。
Ｒ（Ｃ）－切土部で地山がよく締っている場合に使用する。

②裏込土の種類

U_1	良好な場合	礫　質　土
U_2	普通の場合	砂　質　土
U_3	よくない場合	粘　性　土

③基礎部分の設計
図中の基礎部分を円で囲みⒶ・Ⓑの付号をつけてあるのは、基礎のタイプを示し、その使用区分は次表による。

タイプ	施工箇所の条件	材質
Ⓐ	土層の場合	再生砕石　０～４㎝
Ⓑ	水田等に近接して基礎が透水層となる恐れがある場合	コンクリート σck＝18N/mm²

注）基礎地盤が岩の場合、ブロック積（石積）擁壁を岩着とし、基礎工は無しとする。

交通安全施設工

１．防護柵設置工（ガードレール、ガードパイプ）［P5-1-3,4］

a. Ｂ種、Ｃ種の使用区分は、防護柵設置要綱による。

b. 土中埋込式は、所定の埋込長が得られ、十分な反力のとれる箇所に使用する。

c. 構造物設置用の場合、設置する構造物の耐力を十分に照査すること

d. 歩車道境界用ガードパイプ（Ｇｐ種）は、車両進入防止を目的とするものであり、
乱横断防止には使用しない。

e. 穿孔基礎はコンクリート擁壁天端等に直埋するときに適用する。

２．防護柵設置工（乱横断防止柵）［P5-1-5、6］

a. 本型式は、乱横断防止目的のため、歩車道境界歩道上に設置する。

３．防護柵設置工（転落防止柵）［P5-1-7］

a. 本型式はいずれも歩行者、自転車の道路外への転落を防止する目的である。
原則として、N0.４を標準とする。

４．警戒、規制標識設置工［P5-2-1］

a. 標識版の倍率に対する基礎寸法は図示の組合せとする。

５．道路反射鏡（カーブミラー）設置工［P5-2-2～5-2-7］

a. 反射鏡姿図は、P5-2-2～P5-2-7 まで図示の通りで、本製品同等以上とする。

b. 異種製品については、承認図で確認する。

６．道路反射鏡基礎構造図［P5-2-8］

a. 基礎はＡ、Ｂ、Ｃ、Ｄ型の４種とし、鏡種によって使用区分を図面表示のとおりと
する。

９．視線誘導標（デリネーター）設置工［P5-2-9、10］

a. 視線誘導標設置基準による（昭和５９年４月）

排　水　工

1．排水工の分類について

1－1　工種の分類

(1)　U型側溝工
(2)　L型側溝工
(3)　街渠工
(4)　管渠工
(5)　桝　工
(6)　U型側溝
(7)　L型側溝
(8)　円型側溝
(9)　箱型側溝
(10) 門型側溝

「コンクリート二次製品標準図集（案）」（側溝･水路）

※工種の使い分け、運用方法については、「土木工事標準積算基準書参考資料－第１編－第３章８．コンクリート二次製品（側溝・水路）の使用について」を参照のこと。

1－2　各構造物の区分

○　○　○									○				○		( )
名　称		形　状		品　質		交通量区分			地形･掘削の形		基礎・補強ｺﾝｸﾘｰﾄ		荷重ﾀｲﾌﾟ		寸法
U型側溝	U	蓋掛なし	A	現場打ちｺﾝｸﾘｰﾄ	G	N_1～N_5（LAB）	L		平面	1	UPの場合		車道用	R	
L型側溝	L	蓋掛あり	B	ﾋｭｰﾑ管	H	N_6（C）	C		宅地側斜	2	補強ｺﾝｸﾘｰﾄなし	1	歩道用	—	
街渠	G	横断蓋付	D	透水管	T	N_7（D）	D		宅地側直	3	補強ｺﾝｸﾘｰﾄあり	2			
管渠	P			ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ製品	P										
桝	M	Mの場合		鋼製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ	K				PTの場合		PHの場合				
		街渠	G						傾斜据	1	90°基礎	1			
		会所	K						垂直据	2	180°基礎	2			
		集水	S								360°基礎	4			
		雨水	U												

2．使用材料について

2－1　コンクリート２次製品の使用材料は、コンクリートσck=24N/㎟、鉄筋SD295を標準とし、現場打ちコンクリートの使用材料は、鉄筋部コンクリートσck=24N/㎟、無筋部コンクリートσck=18N/㎟、鉄筋SD345を標準とする。

3．標準構造図集の運用方法について

3－1　構造図右肩のNo.○○は、構造図番号を示す。
3－2　No.欄の左、S○○○○は施工単価コードを示す。
3－3　図中の基礎部分を円で囲み、A，B，Cの符号がつけてあるのは、基礎のタイプを示し、その使用区分は表－1による。

表－1

タイプ	施工箇所の条件、土質等による区分	材質・その他
A	普通（下記以外の場合）	再生砕石　0～40㎜
B	水田等に近接しており、基礎が透水層となる恐れがある場合	ｺﾝｸﾘｰﾄσck=18-8-20
C	土質が軟岩以上で堅固な場合	基礎なし

3－4　寸法は原則としてcmで表示してあるが、特別なもの（鉄蓋等）については㎜表示をしている。
3－5　寸法表中の□で囲んである項は変数であり､設計者が決定する寸法及び記号であるが、H以外の□は、寸法表に記載されているものから選ぶこと。
3－6　寸法表に記入してある数値は、通常考えられる一般的な例を示したものであり、右欄の数量はこの寸法に基づいて計算した各材料の数量である。
3－7　設計及び積算にあたって、この表示例に示してある寸法どおりの構造物を使用する場合は、寸法表左端の「○印施工」欄の該当する行に丸を記入するとともに、使用する基礎タイプによる寸法表の数字及び数量表中の数字を○で囲み施工者に示すこと。
3－8　記載例以外の寸法の構造物を施工する際は、寸法表下の空白欄の「○印施工」欄に○印を記入し、寸法及び数量を記入して使用する。
3－9　□欄の変数に伴って変化する寸法の数値は、図中の表を参照すること。
3－10　右下の図番欄は、設計書に添付する図面の一連番号を記入する。

4．各構造物の解説

4－1　No.01，No.03，No.05　（ＵＡ－（1，2，3））

蓋を架設する必要のない歩道に使用する。

4－2　No.02，No.04，No.06　（ＵＡ－（1，2，3）－Ｒ）

一般車両（T－25）の載荷を受ける恐れのある路側に使用する。

4－3　No.08，No.10，No.12　（ＵＢ－（1，2，3）－Ｒ）

一般車両（T－25）の載荷を受ける恐れのある路側に使用する。図番No.100のRCﾌﾟﾚｷｬｽﾄ床版（t=11～13cm）を架設することができる。また、図番No.101のRC現場打床版も使用可能。（床版は別途計上）

4－4　No.07，No.09，No.11　（ＵＢ－（1，2，3））

施工時においては蓋を架設する必要はないが、将来、蓋の架設が必要と思われる歩道に設置する。

図番No.100のRCﾌﾟﾚｷｬｽﾄ床版（t=10cm）を架設することができる。また、図番No.101のRC現場打床版も使用可能。（床版は別途計上）

4－5　No.13，No.14，No.15　（UB－（K_1，K_2，k_3）（H）－R）

路面排水を目的とする構造物であり、一般車両（T－25）の載荷を受ける恐れのある路側に使用する。鋼製グレーチング蓋（UBG型,UBGH型）架設共となっているので、設計図には参考として、No.115,116を添付する。

4－6　No.16　（ＵＤ－Ｋ（Ｈ）－Ｒ）

路面排水の目的で設置する道路横断集水溝で、鋼製グレーチング蓋架設共となっている。原則として、蓋は道路面に勾配がある場合は、高い側に蝶番がくるように設置し、路面が水平の場合は、車両進行方向の手前側に蝶番がくるように設置する。鋼製グレーチング蓋（KO型,KOH型）架設共となっているので、設計図には参考として、No.108,110を添付する。

4－7　No.18，No.19　（ＵＰ$_1$－（1，3））

輪荷重の影響を受けない箇所に設置する鉄筋コンクリートU型（JIS A 5372）側溝である。

4－8　No.20，No.21　（ＵＰ$_2$－（1，3））

片側に輪荷重の影響を受ける箇所に設置する鉄筋コンクリートU型（JIS A 5372）側溝である。

4－9　No.30　（Ｕ－1，Ｕ－2）「コンクリート二次製品標準図集（案）」（側溝・水路）

路面排水を目的とするコンクリート二次製品側溝であり、活荷重は一般車両（T－25）に対応している。U－1は蓋を設置する必要のない箇所に使用し、U－2は併記されているRCﾌﾟﾚｷｬｽﾄ床版またはグレーチング蓋を架設することができる。

またU－1にNo.55のＬ型側溝を蓋版として設置し、ＬＵ側溝として使用することができる

4－10　No.35　（門－1，門－2）「コンクリート二次製品標準図集（案）」（側溝・水路）

側溝の深さが一定でない箇所での路面排水を目的とするコンクリート二次製品側溝であり、活荷重は一般車両（T－25）に対応している。門－1は部材長２m、門－２は部材長1.5mである。蓋版は併記されているRCﾌﾟﾚｷｬｽﾄ床版またはグレーチング蓋を架設することができる。

4－11　No.36　（門留－1，門留－2）「コンクリート二次製品標準図集（案）」（側溝・水路）

側溝の深さが一定でなく、かつ道路擁壁と側溝を兼用する必要のある箇所での路面排水を目的とするコンクリート二次製品側溝であり、活荷重は一般車両（T－25）に対応している。門留－1は部材長２m、門留－２は部材長1.5mである。

蓋版は併記されているRCﾌﾟﾚｷｬｽﾄ床版またはグレーチング蓋を架設することができる。

4－12　No.37　（箱－1，箱－2）「コンクリート二次製品標準図集（案）」（側溝・水路）

路面排水を目的とするコンクリート二次製品側溝であり、主に歩車道分離されていない道路で車道部に含まれる場合に使用する。活荷重は一般車両（T－25）に対応している。箱－1は蓋を設置する必要のない箇所に使用し、箱－２は併記されているRCﾌﾟﾚｷｬｽﾄ床版またはグレーチング蓋を架設することができる。

4－13　No.40　（円－1，円－2）「コンクリート二次製品標準図集（案）」（側溝・水路）

歩車道境界に設置する排水管付のプレキャスト二次製品街渠で、活荷重は一般車両（T－25）に対応している。皿溝部分の幅は50cmに統一されているが、管の径は、30cm，40cm，50cm，60cmの４種類の中から選択する。

数量表の基礎の欄には、管渠部分の基礎タイプをＡ，Ｂ，Ｃから選択して付記し、当該基礎ごとの数量を記入している。管渠部分の基礎タイプがＢ又はＣであっても、街渠部分の基礎に砕石基礎が必要な場合もあるので、施工する基礎タイプの記号該当欄の数量を○で囲むこと。

円－1は一般部、円－２は桝部に使用し、蓋版は併記されているRCﾌﾟﾚｷｬｽﾄ床版またはグレーチング蓋を架設することができる。

4－14　No.50，No.51　（ＬＡ－（1，2））

擁壁又は石積擁壁等に接して、設置する（道路側にのみ）側壁のある道路側溝で、蓋は架設できない。

4－15　No.55-1,2　（ＰＧ＊－（1，2））「コンクリート二次製品標準図集（案）」（側溝・水路）

路面排水を目的とするコンクリート二次製品側溝であり、活荷重は一般車両（T－25）に対応している。またNo.３０のU型側溝と組み合わせて設置し、ＬＵ側溝としても使用することができる。

4－16　No.61　（ＮＧ－　）

歩車道境界に設置する耐重車両用の街渠工で、見切りに境界ブロック（縁石）を使用している。皿溝部分の幅Bは50cm１種類のみで、雨水は集水桝（ＭＳ－　）を所要間隔で設置し、他の排水路へ導く必要がある。

4－17　No.62　（ＮＧＣ－Ｇ$_1$）

園路の見切り及び耐軽車両用の街渠で、見切り部も現場打コンクリートとなっている。皿溝部分の幅Bは、25cm，30cm，40cm，50cmの４種類となっている。

4－18　No.70～No.75　（ＮＧＰ－　　）

歩車道境界に設置する排水管付の街渠工で、皿溝部分の幅は50cmに統一されているが、管の径は、30cm，35cm，40cm，45cm，50cm，60cmの6種類の中から選択する。

数量表の基礎の欄には、管渠部分の基礎タイプをＡ，Ｂ，Ｃから選択して付記し、当該基礎ごとの数量を記入している。管渠部分の基礎タイプがＢ又はＣであっても、街渠部分の基礎に砕石基礎が必要な場合もあるので、施工する基礎タイプの記号該当欄の数量を○で囲むこと。

4－19　No.80，No.81，No.82　（ＰＨ－（1，2，4））

基礎コンクリートの形状によって3種類に分類してある。

No.80（ＰＨ　1）　⇒　90°基礎

No.81（ＰＨ　2）　⇒　180°基礎

No.82（ＰＨ　4）　⇒　360°基礎

基礎の選定にあたっては、P. 11-1～3による。（T－25対応）

4－20　No.83，No.84　（鉄筋コンクリート台付管）

管断面の内側の形状が円形または扇形であり、管断面の外側の下部もしくは上下部の一部分がフラットになっている管で、普通車両の載荷を受ける恐れのある箇所に、排水管として使用できる暗渠である。（T－25対応）

4－21　No.85，No.86　（ＰＴ－（1，2））

地下水及び浸透水を集水するための透水管渠工に使用するもので、No.85は土質にあわせて傾斜掘り、No.86は直掘りとする。透水管はポラコン・バイコンと同等品以上とし、フィルター材は洗砂とする。

4－22　No.90～No.95　（ＭＧＰ－　　）

排水管付街渠（ＮＧＰ－　　）No.70～No.75と併用する桝で、路面排水の集水用途管渠の掃除用を兼ねており、他の排水管との合流のための必要箇所を除き、桝の設置間隔は統一注意事項に記載している溝蓋設置間隔を基準とする。桝の内寸法は30×60cmで、鋼製グレーチング蓋（KG型，KGH型）架設共となっている。桝蓋は車道側に蝶番がくるように設置する。

4－23　No.96（ＭＳ－　　）

境界ブロック（縁石）使用の街渠（ＮＧ－　　）No.61の集水のために設置する集水桝であり、この桝から他の幹線排水路へφ20～30cmの管渠工で排水を導く必要がある。桝の設置間隔は統一注意事項に記載している溝蓋設置間隔を基準とする。桝の内寸法は30×60cmで、鋼製グレーチング蓋（KG型，KGH型）架設共となっている。桝蓋は車道側に蝶番がくるように設置する。

4－24　No.97（ＭＫＵ（Ｈ）－　　）

管渠工（ＰＨ－　　）No.80～No.82を連続して設置する時の掃除用及び他の排水工との合流会所用として設ける桝で、管径が30cm～50ｃｍで4種類あり、内寸法は，延長方向に50cmで鋼製グレーチング蓋（KM型，KMH型）架設共となっているので、路面排水の集水も兼ねることができる。

4－25　No.98（ＭＫＰ（Ｈ）－　　）

管渠工（ＰＨ－　　）No.80～No.82を連続して設置する時の掃除用及び他の排水工との合流会所用として設ける桝で、管径が30cm～60ｃｍで6種類あり、内寸法は，延長方向に50cmで鋼製グレーチング蓋（KM型，KMH型）架設共となっているので、路面排水の集水も兼ねることができる。管径に対する桝の内幅及び適合する蓋のタイプは表－2のとおりとする。

表－2

管　径 (cm)	桝の内幅 (cm)	適合する蓋 (○cm用)	桝内面の管の形状
３０	３０	３０	半　円
３５	３０	３０	馬蹄形
４０	４０	４０	半　円
４５	４０	４０	馬蹄形
５０	５０	５０	半　円
６０	５０	５０	馬蹄形

4－26　No.99（ＭＵ（雨水桝工））

歩道のある幹線道路で、地先境界に排水溝の無い場合、民地内から雨水（雨樋からのもの）を集約して排水路に導くために歩道内に設置する。

4－27　No.100（RCプレキャスト床版）

U型側溝工（UB－（1，2，3）、UB－（1，2，3）－R）に架設できるRCプレキャスト床版である。

RCプレキャスト床版（No.100）のうち、B＝500の車道用については、主鉄筋を1本追加する。

（T－25対応）

4－28　No.101（RC現場打床版）

左図は、U型側溝工（UB－（1，2，3）－R）用床版である。

右図は、U型側溝工（UB－（1，2，3））用床版である。

4－29　No.102-1,2（鉄蓋1枚1組）

官民境界に設置された側溝の掃除のために設ける鋼製の揚蓋工で、内幅Ｂ30cm，40cm，50cmの3種類、蓋厚ｔ　9㎜，12㎜の2種類であり、施工単価は架設手間共となっている。

4－30　No.103-1,2,No.104（鉄蓋2枚1組、鉄蓋3枚1組）

雨水渠の人孔用に設ける鋼製の蓋揚工で、内寸法は2枚1組で60cm×70cm、3枚1組で60cm×110cmとなっており、厚さｔは、12㎜，16㎜，19㎜の3種類で、施工単価は架設手間共となっている。

４－31　No.105（鋼製グレーチング蓋（現場打街渠桝用）T-25 粗目 スリットなし（KG 型）

路面水の集水を目的とする現場打街渠桝に用いる粗目の鋼製グレーチング蓋で、施工単価として架設手間も含んでいるので、蓋架設工として単独で使用することができる。桝蓋は車道側に蝶番がくるように設置する。

４－32　No.106（鋼製グレーチング蓋（現場打街渠桝用）T-25 細目 スリットなし（KGH 型）

路面水の集水を目的とする現場打街渠桝に用いる細目の鋼製グレーチング蓋で、施工単価として架設手間も含んでいるので、蓋架設工として単独で使用することができる。桝蓋は車道側に蝶番がくるように設置する。

４－33　No.107（鋼製グレーチング蓋（桝用）T-25 粗目（KM 型）

路面排水を目的とする桝に用いる粗目の鋼製グレーチング蓋で、施工単価として架設手間も含んでいるので、蓋架設工として単独で使用することができる。内幅は 30cm，40cm，50cm の３種類がある。桝蓋は道路面に勾配がある場合は、高い側に蝶番がくるように設置し、路面が水平の場合は、車両進行方向の手前側に蝶番がくるように設置する。

４－34　No.108（鋼製グレーチング蓋（横断側溝用）T-25 粗目（KO 型）

路面排水を目的とする横断側溝用に用いる粗目の鋼製グレーチング蓋で、施工単価として架設手間も含んでいるので、蓋架設工として単独で使用することができる。内幅は 30cm，40cm，50cm の３種類がある。桝蓋は道路面に勾配がある場合は、高い側に蝶番がくるように設置し、路面が水平の場合は、車両進行方向の手前側に蝶番がくるように設置する。

４－35　No.109（鋼製グレーチング蓋（桝用）T-25 細目（KMH 型）

路面排水を目的とする桝に用いる細目の鋼製グレーチング蓋で、施工単価として架設手間も含んでいるので、蓋架設工として単独で使用することができる。内幅は 30cm，40cm，50cm の３種類がある。桝蓋は道路面に勾配がある場合は、高い側に蝶番がくるように設置し、路面が水平の場合は、車両進行方向の手前側に蝶番がくるように設置する。

４－36　No.110（鋼製グレーチング蓋（横断側溝用）T-25 細目（KOH 型）

路面排水を目的とする横断側溝用に用いる細目の鋼製グレーチング蓋で、施工単価として架設手間も含んでいるので、蓋架設工として単独で使用することができる。内幅は 30cm，40cm，50cm の３種類がある。桝蓋は道路面に勾配がある場合は、高い側に蝶番がくるように設置し、路面が水平の場合は、車両進行方向の手前側に蝶番がくるように設置する。

４－37　No.111（鋼製グレーチング蓋（桝用）T-25 細目 歩道乗入部（KMHH 型）

路面排水を目的とする歩道乗入部の桝に用いる細目の鋼製グレーチング蓋で、施工単価として架設手間も含んでいるので、蓋架設工として単独で使用することができる。内幅は 30cm，40cm，50cm の３種類がある。桝蓋は道路面に勾配がある場合は、高い側に蝶番がくるように設置し、路面が水平の場合は、車両進行方向の手前側に蝶番がくるように設置する。

４－38　No.112（鋼製グレーチング蓋（横断側溝用）T-25 細目 歩道乗入部（KOHH 型）

路面排水を目的とする歩道乗入部の横断側溝用に用いる細目の鋼製グレーチング蓋で、施工単価として架設手間も含んでいるので、蓋架設工として単独で使用することができる。内幅は 30cm，40cm，50cm の３種類がある。桝蓋は道路面に勾配がある場合は、高い側に蝶番がくるように設置し、路面が水平の場合は、車両進行方向の手前側に蝶番がくるように設置する。

４－39　No.113（鋼製グレーチング蓋（桝用）T-2 細目 歩道一般部（KMHH2 型）

路面排水を目的とする歩道一般部の桝に用いる細目の鋼製グレーチング蓋で、施工単価として架設手間も含んでいるので、蓋架設工として単独で使用することができる。内幅は 30cm，40cm，50cm の３種類がある。桝蓋は道路面に勾配がある場合は、高い側に蝶番がくるように設置し、路面が水平の場合は、車両進行方向の手前側に蝶番がくるように設置する。

４－39　No.114（鋼製グレーチング蓋（横断側溝用）T-2 細目 歩道一般部（KOHH2 型）

路面排水を目的とする歩道一般部の横断側溝用に用いる細目の鋼製グレーチング蓋で、施工単価として架設手間も含んでいるので、蓋架設工として単独で使用することができる。内幅は 30cm，40cm，50cm の３種類がある。桝蓋は道路面に勾配がある場合は、高い側に蝶番がくるように設置し、路面が水平の場合は、車両進行方向の手前側に蝶番がくるように設置する。

４－40　No.115（鋼製グレーチング蓋（UBG 側溝用）T-25 粗目（UBG 型）

路側の路面排水用に設置するNo.13～No.15Ｕ型側溝用の粗目の鋼製グレーチング蓋参考図であるが、施工単価として架設手間も含んでいるので、蓋架設工として単独で使用することができる。内幅は 20cm～50cm 用までの７種類がある。

４－41　No.116（鋼製グレーチング蓋（UBG 側溝用）T-25 細目（UBGH 型）

路側の路面排水用に設置するNo.13～No.15Ｕ型側溝用の細目の鋼製グレーチング蓋参考図であるが、施工単価として架設手間も含んでいるので、蓋架設工として単独で使用することができる。内幅は 20cm～50cm 用までの７種類がある。

４－42　No.117（鋼製グレーチング蓋（UB-P 側溝用）T-25 粗目

路側の路面排水用に設置する現場打側溝用の粗目の鋼製グレーチング蓋で、施工単価として架設手間も含んでいるので、蓋架設工として単独で使用することができる。内幅は 30cm，40cm，50cm の３種類があり、長さは 50cm，100cm の２種類がある。

４－43　No.118（鋼製グレーチング蓋（UB-P 側溝用）T-25 細目

路側の路面排水用に設置する現場打側溝用の細目の鋼製グレーチング蓋で、施工単価として架設手間も含んでいるので、蓋架設工として単独で使用することができる。内幅は 30cm，40cm，50cm の３種類があり、長さは 50cm，100cm の２種類がある。

５．U型側溝

５－１　U型側溝で使用できる断面及びHによる形状、寸法の区分は表－４による。

表－４

H＼B	20	30	40	50	60	側壁の形状	基礎厚 h2 基礎A	基礎B	基礎C	底厚 h3
２０	○	○				矩形	１０	5	0	１５
２５	○	○					１０	5	0	１５
３０	○	○	○				１０	5	0	１５
３５	○	○	○				１５	5	0	１５
４０	○	○	○	○			１５	5	0	１５
４５		○	○	○			１５	5	0	１５
５０		○	○	○			１５	5	0	１５
５５		○	○	○			１５	5	0	１５
６０					○	梯形	１５	１０	0	１５
６５					○		１５	１０	0	１５
７０					○		１５	１０	0	１５
７５					○		１５	１０	0	１５

注）１．本表は図番№01～17及びＬ型側溝№50，51に適用する。
２．○印は使用できる断面である。
３．Ｂ＞100、Ｈ＞100の場合は、建設省制定土木構造物標準設計を参照のこと。

６．街渠工

６－１　街渠に使用する縁石等の種別、寸法、記号は表－５による。

表－５

呼び名		規格	寸法	記号
歩車道境界ブロック	ＪＩＳ中	JIS A 5371	15　×17　×20　×60　cm	A
〃	中	神戸市型	15.8×17　×12　×60　cm	Ａ２
〃	乗入用中(無着色)		16.4×17　×20　×60　cm	~~A３~~ (削除)
〃	ＪＩＳ大	JIS A 5371	18　×20.5×25　×60　cm	B
〃			18.5×20.5×12　×60　cm	Ｂ２
〃	乗入用大(無着色)	神戸市型	19.9×20.5×10　×60　cm	Ｂ３
〃	ＪＩＳ特大	JIS A 5371	18　×21　×30　×60　cm	C
〃	切下用（カラー）	神戸市型	19.9×20.5×10　×60　cm	~~L~~ (削除)
歩車道境界ブロック	セミフラット型(Aタイプ)		15　×17　×20　×60　cm	ＦＡ
〃	セミフラット型(Bタイプ)		18　×20.5×25　×60　cm	ＦＢ
〃	切下用（カラー）新規格	神戸市型	19.9×20.5×10　×60　cm	ＬＢ
地先境界ブロック	ＪＩＳ小	JIS A 5371	12　×12　×12　×60　cm	A (旧Ｄ種)

６－２　街渠のエプロン厚（Ｔ）は、表－６を参考にして、交通量により使い分けるものとする。

なお、側溝付き街渠のエプロン厚（Ｔ）は、交通量に関係なく150㎜とする。

表－６

交通量の区分	大型車交通量（台／日・一方向）	エプロン厚(㎜)
N3（Ｌ交通）	100未満	150
N4（Ａ交通）	100以上、250未満	
N5（Ｂ交通）	250以上、1,000未満	
N6（Ｃ交通）	1,000以上、3,000未満	200
N7（Ｄ交通）	3,000以上	250

７．プレキャスト製品

７－１　コンクリート二次製品（側溝・水路）の使い分けは、平面・縦断曲線半径により下表を標準とする。

平面曲線／縦断曲線	～30m未満	30～60m未満	90～120m未満	120m以上
～30m未満	現場打	現場打	現場打	現場打
30～60m未満	現場打	１ｍ	１ｍ	１ｍ
90～120m未満	現場打	１ｍ	２ｍ	２ｍ
120m以上	現場打	１ｍ	２ｍ	４ｍ

注）１．曲線半径は道路中心線ではなく、街渠施工地点を適用すること。
２．目地間隔は、直線部においては突き合わせを標準とし、曲線部においては最大値を20㎜とする。
３．縦断曲線の半径

$R = 100Lr / l$

R　：縦断曲線の半径（m）
Ｌｒ：縦断曲線の曲線長（m）
ｌ　：縦断勾配の代数差（%）

７－２プレキャスト製品の適用範囲

H	B			基礎厚　h2		
	30	40	50	基礎A	基礎B	基礎C
３０	○			１０	５	０
４０	○	○		１５	５	０
	△	△				
５０	○	○	○	１５	５	０
	△	△	△			
６０	○	○	○	１５	１０	０
	△	△	△			

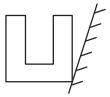
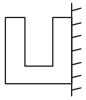
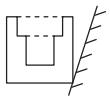
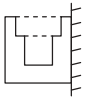
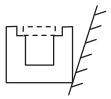
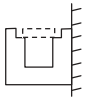
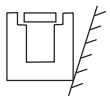
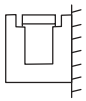
○　：　U－１が使用できる断面

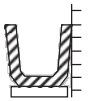
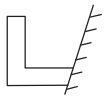
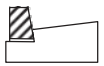
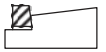
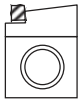
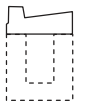
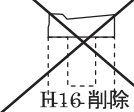
△　：　U－２が使用できる断面（Hは蓋掛かりを含む）

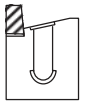
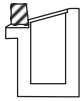
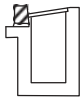
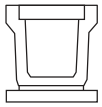
※JIS A5372 側溝については、下記のとおり。

H	B				基礎厚 h2
	25	30	40	50	
２５	○				１０
３０		○			１０
３０		○	○		１０
４０		○	○	○	１０
５０				○	１０

１－３　各名称別の形状及び図番（No.　　）は次表を参照のこと。

記号					1	2	3
U	A				No.01, 02	No.03, 04 	No.05, 06 
		P			No.24	←H14 削除 （プレキャスト化）	
	B				No.08	No.10 	No.12 
					No.07	No.09 	No.11 
		K			No.13	No.14 	No.15 
		P			No.25	←H14 削除 （プレキャスト化）	
	D	K			No.16		
		D			No.17	←H20 削除 （ダクタイル削除）	

記号					1	2	3
U	P		1		No.18		No.19 
			2		No.20		No.21
L	A				No.50	No.51 	
N	G		縁石 A B		No.61 	No.61 	No.61 H16 削除
		P	縁石 A B		No.70～75	No.70～75 	No.70～75 H16 削除
	G		C	No.62			
PG			縁石 A B		No.65-1	No.65-1	No.65-1 H16 削除
	U		縁石 A B		No.65-2 	No.65-2	No.65-2  H16 削除

記号					1	2	3
P	H			1	2		4
				No.80	No.81		No.82
	T				1	2	
					No.85	No.86	
M	G	P			No.90～95 	No.90～95	
	S				No.96 	No.96 	
	K	U			No.97		
		P			No.98		
	U				No.99		
ＪＩＳ側溝					No.22(歩道用)23(車道用) 		

８．コンクリート二次製品（側溝・水路）の使用について

（土木工事標準積算基準書（参考資料）平成２４年度　P.278～P.283に掲載）

８－１経　緯

公共工事の合理化施工・工期短縮・コスト縮減に向けた取り組みとして、「近畿地区建設技術開発普及推進協議会」[注1)]において、コンクリート二次製品（側溝・水路）の標準化が検討され[注2)]、「コンクリート二次製品標準図集（案）」（側溝・水路編）[注3)]（以下「標準図集(案)」　という）が制定された。

８－２今後の取り扱い

平成１２年４月以降（各行政機関の内部手続き終了後）

：「標準図集（案）」によって業務の設計や工事発注をはかる。

（移行期間）　：「標準図集（案）」の製品が市場に出回るまでの当面の間は「市場製品図集（側溝・水路編）」[注4)]を使用する。

移行期間終了後　：標準図集（案）への完全移行

注１）近畿地建、７府県、３政令市で構成

注２）具体的な検討は「近畿地区コンクリート二次製品構造規格検討ワーキング部会」（構成：工事発注者【近畿地建、７府県、３政令市】、施工者【各府県建設業協会】、製品製造業者【各協会】）で行われた。

注３）「コンクリート二次製品構造規格（案）近畿版」の設計基準により作成されている。現在のところ市場に製品そのものはない。

注４）「コンクリート二次製品の構造規格（案）近畿版」の設計基準によって検証し、確認をおこなった現在の市場製品。

注５）移行期間の終了時期については、別途通知する。

８－３本市の対応

1) これを受けて、本市でもコンクリート二次製品（側溝・水路）の使用にあたっては「標準図集（案）」に記載の製品を原則として使用していくものとする。（ただし、水路については使用頻度が少ないため当面の間は使用を見送る。）

2) 「標準図集（案）」の製品については、本市「標準構造図集（神戸市）」に追加記載する。

3) 当面の間は追加記載後の「標準構造図集」の製品を使用するものとするが、今後行う測量設計、工事発注については「標準構造図集」のうち、追加記載した「標準図集（案）」の製品を原則用いるものとする。（実際の施工に際しては「市場製品図集」の製品から選択し、監督職員の承諾を得て使用するものとする）

4) 移行期間終了後は「標準図集（案）」の製品へ完全移行する。（市場製品が「標準図集（案）」の製品に統一される。）

5) 運用開始は平成１２年１０月１５日とする。

８－４「市場製品図集」の使用について

1) 市場製品図集の製品を使用する際は、原則Ａ欄該当製品を使用する（基準書単価はＡ欄該当製品をもとに設定されている）ものとするが、統一性を保つため「５．各製品の比較表」のＡ欄該当製品のうちアンダーラインを引いたものを標準とする。ただし、その他の製品の使用を妨げるものではない。

2) Ｂ欄・Ｃ欄及び市場製品図集収録以外の構造規格を満足する製品は、一般的に単価が割高な製品が想定されるため現場状況・必要性・経済性を判断して使用するものとする。その場合の単価は別途調査のこと。

「市場製品図集」の分類

Ａ欄　→「標準図集（案）」と「呼び名（Ｂ×Ｈ）」が同一の製品
Ｂ欄　→「標準図集（案）」に掲載されていない「呼び名（Ｂ×Ｈ）」の製品
Ｃ欄　→「標準図集（案）」「呼び名（Ｂ×Ｈ）」に関係なく部分的な形状が異なる製品

８－５各製品の比較表

「標準図集（案）」製品：地整	市場製品図集（A欄該当製品）※1	標準構造図集（神戸市）
U型側溝（U－１）	U－１１　U－２０ U－１６　U－２５	U型側溝工（U－１）新規格※3 PU－１００番代
U型側溝（U－２） 蓋掛け型	U－１７　U－２３ U－２１	U型側溝工（U－２）新規格※3 PU－２００番代
円型側溝（円－１）	円－１　円－２２ 円－２０　円－２４	円型側溝工（円－１）新規格
円型側溝（円－２）蓋掛け型	円－２　円－２０	
L型側溝（L－１）	L－４ L－６	街渠工：PG（F）５１５ ※（７）の注６）参照
LU側溝※2	L－２ ＋ U－１８	街渠工：PGU（F） PGU（F）－D（ND）
箱型側溝（箱－１）	箱－１　箱－６ 箱－５　箱－７	
箱型側溝（箱－２）蓋掛け型		
門型側溝（門－１） （門－２）	門－１　門－１５ 門－５　門－１８ 門－６　門－１９ 門－９　門－２２ 門－１０　門－２３ 門－１１　門－２５ 門－１４　門－２６	自由勾配側溝（門－１）新規格
門型側溝（門留－１） （門留－２） 土留型	門留－１　門留－６ 門留－２　門留－７ 門留－３　門留－８ 門留－４　門留－９ 門留－５　門留－１０	自由勾配側溝（門留－１）新規格

※１ 市場製品についてはアンダーラインを引いたものを標準とする。
※２ LU側溝とはL型側溝とU型側溝を組み合わせたもの。
※３ プレキャスト製品（U－１,U－２）の設計製品長は、標準構造図集 排水工７、説－１０を参照のこと。

８－６特記仕様書について

（記載例文）

本工事においては、「コンクリート二次製品図集(側溝・水路編)」（以下「標準図集(案)」と称する。）に記載の製品を設計上使用しており、以下の点に留意すること。

１ 上記製品が市場で入手困難な場合の措置

上記製品が市場で入手困難な場合は、請負人は以下の対応を実施することができる。

①監督員の承諾を得て、「コンクリート二次製品市場製品図集」（以下「市場製品図集」という）に編纂されている製品を現場において使用することができる。

②この場合の使用製品は原則として、「標準図集(案)」に対応する「市場製品図集」掲載製品のうち「標準製品と同一規格の形状・配筋表」を有するものとする。

なお、契約上は、施工承諾として処理し、設計変更の対象としない。

２ （曲線半径の変更に伴い）U型側溝の設計製品長を変更する場合の措置

曲線半径に応じて設計製品長を決定しているU型側溝（U－１、U－２）については、現場条件が設計条件と異なる場合は、設計変更の対象とする。

８－７側溝整備について

原則として「標準図集（案）」（運用上は市場製品図集）の製品を使用するものとするが、対象製品がない場合やその他やむを得ない場合（取り込み管が多い、曲線半径が小さい、在来側溝の部分補修等）については、「標準構造図集（神戸市）」の製品の使用や現場打ちを検討する。

＜歩車道分離されている場合＞

・歩車道境界部

①円型側溝・LU側溝[注5] ←道路勾配と排水勾配が平行に施工できる場合

②NGPタイプ ←道路勾配と排水勾配が平行に施工できない場合

③皿溝（NGタイプ）[注6]

＜歩車道分離されていない場合＞

1）車道部幅員に含まれない場合

①U型側溝（開渠）を原則とする[注7]。

2）車道部幅員に含まれる場合

②箱型側溝[注8]

③門型側溝（側溝の高さが一定でない場合）[注8]

＜役物（乗入部、すりつけ部、桝部等）部分＞

1）LU側溝における役物（乗入部、すりつけ部、桝部）

「標準構造図集（神戸市）」の製品を使用する。（「コンクリート二次製品の構造規格（案）近畿版」により構造を検証済）

乗入部：PGU－N－A２、B２、B３、LB
すりつけ部：PGU－S－A－B３、LB
B－B３、LB
桝　部：PGU－D－A、B
ND－A２、B２、B３

（１０．コンクリート二次製品による街渠工の運用例　参照）

2）その他のタイプ（円型、門型、箱型側溝等）における役物

「標準構造図集（神戸市）」の製品が使用できる場合を除き、現場打ちとする。

注５）円型側溝は周辺宅地からの取込み管の接続があまりない場合や乗り入れ等が少ない道路（バイパス道路等）で使用する。

注６）皿溝についてはコンクリート二次製品（L型側溝）がNGタイプ（現場打ち）に比べてかなり割高になるため、当面はNGタイプを主として使用するものとする。

注７）乗り入れや通学路等で蓋掛けが必要な箇所についてはU型側溝（蓋掛け）形式とする。

注８）ただし、区画街路等で民地への雨水の流入を防止（道路内で雨水を処理する）する必要がある場合は、皿溝（NGタイプ）[注6]やLU側溝等を使用する。

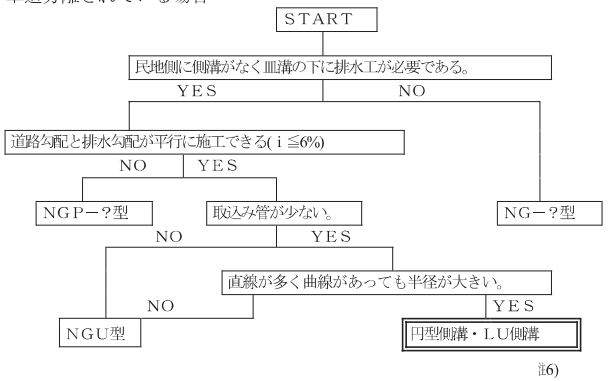
※上記を標準とするが、前後の施工形状や経済性等を考慮のうえ使用タイプを決定すること。

８．ＪＩＳ製品の取り扱い

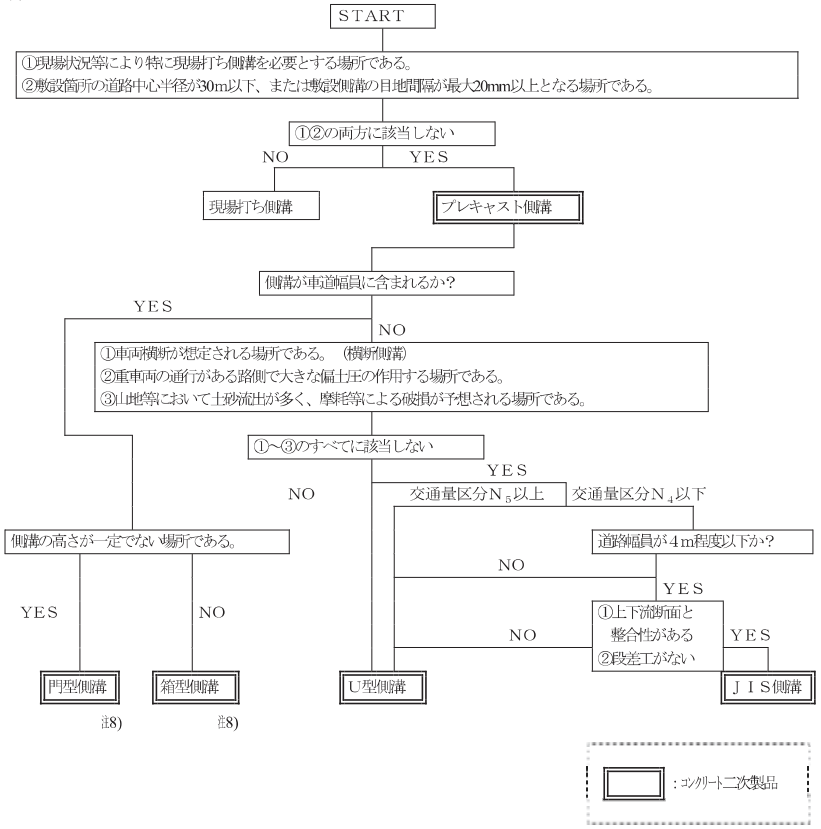
ＪＩＳ製品については、「コンクリート二次製品規格（案）近畿版」により構造を検証して使用してもよい。ただし、交通量区分がN_4以下で幅員が４ｍ程度以下の場所については、従来どおり使用できるものとする。

８－９選定フロー

(1)歩車道分離されている場合

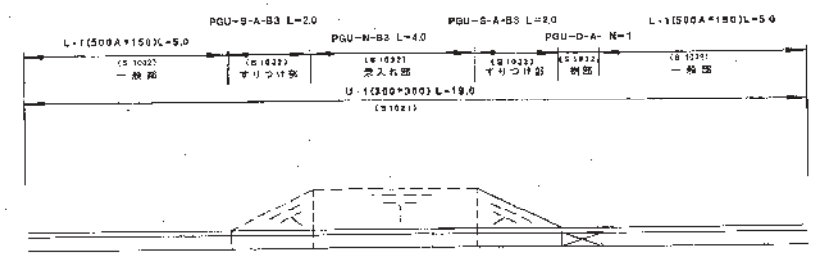


(2)歩車道分離されていない場合

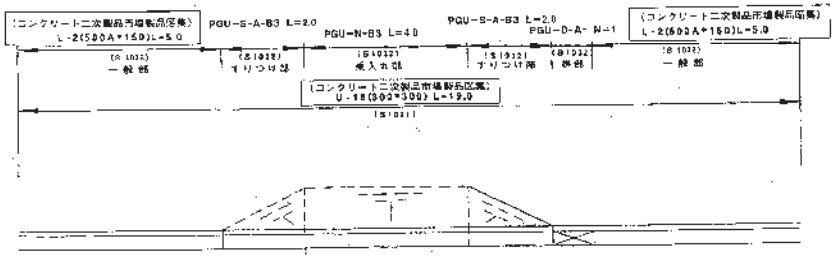


８－１０コンクリート二次製品による街渠工の運用例

コンクリート二次製品による街渠工については、平成 12 年 10 月 16 日通達のとおり、原則として標準構造図集（土木一般工事）に追記された「標準図集（案）」（新規格）製品を用いて設計・積算を行い、「コンクリート二次製品市場製品図集（側溝・水路編）」に掲載されている製品により材料承諾後、現場使用することとなっているが、標準図集（案）の製品へ完全移行するまでの期間中は、標準図集（案）掲載製品が市場に流通していないため、下記に表示する例を参考に運用すること。（※乗り入れ部の構造については、構造図 5-3-6、7 を参照すること）



施工図面（材料承諾）記載例



※□で囲まれた箇所について、「市場製品図集」の製品を使用する。

９．管渠工

9-1. 設計上の注意事項

(1)管渠工の埋設形式は、突出型、溝型の別、土かぶり、土質及びパイプの管種によって「管渠基礎形式選定図」（P.12～13）より決定する。

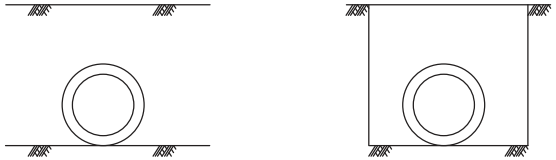
(2)突出型、溝型の区分について

①　突出型

突出型とは、図－１(a)に示すように管を直接自然地盤またはよく締め固められた地盤上に設置し、その上に盛土をする型式をいう。なお、溝を掘って管を埋設しても、図－２(a)に示すように軟弱地盤に埋設される管が杭により支持される場合、図－２(b)に示すように溝幅が管の外径の２倍以上ある場合、図－２(c)に示すように原地盤からの土破り h_a が溝幅の 1/2 以下の場合は、突出型とする。

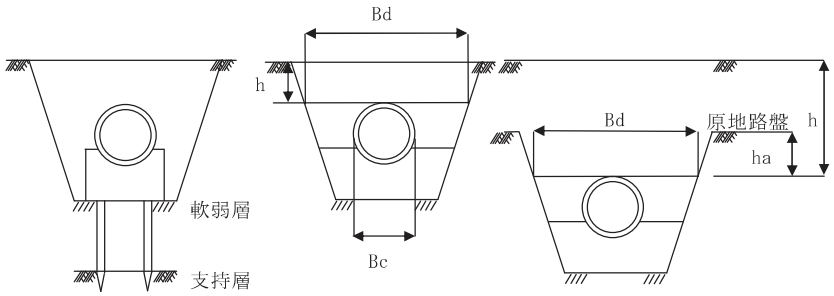
②　溝型

溝型とは、図－１(b)に示すように自然地盤またはよく締め固めた盛土に溝を掘削して埋設する形式であり、プレローディングを行い長期間放置した盛土を掘削して管を設置する場合も溝型とする。



（a）突出型　　（ｂ）溝　型

図－１　埋設形式



（a）杭基礎の場合　（ｂ）溝が広い場合(Bd≧2Bc)(c)ha が Ba/2 以下の場合またはｈが Bd/2 以下の場合

図－２　突出型

(3)管渠工の基礎形式選定図

①使用方法

標準的な埋設条件での設計は、図－３(a)～(c)に示す基礎形式選定図（カルバート工指針より抜粋）により、管径と土被りの交点を見出せば行うことができる。埋設形式は、突出型、溝型で土の単位体積重量はγ＝18kN/m^3、活荷重はＴ荷重を考慮した。なお、土被り 0.5m以上の範囲において、それぞれの上限値、下限値に入らないものは 360° 固定基礎とする。

溝型については、土留めを行わないことを前提としているが、土留めを行う場合で土留材を引き抜かない時は、この選定図を用いてもよい。

②使用例

突出型、砂質土（γ＝18kN/m^3）、管径Ｄ＝1,000ｍｍ、土被り ｈ＝4.5ｍの場合、図－３(b)により、次のように検索できる。(図中◎印参照)。

○ＲＣ２種に対して 180° 固定基礎

○ＰＣ３種に対して 90° 固定基礎

したがって、経済性を検討の上、基礎形式を決定すればよい。

(4)全巻（360° 固定基礎）管渠の種類は、遠心力鉄筋コンクリート管の１種管を使用する。

(5)河川堤防を横断するときは「河川管理施設等構造令」、「河川砂防技術基準（案）」に基づいて設計しなければならないので、浸透流の影響を受ける場合には原則として本図集を使用しない。

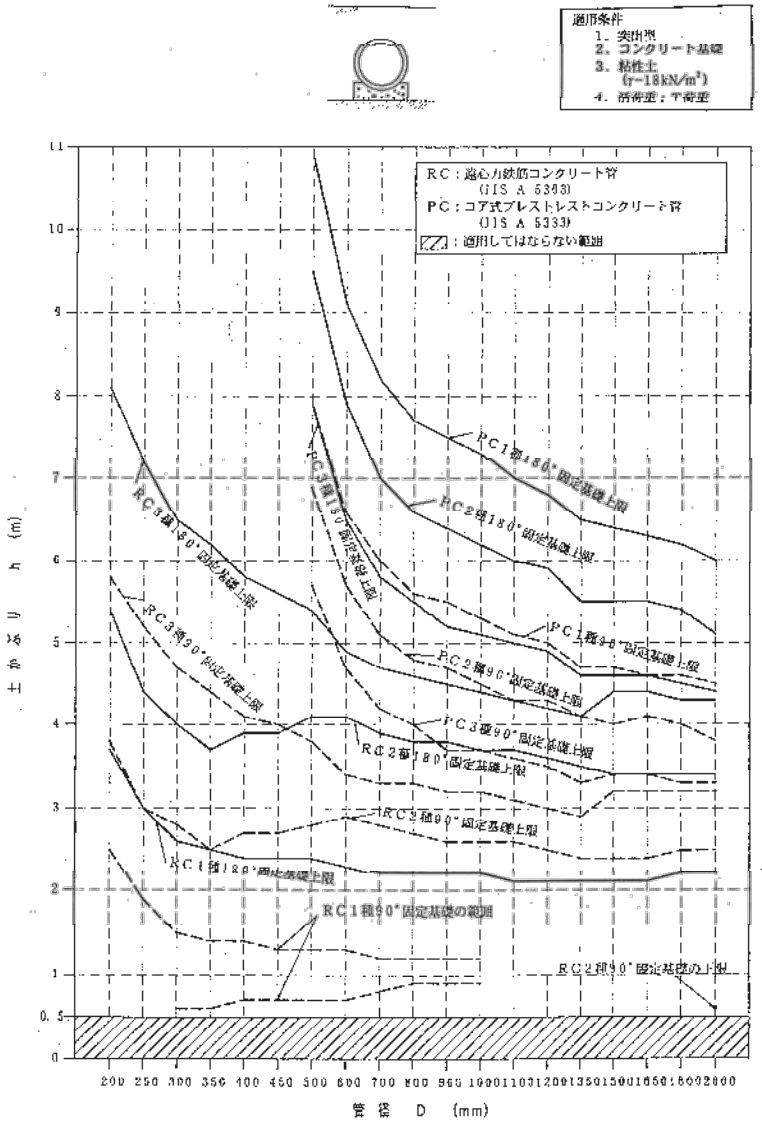
なお、浸透流の影響を受けない堀込河川等で本図集を使用する場合は、全巻(360° 固定基礎）とし、巻立てコンクリートは 24-8-40BB を使用する。

(6)標準図では、縦方向（管渠の延長方向）の設計について考慮してないので、延長が長い場合や基礎地盤の支持力が不足し不等沈下の恐れのある場合は、ベースコンクリートに鉄筋を挿入したり、杭を設ける等の補強を行う必要がある。

9-2. 施工上の注意事項

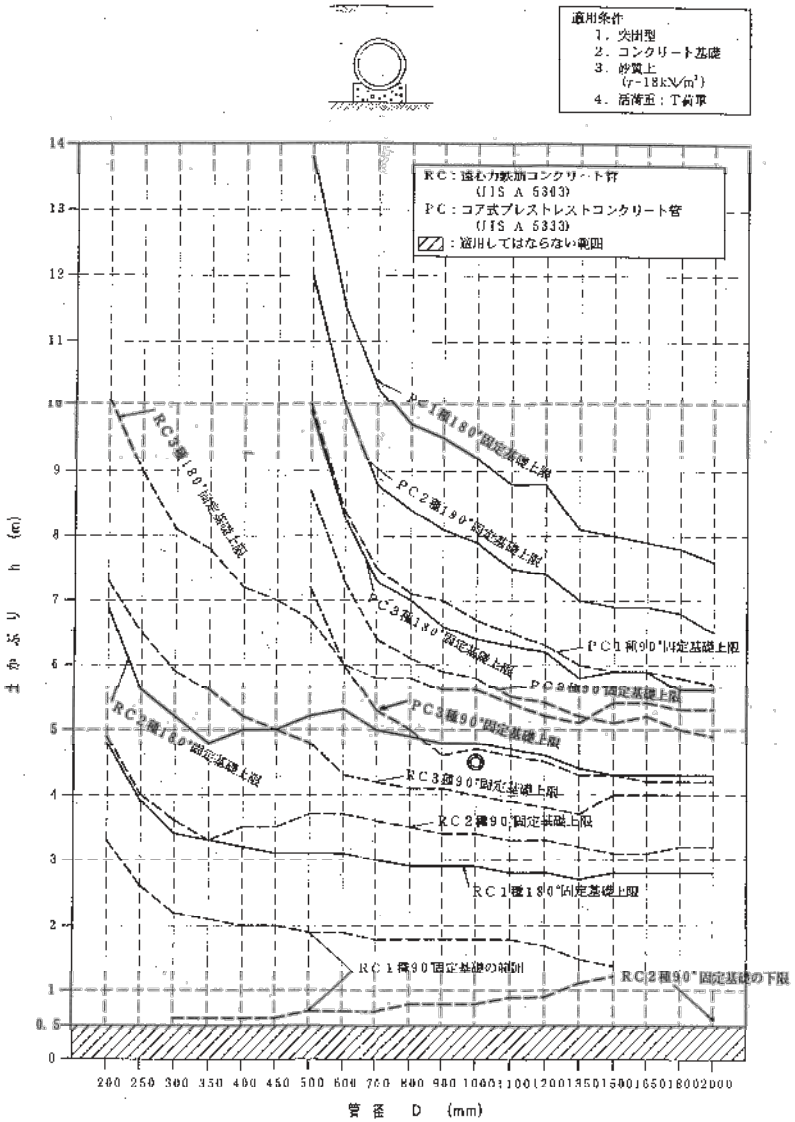
(1)コンクリートの打設は豆板等が生じないよう十分な締め固めを行うこと。

(2)管渠の継手型式については、施工場所あるいは管型式によって適当に処置するものとし、継手にはモルタル等を挿入するなどして漏水のないようにしなければならない。



［道路土工－カルバート工指針より抜粋］

（a） 突出型：コンクリート基礎、粘性土

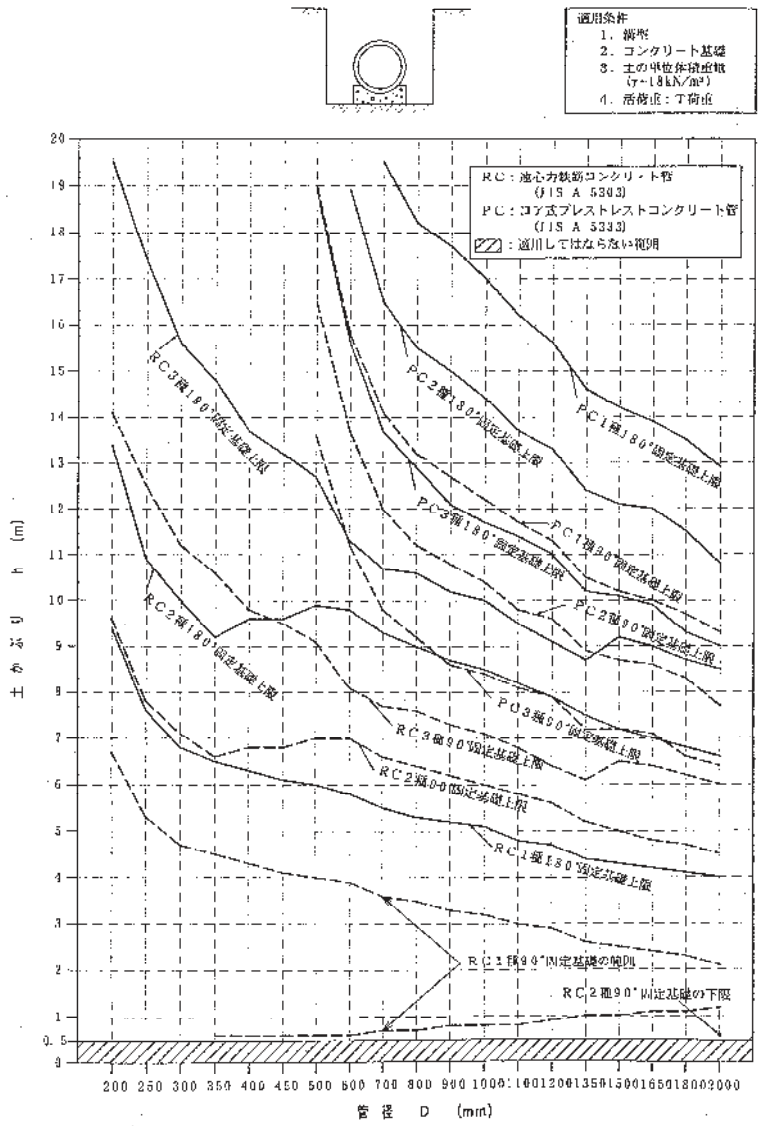


※：図中◎印は、使用例を示す。

［道路土工－カルバート工指針より抜粋］

（b） 突出型：コンクリート基礎、砂質土

図－3



〔道路土工－カルバート工指針より抜粋〕

１０．鋼製グレーチング蓋

１０－１　鋼製グレーチング蓋の使い分けは下表を標準とする。

KG	KGH	KM, KO	KMH, KOH	KMHH, KOHH	KMHH2, KOHH2	UBG, UBGH	
Ｔ－２５	Ｔ－２５	Ｔ－２５	Ｔ－２５	Ｔ－２５	Ｔ－２	Ｔ－２５	Ｔ－２５
	区画道路・横断歩道部		区画道路・横断歩道部	歩道乗入部	歩道一般部		
現場打街渠桝用（スリットなし）	現場打街渠桝用（スリットなし）	桝用，横断側溝用	桝用，横断側溝用（細目）	桝用，横断側溝用	桝用，横断側溝用	UBG 側溝用（現場打）	UB-P 側溝用（プレキャスト）
粗目	細目	粗目	細目	細目	細目	粗目，細目	粗目，細目
B=300 L=620	B=300 L=620	B=300, 400, 500 L=650 (桝) 1000 (横断)	B=300, 400, 500 L=650 (桝) 1000 (横断)	B=300, 400, 500 L=650 (桝) 1000 (横断)	B=300, 400, 500 L=650 (桝) 1000 (横断)	B=200～500（50ピッチ）L=1,000 ｺﾞﾑ無し FB 付	B=300, 400, 500 L=500, 1000 ｺﾞﾑ有，無
ヒンジ式	ヒンジ式	ヒンジ式	ヒンジ式	ヒンジ式	ヒンジ式		
ボルト無	ボルト無	ボルト有	ボルト有	ボルト無	ボルト無	ボルト無	ボルト無

注１）街渠桝用のプレキャスト製品はスリット付きとする。

標準構造図集目次　令和8年4月1日

2-1 擁壁工

○小型重力式コンクリート擁壁

ページ番号	タイトル	断面形状番号	擁壁高	前面勾配
2-1-1	場所打擁壁工（構造物単位）、小型擁壁工（高さ50cm未満） 小型重力式コンクリート擁壁	SGW1～3	0.50m	0
2-1-2	場所打擁壁工（構造物単位）、小型擁壁工（高さ50cm未満） 小型重力式コンクリート擁壁	SGW4～8	0.50m	0.2
2-1-3	場所打擁壁工（構造物単位）、小型擁壁工（高さ50cm未満） 小型重力式コンクリート擁壁	SGW9～11	0.50m	0.3
2-1-4	場所打擁壁工（構造物単位）、小型擁壁工（高さ50cm未満） 小型重力式コンクリート擁壁	SGW12～14	0.50m	0.4
2-1-5	場所打擁壁工（構造物単位）、小型擁壁工（高さ50cm未満） 小型重力式コンクリート擁壁	SGW15	0.50m	0.5
2-1-6	場所打擁壁工（構造物単位）小型重力式コンクリート擁壁	SGW16～19	1.00m	0
2-1-7	場所打擁壁工（構造物単位）小型重力式コンクリート擁壁	SGW20～26	1.00m	0.2
2-1-8	場所打擁壁工（構造物単位）小型重力式コンクリート擁壁	SGW27～32	1.00m	0.3
2-1-9	場所打擁壁工（構造物単位）小型重力式コンクリート擁壁	SGW33～37	1.00m	0.4
2-1-10	場所打擁壁工（構造物単位）小型重力式コンクリート擁壁	SGW38～39	1.00m	0.5
2-1-11	場所打擁壁工（構造物単位）小型重力式コンクリート擁壁	SGW40～45	1.50m	0
2-1-12	場所打擁壁工（構造物単位）小型重力式コンクリート擁壁	SGW46～54	1.50m	0.2
2-1-13	場所打擁壁工（構造物単位）小型重力式コンクリート擁壁	SGW55～60	1.50m	0.3
2-1-14	場所打擁壁工（構造物単位）小型重力式コンクリート擁壁	SGW61～65	1.50m	0.4
2-1-15	場所打擁壁工（構造物単位）小型重力式コンクリート擁壁	SGW66～67	1.50m	0.5
2-1-16	場所打擁壁工（構造物単位）小型重力式コンクリート擁壁	SGW68～71	2.00m	0
2-1-17	場所打擁壁工（構造物単位）小型重力式コンクリート擁壁	SGW72～81	2.00m	0.2
2-1-18	場所打擁壁工（構造物単位）小型重力式コンクリート擁壁	SGW82～87	2.00m	0.3
2-1-19	場所打擁壁工（構造物単位）小型重力式コンクリート擁壁	SGW88～93	2.00m	0.4
2-1-20	場所打擁壁工（構造物単位）小型重力式コンクリート擁壁	SGW94～98	2.00m	0.5

標準構造図集目次　令和8年4月1日

○重力式コンクリート擁壁

ページ番号	タイトル	断面形状番号	擁壁高	前面勾配
2-1-21	場所打擁壁工（構造物単位）重力式コンクリート擁壁	GW1～4	1.00m	0
2-1-22	場所打擁壁工（構造物単位）重力式コンクリート擁壁	GW5～8	1.00m	0.2
2-1-23	場所打擁壁工（構造物単位）重力式コンクリート擁壁	GW9～11	1.00m	0.3
2-1-24	場所打擁壁工（構造物単位）重力式コンクリート擁壁	GW12～13	1.00m	0.4
2-1-25	場所打擁壁工（構造物単位）重力式コンクリート擁壁	GW14	1.00m	0.5
2-1-26	場所打擁壁工（構造物単位）重力式コンクリート擁壁	GW15～17	2.00m	0
2-1-27	場所打擁壁工（構造物単位）重力式コンクリート擁壁	GW18～22	2.00m	0.2
2-1-28	場所打擁壁工（構造物単位）重力式コンクリート擁壁	GW23～27	2.00m	0.3
2-1-29	場所打擁壁工（構造物単位）重力式コンクリート擁壁	GW28～31	2.00m	0.4
2-1-30	場所打擁壁工（構造物単位）重力式コンクリート擁壁	GW32～34	2.00m	0.5
2-1-31	場所打擁壁工（構造物単位）重力式コンクリート擁壁	GW35～38	3.00m	0
2-1-32	場所打擁壁工（構造物単位）重力式コンクリート擁壁	GW39～44	3.00m	0.2
2-1-33	場所打擁壁工（構造物単位）重力式コンクリート擁壁	GW45～51	3.00m	0.3
2-1-34	場所打擁壁工（構造物単位）重力式コンクリート擁壁	GW52～57	3.00m	0.4
2-1-35	場所打擁壁工（構造物単位）重力式コンクリート擁壁	GW58～61	3.00m	0.5

○ブロック積み擁壁

ページ番号	タイトル
2-1-36	ブロック積工・練石積工・裏込工（道路用）
2-1-37	基礎工（ブロック積用・石積用）

標準構造図集目次　令和8年4月1日

4-1 排水工（U型側溝、L型側溝）

〇U型側溝工

ページ番号	タイトル	ナンバー
4-1-1	U型側溝工（UA－1）	No.01
4-1-2	U型側溝工（UA－1－R）	No.02
4-1-3	U型側溝工（UA－2）	No.03
4-1-4	U型側溝工（UA－2－R）	No.04
4-1-5	U型側溝工（UA－3）	No.05
4-1-6	U型側溝工（UA－3－R）	No.06
4-1-7	U型側溝工（UB－1）	No.07
4-1-8	U型側溝工（UB－1－R）	No.08
4-1-9	U型側溝工（UB－2）	No.09
4-1-10	U型側溝工（UB－2－R）	No.10
4-1-11	U型側溝工（UB－3）	No.11
4-1-12	U型側溝工（UB－3－R）	No.12
4-1-13	U型側溝工（UB－K_1－R，UB－K_1H－R）	No.13
4-1-14	U型側溝工（UB－K_2－R，UB－K_2H－R）	No.14
4-1-15	U型側溝工（UB－K_3－R，UB－K_3H－R）	No.15
4-1-16	U型側溝工（UD－K－R，UD－KH－R）	No.16
4-1-17	U型側溝工（UP_1－1）	No.18
4-1-18	U型側溝工（UP_1－3）	No.19
4-1-19	U型側溝工（UP_2－1）	No.20
4-1-20	U型側溝工（UP_2－3）	No.21
4-1-21	U型側溝工(ﾌﾟﾚｷｬｽﾄJIS型　歩道用)	No.22
4-1-22	U型側溝工(ﾌﾟﾚｷｬｽﾄJIS型　車道用)	No.23
4-1-23	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU型側溝(PU100型)	No.30
4-1-24	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU型側溝(PU200型)	No.30

標準構造図集目次　令和8年4月1日

〇門型、箱型、円型、L型側溝工

ページ番号	タイトル	ナンバー
4-1-25	自由勾配側溝（門－１）新規格（L=2m）	No.35-1
4-1-26	自由勾配側溝（門－２）新規格（L=1.5m）	No.35-2
4-1-27	自由勾配側溝（門留－１）新規格（L=2m）	No.36-1
4-1-28	自由勾配側溝（門留－２）新規格（L=1.5m）	No.36-2
4-1-29	箱型側溝（箱－１）新規格（一般部）	No.37-1
4-1-30	箱型側溝（箱－２）新規格（グレーチング部）	No.37-2
4-1-31	円型側溝（円－１）新規格（径300,400）	No.40
4-1-32	円型側溝（円－１）新規格（径500,600）	―
4-1-33	円型側溝（円－２）新規格（径300,400）	―
4-1-34	円型側溝（円－２）新規格（径500,600）	―
4-1-35	L型側溝工（LA－１）（現場打）	No.50
4-1-36	L型側溝工（LA－１－R）（現場打）	No.50
4-1-37	L型側溝工（LA－２）（現場打）	No.51
4-1-38	L型側溝工（LA－２－R）（現場打）	No.51

標準構造図集目次　令和8年4月1日

4-2 排水工（街渠工、管渠工）

〇街渠工

ページ番号	タイトル	ナンバー
4-2-1	街渠工（NG－L）	No.61
4-2-2	街渠工（NG－C）	No.61
4-2-3	街渠工（NG－D）	No.61
4-2-4	街渠工（GC－G1）	No.62
4-2-5	街渠工（NGP－L）－30	No.70
4-2-6	街渠工（NGP－C）－30	No.70
4-2-7	街渠工（NGP－D）－30	No.70
4-2-8	街渠工（NGP－L）―35	No.71
4-2-9	街渠工（NGP－C）―35	No.71
4-2-10	街渠工（NGP－D）―35	No.71
4-2-11	街渠工（NGP－L）―40	No.72
4-2-12	街渠工（NGP－C）―40	No.72
4-2-13	街渠工（NGP－D）―40	No.72
4-2-14	街渠工（NGP－L）―45	No.73
4-2-15	街渠工（NGP－C）―45	No.73
4-2-16	街渠工（NGP－D）―45	No.73
4-2-17	街渠工（NGP－L）―50	No.74
4-2-18	街渠工（NGP－C）―50	No.74
4-2-19	街渠工（NGP－D）―50	No.74
4-2-20	街渠工（NGP－L）―60	No.75
4-2-21	街渠工（NGP－C）―60	No.75
4-2-22	街渠工（NGP－D）―60	No.75
4-2-23	街渠工（NGU型）	No.64
4-2-24	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ街渠（基本（新規格））	No.55-1
4-2-25	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ街渠（基本（新規格））	No.55-2

標準構造図集目次　令和8年4月1日

4-2-26	プレキャスト街渠（車道乗入）	No.57-1
4-2-27	プレキャスト街渠（車道乗入）	No.57-2
4-2-28	プレキャスト街渠（車道すりつけ）	No.59-1
4-2-29	プレキャスト街渠（車道すりつけ）	No.59-2
4-2-30	プレキャスト街渠（車道すりつけ）	No.59-3
4-2-31	プレキャスト街渠（車道すりつけ）	No.59-4
4-2-32	プレキャスト街渠（歩道すりつけ）	No.60-3
4-2-33	プレキャスト街渠（歩道すりつけ）	No.60-4
4-2-34	プレキャスト街渠（歩道すりつけ）	No.60-5
4-2-35	プレキャスト街渠（歩道すりつけ）	No.60-6
~~4-2-36~~	~~プレキャスト街渠（歩道すりつけ）~~	~~参考図~~
4-2-37	プレキャスト街渠（水抜用）	参考図
4-2-38	プレキャスト街渠（枡）	No.63

○管渠工

4-2-39	管渠工（PH_1）	No.80
4-2-40	管渠工（PH_2）	No.81
4-2-41	管渠工（PH_4）	No.82
4-2-42	鉄筋コンクリート台付管工（重圧管）	No.83
4-2-43	鉄筋コンクリート台付管工（バイコン台付管）	No.84
4-2-44	暗渠排水工（PT_1）	No.85
4-2-45	暗渠排水工（PT_2）	No.86

○街渠工（防草タイプ）

4-2-46	プレキャスト街渠（基本（新規格））（防草タイプ）	No.55-3
4-2-47	プレキャスト街渠（水抜用）（防草タイプ）	参考図
4-2-48	プレキャスト街渠（枡）（防草タイプ）	No.63-2

標準構造図集目次　令和8年4月1日

4-3 排水工（桝工）

ページ番号	タイトル	ナンバー
4-3-1	街渠桝工（MGPーL）ー30	No.90
4-3-2	街渠桝工（MGPーC）ー30	No.90
4-3-3	街渠桝工（MGPーD）ー30	No.90
4-3-4	街渠桝工（MGPーL）ー35	No.91
4-3-5	街渠桝工（MGPーC）ー35	No.91
4-3-6	街渠桝工（MGP－D）－35	No.91
4-3-7	街渠桝工（MGP－L）－40	No.92
4-3-8	街渠桝工（MGP－C）－40	No.92
4-3-9	街渠桝工（MGP－D）－40	No.92
4-3-10	街渠桝工（MGPーL）ー45	No.93
4-3-11	街渠桝工（MGPーC）ー45	No.93
4-3-12	街渠桝工（MGPーD）ー45	No.93
4-3-13	街渠桝工（MGP－L）－50	No.94
4-3-14	街渠桝工（MGP－C）－50	No.94
4-3-15	街渠桝工（MGP－D）－50	No.94
4-3-16	街渠桝工（MGP－L）－60	No.95
4-3-17	街渠桝工（MGP－C）－60	No.95
4-3-18	街渠桝工（MGP－D）－60	No.95
4-3-19	街渠桝工（MSーL）（取込み管1or2）	No.96
4-3-20	街渠桝工（MSーL）（取込み管3or4）	No.96
4-3-21	街渠桝工（MSーC）（取込み管1or2）	No.96
4-3-22	街渠桝工（MSーC）（取込み管3or4）	No.96
4-3-23	街渠桝工（MSーD）（取込み管1or2）	No.96
4-3-24	街渠桝工（MSーD）（取込み管3or4）	No.96
4-3-25	桝工（MKU，MKUH）	No.97
4-3-26	桝工（MKP，MKPH）	No.98
4-3-27	雨水桝工	No.99

標準構造図集目次　令和8年4月1日

4-4 排水工（床版架設工）

ページ番号	タイトル	ナンバー
4-4-1	床版架設工（RCﾌﾟﾚｷｬｽﾄ床版）	No.100
4-4-2	床版架設工（RC現場打床版）	No.101
4-4-3	鉄蓋設置工（1枚1組）	No.102-1
4-4-4	鉄蓋設置工（桝用、30×60）	No.102-2
4-4-5	鉄蓋設置工（桝用、40×60）	No.102-2
4-4-6	鉄蓋設置工（2枚1組）	No.103-1
4-4-7	鉄蓋設置工（鉄蓋設置桝用、60×70）	No.103-2
4-4-8	鉄蓋設置工（3枚1組）	No.104
4-4-9	鋼製グレーチング蓋設置工（現場打街渠桝用）T-25　粗目	No.105
4-4-10	鋼製グレーチング蓋設置工（現場打街渠桝用）T-25　細目	No.106
4-4-11	鋼製グレーチング蓋設置工（桝用）T-25　粗目	No.107
4-4-12	鋼製グレーチング蓋設置工（横断側溝用）T-25　粗目	No.108
4-4-13	鋼製グレーチング蓋設置工（桝用）T-25　細目	No.109
4-4-14	鋼製グレーチング蓋設置工（横断側溝用）T-25　細目	No.110
4-4-15	鋼製グレーチング蓋設置工（桝用）T-25　細目　歩道乗入部	No.111
4-4-16	鋼製グレーチング蓋設置工（横断側溝用）T-25　細目　歩道乗入部	No.112
4-4-17	鋼製グレーチング蓋設置工（桝用）T-2　細目　歩道一般部	No.113
4-4-18	鋼製グレーチング蓋設置工（横断側溝用）T-2　細目　歩道一般部	No.114
4-4-19	鋼製グレーチング蓋設置工（UBG側溝用）T-25　粗目	No.115
4-4-20	鋼製グレーチング蓋設置工（UBG側溝用）T-25　細目	No.116
4-4-21	鋼製グレーチング蓋設置工（UBーP側溝用）T-25　粗目	No.117
4-4-22	鋼製グレーチング蓋設置工（UBーP側溝用）T-25　細目	No.118
4-4-23	鉄板蓋工	No.119

標準構造図集目次　令和8年4月1日

4-5 縁石工

ページ番号	タイトル	ナンバー
4-5-1	路側工（タイプ1）	No.120
4-5-2	路側工（タイプ2）	No.121

5-1 舗装止工・防護柵設置工

ページ番号	タイトル	ナンバー
5-1-1	嵩上工（側溝、石積側溝、U型トラフ）	No.125
5-1-2	舗装止工	－
5-1-3	防護柵設置工、歩道用ガードパイプ設置工（路側用、歩道用）	－
5-1-4	防護柵設置工[基礎工]	－
5-1-5	防護柵設置工（P種）[乱横断防止柵]	No.3
5-1-6	防護柵設置工（P種）[交差点用乱横断防止柵(神戸市型)]	No.3-2
5-1-7	防護柵設置工（P種）[転落防止柵]	No.4
5-1-8	防護柵設置工（P種）[基礎工]	－
5-1-9	立入防止柵工（フェンス）	－

標準構造図集目次　令和8年4月1日

5-2 標識工・反射鏡

ページ番号	タイトル
5-2-1	警戒、規制標識設置工
5-2-2	道路反射鏡（カーブミラー）設置工（一面鏡ステンレスφ1000）
5-2-3	道路反射鏡（カーブミラー）設置工（一面鏡ステンレスφ800）
5-2-4	道路反射鏡（カーブミラー）設置工（二面鏡ステンレスφ1000）
5-2-5	道路反射鏡（カーブミラー）設置工（二面鏡ステンレスφ800）
5-2-6	道路反射鏡（カーブミラー）設置工（二面鏡アクリル600×800）
5-2-7	道路反射鏡（カーブミラー）設置工（二面鏡アクリル450×600）
5-2-8	道路反射鏡（カーブミラー）設置工基礎構造図
5-2-9	視線誘導標（デリネーター）設置工（土中・ガードレール用両面）
5-2-10	視線誘導標（デリネーター）設置工（Co建込・構造物取付用片面）

5-3 歩道（舗装・切下げ・乗入）

ページ番号	タイトル
5-3-1	歩道舗装工（ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄ工）
5-3-2	歩道舗装工（ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ工）
5-3-3	歩道舗装工（平板ブロック工）
5-3-4	歩道切下げ標準図（1）
5-3-5	歩道切下げ標準図（2）
5-3-6	視覚障害者誘導用ブロック設置工（1）
5-3-7	視覚障害者誘導用ブロック設置工（2）
5-3-8	視覚障害者誘導用ブロック設置工（3）
5-3-9	歩道乗入部　平面図①②
5-3-10	歩道乗入部　平面図③④
5-3-11	歩道乗入部　平面図⑤⑥

標準構造図集目次　令和8年4月1日

5-4 照明工

ページ番号	タイトル
5-4-1	一般街路灯（防犯灯）設置工 （LED20VA・FL20W・FHP32W独立柱　h=5.5）
5-4-2	一般街路灯（防犯灯）設置工 （LED20VA・FL20W・FHP32W独立柱　h=6.35）
5-4-3	道路照明灯設置工（LED40VA・HF100W　添架式）
5-4-4	道路照明灯設置工（LED40VA・HF100W　独立柱）
5-4-5	道路照明灯設置工（LED60VA・HF200W　添架式）
5-4-6	道路照明灯設置工（LED60VA・HF200W　独立柱）
5-4-7	道路照明灯設置工（LED100VA・HF300，400w　添架式8-18BE）
5-4-8	道路照明灯設置工（LED100VA・HF300，400w　添架式10-21BE）
5-4-9	道路照明灯設置工（LED100VA・HF300，400w　独立柱8-18B）
5-4-10	道路照明灯設置工（LED100VA・HF300，400w　独立柱10-21B）
5-4-11	道路照明灯設置工 （LED100VA・HF300，400w　独立柱　2灯用　8-18YB）
5-4-12	道路照明灯設置工 （LED100VA・HF300，400w　独立柱　2灯用　10-21YB）
5-4-13	照明施設基礎工
5-4-14	道路照明灯基礎工（1）（LED100VAｱｰｽｵｰｶﾞｰ掘削）
5-4-15	道路照明灯設置工
5-4-16	道路照明灯基礎工（2）

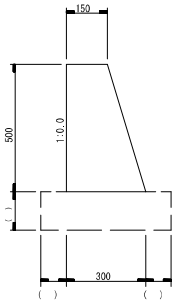
5-5　路肩構造図

ページ番号	タイトル
5-5-1	路肩構造図

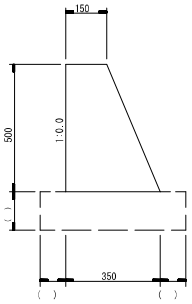
［場所打擁壁工（構造物単位）、小型擁壁工（高さ50㎝未満）］
－小型重力式コンクリート擁壁

断　面　図

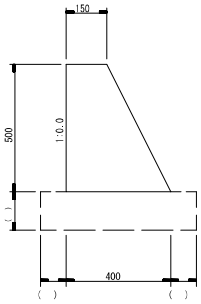
SGW　1

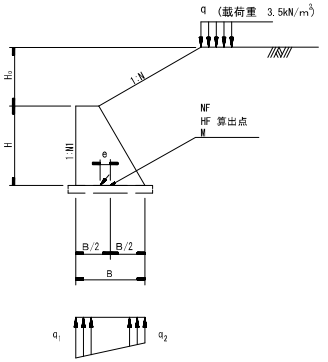


SGW　2



SGW　3





設計条件

項　　目		記　号	単　位	数　値
擁　壁　高		H	m	
盛　土　高		Ho	m	
裏込め土の種類		C	-	
盛　土　勾　配		1:N	-	
高　さ　比		Ho/H	-	
単位体積重量	土　砂		kN/m³	
	ｺﾝｸﾘｰﾄ		kN/m³	23
載　荷　重		q	kN/m²	
ｺﾝｸﾘｰﾄ設計基準強度		σck	N/mm²	18
滑動摩擦係数		μ	-	
滑　動　安　全　率		Fs	-	1.5

数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．６の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	NI 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	q 載荷重 (kN/m²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN･m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑　動 安全率	SGW 断面形 状番号
0.50	0.0	C1	水平	0.00	0.00	0.300	3.21	0.745	0.148	0.046	21	1	2.59	SGW 1
				0.00	3.50	0.350	4.23	1.350	0.202	0.048	22	2	1.88	SGW 2
			2.0	1.00	3.50	0.350	4.26	1.380	0.205	0.048	22	2	1.85	SGW 2
			1.8	1.00	3.50	0.350	4.44	1.560	0.215	0.048	23	2	1.71	SGW 2
			1.5	1.00	3.50	0.350	4.72	1.840	0.231	0.049	25	2	1.54	SGW 2
		C2	水平	0.00	0.00	0.350	3.67	0.887	0.187	0.051	20	1	2.48	SGW 2
				0.00	3.50	0.350	4.25	1.540	0.232	0.055	24	1	1.66	SGW 2
			2.0	1.00	3.50	0.400	5.19	1.920	0.251	0.048	22	4	1.62	SGW 3
			1.8	1.00	3.50	0.400	5.39	2.110	0.259	0.048	23	4	1.53	SGW 3

数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．５の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	NI 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	q 載荷重 (kN/m²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN･m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑　動 安全率	SGW 断面形 状番号
0.50	0.0	C1	水平	0.00	0.00	0.300	3.21	0.745	0.148	0.046	21	1	2.16	SGW 1
				0.00	3.50	0.350	4.23	1.350	0.202	0.048	22	2	1.57	SGW 2
			2.0	1.00	3.50	0.350	4.26	1.380	0.205	0.048	22	2	1.54	SGW 2
			1.8	1.00	3.50	0.400	5.17	1.690	0.215	0.042	21	5	1.53	SGW 3
		C2	水平	0.00	0.00	0.350	3.67	0.887	0.187	0.051	20	1	2.07	SGW 2
				0.00	3.50	0.400	4.86	1.600	0.237	0.049	21	3	1.51	SGW 3

材　料　表

（１ｍ当たり）

SGW 断面形状番号	H (m)	B (m)	ｺﾝｸﾘｰﾄ (m³)	型　枠 (m²)	基礎材 (m²)
SGW 1	0.50	0.30	0.113	1.022	
SGW 2	0.50	0.35	0.125	1.039	
SGW 3	0.50	0.40	0.138	1.059	

注意事項

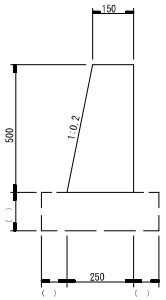
１．断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
２．本図は、１ｍあたりの設計であり、地震は考慮していない。
３．中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
４．設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
５．基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
６．伸縮目地の間隔は、１０ｍ以下とすること。また、擁壁前面にＶ字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、５ｍ以下を標準とする。
７．設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いのないようにしておくこと。
８．水抜管は、塩化ビニールパイプ（φ７５）を壁面３ｍ²につき１箇所設置すること。
９．水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

図番

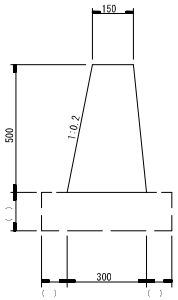
［場所打擁壁工（構造物単位）、小型擁壁工（高さ50㎝未満）］
－小型重力式コンクリート擁壁

断　面　図

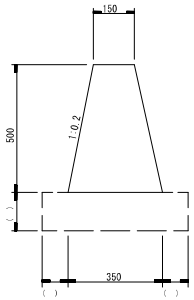
SGW　4



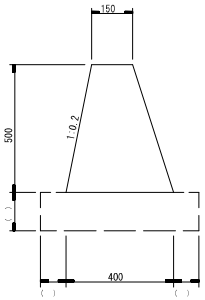
SGW　5



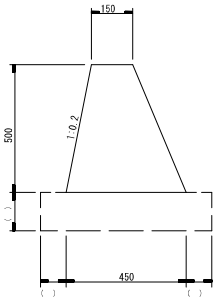
SGW　6

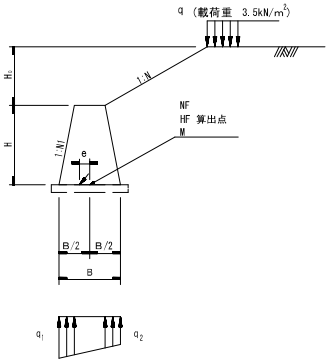


SGW　7



SGW　8





設計条件

項　　目		記　号	単　位	数　　値
擁　壁　高		H	m	
盛　土　高		Ho	m	
裏込め土の種類		C	-	
盛　土　勾　配		1:N	-	
高　さ　比		Ho/H	-	
単位体積重量	土　砂		kN/m³	
	ｺﾝｸﾘｰﾄ		kN/m³	23
載　荷　重		q	kN/m²	
ｺﾝｸﾘｰﾄ設計基準強度		σck	N/mm²	18
滑動摩擦係数		μ	-	
滑　動　安　全　率		Fs	-	1.5

数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．６の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	q 載荷重 (kN/m²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN･m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑動安全率	SGW 断面形状番号
0.50	0.2	C1	水平	0.00	0.00	0.250	2.54	0.561	0.011	0.004	11	9	2.72	SGW 4
				0.00	3.50	0.250	2.71	0.954	0.055	0.020	16	6	1.71	SGW 4
			2.0	1.00	3.50	0.250	2.67	0.868	0.045	0.017	15	6	1.85	SGW 4
			1.8	1.00	3.50	0.250	2.72	0.966	0.056	0.021	16	5	1.69	SGW 4
			1.5	1.00	3.50	0.350	3.94	1.540	0.106	0.027	16	6	1.54	SGW 6
		C2	水平	0.00	0.00	0.250	2.54	0.664	0.028	0.011	13	8	2.30	SGW 4
				0.00	3.50	0.300	3.20	1.270	0.101	0.032	17	4	1.52	SGW 5
			2.0	1.00	3.50	0.350	3.80	1.510	0.122	0.032	17	5	1.51	SGW 6
			1.8	1.00	3.50	0.450	5.22	1.980	0.122	0.023	15	8	1.58	SGW 8

数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．５の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	q 載荷重 (kN/m²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN･m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑動安全率	SGW 断面形状番号
0.50	0.2	C1	水平	0.00	0.00	0.250	2.54	0.561	0.011	0.004	11	9	2.27	SGW 4
				0.00	3.50	0.350	3.69	1.170	0.081	0.022	14	7	1.57	SGW 6
			2.0	1.00	3.50	0.350	3.65	1.120	0.077	0.021	14	7	1.63	SGW 6
			1.8	1.00	3.50	0.400	4.35	1.410	0.091	0.021	14	7	1.54	SGW 7
		C2	水平	0.00	0.00	0.250	2.54	0.664	0.028	0.011	13	8	1.92	SGW 4
				0.00	3.50	0.450	4.83	1.540	0.111	0.023	14	7	1.57	SGW 8

材　料　表

（１ｍ当たり）

SGW 断面形状番号	H (m)	B (m)	ｺﾝｸﾘｰﾄ (m³)	型　枠 (m²)	基礎材 (m²)
SGW 4	0.50	0.25	0.100	1.010	
SGW 5	0.50	0.30	0.113	1.012	
SGW 6	0.50	0.35	0.125	1.020	
SGW 7	0.50	0.40	0.138	1.032	
SGW 8	0.50	0.45	0.150	1.048	

注意事項

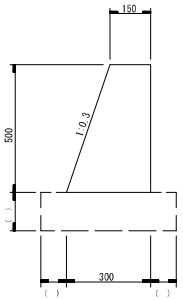
１．断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
２．本図は、１ｍあたりの設計であり、地震は考慮していない。
３．中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
４．設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
５．基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
６．伸縮目地の間隔は、１０ｍ以下とすること。また、擁壁前面にＶ字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、５ｍ以下を標準とする。
７．設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いのないようにしておくこと。
８．水抜管は、塩化ビニールパイプ（φ７５）を壁面３ｍ²につき１箇所設置すること。
９．水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

図番

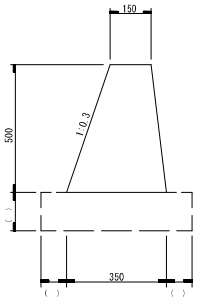
［場所打擁壁工（構造物単位）、小型擁壁工（高さ50㎝未満）］
－小型重力式コンクリート擁壁

断　面　図

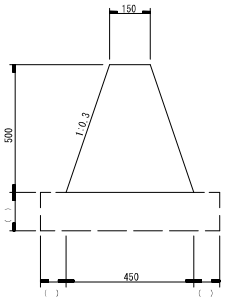
SGW　9

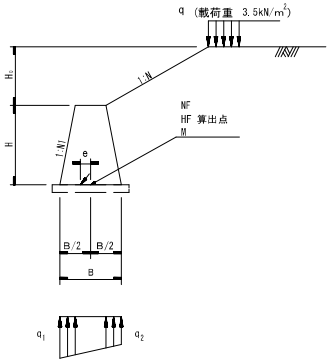


SGW　10



SGW　11





設計条件

項　目		記号	単位	数　値
擁　壁　高		H	m	
盛　土　高		H₀	m	
裏込め土の種類		C	-	
盛　土　勾　配		1:N	-	
高　さ　比		H₀/H	-	
単位体積重量	土　砂		kN/m³	
	ｺﾝｸﾘｰﾄ		kN/m³	23
載　荷　重		q	kN/m²	
ｺﾝｸﾘｰﾄ設計基準強度		σck	N/mm²	18
滑動摩擦係数		μ	-	
滑　動　安　全　率		Fs	-	1.5

数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．６の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	H₀/H 高さ比	q 載荷重 (kN/m²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN･m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑　動 安全率	SGW 断面形 状番号
0.50	0.3	C1	水平	0.00	0.00	0.300	2.83	0.561	−0.029	−0.010	7	11	3.03	SGW 9
				0.00	3.50	0.300	3.00	0.954	0.011	0.004	11	9	1.89	SGW 9
			2.0	1.00	3.50	0.300	2.96	0.868	0.002	0.001	10	10	2.05	SGW 9
			1.8	1.00	3.50	0.300	3.00	0.966	0.012	0.004	11	9	1.87	SGW 9
			1.5	1.00	3.50	0.300	3.11	1.210	0.037	0.012	13	8	1.54	SGW 9
		C2	水平	0.00	0.00	0.300	2.83	0.664	−0.012	−0.004	9	10	2.56	SGW 9
				0.00	3.50	0.300	3.01	1.150	0.043	0.014	13	7	1.57	SGW 9
			2.0	1.00	3.50	0.350	3.53	1.370	0.061	0.017	13	7	1.55	SGW 10
			1.8	1.00	3.50	0.450	4.82	1.840	0.067	0.014	13	9	1.57	SGW 11

数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．５の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	H₀/H 高さ比	q 載荷重 (kN/m²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN･m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑　動 安全率	SGW 断面形 状番号
0.50	0.3	C1	水平	0.00	0.00	0.300	2.83	0.561	−0.029	−0.010	7	11	2.52	SGW 9
				0.00	3.50	0.300	3.00	0.954	0.011	0.004	11	9	1.57	SGW 9
			2.0	1.00	3.50	0.300	2.96	0.868	0.002	0.001	10	10	1.71	SGW 9
			1.8	1.00	3.50	0.300	3.00	0.966	0.012	0.004	11	9	1.55	SGW 9
		C2	水平	0.00	0.00	0.300	2.83	0.664	−0.012	−0.004	9	10	2.13	SGW 9
				0.00	3.50	0.450	4.54	1.460	0.053	0.012	12	9	1.55	SGW 11

材　料　表

（１ｍ当たり）

SGW 断面形状番号	H (m)	B (m)	ｺﾝｸﾘｰﾄ (m³)	型　枠 (m²)	基礎材 (m²)
SGW 9	0.50	0.30	0.113	1.022	
SGW 10	0.50	0.35	0.125	1.025	
SGW 11	0.50	0.45	0.150	1.044	

注意事項

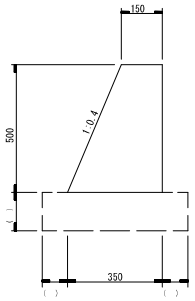
１．断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
２．本図は、１ｍあたりの設計であり、地震は考慮していない。
３．中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
４．設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
５．基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
６．伸縮目地の間隔は、１０ｍ以下とすること。また、擁壁前面にＶ字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、５ｍ以下を標準とする。
７．設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いのないようにしておくこと。
８．水抜管は、塩化ビニールパイプ（φ７５）を壁面３ｍ²につき１箇所設置すること。
９．水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

図番

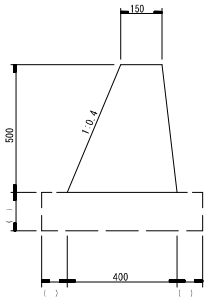
［場所打擁壁工（構造物単位）、小型擁壁工（高さ50cm未満）］
－小型重力式コンクリート擁壁

断　面　図

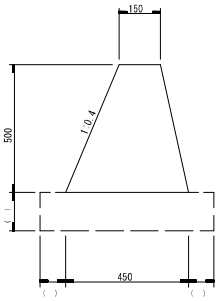
SGW　12

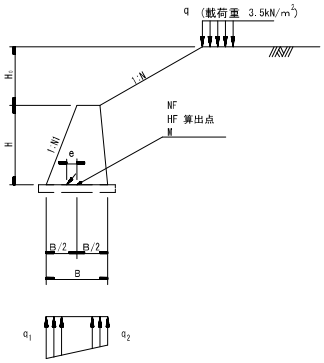


SGW　13



SGW　14





設計条件

項　　目		記　号	単　位	数　　値
擁　壁　高		H	m	
盛　土　高		H₀	m	
裏込め土の種類		C	-	
盛　土　勾　配		1:N	-	
高　さ　比		H₀/H	-	
単位体積重量	土　砂		kN/m³	
	ｺﾝｸﾘｰﾄ		kN/m³	23
載　荷　重		q	kN/m²	
ｺﾝｸﾘｰﾄ設計基準強度		σck	N/mm²	18
滑動摩擦係数		μ	-	
滑　動　安　全　率		Fs	-	1.5

数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．６の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	H₀/H 高さ比	q 載荷重 (kN/m²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN･m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑動安全率	SGW 断面形状番号
0.50	0.4	C1	水平	0.00	0.00	0.350	3.12	0.561	-0.073	-0.024	5	13	3.33	SGW 12
				0.00	3.50	0.350	3.29	0.954	-0.038	-0.011	8	11	2.07	SGW 12
			2.0	1.00	3.50	0.350	3.25	0.868	-0.045	-0.014	7	12	2.25	SGW 12
			1.8	1.00	3.50	0.350	3.29	0.966	-0.036	-0.011	8	11	2.04	SGW 12
			1.5	1.00	3.50	0.350	3.40	1.210	-0.014	-0.004	9	10	1.68	SGW 12
		C2	水平	0.00	0.00	0.350	3.12	0.664	-0.056	-0.018	6	12	2.82	SGW 12
				0.00	3.50	0.350	3.29	1.150	-0.006	-0.002	9	10	1.72	SGW 12
			2.0	1.00	3.50	0.350	3.32	1.220	0.001	0.000	10	9	1.63	SGW 12
			1.8	1.00	3.50	0.400	3.90	1.540	0.020	0.005	11	9	1.52	SGW 13

数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．５の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	H₀/H 高さ比	q 載荷重 (kN/m²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN･m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑動安全率	SGW 断面形状番号
0.50	0.4	C1	水平	0.00	0.00	0.350	3.12	0.561	-0.073	-0.024	5	13	2.78	SGW 12
				0.00	3.50	0.350	3.29	0.954	-0.038	-0.011	8	11	1.72	SGW 12
			2.0	1.00	3.50	0.350	3.25	0.868	-0.045	-0.014	7	12	1.87	SGW 12
			1.8	1.00	3.50	0.350	3.29	0.966	-0.036	-0.011	8	11	1.70	SGW 12
		C2	水平	0.00	0.00	0.350	3.12	0.664	-0.056	-0.018	6	12	2.35	SGW 12
				0.00	3.50	0.450	4.28	1.370	-0.003	-0.001	9	10	1.56	SGW 14

材　料　表

（１ｍ当たり）

SGW 断面形状番号	H (m)	B (m)	ｺﾝｸﾘｰﾄ (m³)	型　枠 (m²)	基礎材 (m²)
SGW 12	0.50	0.35	0.125	1.039	
SGW 13	0.50	0.40	0.138	1.041	
SGW 14	0.50	0.45	0.150	1.048	

注意事項

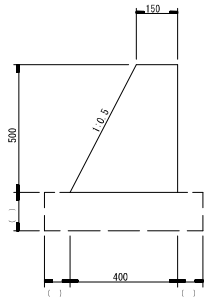
１．断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
２．本図は、１ｍあたりの設計であり、地震は考慮していない。
３．中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
４．設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
５．基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
６．伸縮目地の間隔は、１０ｍ以下とすること。また、擁壁前面にＶ字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、５ｍ以下を標準とする。
７．設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いのないようにしておくこと。
８．水抜管は、塩化ビニールパイプ（φ７５）を壁面３ｍ²につき１箇所設置すること。
９．水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

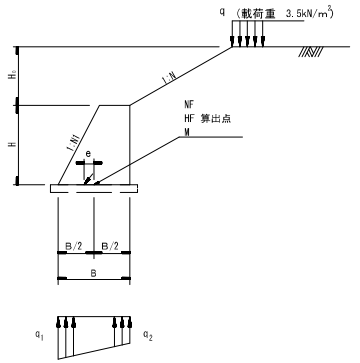
図番

［場所打擁壁工（構造物単位）、小型擁壁工（高さ50cm未満）］
－小型重力式コンクリート擁壁

断　面　図

SGW　15





設計条件

項　　目		記　号	単　位	数　値
擁　壁　高		H	m	
盛　土　高		Ho	m	
裏込め土の種類		C	-	
盛　土　勾　配		1:N	-	
高　さ　比		Ho/H	-	
単位体積重量	土　砂		kN/m³	
	ｺﾝｸﾘｰﾄ		kN/m³	23
載　荷　重		q	kN/m²	
ｺﾝｸﾘｰﾄ設計基準強度		σck	N/mm²	18
滑動摩擦係数		μ	-	
滑　動　安　全　率		Fs	-	1.5

数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．６の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	q 載荷重 (kN/m²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN･m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑　動 安全率	SGW 断面形 状番号
0.50	0.5	C1	水平	0.00	0.00	0.400	3.40	0.561	−0.123	−0.036	4	13	3.64	SGW 15
				0.00	3.50	0.400	3.57	0.954	−0.091	−0.025	6	12	2.25	SGW 15
			2.0	1.00	3.50	0.400	3.54	0.868	−0.098	−0.028	5	13	2.44	SGW 15
			1.8	1.00	3.50	0.400	3.58	0.966	−0.090	−0.025	6	12	2.22	SGW 15
			1.5	1.00	3.50	0.400	3.69	1.210	−0.070	−0.019	7	12	1.82	SGW 15
		C2	水平	0.00	0.00	0.400	3.40	0.664	−0.105	−0.031	5	12	3.08	SGW 15
				0.00	3.50	0.400	3.58	1.150	−0.060	−0.017	7	11	1.86	SGW 15
			2.0	1.00	3.50	0.400	3.61	1.220	−0.053	−0.015	7	11	1.77	SGW 15
			1.8	1.00	3.50	0.400	3.67	1.390	−0.037	−0.010	8	11	1.59	SGW 15

材　料　表

（１ｍ当たり）

SGW 断面形状番号	H (m)	B (m)	ｺﾝｸﾘｰﾄ (m³)	型　枠 (m²)	基礎材 (m²)
SGW 15	0.50	0.40	0.138	1.059	

数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．５の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	q 載荷重 (kN/m²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN･m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑　動 安全率	SGW 断面形 状番号
0.50	0.5	C1	水平	0.00	0.00	0.400	3.40	0.561	−0.123	−0.036	4	13	3.03	SGW 15
				0.00	3.50	0.400	3.57	0.954	−0.091	−0.025	6	12	1.87	SGW 15
			2.0	1.00	3.50	0.400	3.54	0.868	−0.098	−0.028	5	13	2.04	SGW 15
			1.8	1.00	3.50	0.400	3.58	0.966	−0.090	−0.025	6	12	1.85	SGW 15
		C2	水平	0.00	0.00	0.400	3.40	0.664	−0.105	−0.031	5	12	2.57	SGW 15
				0.00	3.50	0.400	3.58	1.150	−0.060	−0.017	7	11	1.55	SGW 15

注意事項

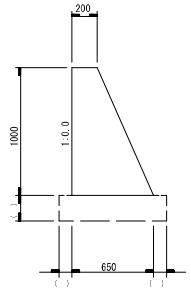
１．断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
２．本図は、１ｍあたりの設計であり、地震は考慮していない。
３．中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
４．設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
５．基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
６．伸縮目地の間隔は、１０ｍ以下とすること。また、擁壁前面にＶ字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、５ｍ以下を標準とする。
７．設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いのないようにしておくこと。
８．水抜管は、塩化ビニールパイプ（φ７５）を壁面３ｍ²につき１箇所設置すること。
９．水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

図番

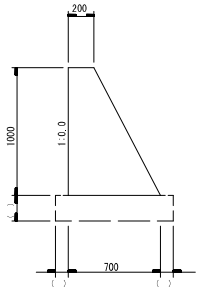
場所打擁壁工（構造物単位）－小型重力式コンクリート擁壁

断　面　図

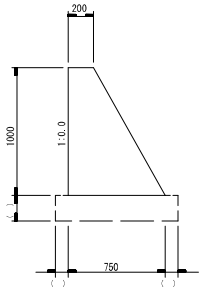
SGW　16



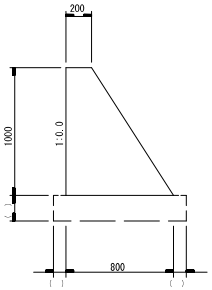
SGW　17

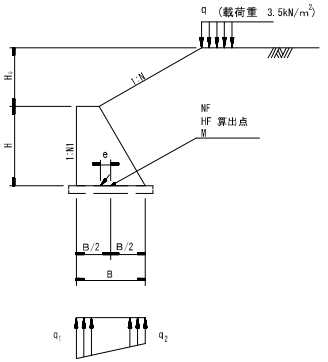


SGW　18



SGW　19





設計条件

項　目		記号	単位	数　値
擁　壁　高		H	m	
盛　土　高		Ho	m	
裏込め土の種類		C	-	
盛　土　勾　配		1:N	-	
高　さ　比		Ho/H	-	
単位体積重量	土　砂		kN/m³	
	ｺﾝｸﾘｰﾄ		kN/m³	23
載　荷　重		q	kN/m²	
ｺﾝｸﾘｰﾄ設計基準強度		σck	N/mm²	18
滑動摩擦係数		μ	-	
滑　動　安　全　率		Fs	-	1.5

数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．６の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	q 載荷重 (kN/m²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN･m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑　動 安全率	SGW 断面形 状番号
1.00	0.0	C1	水平	0.00	0.00	0.650	13.3	3.25	1.37	0.103	40	1	2.46	SGW 16
				0.00	3.50	0.650	14.6	4.38	1.53	0.105	44	1	1.99	SGW 16
			2.0	1.00	3.50	0.650	16.0	5.70	1.72	0.107	49	0	1.68	SGW 16
			1.8	1.00	3.50	0.650	16.7	6.30	1.80	0.108	51	0	1.59	SGW 16
			1.5	1.00	3.50	0.700	19.2	7.49	1.92	0.100	51	4	1.54	SGW 17
		C2	水平	0.00	0.00	0.700	14.3	3.70	1.57	0.110	40	1	2.31	SGW 17
				0.00	3.50	0.700	15.7	5.06	1.76	0.112	44	1	1.86	SGW 17
			2.0	1.00	3.50	0.750	19.6	7.61	2.08	0.106	48	4	1.55	SGW 18
			1.8	1.00	3.50	0.800	21.9	8.44	2.11	0.096	47	8	1.56	SGW 19

数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．５の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	q 載荷重 (kN/m²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN･m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑　動 安全率	SGW 断面形 状番号
1.00	0.0	C1	水平	0.00	0.00	0.650	13.3	3.25	1.37	0.103	40	1	2.05	SGW 16
				0.00	3.50	0.650	14.6	4.38	1.53	0.105	44	1	1.66	SGW 16
			2.0	1.00	3.50	0.750	18.9	6.18	1.75	0.093	44	7	1.53	SGW 18
			1.8	1.00	3.50	0.800	21.2	6.98	1.76	0.083	43	10	1.52	SGW 19
		C2	水平	0.00	0.00	0.700	14.3	3.70	1.57	0.110	40	1	1.93	SGW 17
				0.00	3.50	0.700	15.7	5.06	1.76	0.112	44	1	1.55	SGW 17

材　料　表

（１ｍ当たり）

SGW 断面形状番号	H (m)	B (m)	ｺﾝｸﾘｰﾄ (m³)	型　枠 (m²)	基礎材 (m²)
SGW 16	1.00	0.65	0.425	2.097	
SGW 17	1.00	0.70	0.450	2.118	
SGW 18	1.00	0.75	0.475	2.141	
SGW 19	1.00	0.80	0.500	2.166	

注意事項

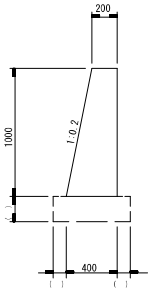
１．断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
２．本図は、１ｍあたりの設計であり、地震は考慮していない。
３．中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
４．設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
５．基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
６．伸縮目地の間隔は、１０ｍ以下とすること。また、擁壁前面にＶ字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、５ｍ以下を標準とする。
７．設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いのないようにしておくこと。
８．水抜管は、塩化ビニールパイプ（φ７５）を壁面３ｍ²につき１箇所設置すること。
９．水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

図番

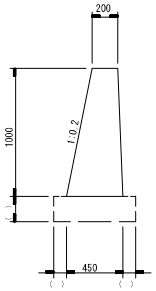
場所打擁壁工（構造物単位）－小型重力式コンクリート擁壁

断　面　図

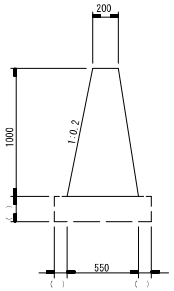
SGW　20



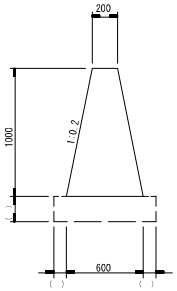
SGW　21



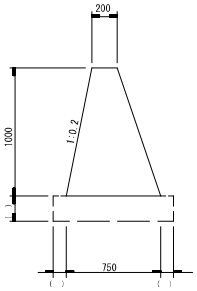
SGW　22



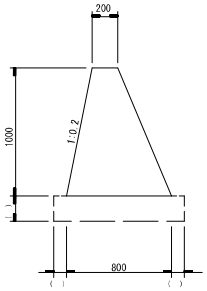
SGW　23



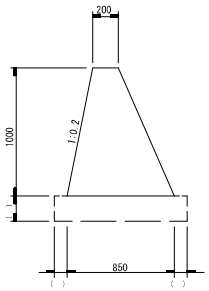
SGW　24

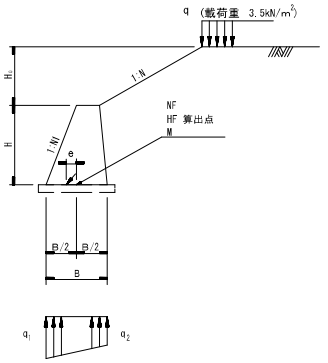


SGW　25



SGW　26





設計条件

項　　目		記　号	単　位	数　　値
擁　壁　高		H	m	
盛　土　高		Ho	m	
裏込め土の種類		C	-	
盛　土　勾　配		1:N	-	
高　さ　比		Ho/H	-	
単位体積重量	土　砂		kN/m³	
	ｺﾝｸﾘｰﾄ		kN/m³	23
載　荷　重		q	kN/m²	
ｺﾝｸﾘｰﾄ設計基準強度		σck	N/mm²	18
滑動摩擦係数		μ	-	
滑　動　安　全　率		Fs	-	1.5

数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．６の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	q 載荷重 (kN/m²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN･m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑動 安全率	SGW 断面形状番号
1.00	0.2	C1	水平	0.00	0.00	0.400	7.87	2.24	0.248	0.031	29	10	2.10	SGW 20
				0.00	3.50	0.400	8.21	3.03	0.442	0.054	37	4	1.63	SGW 20
			2.0	1.00	3.50	0.450	9.31	3.72	0.615	0.066	39	2	1.50	SGW 21
			1.8	1.00	3.50	0.600	12.60	4.95	0.851	0.067	35	7	1.53	SGW 23
			1.5	1.00	3.50	0.750	17.10	6.73	0.974	0.057	33	12	1.53	SGW 24
		C2	水平	0.00	0.00	0.400	7.87	2.65	0.385	0.049	34	5	1.78	SGW 20
				0.00	3.50	0.550	10.90	4.16	0.786	0.072	35	4	1.57	SGW 22
			2.0	1.00	3.50	0.800	17.70	6.91	1.120	0.063	33	12	1.54	SGW 25
			1.8	1.00	3.50	0.850	19.60	7.78	1.110	0.056	32	14	1.52	SGW 26

数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．５の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	q 載荷重 (kN/m²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN･m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑動 安全率	SGW 断面形状番号
1.00	0.2	C1	水平	0.00	0.00	0.400	7.87	2.24	0.248	0.031	29	10	1.75	SGW 20
				0.00	3.50	0.550	10.80	3.56	0.598	0.055	32	8	1.52	SGW 22
			2.0	1.00	3.50	0.750	15.70	5.20	0.828	0.053	30	12	1.51	SGW 24
			1.8	1.00	3.50	0.850	19.00	6.30	0.804	0.042	29	16	1.51	SGW 26
		C2	水平	0.00	0.00	0.450	8.65	2.79	0.440	0.051	32	6	1.55	SGW 21
				0.00	3.50	0.750	14.80	4.74	0.909	0.061	29	10	1.56	SGW 24

材　料　表

（１ｍ当たり）

SGW 断面形状番号	H (m)	B (m)	ｺﾝｸﾘｰﾄ (m³)	型　枠 (m²)	基礎材 (m²)
SGW 20	1.00	0.40	0.300	2.020	
SGW 21	1.00	0.45	0.325	2.021	
SGW 22	1.00	0.55	0.375	2.031	
SGW 23	1.00	0.60	0.400	2.040	
SGW 24	1.00	0.75	0.475	2.079	
SGW 25	1.00	0.80	0.500	2.097	
SGW 26	1.00	0.85	0.525	2.116	

注意事項

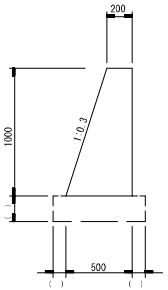
１．断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
２．本図は、１ｍあたりの設計であり、地震は考慮していない。
３．中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
４．設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
５．基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
６．伸縮目地の間隔は、１０ｍ以下とすること。また、擁壁前面にＶ字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、５ｍ以下を標準とする。
７．設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いのないようにしておくこと。
８．水抜管は、塩化ビニールパイプ（φ７５）を壁面３ｍ²につき１箇所設置すること。
９．水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

図番

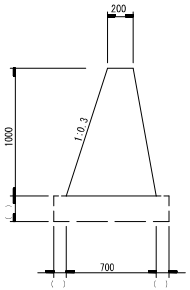
場所打擁壁工（構造物単位）－小型重力式コンクリート擁壁

断　面　図

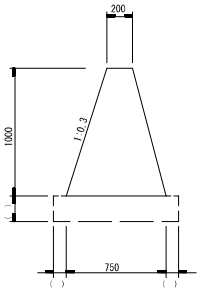
SGW　27



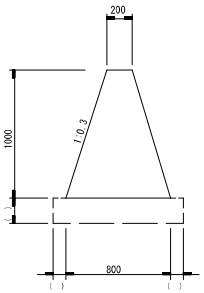
SGW　28



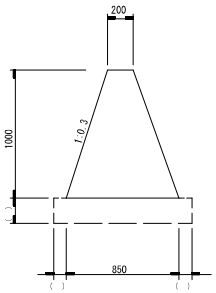
SGW　29



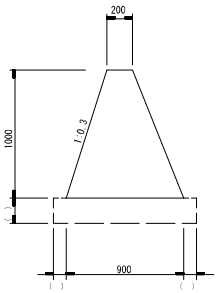
SGW　30

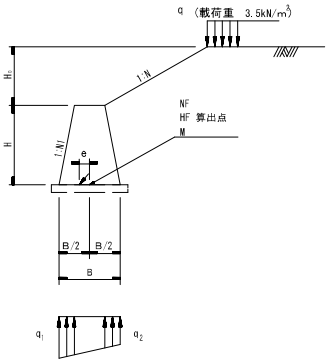


SGW　31



SGW　32





設計条件

項　　目		記　号	単　位	数　値
擁　壁　高		H	m	
盛　土　高		Ho	m	
裏込め土の種類		C	-	
盛　土　勾　配		1:N	-	
高　さ　比		Ho/H	-	
単位体積重量	土　砂		kN/m³	
	ｺﾝｸﾘｰﾄ		kN/m³	23
載　荷　重		q	kN/m²	
ｺﾝｸﾘｰﾄ設計基準強度		σck	N/mm²	18
滑動摩擦係数		μ	-	
滑　動　安　全　率		Fs	-	1.5

数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．６の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	q 載荷重 (kN/m²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑動安全率	SGW 断面形状番号
1.00	0.3	C1	水平	0.00	0.00	0.500	9.02	2.24	-0.011	-0.001	18	18	2.41	SGW 27
				0.00	3.50	0.500	9.36	3.03	0.166	0.018	23	15	1.85	SGW 27
			2.0	1.00	3.50	0.500	9.55	3.47	0.265	0.028	25	13	1.65	SGW 27
			1.8	1.00	3.50	0.500	9.69	3.80	0.340	0.035	28	11	1.53	SGW 27
			1.5	1.00	3.50	0.750	15.60	6.16	0.571	0.037	27	15	1.52	SGW 29
		C2	水平	0.00	0.00	0.500	9.02	2.65	0.126	0.014	21	15	2.04	SGW 27
				0.00	3.50	0.500	9.37	3.63	0.363	0.039	27	10	1.55	SGW 27
			2.0	1.00	3.50	0.800	16.30	6.39	0.701	0.043	27	14	1.53	SGW 30
			1.8	1.00	3.50	0.900	19.40	7.53	0.627	0.032	26	17	1.54	SGW 32

数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．５の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	q 載荷重 (kN/m²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑動安全率	SGW 断面形状番号
1.00	0.3	C1	水平	0.00	0.00	0.500	9.02	2.24	-0.011	-0.001	18	18	2.01	SGW 27
				0.00	3.50	0.500	9.36	3.03	0.166	0.018	23	15	1.54	SGW 27
			2.0	1.00	3.50	0.700	13.40	4.47	0.404	0.030	24	14	1.50	SGW 28
			1.8	1.00	3.50	0.850	17.40	5.78	0.406	0.023	24	17	1.50	SGW 31
		C2	水平	0.00	0.00	0.500	9.02	2.65	0.126	0.014	21	15	1.70	SGW 27
				0.00	3.50	0.700	13.00	4.32	0.484	0.037	24	13	1.50	SGW 28

材　料　表

（１ｍ当たり）

SGW 断面形状番号	H (m)	B (m)	ｺﾝｸﾘｰﾄ (m³)	型　枠 (m²)	基礎材 (m²)
SGW 27	1.00	0.50	0.350	2.044	
SGW 28	1.00	0.70	0.450	2.064	
SGW 29	1.00	0.75	0.475	2.075	
SGW 30	1.00	0.80	0.500	2.088	
SGW 31	1.00	0.85	0.525	2.104	
SGW 32	1.00	0.90	0.550	2.121	

注意事項

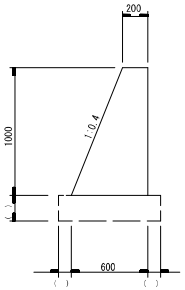
１．断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
２．本図は、１ｍあたりの設計であり、地震は考慮していない。
３．中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
４．設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
５．基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
６．伸縮目地の間隔は、１０ｍ以下とすること。また、擁壁前面にＶ字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、５ｍ以下を標準とする。
７．設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いのないようにしておくこと。
８．水抜管は、塩化ビニールパイプ（φ７５）を壁面３ｍ²につき１箇所設置すること。
９．水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

図番

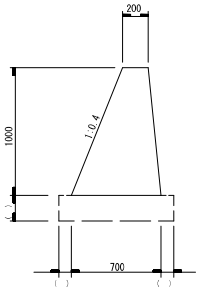
場所打擁壁工（構造物単位）－小型重力式コンクリート擁壁

断　面　図

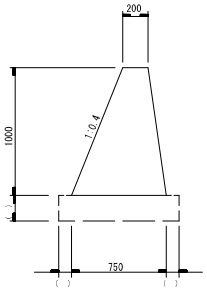
SGW　33



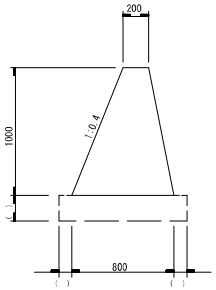
SGW　34



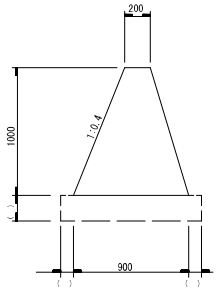
SGW　35

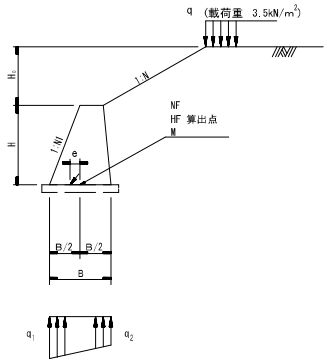


SGW　36



SGW　37





設計条件

項　目		記 号	単 位	数　値
擁　壁　高		H	m	
盛　土　高		Ho	m	
裏込め土の種類		C	-	
盛　土　勾　配		1:N	-	
高　さ　比		Ho/H	-	
単位体積重量	土　砂		kN/m³	
	ｺﾝｸﾘｰﾄ		kN/m³	23
載　荷　重		q	kN/m²	
ｺﾝｸﾘｰﾄ設計基準強度		σck	N/mm²	18
滑動摩擦係数		μ	-	
滑　動　安　全　率		Fs	-	1.5

数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．６の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	q 載荷重 (kN/m²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN･m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑　動 安全率	SGW 断面形 状番号
1.00	0.4	C1	水平	0.00	0.00	0.600	10.2	2.24	−0.309	−0.030	12	22	2.72	SGW 33
				0.00	3.50	0.600	10.5	3.03	−0.149	−0.014	15	20	2.08	SGW 33
			2.0	1.00	3.50	0.600	10.7	3.47	−0.059	−0.005	17	19	1.85	SGW 33
			1.8	1.00	3.50	0.600	10.8	3.80	0.009	0.001	18	18	1.71	SGW 33
			1.5	1.00	3.50	0.700	13.3	5.26	0.195	0.015	21	17	1.51	SGW 34
		C2	水平	0.00	0.00	0.600	10.2	2.65	−0.172	−0.017	14	20	2.30	SGW 33
				0.00	3.50	0.600	10.5	3.63	0.047	0.005	18	17	1.74	SGW 33
			2.0	1.00	3.50	0.750	14.0	5.58	0.323	0.023	22	15	1.50	SGW 35
			1.8	1.00	3.50	0.900	17.9	7.01	0.259	0.014	22	18	1.53	SGW 37

数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．５の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	q 載荷重 (kN/m²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN･m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑　動 安全率	SGW 断面形 状番号
1.00	0.4	C1	水平	0.00	0.00	0.600	10.2	2.24	−0.309	−0.030	12	22	2.27	SGW 33
				0.00	3.50	0.600	10.5	3.03	−0.149	−0.014	15	20	1.73	SGW 33
			2.0	1.00	3.50	0.600	10.7	3.47	−0.059	−0.005	17	19	1.54	SGW 33
			1.8	1.00	3.50	0.800	14.9	4.95	0.050	0.003	19	18	1.51	SGW 36
		C2	水平	0.00	0.00	0.600	10.2	2.65	−0.172	−0.017	14	20	1.92	SGW 33
				0.00	3.50	0.700	12.3	3.99	0.089	0.007	19	16	1.54	SGW 34

材　料　表

（１ｍ当たり）

SGW 断面形状番号	H (m)	B (m)	ｺﾝｸﾘｰﾄ (m³)	型　枠 (m²)	基礎材 (m²)
SGW 33	1.00	0.60	0.400	2.077	
SGW 34	1.00	0.70	0.450	2.082	
SGW 35	1.00	0.75	0.475	2.088	
SGW 36	1.00	0.80	0.500	2.097	
SGW 37	1.00	0.90	0.550	2.121	

注意事項

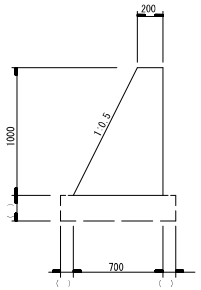
１．断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
２．本図は、１ｍあたりの設計であり、地震は考慮していない。
３．中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
４．設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
５．基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
６．伸縮目地の間隔は、１０ｍ以下とすること。また、擁壁前面にＶ字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、５ｍ以下を標準とする。
７．設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いのないようにしておくこと。
８．水抜管は、塩化ビニールパイプ（φ７５）を壁面３ｍ²につき１箇所設置すること。
９．水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

図番

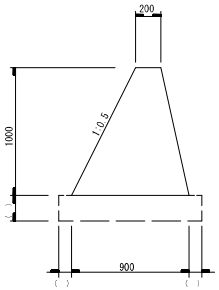
場所打擁壁工（構造物単位）－小型重力式コンクリート擁壁

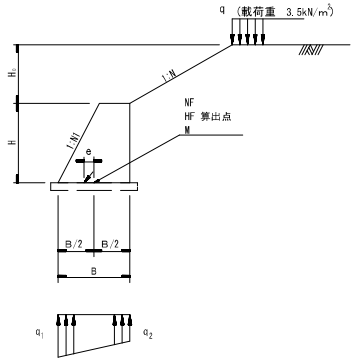
断　面　図

SGW　38



SGW　39





設計条件

項　　目		記　号	単　位	数　値
擁　壁　高		H	m	
盛　土　高		Ho	m	
裏込め土の種類		C	-	
盛　土　勾　配		1:N	-	
高　さ　比		Ho/H	-	
単位体積重量	土　砂		kN/m³	
	ｺﾝｸﾘｰﾄ		kN/m³	23
載　荷　重		q	kN/m²	
ｺﾝｸﾘｰﾄ設計基準強度		σck	N/mm²	18
滑動摩擦係数		μ	-	
滑　動　安　全　率		Fs	-	1.5

数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．６の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	q 載荷重 (kN/m²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN･m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑　動 安全率	SGW 断面形 状番号
1.00	0.5	C1	水平	0.00	0.00	0.700	11.3	2.24	−0.645	−0.057	8	24	3.03	SGW 38
				0.00	3.50	0.700	11.7	3.03	−0.502	−0.043	11	23	2.31	SGW 38
			2.0	1.00	3.50	0.700	11.8	3.47	−0.421	−0.036	12	22	2.05	SGW 38
			1.8	1.00	3.50	0.700	12.0	3.80	−0.361	−0.030	13	22	1.89	SGW 38
			1.5	1.00	3.50	0.700	12.4	4.64	−0.208	−0.017	15	20	1.60	SGW 38
		C2	水平	0.00	0.00	0.700	11.3	2.65	−0.508	−0.045	10	22	2.56	SGW 38
				0.00	3.50	0.700	11.7	3.63	−0.306	−0.026	13	20	1.93	SGW 38
			2.0	1.00	3.50	0.700	12.1	4.74	−0.078	−0.006	16	18	1.53	SGW 38
			1.8	1.00	3.50	0.900	16.6	6.46	−0.100	−0.006	18	19	1.54	SGW 39

数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．５の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	q 載荷重 (kN/m²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN･m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑　動 安全率	SGW 断面形 状番号
1.00	0.5	C1	水平	0.00	0.00	0.700	11.3	2.24	−0.645	−0.057	8	24	2.52	SGW 38
				0.00	3.50	0.700	11.7	3.03	−0.502	−0.043	11	23	1.92	SGW 38
			2.0	1.00	3.50	0.700	11.8	3.47	−0.421	−0.036	12	22	1.71	SGW 38
			1.8	1.00	3.50	0.700	12.0	3.80	−0.361	−0.030	13	22	1.58	SGW 38
		C2	水平	0.00	0.00	0.700	11.3	2.65	−0.508	−0.045	10	22	2.13	SGW 38
				0.00	3.50	0.700	11.7	3.63	−0.306	−0.026	13	20	1.61	SGW 38

材　料　表

（１ｍ当たり）

SGW 断面形状番号	H (m)	B (m)	ｺﾝｸﾘｰﾄ (m³)	型　枠 (m²)	基礎材 (m²)
SGW 38	1.00	0.70	0.450	2.118	
SGW 39	1.00	0.90	0.550	2.138	

注意事項

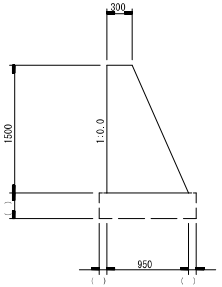
１．断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
２．本図は、１ｍあたりの設計であり、地震は考慮していない。
３．中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
４．設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
５．基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
６．伸縮目地の間隔は、１０ｍ以下とすること。また、擁壁前面にＶ字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、５ｍ以下を標準とする。
７．設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いのないようにしておくこと。
８．水抜管は、塩化ビニールパイプ（φ７５）を壁面３ｍ²につき１箇所設置すること。
９．水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

図番

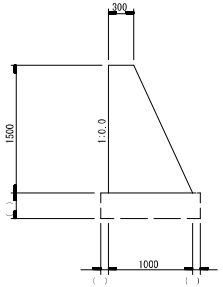
場所打擁壁工（構造物単位）－小型重力式コンクリート擁壁

断　面　図

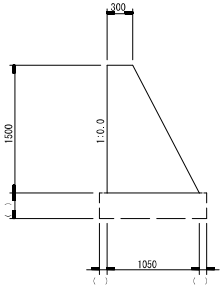
SGW　４０



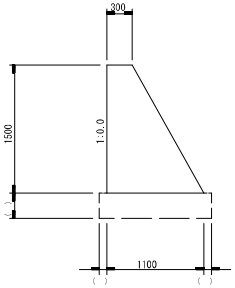
SGW　４１



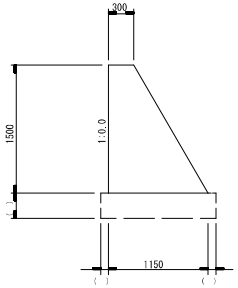
SGW　４２



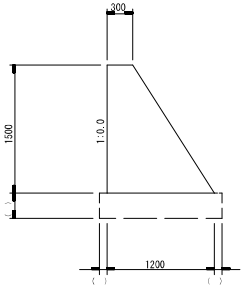
SGW　４３

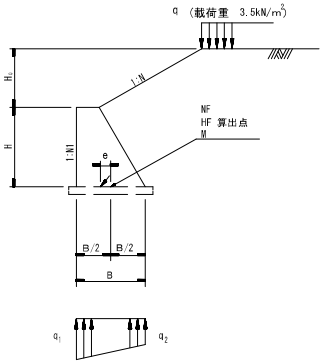


SGW　４４



SGW　４５





設計条件

項　　目		記　号	単　位	数　　値
擁　壁　高		H	m	
盛　土　高		Ho	m	
裏込め土の種類		C	-	
盛　土　勾　配		1:N	-	
高　さ　比		Ho/H	-	
単位体積重量	土　砂		kN/m³	
	ｺﾝｸﾘｰﾄ		kN/m³	23
載　荷　重		q	kN/m²	
ｺﾝｸﾘｰﾄ設計基準強度		σck	N/mm²	18
滑動摩擦係数		μ	-	
滑　動　安　全　率		Fs	-	1.5

数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．６の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	q 載荷重 (kN/m²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑　動 安全率	SGW 断面形 状番号
1.50	0.0	C1	水平	0.00	0.00	0.950	29.3	7.25	4.53	0.155	61	1	2.42	SGW 40
				0.00	3.50	0.950	31.1	8.94	4.91	0.158	65	0	2.09	SGW 40
			2.0	1.00	3.50	1.000	37.0	13.00	5.82	0.157	72	2	1.71	SGW 41
			1.8	1.00	3.50	1.000	38.4	14.20	6.07	0.158	75	2	1.62	SGW 41
			1.5	1.00	3.50	1.000	40.7	16.20	6.47	0.159	79	2	1.50	SGW 41
		C2	水平	0.00	0.00	1.050	32.1	8.32	5.30	0.165	59	2	2.31	SGW 42
				0.00	3.50	1.050	34.2	10.40	5.73	0.167	64	1	1.98	SGW 42
			2.0	1.00	3.50	1.100	42.8	16.70	7.00	0.164	74	4	1.53	SGW 43
			1.8	1.00	3.50	1.150	46.5	18.40	7.18	0.154	73	8	1.52	SGW 44

数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．５の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	q 載荷重 (kN/m²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑　動 安全率	SGW 断面形 状番号
1.50	0.0	C1	水平	0.00	0.00	0.950	29.3	7.25	4.53	0.155	61	1	2.02	SGW 40
				0.00	3.50	0.950	31.1	8.94	4.91	0.158	65	0	1.74	SGW 40
			2.0	1.00	3.50	1.100	41.3	13.70	5.89	0.143	67	8	1.51	SGW 43
			1.8	1.00	3.50	1.200	47.5	15.50	5.94	0.125	64	15	1.53	SGW 45
		C2	水平	0.00	0.00	1.050	32.1	8.32	5.30	0.165	59	2	1.93	SGW 42
				0.00	3.50	1.050	34.2	10.40	5.73	0.167	64	1	1.65	SGW 42

材　料　表

（１ｍ当たり）

SGW 断面形状番号	H (m)	B (m)	ｺﾝｸﾘｰﾄ (m³)	型　枠 (m²)	基礎材 (m²)
SGW 40	1.00	0.73	0.515	2.089	
	1.50	0.95	0.938	3.135	
SGW 41	1.00	0.77	0.535	2.105	
	1.50	1.00	0.975	3.155	
SGW 42	1.00	0.80	0.550	2.118	
	1.50	1.05	1.013	3.177	
SGW 43	1.00	0.83	0.565	2.132	
	1.50	1.10	1.050	3.200	
SGW 44	1.00	0.87	0.585	2.151	
	1.50	1.15	1.088	3.224	
SGW 45	1.00	0.90	0.600	2.166	
	1.50	1.20	1.125	3.249	

注意事項

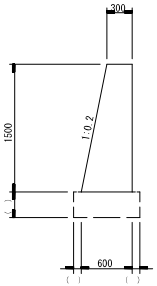
１．断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
２．本図は、１ｍあたりの設計であり、地震は考慮していない。
３．中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
４．設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
５．基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
６．伸縮目地の間隔は、１０ｍ以下とすること。また、擁壁前面にＶ字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、５ｍ以下を標準とする。
７．設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いのないようにしておくこと。
８．水抜管は、塩化ビニールパイプ（φ７５）を壁面３ｍ²につき１箇所設置すること。
９．水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

図番

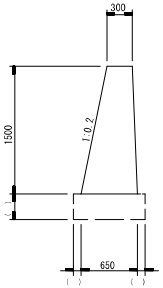
場所打擁壁工（構造物単位）－小型重力式コンクリート擁壁

断　面　図

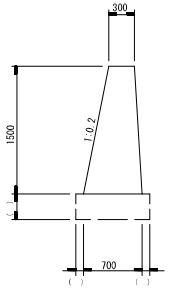
SGW　46



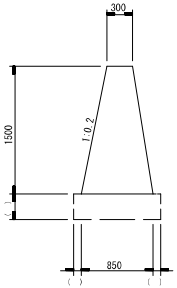
SGW　47



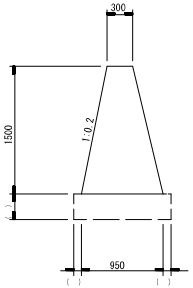
SGW　48

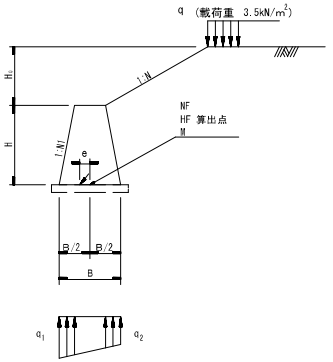


SGW　49

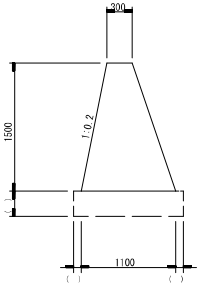


SGW　50

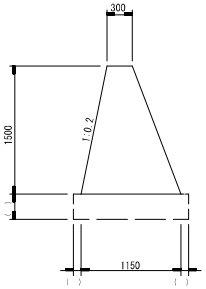




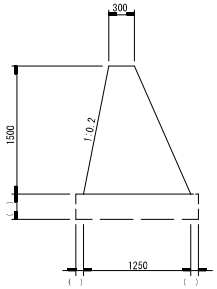
SGW　51



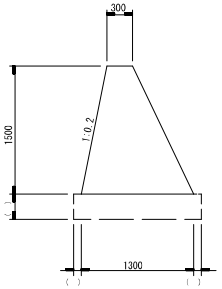
SGW　52



SGW　53



SGW　54



設計条件

項　　目		記　号	単　位	数　　値
擁　壁　高		H	m	
盛　土　高		Ho	m	
裏込め土の種類		C	-	
盛　土　勾　配		1:N	-	
高　さ　比		Ho/H	-	
単位体積重量	土　砂		kN/m³	
	ｺﾝｸﾘｰﾄ		kN/m³	23
載　荷　重		q	kN/m²	
ｺﾝｸﾘｰﾄ設計基準強度		σck	N/mm²	18
滑動摩擦係数		μ	-	
滑　動　安　全　率		Fs	-	1.5

数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．６の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	q 載荷重 (kN/m²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑動 安全率	SGW 断面形状番号
1.50	0.2	C1	水平	0.00	0.00	0.600	17.7	5.05	0.836	0.047	43	16	2.10	SGW 46
				0.00	3.50	0.600	18.2	6.23	1.270	0.070	52	9	1.75	SGW 46
			2.0	1.00	3.50	0.700	21.6	8.56	2.140	0.099	57	5	1.52	SGW 48
			1.8	1.00	3.50	0.850	26.7	10.60	2.770	0.104	54	8	1.51	SGW 49
			1.5	1.00	3.50	1.100	37.3	14.70	3.290	0.088	50	18	1.52	SGW 51
		C2	水平	0.00	0.00	0.600	17.7	5.97	1.300	0.073	51	8	1.78	SGW 46
				0.00	3.50	0.650	19.5	7.69	1.990	0.102	58	2	1.52	SGW 47
			2.0	1.00	3.50	1.150	37.7	15.00	3.800	0.101	50	15	1.51	SGW 52
			1.8	1.00	3.50	1.250	42.9	17.00	3.800	0.089	49	20	1.51	SGW 53

数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．５の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	q 載荷重 (kN/m²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑動 安全率	SGW 断面形状番号
1.50	0.2	C1	水平	0.00	0.00	0.600	17.7	5.05	0.836	0.047	43	16	1.75	SGW 46
				0.00	3.50	0.650	19.4	6.48	1.400	0.072	50	10	1.50	SGW 47
			2.0	1.00	3.50	1.150	36.3	11.90	2.790	0.077	44	19	1.53	SGW 52
			1.8	1.00	3.50	1.300	43.6	14.20	2.630	0.060	43	24	1.53	SGW 54
		C2	水平	0.00	0.00	0.650	18.9	6.17	1.420	0.075	49	9	1.53	SGW 47
				0.00	3.50	0.950	27.5	9.05	2.630	0.096	46	11	1.52	SGW 50

材　料　表

（１ｍ当たり）

SGW 断面形状番号	H (m)	B (m)	ｺﾝｸﾘｰﾄ (m³)	型　枠 (m²)	基礎材 (m²)
SGW 46	1.00	0.50	0.400	2.020	
	1.50	0.60	0.675	3.030	
SGW 47	1.00	0.53	0.415	2.020	
	1.50	0.65	0.713	3.031	
SGW 48	1.00	0.57	0.435	2.022	
	1.50	0.70	0.750	3.033	
SGW 49	1.00	0.67	0.485	2.034	
	1.50	0.85	0.863	3.050	
SGW 50	1.00	0.73	0.515	2.046	
	1.50	0.95	0.938	3.070	
SGW 51	1.00	0.83	0.565	2.073	
	1.50	1.10	1.050	3.111	
SGW 52	1.00	0.87	0.585	2.086	
	1.50	1.15	1.088	3.127	
SGW 53	1.00	0.93	0.615	2.108	
	1.50	1.25	1.163	3.164	
SGW 54	1.00	0.97	0.635	2.125	
	1.50	1.30	1.200	3.185	

注意事項

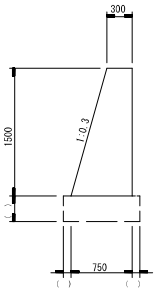
１．断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
２．本図は、１ｍあたりの設計であり、地震は考慮していない。
３．中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
４．設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
５．基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
６．伸縮目地の間隔は、１０ｍ以下とすること。また、擁壁前面にＶ字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、５ｍ以下を標準とする。
７．設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いのないようにしておくこと。
８．水抜管は、塩化ビニールパイプ（φ７５）を壁面３ｍ²につき１箇所設置すること。
９．水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

図番

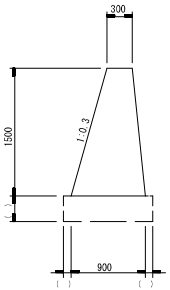
場所打擁壁工（構造物単位）－小型重力式コンクリート擁壁

断　面　図

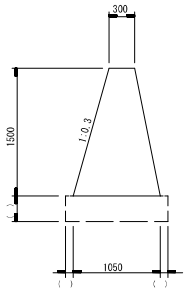
SGW　55



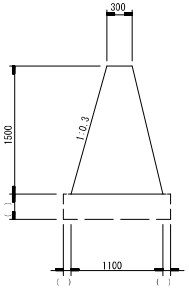
SGW　56



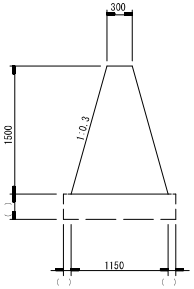
SGW　57



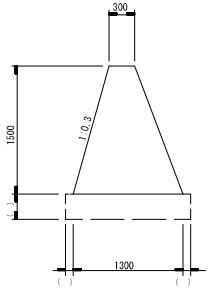
SGW　58

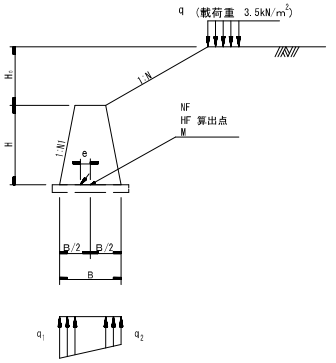


SGW　59



SGW　60





設計条件

項　　目		記　号	単　位	数　値
擁　壁　高		H	m	
盛　土　高		Ho	m	
裏込め土の種類		C	-	
盛　土　勾　配		1:N	-	
高　さ　比		Ho/H	-	
単位体積重量	土　砂		kN/m³	
	ｺﾝｸﾘｰﾄ		kN/m³	23
載　荷　重		q	kN/m²	
ｺﾝｸﾘｰﾄ設計基準強度		σck	N/mm²	18
滑動摩擦係数		μ	-	
滑　動　安　全　率		Fs	-	1.5

数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．６の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	q 載荷重 (kN/m²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN･m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑動安全率	SGW 断面形状番号
1.50	0.3	C1	水平	0.00	0.00	0.750	20.3	5.05	−0.039	−0.002	27	27	2.41	SGW 55
				0.00	3.50	0.750	20.8	6.23	0.360	0.017	32	24	2.00	SGW 55
			2.0	1.00	3.50	0.750	21.5	7.81	0.896	0.042	38	19	1.65	SGW 55
			1.8	1.00	3.50	0.750	21.8	8.52	1.140	0.052	41	17	1.53	SGW 55
			1.5	1.00	3.50	1.100	34.1	13.40	1.930	0.057	41	21	1.52	SGW 58
		C2	水平	0.00	0.00	0.750	20.3	5.97	0.424	0.021	32	23	2.04	SGW 55
				0.00	3.50	0.750	20.8	7.44	0.957	0.046	38	18	1.68	SGW 55
			2.0	1.00	3.50	1.150	34.7	13.80	2.400	0.069	41	19	1.50	SGW 59
			1.8	1.00	3.50	1.300	41.4	16.30	2.280	0.055	40	24	1.52	SGW 60

数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．５の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	q 載荷重 (kN/m²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN･m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑動安全率	SGW 断面形状番号
1.50	0.3	C1	水平	0.00	0.00	0.750	20.3	5.05	−0.039	−0.002	27	27	2.01	SGW 55
				0.00	3.50	0.750	20.8	6.23	0.360	0.017	32	24	1.67	SGW 55
			2.0	1.00	3.50	1.050	30.2	10.10	1.360	0.045	36	21	1.50	SGW 57
			1.8	1.00	3.50	1.300	40.0	13.10	1.300	0.033	35	26	1.53	SGW 60
		C2	水平	0.00	0.00	0.750	20.3	5.97	0.424	0.021	32	23	1.70	SGW 55
				0.00	3.50	0.900	24.6	8.17	1.220	0.049	36	18	1.51	SGW 56

材　料　表

（１ｍ当たり）

SGW 断面形状番号	H (m)	B (m)	ｺﾝｸﾘｰﾄ (m³)	型　枠 (m²)	基礎材 (m²)
SGW 55	1.00	0.60	0.450	2.044	
	1.50	0.75	0.788	3.066	
SGW 56	1.00	0.70	0.500	2.049	
	1.50	0.90	0.900	3.074	
SGW 57	1.00	0.80	0.550	2.064	
	1.50	1.05	1.013	3.096	
SGW 58	1.00	0.83	0.565	2.070	
	1.50	1.10	1.050	3.106	
SGW 59	1.00	0.87	0.585	2.080	
	1.50	1.15	1.088	3.118	
SGW 60	1.00	0.97	0.635	2.110	
	1.50	1.30	1.200	3.164	

注意事項

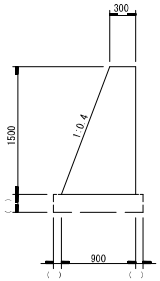
１．断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
２．本図は、１ｍあたりの設計であり、地震は考慮していない。
３．中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
４．設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
５．基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
６．伸縮目地の間隔は、１０ｍ以下とすること。また、擁壁前面にＶ字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、５ｍ以下を標準とする。
７．設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いのないようにしておくこと。
８．水抜管は、塩化ビニールパイプ（φ７５）を壁面３ｍ²につき１箇所設置すること。
９．水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

図番

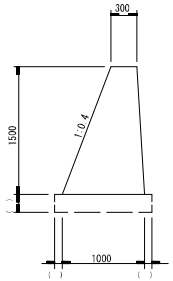
場所打擁壁工（構造物単位）－小型重力式コンクリート擁壁

断 面 図

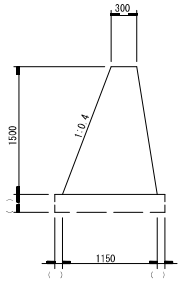
SGW 61



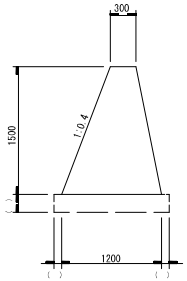
SGW 62



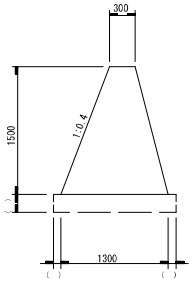
SGW 63

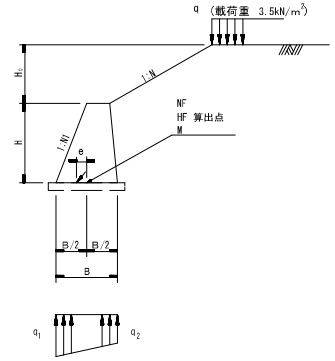


SGW 64



SGW 65





設計条件

項目		記号	単位	数値
擁壁高		H	m	
盛土高		Ho	m	
裏込め土の種類		C	-	
盛土勾配		1:N	-	
高さ比		Ho/H	-	
単位体積重量	土砂		kN/m³	
	ｺﾝｸﾘｰﾄ		kN/m³	23
載荷重		q	kN/m²	
ｺﾝｸﾘｰﾄ設計基準強度		σck	N/mm²	18
滑動摩擦係数		μ	-	
滑動安全率		Fs	-	1.5

数 値 表：滑動摩擦係数μ＝０．６の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	q 載荷重 (kN/m²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN･m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑動安全率	SGW 断面形状番号
1.50	0.4	C1	水平	0.00	0.00	0.900	22.9	5.05	-1.040	-0.046	18	33	2.72	SGW 61
				0.00	3.50	0.900	23.4	6.23	-0.683	-0.029	21	31	2.25	SGW 61
			2.0	1.00	3.50	0.900	24.1	7.81	-0.198	-0.008	25	28	1.85	SGW 61
			1.8	1.00	3.50	0.900	24.4	8.52	0.019	0.001	27	27	1.72	SGW 61
			1.5	1.00	3.50	1.000	28.2	11.20	0.621	0.022	32	24	1.51	SGW 62
		C2	水平	0.00	0.00	0.900	22.9	5.97	-0.580	-0.025	21	30	2.30	SGW 61
				0.00	3.50	0.900	23.4	7.44	-0.087	-0.004	25	27	1.89	SGW 61
			2.0	1.00	3.50	1.150	32.2	12.60	1.050	0.033	33	23	1.53	SGW 63
			1.8	1.00	3.50	1.300	38.2	15.10	1.010	0.027	33	26	1.51	SGW 65

数 値 表：滑動摩擦係数μ＝０．５の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	q 載荷重 (kN/m²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN･m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑動安全率	SGW 断面形状番号
1.50	0.4	C1	水平	0.00	0.00	0.900	22.9	5.05	-1.040	-0.046	18	33	2.27	SGW 61
				0.00	3.50	0.900	23.4	6.23	-0.683	-0.029	21	31	1.88	SGW 61
			2.0	1.00	3.50	0.900	24.1	7.81	-0.198	-0.008	25	28	1.54	SGW 61
			1.8	1.00	3.50	1.200	33.5	11.10	0.157	0.005	29	27	1.51	SGW 64
		C2	水平	0.00	0.00	0.900	22.9	5.97	-0.580	-0.025	21	30	1.92	SGW 61
				0.00	3.50	0.900	23.4	7.44	-0.087	-0.004	25	27	1.57	SGW 61

材 料 表

（１ｍ当たり）

SGW 断面形状番号	H (m)	B (m)	ｺﾝｸﾘｰﾄ (m³)	型 枠 (m²)	基礎材 (m²)
SGW 61	1.00	0.70	0.500	2.077	
	1.50	0.90	0.900	3.116	
SGW 62	1.00	0.77	0.535	2.079	
	1.50	1.00	0.975	3.119	
SGW 63	1.00	0.87	0.585	2.091	
	1.50	1.15	1.088	3.136	
SGW 64	1.00	0.90	0.600	2.097	
	1.50	1.20	1.125	3.145	
SGW 65	1.00	0.97	0.635	2.113	
	1.50	1.30	1.200	3.168	

注意事項

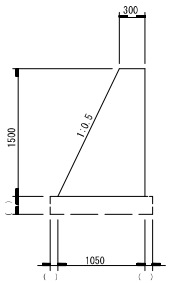
１．断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
２．本図は、１ｍあたりの設計であり、地震は考慮していない。
３．中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
４．設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
５．基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
６．伸縮目地の間隔は、１０ｍ以下とすること。また、擁壁前面にＶ字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、５ｍ以下を標準とする。
７．設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いのないようにしておくこと。
８．水抜管は、塩化ビニールパイプ（φ７５）を壁面３ｍ²につき１箇所設置すること。
９．水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

図番

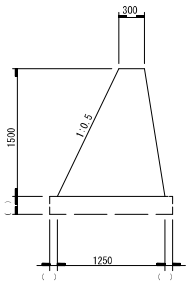
場所打擁壁工（構造物単位）－小型重力式コンクリート擁壁

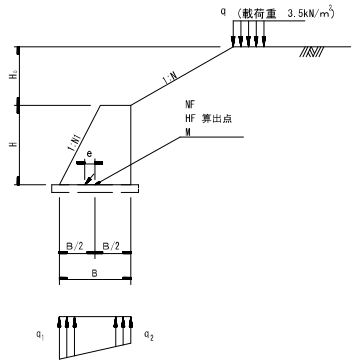
断　面　図

SGW　６６



SGW　６７





設計条件

項　　目		記　号	単　位	数　　値
擁　壁　高		H	m	
盛　土　高		Ho	m	
裏込め土の種類		C	-	
盛　土　勾　配		1:N	-	
高　さ　比		Ho/H	-	
単位体積重量	土　砂		kN/m³	
	ｺﾝｸﾘｰﾄ		kN/m³	23
載　荷　重		q	kN/m²	
ｺﾝｸﾘｰﾄ設計基準強度		σck	N/mm²	18
滑動摩擦係数		μ	-	
滑　動　安　全　率		Fs	-	1.5

数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．６の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	q 載荷重 (kN/m²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN･m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑動安全率	SGW 断面形状番号
1.50	0.5	C1	水平	0.00	0.00	1.050	25.5	5.05	−2.180	−0.085	12	36	3.03	SGW 66
				0.00	3.50	1.050	26.0	6.23	−1.850	−0.071	15	35	2.50	SGW 66
			2.0	1.00	3.50	1.050	26.7	7.81	−1.420	−0.053	18	33	2.05	SGW 66
			1.8	1.00	3.50	1.050	27.0	8.52	−1.230	−0.045	19	32	1.90	SGW 66
			1.5	1.00	3.50	1.050	27.7	10.30	−0.741	−0.027	22	30	1.62	SGW 66
		C2	水平	0.00	0.00	1.050	25.5	5.97	−1.710	−0.067	15	34	2.56	SGW 66
				0.00	3.50	1.050	26.0	7.44	−1.260	−0.048	18	32	2.10	SGW 66
			2.0	1.00	3.50	1.050	27.1	10.60	−0.288	−0.011	24	27	1.54	SGW 66
			1.8	1.00	3.50	1.250	33.8	13.50	−0.120	−0.004	27	27	1.50	SGW 67

数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．５の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	q 載荷重 (kN/m²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN･m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑動安全率	SGW 断面形状番号
1.50	0.5	C1	水平	0.00	0.00	1.050	25.5	5.05	−2.180	−0.085	12	36	2.52	SGW 66
				0.00	3.50	1.050	26.0	6.23	−1.850	−0.071	15	35	2.09	SGW 66
			2.0	1.00	3.50	1.050	26.7	7.81	−1.420	−0.053	18	33	1.71	SGW 66
			1.8	1.00	3.50	1.050	27.0	8.52	−1.230	−0.045	19	32	1.58	SGW 66
		C2	水平	0.00	0.00	1.050	25.5	5.97	−1.710	−0.067	15	34	2.13	SGW 66
				0.00	3.50	1.050	26.0	7.44	−1.260	−0.048	18	32	1.75	SGW 66

材　料　表

（１ｍ当たり）

SGW 断面形状番号	H (m)	B (m)	ｺﾝｸﾘｰﾄ (m³)	型　枠 (m²)	基礎材 (m²)
SGW 66	1.00	0.80	0.550	2.118	
	1.50	1.05	1.013	3.177	
SGW 67	1.00	0.93	0.615	2.126	
	1.50	1.25	1.163	3.190	

注意事項

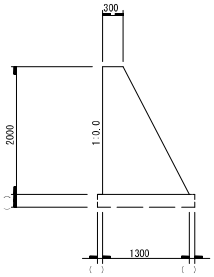
１．断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
２．本図は、１ｍあたりの設計であり、地震は考慮していない。
３．中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
４．設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
５．基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
６．伸縮目地の間隔は、１０ｍ以下とすること。また、擁壁前面にＶ字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、５ｍ以下を標準とする。
７．設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いのないようにしておくこと。
８．水抜管は、塩化ビニールパイプ（φ７５）を壁面３ｍ²につき１箇所設置すること。
９．水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

図番

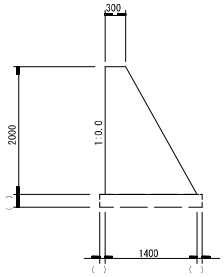
場所打擁壁工（構造物単位）－小型重力式コンクリート擁壁

断　面　図

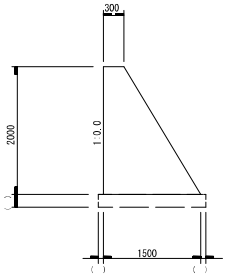
SGW　68



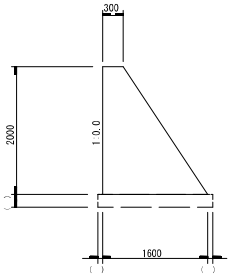
SGW　69

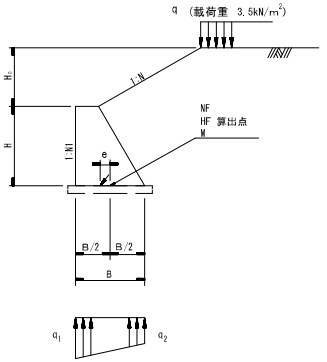


SGW　70



SGW　71





設計条件

項　　目		記　号	単　位	数　値
擁　壁　高		H	m	
盛　土　高		Ho	m	
裏込め土の種類		C	-	
盛　土　勾　配		1:N	-	
高　さ　比		Ho/H	-	
単位体積重量	土　砂		kN/m³	
	ｺﾝｸﾘｰﾄ		kN/m³	23
載　荷　重		q	kN/m²	
ｺﾝｸﾘｰﾄ設計基準強度		σck	N/mm²	18
滑動摩擦係数		μ	-	
滑　動　安　全　率		Fs	-	1.5

数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．６の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	q 載荷重 (kN/m²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑動 安全率	SGW 断面形 状番号
2.00	0.0	C1	水平	0.00	0.00	1.300	52.6	13.3	11.1	0.212	80	1	2.38	SGW 68
				0.00	3.50	1.300	55.3	15.6	11.8	0.214	84	1	2.13	SGW 68
			2.0	1.00	3.50	1.400	70.7	24.5	14.3	0.202	94	7	1.73	SGW 69
			1.8	1.00	3.50	1.400	73.4	26.7	14.8	0.201	98	7	1.65	SGW 69
			1.5	1.00	3.50	1.400	77.8	30.0	15.6	0.200	103	8	1.55	SGW 69
		C2	水平	0.00	0.00	1.400	56.3	15.0	12.7	0.226	79	1	2.25	SGW 69
				0.00	3.50	1.400	59.4	17.8	13.5	0.227	84	1	2.00	SGW 69
			2.0	1.00	3.50	1.500	79.2	30.7	16.9	0.213	98	8	1.55	SGW 70
			1.8	1.00	3.50	1.600	88.3	33.6	17.0	0.192	95	15	1.58	SGW 71

数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．５の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	q 載荷重 (kN/m²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑動 安全率	SGW 断面形 状番号
2.00	0.0	C1	水平	0.00	0.00	1.300	52.6	13.3	11.1	0.212	80	1	1.98	SGW 68
				0.00	3.50	1.300	55.3	15.6	11.8	0.214	84	1	1.77	SGW 68
			2.0	1.00	3.50	1.500	76.7	25.4	14.2	0.185	89	13	1.51	SGW 70
			1.8	1.00	3.50	1.600	86.1	28.2	14.2	0.165	87	20	1.53	SGW 71
		C2	水平	0.00	0.00	1.400	56.3	15.0	12.7	0.226	79	1	1.87	SGW 69
				0.00	3.50	1.400	59.4	17.8	13.5	0.227	84	1	1.67	SGW 69

材　料　表

（１ｍ当たり）

SGW 断面形状番号	H (m)	B (m)	ｺﾝｸﾘｰﾄ (m³)	型　枠 (m²)	基礎材 (m²)
SGW 68	1.00	0.80	0.550	2.118	
	1.50	1.05	1.013	3.177	
	2.00	1.30	1.600	4.236	
SGW 69	1.00	0.85	0.575	2.141	
	1.50	1.13	1.073	3.214	
	2.00	1.40	1.700	4.283	
SGW 70	1.00	0.90	0.600	2.166	
	1.50	1.20	1.125	3.249	
	2.00	1.50	1.800	4.332	
SGW 71	1.00	0.95	0.625	2.193	
	1.50	1.28	1.185	3.292	
	2.00	1.60	1.900	4.385	

注意事項

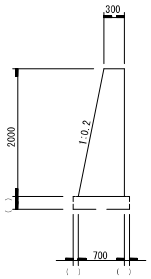
１．断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
２．本図は、１ｍあたりの設計であり、地震は考慮していない。
３．中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
４．設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
５．基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
６．伸縮目地の間隔は、１０ｍ以下とすること。また、擁壁前面にＶ字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、５ｍ以下を標準とする。
７．設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いのないようにしておくこと。
８．水抜管は、塩化ビニールパイプ（φ７５）を壁面３ｍ²につき１箇所設置すること。
９．水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

図番

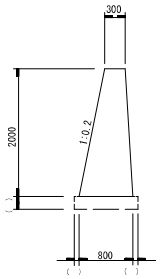
場所打擁壁工（構造物単位）－小型重力式コンクリート擁壁

断　面　図

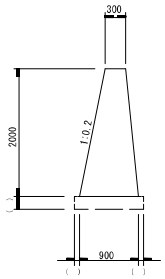
SGW　72



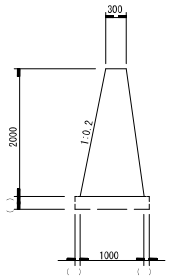
SGW　73



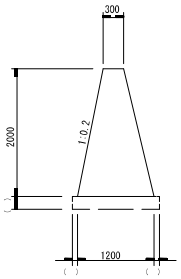
SGW　74



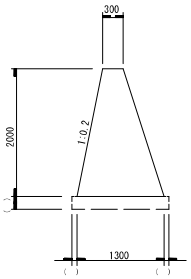
SGW　75

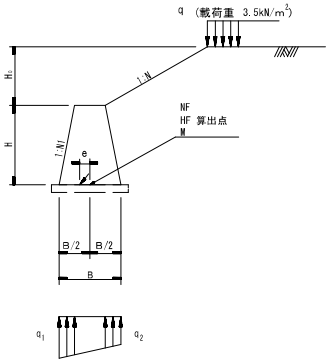


SGW　76

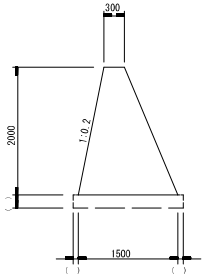


SGW　77

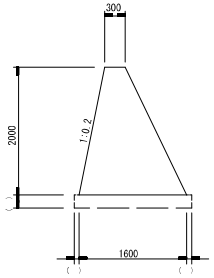




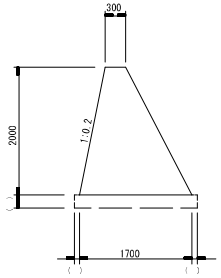
SGW　78



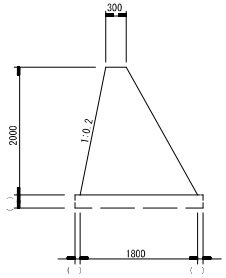
SGW　79



SGW　80



SGW　81



数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．６の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	q 載荷重 (kN/m²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑動安全率	SGW 断面形状番号
2.00	0.2	C1	水平	0.00	0.00	0.700	26.9	8.98	2.64	0.098	71	6	1.80	SGW 72
				0.00	3.50	0.800	30.8	11.20	3.83	0.124	74	3	1.65	SGW 73
			2.0	1.00	3.50	1.200	48.9	18.90	7.03	0.144	70	11	1.55	SGW 76
			1.8	1.00	3.50	1.300	55.1	21.80	7.75	0.141	70	15	1.52	SGW 77
			1.5	1.00	3.50	1.500	68.8	27.30	8.16	0.119	68	24	1.51	SGW 78
		C2	水平	0.00	0.00	0.900	33.2	11.70	4.47	0.135	70	4	1.71	SGW 74
				0.00	3.50	1.000	37.7	14.40	5.85	0.155	73	3	1.57	SGW 75
			2.0	1.00	3.50	1.600	71.1	28.10	9.28	0.131	66	23	1.52	SGW 79
			1.8	1.00	3.50	1.700	79.0	31.30	9.07	0.115	65	28	1.52	SGW 80

数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．５の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	q 載荷重 (kN/m²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑動安全率	SGW 断面形状番号
2.00	0.2	C1	水平	0.00	0.00	0.800	30.0	9.52	3.02	0.101	66	9	1.58	SGW 73
				0.00	3.50	1.000	37.6	12.40	4.57	0.122	65	10	1.52	SGW 75
			2.0	1.00	3.50	1.600	68.5	22.70	6.94	0.101	59	27	1.51	SGW 79
			1.8	1.00	3.50	1.800	82.6	26.70	5.92	0.072	57	35	1.55	SGW 81
		C2	水平	0.00	0.00	1.000	36.5	12.20	4.85	0.133	66	7	1.50	SGW 75
				0.00	3.50	1.300	48.7	16.00	6.74	0.138	61	4	1.53	SGW 77

材　料　表

（１ｍ当たり）

SGW 断面形状番号	H (m)	B (m)	コンクリート (m³)	型枠 (m²)	基礎材 (m²)
SGW 72	1.00	0.50	0.400	2.020	
	1.50	0.60	0.675	3.030	
	2.00	0.70	1.000	4.040	
SGW 73	1.00	0.55	0.425	2.021	
	1.50	0.68	0.735	3.032	
	2.00	0.80	1.100	4.042	
SGW 74	1.00	0.60	0.450	2.025	
	1.50	0.75	0.788	3.037	
	2.00	0.90	1.200	4.050	
SGW 75	1.00	0.65	0.475	2.031	
	1.50	0.83	0.848	3.047	
	2.00	1.00	1.300	4.062	
SGW 76	1.00	0.75	0.525	2.051	
	1.50	0.98	0.960	3.077	
	2.00	1.20	1.500	4.101	
SGW 77	1.00	0.80	0.550	2.064	
	1.50	1.05	1.013	3.096	
	2.00	1.30	1.600	4.128	
SGW 78	1.00	0.90	0.600	2.097	
	1.50	1.20	1.125	3.145	
	2.00	1.50	1.800	4.194	
SGW 79	1.00	0.95	0.625	2.116	
	1.50	1.28	1.185	3.177	
	2.00	1.60	1.900	4.233	
SGW 80	1.00	1.00	0.650	2.138	
	1.50	1.35	1.238	3.207	
	2.00	1.70	2.000	4.276	
SGW 81	1.00	1.05	0.675	2.161	
	1.50	1.43	1.298	3.244	
	2.00	1.80	2.100	4.322	

設計条件

項目		記号	単位	数値
擁壁高		H	m	
盛土高		Ho	m	
裏込め土の種類		C	-	
盛土勾配		1:N	-	
高さ比		Ho/H	-	
単位体積重量	土砂		kN/m³	
	コンクリート		kN/m³	23
載荷重		q	kN/m²	
コンクリート設計基準強度		σck	N/mm²	18
滑動摩擦係数		μ	-	
滑動安全率		Fs	-	1.5

注意事項

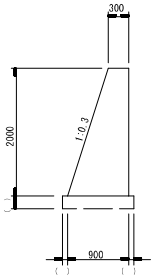
１．断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
２．本図は、１ｍあたりの設計であり、地震は考慮していない。
３．中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
４．設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
５．基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
６．伸縮目地の間隔は、１０ｍ以下とすること。また、擁壁前面にＶ字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、５ｍ以下を標準とする。
７．設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いのないようにしておくこと。
８．水抜管は、塩化ビニールパイプ（φ７５）を壁面３ｍ²につき１箇所設置すること。
９．水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

図番

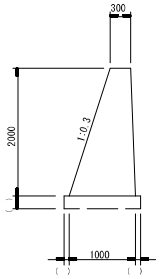
場所打擁壁工（構造物単位）－小型重力式コンクリート擁壁

断　面　図

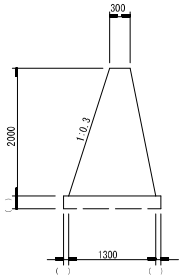
SGW　82



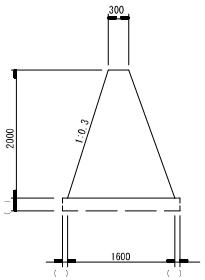
SGW　83



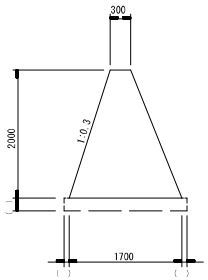
SGW　84



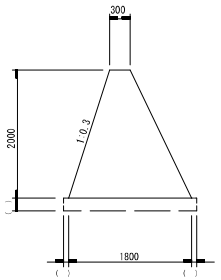
SGW　85

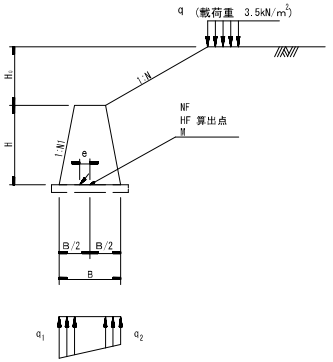


SGW　86



SGW　87





設計条件

項　　目		記　号	単　位	数　値
擁　壁　高		H	m	
盛　土　高		H₀	m	
裏込め土の種類		C	-	
盛　土　勾　配		1:N	-	
高　さ　比		H₀/H	-	
単位体積重量	土　砂		kN/m³	
	ｺﾝｸﾘｰﾄ		kN/m³	23
載　荷　重		q	kN/m²	
ｺﾝｸﾘｰﾄ設計基準強度		σck	N/mm²	18
滑動摩擦係数		μ	-	
滑　動　安　全　率		Fs	-	1.5

数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．６の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	q 載荷重 (kN/m²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑　動 安全率	SGW 断面形状番号
2.00	0.3	C1	水平	0.00	0.00	0.900	31.5	8.98	0.792	0.025	41	29	2.10	SGW 82
				0.00	3.50	0.900	32.2	10.50	1.530	0.048	47	24	1.83	SGW 82
			2.0	1.00	3.50	1.000	37.2	14.90	3.440	0.092	58	17	1.50	SGW 83
			1.8	1.00	3.50	1.300	50.4	19.60	4.620	0.092	55	22	1.54	SGW 84
			1.5	1.00	3.50	1.600	67.9	26.30	4.660	0.069	53	32	1.55	SGW 85
		C2	水平	0.00	0.00	0.900	31.5	10.60	1.890	0.060	49	21	1.78	SGW 82
				0.00	3.50	0.900	32.2	12.60	2.870	0.089	57	14	1.54	SGW 82
			2.0	1.00	3.50	1.700	70.3	27.20	5.710	0.081	53	30	1.55	SGW 86
			1.8	1.00	3.50	1.800	77.9	30.40	5.270	0.068	53	33	1.54	SGW 87

数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．５の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	q 載荷重 (kN/m²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑　動 安全率	SGW 断面形状番号
2.00	0.3	C1	水平	0.00	0.00	0.900	31.5	8.98	0.792	0.025	41	29	1.75	SGW 82
				0.00	3.50	0.900	32.2	10.50	1.530	0.048	47	24	1.52	SGW 82
			2.0	1.00	3.50	1.600	62.9	20.80	3.870	0.061	48	30	1.51	SGW 85
			1.8	1.00	3.50	1.800	75.5	24.90	3.020	0.040	48	36	1.52	SGW 87
		C2	水平	0.00	0.00	1.000	34.6	11.10	2.170	0.063	48	22	1.55	SGW 83
				0.00	3.50	1.300	45.9	14.90	3.810	0.083	49	22	1.54	SGW 84

材　料　表

（１ｍ当たり）

SGW 断面形状番号	H (m)	B (m)	ｺﾝｸﾘｰﾄ (m³)	型　枠 (m²)	基礎材 (m²)
SGW 82	1.00	0.60	0.450	2.044	
	1.50	0.75	0.788	3.066	
	2.00	0.90	1.200	4.088	
SGW 83	1.00	0.65	0.475	2.045	
	1.50	0.83	0.848	3.068	
	2.00	1.00	1.300	4.091	
SGW 84	1.00	0.80	0.550	2.064	
	1.50	1.05	1.013	3.096	
	2.00	1.30	1.600	4.128	
SGW 85	1.00	0.95	0.625	2.104	
	1.50	1.28	1.185	3.157	
	2.00	1.60	1.900	4.207	
SGW 86	1.00	1.00	0.650	2.121	
	1.50	1.35	1.238	3.182	
	2.00	1.70	2.000	4.242	
SGW 87	1.00	1.05	0.675	2.141	
	1.50	1.43	1.298	3.213	
	2.00	1.80	2.100	4.281	

注意事項

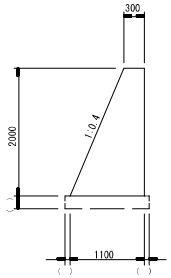
１．断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
２．本図は、１ｍあたりの設計であり、地震は考慮していない。
３．中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
４．設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
５．基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
６．伸縮目地の間隔は、１０ｍ以下とすること。また、擁壁前面にＶ字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、５ｍ以下を標準とする。
７．設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いのないようにしておくこと。
８．水抜管は、塩化ビニールパイプ（φ７５）を壁面３ｍ²につき１箇所設置すること。
９．水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

図番

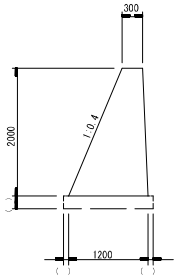
場所打擁壁工（構造物単位）－小型重力式コンクリート擁壁

断　面　図

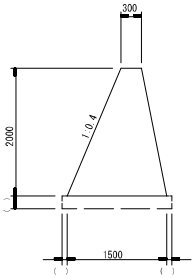
SGW　88

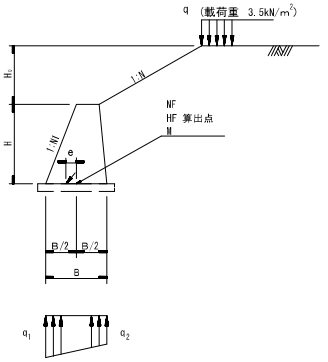


SGW　89

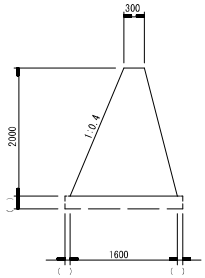


SGW　90

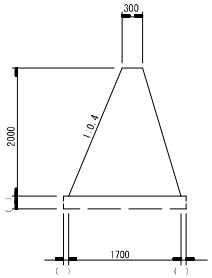




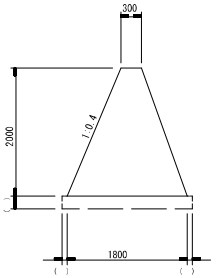
SGW　91



SGW　92



SGW　93



設計条件

項　　目		記　号	単　位	数　　値
擁　壁　高		H	m	
盛　土　高		Ho	m	
裏込め土の種類		C	-	
盛　土　勾　配		1:N	-	
高　さ　比		Ho/H	-	
単位体積重量	土　砂		kN/m³	
	ｺﾝｸﾘｰﾄ		kN/m³	23
載　荷　重		q	kN/m²	
ｺﾝｸﾘｰﾄ設計基準強度		σck	N/mm²	18
滑動摩擦係数		μ	-	
滑　動　安　全　率		Fs	-	1.5

数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．６の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	q 載荷重 (kN/m²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN･m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑　動 安全率	SGW 断面形 状番号
2.00	0.4	C1	水平	0.00	0.00	1.100	36.1	8.98	-1.360	-0.038	26	40	2.41	SGW 88
				0.00	3.50	1.100	36.8	10.50	-0.684	-0.019	30	37	2.09	SGW 88
			2.0	1.00	3.50	1.100	38.2	13.90	0.751	0.020	38	31	1.65	SGW 88
			1.8	1.00	3.50	1.100	38.7	15.10	1.290	0.033	42	29	1.54	SGW 88
			1.5	1.00	3.50	1.600	62.1	24.10	1.880	0.030	43	34	1.55	SGW 91
		C2	水平	0.00	0.00	1.100	36.1	10.60	-0.261	-0.007	31	34	2.04	SGW 88
				0.00	3.50	1.100	36.8	12.60	0.651	0.018	37	30	1.76	SGW 88
			2.0	1.00	3.50	1.700	64.8	25.20	2.830	0.044	44	32	1.54	SGW 92
			1.8	1.00	3.50	1.800	71.6	28.40	2.530	0.035	44	35	1.51	SGW 93

数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．５の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	q 載荷重 (kN/m²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN･m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑　動 安全率	SGW 断面形 状番号
2.00	0.4	C1	水平	0.00	0.00	1.100	36.1	8.98	-1.360	-0.038	26	40	2.01	SGW 88
				0.00	3.50	1.100	36.8	10.50	-0.684	-0.019	30	37	1.74	SGW 88
			2.0	1.00	3.50	1.500	53.8	17.90	1.080	0.020	39	33	1.50	SGW 90
			1.8	1.00	3.50	1.800	69.3	22.90	0.295	0.004	39	38	1.52	SGW 93
		C2	水平	0.00	0.00	1.100	36.1	10.60	-0.261	-0.007	31	34	1.70	SGW 88
				0.00	3.50	1.200	40.1	13.20	0.816	0.020	37	30	1.52	SGW 89

材　料　表

（１ｍ当たり）

SGW 断面形状番号	H (m)	B (m)	ｺﾝｸﾘｰﾄ (m³)	型　枠 (m²)	基礎材 (m²)
SGW 88	1.00	0.70	0.500	2.077	
	1.50	0.90	0.900	3.116	
	2.00	1.10	1.400	4.154	
SGW 89	1.00	0.75	0.525	2.078	
	1.50	0.98	0.960	3.118	
	2.00	1.20	1.500	4.157	
SGW 90	1.00	0.90	0.600	2.097	
	1.50	1.20	1.125	3.145	
	2.00	1.50	1.800	4.194	
SGW 91	1.00	0.95	0.625	2.108	
	1.50	1.28	1.185	3.163	
	2.00	1.60	1.900	4.216	
SGW 92	1.00	1.00	0.650	2.121	
	1.50	1.35	1.238	3.182	
	2.00	1.70	2.000	4.242	
SGW 93	1.00	1.05	0.675	2.137	
	1.50	1.43	1.298	3.206	
	2.00	1.80	2.100	4.273	

注意事項

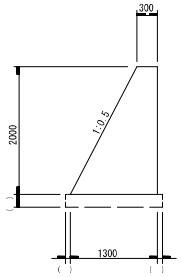
１．断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
２．本図は、１ｍあたりの設計であり、地震は考慮していない。
３．中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
４．設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
５．基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
６．伸縮目地の間隔は、１０ｍ以下とすること。また、擁壁前面にＶ字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、５ｍ以下を標準とする。
７．設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いのないようにしておくこと。
８．水抜管は、塩化ビニールパイプ（φ７５）を壁面３ｍ²につき１箇所設置すること。
９．水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

図番

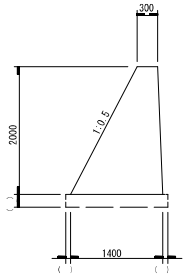
場所打擁壁工（構造物単位）－小型重力式コンクリート擁壁

断　面　図

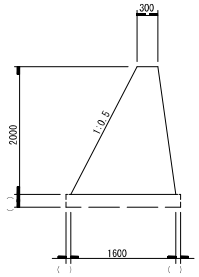
SGW　94



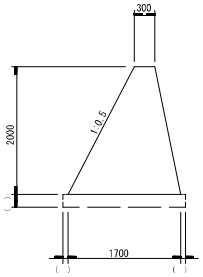
SGW　95



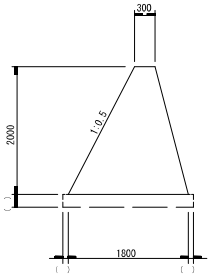
SGW　96

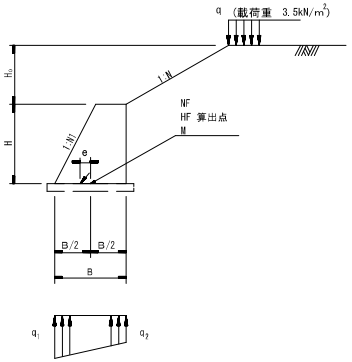


SGW　97



SGW　98





設計条件

項　目		記　号	単　位	数　値
擁　壁　高		H	m	
盛　土　高		Ho	m	
裏込め土の種類		C	-	
盛　土　勾　配		1:N	-	
高　さ　比		Ho/H	-	
単位体積重量	土　砂		kN/m³	
	ｺﾝｸﾘｰﾄ		kN/m³	23
載　荷　重		q	kN/m²	
ｺﾝｸﾘｰﾄ設計基準強度		σck	N/mm²	18
滑動摩擦係数		μ	-	
滑　動　安　全　率		Fs	-	1.5

数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．６の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	q 載荷重 (kN/m²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN･m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑動安全率	SGW 断面形状番号
2.00	0.5	C1	水平	0.00	0.00	1.300	40.7	8.98	-3.820	-0.094	18	45	2.72	SGW 94
				0.00	3.50	1.300	41.4	10.5	-3.210	-0.078	20	43	2.35	SGW 94
			2.0	1.00	3.50	1.300	42.8	13.9	-1.920	-0.045	26	40	1.85	SGW 94
			1.8	1.00	3.50	1.300	43.3	15.1	-1.440	-0.033	28	38	1.72	SGW 94
			1.5	1.00	3.50	1.400	48.6	19.4	-0.337	-0.007	34	36	1.51	SGW 95
		C2	水平	0.00	0.00	1.300	40.7	10.6	-2.720	-0.067	22	41	2.30	SGW 94
				0.00	3.50	1.300	41.4	12.6	-1.880	-0.045	25	38	1.97	SGW 94
			2.0	1.00	3.50	1.600	55.7	22.0	0.397	0.007	36	34	1.52	SGW 96
			1.8	1.00	3.50	1.800	66.1	26.4	-0.082	-0.001	37	37	1.50	SGW 98

数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．５の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	q 載荷重 (kN/m²)	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN･m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑動安全率	SGW 断面形状番号
2.00	0.5	C1	水平	0.00	0.00	1.300	40.7	8.98	-3.820	-0.094	18	45	2.27	SGW 94
				0.00	3.50	1.300	41.4	10.5	-3.210	-0.078	20	43	1.96	SGW 94
			2.0	1.00	3.50	1.300	42.8	13.9	-1.920	-0.045	26	40	1.54	SGW 94
			1.8	1.00	3.50	1.700	59.6	19.6	-1.930	-0.032	31	39	1.52	SGW 97
		C2	水平	0.00	0.00	1.300	40.7	10.6	-2.720	-0.067	22	41	1.92	SGW 94
				0.00	3.50	1.300	41.4	12.6	-1.880	-0.045	25	38	1.65	SGW 94

材　料　表

（１ｍ当たり）

SGW 断面形状番号	H (m)	B (m)	ｺﾝｸﾘｰﾄ (m³)	型　枠 (m²)	基礎材 (m²)
SGW 94	1.00	0.80	0.550	2.118	
	1.50	1.05	1.013	3.177	
	2.00	1.30	1.600	4.236	
SGW 95	1.00	0.85	0.575	2.119	
	1.50	1.13	1.073	3.179	
	2.00	1.40	1.700	4.239	
SGW 96	1.00	0.95	0.625	2.129	
	1.50	1.28	1.185	3.195	
	2.00	1.60	1.900	4.258	
SGW 97	1.00	1.00	0.650	2.138	
	1.50	1.35	1.238	3.207	
	2.00	1.70	2.000	4.276	
SGW 98	1.00	1.05	0.675	2.149	
	1.50	1.43	1.298	3.224	
	2.00	1.80	2.100	4.298	

注意事項

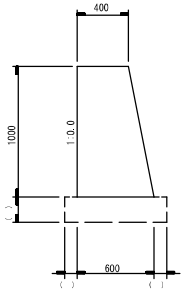
１．断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
２．本図は、１ｍあたりの設計であり、地震は考慮していない。
３．中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
４．設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
５．基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
６．伸縮目地の間隔は、１０ｍ以下とすること。また、擁壁前面にＶ字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、５ｍ以下を標準とする。
７．設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いのないようにしておくこと。
８．水抜管は、塩化ビニールパイプ（φ７５）を壁面３ｍ²につき１箇所設置すること。
９．水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

図番

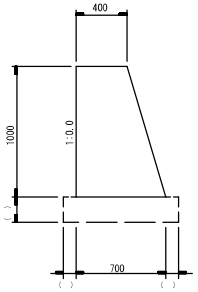
場所打擁壁工（構造物単位）－重力式コンクリート擁壁

断　面　図

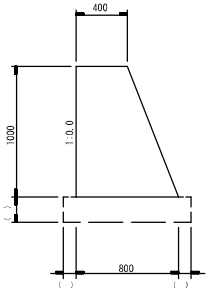
GW　1



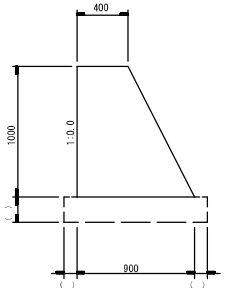
GW　2

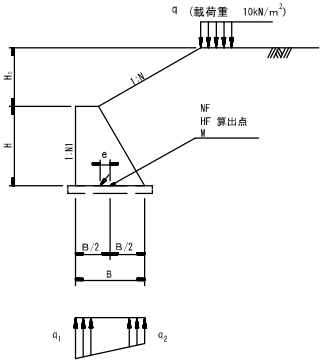


GW　3



GW　4





数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．６の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	NI 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑動安全率	GW 断面形状番号
1.00	0.0	C1	水平	0.00	0.600	15.3	5.52	1.49	0.097	50	1	1.67	GW 1
			2.0	0.25	0.600	15.2	5.38	1.46	0.096	50	1	1.70	GW 1
				0.50	0.600	15.0	5.12	1.42	0.094	49	1	1.76	GW 1
				0.75	0.600	14.8	4.80	1.36	0.092	47	2	1.85	GW 1
				1.00	0.600	14.6	4.47	1.31	0.090	46	3	1.96	GW 1
			1.8	0.25	0.600	15.3	5.57	1.50	0.097	51	1	1.65	GW 1
				0.50	0.600	15.3	5.51	1.48	0.097	50	1	1.67	GW 1
				0.75	0.600	15.2	5.37	1.46	0.096	50	1	1.70	GW 1
				1.00	0.600	15.1	5.18	1.43	0.095	49	1	1.75	GW 1
			1.5	0.25	0.600	15.6	5.87	1.55	0.099	52	0	1.59	GW 1
				0.50	0.700	18.3	6.69	1.69	0.092	47	5	1.64	GW 2
				0.75	0.700	18.5	6.91	1.71	0.093	47	5	1.60	GW 2
				1.00	0.700	18.6	7.07	1.73	0.093	48	5	1.58	GW 2
		C2	水平	0.00	0.700	17.8	6.91	1.88	0.106	48	2	1.54	GW 2
			2.0	0.25	0.700	17.9	7.00	1.89	0.106	49	2	1.53	GW 2
				0.50	0.700	17.9	7.01	1.89	0.106	49	2	1.53	GW 2
				0.75	0.700	17.8	6.95	1.88	0.106	49	2	1.54	GW 2
				1.00	0.700	17.8	6.86	1.87	0.105	48	2	1.55	GW 2
			1.8	0.25	0.800	20.7	7.67	1.95	0.095	44	7	1.62	GW 3
				0.50	0.800	20.9	7.94	1.98	0.095	45	8	1.58	GW 3
				0.75	0.800	21.1	8.14	2.00	0.095	45	8	1.55	GW 3
				1.00	0.800	21.2	8.29	2.01	0.095	45	8	1.54	GW 3
		C3	水平	0.00	0.900	23.1	8.65	2.21	0.096	42	9	1.60	GW 4
			2.0	0.25	0.900	23.5	9.09	2.24	0.095	43	10	1.55	GW 4
				0.50	0.900	23.9	9.48	2.26	0.095	43	10	1.51	GW 4

数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．５の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	NI 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN・m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑動安全率	GW 断面形状番号
1.00	0.0	C1	水平	0.00	0.800	20.2	6.33	1.64	0.081	41	10	1.59	GW 3
			2.0	0.25	0.800	20.2	6.35	1.64	0.081	41	10	1.59	GW 3
				0.50	0.800	20.0	6.20	1.63	0.081	40	10	1.61	GW 3
				0.75	0.800	19.8	5.95	1.62	0.082	40	10	1.66	GW 3
				1.00	0.800	19.5	5.63	1.59	0.082	39	9	1.73	GW 3
			1.8	0.25	0.800	20.4	6.55	1.65	0.081	41	10	1.56	GW 3
				0.50	0.800	20.4	6.60	1.66	0.081	41	10	1.55	GW 3
				0.75	0.800	20.4	6.54	1.65	0.081	41	10	1.56	GW 3
				1.00	0.800	20.2	6.41	1.65	0.081	41	10	1.58	GW 3
			1.5	0.25	0.800	20.7	6.84	1.67	0.081	42	10	1.51	GW 3
				0.50	0.900	24.1	7.67	1.61	0.067	39	15	1.57	GW 4
				0.75	0.900	24.5	8.01	1.60	0.066	39	15	1.53	GW 4
		C2	水平	0.00	0.900	23.0	7.59	1.89	0.082	39	12	1.51	GW 4

材　料　表

（１ｍ当たり）

GW 断面形状番号	H (m)	B (m)	ｺﾝｸﾘｰﾄ (m³)	型　枠 (m²)	基礎材 (m²)
GW 1	1.00	0.60	0.500	2.020	
GW 2	1.00	0.70	0.550	2.044	
GW 3	1.00	0.80	0.600	2.077	
GW 4	1.00	0.90	0.650	2.118	

設計条件

項　目		記　号	単　位	数　値
擁　壁　高		H	m	
盛　土　高		Ho	m	
裏込め土の種類		C	-	
盛　土　勾　配		1:N	-	
高　さ　比		Ho/H	-	
単位体積重量	土　砂		kN/m³	
	ｺﾝｸﾘｰﾄ		kN/m³	23
ｺﾝｸﾘｰﾄ設計基準強度		σck	N/mm²	18
滑動摩擦係数		μ	-	
滑　動　安　全　率		Fs	-	1.5

注意事項

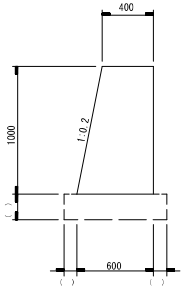
１．断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
２．本図は、１ｍあたりの設計であり、地震は考慮していない。
３．中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
４．設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
５．基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
６．伸縮目地の間隔は、１０ｍ以下とすること。また、擁壁前面にＶ字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、５ｍ以下を標準とする。
７．設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いのないようにしておくこと。
８．水抜管は、塩化ビニールパイプ（φ７５）を壁面３ｍ²につき１箇所設置すること。
９．水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

図番

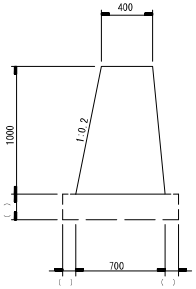
場所打擁壁工（構造物単位）－重力式コンクリート擁壁

断　面　図

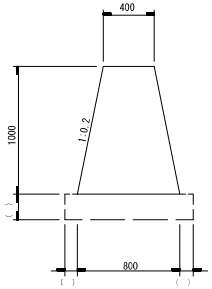
GW　5



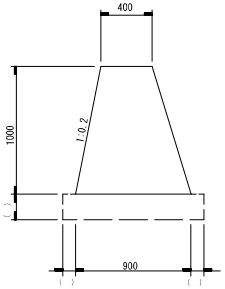
GW　6

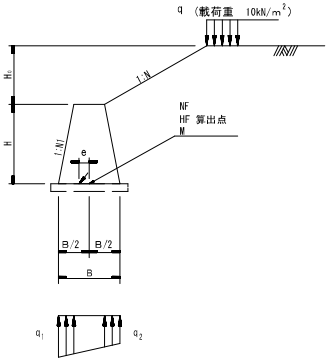


GW　7



GW　8





数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．６の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N' 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	H₀/H 高さ比	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN･m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑動安全率	GW 断面形状番号
1.00	0.2	C1	水平	0.00	0.600	13.4	4.49	0.379	0.028	29	16	1.80	GW 5
			2.0	0.25	0.600	13.3	4.26	0.332	0.025	28	17	1.88	GW 5
				0.50	0.600	13.2	3.96	0.271	0.021	27	17	2.00	GW 5
				0.75	0.600	13.1	3.63	0.203	0.016	25	18	2.16	GW 5
				1.00	0.600	13.0	3.47	0.171	0.013	25	19	2.25	GW 5
			1.8	0.25	0.600	13.4	4.44	0.369	0.027	29	16	1.81	GW 5
				0.50	0.600	13.4	4.32	0.343	0.026	28	17	1.86	GW 5
				0.75	0.600	13.3	4.14	0.307	0.023	27	17	1.93	GW 5
				1.00	0.600	13.2	3.94	0.266	0.020	26	18	2.01	GW 5
			1.5	0.25	0.600	13.5	4.72	0.426	0.031	30	15	1.72	GW 5
				0.50	0.600	13.6	4.88	0.458	0.034	30	15	1.67	GW 5
				0.75	0.600	13.7	4.99	0.480	0.035	31	15	1.64	GW 5
				1.00	0.600	13.7	5.05	0.494	0.036	31	15	1.62	GW 5
		C2	水平	0.00	0.700	15.5	5.98	0.795	0.051	32	12	1.56	GW 6
			2.0	0.25	0.700	15.5	5.95	0.789	0.051	32	13	1.56	GW 6
				0.50	0.700	15.5	5.88	0.776	0.050	32	13	1.58	GW 6
				0.75	0.700	15.4	5.77	0.757	0.049	31	13	1.60	GW 6
				1.00	0.700	15.4	5.64	0.733	0.048	31	13	1.63	GW 6
			1.8	0.25	0.700	15.6	6.16	0.827	0.053	32	12	1.52	GW 6
				0.50	0.800	18.0	6.87	0.898	0.050	31	14	1.57	GW 7
				0.75	0.800	18.1	6.99	0.913	0.051	31	14	1.55	GW 7
				1.00	0.800	18.1	7.07	0.923	0.051	31	14	1.54	GW 7
		C3	水平	0.00	0.900	20.2	7.99	1.15	0.057	31	14	1.52	GW 8

数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．５の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N' 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	H₀/H 高さ比	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN･m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑動安全率	GW 断面形状番号
1.00	0.2	C1	水平	0.00	0.700	15.4	5.02	0.503	0.033	28	16	1.54	GW 6
			2.0	0.25	0.700	15.3	4.83	0.473	0.031	28	16	1.59	GW 6
				0.50	0.700	15.2	4.54	0.428	0.028	27	16	1.67	GW 6
				0.75	0.700	15.0	4.21	0.376	0.025	26	17	1.78	GW 6
				1.00	0.700	14.9	3.97	0.338	0.023	25	17	1.87	GW 6
			1.8	0.25	0.700	15.4	5.02	0.503	0.033	28	16	1.54	GW 6
				0.50	0.700	15.4	4.91	0.486	0.032	28	16	1.56	GW 6
				0.75	0.700	15.3	4.75	0.461	0.030	27	16	1.61	GW 6
				1.00	0.700	15.2	4.55	0.430	0.028	27	16	1.67	GW 6
			1.5	0.25	0.800	17.9	5.87	0.605	0.034	28	17	1.52	GW 7
				0.50	0.900	20.6	6.69	0.589	0.029	27	18	1.54	GW 8
				0.75	0.900	20.8	6.91	0.598	0.029	27	19	1.50	GW 8

材　料　表

（１ｍ当たり）

GW 断面形状番号	H (m)	B (m)	ｺﾝｸﾘｰﾄ (m²)	型　枠 (m²)	基礎材 (m²)
GW 5	1.00	0.60	0.500	2.020	
GW 6	1.00	0.70	0.550	2.025	
GW 7	1.00	0.80	0.600	2.040	
GW 8	1.00	0.90	0.650	2.064	

設計条件

項　目		記　号	単　位	数　値
擁　壁　高		H	m	
盛　土　高		H₀	m	
裏込め土の種類		C	-	
盛　土　勾　配		1:N	-	
高　さ　比		H₀/H	-	
単位体積重量	土　砂		kN/m³	
	ｺﾝｸﾘｰﾄ		kN/m³	23
ｺﾝｸﾘｰﾄ設計基準強度		σck	N/mm²	18
滑動摩擦係数		μ	-	
滑　動　安　全　率		Fs	-	1.5

注意事項

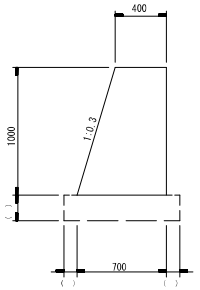
１．断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
２．本図は、１ｍあたりの設計であり、地震は考慮していない。
３．中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
４．設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
５．基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
６．伸縮目地の間隔は、１０ｍ以下とすること。また、擁壁前面にＶ字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、５ｍ以下を標準とする。
７．設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いのないようにしておくこと。
８．水抜管は、塩化ビニールパイプ（φ７５）を壁面３ｍ²につき１箇所設置すること。
９．水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

図番

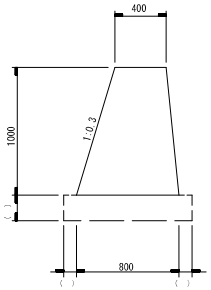
場所打擁壁工（構造物単位）－重力式コンクリート擁壁

断　面　図

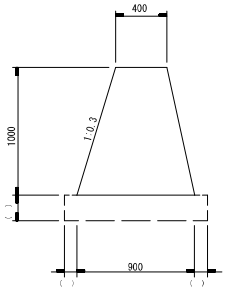
GW　9

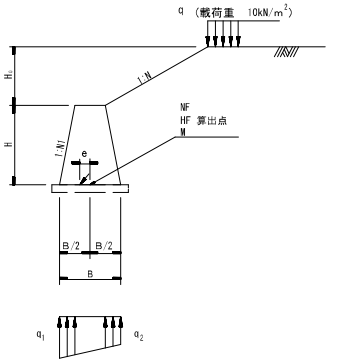


GW　10



GW　11





数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．６の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	NI 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN･m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑動安全率	GW 断面形状番号
1.00	0.3	C1	水平	0.00	0.700	14.6	4.49	−0.044	−0.003	20	21	1.95	GW 9
			2.0	0.25	0.700	14.5	4.26	−0.086	−0.006	20	22	2.04	GW 9
				0.50	0.700	14.4	3.96	−0.140	−0.010	19	22	2.17	GW 9
				0.75	0.700	14.2	3.63	−0.201	−0.014	18	23	2.35	GW 9
				1.00	0.700	14.1	3.47	−0.229	−0.016	17	23	2.44	GW 9
			1.8	0.25	0.700	14.6	4.44	−0.053	−0.004	20	21	1.97	GW 9
				0.50	0.700	14.5	4.32	−0.076	−0.005	20	22	2.02	GW 9
				0.75	0.700	14.4	4.14	−0.108	−0.007	19	22	2.09	GW 9
				1.00	0.700	14.3	3.94	−0.145	−0.010	19	22	2.19	GW 9
			1.5	0.25	0.700	14.7	4.72	−0.002	0.000	21	21	1.87	GW 9
				0.50	0.700	14.8	4.88	0.027	0.002	21	21	1.81	GW 9
				0.75	0.700	14.8	4.99	0.047	0.003	22	21	1.78	GW 9
				1.00	0.700	14.8	5.05	0.059	0.004	22	20	1.76	GW 9
		C2	水平	0.00	0.700	14.6	5.45	0.259	0.018	24	18	1.61	GW 9
			2.0	0.25	0.700	14.6	5.39	0.247	0.017	24	18	1.63	GW 9
				0.50	0.700	14.6	5.29	0.227	0.016	24	18	1.65	GW 9
				0.75	0.700	14.5	5.17	0.202	0.014	23	18	1.69	GW 9
				1.00	0.700	14.5	5.03	0.174	0.012	23	19	1.73	GW 9
			1.8	0.25	0.700	14.7	5.58	0.288	0.020	24	17	1.58	GW 9
				0.50	0.700	14.7	5.68	0.307	0.021	25	17	1.55	GW 9
				0.75	0.700	14.7	5.74	0.321	0.022	25	17	1.54	GW 9
				1.00	0.700	14.8	5.78	0.329	0.022	25	17	1.53	GW 9
		C3	水平	0.00	0.900	19.0	7.57	0.656	0.035	26	16	1.50	GW 11

数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．５の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	NI 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN･m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑動安全率	GW 断面形状番号
1.00	0.3	C1	水平	0.00	0.700	14.6	4.49	−0.044	−0.003	20	21	1.62	GW 9
			2.0	0.25	0.700	14.5	4.26	−0.086	−0.006	20	22	1.70	GW 9
				0.50	0.700	14.4	3.96	−0.140	−0.010	19	22	1.81	GW 9
				0.75	0.700	14.2	3.63	−0.201	−0.014	18	23	1.96	GW 9
				1.00	0.700	14.1	3.47	−0.229	−0.016	17	23	2.04	GW 9
			1.8	0.25	0.700	14.6	4.44	−0.053	−0.004	20	21	1.64	GW 9
				0.50	0.700	14.5	4.32	−0.076	−0.005	20	22	1.68	GW 9
				0.75	0.700	14.4	4.14	−0.108	−0.007	19	22	1.74	GW 9
				1.00	0.700	14.3	3.94	−0.145	−0.010	19	22	1.82	GW 9
			1.5	0.25	0.700	14.7	4.72	−0.002	0.000	21	21	1.56	GW 9
				0.50	0.700	14.8	4.88	0.027	0.002	21	21	1.51	GW 9
				0.75	0.800	16.9	5.64	0.119	0.007	22	20	1.50	GW 10
				1.00	0.900	19.4	6.41	0.113	0.006	22	21	1.51	GW 11

材　料　表

（１ｍ当たり）

GW 断面形状番号	H (m)	B (m)	ｺﾝｸﾘｰﾄ (m²)	型　枠 (m²)	基礎材 (m²)
GW 9	1.00	0.70	0.550	2.044	
GW 10	1.00	0.80	0.600	2.049	
GW 11	1.00	0.90	0.650	2.064	

設計条件

項　目		記　号	単　位	数　値
擁　壁　高		H	m	
盛　土　高		Ho	m	
裏込め土の種類		C	-	
盛　土　勾　配		1:N	-	
高　さ　比		Ho/H	-	
単位体積重量	土　砂		kN/m³	
	ｺﾝｸﾘｰﾄ		kN/m³	23
ｺﾝｸﾘｰﾄ設計基準強度		σck	N/mm²	18
滑動摩擦係数		μ	-	
滑　動　安　全　率		Fs	-	1.5

注意事項

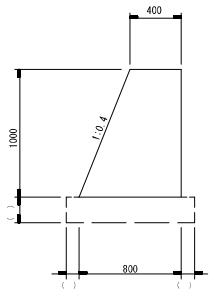
１．断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
２．本図は、１ｍあたりの設計であり、地震は考慮していない。
３．中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
４．設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
５．基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
６．伸縮目地の間隔は、１０ｍ以下とすること。また、擁壁前面にＶ字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、５ｍ以下を標準とする。
７．設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いのないようにしておくこと。
８．水抜管は、塩化ビニールパイプ（φ７５）を壁面３ｍ²につき１箇所設置すること。
９．水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

図番

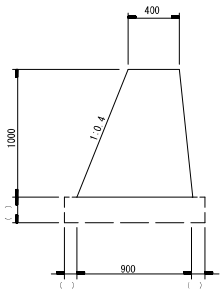
場所打擁壁工（構造物単位）－重力式コンクリート擁壁

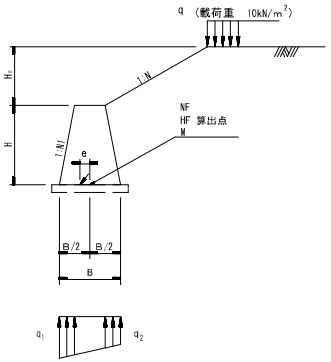
断　面　図

GW　12



GW　13





数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．６の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN･m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑動安全率	GW 断面形状番号
1.00	0.4	C1	水平	0.00	0.800	15.7	4.49	−0.505	−0.032	15	24	2.10	GW 12
			2.0	0.25	0.800	15.6	4.26	−0.542	−0.035	14	25	2.20	GW 12
				0.50	0.800	15.5	3.96	−0.590	−0.038	14	25	2.35	GW 12
				0.75	0.800	15.4	3.63	−0.643	−0.042	13	25	2.54	GW 12
				1.00	0.800	15.3	3.47	−0.668	−0.044	13	25	2.64	GW 12
			1.8	0.25	0.800	15.7	4.44	−0.513	−0.033	15	24	2.12	GW 12
				0.50	0.800	15.7	4.32	−0.533	−0.034	15	25	2.18	GW 12
				0.75	0.800	15.6	4.14	−0.561	−0.036	14	25	2.26	GW 12
				1.00	0.800	15.5	3.94	−0.594	−0.038	14	25	2.36	GW 12
			1.5	0.25	0.800	15.8	4.72	−0.468	−0.030	15	24	2.01	GW 12
				0.50	0.800	15.9	4.88	−0.442	−0.028	16	24	1.96	GW 12
				0.75	0.800	16.0	4.99	−0.425	−0.027	16	24	1.92	GW 12
				1.00	0.800	16.0	5.05	−0.414	−0.026	16	24	1.90	GW 12
		C2	水平	0.00	0.800	15.8	5.45	−0.204	−0.013	18	22	1.74	GW 12
			2.0	0.25	0.800	15.8	5.39	−0.216	−0.014	18	22	1.76	GW 12
				0.50	0.800	15.7	5.29	−0.233	−0.015	17	22	1.78	GW 12
				0.75	0.800	15.7	5.17	−0.256	−0.016	17	22	1.82	GW 12
				1.00	0.800	15.6	5.03	−0.282	−0.018	17	22	1.86	GW 12
			1.8	0.25	0.800	15.8	5.58	−0.178	−0.011	18	21	1.70	GW 12
				0.50	0.800	15.9	5.68	−0.160	−0.010	18	21	1.68	GW 12
				0.75	0.800	15.9	5.74	−0.148	−0.009	18	21	1.66	GW 12
				1.00	0.800	15.9	5.78	−0.141	−0.009	19	21	1.65	GW 12
		C3	水平	0.00	0.900	17.9	7.09	0.170	0.010	21	19	1.51	GW 13

数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．５の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN･m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑動安全率	GW 断面形状番号
1.00	0.4	C1	水平	0.00	0.800	15.7	4.49	−0.505	−0.032	15	24	1.75	GW 12
			2.0	0.25	0.800	15.6	4.26	−0.542	−0.035	14	25	1.84	GW 12
				0.50	0.800	15.5	3.96	−0.590	−0.038	14	25	1.96	GW 12
				0.75	0.800	15.4	3.63	−0.643	−0.042	13	25	2.12	GW 12
				1.00	0.800	15.3	3.47	−0.668	−0.044	13	25	2.20	GW 12
			1.8	0.25	0.800	15.7	4.44	−0.513	−0.033	15	24	1.77	GW 12
				0.50	0.800	15.7	4.32	−0.533	−0.034	15	25	1.81	GW 12
				0.75	0.800	15.6	4.14	−0.561	−0.036	14	25	1.88	GW 12
				1.00	0.800	15.5	3.94	−0.594	−0.038	14	25	1.97	GW 12
			1.5	0.25	0.800	15.8	4.72	−0.468	−0.030	15	24	1.68	GW 12
				0.50	0.800	15.9	4.88	−0.442	−0.028	16	24	1.63	GW 12
				0.75	0.800	16.0	4.98	−0.425	−0.027	16	24	1.60	GW 12
				1.00	0.800	16.0	5.05	−0.414	−0.026	16	24	1.58	GW 12

材　料　表

（１ｍ当たり）

GW 断面形状番号	H (m)	B (m)	ｺﾝｸﾘｰﾄ (m²)	型　枠 (m²)	基礎材 (m²)
GW 12	1.00	0.80	0.600	2.077	
GW 13	1.00	0.90	0.650	2.082	

設計条件

項　目		記　号	単　位	数　値
擁　壁　高		H	m	
盛　土　高		Ho	m	
裏込め土の種類		C	-	
盛　土　勾　配		1:N	-	
高　さ　比		Ho/H	-	
単位体積重量	土　砂		kN/m³	
	ｺﾝｸﾘｰﾄ		kN/m³	23
ｺﾝｸﾘｰﾄ設計基準強度		σck	N/mm²	18
滑動摩擦係数		μ	-	
滑　動　安　全　率		Fs	-	1.5

注意事項

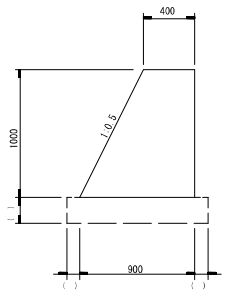
１．断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
２．本図は、１ｍあたりの設計であり、地震は考慮していない。
３．中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
４．設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
５．基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
６．伸縮目地の間隔は、１０ｍ以下とすること。また、擁壁前面にＶ字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、５ｍ以下を標準とする。
７．設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いのないようにしておくこと。
８．水抜管は、塩化ビニールパイプ（φ７５）を壁面３ｍ²につき１箇所設置すること。
９．水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

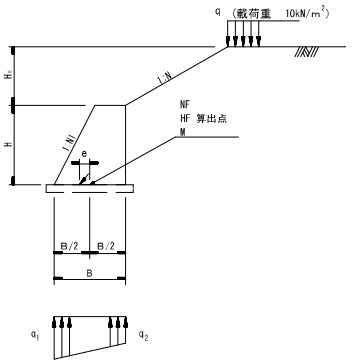
図番

場所打擁壁工（構造物単位）－重力式コンクリート擁壁

断 面 図

GW 14





数 値 表：滑動摩擦係数μ＝０．６の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN･m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑動安全率	GW 断面形状番号
1.00	0.5	C1	水平	0.00	0.900	16.9	4.49	−1.000	−0.059	11	26	2.26	GW 14
			2.0	0.25	0.900	16.8	4.26	−1.040	−0.062	11	26	2.37	GW 14
				0.50	0.900	16.7	3.96	−1.080	−0.065	11	26	2.52	GW 14
				0.75	0.900	16.5	3.63	−1.120	−0.068	10	27	2.73	GW 14
				1.00	0.900	16.4	3.47	−1.150	−0.070	10	27	2.84	GW 14
			1.8	0.25	0.900	16.9	4.44	−1.010	−0.060	11	26	2.28	GW 14
				0.50	0.900	16.8	4.32	−1.030	−0.061	11	26	2.34	GW 14
				0.75	0.900	16.7	4.14	−1.050	−0.063	11	26	2.43	GW 14
				1.00	0.900	16.6	3.94	−1.080	−0.065	10	27	2.54	GW 14
			1.5	0.25	0.900	17.0	4.72	−0.972	−0.057	12	26	2.16	GW 14
				0.50	0.900	17.1	4.88	−0.950	−0.056	12	26	2.10	GW 14
				0.75	0.900	17.1	4.99	−0.935	−0.055	12	26	2.06	GW 14
				1.00	0.900	17.1	5.05	−0.926	−0.054	12	26	2.03	GW 14
		C2	水平	0.00	0.900	16.9	5.45	−0.705	−0.042	14	24	1.86	GW 14
			2.0	0.25	0.900	16.9	5.39	−0.716	−0.042	13	24	1.88	GW 14
				0.50	0.900	16.9	5.29	−0.732	−0.043	13	24	1.91	GW 14
				0.75	0.900	16.8	5.17	−0.753	−0.045	13	24	1.95	GW 14
				1.00	0.900	16.8	5.03	−0.776	−0.046	13	24	2.00	GW 14
			1.8	0.25	0.900	17.0	5.58	−0.682	−0.040	14	24	1.82	GW 14
				0.50	0.900	17.0	5.68	−0.666	−0.039	14	24	1.80	GW 14
				0.75	0.900	17.0	5.74	−0.655	−0.038	14	24	1.78	GW 14
				1.00	0.900	17.1	5.78	−0.649	−0.038	14	24	1.77	GW 14
		C3	水平	0.00	0.900	16.9	6.57	−0.325	−0.019	16	21	1.55	GW 14
			2.0	0.25	0.900	17.0	6.72	−0.294	−0.017	17	21	1.51	GW 14

数 値 表：滑動摩擦係数μ＝０．５の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN･m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑動安全率	GW 断面形状番号
1.00	0.5	C1	水平	0.00	0.900	16.9	4.49	−1.000	−0.059	11	26	1.88	GW 14
			2.0	0.25	0.900	16.8	4.26	−1.040	−0.062	11	26	1.97	GW 14
				0.50	0.900	16.7	3.96	−1.080	−0.065	11	26	2.10	GW 14
				0.75	0.900	16.5	3.63	−1.120	−0.068	10	27	2.28	GW 14
				1.00	0.900	16.4	3.47	−1.150	−0.070	10	27	2.37	GW 14
			1.8	0.25	0.900	16.9	4.44	−1.010	−0.060	11	26	1.90	GW 14
				0.50	0.900	16.8	4.32	−1.030	−0.061	11	26	1.95	GW 14
				0.75	0.900	16.7	4.14	−1.050	−0.063	11	26	2.02	GW 14
				1.00	0.900	16.6	3.94	−1.080	−0.065	10	27	2.12	GW 14
			1.5	0.25	0.900	17.0	4.72	−0.972	−0.057	12	26	1.80	GW 14
				0.50	0.900	17.1	4.88	−0.950	−0.056	12	26	1.75	GW 14
				0.75	0.900	17.1	4.99	−0.935	−0.055	12	26	1.71	GW 14
				1.00	0.900	17.1	5.05	−0.926	−0.054	12	26	1.70	GW 14
		C2	水平	0.00	0.900	16.9	5.45	−0.705	−0.042	14	24	1.55	GW 14
			2.0	0.25	0.900	16.9	5.39	−0.716	−0.042	13	24	1.57	GW 14
				0.50	0.900	16.9	5.29	−0.732	−0.043	13	24	1.59	GW 14
				0.75	0.900	16.8	5.17	−0.753	−0.045	13	24	1.63	GW 14
				1.00	0.900	16.8	5.03	−0.776	−0.046	13	24	1.67	GW 14
			1.8	0.25	0.900	17.0	5.58	−0.682	−0.040	14	24	1.52	GW 14

材 料 表

（１ｍ当たり）

GW 断面形状番号	H (m)	B (m)	ｺﾝｸﾘｰﾄ (m³)	型 枠 (m²)	基礎材 (m²)
GW 14	1.00	0.90	0.650	2.118	

設計条件

項 目		記 号	単 位	数 値
擁 壁 高		H	m	
盛 土 高		Ho	m	
裏込め土の種類		C	-	
盛 土 勾 配		1:N	-	
高 さ 比		Ho/H	-	
単位体積重量	土 砂		kN/m³	
	ｺﾝｸﾘｰﾄ		kN/m³	23
ｺﾝｸﾘｰﾄ設計基準強度		σck	N/mm²	18
滑動摩擦係数		μ	-	
滑 動 安 全 率		Fs	-	1.5

注意事項

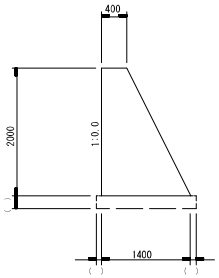
１．断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
２．本図は、１ｍあたりの設計であり、地震は考慮していない。
３．中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
４．設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
５．基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
６．伸縮目地の間隔は、１０ｍ以下とすること。また、擁壁前面にＶ字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、５ｍ以下を標準とする。
７．設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いのないようにしておくこと。
８．水抜管は、塩化ビニールパイプ（φ７５）を壁面３ｍ²につき１箇所設置すること。
９．水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

図番

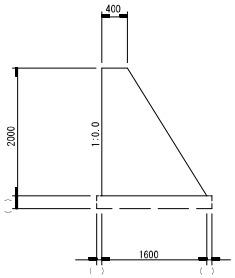
場所打擁壁工（構造物単位）－重力式コンクリート擁壁

断　面　図

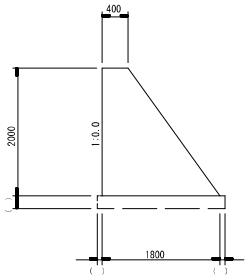
GW　15



GW　16



GW　17



数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．６の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN･m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑動安全率	GW 断面形状番号
2.00	0.0	C1	水平	0.00	1.400	65.0	19.9	13.0	0.200	86	7	1.96	GW 15
			2.0	0.25	1.400	68.4	22.7	13.7	0.200	91	7	1.81	GW 15
				0.50	1.400	69.9	24.0	14.0	0.200	93	7	1.75	GW 15
				0.75	1.400	70.3	24.3	14.1	0.200	93	7	1.73	GW 15
				1.00	1.400	69.8	23.9	14.0	0.200	93	7	1.75	GW 15
			1.8	0.25	1.400	68.9	23.2	13.8	0.200	91	7	1.78	GW 15
				0.50	1.400	71.2	25.1	14.2	0.200	94	7	1.70	GW 15
				0.75	1.400	72.4	26.1	14.5	0.200	96	7	1.66	GW 15
				1.00	1.400	72.9	26.5	14.6	0.200	97	7	1.65	GW 15
			1.5	0.25	1.400	69.8	23.9	14.0	0.200	93	7	1.75	GW 15
				0.50	1.400	73.3	26.8	14.6	0.200	97	8	1.64	GW 15
				0.75	1.400	75.8	29.0	15.1	0.200	101	8	1.57	GW 15
				1.00	1.400	77.8	30.6	15.5	0.200	103	8	1.52	GW 15
		C2	水平	0.00	1.400	65.2	22.6	14.7	0.226	92	1	1.73	GW 15
			2.0	0.25	1.400	68.9	26.0	15.7	0.228	97	1	1.59	GW 15
				0.50	1.400	71.1	28.1	16.3	0.229	101	1	1.52	GW 15
				0.75	1.600	84.2	31.0	16.4	0.195	91	14	1.63	GW 16
				1.00	1.600	85.3	31.8	16.6	0.194	92	14	1.61	GW 16
			1.8	0.25	1.400	69.4	26.5	15.8	0.228	98	1	1.57	GW 15
				0.50	1.600	83.7	30.6	16.3	0.195	91	14	1.64	GW 16
				0.75	1.600	86.5	32.9	16.7	0.193	93	15	1.58	GW 16
				1.00	1.600	88.6	34.5	17.0	0.192	95	15	1.54	GW 16
		C3	水平	0.00	1.600	74.7	26.2	17.0	0.228	87	7	1.71	GW 16
			2.0	0.25	1.600	79.6	30.7	18.0	0.227	92	7	1.56	GW 16
				0.50	1.800	95.0	35.1	18.1	0.191	86	19	1.62	GW 17
				0.75	1.800	98.6	38.0	18.5	0.187	89	21	1.56	GW 17
				1.00	1.800	102.0	40.3	18.7	0.184	91	22	1.51	GW 17

数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．５の場合

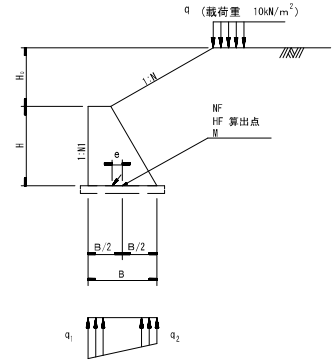
（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN･m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑動安全率	GW 断面形状番号
2.00	0.0	C1	水平	0.00	1.400	65.0	19.9	13.0	0.200	86	7	1.63	GW 15
			2.0	0.25	1.400	68.4	22.7	13.7	0.200	91	7	1.51	GW 15
				0.50	1.600	81.3	25.3	13.8	0.170	83	18	1.60	GW 16
				0.75	1.600	82.1	25.9	13.9	0.169	84	19	1.58	GW 16
				1.00	1.600	81.9	25.8	13.9	0.169	84	19	1.59	GW 16
			1.8	0.25	1.600	79.6	24.2	13.7	0.172	82	18	1.65	GW 16
				0.50	1.600	82.8	26.4	13.9	0.169	84	19	1.57	GW 16
				0.75	1.600	84.6	27.7	14.1	0.167	86	20	1.53	GW 16
				1.00	1.600	85.5	28.4	14.2	0.166	87	20	1.51	GW 16
			1.5	0.25	1.600	80.6	24.9	13.8	0.171	83	18	1.62	GW 16
				0.50	1.600	85.1	28.1	14.1	0.166	86	20	1.51	GW 16
				0.75	1.800	102.0	31.7	12.8	0.126	80	33	1.61	GW 17
				1.00	1.800	106.0	33.9	12.7	0.121	82	35	1.56	GW 17
		C2	水平	0.00	1.600	74.7	23.2	15.1	0.202	82	11	1.61	GW 16
			2.0	0.25	1.800	90.3	27.8	15.3	0.169	78	22	1.62	GW 17
				0.50	1.800	94.2	30.5	15.4	0.164	81	24	1.54	GW 17
			1.8	0.25	1.800	91.0	28.3	15.3	0.168	79	22	1.61	GW 17
				0.50	1.800	95.8	31.6	15.5	0.162	82	25	1.51	GW 17

材　料　表

（１ｍ当たり）

GW 断面形状番号	H (m)	B (m)	ｺﾝｸﾘｰﾄ (m³)	型　枠 (m²)	基礎材 (m²)
GW 15	1.00	0.90	0.650	2.118	
	1.50	1.15	1.163	3.177	
	2.00	1.40	1.800	4.236	
GW 16	1.00	1.00	0.700	2.166	
	1.50	1.30	1.275	3.249	
	2.00	1.60	2.000	4.332	
GW 17	1.00	1.10	0.750	2.221	
	1.50	1.45	1.388	3.331	
	2.00	1.80	2.200	4.441	



設計条件

項　目		記　号	単　位	数　値
擁　壁　高		H	m	
盛　土　高		Ho	m	
裏込め土の種類		C	-	
盛　土　勾　配		1:N	-	
高　さ　比		Ho/H	-	
単位体積重量	土　砂		kN/m³	
	ｺﾝｸﾘｰﾄ		kN/m³	23
ｺﾝｸﾘｰﾄ設計基準強度		σck	N/mm²	18
滑動摩擦係数		μ	-	
滑　動　安　全　率		Fs	-	1.5

注意事項

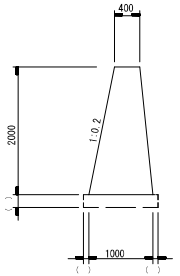
１．断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
２．本図は、１ｍあたりの設計であり、地震は考慮していない。
３．中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
４．設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
５．基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
６．伸縮目地の間隔は、１０ｍ以下とすること。また、擁壁前面にＶ字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、５ｍ以下を標準とする。
７．設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いのないようにしておくこと。
８．水抜管は、塩化ビニールパイプ（φ７５）を壁面３ｍ²につき１箇所設置すること。
９．水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

図番

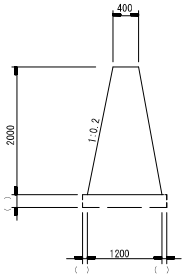
場所打擁壁工（構造物単位）－重力式コンクリート擁壁

断　面　図

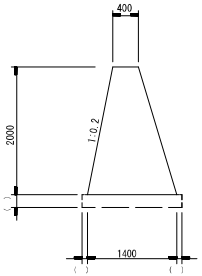
GW　18



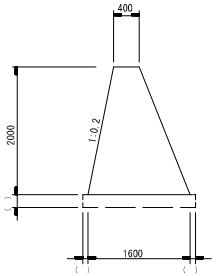
GW　19



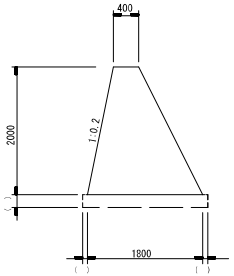
GW　20

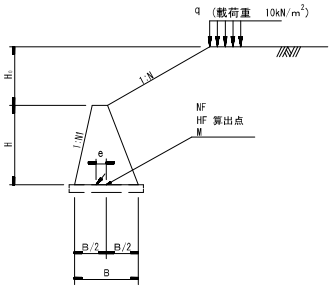


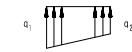
GW　21



GW　22







数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．６の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN･m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑動安全率	GW 断面形状番号
2.00	0.2	C1	水平	0.00	1.000	40.6	15.1	5.04	0.124	71	10	1.62	GW 18
			2.0	0.25	1.000	41.3	16.5	5.63	0.136	75	8	1.51	GW 18
				0.50	1.200	49.7	18.7	6.43	0.129	68	15	1.60	GW 19
				0.75	1.200	49.5	18.3	6.32	0.128	68	15	1.62	GW 19
				1.00	1.200	49.2	17.9	6.16	0.125	67	15	1.65	GW 19
			1.8	0.25	1.200	49.8	18.8	6.46	0.130	68	15	1.59	GW 19
				0.50	1.200	50.5	19.8	6.82	0.135	70	14	1.53	GW 19
				0.75	1.200	50.7	20.1	6.92	0.137	71	13	1.51	GW 19
				1.00	1.200	50.6	20.0	6.87	0.136	71	14	1.52	GW 19
			1.5	0.25	1.200	50.3	19.5	6.72	0.134	70	14	1.55	GW 19
				0.50	1.400	61.1	23.5	7.48	0.122	67	21	1.56	GW 20
				0.75	1.600	73.3	27.2	7.24	0.099	63	29	1.62	GW 21
				1.00	1.600	74.7	28.6	7.42	0.099	64	29	1.57	GW 21
		C2	水平	0.00	1.200	48.5	19.3	7.38	0.152	71	10	1.51	GW 19
			2.0	0.25	1.400	58.8	23.3	8.55	0.145	68	16	1.51	GW 20
				0.50	1.600	69.8	26.6	8.73	0.125	64	23	1.57	GW 21
				0.75	1.600	70.7	27.6	8.92	0.126	65	23	1.54	GW 21
				1.00	1.600	71.1	28.1	9.01	0.127	66	23	1.52	GW 21
			1.8	0.25	1.600	68.6	25.3	8.48	0.124	63	23	1.63	GW 21
				0.50	1.600	70.9	27.8	8.96	0.126	65	23	1.53	GW 21
				0.75	1.800	83.7	31.3	8.11	0.097	62	31	1.60	GW 22
				1.00	1.800	85.2	32.8	8.21	0.096	63	32	1.56	GW 22
		C3	水平	0.00	1.600	65.6	24.6	9.66	0.147	64	18	1.60	GW 21
			2.0	0.25	1.800	78.5	29.7	9.96	0.127	62	25	1.59	GW 22

数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．５の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN･m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑動安全率	GW 断面形状番号
2.00	0.2	C1	水平	0.00	1.400	56.4	17.9	6.10	0.108	59	22	1.58	GW 20
			2.0	0.25	1.600	67.5	21.4	6.48	0.096	57	27	1.58	GW 21
				0.50	1.600	68.5	22.4	6.61	0.097	58	27	1.53	GW 21
				0.75	1.600	68.6	22.5	6.62	0.097	58	27	1.53	GW 21
				1.00	1.600	68.0	21.9	6.55	0.096	58	27	1.55	GW 21
			1.8	0.25	1.600	68.0	21.9	6.55	0.096	58	27	1.55	GW 21
				0.50	1.800	80.4	25.1	5.82	0.072	55	34	1.60	GW 22
				0.75	1.800	81.6	26.1	5.82	0.071	56	35	1.56	GW 22
				1.00	1.800	82.1	26.5	5.81	0.071	56	35	1.55	GW 22
			1.5	0.25	1.600	68.8	22.7	6.65	0.097	59	27	1.52	GW 21
				0.50	1.800	82.5	26.8	5.81	0.070	57	35	1.54	GW 22
		C2	水平	0.00	1.600	65.4	21.7	7.79	0.119	59	23	1.51	GW 21

材　料　表

（１ｍ当たり）

GW 断面形状番号	H (m)	B (m)	ｺﾝｸﾘｰﾄ (m³)	型　枠 (m²)	基礎材 (m²)
GW 18	1.00	0.70	0.550	2.025	
	1.50	0.85	0.938	3.037	
	2.00	1.00	1.400	4.050	
GW 19	1.00	0.80	0.600	2.040	
	1.50	1.00	1.050	3.059	
	2.00	1.20	1.600	4.079	
GW 20	1.00	0.90	0.650	2.064	
	1.50	1.15	1.163	3.096	
	2.00	1.40	1.800	4.128	
GW 21	1.00	1.00	0.700	2.097	
	1.50	1.30	1.275	3.145	
	2.00	1.60	2.000	4.194	
GW 22	1.00	1.10	0.750	2.138	
	1.50	1.45	1.388	3.207	
	2.00	1.80	2.200	4.276	

設計条件

項　目		記　号	単　位	数　値
擁　壁　高		H	m	
盛　土　高		Ho	m	
裏込め土の種類		C	-	
盛　土　勾　配		1:N	-	
高　さ　比		Ho/H	-	
単位体積重量	土　砂		kN/m³	
	ｺﾝｸﾘｰﾄ		kN/m³	23
ｺﾝｸﾘｰﾄ設計基準強度		σck	N/mm²	18
滑動摩擦係数		μ	-	
滑　動　安　全　率		Fs	-	1.5

注意事項

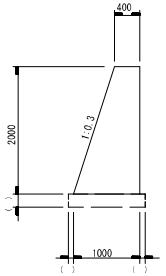
１．断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
２．本図は、１ｍあたりの設計であり、地震は考慮していない。
３．中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
４．設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
５．基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
６．伸縮目地の間隔は、１０ｍ以下とすること。また、擁壁前面にＶ字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、５ｍ以下を標準とする。
７．設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いのないようにしておくこと。
８．水抜管は、塩化ビニールパイプ（φ７５）を壁面３ｍ²につき１箇所設置すること。
９．水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

図番

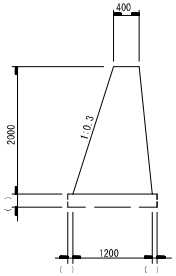
場所打擁壁工（構造物単位）－重力式コンクリート擁壁

断　面　図

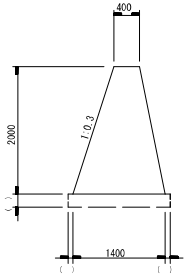
GW　２３



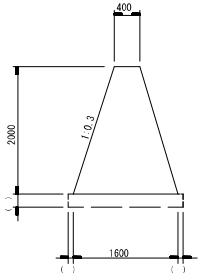
GW　２４



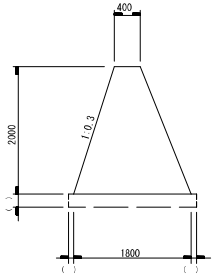
GW　２５

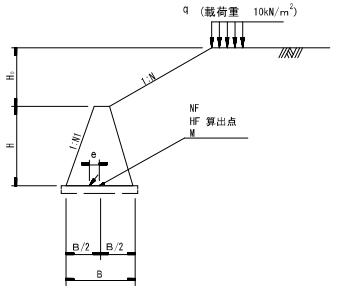


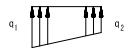
GW　２６



GW　２７







数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．６の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN･m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑動安全率	GW 断面形状番号
2.00	0.3	C1	水平	0.00	1.000	38.0	13.5	1.93	0.051	50	26	1.69	GW 23
			2.0	0.25	1.000	38.5	14.6	2.43	0.063	53	24	1.59	GW 23
				0.50	1.000	38.5	14.6	2.44	0.063	53	24	1.58	GW 23
				0.75	1.000	38.3	14.0	2.19	0.057	51	25	1.64	GW 23
				1.00	1.000	38.2	13.9	2.12	0.056	51	25	1.65	GW 23
			1.8	0.25	1.000	38.7	15.0	2.64	0.068	55	23	1.54	GW 23
				0.50	1.200	46.6	17.7	3.50	0.075	53	24	1.58	GW 24
				0.75	1.200	46.7	17.9	3.56	0.076	54	24	1.57	GW 24
				1.00	1.200	46.6	17.6	3.46	0.074	53	24	1.59	GW 24
			1.5	0.25	1.200	46.6	17.7	3.48	0.075	53	24	1.58	GW 24
				0.50	1.400	56.3	21.5	4.24	0.075	53	27	1.57	GW 25
				0.75	1.600	67.1	25.2	4.09	0.061	52	32	1.60	GW 26
				1.00	1.600	68.1	26.3	4.28	0.063	53	33	1.55	GW 26
		C2	水平	0.00	1.200	45.4	17.8	4.23	0.093	55	20	1.53	GW 24
			2.0	0.25	1.400	54.6	21.7	5.30	0.097	55	23	1.51	GW 25
				0.50	1.600	64.5	24.9	5.46	0.085	53	28	1.56	GW 26
				0.75	1.600	65.1	25.6	5.63	0.086	54	28	1.52	GW 26
				1.00	1.600	65.3	26.0	5.70	0.087	54	27	1.51	GW 26
			1.8	0.25	1.600	63.8	23.9	5.24	0.082	52	28	1.60	GW 26
				0.50	1.600	65.4	26.1	5.72	0.087	54	27	1.51	GW 26
				0.75	1.800	77.0	29.5	4.96	0.064	52	34	1.56	GW 27
				1.00	1.800	78.1	30.8	5.08	0.065	53	34	1.52	GW 27
		C3	水平	0.00	1.600	61.5	23.6	6.40	0.104	53	23	1.57	GW 26
			2.0	0.25	1.800	73.3	28.5	6.66	0.091	53	28	1.54	GW 27

数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．５の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN･m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑動安全率	GW 断面形状番号
2.00	0.3	C1	水平	0.00	1.400	52.8	16.6	2.87	0.054	47	29	1.60	GW 25
			2.0	0.25	1.600	62.8	20.0	3.24	0.052	47	32	1.57	GW 26
				0.50	1.600	63.3	20.6	3.36	0.053	47	32	1.53	GW 26
				0.75	1.600	63.2	20.5	3.33	0.053	47	32	1.54	GW 26
				1.00	1.600	62.7	19.9	3.23	0.052	47	32	1.58	GW 26
			1.8	0.25	1.600	63.2	20.4	3.32	0.053	47	32	1.55	GW 26
				0.50	1.800	74.3	23.5	2.71	0.036	46	36	1.58	GW 27
				0.75	1.800	75.0	24.3	2.73	0.036	47	37	1.54	GW 27
				1.00	1.800	75.2	24.5	2.74	0.036	47	37	1.54	GW 27
			1.5	0.25	1.600	63.8	21.2	3.45	0.054	48	32	1.51	GW 26
				0.50	1.800	76.0	25.3	2.76	0.036	47	37	1.50	GW 27
		C2	水平	0.00	1.800	70.0	21.7	4.17	0.060	47	31	1.61	GW 27

材　料　表

（１ｍ当たり）

GW 断面形状番号	H (m)	B (m)	ｺﾝｸﾘｰﾄ (m³)	型　枠 (m²)	基礎材 (m²)
GW 23	1.00	0.70	0.550	2.044	
	1.50	0.85	0.938	3.066	
	2.00	1.00	1.400	4.088	
GW 24	1.00	0.80	0.600	2.049	
	1.50	1.00	1.050	3.074	
	2.00	1.20	1.600	4.098	
GW 25	1.00	0.90	0.650	2.064	
	1.50	1.15	1.163	3.096	
	2.00	1.40	1.800	4.128	
GW 26	1.00	1.00	0.700	2.088	
	1.50	1.30	1.275	3.132	
	2.00	1.60	2.000	4.176	
GW 27	1.00	1.10	0.750	2.121	
	1.50	1.45	1.388	3.182	
	2.00	1.80	2.200	4.242	

設計条件

項　目		記　号	単　位	数　値
擁　壁　高		H	m	
盛　土　高		Ho	m	
裏込め土の種類		C	-	
盛　土　勾　配		1:N	-	
高　さ　比		Ho/H	-	
単位体積重量	土　砂		kN/m³	
	ｺﾝｸﾘｰﾄ		kN/m³	23
ｺﾝｸﾘｰﾄ設計基準強度		σck	N/mm²	18
滑動摩擦係数		μ	-	
滑　動　安　全　率		Fs	-	1.5

注意事項

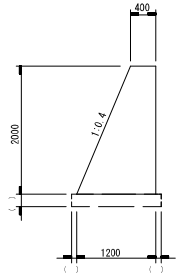
１．断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
２．本図は、１ｍあたりの設計であり、地震は考慮していない。
３．中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
４．設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
５．基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
６．伸縮目地の間隔は、１０ｍ以下とすること。また、擁壁前面にＶ字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、５ｍ以下を標準とする。
７．設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いのないようにしておくこと。
８．水抜管は、塩化ビニールパイプ（φ７５）を壁面３ｍ²につき１箇所設置すること。
９．水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

図番

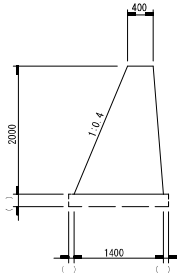
場所打擁壁工（構造物単位）－重力式コンクリート擁壁

断　面　図

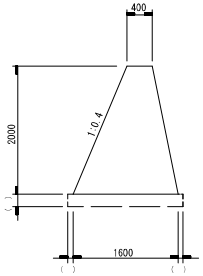
GW　２８



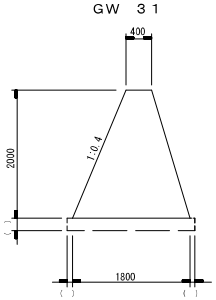
GW　２９

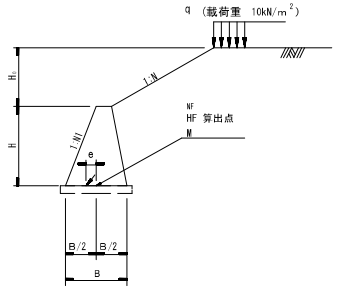


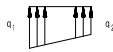
GW　３０



GW　３１







数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．６の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	NI 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN･m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑動安全率	GW 断面形状番号
2.00	0.4	C1	水平	0.00	1.200	42.6	13.5	−0.642	−0.015	33	38	1.90	GW 28
			2.0	0.25	1.200	43.1	14.6	−0.194	−0.005	35	37	1.78	GW 28
				0.50	1.200	43.1	14.6	−0.183	−0.004	35	37	1.77	GW 28
				0.75	1.200	42.9	14.0	−0.412	−0.010	34	37	1.83	GW 28
				1.00	1.200	42.8	13.9	−0.469	−0.011	34	38	1.85	GW 28
			1.8	0.25	1.200	43.3	15.0	−0.005	0.000	36	36	1.73	GW 28
				0.50	1.200	43.5	15.6	0.233	0.005	37	35	1.67	GW 28
				0.75	1.200	43.5	15.6	0.240	0.006	37	35	1.67	GW 28
				1.00	1.200	43.4	15.3	0.101	0.002	37	36	1.70	GW 28
			1.5	0.25	1.200	43.6	15.7	0.284	0.007	38	35	1.66	GW 28
				0.50	1.200	44.2	17.2	0.890	0.020	41	33	1.54	GW 28
				0.75	1.400	52.8	20.6	1.430	0.027	42	33	1.54	GW 29
				1.00	1.600	62.5	23.9	1.250	0.020	42	36	1.57	GW 30
		C2	水平	0.00	1.200	42.7	16.2	1.130	0.026	40	31	1.58	GW 28
			2.0	0.25	1.400	51.0	19.9	2.150	0.042	43	30	1.54	GW 29
				0.50	1.600	60.0	23.0	2.320	0.039	43	32	1.57	GW 30
				0.75	1.600	60.3	23.6	2.470	0.041	44	32	1.54	GW 30
				1.00	1.600	60.4	23.7	2.520	0.042	44	32	1.53	GW 30
			1.8	0.25	1.400	51.2	20.4	2.330	0.046	44	29	1.50	GW 29
				0.50	1.600	60.7	24.2	2.630	0.043	44	32	1.51	GW 30
				0.75	1.800	71.1	27.6	2.000	0.028	43	36	1.55	GW 31
				1.00	1.800	71.9	28.6	2.160	0.030	44	36	1.51	GW 31
		C3	水平	0.00	1.600	57.9	22.3	3.290	0.057	44	28	1.56	GW 30
			2.0	0.25	1.800	68.5	27.2	3.590	0.052	45	31	1.51	GW 31

数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．５の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	NI 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN･m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑動安全率	GW 断面形状番号
2.00	0.4	C1	水平	0.00	1.200	42.6	13.5	−0.642	−0.015	33	38	1.58	GW 28
			2.0	0.25	1.400	50.5	16.5	0.124	0.002	36	36	1.54	GW 29
				0.50	1.400	50.7	16.7	0.188	0.004	37	36	1.52	GW 29
				0.75	1.400	50.4	16.2	0.038	0.001	36	36	1.56	GW 29
				1.00	1.400	50.2	15.9	−0.058	−0.001	36	36	1.58	GW 29
			1.8	0.25	1.600	59.0	18.8	0.186	0.003	37	36	1.57	GW 30
				0.50	1.600	59.7	19.8	0.399	0.007	38	36	1.51	GW 30
				0.75	1.800	69.3	22.3	−0.242	−0.003	38	39	1.56	GW 31
				1.00	1.800	69.3	22.3	−0.243	−0.003	38	39	1.56	GW 31
			1.5	0.25	1.600	59.5	19.5	0.341	0.006	38	36	1.52	GW 30
		C2	水平	0.00	1.800	65.9	20.6	0.987	0.015	38	35	1.60	GW 31

材　料　表

（１ｍ当たり）

GW 断面形状番号	H (m)	B (m)	ｺﾝｸﾘｰﾄ (m³)	型　枠 (m²)	基礎材 (m²)
GW 28	1.00	0.80	0.600	2.077	
	1.50	1.00	1.050	3.116	
	2.00	1.20	1.600	4.154	
GW 29	1.00	0.90	0.650	2.082	
	1.50	1.15	1.163	3.123	
	2.00	1.40	1.800	4.164	
GW 30	1.00	1.00	0.700	2.097	
	1.50	1.30	1.275	3.145	
	2.00	1.60	2.000	4.194	
GW 31	1.00	1.10	0.750	2.121	
	1.50	1.45	1.388	3.182	
	2.00	1.80	2.200	4.242	

設計条件

項　目		記　号	単　位	数　値
擁　壁　高		H	m	
盛　土　高		Ho	m	
裏込め土の種類		C	−	
盛　土　勾　配		1:N	−	
高　さ　比		Ho/H	−	
単位体積重量	土　砂		kN/m³	
	ｺﾝｸﾘｰﾄ		kN/m³	23
ｺﾝｸﾘｰﾄ設計基準強度		σck	N/mm²	18
滑動摩擦係数		μ	−	
滑　動　安　全　率		Fs	−	1.5

注意事項

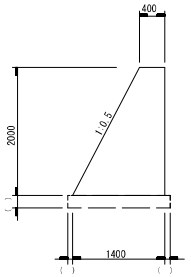
１．断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
２．本図は、１ｍあたりの設計であり、地震は考慮していない。
３．中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
４．設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
５．基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
６．伸縮目地の間隔は、１０ｍ以下とすること。また、擁壁前面にＶ字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、５ｍ以下を標準とする。
７．設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いのないようにしておくこと。
８．水抜管は、塩化ビニールパイプ（φ７５）を壁面３ｍ²につき１箇所設置すること。
９．水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

図番

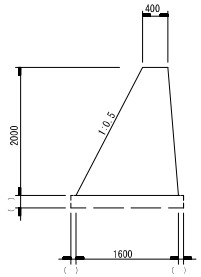
場所打擁壁工（構造物単位）－重力式コンクリート擁壁

断　面　図

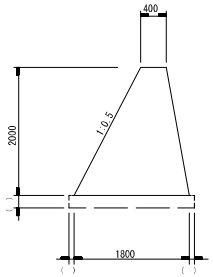
GW　３２

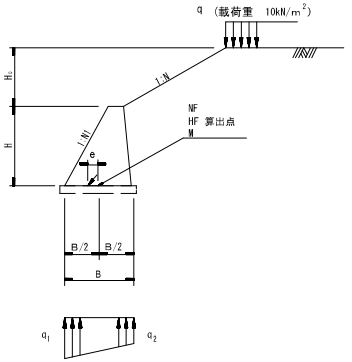


GW　３３



GW　３４





数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．６の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	NI 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN･m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑動安全率	GW 断面形状番号
2.00	0.5	C1	水平	0.00	1.400	47.2	13.5	−3.520	−0.075	23	45	2.10	GW 32
			2.0	0.25	1.400	47.7	14.6	−3.120	−0.065	24	44	1.96	GW 32
				0.50	1.400	47.7	14.6	−3.110	−0.065	25	44	1.96	GW 32
				0.75	1.400	47.5	14.0	−3.320	−0.070	24	44	2.03	GW 32
				1.00	1.400	47.4	13.9	−3.370	−0.071	24	44	2.05	GW 32
			1.8	0.25	1.400	47.9	15.0	−2.950	−0.062	25	43	1.91	GW 32
				0.50	1.400	48.1	15.6	−2.740	−0.057	26	43	1.85	GW 32
				0.75	1.400	48.1	15.6	−2.730	−0.057	26	43	1.85	GW 32
				1.00	1.400	48.0	15.3	−2.860	−0.060	26	43	1.88	GW 32
			1.5	0.25	1.400	48.2	15.7	−2.690	−0.056	26	43	1.84	GW 32
				0.50	1.400	48.8	17.2	−2.150	−0.044	28	41	1.70	GW 32
				0.75	1.400	49.3	18.2	−1.780	−0.036	30	41	1.62	GW 32
				1.00	1.400	49.6	18.9	−1.540	−0.031	31	40	1.57	GW 32
		C2	水平	0.00	1.400	47.3	16.2	−1.760	−0.037	28	39	1.75	GW 32
			2.0	0.25	1.400	48.0	18.0	−1.000	−0.021	31	37	1.59	GW 32
				0.50	1.400	48.3	18.9	−0.648	−0.013	33	36	1.53	GW 32
				0.75	1.400	48.4	19.2	−0.524	−0.011	33	36	1.51	GW 32
				1.00	1.400	48.4	19.2	−0.532	−0.011	33	36	1.51	GW 32
			1.8	0.25	1.400	48.1	18.5	−0.796	−0.017	32	37	1.56	GW 32
				0.50	1.600	56.7	22.1	−0.423	−0.007	34	36	1.54	GW 33
				0.75	1.800	66.1	25.5	−0.880	−0.013	35	38	1.56	GW 34
				1.00	1.800	66.6	26.4	−0.699	−0.010	36	38	1.52	GW 34
		C3	水平	0.00	1.600	54.6	20.9	0.264	0.005	35	34	1.57	GW 33
			2.0	0.25	1.800	64.2	25.6	0.662	0.010	37	34	1.50	GW 34

数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．５の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	NI 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN･m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑動安全率	GW 断面形状番号
2.00	0.5	C1	水平	0.00	1.400	47.2	13.5	−3.520	−0.075	23	45	1.75	GW 32
			2.0	0.25	1.400	47.7	14.6	−3.120	−0.065	24	44	1.64	GW 32
				0.50	1.400	47.7	14.6	−3.110	−0.065	25	44	1.63	GW 32
				0.75	1.400	47.5	14.0	−3.320	−0.070	24	44	1.69	GW 32
				1.00	1.400	47.4	13.9	−3.370	−0.071	24.	44	1.71	GW 32
			1.8	0.25	1.400	47.9	15.0	−2.950	−0.062	25	43	1.59	GW 32
				0.50	1.400	48.1	15.6	−2.740	−0.057	26	43	1.54	GW 32
				0.75	1.400	48.1	15.6	−2.730	−0.057	26	43	1.54	GW 32
				1.00	1.400	48.0	15.3	−2.860	−0.060	26	43	1.57	GW 32
			1.5	0.25	1.400	48.2	15.7	−2.690	−0.056	26	43	1.53	GW 32
				0.50	1.800	65.5	21.5	−3.030	−0.046	31	42	1.52	GW 34
		C2	水平	0.00	1.600	54.6	17.8	−1.780	−0.033	30	38	1.53	GW 33

材　料　表

（１ｍ当たり）

GW 断面形状番号	H (m)	B (m)	ｺﾝｸﾘｰﾄ (m³)	型　枠 (m²)	基礎材 (m²)
GW 32	1.00	0.90	0.650	2.118	
	1.50	1.15	1.163	3.177	
	2.00	1.40	1.800	4.236	
GW 33	1.00	1.00	0.700	2.123	
	1.50	1.30	1.275	3.185	
	2.00	1.60	2.000	4.246	
GW 34	1.00	1.10	0.750	2.138	
	1.50	1.45	1.388	3.207	
	2.00	1.80	2.200	4.276	

設計条件

項　目		記　号	単　位	数　値
擁　壁　高		H	m	
盛　土　高		Ho	m	
裏込め土の種類		C	−	
盛　土　勾　配		1:N	−	
高　さ　比		Ho/H	−	
単位体積重量	土　砂		kN/m³	
	ｺﾝｸﾘｰﾄ		kN/m³	23
ｺﾝｸﾘｰﾄ設計基準強度		σck	N/mm²	18
滑動摩擦係数		μ	−	
滑　動　安　全　率		Fs	−	1.5

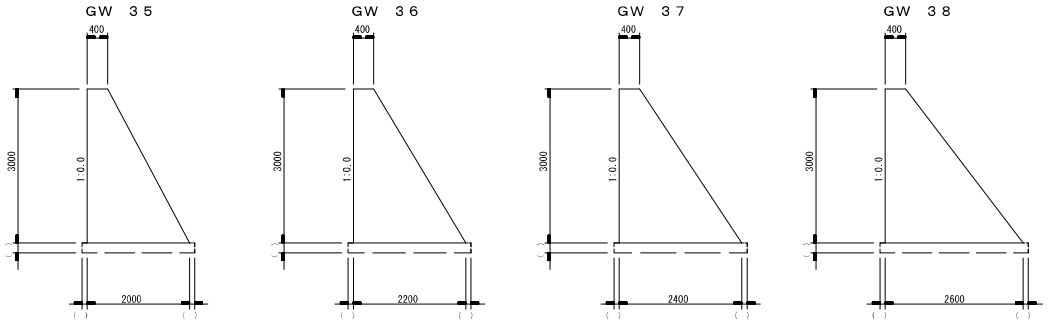
注意事項

１．断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
２．本図は、１ｍあたりの設計であり、地震は考慮していない。
３．中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
４．設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
５．基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
６．伸縮目地の間隔は、１０ｍ以下とすること。また、擁壁前面にＶ字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、５ｍ以下を標準とする。
７．設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いのないようにしておくこと。
８．水抜管は、塩化ビニールパイプ（φ７５）を壁面３ｍ²につき１箇所設置すること。
９．水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

図番

場所打擁壁工（構造物単位）－重力式コンクリート擁壁

断　面　図



数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．６の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN･m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑動安全率	GW 断面形状番号
3.00	0.0	C1	水平	0.00	2.000	133	40.3	42.5	0.319	130	3	1.99	GW 35
			2.0	0.25	2.000	144	48.7	46.0	0.320	141	3	1.77	GW 35
				0.50	2.000	149	53.1	47.8	0.320	146	3	1.69	GW 35
				0.75	2.000	152	54.9	48.6	0.320	149	3	1.66	GW 35
				1.00	2.000	152	54.9	48.5	0.320	149	3	1.66	GW 35
			1.8	0.25	2.000	145	49.5	46.3	0.320	142	3	1.76	GW 35
				0.50	2.000	152	55.2	48.7	0.320	149	3	1.65	GW 35
				0.75	2.000	156	58.5	50.1	0.321	153	3	1.60	GW 35
				1.00	2.000	158	60.2	50.7	0.321	155	3	1.58	GW 35
			1.5	0.25	2.000	146	50.8	46.8	0.320	143	3	1.73	GW 35
				0.50	2.000	156	58.5	50.0	0.321	153	3	1.60	GW 35
				0.75	2.000	163	64.2	52.4	0.321	160	3	1.53	GW 35
				1.00	2.200	189	71.1	52.7	0.279	151	20	1.59	GW 36
		C2	水平	0.00	2.200	147	46.3	48.8	0.332	127	6	1.90	GW 36
			2.0	0.25	2.200	160	56.7	52.8	0.331	138	7	1.69	GW 36
				0.50	2.200	168	63.4	55.3	0.330	145	8	1.59	GW 36
				0.75	2.200	173	67.6	57.0	0.329	149	8	1.54	GW 36
				1.00	2.200	176	70.3	58.0	0.329	152	8	1.51	GW 36
			1.8	0.25	2.200	161	57.5	53.1	0.331	139	7	1.68	GW 36
				0.50	2.200	171	65.5	56.2	0.329	147	8	1.56	GW 36
				0.75	2.400	196	73.3	56.9	0.290	141	23	1.61	GW 37
				1.00	2.400	203	78.0	58.2	0.287	145	24	1.56	GW 37
		C3	水平	0.00	2.400	160	52.5	55.5	0.347	124	9	1.83	GW 37
			2.0	0.25	2.400	175	65.0	60.0	0.343	135	10	1.62	GW 37
				0.50	2.400	186	74.2	63.2	0.340	143	12	1.51	GW 37
				0.75	2.600	213	82.9	63.7	0.299	139	25	1.54	GW 38

数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．５の場合

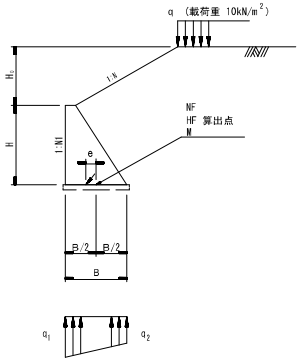
（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN･m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑動安全率	GW 断面形状番号
3.00	0.0	C1	水平	0.00	2.000	133	40.3	42.5	0.319	130	3	1.65	GW 35
			2.0	0.25	2.200	159	50.0	46.3	0.290	130	15	1.59	GW 36
				0.50	2.200	166	54.9	47.8	0.288	135	16	1.51	GW 36
				0.75	2.400	188	59.1	47.3	0.252	128	29	1.59	GW 37
				1.00	2.400	189	59.9	47.5	0.251	128	29	1.58	GW 37
			1.8	0.25	2.200	160	50.8	46.5	0.290	131	15	1.58	GW 36
				0.50	2.400	187	58.4	47.2	0.253	127	29	1.60	GW 37
				0.75	2.400	193	62.6	47.9	0.248	130	31	1.54	GW 37
				1.00	2.400	197	65.1	48.4	0.246	132	32	1.51	GW 37
			1.5	0.25	2.200	162	52.0	46.9	0.289	132	16	1.56	GW 36
				0.50	2.400	191	61.5	47.8	0.249	129	30	1.56	GW 37
				0.75	2.600	222	69.6	45.4	0.205	126	45	1.60	GW 38
				1.00	2.600	231	75.1	45.6	0.197	129	49	1.54	GW 38
		C2	水平	0.00	2.200	147	46.3	48.8	0.332	127	6	1.59	GW 36
			2.0	0.25	2.400	175	52.7	52.6	0.300	128	18	1.52	GW 37
				0.50	2.600	203	66.2	53.1	0.262	125	31	1.53	GW 38
			1.8	0.25	2.400	176	58.6	52.9	0.300	129	18	1.50	GW 37
				0.50	2.600	206	68.2	53.4	0.260	127	32	1.51	GW 38

材　料　表

（１ｍ当たり）

GW 断面形状番号	H (m)	B (m)	ｺﾝｸﾘｰﾄ (m³)	型　枠 (m²)	基礎材 (m²)
GW 35	1.00	0.93	0.665	2.132	
	1.50	1.20	1.200	3.200	
	2.00	1.47	1.870	4.268	
	2.50	1.73	2.663	5.332	
	3.00	2.00	3.600	6.400	
GW 36	1.00	1.00	0.700	2.166	
	1.50	1.30	1.275	3.249	
	2.00	1.60	2.000	4.332	
	2.50	1.90	2.875	5.415	
	3.00	2.20	3.900	6.499	
GW 37	1.00	1.07	0.735	2.204	
	1.50	1.40	1.350	3.303	
	2.00	1.73	2.130	4.402	
	2.50	2.07	3.088	5.506	
	3.00	2.40	4.200	6.606	
GW 38	1.00	1.13	0.765	2.238	
	1.50	1.50	1.425	3.360	
	2.00	1.87	2.270	4.482	
	2.50	2.23	3.288	5.598	
	3.00	2.60	4.500	6.720	



設計条件

項　目		記　号	単　位	数　値
擁　壁　高		H	m	
盛　土　高		Ho	m	
裏込め土の種類		C	-	
盛　土　勾　配		1:N	-	
高　さ　比		Ho/H	-	
単位体積重量	土　砂		kN/m³	
	ｺﾝｸﾘｰﾄ		kN/m³	23
ｺﾝｸﾘｰﾄ設計基準強度		σck	N/mm²	18
滑動摩擦係数		μ	-	
滑　動　安　全　率		Fs	-	1.5

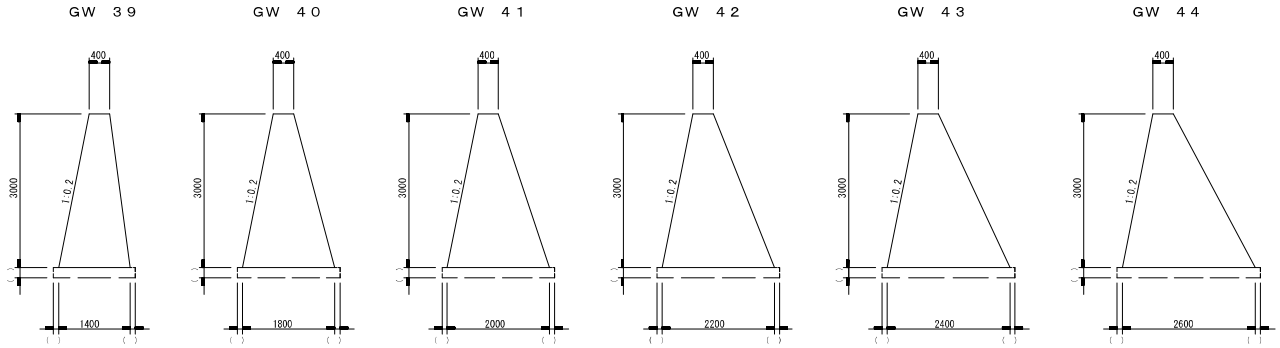
注意事項

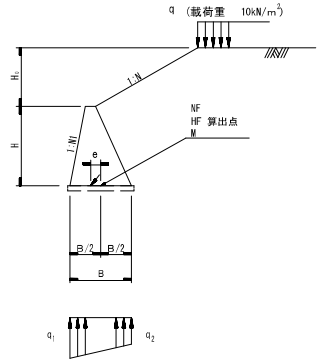
１．断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
２．本図は、１ｍあたりの設計であり、地震は考慮していない。
３．中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
４．設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
５．擁壁高さが、２．５ｍ以上で中位の砂質地盤を支持地盤とする場合、根入れの深さは、擁壁高さの０．２倍以上確保することが望ましい。
６．基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
７．伸縮目地の間隔は、１０ｍ以下とすること。また、擁壁前面にＶ字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、５ｍ以下を標準とする。
８．設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いのないようにしておくこと。
９．水抜管は、塩化ビニールパイプ（φ７５）を壁面３ｍ²につき１箇所設置すること。
１０．水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

図番

場所打擁壁工（構造物単位）－重力式コンクリート擁壁

断　面　図





数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．６の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	H₀/H 高さ比	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN･m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑動安全率	GW 断面形状番号
3.00	0.2	C1	水平	0.00	1.400	80.8	31.2	18.0	0.223	113	2	1.56	GW 39
			2.0	0.25	1.800	108.0	41.1	23.6	0.218	104	17	1.58	GW 40
				0.50	1.800	110.0	43.6	24.8	0.225	107	15	1.52	GW 40
				0.75	1.800	111.0	43.9	24.9	0.226	108	15	1.51	GW 40
				1.00	1.800	110.0	43.2	24.6	0.224	107	16	1.53	GW 40
			1.8	0.25	1.800	109.0	42.0	24.0	0.220	105	16	1.56	GW 40
				0.50	2.000	126.0	48.5	26.0	0.207	102	24	1.56	GW 41
				0.75	2.000	128.0	50.5	26.9	0.210	104	24	1.52	GW 41
				1.00	2.000	128.0	51.2	27.1	0.211	105	24	1.51	GW 41
			1.5	0.25	1.800	110.0	43.3	24.7	0.224	107	15	1.52	GW 40
				0.50	2.200	144.0	54.3	26.5	0.183	98	33	1.59	GW 42
				0.75	2.200	149.0	59.2	27.9	0.187	102	33	1.51	GW 42
				1.00	2.400	171.0	65.8	26.3	0.154	98	44	1.56	GW 43
		C2	水平	0.00	1.800	104.0	40.1	25.4	0.244	105	11	1.55	GW 40
			2.0	0.25	2.200	136.0	52.1	29.8	0.219	99	25	1.57	GW 42
				0.50	2.400	156.0	59.6	30.6	0.196	97	33	1.57	GW 43
				0.75	2.400	160.0	63.1	31.5	0.197	99	34	1.52	GW 43
				1.00	2.600	179.0	67.7	29.5	0.165	95	43	1.59	GW 44
			1.8	0.25	2.200	137.0	53.0	30.2	0.220	100	25	1.55	GW 42
				0.50	2.400	158.0	61.9	31.2	0.197	99	34	1.54	GW 43
				0.75	2.600	181.0	69.3	29.7	0.164	96	43	1.56	GW 44
				1.00	2.600	185.0	73.3	30.3	0.164	98	44	1.52	GW 44
		C3	水平	0.00	2.200	128.0	48.8	32.0	0.249	98	19	1.58	GW 42
			2.0	0.25	2.600	166.0	62.6	34.6	0.209	94	33	1.59	GW 44

数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．５の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	H₀/H 高さ比	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN･m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑動安全率	GW 断面形状番号
3.00	0.2	C1	水平	0.00	2.000	115.0	36.6	21.2	0.184	90	26	1.58	GW 41
			2.0	0.25	2.400	150.0	47.1	23.0	0.154	86	38	1.59	GW 43
				0.50	2.400	154.0	51.0	23.7	0.154	89	40	1.51	GW 43
				0.75	2.600	172.0	54.9	21.7	0.126	86	47	1.57	GW 44
				1.00	2.600	172.0	54.9	21.7	0.126	86	47	1.57	GW 44
			1.8	0.25	2.400	151.0	48.0	23.1	0.154	87	39	1.57	GW 43
				0.50	2.600	173.0	55.2	21.7	0.126	86	47	1.56	GW 44
				0.75	2.600	177.0	58.5	21.9	0.124	87	49	1.51	GW 44
			1.5	0.25	2.400	152.0	49.3	23.4	0.154	88	39	1.54	GW 43
				0.50	2.600	177.0	58.5	21.9	0.124	87	49	1.51	GW 44
		C2	水平	0.00	2.400	141.0	44.4	26.5	0.188	86	31	1.59	GW 43

材　料　表

（１ｍ当たり）

GW 断面形状番号	H (m)	B (m)	ｺﾝｸﾘｰﾄ (m³)	型　枠 (m²)	基礎材 (m²)
GW 39	1.00	0.73	0.565	2.028	
	1.50	0.90	0.975	3.043	
	2.00	1.07	1.470	4.058	
	2.50	1.23	2.038	5.071	
	3.00	1.40	2.700	6.086	
GW 40	1.00	0.87	0.635	2.056	
	1.50	1.10	1.125	3.082	
	2.00	1.33	1.730	4.109	
	2.50	1.57	2.463	5.138	
	3.00	1.80	3.300	6.164	
GW 41	1.00	0.93	0.665	2.073	
	1.50	1.20	1.200	3.111	
	2.00	1.47	1.870	4.149	
	2.50	1.73	2.663	5.184	
	3.00	2.00	3.600	6.222	
GW 42	1.00	1.00	0.700	2.097	
	1.50	1.30	1.275	3.145	
	2.00	1.60	2.000	4.194	
	2.50	1.90	2.875	5.242	
	3.00	2.20	3.900	6.291	
GW 43	1.00	1.07	0.735	2.125	
	1.50	1.40	1.350	3.185	
	2.00	1.73	2.130	4.245	
	2.50	2.07	3.088	5.310	
	3.00	2.40	4.200	6.370	
GW 44	1.00	1.13	0.765	2.152	
	1.50	1.50	1.425	3.230	
	2.00	1.87	2.270	4.308	
	2.50	2.23	3.288	5.381	
	3.00	2.60	4.500	6.459	

設計条件

項　目		記　号	単　位	数　値
擁　壁　高		H	m	
盛　土　高		H₀	m	
裏込め土の種類		C	-	
盛　土　勾　配		1:N	-	
高　さ　比		H₀/H	-	
単位体積重量	土　砂		kN/m³	
	ｺﾝｸﾘｰﾄ		kN/m³	23
ｺﾝｸﾘｰﾄ設計基準強度		σck	N/mm²	18
滑動摩擦係数		μ	-	
滑　動　安　全　率		Fs	-	1.5

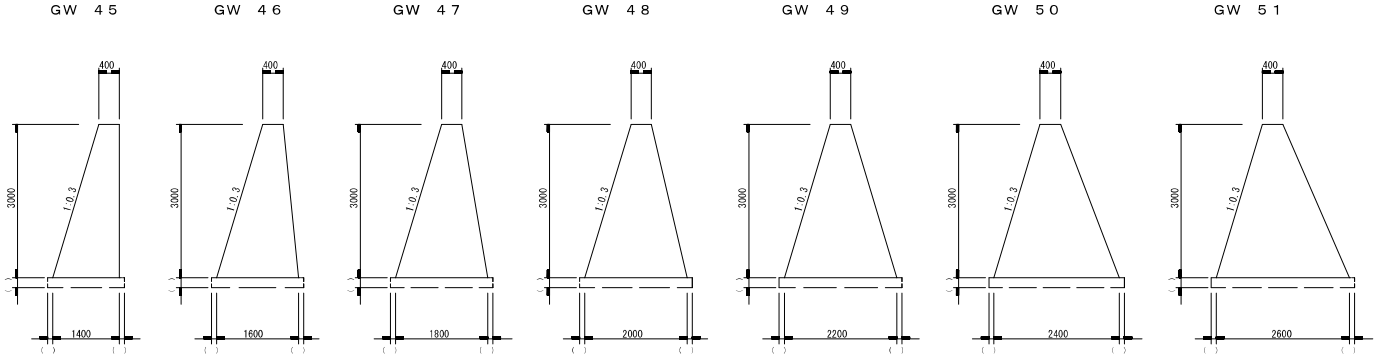
注意事項

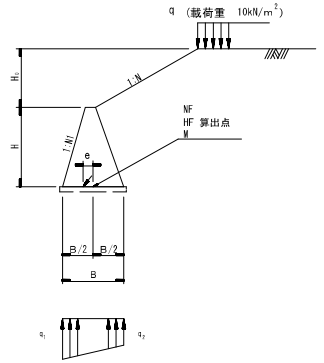
１．断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
２．本図は、１ｍあたりの設計であり、地震は考慮していない。
３．中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
４．設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
５．擁壁高さが、２．５ｍ以上で中位の砂質地盤を支持地盤とする場合、根入れの深さは、擁壁高さの０．２倍以上確保することが望ましい。
６．基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
７．伸縮目地の間隔は、１０ｍ以下とすること。また、擁壁前面にＶ字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、５ｍ以下を標準とする。
８．設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いのないようにしておくこと。
９．水抜管は、塩化ビニールパイプ（φ７５）を壁面３ｍ²につき１箇所設置すること。
１０．水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

図番

場所打擁壁工（構造物単位）－重力式コンクリート擁壁

断　面　図





数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．６の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN･m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑動安全率	GW 断面形状番号
3.00	0.3	C1	水平	0.00	1.800	96.0	37.4	15.90	0.164	83	24	1.56	GW 47
			2.0	0.25	2.200	126.0	49.1	19.80	0.157	82	33	1.54	GW 49
				0.50	2.400	144.0	56.2	20.40	0.142	81	39	1.54	GW 50
				0.75	2.600	162.0	61.8	18.90	0.117	79	46	1.57	GW 51
				1.00	2.600	164.0	63.6	19.20	0.118	80	46	1.55	GW 51
			1.8	0.25	2.200	127.0	50.0	20.20	0.159	83	33	1.52	GW 49
				0.50	2.600	161.0	60.8	18.70	0.116	79	45	1.59	GW 51
				0.75	2.600	166.0	65.6	19.60	0.118	81	46	1.51	GW 51
			1.5	0.25	2.400	141.0	46.6	13.50	0.096	73	45	1.51	GW 50
		C2	水平	0.00	2.400	132.0	42.5	16.30	0.123	72	38	1.56	GW 50

数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．５の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN･m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑動安全率	GW 断面形状番号
3.00	0.3	C1	水平	0.00	1.800	96.6	32.1	11.00	0.114	74	33	1.50	GW 47
			2.0	0.25	2.400	139.0	44.4	13.00	0.094	71	44	1.56	GW 50
				0.50	2.600	157.0	49.9	11.70	0.075	71	50	1.57	GW 51
				0.75	2.600	158.0	51.1	11.80	0.075	71	50	1.54	GW 51
				1.00	2.600	157.0	50.6	11.80	0.075	71	50	1.56	GW 51
			1.8	0.25	2.400	139.0	45.2	13.20	0.094	72	44	1.54	GW 50
				0.50	2.600	159.0	52.1	11.90	0.075	72	51	1.52	GW 51
			1.5	0.25	2.400	141.0	46.6	13.50	0.096	73	45	1.51	GW 50
		C2	水平	0.00	2.400	132.0	42.5	16.30	0.123	72	38	1.56	GW 50

材　料　表

（１ｍ当たり）

GW 断面形状番号	H (m)	B (m)	ｺﾝｸﾘｰﾄ (m³)	型　枠 (m²)	基礎材 (m³)
GW 45	1.00	0.73	0.565	2.044	
	1.50	0.90	0.975	3.067	
	2.00	1.07	1.470	4.089	
	2.50	1.23	2.038	5.111	
	3.00	1.40	2.700	6.134	
GW 46	1.00	0.80	0.600	2.049	
	1.50	1.00	1.050	3.074	
	2.00	1.20	1.600	4.098	
	2.50	1.40	2.250	5.123	
	3.00	1.60	3.000	6.147	
GW 47	1.00	0.87	0.635	2.058	
	1.50	1.10	1.125	3.087	
	2.00	1.33	1.730	4.115	
	2.50	1.57	2.463	5.145	
	3.00	1.80	3.300	6.173	
GW 48	1.00	0.93	0.665	2.070	
	1.50	1.20	1.200	3.106	
	2.00	1.47	1.870	4.143	
	2.50	1.73	2.663	5.176	
	3.00	2.00	3.600	6.213	
GW 49	1.00	1.00	0.700	2.088	
	1.50	1.30	1.275	3.132	
	2.00	1.60	2.000	4.176	
	2.50	1.90	2.875	5.220	
	3.00	2.20	3.900	6.264	
GW 50	1.00	1.07	0.735	2.110	
	1.50	1.40	1.350	3.164	
	2.00	1.73	2.130	4.217	
	2.50	2.07	3.088	5.274	
	3.00	2.40	4.200	6.327	
GW 51	1.00	1.13	0.765	2.133	
	1.50	1.50	1.425	3.201	
	2.00	1.87	2.270	4.269	
	2.50	2.23	3.288	5.333	
	3.00	2.60	4.500	6.402	

設計条件

項　目		記　号	単　位	数　値
擁　壁　高		H	m	
盛　土　高		Ho	m	
裏込め土の種類		C	-	
盛　土　勾　配		1:N	-	
高　さ　比		Ho/H	-	
単位体積重量	土　砂		kN/m³	
	ｺﾝｸﾘｰﾄ		kN/m³	23
ｺﾝｸﾘｰﾄ設計基準強度		σck	N/mm²	18
滑動摩擦係数		μ	-	
滑動安全率		Fs	-	1.5

注意事項

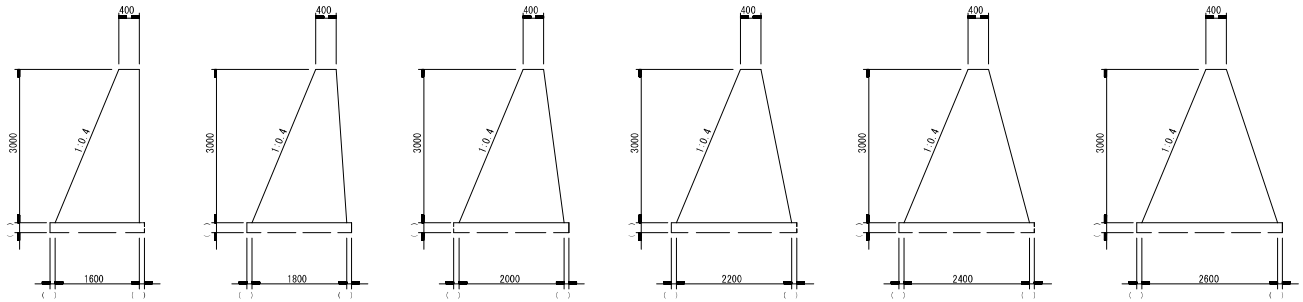
１．断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
２．本図は、１ｍあたりの設計であり、地震は考慮していない。
３．中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
４．設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
５．擁壁高さが、２．５ｍ以上で中位の砂質地盤を支持地盤とする場合、根入れの深さは、擁壁高さの０．２倍以上確保することが望ましい。
６．基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
７．伸縮目地の間隔は、１０ｍ以下とすること。また、擁壁前面にＶ字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、５ｍ以下を標準とする。
８．設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いのないようにしておくこと。
９．水抜管は、塩化ビニールパイプ（φ７５）を壁面３ｍ²につき１箇所設置すること。
１０．水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

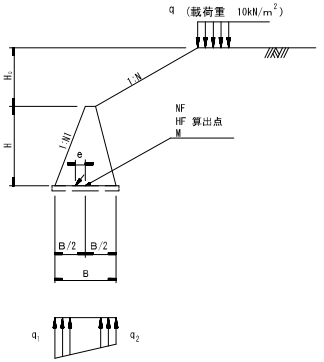
図番

場所打擁壁工（構造物単位）－重力式コンクリート擁壁

断　面　図

GW　５２　　GW　５３　　GW　５４　　GW　５５　　GW　５６　　GW　５７





数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．６の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN･m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑動安全率	GW 断面形状番号
3.00	0.4	C1	水平	0.00	1.600	80.6	26.9	1.08	0.013	53	48	1.80	GW 52
			2.0	0.25	1.600	82.4	31.0	3.73	0.045	60	43	1.60	GW 52
				0.50	1.600	82.8	32.0	4.40	0.053	62	41	1.55	GW 52
				0.75	1.600	82.5	31.3	3.96	0.048	61	42	1.58	GW 52
				1.00	1.600	82.5	31.3	3.91	0.047	61	42	1.58	GW 52
			1.8	0.25	1.600	82.7	31.8	4.27	0.052	62	42	1.56	GW 52
				0.50	1.800	94.9	37.0	6.26	0.066	64	41	1.54	GW 53
				0.75	1.800	95.3	37.9	6.73	0.071	65	40	1.51	GW 53
				1.00	1.800	95.2	37.6	6.59	0.069	65	41	1.52	GW 53
			1.5	0.25	1.600	83.3	33.1	5.11	0.061	64	40	1.51	GW 52
				0.50	2.000	109.0	43.3	7.96	0.073	66	42	1.51	GW 54
				0.75	2.400	139.0	53.3	6.69	0.048	65	51	1.56	GW 56
				1.00	2.400	141.0	56.2	7.47	0.053	66	51	1.50	GW 56
		C2	水平	0.00	1.600	80.7	32.3	6.31	0.078	65	36	1.50	GW 52
			2.0	0.25	2.200	117.0	45.7	10.30	0.088	66	41	1.54	GW 55
				0.50	2.400	133.0	52.4	10.90	0.082	67	44	1.53	GW 56
				0.75	2.600	149.0	57.7	9.52	0.064	66	49	1.55	GW 57
				1.00	2.600	150.0	59.0	9.84	0.065	67	49	1.53	GW 57
			1.8	0.25	2.200	118.0	46.6	10.70	0.091	67	40	1.52	GW 55
				0.50	2.600	149.0	57.3	9.43	0.063	66	49	1.56	GW 57
		C3	水平	0.00	2.200	113.0	44.2	12.70	0.113	67	36	1.54	GW 55

数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．５の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N1 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN･m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑動安全率	GW 断面形状番号
3.00	0.4	C1	水平	0.00	1.800	90.8	29.1	1.71	0.019	54	47	1.56	GW 53
			2.0	0.25	2.200	116.0	38.7	4.30	0.037	58	48	1.50	GW 55
				0.50	2.400	131.0	43.6	4.15	0.032	59	50	1.50	GW 56
				0.75	2.600	145.0	46.9	2.49	0.017	58	54	1.55	GW 57
				1.00	2.600	145.0	46.1	2.39	0.017	58	54	1.57	GW 57
			1.8	0.25	2.400	130.0	42.0	3.72	0.029	58	50	1.54	GW 56
				0.50	2.600	147.0	48.5	2.71	0.018	59	54	1.51	GW 57
			1.5	0.25	2.400	131.0	43.3	4.08	0.031	59	50	1.51	GW 56
		C2	水平	0.00	2.400	125.0	40.1	6.61	0.053	59	45	1.55	GW 56

材　料　表

（１ｍ当たり）

GW 断面形状番号	H (m)	B (m)	ｺﾝｸﾘｰﾄ (m³)	型　枠 (m²)	基礎材 (m²)
GW 52	1.00	0.80	0.600	2.077	
	1.50	1.00	1.050	3.116	
	2.00	1.20	1.600	4.154	
	2.50	1.40	2.250	5.193	
	3.00	1.60	3.000	6.231	
GW 53	1.00	0.87	0.635	2.079	
	1.50	1.10	1.125	3.119	
	2.00	1.33	1.730	4.158	
	2.50	1.57	2.463	5.198	
	3.00	1.80	3.300	6.238	
GW 54	1.00	0.93	0.665	2.085	
	1.50	1.20	1.200	3.129	
	2.00	1.47	1.870	4.172	
	2.50	1.73	2.663	5.214	
	3.00	2.00	3.600	6.258	
GW 55	1.00	1.00	0.700	2.097	
	1.50	1.30	1.275	3.145	
	2.00	1.60	2.000	4.194	
	2.50	1.90	2.875	5.242	
	3.00	2.20	3.900	6.291	
GW 56	1.00	1.07	0.735	2.113	
	1.50	1.40	1.350	3.168	
	2.00	1.73	2.130	4.223	
	2.50	2.07	3.088	5.281	
	3.00	2.40	4.200	6.336	
GW 57	1.00	1.13	0.765	2.130	
	1.50	1.50	1.425	3.197	
	2.00	1.87	2.270	4.263	
	2.50	2.23	3.288	5.327	
	3.00	2.60	4.500	6.393	

設計条件

項　目		記　号	単　位	数　値
擁　壁　高		H	m	
盛　土　高		Ho	m	
裏込め土の種類		C	-	
盛　土　勾　配		1:N	-	
高　さ　比		Ho/H	-	
単位体積重量	土　砂		kN/m³	
	ｺﾝｸﾘｰﾄ		kN/m³	23
ｺﾝｸﾘｰﾄ設計基準強度		σck	N/mm²	18
滑動摩擦係数		μ	-	
滑　動　安　全　率		Fs	-	1.5

注意事項

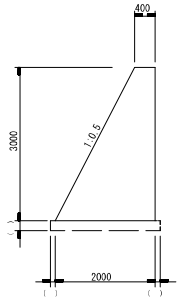
１．断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
２．本図は、１ｍあたりの設計であり、地震は考慮していない。
３．中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
４．設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
５．擁壁高さが、２．５ｍ以上で中位の砂質地盤を支持地盤とする場合、根入れの深さは、擁壁高さの０．２倍以上確保することが望ましい。
６．基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
７．伸縮目地の間隔は、１０ｍ以下とすること。また、擁壁前面にＶ字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、５ｍ以下を標準とする。
８．設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いのないようにしておくこと。
９．水抜管は、塩化ビニールパイプ（φ７５）を壁面３ｍ²につき１箇所設置すること。
１０．水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

図番

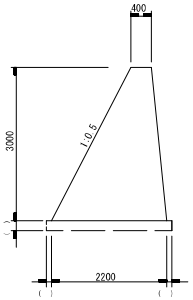
場所打擁壁工（構造物単位）－重力式コンクリート擁壁

断　面　図

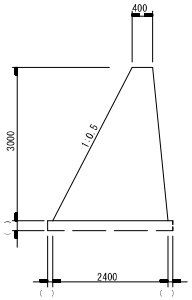
GW　58



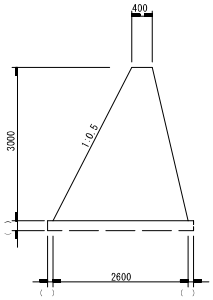
GW　59

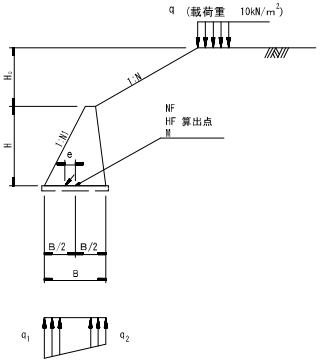


GW　60



GW　61





数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．６の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N' 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN･m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑動安全率	GW 断面形状番号
3.00	0.5	C1	水平	0.00	2.000	96.0	28.0	−7.290	−0.076	37	59	2.06	GW 58
			2.0	0.25	2.000	98.0	32.3	−4.960	−0.051	42	56	1.82	GW 58
				0.50	2.000	98.6	33.5	−4.310	−0.044	43	56	1.77	GW 58
				0.75	2.000	98.3	32.9	−4.630	−0.047	42	56	1.79	GW 58
				1.00	2.000	98.2	32.7	−4.720	−0.048	42	56	1.80	GW 58
			1.8	0.25	2.000	98.4	33.2	−4.490	−0.046	42	56	1.78	GW 58
				0.50	2.000	99.5	35.5	−3.220	−0.032	45	55	1.68	GW 58
				0.75	2.000	99.9	36.2	−2.830	−0.028	46	54	1.65	GW 58
				1.00	2.000	99.7	35.9	−3.020	−0.030	45	54	1.67	GW 58
			1.5	0.25	2.000	99.0	34.4	−3.790	−0.038	44	55	1.73	GW 58
				0.50	2.000	101.0	38.7	−1.490	−0.015	48	53	1.57	GW 58
				0.75	2.200	115.0	45.0	−0.690	−0.006	51	53	1.53	GW 59
				1.00	2.400	129.0	50.9	−1.410	−0.011	52	55	1.53	GW 60
		C2	水平	0.00	2.000	96.2	33.3	−2.160	−0.022	45	51	1.73	GW 58
			2.0	0.25	2.000	98.6	39.4	1.520	0.015	52	47	1.50	GW 58
				0.50	2.400	124.0	48.3	1.700	0.014	53	50	1.54	GW 60
				0.75	2.600	138.0	53.3	0.541	0.004	54	53	1.56	GW 61
				1.00	2.600	139.0	54.2	0.836	0.006	54	53	1.54	GW 61
			1.8	0.25	2.200	110.0	42.9	1.540	0.014	52	48	1.54	GW 59
				0.50	2.600	138.0	53.4	0.566	0.004	54	53	1.56	GW 61
		C3	水平	0.00	2.200	107.0	41.4	3.670	0.034	53	44	1.55	GW 59

数　値　表：滑動摩擦係数μ＝０．５の場合

（１ｍ当たり）

H 擁壁高 (m)	N' 前面勾配	C 裏込め土の種類	N 盛土勾配	Ho/H 高さ比	B 底版幅 (m)	NF 鉛直力 (kN)	HF 水平力 (kN)	M モーメント (kN･m)	e 偏心距離 (m)	地盤反力度 q1 (kN/m²)	地盤反力度 q2 (kN/m²)	Fs 滑動安全率	GW 断面形状番号
3.00	0.5	C1	水平	0.00	2.000	96.0	28.0	−7.290	−0.076	37	59	1.71	GW 58
			2.0	0.25	2.000	98.0	32.3	−4.960	−0.051	42	56	1.52	GW 58
				0.50	2.200	110.0	36.5	−4.480	−0.041	44	56	1.51	GW 59
				0.75	2.200	110.0	36.1	−4.670	−0.043	44	56	1.52	GW 59
				1.00	2.200	110.0	35.7	−4.810	−0.044	44	56	1.53	GW 59
			1.8	0.25	2.200	110.0	35.8	−4.770	−0.044	44	56	1.53	GW 59
				0.50	2.600	136.0	44.4	−6.240	−0.046	47	58	1.54	GW 61
			1.5	0.25	2.400	122.0	39.7	−5.120	−0.042	46	56	1.54	GW 60
		C2	水平	0.00	2.200	107.0	35.4	−2.320	−0.022	46	51	1.51	GW 59

材　料　表

（１ｍ当たり）

GW 断面形状番号	H (m)	B (m)	ｺﾝｸﾘｰﾄ (m³)	型　枠 (m²)	基礎材 (m²)
GW 58	1.00	0.93	0.665	2.118	
	1.50	1.20	1.220	2.178	
	2.00	1.47	1.870	4.237	
	2.50	1.73	2.663	5.296	
	3.00	2.00	3.600	6.356	
GW 59	1.00	1.00	0.700	2.123	
	1.50	1.30	1.275	3.185	
	2.00	1.60	2.000	4.246	
	2.50	1.90	2.875	5.308	
	3.00	2.20	3.900	6.369	
GW 60	1.00	1.07	0.735	2.132	
	1.50	1.40	1.350	3.198	
	2.00	1.73	2.130	4.263	
	2.50	2.07	3.088	5.330	
	3.00	2.40	4.200	6.395	
GW 61	1.00	1.13	0.765	2.144	
	1.50	1.50	1.425	3.217	
	2.00	1.87	2.270	4.291	
	2.50	2.23	3.288	5.361	
	3.00	2.60	4.500	6.435	

設計条件

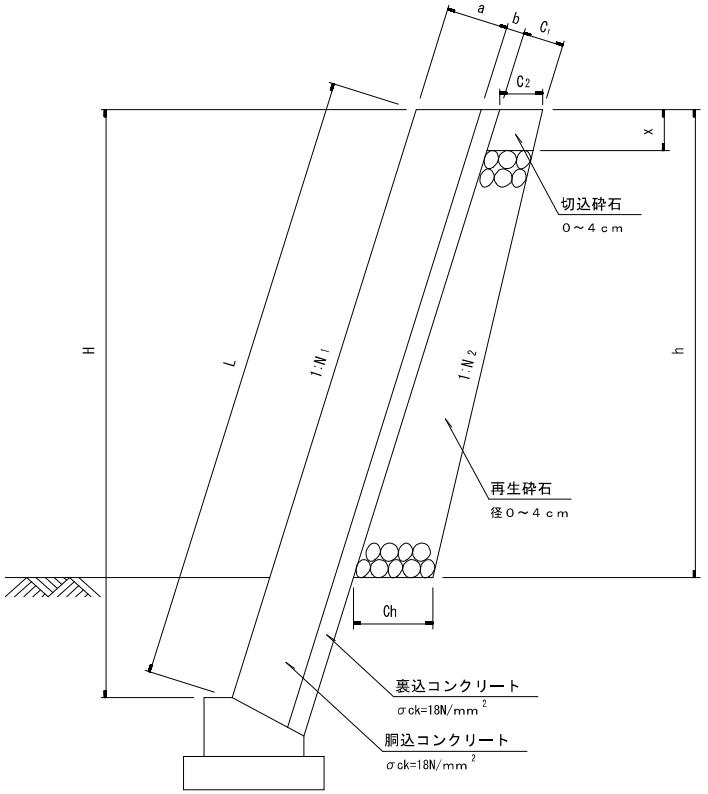
項　目		記　号	単　位	数　値
擁　壁　高		H	m	
盛　土　高		Ho	m	
裏込め土の種類		C	-	
盛　土　勾　配		1:N	-	
高　さ　比		Ho/H	-	
単位体積重量	土　砂		kN/m³	
	ｺﾝｸﾘｰﾄ		kN/m³	23
ｺﾝｸﾘｰﾄ設計基準強度		σck	N/mm²	18
滑動摩擦係数		μ	-	
滑　動　安　全　率		Fs	-	1.5

注意事項

１．断面図には、擁壁背面の盛土形状を明記すること。
２．本図は、１ｍあたりの設計であり、地震は考慮していない。
３．中間の設計条件に対しては、直近上位のものを記入すること。
４．設計条件の空欄には、該当する設計条件を記入すること。
５．擁壁高さが、２．５ｍ以上で中位の砂質地盤を支持地盤とする場合、根入れの深さは、擁壁高さの０．２倍以上確保することが望ましい。
６．基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途設計し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に記入すること。
７．伸縮目地の間隔は、１０ｍ以下とすること。また、擁壁前面にＶ字型の鉛直打継目を設けるのが望ましく、その間隔は、５ｍ以下を標準とする。
８．設計条件に該当する断面以外には×印をつけ、間違いのないようにしておくこと。
９．水抜管は、塩化ビニールパイプ（φ７５）を壁面３ｍ²につき１箇所設置すること。
１０．水抜孔周辺は、吸出し防止工を施工すること。

図番

ブロック積工、練石積工、裏込工　　（道路用）



任意の高さにおける裏込砕石計算式（m^3）
$A=\left\{C_2+\frac{h(N_1-N_2)}{2}\right\}h$
天端部分の裏込砕石を省略する場合の任意の高さにおける裏込砕石計算式（m^3）
$A=\left\{C_2+\frac{(h+x)(N_1-N_2)}{2}\right\}(h-x)$
x：裏込砕石を省略する高さ

注意事項

1．よく締った地山の切土に使用する場合は下記による。
- ① 裏込砕石を上下等厚Ｃ1＝４０ｃｍとする。ただし、背面が岩で湧水がない場合は裏込砕石を省略する。
- ② 前面勾配Ｎ1を１ランク下げることができる。（寸法表欄の（　）書部分を使用できる。）

2．鉛直方向目地の間隔は２０ｍ以下とすること。

3．擁壁背面の水抜きには特に注意し、水抜パイプを３ｍ2に１箇所設けＶＰφ７５ｍｍ程度のものを使用すること。（水抜孔周辺は吸出し防止工を施工すること）

4．擁壁天端が田および道路の場合で天端部分の裏込砕石が不要な場合は下記による。
- ① 田の場合：天端から５０ｃｍ裏込砕石を省略する。
- ② 道路の場合：天端から舗装部分について裏込砕石を省略する。

Ｒ（　）－Ｕ（　）－Ｎ 1（　）－ｂ（　）－ｘ（　） 裏込形状　土の種類　前面勾配　裏コン厚さ　裏砕の省略高さ	裏込砕石の形状
Ｒ（Ａ）－Ｕ（　）－Ｎ 1（　）－ｂ（　）－ｘ（　）	盛土部（Ｎ 2勾配で裏込砕石を計上）
Ｒ（Ｃ）－Ｕ（　）－Ｎ 1（　）－ｂ（　）－ｘ（　）	切土部（裏込砕石の厚さは４０ｃｍ等厚）

寸　　法　　表

(mm)

○印施工	工　種	H（直高）	L（のり長） N1=0.3	L（のり長） N1=0.4	L（のり長） N1=0.5	a（控長）	b（裏コン厚さ）	N2（背面勾配），C1 R（Ａ）の場合 U1（基本の場合）	N2（背面勾配），C1 R（Ａ）の場合 U2（背面土砂が良好な場合）	N2（背面勾配），C1 R（Ｃ）の場合	x 裏砕の省略高
	H 500-U-N -b-x	500	522	539	559	350	100	N2＝N1－０．１ C1＝３００	N2＝N1－０．１ C1＝２００	N2＝N1 C1＝４００	
	H1000-U-N -b-x	1,000	1,044	1,077	1,118						
	H1500-U-N -b-x	1,500	1,566	1,616	1,677						
	H2000-U-N -b-x	2,000	(2,088)	2,154	2,236						
	H2500-U-N -b-x	2,500	(2,610)	2,693	2,795						
	H3000-U-N -b-x	3,000	(3,132)	3,231	3,354						
	H3500-U-N -b-x	3,500		(3,770)	3,913		150				
	H4000-U-N -b-x	4,000		(4,308)	4,473						
	H4500-U-N -b-x	4,500		(4,847)	5,031						
	H5000-U-N -b-x	5,000		(5,385)	5,590						

（参考）　$Ch=C_1\sqrt{(N_1)^2+1}+h(N_1-N_2)$

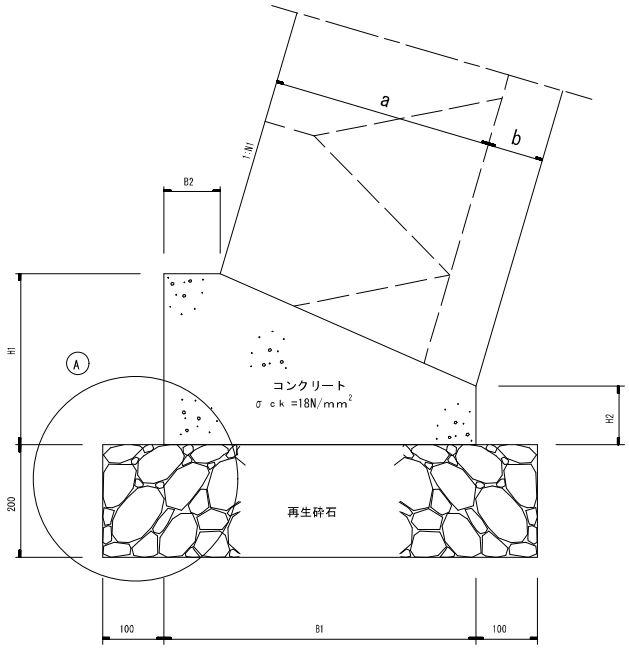
U / N1 / h	U1（基本の場合） 0.3	0.4	0.5	U2（背面土砂が良好な場合） 0.3	0.4	0.5
0	315	325	335	210	215	225
500	365	375	385	260	265	275
1000	415	425	435	310	315	325
1500	465	475	485	360	365	375
2000	(515)	525	535	(410)	415	425
2500	(565)	575	585	(460)	465	475
3000	(615)	625	635	(510)	515	525
3500		(675)	685		(565)	575
4000		(725)	735		(615)	625
4500		(775)	785		(665)	675
5000		(825)	835		(715)	725

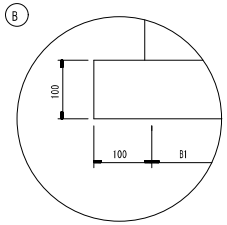
図番

基礎工（ブロック積用、石積用）

基礎の種類

区分	品　質	規格・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4ｃｍ
Ⓑ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	18-8-20BB





寸　法　表

(MM)

○印施工	工　種	a	b	B1	B2	H1	H2
	石積基礎工 b(０)	350	―	430	100	250	100
	b(１０)	350	100	520	100	300	100
	b(１５)	350	150	550	100	350	100

数　量　表

(1m当り)

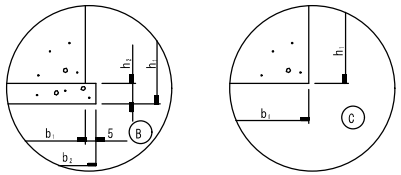
基礎 m³ 再生砕石	基礎 m³ ｺﾝｸﾘｰﾄ	m² 型枠	m³ ｺﾝｸﾘｰﾄ
0.126	0.063	0.350	0.083
0.144	0.072	0.400	0.114
0.150	0.075	0.450	0.136

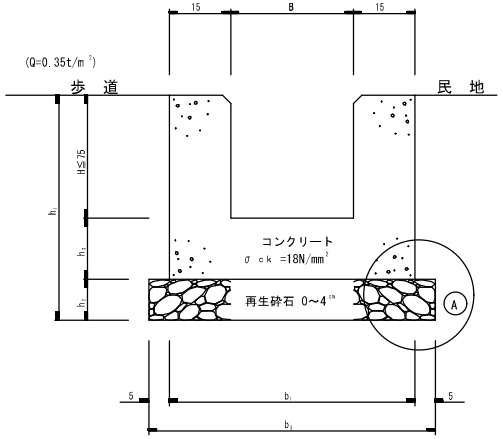
図番

U型側溝工（UA-1）

歩道用

H≦75





基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4cm
Ⓑ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σ_{ck}=18N/mm²

寸　法　表

(cm)

○印施工	工　種	B	H	h1 A	h1 B	h1 C	h2 A	h2 B	h3	b1	b2
	UA-1（20×20）	20	20	45	40	35	10	5	15	50	60
	（30×30）	30	30	55	50	45	10	5	15	60	70
	（40×40）	40	40	70	60	55	15	5	15	70	80
	（50×50）	50	50	80	70	65	15	5	15	80	90
	（60×60）	60	60	90	80	75	15	5	15	90	100

数　量　表

(1m当り)

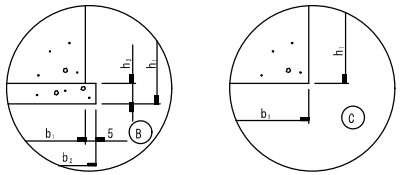
基礎 Ⓐ 再生砕石（t=10）m²	基礎 Ⓐ 再生砕石（t=15）m²	基礎 Ⓑ ｺﾝｸﾘｰﾄ（t=5）m³	基礎 Ⓑ 基礎型枠 m²	m² 型　枠	m³ ｺﾝｸﾘｰﾄ
0.600	——	0.030	0.100	1.400	0.135
0.700	——	0.035	0.100	1.800	0.180
——	0.800	0.040	0.100	2.200	0.225
——	0.900	0.045	0.100	2.600	0.270
——	1.000	0.050	0.100	3.000	0.315

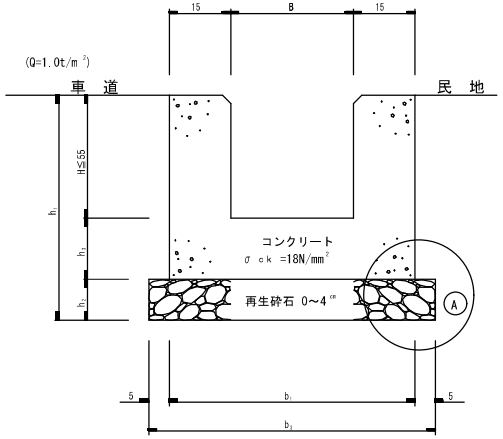
図番

U型側溝工（UA-1-R）

車道用

H≦55





基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4cm
Ⓑ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=18N/mm²

寸　法　表

(cm)

○前駆工	工　種	B	H	h1 A	h1 B	h1 C	h2 A	h2 B	h3	b1	b2
	UA-1-R (20×20)	20	20	45	40	35	10	5	15	50	60
	(30×30)	30	30	55	50	45	10	5	15	60	70
	(40×40)	40	40	70	60	55	15	5	15	70	80
	(50×50)	50	50	80	70	65	15	5	15	80	90

数　量　表

(1m当り)

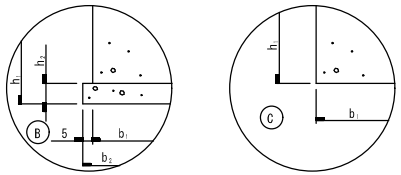
基礎 Ⓐ 再生砕石 (t=10)m²	基礎 Ⓐ 再生砕石 (t=15)m²	基礎 Ⓑ ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5)m³	基礎 Ⓑ 基礎型枠 m²	m² 型　枠	m³ ｺﾝｸﾘｰﾄ
0.600	——	0.030	0.100	1.400	0.135
0.700	——	0.035	0.100	1.800	0.180
——	0.800	0.040	0.100	2.200	0.225
——	0.900	0.045	0.100	2.600	0.270

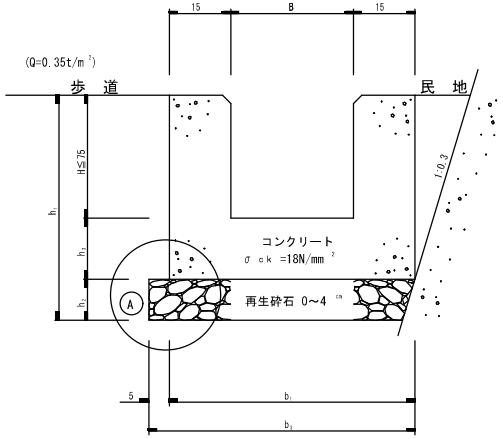
図番

U型側溝工 (UA-2)

歩道用

H≦75





基礎の種類

区分	品質	形状・寸法
(A)	再生砕石	0～4cm
(B)	コンクリート	σ_{ck}=18N/mm²

寸法表 (cm)

○印無工	工種	B	H	h1 A	h1 B	h1 C	h2 A	h2 B	h3	b1	b2
	UA-2 (20×20)	20	20	45	40	35	10	5	15	50	55
	(30×30)	30	30	55	50	45	10	5	15	60	65
	(40×40)	40	40	70	60	55	15	5	15	70	75
	(50×50)	50	50	80	70	65	15	5	15	80	85
	(60×60)	60	60	90	80	75	15	5	15	90	95

数量表 (1m当り)

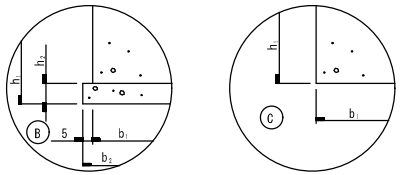
基礎 (A) 再生砕石 (t=10)m²	基礎 (A) 再生砕石 (t=15)m²	基礎 (B) コンクリート (t=5)m³	基礎 (B) 基礎型枠 m²	m² 型枠	m³ コンクリート
0.535	——	0.027	0.050	1.400	0.135
0.635	——	0.032	0.050	1.800	0.180
——	0.728	0.037	0.050	2.200	0.225
——	0.828	0.042	0.050	2.600	0.270
——	0.928	0.047	0.050	3.000	0.315

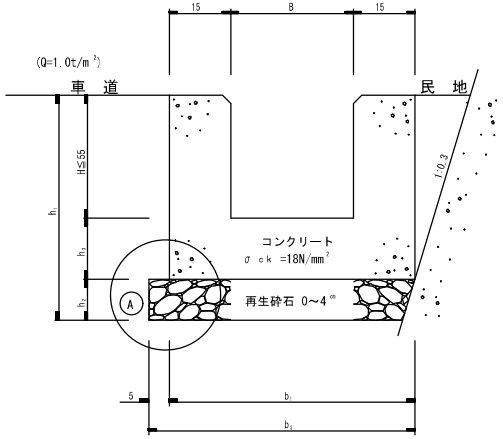
図番

U型側溝工 (UA-2-R)

車道用

H≦55





基礎の種類

区分	品 質	形状・寸法
(A)	再生砕石	0～4cm
(B)	コンクリート	σ_{ck}=18N/mm²

寸 法 表

(cm)

○印施工	工 種	B	H	h1 A	h1 B	h1 C	h2 A	h2 B	h3	b1	b2
	UA-2-R (20×20)	20	20	45	40	35	10	5	15	50	55
	(30×30)	30	30	55	50	45	10	5	15	60	65
	(40×40)	40	40	70	60	55	15	5	15	70	75
	(50×50)	50	50	80	70	65	15	5	15	80	85

数 量 表

(1m当り)

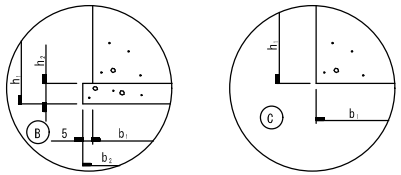
基礎 (A) 再生砕石 (t=10) m²	基礎 (A) 再生砕石 (t=15) m²	基礎 (B) コンクリート (t=5) m³	基礎 (B) 基礎型枠 m²	m² 型枠	m³ コンクリート
0.535	——	0.027	0.050	1.400	0.135
0.635	——	0.032	0.050	1.800	0.180
——	0.728	0.037	0.050	2.200	0.225
——	0.828	0.042	0.050	2.600	0.270

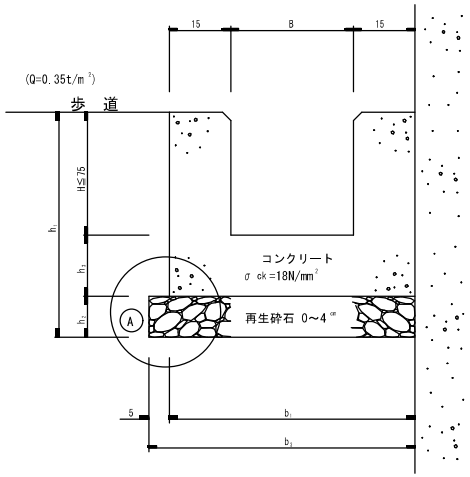
図番

U型側溝工（UA-3）

歩道用

H≦75





基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4cm
Ⓑ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σ_{ck} =18N/mm²

寸　法　表

(cm)

○印施工	工　種	B	H	h1 A	h1 B	h1 C	h2 A	h2 B	h3	b1	b2
	UA-3 (20×20)	20	20	45	40	35	10	5	15	50	55
	(30×30)	30	30	55	50	45	10	5	15	60	65
	(40×40)	40	40	70	60	55	15	5	15	70	75
	(50×50)	50	50	80	70	65	15	5	15	80	85
	(60×60)	60	60	90	80	75	15	5	15	90	95

数　量　表

(1m当り)

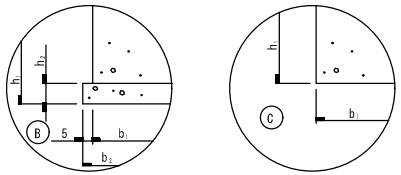
基礎 Ⓐ 再生砕石 (t=10)m²	基礎 Ⓐ 再生砕石 (t=15)m²	基礎 Ⓑ ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5)m³	基礎 Ⓑ 基礎型枠 m²	m² 型　枠	m³ ｺﾝｸﾘｰﾄ
0.550	——	0.028	0.050	1.050	0.135
0.650	——	0.033	0.050	1.350	0.180
——	0.750	0.038	0.050	1.650	0.225
——	0.850	0.043	0.050	1.950	0.270
——	0.950	0.048	0.050	2.250	0.315

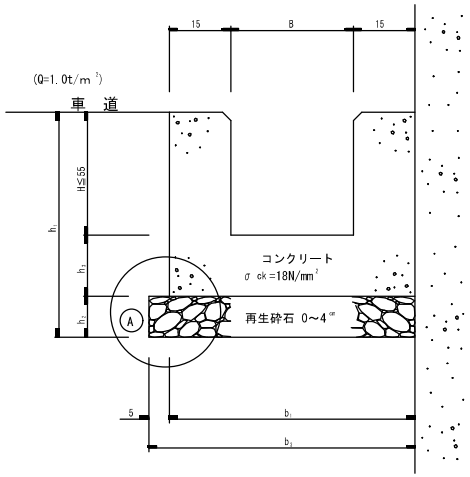
図番

U型側溝工 (UA-3-R)

車道用

H≦55





基礎の種類

区分	品 質	形状・寸法
A	再生砕石	0～4cm
B	コンクリート	σck=18N/mm²

寸 法 表

(cm)

○前後工	工 種	B	H	h1 A	h1 B	h1 C	h2 A	h2 B	h3	b1	b2
	UA-3-R (20×20)	20	20	45	40	35	10	5	15	50	55
	(30×30)	30	30	55	50	45	10	5	15	60	65
	(40×40)	40	40	70	60	55	15	5	15	70	75
	(50×50)	50	50	80	70	65	15	5	15	80	85

数 量 表

(1m当り)

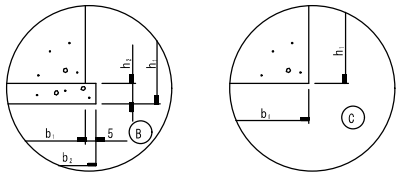
基礎 A 再生砕石 (t=10)m²	基礎 A 再生砕石 (t=15)m²	基礎 B コンクリート (t=5)m³	基礎 B 基礎型枠 m²	m² 型枠	m³ コンクリート
0.550	——	0.028	0.050	1.050	0.135
0.650	——	0.033	0.050	1.350	0.180
——	0.750	0.038	0.050	1.650	0.225
——	0.850	0.043	0.050	1.950	0.270

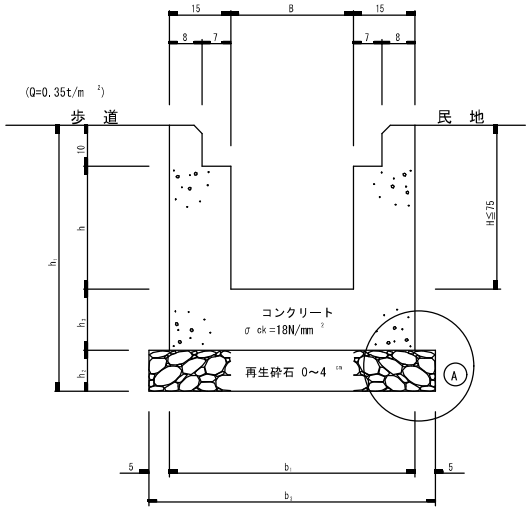
図番

U型側溝工（UB-1）

歩道用

H≦75





基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4cm
Ⓑ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=18N/mm²

寸　法　表

(cm)

○印施工	工　種	B	H	h1 A	h1 B	h1 C	h2 A	h2 B	h3	b1	b2
	UB-1 (20×30)	20	30	55	50	45	10	5	15	50	60
	(30×40)	30	40	70	60	55	15	5	15	60	70
	(40×50)	40	50	80	70	65	15	5	15	70	80
	(50×60)	50	60	90	80	75	15	5	15	80	90
	(60×70)	60	70	100	90	85	15	5	15	90	100

数　量　表

(1m当り)

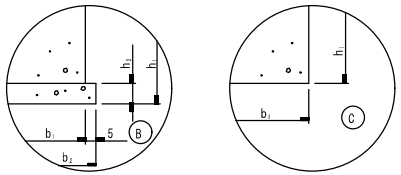
基礎 Ⓐ 再生砕石 (t=10)m²	基礎 Ⓐ 再生砕石 (t=15)m²	基礎 Ⓑ ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5)m³	基礎 Ⓑ 基礎型枠 m²	m² 型　枠	m³ ｺﾝｸﾘｰﾄ
0.600	——	0.030	0.100	1.800	0.151
——	0.700	0.035	0.100	2.200	0.196
——	0.800	0.040	0.100	2.600	0.241
——	0.900	0.045	0.100	3.000	0.286
——	1.000	0.050	0.100	3.400	0.331

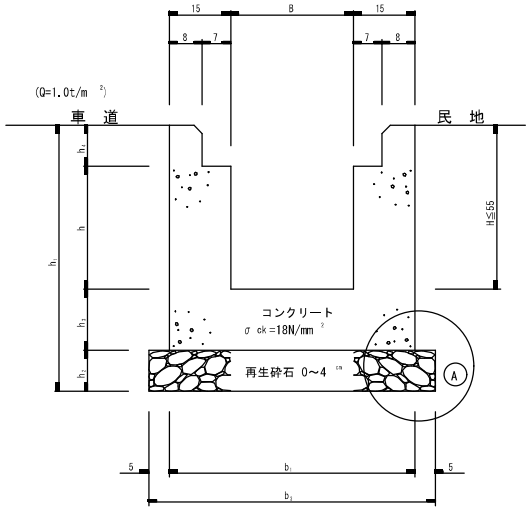
図番

U型側溝工 (UB-1-R)

車道用

H≦55





基礎の種類

区分	品 質	形状・寸法
A	再生砕石	0～4cm
B	コンクリート	σck=18N/mm²

Bの区分によるh4の変化

記号 / Bの区分	h4
B≦20	10
20<B≦30	11
30<B≦40	12
40<B≦50	13
50<B≦60	14
60<B	15

寸法表

(cm)

施工	工種	B	H	h1 A	h1 B	h1 C	h2 A	h2 B	h3	h4	b1	b2
	UB-1-R (20×30)	20	30	55	50	45	10	5	15	10	50	60
	(30×40)	30	40	70	60	55	15	5	15	11	60	70
	(40×50)	40	50	80	70	65	15	5	15	12	70	80

数量表

(1m当り)

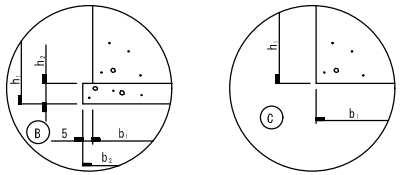
基礎 A 再生砕石 (t=10)m²	基礎 A 再生砕石 (t=15)m²	基礎 B コンクリート (t=5)m³	基礎 B 基礎型枠 m²	型枠 m²	コンクリート m³
0.600	——	0.030	0.100	1.800	0.151
——	0.700	0.035	0.100	2.200	0.195
——	0.800	0.040	0.100	2.600	0.238

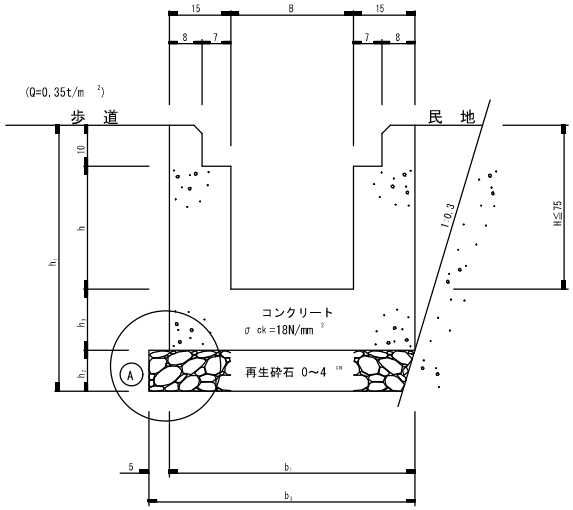
図番

U型側溝工（UB-2）

歩道用

H≦75





基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4cm
Ⓑ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=18N/mm²

寸法表

(cm)

○印施工	工種	B	H	h1 A	h1 B	h1 C	h2 A	h2 B	h3	b1	b2
	UB-2 (20×30)	20	30	55	50	45	10	5	15	50	55
	(30×40)	30	40	70	60	55	15	5	15	60	65
	(40×50)	40	50	80	70	65	15	5	15	70	75
	(50×60)	50	60	90	80	75	15	5	15	80	85
	(60×70)	60	70	100	90	85	15	5	15	90	95

数量表

(1m当り)

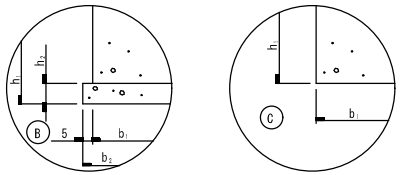
基礎 Ⓐ 再生砕石 (t=10)m²	基礎 Ⓐ 再生砕石 (t=15)m²	基礎 Ⓑ ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5)m³	基礎 Ⓑ 基礎型枠 m²	m² 型枠	m³ ｺﾝｸﾘｰﾄ
0.535	——	0.027	0.050	1.800	0.151
——	0.628	0.032	0.050	2.200	0.196
——	0.728	0.037	0.050	2.600	0.241
——	0.828	0.042	0.050	3.000	0.286
——	0.928	0.047	0.050	3.400	0.331

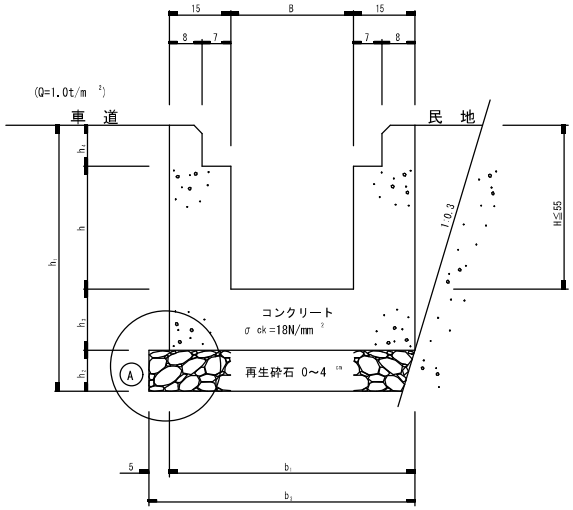
図番

U型側溝工（UB-2-R）

車道用

H≦55





基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4cm
Ⓑ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=18N/mm²

Bの区分によるh4の変化

記号 / Bの区分	h4
B≦20	10
20＜B≦30	11
30＜B≦40	12
40＜B≦50	13
50＜B≦60	14
60＜B	15

寸　法　表　(cm)

○印施工	工　種	B	H	h1 A	h1 B	h1 C	h2 A	h2 B	h3	h4	b1	b2
	UB-2-R (20×30)	20	30	55	50	45	10	5	15	10	50	55
	(30×40)	30	40	70	60	55	15	5	15	11	60	65
	(40×50)	40	50	80	70	65	15	5	15	12	70	75

数　量　表　(1m当り)

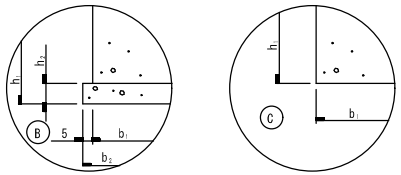
基礎 Ⓐ 再生砕石 (t=10)m²	基礎 Ⓐ 再生砕石 (t=15)m²	基礎 Ⓑ ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5)m³	基礎 Ⓑ 基礎型枠 m²	型枠 m²	ｺﾝｸﾘｰﾄ m³
0.535	——	0.027	0.050	1.800	0.151
——	0.628	0.032	0.050	2.200	0.195
——	0.728	0.037	0.050	2.600	0.238

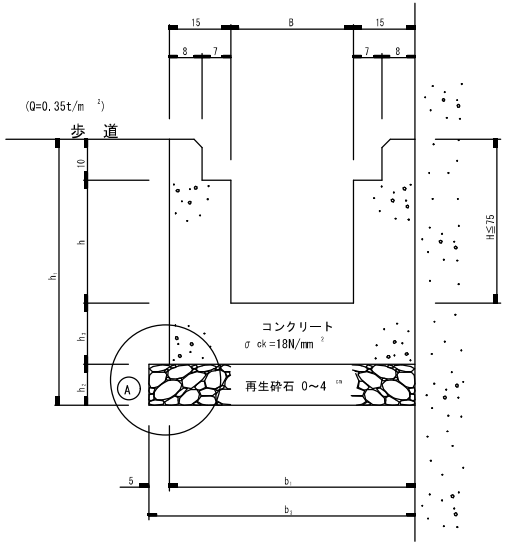
図番

U型側溝工 (UB-3)

歩道用

H≦75





基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4cm
Ⓑ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=18N/mm²

寸　法　表

(cm)

○印無工	工　種	B	H	h1 A	h1 B	h1 C	h2 A	h2 B	h3	b1	b2
	UB-3 (20×30)	20	30	55	50	45	10	5	15	50	55
	(30×40)	30	40	70	60	55	15	5	15	60	65
	(40×50)	40	50	80	70	65	15	5	15	70	75
	(50×60)	50	60	90	80	75	15	5	15	80	85
	(60×70)	60	70	100	90	85	15	5	15	90	95

数　量　表

(1m当り)

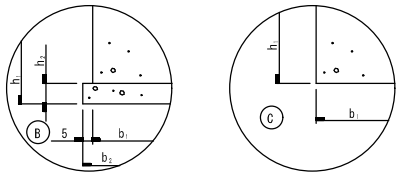
基礎 Ⓐ 再生砕石 (t=10)m²	基礎 Ⓐ 再生砕石 (t=15)m²	基礎 Ⓑ ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5)m³	基礎 Ⓑ 基礎型枠 m²	m² 型　枠	m³ ｺﾝｸﾘｰﾄ
0.550	——	0.028	0.050	1.350	0.151
——	0.650	0.033	0.050	1.650	0.196
——	0.750	0.038	0.050	1.950	0.241
——	0.850	0.043	0.050	2.250	0.286
——	0.950	0.048	0.050	2.550	0.331

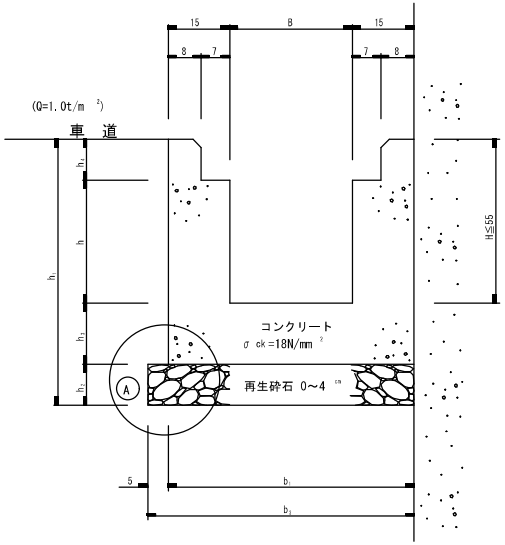
図番

U型側溝工 (UB-3-R)

車道用

H≦55





基礎の種類

区分	品 質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4cm
Ⓑ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=18N/mm²

Bの区分によるh4の変化

記号 / Bの区分	h4
B≦20	10
20＜B≦30	11
30＜B≦40	12
40＜B≦50	13
50＜B≦60	14
60＜B	15

寸法表 (cm)

○印施工	工種	B	H	h1 A	h1 B	h1 C	h2 A	h2 B	h3	h4	b1	b2
	UB-3-R (20×30)	20	30	55	50	45	10	5	15	10	50	55
	(30×40)	30	40	70	60	55	15	5	15	11	60	65
	(40×50)	40	50	80	70	65	15	5	15	12	70	75

数量表 (1m当り)

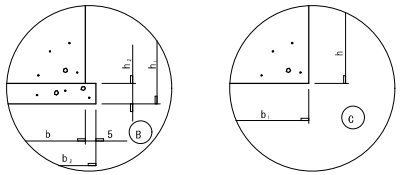
基礎 Ⓐ 再生砕石 (t=10)m²	基礎 Ⓐ 再生砕石 (t=15)m²	基礎 Ⓑ ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5)m³	基礎 Ⓑ 基礎型枠 m²	m² 型枠	m³ ｺﾝｸﾘｰﾄ
0.550	——	0.028	0.050	1.350	0.151
——	0.650	0.033	0.050	1.650	0.195
——	0.750	0.038	0.050	1.950	0.238

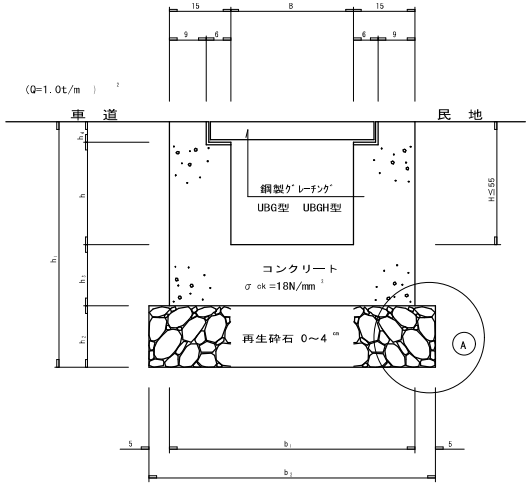
図番

U型側溝工 (UB-K1-R, UB-K1H-R)

車道用

H≦55





基礎の種類

区分	品質	形状・寸法
A	再生砕石	0～4cm
B	コンクリート	σ_{ck} =18N/mm²

寸法表

(cm)

○印施工	工種	B	H	h1 A	h1 B	h1 C	h2 A	h2 B	h3	h4	b1	b2
	UB-K -R (20×20)	20	20	45	40	35	10	5	15	5.0	50	60
	(30×30)	30	30	55	50	45	10	5	15	5.6	60	70
	(40×40)	40	40	70	60	55	15	5	15	7.1	70	80
	(50×50)	50	50	80	70	65	15	5	15	8.6	80	90
	UB-K H-R (20×20)	20	20	45	40	35	10	5	15	5.0	50	60
	(30×30)	30	30	55	50	45	10	5	15	5.6	60	70
	(40×40)	40	40	70	60	55	15	5	15	7.1	70	80
	(50×50)	50	50	80	70	65	15	5	15	8.6	80	90

Bの区分によるh4の変化

B	(細目) B≦20	20<B ≦25	25<B ≦30	30<B ≦35	35<B ≦40	40<B ≦45	45<B ≦50	(細目) B≦20	20<B ≦25	25<B ≦30	30<B ≦35	35<B ≦40	40<B ≦45	45<B ≦50
h4	5.0	5.0	5.6	6.1	7.1	8.1	8.6	3.8	4.4	5.0	5.0	5.6	5.6	5.6

数量表

(1m当り)

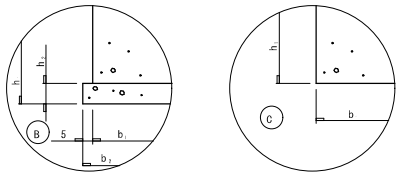
基礎 A 再生砕石 (t=10)m²	基礎 A 再生砕石 (t=15)m²	基礎 B コンクリート (t=5)m³	基礎 B 基礎型枠 m²	m² 型枠	m³ コンクリート	m グレーチング 粗目	m グレーチング 細目
0.600	——	0.030	0.100	1.300	0.129	1.000	——
0.700	——	0.035	0.100	1.688	0.173	1.000	——
——	0.800	0.040	0.100	2.058	0.216	1.000	——
——	0.900	0.045	0.100	2.428	0.260	1.000	——
0.600	——	0.030	0.100	1.300	0.129	——	1.000
0.700	——	0.035	0.100	1.688	0.173	——	1.000
——	0.800	0.040	0.100	2.058	0.216	——	1.000
——	0.900	0.045	0.100	2.428	0.260	——	1.000

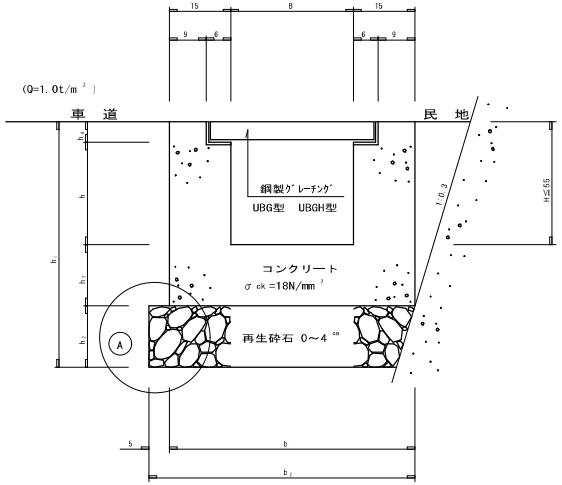
図番

U型側溝工 (UB-K2-R, UB-K2H-R)

車道用

H≦55





基礎の種類

区分	品質	形状・寸法
A	再生砕石	0～4cm
B	コンクリート	σck=18N/mm²

寸法表

(cm)

○印施工	工種	B	H	h1 A	h1 B	h1 C	h2 A	h2 B	h3	h4	b1	b2
	UB-K2-R (20×20)	20	20	45	40	35	10	5	15	5.0	50	55
	(30×30)	30	30	55	50	45	10	5	15	5.6	60	65
	(40×40)	40	40	70	60	55	15	5	15	7.1	70	75
	(50×50)	50	50	80	70	65	15	5	15	8.6	80	85
	UB-K1H-R (20×20)	20	20	45	40	35	10	5	15	5.0	50	55
	(30×30)	30	30	55	50	45	10	5	15	5.6	60	65
	(40×40)	40	40	70	60	55	15	5	15	7.1	70	75
	(50×50)	50	50	80	70	65	15	5	15	8.6	80	85

Bの区分によるh4の変化

B	(細目) B≦20	20<B ≦25	25<B ≦30	30<B ≦35	35<B ≦40	40<B ≦45	45<B ≦50	20<B (細目) B≦20	(細目) ≦25	25<B ≦30	30<B ≦35	35<B ≦40	40<B ≦45	45<B ≦50
h4	5.0	5.0	5.6	6.1	7.1	8.1	8.6	3.8	4.4	5.0	5.0	5.6	5.6	5.6

数量表

(1m当り)

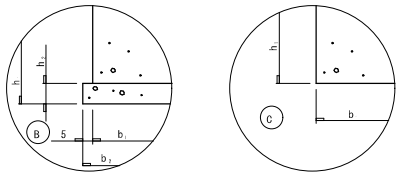
基礎 A 再生砕石 (t=10) m³	基礎 A 再生砕石 (t=15) m²	基礎 B コンクリート (t=5) m³	基礎 B 基礎型枠 m²	m² 型枠	m³ コンクリート	m グレーチング 粗目	m グレーチング 細目
0.535	—	0.027	0.050	1.300	0.129	1.000	—
0.635	—	0.032	0.050	1.688	0.173	1.000	—
—	0.728	0.037	0.050	2.058	0.216	1.000	—
—	0.828	0.042	0.050	2.428	0.260	1.000	—
0.535	—	0.027	0.050	1.300	0.129	—	1.000
0.635	—	0.032	0.050	1.688	0.173	—	1.000
—	0.728	0.037	0.050	2.058	0.216	—	1.000
—	0.828	0.042	0.050	2.428	0.260	—	1.000

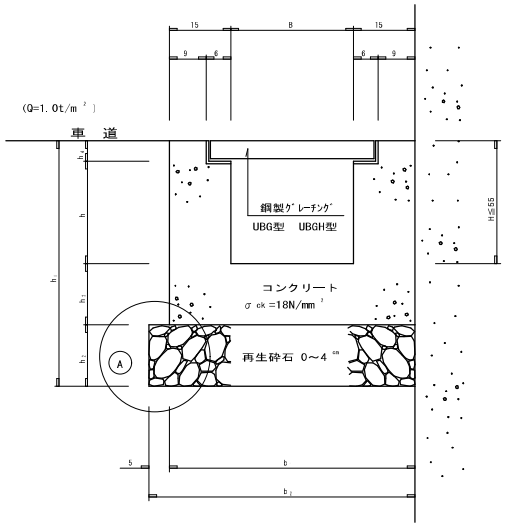
図番

U型側溝工 （UB-K3-R, UB-K3H-R）

車道用

H≦55





基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
A	再生砕石	0～4cm
B	コンクリート	σ_{ck} =18N/mm²

寸　法　表

(cm)

工　種	B	H	h_1 A	h_1 B	h_1 C	h_2 A	h_2 B	h_3	h_4	b_1	b_2
UB-K$_3$-R (20×20)	20	20	45	40	35	10	5	15	5.0	50	55
(30×30)	30	30	55	50	45	10	5	15	5.6	60	65
(40×40)	40	40	70	60	55	15	5	15	7.1	70	75
(50×50)	50	50	80	70	65	15	5	15	8.6	80	85
UB-K$_4$H-R (20×20)	20	20	45	40	35	10	5	15	3.8	50	55
(30×30)	30	30	55	50	45	10	5	15	5.0	60	65
(40×40)	40	40	70	60	55	15	5	15	5.6	70	75
(50×50)	50	50	80	70	65	15	5	15	5.6	80	85

Bの区分によるh_4の変化

B	(細目) B≦20	20<B ≦25	25<B ≦30	30<B ≦35	35<B ≦40	40<B ≦45	45<B ≦50	(細目) B≦20	20<B ≦25	25<B ≦30	30<B ≦35	35<B ≦40	40<B ≦45	45<B ≦50
h_4	5.0	5.0	5.6	6.1	7.1	8.1	8.6	3.8	4.4	5.0	5.0	5.6	5.6	5.6

数　量　表

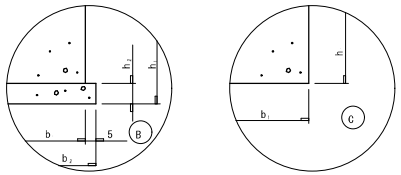
(1m当り)

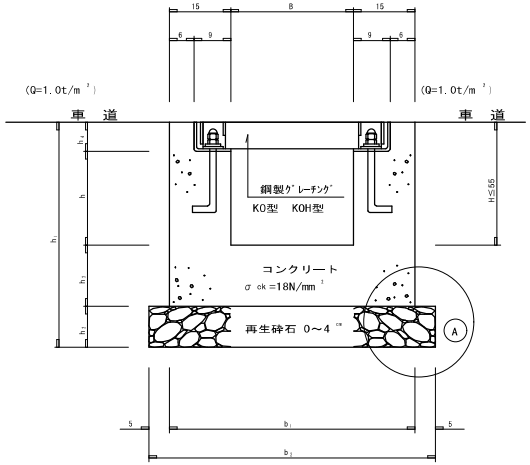
基礎 A 再生砕石 (t=10)m²	基礎 A 再生砕石 (t=15)m²	基礎 B コンクリート (t=5)m³	基礎 B 基礎型枠 m²	m² 型　枠	m³ コンクリート	m グレーチング 粗目	m グレーチング 細目
0.550	——	0.028	0.050	0.950	0.129	1.000	——
0.650	——	0.033	0.050	1.238	0.173	1.000	——
——	0.750	0.038	0.050	1.508	0.216	1.000	——
——	0.850	0.043	0.050	1.778	0.260	1.000	——
0.550	——	0.028	0.050	0.974	0.130	——	1.000
0.650	——	0.033	0.050	1.250	0.174	——	1.000
——	0.750	0.038	0.050	1.538	0.218	——	1.000
——	0.850	0.043	0.050	1.838	0.263	——	1.000

図番

U型側溝工（UD-K-R, UD-KH-R）　車道用

H≦55





基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
A	再生砕石	0～4cm
B	コンクリート	σ_{ck} =18N/mm²

Bの区分によるh4の変化

記号 / Bの区分	粗目	細目
30	7.1	7.1
40	8.1	8.1
50	9.6	9.6

寸　法　表

○印施工	工　種	B	H	h1 A	h1 B	h1 C	h2 A	h2 B	h3	h4	b1	b2	h
	UD-K-R (30×30)	30	30	55	50	45	10	5	15	7.1	60	70	22.9
	(40×40)	40	40	70	60	55	15	5	15	8.1	70	80	31.9
	(50×50)	50	50	80	70	65	15	5	15	9.6	80	90	40.4
	UD-KH-R (30×30)	30	30	55	50	45	10	5	15	7.1	60	70	23.9
	(40×40)	40	40	70	60	55	15	5	15	8.1	70	80	32.9
	(50×50)	50	50	80	70	65	15	5	15	9.6	80	90	40.4

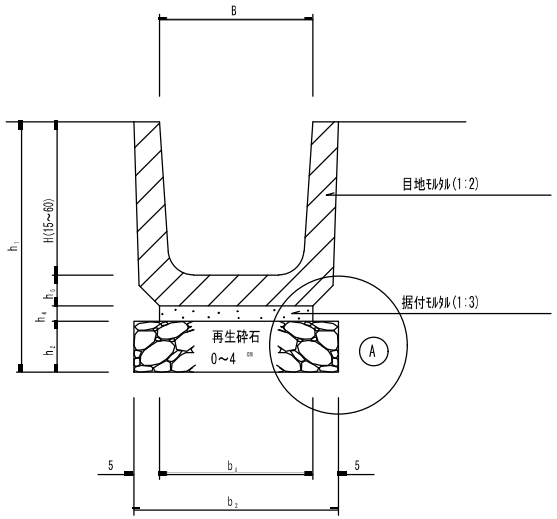
数　量　表

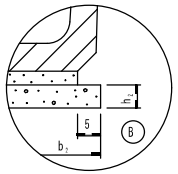
(1m当り)

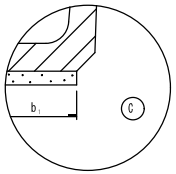
基礎 A 再生砕石 (t=10)m³	基礎 A 再生砕石 (t=15)m³	基礎 B コンクリート (t=5)m³	基礎 B 基礎型枠 m²	m² 型　枠	m³ コンクリート	m グレーチング 粗目	m グレーチング 細目
0.700	——	0.035	0.100	1.658	0.167	1.000	——
——	0.800	0.040	0.100	2.038	0.210	1.000	——
——	0.900	0.045	0.100	2.408	0.253	1.000	——
0.700	——	0.035	0.100	1.658	0.167	——	1.000
——	0.800	0.040	0.100	2.038	0.210	——	1.000
——	0.900	0.045	0.100	2.408	0.253	——	1.000

図番

U型側溝工（UP1-1）







基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4cm
Ⓑ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σ_{ck} =18N/mm^2

モルタルの品質

	配　合
据付ﾓﾙﾀﾙ	1 : 3
目地ﾓﾙﾀﾙ	1 : 2

寸　法　表

(cm)

○印施工	工　種	B	H	h_1 A	h_1 B	h_1 C	h_2 A	h_2 B	h_4	h_5	b_1	b_2
	UP$_1$-1 (150)	15	15	31.5	26.5	21.5	10	5	3	3.5	16	26
	(180)	18	18	35	30	25	10	5	3	4.0	19	29
	(240)	24	24	42	37	32	10	5	3	5.0	24	34
	(300A)	30	24	43	38	33	10	5	3	6.0	30	40
	(300B)	30	30	49	44	39	10	5	3	6.0	30	40
	(300C)	30	36	55.5	50.5	45.5	10	5	3	6.5	30	40
	(360A)	36	30	49.5	44.5	39.5	10	5	3	6.5	36	46
	(360B)	36	36	55.5	50.5	45.5	10	5	3	6.5	36	46
	(450)	45	45	65	60	55	10	5	3	7.0	43	53
	(600)	60	60	81	76	71	10	5	3	8.0	60	70

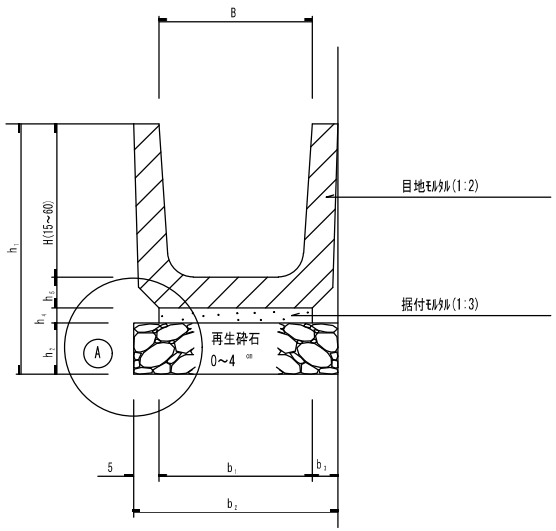
数　量　表

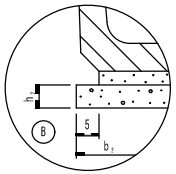
(1m当り)

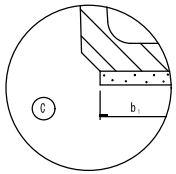
基礎 Ⓐ 再生砕石 (t=10)m^2	基礎 Ⓐ 再生砕石 (t=15)m^2	基礎 Ⓑ ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5)m^3	基礎 Ⓑ 基礎型枠 m^2	m^2 型　枠	m^3 ｺﾝｸﾘｰﾄ	m^3 据付モルタル	m U型トラフ	kg/m U型トラフ重量
0.260	——	0.013	0.100	——	——	0.005	1.000	40.000
0.290	——	0.015	0.100	——	——	0.006	1.000	56.667
0.340	——	0.017	0.100	——	——	0.007	1.000	91.667
0.400	——	0.020	0.100	——	——	0.009	1.000	116.667
0.400	——	0.020	0.100	——	——	0.009	1.000	131.667
0.400	——	0.020	0.100	——	——	0.009	1.000	153.333
0.460	——	0.023	0.100	——	——	0.011	1.000	150.000
0.460	——	0.023	0.100	——	——	0.011	1.000	166.667
0.530	——	0.027	0.100	——	——	0.013	1.000	223.333
0.700	——	0.035	0.100	——	——	0.018	1.000	348.333

図番

U型側溝工 (UP1-3)







基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0~4cm
Ⓑ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σ_{ck} =18N/mm^2

モルタルの品質

	配　合
据付ﾓﾙﾀﾙ	1 : 3
目地ﾓﾙﾀﾙ	1 : 2

寸　法　表

(cm)

○印展示	工　種	B	H	h_1 A	h_1 B	h_1 C	h_2 A	h_2 B	h_4	h_5	b_1	b_2	b_3
	UP1-3 (150)	15	15	31.5	26.5	21.5	10	5	3	3.5	16	23.5	2.5
	(180)	18	18	35	30	25	10	5	3	4.0	19	27	3.0
	(240)	24	24	42	37	32	10	5	3	5.0	24	33.5	4.5
	(300A)	30	24	43	38	33	10	5	3	6.0	30	40	5.0
	(300B)	30	30	49	44	39	10	5	3	6.0	30	40	5.0
	(300C)	30	36	55.5	50.5	45.5	10	5	3	6.5	30	40	5.0
	(360A)	36	30	49.5	44.5	39.5	10	5	3	6.5	36	46	5.0
	(360B)	36	36	55.5	50.5	45.5	10	5	3	6.5	36	46	5.0
	(450)	45	45	65	60	55	10	5	3	7.0	43	54.5	6.5
	(600)	60	60	81	76	71	10	5	3	8.0	60	72	7.0

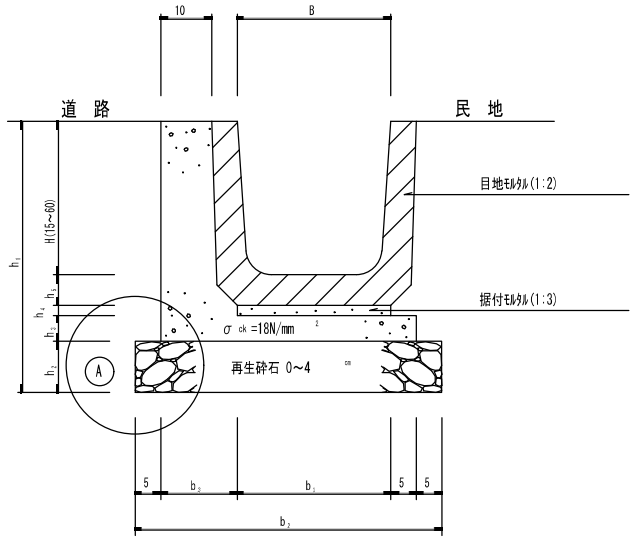
数　量　表

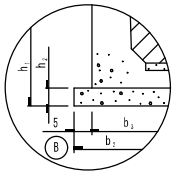
(1m当り)

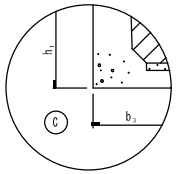
○印展示	基礎 Ⓐ 再生砕石 (t=10)m^2	基礎 Ⓐ 再生砕石 (t=15)m^2	基礎 Ⓑ ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5)m^3	基礎 Ⓑ 基礎型枠 m^2	m^2 型　枠	m^3 ｺﾝｸﾘｰﾄ	m^3 据付モルタル	m U型トラフ	kg/m U型トラフ重量
	0.235	——	0.012	0.050	——	——	0.005	1.000	40.000
	0.270	——	0.014	0.050	——	——	0.006	1.000	56.667
	0.335	——	0.017	0.050	——	——	0.007	1.000	91.667
	0.400	——	0.020	0.050	——	——	0.009	1.000	116.667
	0.400	——	0.020	0.050	——	——	0.009	1.000	131.667
	0.400	——	0.020	0.050	——	——	0.009	1.000	153.333
	0.460	——	0.023	0.050	——	——	0.011	1.000	150.000
	0.460	——	0.023	0.050	——	——	0.011	1.000	166.667
	0.545	——	0.027	0.050	——	——	0.013	1.000	223.333
	0.720	——	0.036	0.050	——	——	0.018	1.000	348.333

図番

U型側溝工（UP2-1）







基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
A	再生砕石	0～4cm
B	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σ_{ck} =18N/mm²

ﾓﾙﾀﾙの品質

	配　合
据付ﾓﾙﾀﾙ	1 : 3
目地ﾓﾙﾀﾙ	1 : 2

寸　法　表

(cm)

施工	工　種	B	H	h_1 A	h_1 B	h_1 C	h_2 A	h_2 B	h_3	h_4	h_5	b_1	b_2	b_3			
	UP1-1 (150)	15	15	35.5	30.5	25.5	10	5	5	2	3.5	16	43.5	12.5			
	(180)	18	18	39	34	29	10	5	5	2	4.0	19	47.0	13.0			
	(240)	24	24	46	41	36	10	5	5	2	5.0	24	53.5	14.5			
	(300A)	30	24	47	42	37	10	5	5	2	6.0	30	60.0	15.0			
	(300B)	30	30	53	48	43	10	5	5	2	6.0	30	60.0	15.0			
	(300C)	30	36	59.5	54.5	49.5	10	5	5	2	6.5	30	60.0	15.0			
	(360A)	36	30	53.5	48.5	43.5	10	5	5	2	6.5	36	66.0	15.0			
	(360B)	36	36	59.5	54.5	49.5	10	5	5	2	6.5	36	66.0	15.0			
	(450)	45	45	69	64	59	10	5	5	2	7.0	43	74.5	16.5			
	(600)	60	60	85	80	75	10	5	5	2	8.0	60	92.0	17.0			

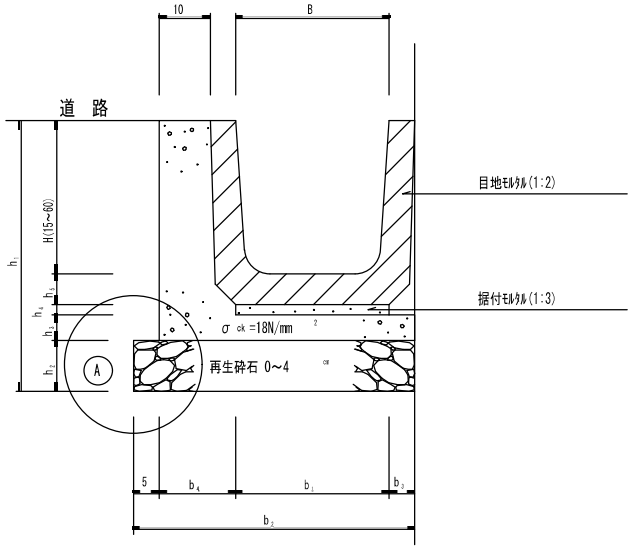
数　量　表

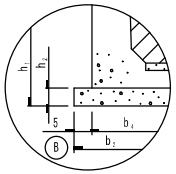
(1m当り)

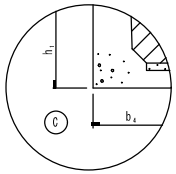
施工	基礎 A 再生砕石 (t=10)m²	基礎 A 再生砕石 (t=15)m²	基礎 B ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5)m³	基礎 B 基礎型枠 m²	m² 型　枠	m³ ｺﾝｸﾘｰﾄ	m³ 据付モルタル	m U型トラフ	kg/m U型トラフ重量		
	0.435	——	0.022	0.100	0.355	0.038	0.003	1.000	40.000		
	0.470	——	0.024	0.100	0.390	0.044	0.004	1.000	56.667		
	0.535	——	0.027	0.100	0.460	0.055	0.005	1.000	91.667		
	0.600	——	0.030	0.100	0.470	0.061	0.006	1.000	116.667		
	0.600	——	0.030	0.100	0.530	0.067	0.006	1.000	131.667		
	0.600	——	0.030	0.100	0.595	0.074	0.006	1.000	153.333		
	0.660	——	0.033	0.100	0.535	0.070	0.007	1.000	150.000		
	0.660	——	0.033	0.100	0.595	0.077	0.007	1.000	166.667		
	0.745	——	0.037	0.100	0.690	0.092	0.009	1.000	223.333		
	0.920	——	0.046	0.100	0.850	0.121	0.012	1.000	348.333		

図番

U型側溝工（UP2-3）







基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4cm
Ⓑ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σ_{ck} =18N/mm²

モルタルの品質

	配　合
据付ﾓﾙﾀﾙ	1 : 3
目地ﾓﾙﾀﾙ	1 : 2

寸　法　表

(cm)

記号	工　種	B	H	h_1 A	h_1 B	h_1 C	h_2 A	h_2 B	h_3	h_4	h_5	b_1	b_2	b_3	b_4		
	UP-3 (150)	15	15	35.5	30.5	25.5	10	5	5	2	3.5	16	36.0	2.5	12.5		
	(180)	18	18	39	34	29	10	5	5	2	4.0	19	40.0	3.0	13.0		
	(240)	24	24	46	41	36	10	5	5	2	5.0	24	48.0	4.5	14.5		
	(300A)	30	24	47	42	37	10	5	5	2	6.0	30	55.0	5.0	15.0		
	(300B)	30	30	53	48	43	10	5	5	2	6.0	30	55.0	5.0	15.0		
	(300C)	30	36	59.5	54.5	49.5	10	5	5	2	6.5	30	55.0	5.0	15.0		
	(360A)	36	30	53.5	48.5	43.5	10	5	5	2	6.5	36	61.0	5.0	15.0		
	(360B)	36	36	59.5	54.5	49.5	10	5	5	2	6.5	36	61.0	5.0	15.0		
	(450)	45	45	69	64	59	10	5	5	2	7.0	43	71.0	6.5	16.5		
	(600)	60	60	85	80	75	10	5	5	2	8.0	60	89.0	7.0	17.0		

数　量　表

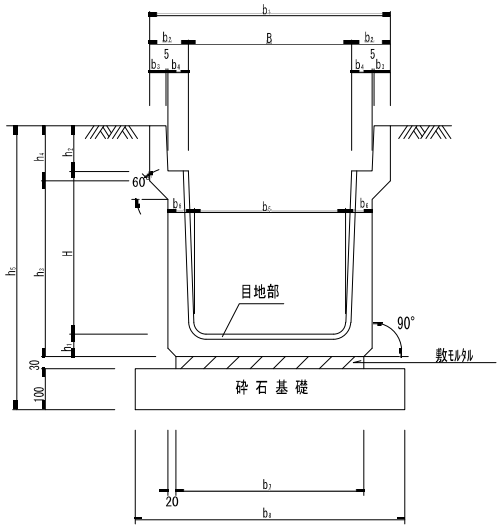
(1m当り)

基礎 Ⓐ 再生砕石 (t=10)m²	基礎 Ⓐ 再生砕石 (t=15)m³	基礎 Ⓑ ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5)m³	基礎 Ⓑ 基礎型枠 m²	m² 型　枠	m³ ｺﾝｸﾘｰﾄ	m³ 据付モルタル	m U型トラフ	kg/m U型トラフ重量		
0.360	——	0.018	0.050	0.305	0.037	0.003	1.000	40.000		
0.400	——	0.020	0.050	0.340	0.043	0.004	1.000	56.667		
0.480	——	0.024	0.050	0.410	0.055	0.005	1.000	91.667		
0.550	——	0.028	0.050	0.420	0.061	0.006	1.000	116.667		
0.550	——	0.028	0.050	0.480	0.067	0.006	1.000	131.667		
0.550	——	0.028	0.050	0.545	0.074	0.006	1.000	153.333		
0.610	——	0.031	0.050	0.485	0.070	0.007	1.000	150.000		
0.610	——	0.031	0.050	0.545	0.077	0.007	1.000	166.667		
0.710	——	0.036	0.050	0.640	0.093	0.009	1.000	223.333		
0.890	——	0.045	0.050	0.800	0.122	0.012	1.000	348.333		

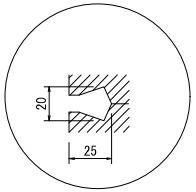
図番

U型側溝工（ﾌﾟﾚｷｬｽﾄJIS型）

歩道用



※目地部はモルタル詰め
で処理すること。



目地部(参考)

（道路用プレキャスト鉄筋コンクリートU型側こうぶた）寸法表

記号	寸法表 (単位mm)						1枚当たり重量 (kg)	摘要
	b_9	b_{10}	T_1	T_2	T_3	L		
B250	362	50	90	55	35	500	29	JIS A 5372
B300	412	51	95	55	40	500	33	1種
B400	512	51	110	65	45	500	47	
B500	622	56	125	75	50	500	65	

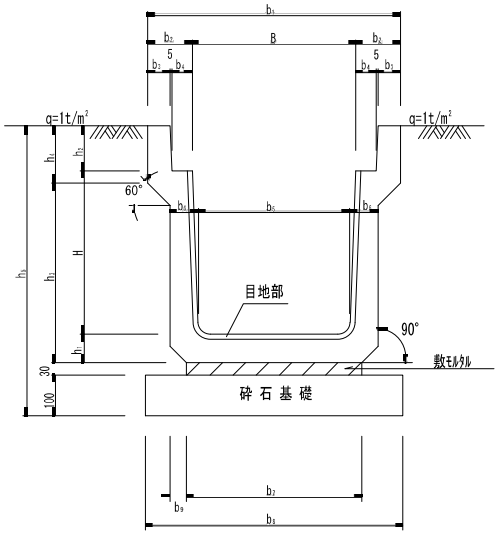
（道路用プレキャスト鉄筋コンクリートU型側こう：ふた付き）寸法および材料表

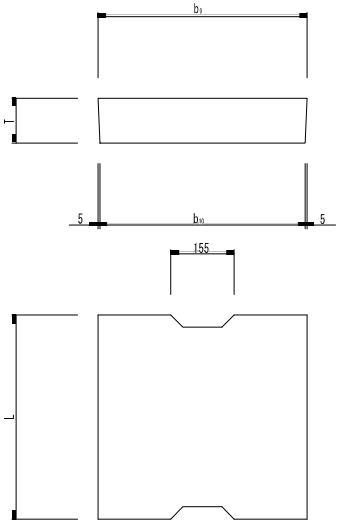
記号	寸法表 (単位mm)																材料表 (10m当たり)				側こう一個当たり重量 (kg)	摘要
	B	H	b_1	b_2	b_3	b_4	b_5	b_6	b_7	b_8	h_1	h_2	h_3	h_4	h_5	L	砕石基礎 (m^2)	据付モルタル (m^2)	側こう (個)	側こうふた (枚)		
B250-H250	250	250	450	100	40	55	230	55	300	500	55	90	275	120	525	2000	5.000	0.090	5	20	290	JIS A 5372
B300-H300	300	300	500	100	40	55	280	60	360	560	60	95	335	120	585	2000	5.600	0.108	5	20	348	1種
B300-H400	300	400	500	100	40	55	270	65	360	560	65	95	440	120	690	2000	5.600	0.108	5	20	420	
B300-H500	300	500	500	100	40	55	260	70	360	560	70	95	545	120	795	2000	5.600	0.108	5	20	497	
B400-H400	400	400	600	100	40	55	370	65	460	660	65	110	440	135	705	2000	6.600	0.138	5	20	457	
B400-H500	400	500	600	100	40	55	360	70	460	660	70	110	545	135	810	2000	6.600	0.138	5	20	536	
B500-H500	500	500	720	110	45	60	460	70	560	760	70	125	545	150	825	2000	7.600	0.168	5	20	594	
B500-H600	500	600	720	110	45	60	450	75	560	760	75	125	650	150	930	2000	7.600	0.168	5	20	680	

＜平成26年度改定＞

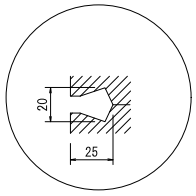
U型側溝工（ﾌﾟﾚｷｬｽﾄJIS型）

車道用





※目地部はモルタル詰めで処理すること。



目地部(参考)

（道路用プレキャスト鉄筋コンクリートU型側こうぶた）寸法表

記号	寸法表 (単位mm) b_9	b_{10}	T	L	1枚当たり重量 (kg)	摘要
B250	362	352	90	500	37	JIS A 5372 3種
B300	412	402	95	500	45	
B400	512	502	110	500	65	
B500	622	612	125	500	91	

（道路用プレキャスト鉄筋コンクリートU型側こう：ふた付き）寸法および材料表

記号	寸法表 (単位mm) B	H	b_1	b_2	b_3	b_4	b_5	b_6	b_7	b_8	b_9	h_1	h_2	h_3	h_4	h_5	L	材料表 (10m当たり) 砕石基礎 (m^3)	据付モルタル (m^3)	側こう (個)	ふた (枚)	側こう一個当たり重量 (kg)	摘要
B250-H250	250	250	460	105	45	55	230	65	300	500	30	65	90	285	120	535	2000	5.000	0.090	5	20	333	JIS A 5372 3種
B300-H300	300	300	520	110	50	55	280	70	360	560	30	70	95	325	140	595	2000	5.600	0.108	5	20	419	
B300-H400	300	400	520	110	50	55	270	70	330	530	40	70	95	425	140	695	2000	5.300	0.099	5	20	472	
B300-H500	300	500	520	110	50	55	260	80	340	540	40	80	95	535	140	805	2000	5.400	0.102	5	20	585	
B400-H400	400	400	630	115	55	55	370	70	430	630	40	70	110	440	140	710	2000	6.300	0.129	5	20	516	
B400-H500	400	500	630	115	55	55	360	80	440	640	40	80	110	550	140	820	2000	6.400	0.132	5	20	634	
B500-H500	500	500	750	125	60	60	460	80	540	740	40	80	125	550	155	835	2000	7.400	0.162	5	20	700	
B500-H600	500	600	750	125	60	60	450	90	550	750	40	90	125	640	175	945	2000	7.500	0.165	5	20	849	

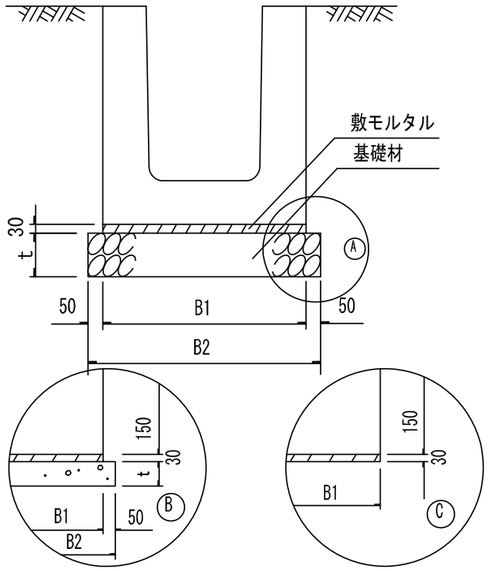
プレキャストU型側溝

No.30

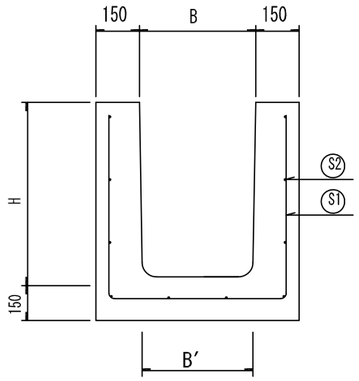
記　号	PU100型

標準施工断面図

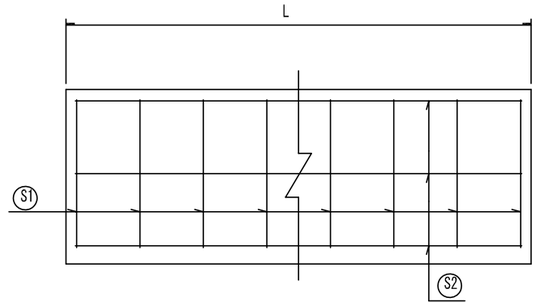
※ＰＧＵ側溝に使用できる。



断 面 図



側 面 図



［ 適用範囲 ］

1. 活荷重は、一般車両のT-25とし道路と平行に載荷する。

〔２次製品仕様〕

1. コンクリート強度

強度･応用度	側　溝
設計基準強度 σck	24N/mm²以上
許容曲げ圧縮応力度 σca	8N/mm²

2. 鉄筋類

種別	許容引張応力度 σsa
SD295A	160N/mm²

寸　法　表

(mm)

○印施工	記号	工種	B	B′	H	B1	B2	t A	t B	鉄筋表 径×本数 L=2000 S1横筋	L=2000 S2横筋	L=1000 S1横筋	L=1000 S2横筋	L=4000（参考） S1横筋	L=4000（参考） S2横筋	L=3000（参考） S1横筋	L=3000（参考） S2横筋	質量（参考）（kg/個） 2.0m	1.0m	4.0m（参考）	3.0m（参考）
	PU133	300×300	300	290	300	600	700	150	50	D10×8	D6×7	D10×4	D6×7	D10×16	D6×7			875	438	1,750	
	PU134	300×400	300	287	400	600	700	150	50	D10×8	D6×7	D10×4	D6×7	D10×16	D6×7			1,020	510	2,040	
	PU135	300×500	300	280	500	600	700	150	50	D10×8	D6×7	D10×4	D6×7	D10×16	D6×7			1,165	583	2,330	
	PU136	300×600	300	280	600	600	700	150	50	D10×8	D6×9	D10×4	D6×9			D10×12	D6×9	1,313	657		1,970
	PU144	400×400	400	387	400	700	800	150	50	D10×8	D6×8	D10×4	D6×8	D10×16	D6×8			1,095	548	2,190	
	PU145	400×500	400	380	500	700	800	150	50	D10×8	D6×8	D10×4	D6×8			D10×12	D6×8	1,240	620		1,860
	PU146	400×600	400	380	600	700	800	150	50	D10×8	D6×10	D10×4	D6×10			D10×12	D6×10	1,387	693		2,080
	PU155	500×500	500	480	500	800	900	150	50	D6×8	D6×8	D6×4	D6×8			D6×12	D6×8	1,313	657		1,970
	PU156	500×600	500	480	600	800	900	150	100	D6×8	D6×10	D6×4	D6×10			D6×12	D6×10	1,453	727		2,180
	PU157	500×700	500	470	700	800	900	150	100	D6×8	D6×10	D6×4	D6×10			D6×12	D6×10	1,600	800		2,400

数　量　表

(1m当り)

基礎 Ⓐ 砕石 (t=150)m²	基礎 Ⓑ コンクリート (t=50)m³	基礎 Ⓑ 基礎型枠 m²	m³ 据付モルタル	m プレキャストU型側溝
0.700	0.035	0.100	0.018	1.000
0.700	0.035	0.100	0.018	1.000
0.700	0.035	0.100	0.018	1.000
0.700	0.035	0.100	0.018	1.000
0.800	0.040	0.100	0.021	1.000
0.800	0.040	0.100	0.021	1.000
0.800	0.040	0.100	0.021	1.000
0.900	0.045	0.100	0.024	1.000
0.900	0.090	0.200	0.024	1.000
0.900	0.090	0.200	0.024	1.000

注）PU155,PU156,PU157はPGU(F)型として使用できない。

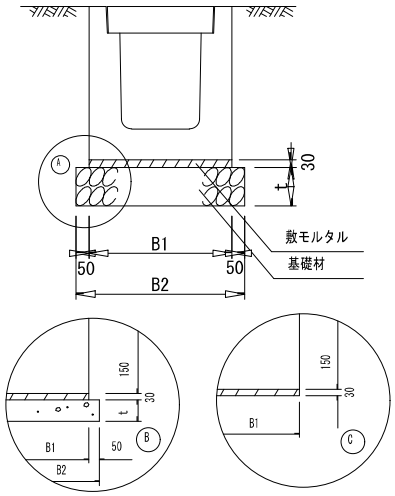
図番

[4-1-23]

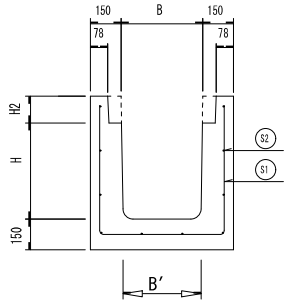
プレキャストU型側溝

記　号	PU200型

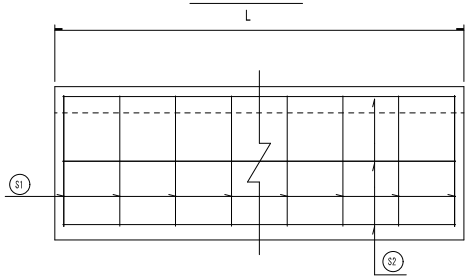
標準施工断面図



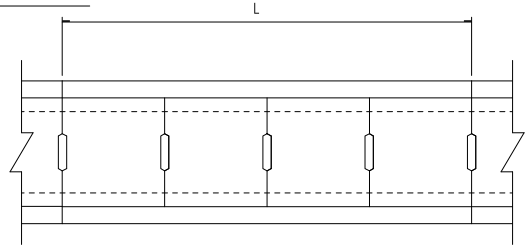
断面図



側面図

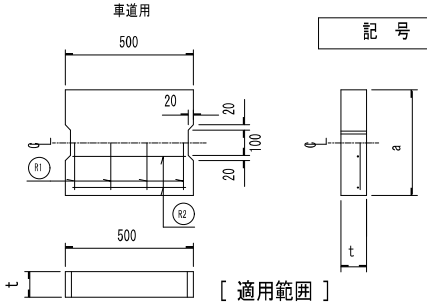


標準施工平面図



［蓋版構造図］

車道用



［適用範囲］

1. 活荷重は、一般車両のT-25とし
   道路と平行に載荷する。

〔2次製品仕様〕

1. コンクリート強度

強度・応用度	側　溝
設計基準強度 σck	24N/mm²以上
許容曲げ圧縮応力度 σca	8N/mm²

2. 鉄筋類

種別	許容引張応力度　σsa
SD295A	160N/mm²

寸法表

(mm)

記号	工種	B	B′	H	H2	B1	B2	t A	t B	鉄筋表 径×本数 L=2000 ①鉄筋	L=2000 ②鉄筋	L=1000 ①鉄筋	L=1000 ②鉄筋	L=4000（参考） ①鉄筋	L=4000（参考） ②鉄筋	L=3000（参考） ①鉄筋	L=3000（参考） ②鉄筋	質量（参考）（kg/個） 2.0m	1.0m	4.0m（参考）	3.0m（参考）
PU234	300×400	300	290	290	110	600	700	150	50	D10×8	D6×7	D10×4	D6×7	D10×16	D6×7			945	473	1,890	
PU235	300×500	300	287	390	110	600	700	150	50	D10×8	D6×7	D10×4	D6×7	D10×16	D6×7			1,095	548	2,190	
PU236	300×600	300	280	490	110	600	700	150	50	D10×8	D6×9	D10×4	D6×9	D10×16	D6×9			1,235	618	2,470	
PU244	400×400	400	390	280	120	700	800	150	50	D10×8	D6×8	D10×4	D6×8	D10×16	D6×8			1,010	505	2,020	
PU245	400×500	400	387	380	120	700	800	150	50	D10×8	D6×8	D10×4	D6×8	D10×16	D6×8			1,160	580	2,320	
PU246	400×600	400	380	480	120	700	800	150	50	D10×8	D6×8	D10×4	D6×8			D10×12	D6×8	1,307	653		1,960
PU255	500×500	500	487	370	130	800	900	150	50	D10×10	D6×8	D10×5	D6×8			D10×15	D6×8	1,220	610		1,830
PU256	500×600	500	480	470	130	800	900	150	100	D10×10	D6×10	D10×5	D6×10			D10×15	D6×10	1,367	683		2,050
PU257	500×700	500	480	570	130	800	900	150	100	D10×10	D6×10	D10×5	D6×10			D10×15	D6×10	1,513	757		2,270

数量表

(1m当り)

基礎 A 砕石 (t=150) m²	基礎 B コンクリート (t=50) m³	基礎 B 基礎型枠 m²	m³ 張付モルタル	m プレキャストU型側溝	枚 プレキャスト蓋版
0.700	0.035	0.100	0.018	1.000	4.000
0.700	0.035	0.100	0.018	1.000	4.000
0.700	0.035	0.100	0.018	1.000	4.000
0.800	0.040	0.100	0.021	1.000	4.000
0.800	0.040	0.100	0.021	1.000	4.000
0.800	0.040	0.100	0.021	1.000	4.000
0.900	0.045	0.100	0.024	1.000	4.000
0.900	0.090	0.200	0.024	1.000	4.000
0.900	0.090	0.200	0.024	1.000	4.000

記号	工種	a	t	鉄筋表 径×本数 R1	R2	質量（参考）（kg/個）
	蓋版（車道用）					
NC230	300用	430	110	D13×4	D13×4	56
NC240	400用	530	120	D13×4	D13×4	75
NC250	500用	630	130	D13×4	D13×4	97

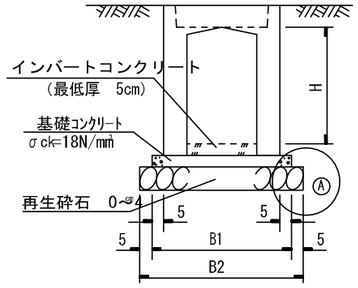
※切り欠き部のない製品も製造可能。　　蓋版は、グレーチング蓋も使用可能。

図番

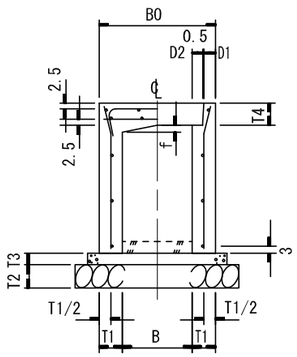
No. 35-1

自由勾配側溝（門－１）

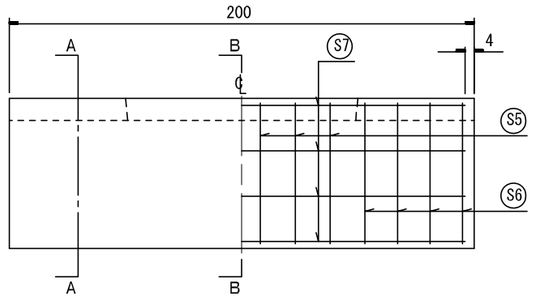
標準施工断面図



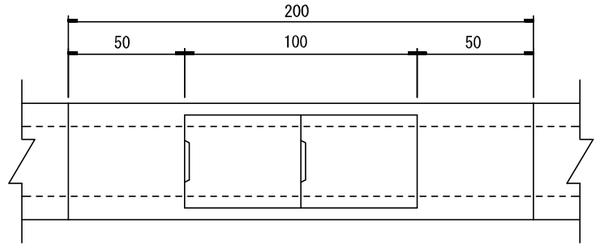
Ａ－Ａ断面図　Ｂ－Ｂ断面図



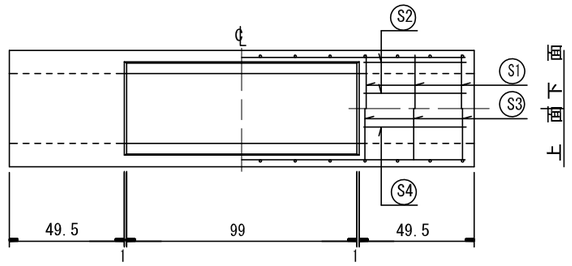
側面図



標準施工平面図

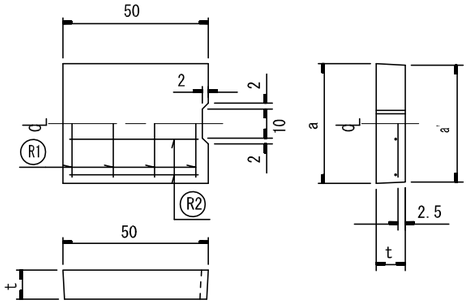


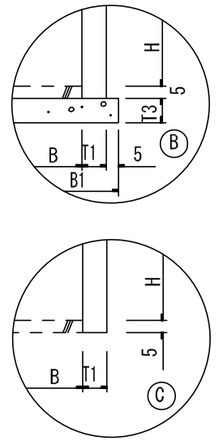
平面図



［ 蓋版構造図 ］

車道用





［ 蓋版寸法表 ］

車道用

工　種	寸法表（CM） a	a'	t	質量(参考) (kg/個)
30用	41.2	40.2	10.0	51
40用	51.2	50.2	11.0	70
50用	62.2	61.2	12.5	96
60用	72.2	71.2	14.0	125

※切り欠き部のない製品も製造可能。
※蓋版は、グレーチング蓋も使用可能。

［ 適用範囲 ］

１．活荷重は、一般車両のT-25とし道路と平行に載荷する。

※ｲﾝﾊﾞｰﾄｺﾝｸﾘｰﾄについては実数計上とする。

寸法表

(cm)

○印施工	工　種	B	H	B0	B1	B2	T1	T2	T3	T4	D1	D2	f		質量（参考）（ｋｇ/個）	
	300×300	30	30	50	60	70	10.0	10	5	10.0	4.0	5.5	3		506	
	300×400	30	40	50	60	70	10.0	10	5	10.0	4.0	5.5	3		606	
	300×500	30	50	50	60	70	10.0	10	5	10.0	4.0	5.5	3		706	
	300×600	30	60	50	60	70	10.0	10	5	10.0	4.0	5.5	3		806	
	400×400	40	40	61	71	81	10.5	10	5	11.0	4.5	5.5	4		683	
	400×500	40	50	61	71	81	10.5	10	5	11.0	4.5	5.5	4		788	
	400×600	40	60	61	71	81	10.5	10	5	11.0	4.5	5.5	4		893	
	400×700	40	70	61	71	81	10.5	10	5	11.0	4.5	5.5	4		998	
	500×500	50	50	72	82	92	11.0	10	10	12.5	4.5	6.0	5		889	
	500×600	50	60	72	82	92	11.0	10	10	12.5	4.5	6.0	5		999	
	500×700	50	70	72	82	92	11.0	10	10	12.5	4.5	6.0	5		1109	
	500×800	50	80	72	82	92	11.0	10	10	12.5	4.5	6.0	5		1219	
	600×600	60	60	83	93	103	11.5	10	10	14.0	5.0	6.0	6		1119	
	600×700	60	70	83	93	103	11.5	10	10	14.0	5.0	6.0	6		1234	
	600×800	60	80	83	93	103	11.5	10	10	14.0	5.0	6.0	6		1349	
	600×900	60	90	83	93	103	11.5	10	10	14.0	5.0	6.0	6		1464	

数量表

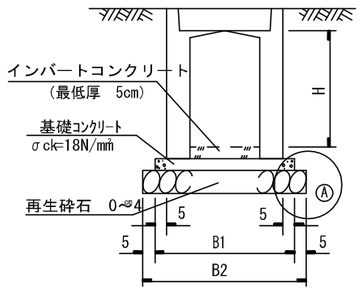
(1m当り)

基礎 (A) 再生砕石 (t=10) m²	(A) コンクリート m³	(A) 型枠 m²	(B) コンクリート m³	(B) 型枠 m²	m³ インバートコンクリート	個 門型側溝	枚 蓋板					
0.700	0.030	0.100	0.030	0.100	実数計上	0.500	1.000					
0.700	0.030	0.100	0.030	0.100	実数計上	0.500	1.000					
0.700	0.030	0.100	0.030	0.100	実数計上	0.500	1.000					
0.700	0.030	0.100	0.030	0.100	実数計上	0.500	1.000					
0.810	0.036	0.100	0.036	0.100	実数計上	0.500	1.000					
0.810	0.036	0.100	0.036	0.100	実数計上	0.500	1.000					
0.810	0.036	0.100	0.036	0.100	実数計上	0.500	1.000					
0.810	0.036	0.100	0.036	0.100	実数計上	0.500	1.000					
0.920	0.082	0.200	0.082	0.200	実数計上	0.500	1.000					
0.920	0.082	0.200	0.082	0.200	実数計上	0.500	1.000					
0.920	0.082	0.200	0.082	0.200	実数計上	0.500	1.000					
0.920	0.082	0.200	0.082	0.200	実数計上	0.500	1.000					
1.030	0.093	0.200	0.093	0.200	実数計上	0.500	1.000					
1.030	0.093	0.200	0.093	0.200	実数計上	0.500	1.000					
1.030	0.093	0.200	0.093	0.200	実数計上	0.500	1.000					
1.030	0.093	0.200	0.093	0.200	実数計上	0.500	1.000					

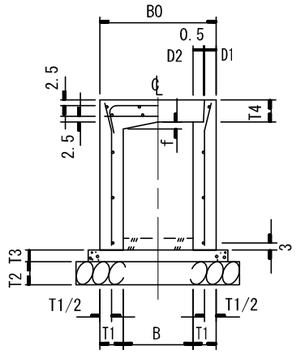
図番

自由勾配側溝（門－２）

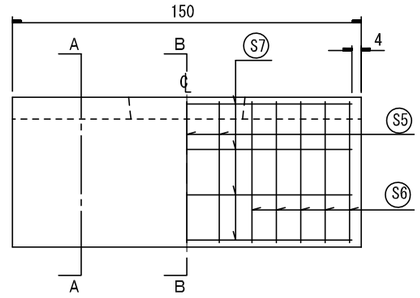
標準施工断面図



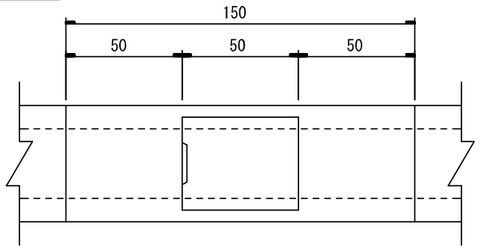
Ａ－Ａ断面図　Ｂ－Ｂ断面図



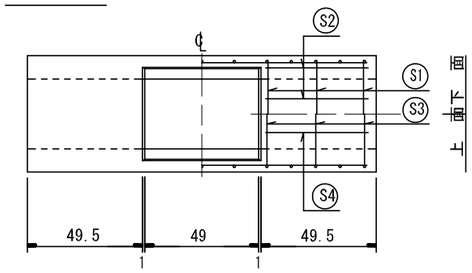
側 面 図



標準施工平面図

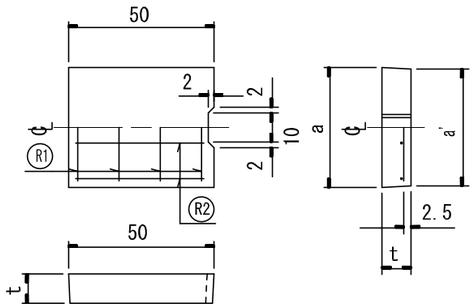


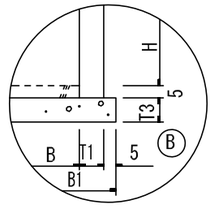
平 面 図

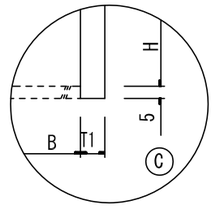


[蓋版構造図]

車道用







[蓋版寸法表]

車道用

工　種	寸法表（cm） a	a'	t	質量(参考) (kg/個)
30用	41.2	40.2	10.0	51
40用	51.2	50.2	11.0	70
50用	62.2	61.2	12.5	96
60用	72.2	71.2	14.0	125

※切り欠き部のない製品も製造可能。
※蓋版は、グレーチング蓋も使用可能。

[適用範囲]

1．活荷重は、一般車両のT-25とし道路と平行に載荷する。

※ｲﾝﾊﾞｰﾄｺﾝｸﾘｰﾄについては実数計上とする。

寸　法　表　(cm)

○印施工	工　種	B	H	B0	B1	B2	T1	T2	T3	T4	D1	D2	f		質量（参考）（ｋｇ/個）	
	300×300	30	30	50	60	70	10.0	10	5	10.0	4.0	5.5	3		409	
	300×400	30	40	50	60	70	10.0	10	5	10.0	4.0	5.5	3		484	
	300×500	30	50	50	60	70	10.0	10	5	10.0	4.0	5.5	3		559	
	300×600	30	60	50	60	70	10.0	10	5	10.0	4.0	5.5	3		634	
	400×400	40	40	61	71	81	10.5	10	5	11.0	4.5	5.5	4		553	
	400×500	40	50	61	71	81	10.5	10	5	11.0	4.5	5.5	4		632	
	400×600	40	60	61	71	81	10.5	10	5	11.0	4.5	5.5	4		711	
	400×700	40	70	61	71	81	10.5	10	5	11.0	4.5	5.5	4		790	
	500×500	50	50	72	82	92	11.0	10	10	12.5	4.5	6.0	5		724	
	500×600	50	60	72	82	92	11.0	10	10	12.5	4.5	6.0	5		807	
	500×700	50	70	72	82	92	11.0	10	10	12.5	4.5	6.0	5		809	
	500×800	50	80	72	82	92	11.0	10	10	12.5	4.5	6.0	5		972	
	600×600	60	60	83	93	103	11.5	10	10	14.0	5.0	6.0	6		914	
	600×700	60	70	83	93	103	11.5	10	10	14.0	5.0	6.0	6		1000	
	600×800	60	80	83	93	103	11.5	10	10	14.0	5.0	6.0	6		1087	
	600×900	60	90	83	93	103	11.5	10	10	14.0	5.0	6.0	6		1173	

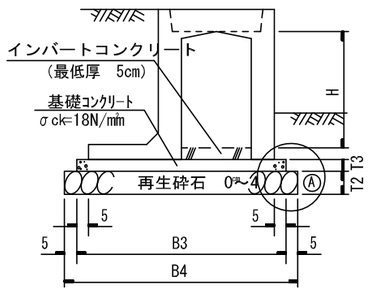
数　量　表　(1m当り)

基礎 (A) 再生砕石 (t=10) m²	(A) コンクリート m³	(A) 型枠 m²	(B) コンクリート m³	(B) 型枠 m²	m³ インバートコンクリート	個 門留型側溝	枚 蓋板					
0.700	0.030	0.100	0.030	0.100	実数計上	0.500	1.000					
0.700	0.030	0.100	0.030	0.100	実数計上	0.500	1.000					
0.700	0.030	0.100	0.030	0.100	実数計上	0.500	1.000					
0.700	0.030	0.100	0.030	0.100	実数計上	0.500	1.000					
0.810	0.036	0.100	0.036	0.100	実数計上	0.500	1.000					
0.810	0.036	0.100	0.036	0.100	実数計上	0.500	1.000					
0.810	0.036	0.100	0.036	0.100	実数計上	0.500	1.000					
0.810	0.036	0.100	0.036	0.100	実数計上	0.500	1.000					
0.920	0.082	0.200	0.082	0.200	実数計上	0.500	1.000					
0.920	0.082	0.200	0.082	0.200	実数計上	0.500	1.000					
0.920	0.082	0.200	0.082	0.200	実数計上	0.500	1.000					
0.920	0.082	0.200	0.082	0.200	実数計上	0.500	1.000					
1.030	0.093	0.200	0.093	0.200	実数計上	0.500	1.000					
1.030	0.093	0.200	0.093	0.200	実数計上	0.500	1.000					
1.030	0.093	0.200	0.093	0.200	実数計上	0.500	1.000					
1.030	0.093	0.200	0.093	0.200	実数計上	0.500	1.000					

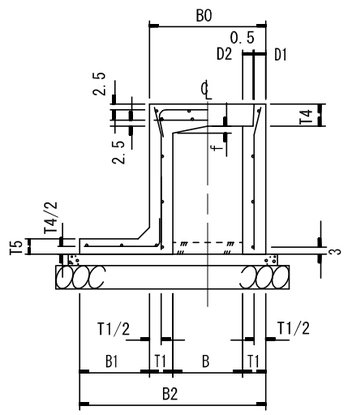
図番

自由勾配側溝（門留ー１）

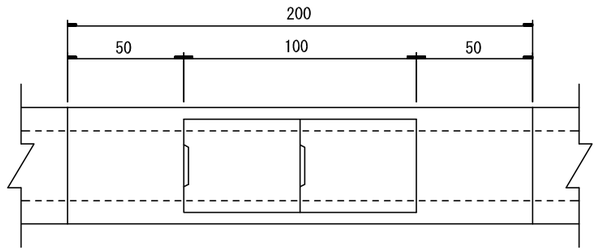
標準施工断面図



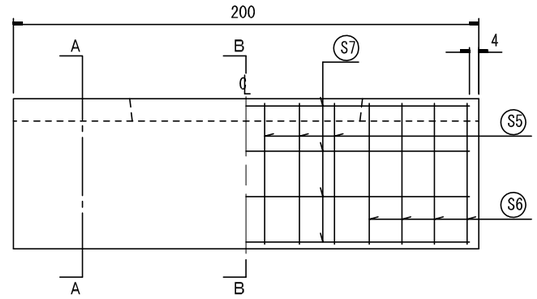
Ａ－Ａ断面図　Ｂ－Ｂ断面図



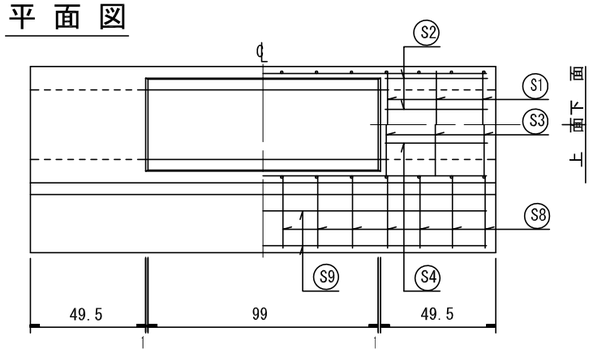
標準施工平面図



側面図

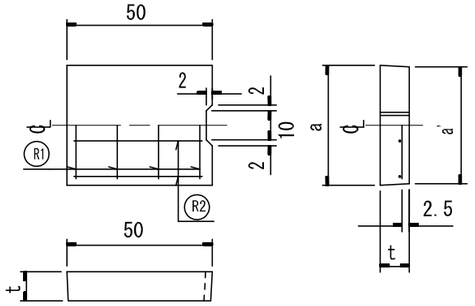


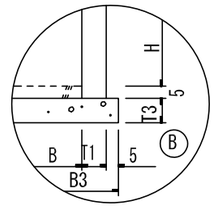
平面図

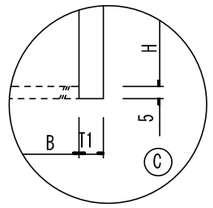


[蓋版構造図]

車道用







[蓋版寸法表]

車道用

工　種	寸法表（cm） a	a'	t	質量(参考)(kg/個)
30用	41.2	40.2	10.0	51
40用	51.2	50.2	11.0	70
50用	62.2	61.2	12.5	96
60用	72.2	71.2	14.0	125

※切り欠き部のない製品も製造可能。
※蓋版は、グレーチング蓋も使用可能。

[適用範囲]

１．活荷重は、一般車両のT-25とし道路と平行に載荷する。

※ｲﾝﾊﾞｰﾄｺﾝｸﾘｰﾄについては実数計上とする。

寸法表 (cm)

○印施工	工　種	B	H	B0	B1	B2	B3	B4	T1	T2	T3	T4	T5	D1	D2	f	質量（参考）（ｋｇ/個）
	300×300	30	30	50	15	65	75	85	10.0	10	5	10.0	10.0	4.0	5.5	3	581
	300×400	30	40	50	20	70	80	90	10.0	10	5	10.0	10.0	4.0	5.5	3	706
	300×500	30	50	50	25	75	85	95	10.0	10	5	10.0	10.0	4.0	5.5	3	831
	300×600	30	60	50	30	80	90	100	10.0	10	5	10.0	10.0	4.0	5.5	3	956
	400×400	40	40	61	20	81	91	101	10.5	10	5	11.0	10.5	4.5	5.5	4	788
	400×500	40	50	61	25	86	96	106	10.5	10	5	11.0	10.5	4.5	5.5	4	893
	400×600	40	60	61	25	86	96	106	10.5	10	5	11.0	10.5	4.5	5.5	4	1024
	400×700	40	70	61	30	91	101	111	10.5	10	5	11.0	10.5	4.5	5.5	4	1155
	500×500	50	50	72	20	92	102	112	11.0	10	10	12.5	11.0	4.5	6.0	5	999
	500×600	50	60	72	25	97	107	117	11.0	10	10	12.5	11.0	4.5	6.0	5	1137
	500×700	50	70	72	30	102	112	122	11.0	10	10	12.5	11.0	4.5	6.0	5	1274
	500×800	50	80	72	35	107	117	127	11.0	10	10	12.5	11.0	4.5	6.0	5	1412
	600×600	60	60	83	25	108	118	128	11.5	10	10	14.0	11.5	5.0	6.0	6	1263
	600×700	60	70	83	30	113	123	133	11.5	10	10	14.0	11.5	5.0	6.0	6	1407
	600×800	60	80	83	35	118	128	138	11.5	10	10	14.0	11.5	5.0	6.0	6	1522
	600×900	60	90	83	35	118	128	138	11.5	10	10	14.0	11.5	5.0	6.0	6	1665

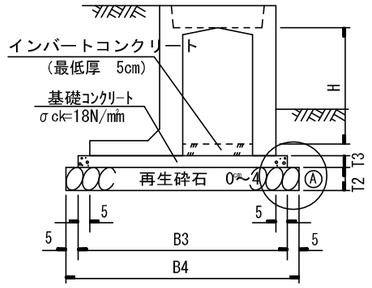
数量表 (1m当り)

基礎 Ⓐ 再生砕石 (t=10)㎥	基礎 Ⓐ コンクリート ㎥	基礎 Ⓐ 型枠 ㎡	基礎 Ⓑ コンクリート ㎥	基礎 Ⓑ 型枠 ㎡	㎥ インバートコンクリート	個 門留型側溝	枚 蓋板					
0.850	0.038	0.100	0.038	0.100	実数計上	0.500	1.000					
0.900	0.040	0.100	0.040	0.100	実数計上	0.500	1.000					
0.950	0.043	0.100	0.043	0.100	実数計上	0.500	1.000					
1.000	0.045	0.100	0.045	0.100	実数計上	0.500	1.000					
1.010	0.046	0.100	0.046	0.100	実数計上	0.500	1.000					
1.060	0.048	0.100	0.048	0.100	実数計上	0.500	1.000					
1.060	0.048	0.100	0.048	0.100	実数計上	0.500	1.000					
1.110	0.051	0.100	0.051	0.100	実数計上	0.500	1.000					
1.120	0.102	0.200	0.102	0.200	実数計上	0.500	1.000					
1.170	0.107	0.200	0.107	0.200	実数計上	0.500	1.000					
1.220	0.112	0.200	0.112	0.200	実数計上	0.500	1.000					
1.270	0.117	0.200	0.117	0.200	実数計上	0.500	1.000					
1.280	0.118	0.200	0.118	0.200	実数計上	0.500	1.000					
1.330	0.123	0.200	0.123	0.200	実数計上	0.500	1.000					
1.380	0.128	0.200	0.128	0.200	実数計上	0.500	1.000					
1.380	0.128	0.200	0.128	0.200	実数計上	0.500	1.000					

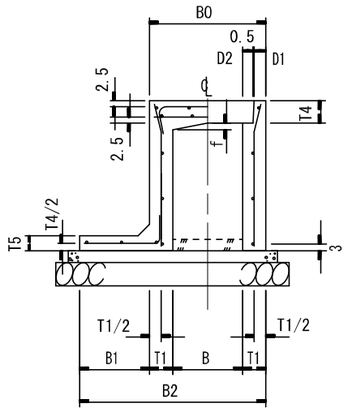
図番

自由勾配側溝（門留ー２）

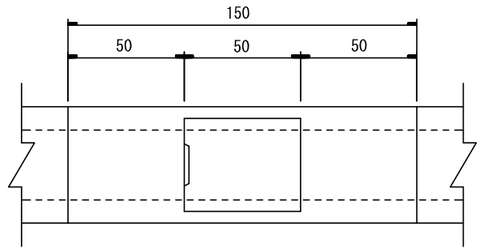
標準施工断面図



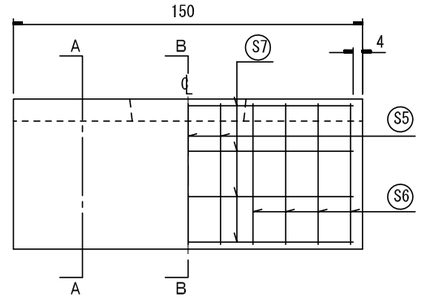
Ａ－Ａ断面図　Ｂ－Ｂ断面図



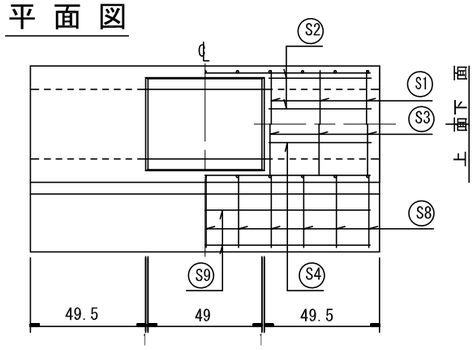
標準施工平面図



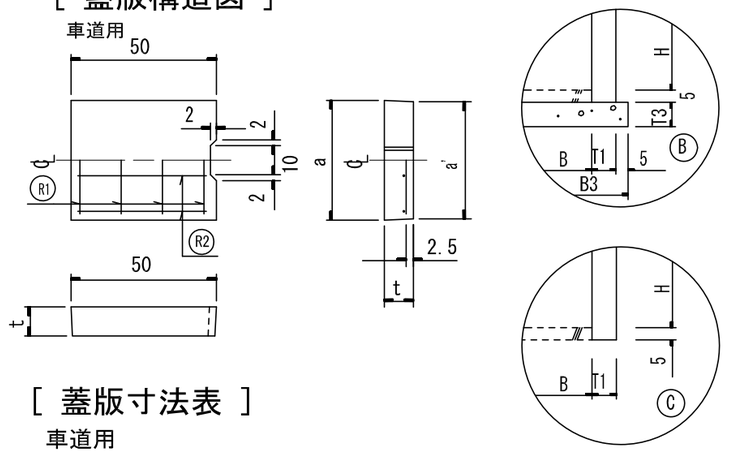
側面図



平面図



［ 蓋版構造図 ］



［ 蓋版寸法表 ］

車道用

工　種	寸法表（cm） a	a'	t	質量(参考)(kg/個)
30用	41.2	40.2	10.0	51
40用	51.2	50.2	11.0	70
50用	62.2	61.2	12.5	96
60用	72.2	71.2	14.0	125

※切り欠き部のない製品も製造可能。
※蓋版は、グレーチング蓋も使用可能。

［ 適用範囲 ］

1．活荷重は、一般車両のT-25とし道路と平行に載荷する。

※ｲﾝﾊﾞｰﾄｺﾝｸﾘｰﾄについては実数計上とする。

寸法表　(cm)

○印施工	工　種	B	H	B0	B1	B2	B3	B4	T1	T2	T3	T4	T5	D1	D2	f	質量（参考）（ｋｇ/個）
	300×300	30	30	50	15	65	75	85	10.0	10	5	10.0	10.0	4.0	5.5	3	465
	300×400	30	40	50	20	70	80	90	10.0	10	5	10.0	10.0	4.0	5.5	3	559
	300×500	30	50	50	25	75	85	95	10.0	10	5	10.0	10.0	4.0	5.5	3	653
	300×600	30	60	50	30	80	90	100	10.0	10	5	10.0	10.0	4.0	5.5	3	746
	400×400	40	40	61	20	81	91	101	10.5	10	5	11.0	10.5	4.5	5.5	4	628
	400×500	40	50	61	25	86	96	106	10.5	10	5	11.0	10.5	4.5	5.5	4	707
	400×600	40	60	61	25	86	96	106	10.5	10	5	11.0	10.5	4.5	5.5	4	805
	400×700	40	70	61	30	91	101	111	10.5	10	5	11.0	10.5	4.5	5.5	4	902
	500×500	50	50	72	20	92	102	112	11.0	10	10	12.5	11.0	4.5	6.0	5	799
	500×600	50	60	72	25	97	107	117	11.0	10	10	12.5	11.0	4.5	6.0	5	900
	500×700	50	70	72	30	102	112	122	11.0	10	10	12.5	11.0	4.5	6.0	5	1002
	500×800	50	80	72	35	107	117	127	11.0	10	10	12.5	11.0	4.5	6.0	5	1103
	600×600	60	60	83	25	108	118	128	11.5	10	10	14.0	11.5	5.0	6.0	6	1008
	600×700	60	70	83	30	113	123	133	11.5	10	10	14.0	11.5	5.0	6.0	6	1113
	600×800	60	80	83	35	118	128	138	11.5	10	10	14.0	11.5	5.0	6.0	6	1199
	600×900	60	90	83	35	118	128	138	11.5	10	10	14.0	11.5	5.0	6.0	6	1304

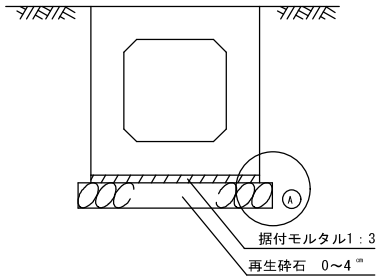
数量表　(1m当り)

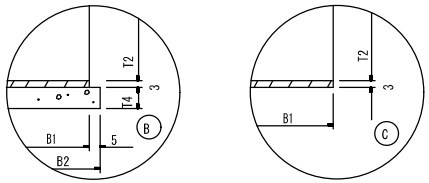
基礎 Ⓐ 再生砕石 (t=10)㎡	基礎 Ⓐ コンクリート ㎥	基礎 Ⓐ 型枠 ㎡	基礎 Ⓑ コンクリート ㎥	基礎 Ⓑ 型枠 ㎡	㎥ インバートコンクリート	個 門留型側溝	枚 蓋板					
0.850	0.038	0.100	0.038	0.100	実数計上	0.500	1.000					
0.900	0.040	0.100	0.040	0.100	実数計上	0.500	1.000					
0.950	0.043	0.100	0.043	0.100	実数計上	0.500	1.000					
1.000	0.045	0.100	0.045	0.100	実数計上	0.500	1.000					
1.010	0.046	0.100	0.046	0.100	実数計上	0.500	1.000					
1.060	0.048	0.100	0.048	0.100	実数計上	0.500	1.000					
1.060	0.048	0.100	0.048	0.100	実数計上	0.500	1.000					
1.110	0.051	0.100	0.051	0.100	実数計上	0.500	1.000					
1.120	0.102	0.200	0.102	0.200	実数計上	0.500	1.000					
1.170	0.107	0.200	0.107	0.200	実数計上	0.500	1.000					
1.220	0.112	0.200	0.112	0.200	実数計上	0.500	1.000					
1.270	0.117	0.200	0.117	0.200	実数計上	0.500	1.000					
1.280	0.118	0.200	0.118	0.200	実数計上	0.500	1.000					
1.330	0.123	0.200	0.123	0.200	実数計上	0.500	1.000					
1.380	0.128	0.200	0.128	0.200	実数計上	0.500	1.000					
1.380	0.128	0.200	0.128	0.200	実数計上	0.500	1.000					

図番

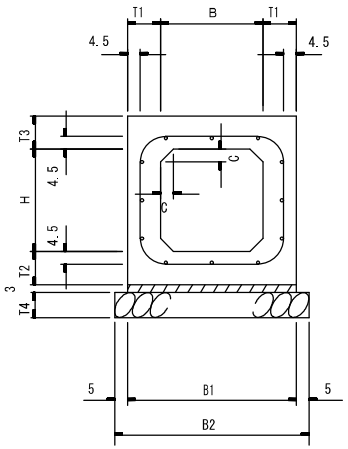
箱　型　側　溝（箱－１）

標準施工断面図

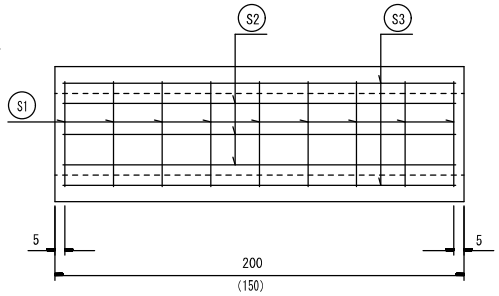




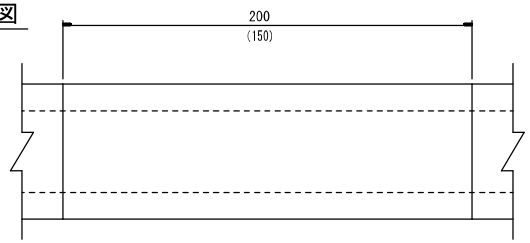
断　面　図



側　面　図



標準施工平面図



［ 適用範囲 ］

１．活荷重は、一般車両のT-25とし道路と平行に載荷する。

寸　法　表

(cm)

○印着工	工　種	B	H	B1	B2	T1	T2	T3	T4 A	T4 B	C		質量（参考）（kg/個） 2.0m	1.5m				
	300×300	30	30	50	60	10	10	10	10	5	5		825	619				
	300×400	30	40	50	60	10	10	10	15	5	5		925	649				
	300×500	30	50	50	60	10	10	10	15	5	5		1025	769				
	300×600	30	60	50	60	10	10	10	15	5	5		1125	844				
	400×400	40	40	66	76	13	13	13	15	5	5		1403	1052				
	400×500	40	50	66	76	13	13	13	15	5	5		1533	1150				
	400×600	40	60	66	76	13	13	13	15	5	5		1663	1247				
	400×700	40	70	66	76	13	13	13	15	5	5		1793	1343				
	500×500	50	50	76	86	13	13	13	15	5	5		1663	1247				
	500×600	50	60	76	86	13	13	13	15	10	5		1793	1345				
	500×700	50	70	76	86	13	13	13	15	10	5		1923	1442				

数　量　表

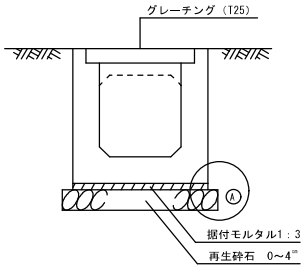
(1m当り)

基礎 Ⓐ 再生砕石 (t=10) m²	基礎 Ⓐ 再生砕石 (t=15) m²	基礎 Ⓑ コンクリート (t=5) m³	基礎 Ⓑ 基礎型枠 m²	m³ 据付モルタル	個 箱型側溝							
0.600	——	0.030	0.100	0.015	0.500							
——	0.600	0.030	0.100	0.015	0.500							
——	0.600	0.030	0.100	0.015	0.500							
——	0.600	0.030	0.100	0.015	0.500							
——	0.760	0.038	0.100	0.020	0.500							
——	0.760	0.038	0.100	0.020	0.500							
——	0.760	0.038	0.100	0.020	0.500							
——	0.760	0.038	0.100	0.020	0.500							
——	0.860	0.043	0.100	0.023	0.500							
——	0.860	0.086	0.200	0.023	0.500							
——	0.860	0.086	0.200	0.023	0.500							

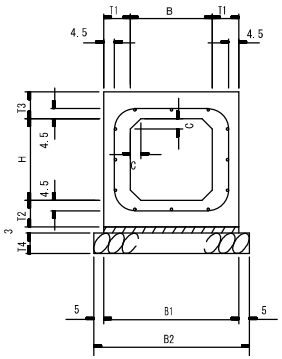
図番

箱　型　側　溝（箱－２）

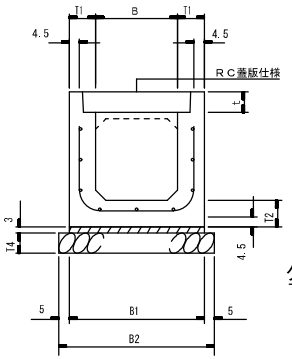
グレーチング部施工断面図



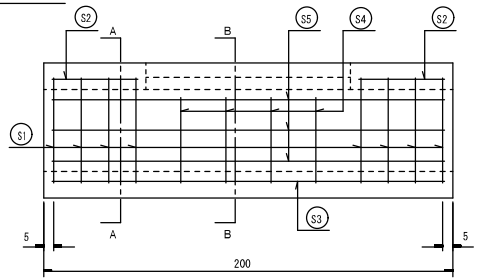
Ａ－Ａ断面図



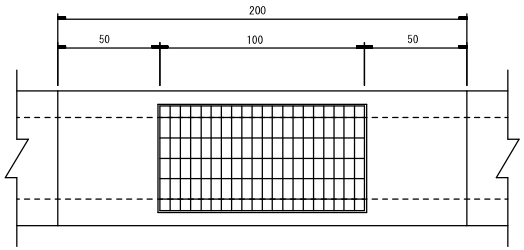
Ｂ－Ｂ断面図

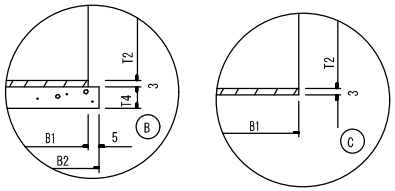


側　面　図

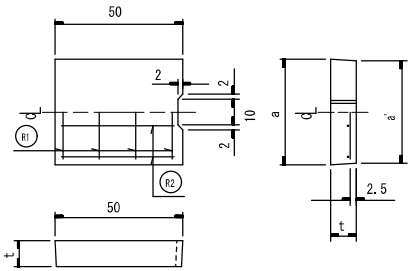


グレーチング部施工平面図





［ 蓋版構造図 ］



［ 適用範囲 ］

1．活荷重は、一般車両のT-25とし
　道路と平行に載荷する。

（注）電算未設定

寸　法　表

(cm)

○印施工	工　種	B	H	B1	B2	T1	T2	T3	T4 A	T4 B	C		質量（参考）（kg/個） 2.0m	1.5m			
	300×300	30	30	50	60	10	10	10	10	5	5		771	——			
	300×400	30	40	50	60	10	10	10	15	5	5		871	——			
	300×500	30	50	50	60	10	10	10	15	5	5		971	——			
	300×600	30	60	50	60	10	10	10	15	5	5		1071	——			
	400×400	40	40	66	76	13	13	13	15	5	5		1305	——			
	400×500	40	50	66	76	13	13	13	15	5	5		1435	——			
	400×600	40	60	66	76	13	13	13	15	5	5		1565	——			
	400×700	40	70	66	76	13	13	13	15	5	5		1695	——			
	500×500	50	50	76	86	13	13	13	15	5	5		1565	——			
	500×600	50	60	76	86	13	13	13	15	10	5		1697	——			
	500×700	50	70	76	86	13	13	13	15	10	5		1827	——			

○印施工	工　種	a	a'	t									質量（参考）（kg/個）				
	蓋版（車道用）																
	300用	41.2	40.2	10.0									51				
	400用	51.2	50.2	11.0									70				
	500用	62.2	61.2	12.5									96				

※切り欠き部のない製品も製造可能。蓋版は、グレーチング蓋も使用可能。

数　量　表

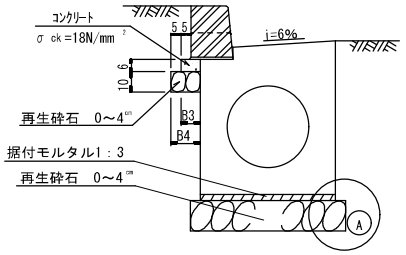
(1m当り)

基礎 Ⓐ 再生砕石 (t=10) m²	基礎 Ⓐ 再生砕石 (t=15) m²	基礎 Ⓑ コンクリート (t=5) m³	基礎 Ⓑ 基礎型枠 m²	m³ 据付モルタル	個 箱型側溝	枚 蓋板						
0.600	——	0.030	0.100	0.015	0.500	0.500						
——	0.600	0.030	0.100	0.015	0.500	0.500						
——	0.600	0.030	0.100	0.015	0.500	0.500						
——	0.600	0.030	0.100	0.015	0.500	0.500						
——	0.760	0.038	0.100	0.020	0.500	0.500						
——	0.760	0.038	0.100	0.020	0.500	0.500						
——	0.760	0.038	0.100	0.020	0.500	0.500						
——	0.760	0.038	0.100	0.020	0.500	0.500						
——	0.860	0.043	0.100	0.023	0.500	0.500						
——	0.860	0.086	0.200	0.023	0.500	0.500						
——	0.860	0.086	0.200	0.023	0.500	0.500						

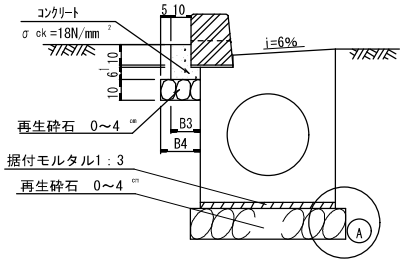
図番

円　型　側　溝（円－１）

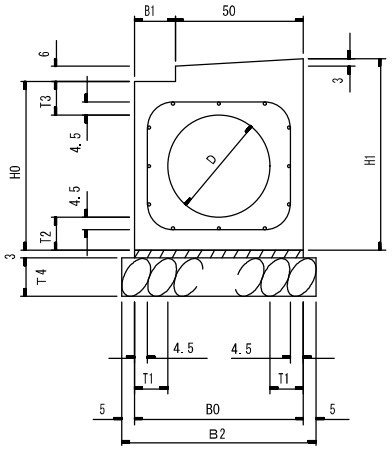
標準施工断面図（マウンドアップ型）



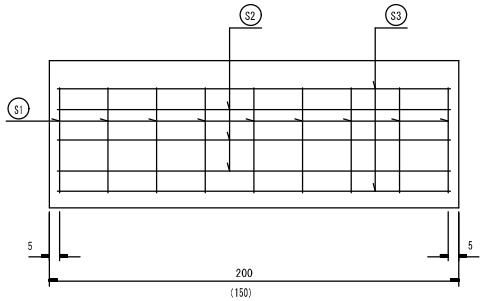
標準施工断面図（セミフラット型）



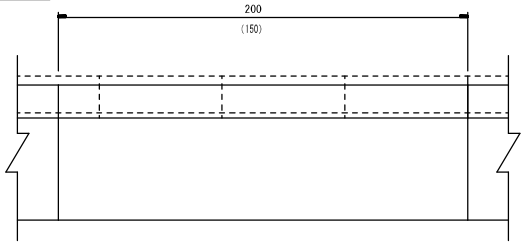
断　面　図

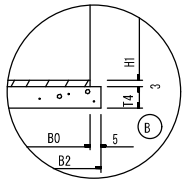


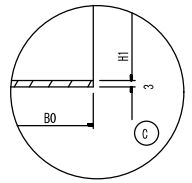
側　面　図



標準施工平面図







［ 適用範囲 ］

１．活荷重は、一般車両のT-25とし道路と平行に載荷する。

寸　法　表

(cm)

工種	D	B0	B1	B2	B3	B4	H0	H1	T1	T2	T3	T4 A	T4 B	質量（参考）(kg/個) 2.0m	1.5m
300-A	30	50	——	60	22	27	50	53	10	10	10	15	5	1084	813
300-A2	30	50	——	60	22	27	50	53	10	10	10	15	5	1084	813
300-B	30	50	——	60	25.5	30.5	50	53	10	10	10	15	5	1084	813
300-B2	30	50	——	60	25.5	30.5	50	53	10	10	10	15	5	1084	813
300-B3	30	50	——	60	25.5	30.5	50	53	10	10	10	15	5	1084	813
300-FA	30	50	——	60	27	32	50	53	10	10	10	15	5	1084	813
300-FB	30	50	——	60	30.5	35.5	50	53	10	10	10	15	5	1084	813
400-A	40	66	16	76	6	11	66	75	13	13	13	15	5	1737	1303
400-A2	40	66	16	76	6	11	66	75	13	13	13	15	5	1737	1303
400-B	40	66	16	76	9.5	14.5	66	75	13	13	13	15	5	1737	1303
400-B2	40	66	16	76	9.5	14.5	66	75	13	13	13	15	5	1737	1303
400-B3	40	66	16	76	9.5	14.5	66	75	13	13	13	15	5	1737	1303
400-FA	40	66	16	76	11	16	66	75	13	13	13	15	5	1737	1303
400-FB	40	66	16	76	14.5	19.5	66	75	13	13	13	15	5	1737	1303

数　量　表

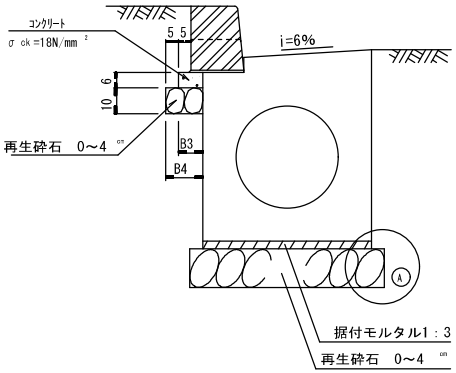
(1m当り)

工種	基礎 Ⓐ 再生砕石 (t=10)m²	基礎 Ⓐ 再生砕石 (t=15)m²	基礎 Ⓐ コンクリート (t=6)m³	基礎 Ⓐ 型枠 m²	基礎 Ⓑ 再生砕石 (t=10)m²	基礎 Ⓑ コンクリート m³	基礎 Ⓑ 型枠 m²	基礎 Ⓒ 再生砕石 (t=10)m²	基礎 Ⓒ コンクリート (t=6)m³	基礎 Ⓒ 型枠 m²	m³ 据付モルタル	m 縁石	個 円型側溝
300-A	0.270	0.600	0.013	0.060	0.270	0.043	0.160	0.270	0.013	0.060	0.017	1.000	0.500
300-A2	0.270	0.600	0.013	0.060	0.270	0.043	0.160	0.270	0.013	0.060	0.017	1.000	0.500
300-B	0.305	0.600	0.015	0.060	0.305	0.045	0.160	0.305	0.015	0.060	0.017	1.000	0.500
300-B2	0.305	0.600	0.015	0.060	0.305	0.045	0.160	0.305	0.015	0.060	0.017	1.000	0.500
300-B3	0.305	0.600	0.015	0.060	0.305	0.045	0.160	0.305	0.015	0.060	0.017	1.000	0.500
300-FA	0.320	0.600	0.027	0.230	0.320	0.057	0.330	0.320	0.027	0.230	0.017	1.000	0.500
300-FB	0.355	0.600	0.029	0.230	0.355	0.059	0.330	0.355	0.029	0.230	0.017	1.000	0.500
400-A	0.110	0.760	0.004	0.060	0.110	0.042	0.160	0.110	0.004	0.060	0.022	1.000	0.500
400-A2	0.110	0.760	0.004	0.060	0.110	0.042	0.160	0.110	0.004	0.060	0.022	1.000	0.500
400-B	0.145	0.760	0.006	0.060	0.145	0.044	0.160	0.145	0.006	0.060	0.022	1.000	0.500
400-B2	0.145	0.760	0.006	0.060	0.145	0.044	0.160	0.145	0.006	0.060	0.022	1.000	0.500
400-B3	0.145	0.760	0.006	0.060	0.145	0.044	0.160	0.145	0.006	0.060	0.022	1.000	0.500
400-FA	0.160	0.760	0.018	0.230	0.160	0.056	0.330	0.160	0.018	0.230	0.022	1.000	0.500
400-FB	0.195	0.760	0.020	0.230	0.195	0.058	0.330	0.195	0.020	0.230	0.022	1.000	0.500

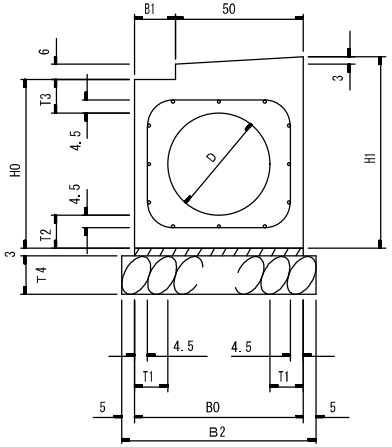
図番

円　型　側　溝（円－１）

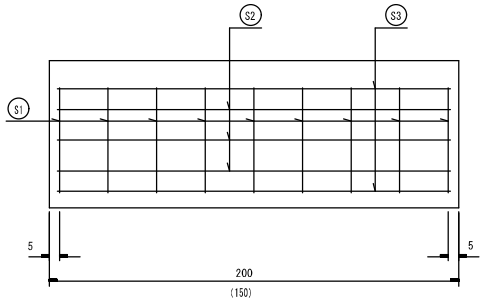
標準施工断面図

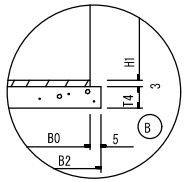


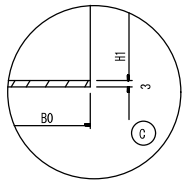
断　面　図



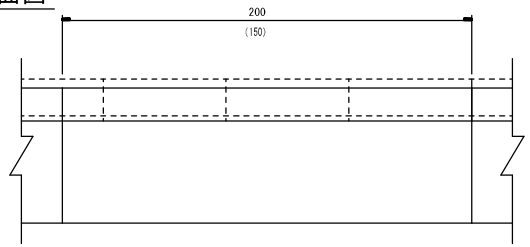
側　面　図







標準施工平面図



［ 適用範囲 ］

1．活荷重は、一般車両のT-25とし道路と平行に載荷する。

寸　法　表

(cm)

施工	工種	D	B0	B1	B2	B3	B4	H0	H1	T1	T2	T3	T4 A	T4 B	質量（参考）2.0m (kg/個)	質量（参考）1.5m (kg/個)
	500-A	50	76	26	86	——	——	76	85	13	13	13	15	5	2094	1571
	500-A2	50	76	26	86	——	——	76	85	13	13	13	15	5	2094	1571
	500-B	50	76	26	86	——	——	76	85	13	13	13	15	5	2094	1571
	500-B2	50	76	26	86	——	——	76	85	13	13	13	15	5	2094	1571
	500-B3	50	76	26	86	——	——	76	85	13	13	13	15	5	2094	1571
	600-A	60	86	36	96	——	——	86	95	13	13	13	20	10	2472	1854
	600-A2	60	86	36	96	——	——	86	95	13	13	13	20	10	2472	1854
	600-B	60	86	36	96	——	——	86	95	13	13	13	20	10	2472	1854
	600-B2	60	86	36	96	——	——	86	95	13	13	13	20	10	2472	1854
	600-B3	60	86	36	96	——	——	86	95	13	13	13	20	10	2472	1854

数　量　表

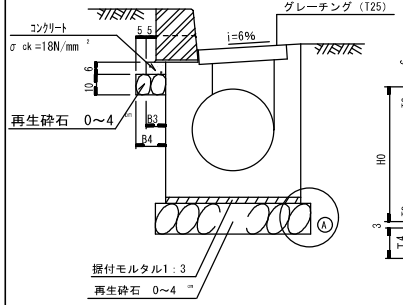
(1m当り)

施工	工種	基礎 Ⓐ 再生砕石 (t=10) m²	基礎 Ⓐ 再生砕石 (t=15) m²	基礎 Ⓐ 再生砕石 (t=20) m²	基礎 Ⓐ コンクリート (t=6) m³	基礎 Ⓐ 型枠 m²	基礎 Ⓑ 再生砕石 (t=10) m²	基礎 Ⓑ コンクリート m³	基礎 Ⓑ 型枠 m²	Ⓒ 再生砕石 (t=10) m²	Ⓒ コンクリート (t=6) m³	Ⓒ 型枠 m²	m³ 据付モルタル	m 縁石	個 円型側溝
	500-A	——	0.860	——	——	——	——	0.043	0.100	——	——	——	0.025	1.000	0.500
	500-A2	——	0.860	——	——	——	——	0.043	0.100	——	——	——	0.025	1.000	0.500
	500-B	——	0.860	——	——	——	——	0.043	0.100	——	——	——	0.025	1.000	0.500
	500-B2	——	0.860	——	——	——	——	0.043	0.100	——	——	——	0.025	1.000	0.500
	500-B3	——	0.860	——	——	——	——	0.043	0.100	——	——	——	0.025	1.000	0.500
	600-A	——	——	0.960	——	——	——	0.096	0.200	——	——	——	0.028	1.000	0.500
	600-A2	——	——	0.960	——	——	——	0.096	0.200	——	——	——	0.028	1.000	0.500
	600-B	——	——	0.960	——	——	——	0.096	0.200	——	——	——	0.028	1.000	0.500
	600-B2	——	——	0.960	——	——	——	0.096	0.200	——	——	——	0.028	1.000	0.500
	600-B3	——	——	0.960	——	——	——	0.096	0.200	——	——	——	0.028	1.000	0.500

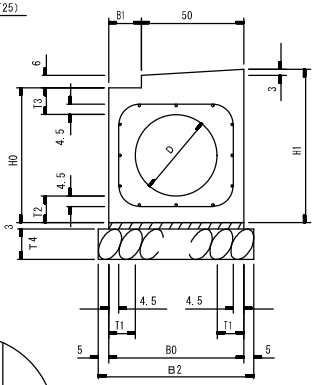
図番 ／

円　型　側　溝（円－２）

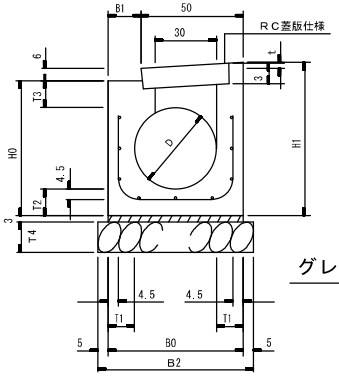
グレーチング部施工断面図



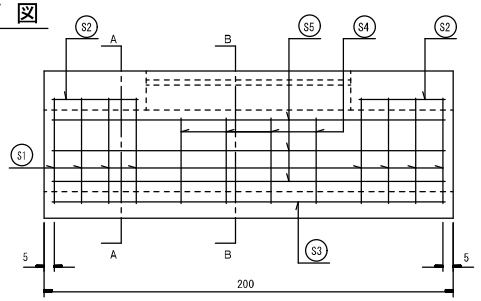
Ａ－Ａ断面図



Ｂ－Ｂ断面図

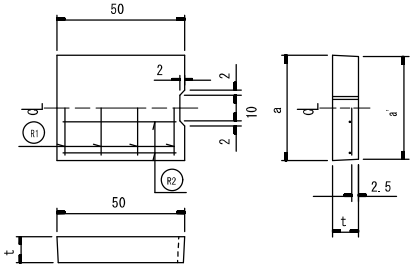


側　面　図

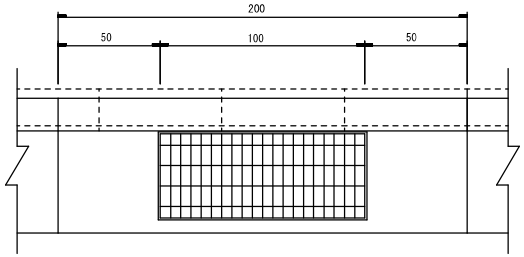


［ 蓋版構造図 ］

車道用



グレーチング部施工平面図



［ 適用範囲 ］

1．活荷重は、一般車両のT-25とし道路と平行に載荷する。

寸　法　表

(cm)

○印施工	工　種	D	B0	B1	B2	B3	B4	H0	H1	T1	T2	T3	T4 A	T4 B	質量（参考）（kg/個） 2.0m	1.5m
	300-A	30	50	——	60	22	27	50	53	10	10	10	15	5	988	——
	300-A2	30	50	——	60	22	27	50	53	10	10	10	15	5	988	——
	300-B	30	50	——	60	25.5	30.5	50	53	10	10	10	15	5	988	——
	300-B2	30	50	——	60	25.5	30.5	50	53	10	10	10	15	5	988	——
	300-B3	30	50	——	60	25.5	30.5	50	53	10	10	10	15	5	988	——
	400-A	40	66	16	76	6	11	66	75	13	13	13	15	5	1618	——
	400-A2	40	66	16	76	6	11	66	75	13	13	13	15	5	1618	——
	400-B	40	66	16	76	9.5	14.5	66	75	13	13	13	15	5	1618	——
	400-B2	40	66	16	76	9.5	14.5	66	75	13	13	13	15	5	1618	——
	400-B3	40	66	16	76	9.5	14.5	66	75	13	13	13	15	5	1618	——

○印施工	工　種	a	a'	t	質量（参考）（kg/個）	
	蓋版（車道用）					
	NC230	41.2	40.2	10.0	51	

※切り欠き部のない製品も製造可能。

数　量　表

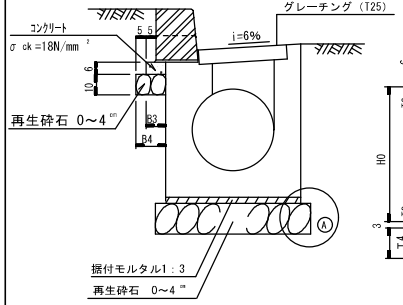
(1m当り)

基礎 Ⓐ 再生砕石 (t=10)m²	Ⓐ 再生砕石 (t=15)m²	Ⓐ 再生砕石 (t=20)m²	Ⓐ コンクリート (t=6)m³	Ⓐ 型枠 m²	Ⓑ 再生砕石 (t=10)m²	Ⓑ コンクリート m³	Ⓑ 型枠 m²	Ⓒ 再生砕石 (t=10)m²	Ⓒ コンクリート (t=6)m³	Ⓒ 型枠 m²	m³ 据付モルタル	m 縁石	個 円型側溝	枚 蓋版
0.270	0.600	——	0.013	0.060	0.270	0.043	0.160	0.270	0.013	0.060	0.017	1.000	0.500	0.500
0.270	0.600	——	0.013	0.060	0.270	0.043	0.160	0.270	0.013	0.060	0.017	1.000	0.500	0.500
0.305	0.600	——	0.015	0.060	0.305	0.045	0.160	0.305	0.015	0.060	0.017	1.000	0.500	0.500
0.305	0.600	——	0.015	0.060	0.305	0.045	0.160	0.305	0.015	0.060	0.017	1.000	0.500	0.500
0.305	0.600	——	0.015	0.060	0.305	0.045	0.160	0.305	0.015	0.060	0.017	1.000	0.500	0.500
0.110	0.760	——	0.004	0.060	0.110	0.042	0.160	0.110	0.004	0.060	0.022	1.000	0.500	0.500
0.110	0.760	——	0.004	0.060	0.110	0.042	0.160	0.110	0.004	0.060	0.022	1.000	0.500	0.500
0.145	0.760	——	0.006	0.060	0.145	0.044	0.160	0.145	0.006	0.060	0.022	1.000	0.500	0.500
0.145	0.760	——	0.006	0.060	0.145	0.044	0.160	0.145	0.006	0.060	0.022	1.000	0.500	0.500
0.145	0.760	——	0.006	0.060	0.145	0.044	0.160	0.145	0.006	0.060	0.022	1.000	0.500	0.500

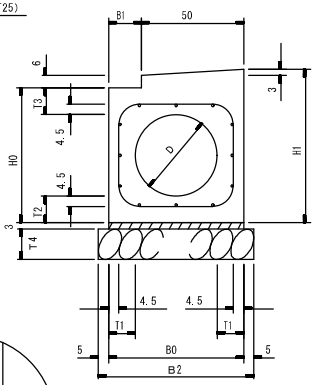
図番　0.500

円　型　側　溝（円－２）

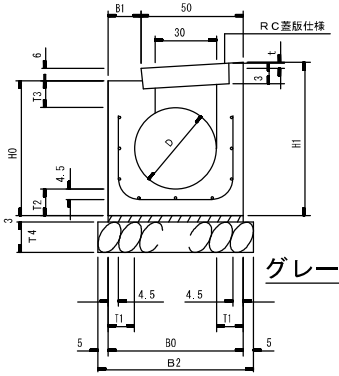
グレーチング部施工断面図



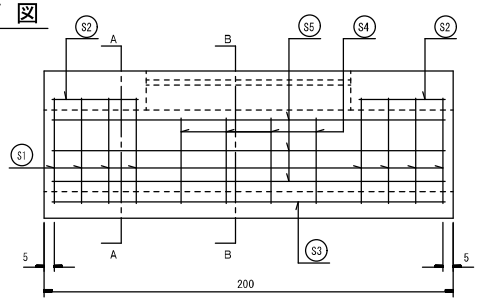
Ａ－Ａ断面図



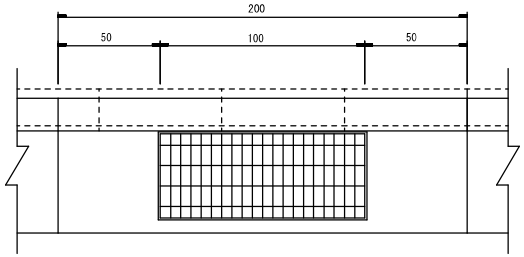
Ｂ－Ｂ断面図



側　面　図

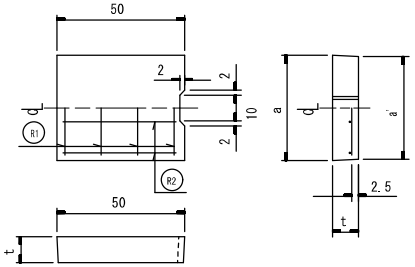


グレーチング部施工平面図



［ 蓋版構造図 ］

車道用



［ 適用範囲 ］

1．活荷重は、一般車両のT-25とし道路と平行に載荷する。

寸　法　表

(cm)

○印施工	工　種	D	B0	B1	B2	B3	B4	H0	H1	T1	T2	T3	T4 A	T4 B	質量（参考）（kg/個） 2.0m	1.5m
	500-A	50	76	26	86	——	——	76	85	13	13	13	15	5	1975	——
	500-A2	50	76	26	86	——	——	76	85	13	13	13	15	5	1975	——
	500-B	50	76	26	86	——	——	76	85	13	13	13	15	5	1975	——
	500-B2	50	76	26	86	——	——	76	85	13	13	13	15	5	1975	——
	500-B3	50	76	26	86	——	——	76	85	13	13	13	15	5	1975	——
	600-A	60	86	36	96	——	——	86	95	13	13	13	20	10	2271	——
	600-A2	60	86	36	96	——	——	86	95	13	13	13	20	10	2271	——
	600-B	60	86	36	96	——	——	86	95	13	13	13	20	10	2271	——
	600-B2	60	86	36	96	——	——	86	95	13	13	13	20	10	2271	——
	600-B3	60	86	36	96	——	——	86	95	13	13	13	20	10	2271	——

○印施工	工　種	a	a'	t	質量（参考）（kg/個）
	蓋版（車道用）				
	NC230	41.2	40.2	10.0	51

※切り欠き部のない製品も製造可能。

数　量　表

(1m当り)

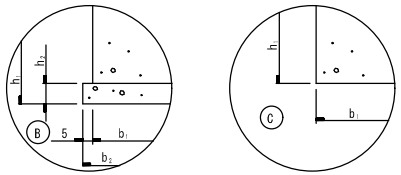
基礎 Ⓐ 再生砕石 (t=10) m²	基礎 Ⓐ 再生砕石 (t=15) m²	Ⓐ 再生砕石 (t=20) m²	Ⓐ コンクリート (t=6) m³	Ⓐ 型枠 m²	Ⓑ 再生砕石 (t=10) m²	Ⓑ コンクリート m³	Ⓑ 型枠 m²	Ⓒ 再生砕石 (t=10) m²	Ⓒ コンクリート (t=6) m³	Ⓒ 型枠 m²	m³ 据付モルタル	m 縁石	個 円型側溝	枚 蓋版
——	0.860	——	——	——	——	0.043	0.100	——	——	——	0.025	1.000	0.500	0.500
——	0.860	——	——	——	——	0.043	0.100	——	——	——	0.025	1.000	0.500	0.500
——	0.860	——	——	——	——	0.043	0.100	——	——	——	0.025	1.000	0.500	0.500
——	0.860	——	——	——	——	0.043	0.100	——	——	——	0.025	1.000	0.500	0.500
——	0.860	——	——	——	——	0.043	0.100	——	——	——	0.025	1.000	0.500	0.500
——	——	0.960	——	——	——	0.096	0.200	——	——	——	0.028	1.000	0.500	0.500
——	——	0.960	——	——	——	0.096	0.200	——	——	——	0.028	1.000	0.500	0.500
——	——	0.960	——	——	——	0.096	0.200	——	——	——	0.028	1.000	0.500	0.500
——	——	0.960	——	——	——	0.096	0.200	——	——	——	0.028	1.000	0.500	0.500
——	——	0.960	——	——	——	0.096	0.200	——	——	——	0.028	1.000	0.500	0.500

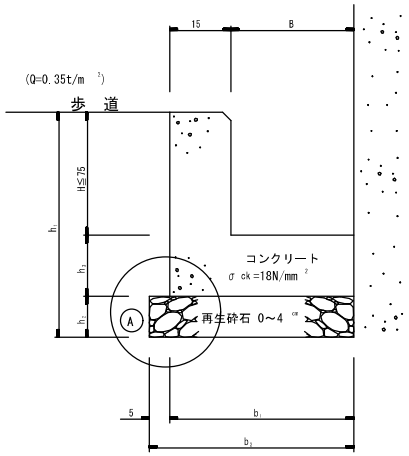
図番

L型側溝工（LA-1）

歩道用

H≦75





基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4cm
Ⓑ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σ_{ck}=18N/mm²

寸　法　表

(cm)

○印敷工	工　種	B	H	h1 A	h1 B	h1 C	h2 A	h2 B	h3	b1	b2						
	LA-1 (20×20)	20	20	45	40	35	10	5	15	35	40						
	(30×30)	30	30	55	50	45	10	5	15	45	50						
	(40×40)	40	40	70	60	55	15	5	15	55	60						
	(50×50)	50	50	80	70	65	15	5	15	65	70						
	(60×60)	60	60	90	80	75	15	5	15	75	80						

数　量　表

(1m当り)

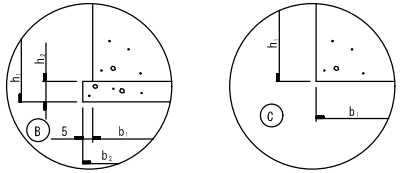
基礎 Ⓐ 再生砕石 (t=10)m²	基礎 Ⓐ 再生砕石 (t=15)m²	基礎 Ⓑ ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5)m³	基礎 Ⓑ 基礎型枠 m²	m² 型　枠	m³ ｺﾝｸﾘｰﾄ						
0.400	——	0.020	0.050	0.700	0.083						
0.500	——	0.025	0.050	0.900	0.113						
——	0.600	0.030	0.050	1.100	0.143						
——	0.700	0.035	0.050	1.300	0.173						
——	0.800	0.040	0.050	1.500	0.203						

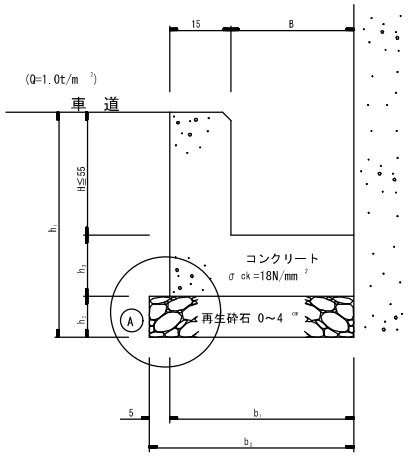
図番

L型側溝工（LA-1-R）

車道用

H≦55





基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4cm
Ⓑ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σ_{ck}=18N/mm²

寸　法　表

(cm)

○印箇工	工　種	B	H	h1 A	h1 B	h1 C	h2 A	h2 B	h3	b1	b2
	LA-1-R (20×20)	20	20	45	40	35	10	5	15	35	40
	(30×30)	30	30	55	50	45	10	5	15	45	50
	(40×40)	40	40	70	60	55	15	5	15	55	60
	(50×50)	50	50	80	70	65	15	5	15	65	70

数　量　表

(1m当り)

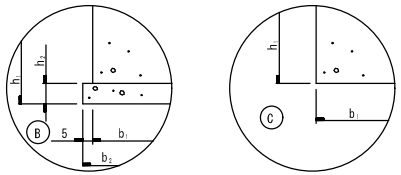
基礎 Ⓐ 再生砕石 (t=10)m²	基礎 Ⓐ 再生砕石 (t=15)m²	基礎 Ⓑ ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5)m³	基礎 Ⓑ 基礎型枠 m²	m² 型　枠	m³ ｺﾝｸﾘｰﾄ
0.400	——	0.020	0.050	0.700	0.083
0.500	——	0.025	0.050	0.900	0.113
——	0.600	0.030	0.050	1.100	0.143
——	0.700	0.035	0.050	1.300	0.173

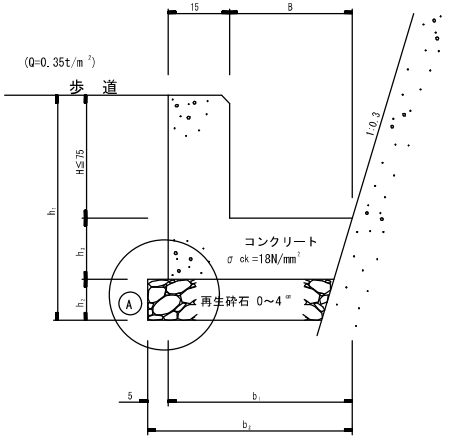
図番

L型側溝工（LA-2）

歩道用

H≦75





基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
A	再生砕石	0～4cm
B	コンクリート	σck=18N/mm²

寸　法　表

(cm)

○印施工	工　種	B	H	h1 A	h1 B	h1 C	h2 A	h2 B	h3	b1	b2
	LA-2（20×20）	20	20	45	40	35	10	5	15	35	40
	（30×30）	30	30	55	50	45	10	5	15	45	50
	（40×40）	40	40	70	60	55	15	5	15	55	60
	（50×50）	50	50	80	70	65	15	5	15	65	70
	（60×60）	60	60	90	80	75	15	5	15	75	80

数　量　表

(1m当り)

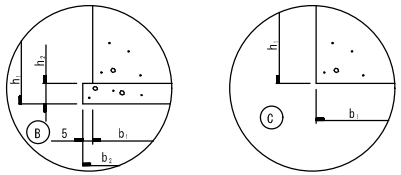
基礎 A 再生砕石（t=10）m²	基礎 A 再生砕石（t=15）m²	基礎 B コンクリート（t=5）m³	基礎 B 基礎型枠 m²	m² 型　枠	m³ コンクリート
0.340	——	0.017	0.050	0.700	0.079
0.440	——	0.022	0.050	0.900	0.109
——	0.533	0.027	0.050	1.100	0.139
——	0.633	0.032	0.050	1.300	0.169
——	0.733	0.037	0.050	1.500	0.199

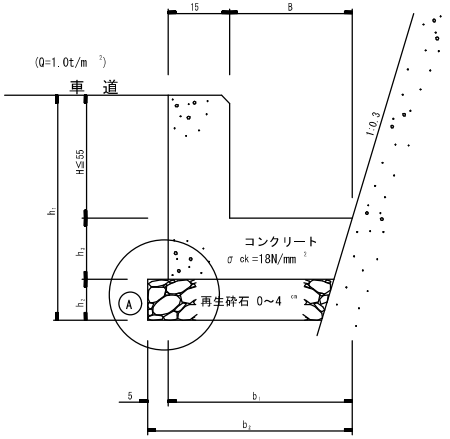
図番

L型側溝工（LA-2-R）

車道用

H≦55





基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4cm
Ⓑ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=18N/mm²

寸　法　表

(cm)

○印施工	工　種	B	H	h1 A	h1 B	h1 C	h2 A	h2 B	h3	b1	b2
	LA-2-R（20×20）	20	20	45	40	35	10	5	15	35	40
	（30×30）	30	30	55	50	45	10	5	15	45	50
	（40×40）	40	40	70	60	55	15	5	15	55	60
	（50×50）	50	50	80	70	65	15	5	15	65	70

数　量　表

(1m当り)

基礎 Ⓐ 再生砕石（t=10）m²	基礎 Ⓐ 再生砕石（t=15）m²	基礎 Ⓑ ｺﾝｸﾘｰﾄ（t=5）m³	基礎 Ⓑ 基礎型枠 m²	m² 型　枠	m³ ｺﾝｸﾘｰﾄ
0.340	——	0.017	0.050	0.700	0.079
0.440	——	0.022	0.050	0.900	0.109
——	0.533	0.027	0.050	1.100	0.139
——	0.633	0.032	0.050	1.300	0.169

図番

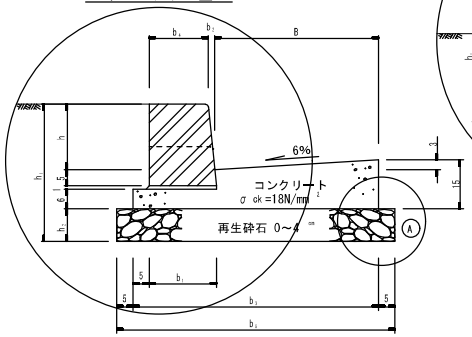
街　渠　工（NG-L）

交通量区分－ N1～N5交通(LAB交通)

旧 名 称	GF-L
新 名 称	NG-L

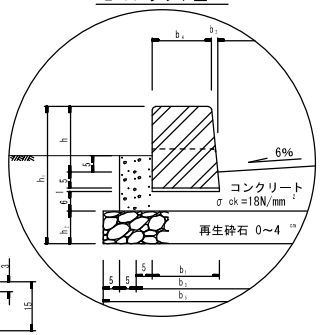
NG-L-A, NG-L-A2
NG-L-B, NG-L-B2

マウンドアップ型

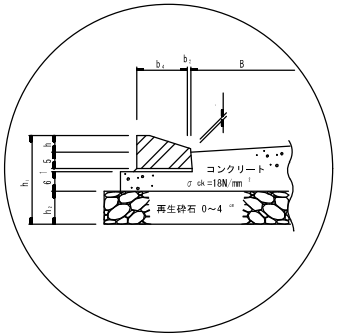


NG-L-FA
NG-L-FB

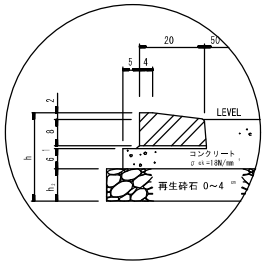
セミフラット型

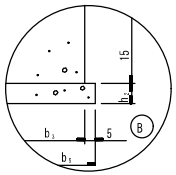


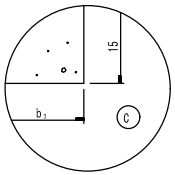
NG-L-B3



NG-L-LB(新規格)







基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
A	再生砕石	0～4cm
B	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=18N/mm²

ﾓﾙﾀﾙの品質

	配　合
据付ﾓﾙﾀﾙ	1 : 3
目地ﾓﾙﾀﾙ	1 : 2

寸　法　表

(cm)

○印施工	工　種	B	h	h_1			h_2		b_1	b_2	b_3	b_4	b_5
				A	B	C	A	B					
	NG－L－A	50	15	37	32	27	10	5	17	1.5	71.5	15	81.5
	A_2	50	7	29	24	19	10	5	17	0.7	71.5	15.8	81.5
	B	50	20	42	37	32	10	5	20.5	2	75	18	85
	B_2	50	7	29	24	19	10	5	20.5	0.7	75	19.3	85
	B_3	50	5	27	22	17	10	5	20.5	0.1	75	19.9	85
	FA	50	15	37	32	27	10	5	17	1.5	76.5	15	86.5
	FB	50	20	42	37	32	10	5	20.5	2	80	18	90
	LB	50	2	27	22	17	10	5	20.8	——	75	20	85

数　量　表

(1m当り)

○印施工	工　種	基礎 A 再生砕石 (t=10)m²	基礎 A ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5)m³	基礎 B 基礎型枠 m²	型枠 縁石部 m²	型枠 皿溝部 m³	ｺﾝｸﾘｰﾄ 縁石・皿溝部 m³	据付ﾓﾙﾀﾙ m²	縁　石 m
	NG－L－A	0.815	0.041	0.100	0.120	0.150	0.081	0.002	1.000
	A_2	0.815	0.041	0.100	0.120	0.150	0.081	0.002	1.000
	B	0.850	0.043	0.100	0.120	0.150	0.083	0.002	1.000
	B_2	0.850	0.043	0.100	0.120	0.150	0.083	0.002	1.000
	B_3	0.850	0.043	0.100	0.120	0.150	0.083	0.002	1.000
	FA	0.865	0.043	0.100	0.230	0.150	0.095	0.002	1.000
	FB	0.900	0.045	0.100	0.230	0.150	0.097	0.002	1.000
	LB	0.850	0.043	0.100	0.120	0.150	0.090	0.002	1.000

図番

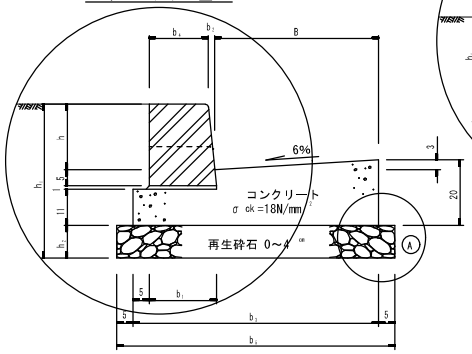
街　渠　工（NG-C）

交通量区分－N6交通(C交通)

旧 名 称	GF-C
新 名 称	NG-C

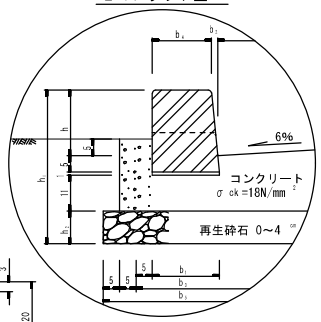
NG-C-A, NG-C-A2
NG-C-B, NG-C-B2

マウンドアップ型

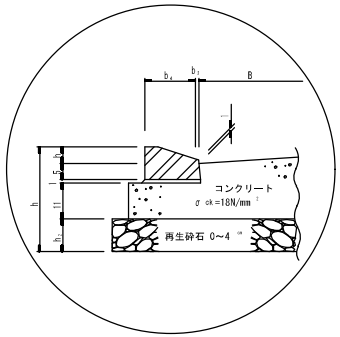


NG-C-FA
NG-C-FB

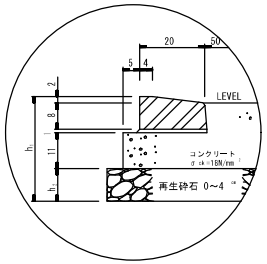
セミフラット型

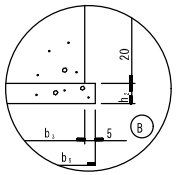


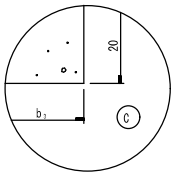
NG-C-B3



NG-C-LB(新規格)







基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4cm
Ⓑ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=18N/mm²

ﾓﾙﾀﾙの品質

	配　合
据付ﾓﾙﾀﾙ	1 : 3
目地ﾓﾙﾀﾙ	1 : 2

寸　法　表

(cm)

○印施工	工　種	B	h	h_1 A	h_1 B	h_1 C	h_2 A	h_2 B	b_1	b_2	b_3	b_4	b_5
	NG－C－A	50	15	42	37	32	10	5	17	1.5	71.5	15	81.5
	A_2	50	7	34	29	24	10	5	17	0.7	71.5	15.8	81.5
	B	50	20	47	42	37	10	5	20.5	2	75	18	85
	B_2	50	7	34	29	24	10	5	20.5	0.7	75	19.3	85
	B_3	50	5	32	27	22	10	5	20.5	0.1	75	19.9	85
	FA	50	15	42	37	32	10	5	17	1.5	76.5	15	86.5
	FB	50	20	47	42	37	10	5	20.5	2	80	18	90
	LB	50	2	32	27	22	10	5	20.8	——	75	20	85

数　量　表

(1m当り)

基礎 Ⓐ 再生砕石 (t=10)m²	基礎 Ⓑ ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5)m³	基礎 Ⓑ 基礎型枠 m²	型枠 縁石部 m²	型枠 皿溝部 m³	ｺﾝｸﾘｰﾄ 縁石・皿溝部 m³	据付ﾓﾙﾀﾙ m²	縁石 m
0.815	0.041	0.100	0.220	0.200	0.117	0.002	1.000
0.815	0.041	0.100	0.220	0.200	0.117	0.002	1.000
0.850	0.043	0.100	0.220	0.200	0.121	0.002	1.000
0.850	0.043	0.100	0.220	0.200	0.121	0.002	1.000
0.850	0.043	0.100	0.220	0.200	0.121	0.002	1.000
0.865	0.043	0.100	0.330	0.200	0.133	0.002	1.000
0.900	0.045	0.100	0.330	0.200	0.137	0.002	1.000
0.850	0.043	0.100	0.220	0.200	0.128	0.002	1.000

図番

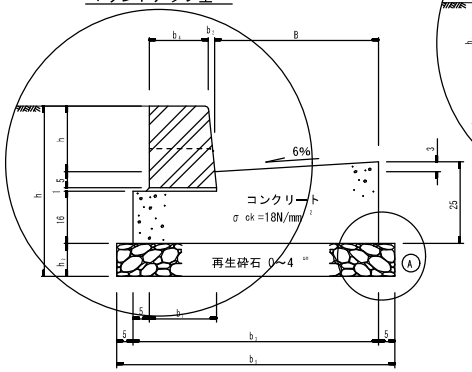
街　渠　工（NG-D）

交通量区分－N7交通(D交通)

旧 名 称	GF-D
新 名 称	NG-D

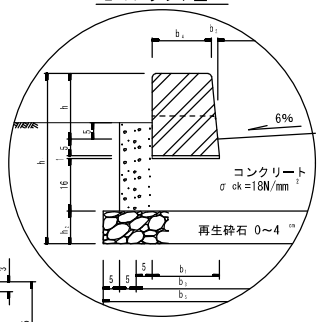
NG-D-A, NG-D-A2
NG-D-B, NG-D-B2

マウンドアップ型

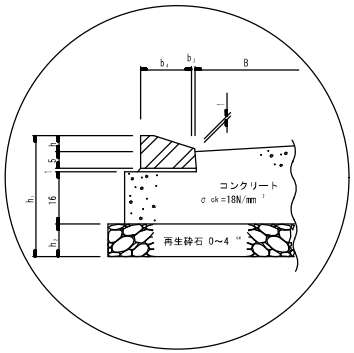


NG-D-FA
NG-D-FB

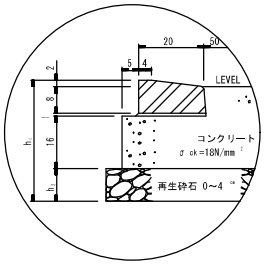
セミフラット型

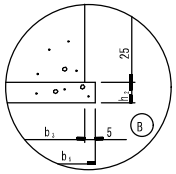


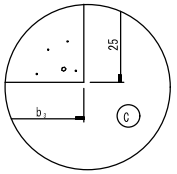
NG-D-B3



NG-D-LB(新規格)







基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
A	再生砕石	0～4cm
B	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=18N/mm²

ﾓﾙﾀﾙの品質

	配　合
据付ﾓﾙﾀﾙ	1 : 3
目地ﾓﾙﾀﾙ	1 : 2

寸　法　表

(cm)

○印着工	工　種	B	h	h_1			h_2		b_1	b_2	b_3	b_4	b_5
				A	B	C	A	B					
	NG－D－A	50	15	47	42	37	10	5	17	1.5	71.5	15	81.5
	A 2	50	7	39	34	29	10	5	17	0.7	71.5	15.8	81.5
	B	50	20	52	47	42	10	5	20.5	2	75	18	85
	B 2	50	7	39	34	29	10	5	20.5	0.7	75	19.3	85
	B 3	50	5	37	32	27	10	5	20.5	0.1	75	19.9	85
	FA	50	15	47	42	37	10	5	17	1.5	76.5	15	86.5
	FB	50	20	52	47	42	10	5	20.5	2	80	18	90
	LB	50	2	37	32	27	10	5	20.8	——	75	20	85

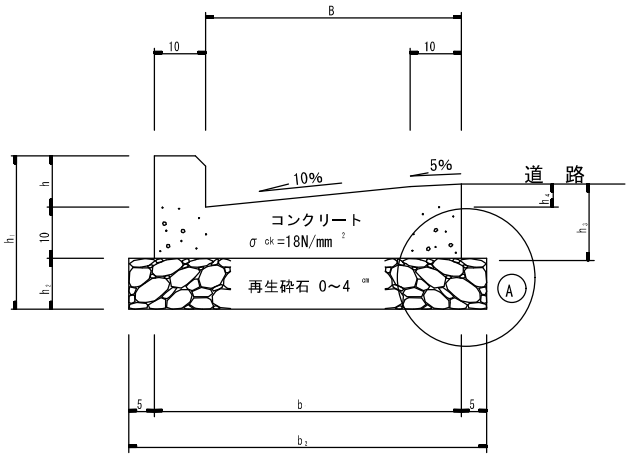
数　量　表

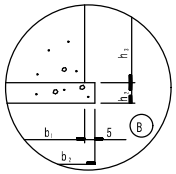
(1m当り)

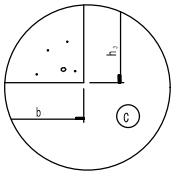
○印着工	基礎 Ⓐ 再生砕石 (t=10)m²	基礎 Ⓑ ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5)m³	基礎 Ⓑ 基礎型枠 m²	型枠 縁石部 m²	型枠 皿溝部 m³	ｺﾝｸﾘｰﾄ 縁石・皿溝部 m³	据付ﾓﾙﾀﾙ m²	縁石 m
	0.815	0.041	0.100	0.320	0.250	0.153	0.002	1.000
	0.815	0.041	0.100	0.320	0.250	0.153	0.002	1.000
	0.850	0.043	0.100	0.320	0.250	0.158	0.002	1.000
	0.850	0.043	0.100	0.320	0.250	0.158	0.002	1.000
	0.850	0.043	0.100	0.320	0.250	0.158	0.002	1.000
	0.865	0.043	0.100	0.430	0.250	0.172	0.002	1.000
	0.900	0.045	0.100	0.430	0.250	0.177	0.002	1.000
	0.850	0.043	0.100	0.320	0.250	0.165	0.002	1.000

図番

街　渠　工（GC-G1）







基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4cm
Ⓑ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=18N/mm²

寸　法　表

(cm)

○印施工	工　種	B	h	h₁ A	h₁ B	h₁ C	h₂ A	h₂ B	h₃	h₄	b₁	b₂
	NGC－G (25)	25	10	30	25	20	10	5	12.0	2.0	35	45
	G (30)	30	10	30	25	20	10	5	12.5	2.5	40	50
	G (40)	40	10	30	25	20	10	5	13.5	3.5	50	60
	G (50)	50	10	30	25	20	10	5	14.5	4.5	60	70

数　量　表

(1m当り)

基礎 Ⓐ 再生砕石 (t=10)m²	基礎 Ⓑ ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5)m³	基礎 Ⓑ 基礎型枠 m²	型枠 縁石・皿溝部 m²	ｺﾝｸﾘｰﾄ 縁石・皿溝部 m³
0.450	0.023	0.100	0.520	0.048
0.500	0.025	0.100	0.525	0.054
0.600	0.030	0.100	0.535	0.068
0.700	0.035	0.100	0.545	0.082

図番

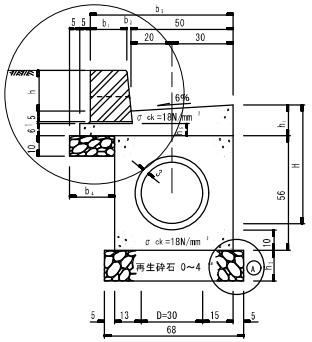
街　渠　工(NGP-L)-30

交通量区分－N1～N5交通(LAB交通)

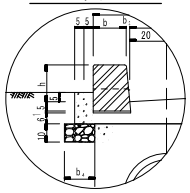
旧 名 称	GFP-L-30
新 名 称	NGP-L-30

6≦h ₅＜16の場合

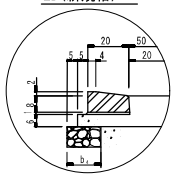
マウンドアップ型

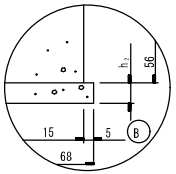


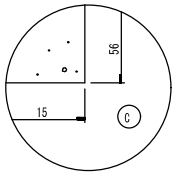
セミフラット型



LB(新規格)

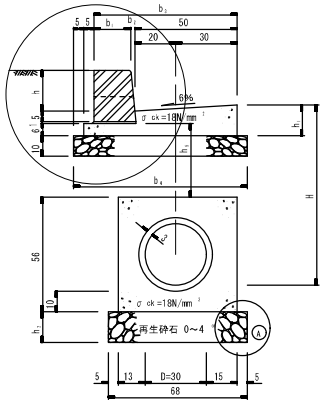




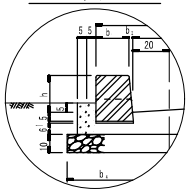


h ₅≧16の場合

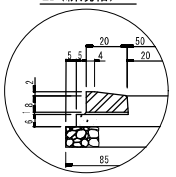
マウンドアップ型



セミフラット型



LB(新規格)



Hの変化によるh ₁,h ₅の変化

Hの変化	h ₁	h ₅
58 ～ 67.9	15 ～ 24.9	6 ～ 15.9
68 ～	15	16 ～

( )はLの時の値

基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4cm
Ⓑ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σ ck =18N/mm ²

ﾓﾙﾀﾙの品質

	配　合
据付ﾓﾙﾀﾙ	1 : 3
目地ﾓﾙﾀﾙ	1 : 2

寸　法　表

(cm)

○印施工	工　種	h	H	h ₁	h ₂ A	h ₂ B	h ₂ C	h ₅	b ₁	b ₂	b ₃	b ₄
	NGP-L-A-30	15	58	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	18.5
	A ₃	7	58	15	15	5	0	6	15.8	0.7	66.5	18.5
	B	20	58	15	15	5	0	6	18	2	70	22
	B ₃	7	58	15	15	5	0	6	19.3	0.7	70	22
	B ₃	5	58	15	15	5	0	6	19.9	0.1	70	22
	FA	15	58	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	23.5
	FB	20	58	15	15	5	0	6	18	2	70	27
	LB	2	58	15	15	5	0	6	20	——	70	22
	NGP-L-A-30	15	68	15	15	5	0	16	15	1.5	66.5	81.5
	A ₃	7	68	15	15	5	0	16	15.8	0.7	66.5	81.5
	B	20	68	15	15	5	0	16	18	2	70	85
	B ₃	7	68	15	15	5	0	16	19.3	0.7	70	85
	B ₃	5	68	15	15	5	0	16	19.9	0.1	70	85
	FA	15	68	15	15	5	0	16	15	1.5	66.5	86.5
	FB	20	68	15	15	5	0	16	18	2	70	90
	LB	2	68	15	15	5	0	16	20	——	70	85

数　量　表

(1m当り)

○印施工	工　種	基礎 縁石・皿溝部 再生砕石 (t=10)m ²	基礎 管渠部 Ⓐ 再生砕石 (t=15)m ²	基礎 管渠部 Ⓑ ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5)m ³	基礎 管渠部 Ⓑ 基礎型枠 m ²	型枠 縁石・皿溝部 m ²	型枠 管渠部 m ²	ｺﾝｸﾘｰﾄ 縁石・皿溝部 m ²	ｺﾝｸﾘｰﾄ 管渠部 m ²	据付ﾓﾙﾀﾙ m ²	ヒューム管 m	縁石 m
	NGP-L-A-30	0.185	0.680	0.034	0.100	0.270	1.120	0.080	0.223	0.002	1.000	1.000
	A ₃	0.185	0.680	0.034	0.100	0.270	1.120	0.080	0.223	0.002	1.000	1.000
	B	0.220	0.680	0.034	0.100	0.270	1.120	0.083	0.223	0.002	1.000	1.000
	B ₃	0.220	0.680	0.034	0.100	0.270	1.120	0.083	0.223	0.002	1.000	1.000
	B ₃	0.220	0.680	0.034	0.100	0.270	1.120	0.083	0.223	0.002	1.000	1.000
	FA	0.235	0.680	0.034	0.100	0.440	1.120	0.094	0.223	0.002	1.000	1.000
	FB	0.270	0.680	0.034	0.100	0.440	1.120	0.097	0.223	0.002	1.000	1.000
	LB	0.220	0.680	0.034	0.100	0.270	1.120	0.090	0.223	0.002	1.000	1.000
	NGP-L-A-30	0.815	0.680	0.034	0.100	0.270	1.120	0.080	0.223	0.002	1.000	1.000
	A ₃	0.815	0.680	0.034	0.100	0.270	1.120	0.080	0.223	0.002	1.000	1.000
	B	0.850	0.680	0.034	0.100	0.270	1.120	0.083	0.223	0.002	1.000	1.000
	B ₃	0.850	0.680	0.034	0.100	0.270	1.120	0.083	0.223	0.002	1.000	1.000
	B ₃	0.850	0.680	0.034	0.100	0.270	1.120	0.083	0.223	0.002	1.000	1.000
	FA	0.865	0.680	0.034	0.100	0.440	1.120	0.094	0.223	0.002	1.000	1.000
	FB	0.900	0.680	0.034	0.100	0.440	1.120	0.097	0.223	0.002	1.000	1.000
	LB	0.850	0.680	0.034	0.100	0.270	1.120	0.090	0.223	0.002	1.000	1.000

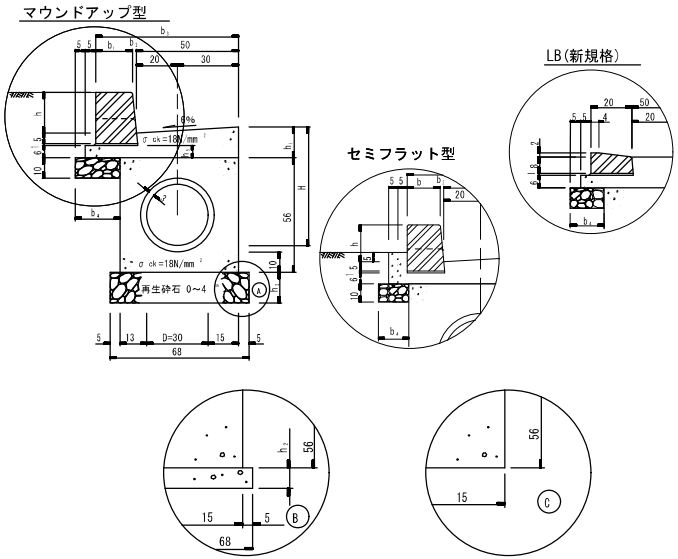
図番

街　渠　工(NGP-C)-30

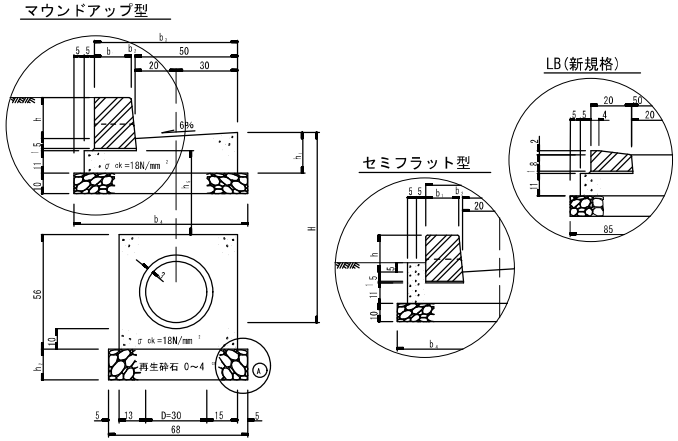
交通量区分－N6交通(C交通)

旧 名 称	GFP-C-30
新 名 称	NGP-C-30

6≦h ₅ <21の場合



h ₅ ≧21の場合



Hの変化によるh ₁,h ₅の変化

Hの変化	h ₁	h ₅
58 ～ 72.9	15 ～ 29.9	6 ～ 20.9
73 ～	20	21 ～

( )はLの時の値

基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4cm
Ⓑ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σ ck =18N/mm ²

ﾓﾙﾀﾙの品質

	配　合
据付ﾓﾙﾀﾙ	1 : 3
目地ﾓﾙﾀﾙ	1 : 2

寸　法　表

(cm)

○印施工	工　種	h	H	h ₁	h ₂ A	h ₂ B	h ₂ C	h ₅	b ₁	b ₂	b ₃	b ₄
	NGP-C-A-30	15	58	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	18.5
	A ₃	7	58	15	15	5	0	6	15.8	0.7	66.5	18.5
	B	20	58	15	15	5	0	6	18	2	70	22
	B ₂	7	58	15	15	5	0	6	19.3	0.7	70	22
	B ₃	5	58	15	15	5	0	6	19.9	0.1	70	22
	FA	15	58	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	23.5
	FB	20	58	15	15	5	0	6	18	2	70	27
	LB	2	58	15	15	5	0	6	20	——	70	22
	NGP-C-A-30	15	73	20	15	5	0	21	15	1.5	66.5	81.5
	A ₃	7	73	20	15	5	0	21	15.8	0.7	66.5	81.5
	B	20	73	20	15	5	0	21	18	2	70	85
	B ₂	7	73	20	15	5	0	21	19.3	0.7	70	85
	B ₃	5	73	20	15	5	0	21	19.9	0.1	70	85
	FA	15	73	20	15	5	0	21	15	1.5	66.5	86.5
	FB	20	73	20	15	5	0	21	18	2	70	90
	LB	2	73	20	15	5	0	21	20	——	70	85

数　量　表

(1m当り)

基礎 縁石・皿溝部 再生砕石 (t=10)m²	基礎 管渠部 Ⓐ 再生砕石 (t=15)m²	基礎 管渠部 Ⓑ ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5)m³	基礎 管渠部 Ⓑ 基礎型枠 m²	型枠 縁石・皿溝部 m²	型枠 管渠部 m²	ｺﾝｸﾘｰﾄ 縁石・皿溝部 m²	ｺﾝｸﾘｰﾄ 管渠部 m²	据付ﾓﾙﾀﾙ m²	ﾋｭｰﾑ管 m	縁　石 m
0.185	0.680	0.034	0.100	0.270	1.120	0.080	0.223	0.002	1.000	1.000
0.185	0.680	0.034	0.100	0.270	1.120	0.080	0.223	0.002	1.000	1.000
0.220	0.680	0.034	0.100	0.270	1.120	0.083	0.223	0.002	1.000	1.000
0.220	0.680	0.034	0.100	0.270	1.120	0.083	0.223	0.002	1.000	1.000
0.220	0.680	0.034	0.100	0.270	1.120	0.083	0.223	0.002	1.000	1.000
0.235	0.680	0.034	0.100	0.420	1.120	0.094	0.223	0.002	1.000	1.000
0.270	0.680	0.034	0.100	0.420	1.120	0.097	0.223	0.002	1.000	1.000
0.220	0.680	0.034	0.100	0.270	1.120	0.090	0.223	0.002	1.000	1.000
0.815	0.680	0.034	0.100	0.420	1.120	0.116	0.223	0.002	1.000	1.000
0.815	0.680	0.034	0.100	0.420	1.120	0.116	0.223	0.002	1.000	1.000
0.850	0.680	0.034	0.100	0.420	1.120	0.120	0.223	0.002	1.000	1.000
0.850	0.680	0.034	0.100	0.420	1.120	0.120	0.223	0.002	1.000	1.000
0.850	0.680	0.034	0.100	0.420	1.120	0.120	0.223	0.002	1.000	1.000
0.865	0.680	0.034	0.100	0.640	1.120	0.133	0.223	0.002	1.000	1.000
0.900	0.680	0.034	0.100	0.640	1.120	0.137	0.223	0.002	1.000	1.000
0.850	0.680	0.034	0.100	0.420	1.120	0.128	0.223	0.002	1.000	1.000

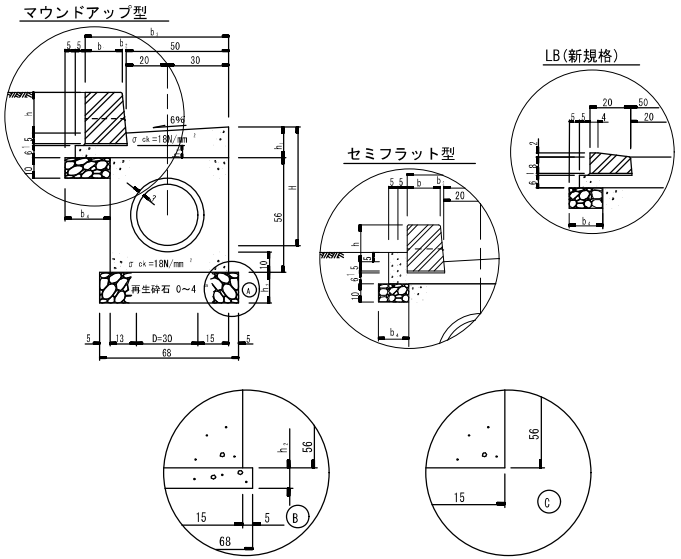
図番

街　渠　工(NGP-D)-30

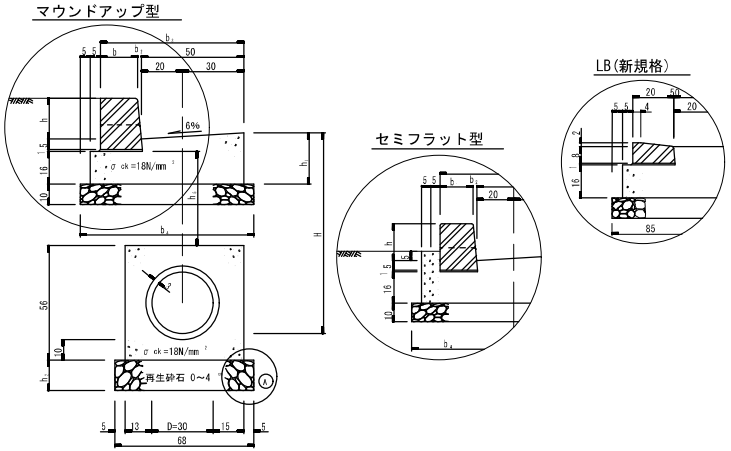
交通量区分－N7交通(D交通)

旧 名 称	GFP-D-30
新 名 称	NGP-D-30

6≦h 5 ＜26の場合



h 5 ≧26の場合



Hの変化によるh 1 ,h 5 の変化

Hの変化	h 1	h 5
58 ～ 77.9	15 ～ 34.9	6 ～ 25.9
78 ～	25	26 ～

( )はLの時の値

基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4cm
Ⓑ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=18N/mm²

ﾓﾙﾀﾙの品質

	配　合
据付ﾓﾙﾀﾙ	1 : 3
目地ﾓﾙﾀﾙ	1 : 2

寸　法　表

(cm)

○印施工	工　種	h	H	h 1	h 2 A	h 2 B	h 2 C	h 5	b 1	b 2	b 3	b 4
	NGP-D-A-30	15	58	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	18.5
	A 3	7	58	15	15	5	0	6	15.8	0.7	66.5	18.5
	B	20	58	15	15	5	0	6	18	2	70	22
	B 3	7	58	15	15	5	0	6	19.3	0.7	70	22
	B 3	5	58	15	15	5	0	6	19.9	0.1	70	22
	FA	15	58	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	23.5
	FB	20	58	15	15	5	0	6	18	2	70	27
	LB	2	58	15	15	5	0	6	20	——	70	22
	NGP-D-A-30	15	78	25	15	5	0	26	15	1.5	66.5	81.5
	A 3	7	78	25	15	5	0	26	15.8	0.7	66.5	81.5
	B	20	78	25	15	5	0	26	18	2	70	85
	B 2	7	78	25	15	5	0	26	19.3	0.7	70	85
	B 3	5	78	25	15	5	0	26	19.9	0.1	70	85
	FA	15	78	25	15	5	0	26	15	1.5	66.5	86.5
	FB	20	78	25	15	5	0	26	18	2	70	90
	LB	2	78	25	15	5	0	26	20	——	70	85

数　量　表

(1m当り)

基礎 縁石・皿溝部 再生砕石 (t=10)m²	基礎 管渠部 Ⓐ 再生砕石 (t=15)m²	基礎 管渠部 Ⓐ ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5)m³	基礎 管渠部 Ⓑ 基礎型枠 m²	型枠 縁石・皿溝部 m²	型枠 管渠部 m²	ｺﾝｸﾘｰﾄ 縁石・皿溝部 m²	ｺﾝｸﾘｰﾄ 管渠部 m²	据付ﾓﾙﾀﾙ m²	ﾋｭｰﾑ管 m	縁石 m
0.185	0.680	0.034	0.100	0.270	1.120	0.080	0.223	0.002	1.000	1.000
0.185	0.680	0.034	0.100	0.270	1.120	0.080	0.223	0.002	1.000	1.000
0.220	0.680	0.034	0.100	0.270	1.120	0.083	0.223	0.002	1.000	1.000
0.220	0.680	0.034	0.100	0.270	1.120	0.083	0.223	0.002	1.000	1.000
0.220	0.680	0.034	0.100	0.270	1.120	0.083	0.223	0.002	1.000	1.000
0.235	0.680	0.034	0.100	0.440	1.120	0.094	0.223	0.002	1.000	1.000
0.270	0.680	0.034	0.100	0.440	1.120	0.097	0.223	0.002	1.000	1.000
0.220	0.680	0.034	0.100	0.270	1.120	0.090	0.223	0.002	1.000	1.000
0.815	0.680	0.034	0.100	0.570	1.120	0.152	0.223	0.002	1.000	1.000
0.815	0.680	0.034	0.100	0.570	1.120	0.152	0.223	0.002	1.000	1.000
0.850	0.680	0.034	0.100	0.570	1.120	0.158	0.223	0.002	1.000	1.000
0.850	0.680	0.034	0.100	0.570	1.120	0.158	0.223	0.002	1.000	1.000
0.850	0.680	0.034	0.100	0.570	1.120	0.158	0.223	0.002	1.000	1.000
0.865	0.680	0.034	0.100	0.840	1.120	0.171	0.223	0.002	1.000	1.000
0.900	0.680	0.034	0.100	0.840	1.120	0.177	0.223	0.002	1.000	1.000
0.850	0.680	0.034	0.100	0.570	1.120	0.165	0.223	0.002	1.000	1.000

図番

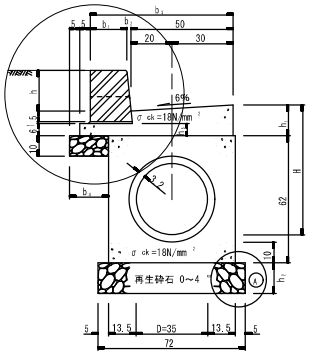
街　渠　工(NGP-L)-35

交通量区分－N1～N5交通(LAB交通)

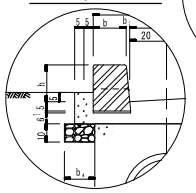
旧 名 称	GFP-L-35
新 名 称	NGP-L-35

$6 \leqq h_5 < 16$の場合

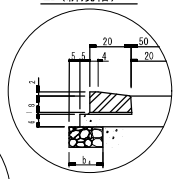
マウンドアップ型

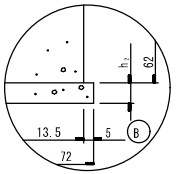


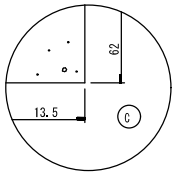
セミフラット型



LB(新規格)

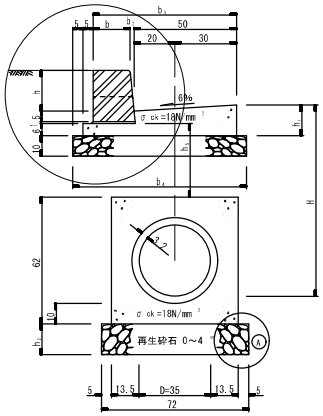




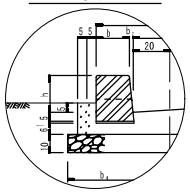


$h_5 \geqq 16$の場合

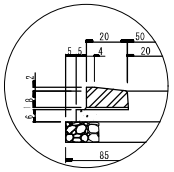
マウンドアップ型



セミフラット型



LB(新規格)



Hの変化によるh_1,h_5の変化

Hの変化	h_1	h_5
63.8 ～ 73.7	15 ～ 24.9	6 ～ 15.9
73.8 ～	15 ～	16 ～

( )はしの時の値

基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4cm
Ⓑ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σ_{ck}=18N/mm²

ﾓﾙﾀﾙの品質

	配　合
据付ﾓﾙﾀﾙ	1 : 3
目地ﾓﾙﾀﾙ	1 : 2

寸　法　表

(cm)

○印集工	工　種	h	H	h_1	h_2 A	h_2 B	h_2 C	h_5	b_1	b_2	b_3	b_4
	NGP-L-A-35	15	63.8	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	15.5
	A_3	7	63.8	15	15	5	0	6	15.8	0.7	66.5	15.5
	B	20	63.8	15	15	5	0	6	18	2	70	19
	B_3	7	63.8	15	15	5	0	6	19.3	0.7	70	19
	B_3	5	63.8	15	15	5	0	6	19.9	0.1	70	19
	FA	15	63.8	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	20.5
	FB	20	63.8	15	15	5	0	6	18	2	70	24
	LB	2	63.8	15	15	5	0	6	20	——	70	19
	NGP-L-A-35	15	73.8	15	15	5	0	16	15	1.5	66.5	81.5
	A_3	7	73.8	15	15	5	0	16	15.8	0.7	66.5	81.5
	B	20	73.8	15	15	5	0	16	18	2	70	85
	B_3	7	73.8	15	15	5	0	16	19.3	0.7	70	85
	B_3	5	73.8	15	15	5	0	16	19.9	0.1	70	85
	FA	15	73.8	15	15	5	0	16	15	1.5	66.5	86.5
	FB	20	73.8	15	15	5	0	16	18	2	70	90
	LB	2	73.8	15	15	5	0	16	20	——	70	85

数　量　表

(1m当り)

基礎 縁石・皿溝部 再生砕石 (t=10)m²	基礎 管渠部 Ⓐ 再生砕石 (t=15)m²	基礎 管渠部 Ⓑ ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5)m³	基礎 管渠部 Ⓑ 基礎型枠 m²	型枠 縁石・皿溝部 m²	型枠 管渠部 m²	ｺﾝｸﾘｰﾄ 縁石・皿溝部 m²	ｺﾝｸﾘｰﾄ 管渠部 m²	据付ﾓﾙﾀﾙ m²	ﾋｭｰﾑ管 m	縁石 m
0.155	0.720	0.036	0.100	0.270	1.240	0.080	0.249	0.002	1.000	1.000
0.155	0.720	0.036	0.100	0.270	1.240	0.080	0.249	0.002	1.000	1.000
0.190	0.720	0.036	0.100	0.270	1.240	0.083	0.249	0.002	1.000	1.000
0.190	0.720	0.036	0.100	0.270	1.240	0.083	0.249	0.002	1.000	1.000
0.190	0.720	0.036	0.100	0.270	1.240	0.083	0.249	0.002	1.000	1.000
0.205	0.720	0.036	0.100	0.440	1.240	0.094	0.249	0.002	1.000	1.000
0.240	0.720	0.036	0.100	0.440	1.240	0.097	0.249	0.002	1.000	1.000
0.190	0.720	0.036	0.100	0.270	1.240	0.090	0.249	0.002	1.000	1.000
0.815	0.720	0.036	0.100	0.270	1.240	0.080	0.249	0.002	1.000	1.000
0.815	0.720	0.036	0.100	0.270	1.240	0.080	0.249	0.002	1.000	1.000
0.850	0.720	0.036	0.100	0.270	1.240	0.083	0.249	0.002	1.000	1.000
0.850	0.720	0.036	0.100	0.270	1.240	0.083	0.249	0.002	1.000	1.000
0.850	0.720	0.036	0.100	0.270	1.240	0.083	0.249	0.002	1.000	1.000
0.865	0.720	0.036	0.100	0.440	1.240	0.094	0.249	0.002	1.000	1.000
0.900	0.720	0.036	0.100	0.440	1.240	0.097	0.249	0.002	1.000	1.000
0.850	0.720	0.036	0.100	0.270	1.240	0.090	0.249	0.002	1.000	1.000

図番

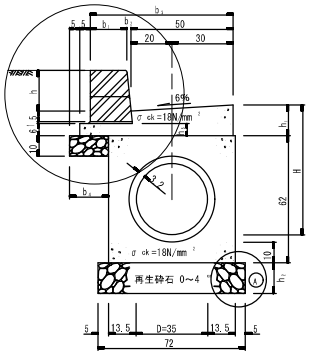
街　渠　工(NGP-C)-35

交通量区分－N6交通(C交通)

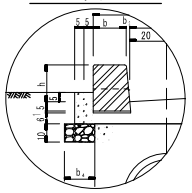
旧 名 称	GFP-C-35
新 名 称	NGP-C-35

6≦h ₅ <21の場合

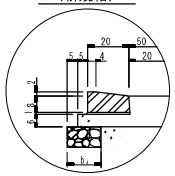
マウンドアップ型

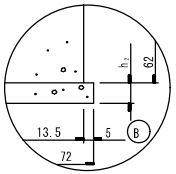


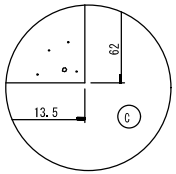
セミフラット型



LB(新規格)

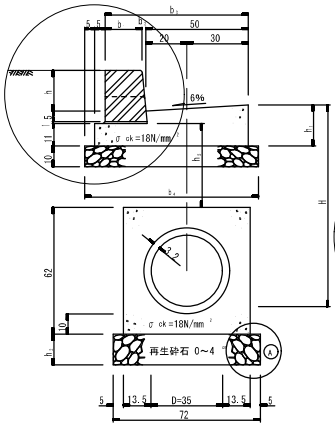




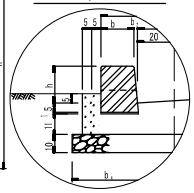


h ₅≧21の場合

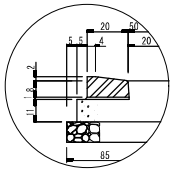
マウンドアップ型



セミフラット型



LB(新規格)



Hの変化によるh ₁,h ₅の変化

Hの変化	h ₁	h ₅
63.8 ～ 78.7	15 ～ 29.9	6 ～ 20.9
78.8 ～	20	21 ～

基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4cm
Ⓑ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=18N/mm²

ﾓﾙﾀﾙの品質

	配　合
据付ﾓﾙﾀﾙ	1 : 3
目地ﾓﾙﾀﾙ	1 : 2

寸　法　表

(cm)

○印集工	工　種	h	H	h₁	h₂ A	h₂ B	h₂ C	h₅	b₁	b₂	b₃	b₄
	NGP-C-A-35	15	63.8	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	15.5
	A ₁	7	63.8	15	15	5	0	6	15.8	0.7	66.5	15.5
	B	20	63.8	15	15	5	0	6	18	2	70	19
	B ₁	7	63.8	15	15	5	0	6	19.3	0.7	70	19
	B ₂	5	63.8	15	15	5	0	6	19.9	0.1	70	19
	FA	15	63.8	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	20.5
	FB	20	63.8	15	15	5	0	6	18	2	70	24
	LB	2	63.8	15	15	5	0	6	20	——	70	19
	NGP-C-A-35	15	78.8	20	15	5	0	21	15	1.5	66.5	81.5
	A ₁	7	78.8	20	15	5	0	21	15.8	0.7	66.5	81.5
	B	20	78.8	20	15	5	0	21	18	2	70	85
	B ₁	7	78.8	20	15	5	0	21	19.3	0.7	70	85
	B ₂	5	78.8	20	15	5	0	21	19.9	0.1	70	85
	FA	15	78.8	20	15	5	0	21	15	1.5	66.5	86.5
	FB	20	78.8	20	15	5	0	21	18	2	70	90
	LB	2	78.8	20	15	5	0	21	20	——	70	85

数　量　表

(1m当り)

○印集工	工　種	基礎 縁石・皿溝部 再生砕石 (t=10)m²	基礎 管渠部 Ⓐ 再生砕石 (t=15)m²	基礎 管渠部 Ⓑ ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5)m³	基礎 管渠部 Ⓑ 基礎型枠 m²	型枠 縁石・皿溝部 m²	型枠 管渠部 m²	ｺﾝｸﾘｰﾄ 縁石・皿溝部 m²	ｺﾝｸﾘｰﾄ 管渠部 m²	据付ﾓﾙﾀﾙ m²	ﾋｭｰﾑ管 m	縁　石 m
	NGP-C-A-35	0.155	0.720	0.036	0.100	0.270	1.240	0.080	0.249	0.002	1.000	1.000
	A ₁	0.155	0.720	0.036	0.100	0.270	1.240	0.080	0.249	0.002	1.000	1.000
	B	0.190	0.720	0.036	0.100	0.270	1.240	0.083	0.249	0.002	1.000	1.000
	B ₁	0.190	0.720	0.036	0.100	0.270	1.240	0.083	0.249	0.002	1.000	1.000
	B ₂	0.190	0.720	0.036	0.100	0.270	1.240	0.083	0.249	0.002	1.000	1.000
	FA	0.205	0.720	0.036	0.100	0.440	1.240	0.094	0.249	0.002	1.000	1.000
	FB	0.240	0.720	0.036	0.100	0.440	1.240	0.097	0.249	0.002	1.000	1.000
	LB	0.190	0.720	0.036	0.100	0.270	1.240	0.090	0.249	0.002	1.000	1.000
	NGP-C-A-35	0.815	0.720	0.036	0.100	0.420	1.240	0.116	0.249	0.002	1.000	1.000
	A ₁	0.815	0.720	0.036	0.100	0.420	1.240	0.116	0.249	0.002	1.000	1.000
	B	0.850	0.720	0.036	0.100	0.420	1.240	0.120	0.249	0.002	1.000	1.000
	B ₁	0.850	0.720	0.036	0.100	0.420	1.240	0.120	0.249	0.002	1.000	1.000
	B ₂	0.850	0.720	0.036	0.100	0.420	1.240	0.120	0.249	0.002	1.000	1.000
	FA	0.865	0.720	0.036	0.100	0.640	1.240	0.133	0.249	0.002	1.000	1.000
	FB	0.900	0.720	0.036	0.100	0.640	1.240	0.137	0.249	0.002	1.000	1.000
	LB	0.850	0.720	0.036	0.100	0.420	1.240	0.128	0.249	0.002	1.000	1.000

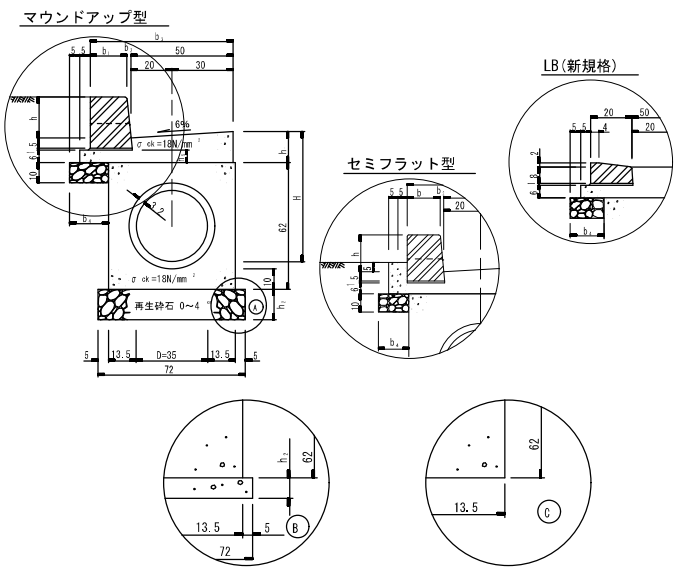
図番

街　渠　工(NGP-D)-35

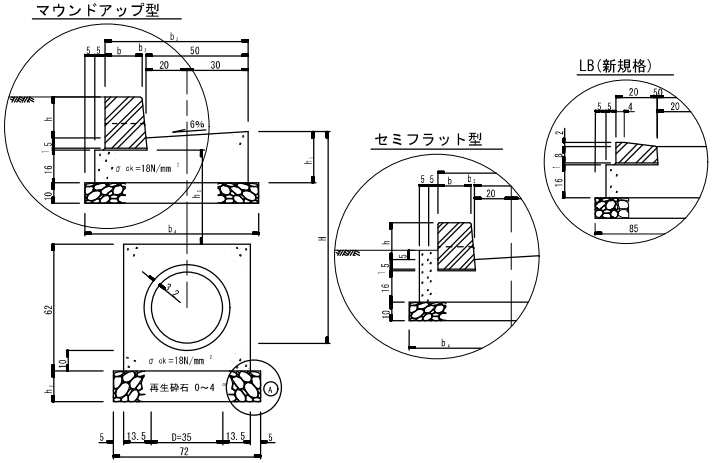
交通量区分－N7交通(D交通)

旧 名 称	GFP-D-35
新 名 称	NGP-D-35

6≦h 5＜26の場合



h 5≧26の場合



Hの変化によるh 1,h 5の変化

Hの変化	h 1	h 5
63.8 ～ 83.7	15 ～ 34.9	6 ～ 25.9
83.8 ～	25	26 ～

基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4cm
Ⓑ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=18N/mm²

ﾓﾙﾀﾙの品質

	配　合
据付ﾓﾙﾀﾙ	1 : 3
目地ﾓﾙﾀﾙ	1 : 2

寸　法　表

(cm)

○印集工	工　種	h	H	h 1	h 2 A	h 2 B	h 2 C	h 5	b 1	b 2	b 3	b 4
	NGP-D-A-35	15	63.8	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	15.5
	A 1	7	63.8	15	15	5	0	6	15.8	0.7	66.5	15.5
	B	20	63.8	15	15	5	0	6	18	2	70	19
	B 2	7	63.8	15	15	5	0	6	19.3	0.7	70	19
	B 3	5	63.8	15	15	5	0	6	19.9	0.1	70	19
	FA	15	63.8	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	20.5
	FB	20	63.8	15	15	5	0	6	18	2	70	24
	LB	2	63.8	15	15	5	0	6	20	——	70	19
	NGP-D-A-35	15	83.8	25	15	5	0	26	15	1.5	66.5	81.5
	A 1	7	83.8	25	15	5	0	26	15.8	0.7	66.5	81.5
	B	20	83.8	25	15	5	0	26	18	2	70	85
	B 2	7	83.8	25	15	5	0	26	19.3	0.7	70	85
	B 3	5	83.8	25	15	5	0	26	19.9	0.1	70	85
	FA	15	83.8	25	15	5	0	26	15	1.5	66.5	86.5
	FB	20	83.8	25	15	5	0	26	18	2	70	90
	LB	2	83.8	25	15	5	0	26	20	——	70	85

数　量　表

(1m当り)

○印集工	工　種	基礎 縁石・皿溝部 再生砕石 (t=10)m²	基礎 管渠部 Ⓐ 再生砕石 (t=15)m²	基礎 管渠部 Ⓑ ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5)m³	基礎 管渠部 Ⓑ 基礎型枠 m²	型枠 縁石・皿溝部 m²	型枠 管渠部 m²	ｺﾝｸﾘｰﾄ 縁石・皿溝部 m²	ｺﾝｸﾘｰﾄ 管渠部 m²	据付ﾓﾙﾀﾙ m²	ﾋｭｰﾑ管 m	縁　石 m
	NGP-D-A-35	0.155	0.720	0.036	0.100	0.270	1.240	0.080	0.249	0.002	1.000	1.000
	A 1	0.155	0.720	0.036	0.100	0.270	1.240	0.080	0.249	0.002	1.000	1.000
	B	0.190	0.720	0.036	0.100	0.270	1.240	0.083	0.249	0.002	1.000	1.000
	B 2	0.190	0.720	0.036	0.100	0.270	1.240	0.083	0.249	0.002	1.000	1.000
	B 3	0.190	0.720	0.036	0.100	0.270	1.240	0.083	0.249	0.002	1.000	1.000
	FA	0.205	0.720	0.036	0.100	0.440	1.240	0.094	0.249	0.002	1.000	1.000
	FB	0.240	0.720	0.036	0.100	0.440	1.240	0.097	0.249	0.002	1.000	1.000
	LB	0.190	0.720	0.036	0.100	0.270	1.240	0.090	0.249	0.002	1.000	1.000
	NGP-D-A-35	0.815	0.720	0.036	0.100	0.570	1.240	0.152	0.249	0.002	1.000	1.000
	A 1	0.815	0.720	0.036	0.100	0.570	1.240	0.152	0.249	0.002	1.000	1.000
	B	0.850	0.720	0.036	0.100	0.570	1.240	0.158	0.249	0.002	1.000	1.000
	B 2	0.850	0.720	0.036	0.100	0.570	1.240	0.158	0.249	0.002	1.000	1.000
	B 3	0.850	0.720	0.036	0.100	0.570	1.240	0.158	0.249	0.002	1.000	1.000
	FA	0.865	0.720	0.036	0.100	0.840	1.240	0.171	0.249	0.002	1.000	1.000
	FB	0.900	0.720	0.036	0.100	0.840	1.240	0.177	0.249	0.002	1.000	1.000
	LB	0.850	0.720	0.036	0.100	0.570	1.240	0.165	0.249	0.002	1.000	1.000

図番

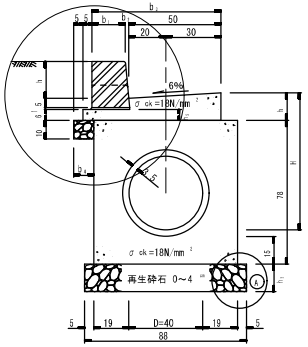
街　渠　工(NGP-L)-40

交通量区分－N1～N5交通(LAB交通)

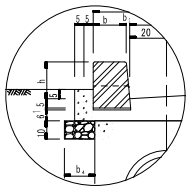
旧 名 称	GFP-L-40
新 名 称	NGP-L-40

6≦h 5 ＜16の場合

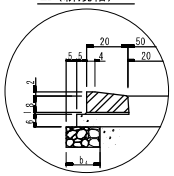
マウンドアップ型

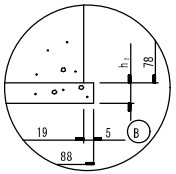


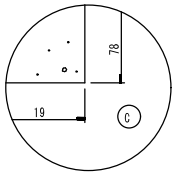
セミフラット型



LB(新規格)

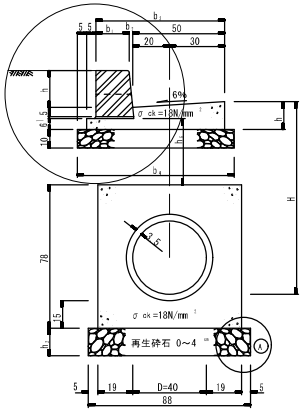




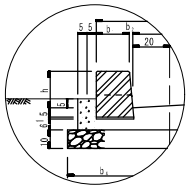


h 5 ≧16の場合

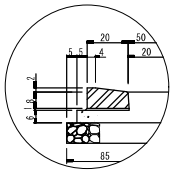
マウンドアップ型



セミフラット型



LB(新規格)



Hの変化によるh 1,h 5の変化

Hの変化	h 1	h 5
74.5 ～ 84.4	15 ～ 24.9	6 ～ 15.9
84.5 ～	15	16 ～

基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4cm
Ⓑ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σ ck =18N/mm²

ﾓﾙﾀﾙの品質

	配　合
据付ﾓﾙﾀﾙ	1 : 3
目地ﾓﾙﾀﾙ	1 : 2

寸　法　表

(cm)

○印施工	工　種	h	H	h 1	h 2			h 5	b 1	b 2	b 3	b 4
					A	B	C					
	NGP-L-A-40	15	74.5	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	7.5
	A 2	7	74.5	15	15	5	0	6	15.8	0.7	66.5	7.5
	B	20	74.5	15	15	5	0	6	18	2	70	11
	B 2	7	74.5	15	15	5	0	6	19.3	0.7	70	11
	B 3	5	74.5	15	15	5	0	6	19.9	0.1	70	11
	FA	15	74.5	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	12.5
	FB	20	74.5	15	15	5	0	6	18	2	70	16
	LB	2	74.5	15	15	5	0	6	20	——	70	11
	NGP-L-A-40	15	84.5	15	15	5	0	16	15	1.5	66.5	81.5
	A 2	7	84.5	15	15	5	0	16	15.8	0.7	66.5	81.5
	B	20	84.5	15	15	5	0	16	18	2	70	85
	B 2	7	84.5	15	15	5	0	16	19.3	0.7	70	85
	B 3	5	84.5	15	15	5	0	16	19.9	0.1	70	85
	FA	15	84.5	15	15	5	0	16	15	1.5	66.5	86.5
	FB	20	84.5	15	15	5	0	16	18	2	70	90
	LB	2	84.5	15	15	5	0	16	20	——	70	85

数　量　表

(1m当り)

基礎 縁石・皿溝部 再生砕石 (t=10)m²	基礎 管渠部 Ⓐ 再生砕石 (t=15)m²	基礎 管渠部 Ⓐ ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5)m³	基礎 管渠部 Ⓑ 基礎型枠 m²	型枠 縁石・皿溝部 m²	型枠 管渠部 m²	コンクリート 縁石・皿溝部 m²	コンクリート 管渠部 m²	据付モルタル m²	ヒューム管 m	練石 m
0.075	0.880	0.044	0.100	0.270	1.560	0.080	0.435	0.002	1.000	1.000
0.075	0.880	0.044	0.100	0.270	1.560	0.080	0.435	0.002	1.000	1.000
0.110	0.880	0.044	0.100	0.270	1.560	0.083	0.435	0.002	1.000	1.000
0.110	0.880	0.044	0.100	0.270	1.560	0.083	0.435	0.002	1.000	1.000
0.110	0.880	0.044	0.100	0.270	1.560	0.083	0.435	0.002	1.000	1.000
0.125	0.880	0.044	0.100	0.440	1.560	0.094	0.435	0.002	1.000	1.000
0.160	0.880	0.044	0.100	0.440	1.560	0.097	0.435	0.002	1.000	1.000
0.110	0.880	0.044	0.100	0.270	1.560	0.090	0.435	0.002	1.000	1.000
0.815	0.880	0.044	0.100	0.270	1.560	0.080	0.435	0.002	1.000	1.000
0.815	0.880	0.044	0.100	0.270	1.560	0.080	0.435	0.002	1.000	1.000
0.850	0.880	0.044	0.100	0.270	1.560	0.083	0.435	0.002	1.000	1.000
0.850	0.880	0.044	0.100	0.270	1.560	0.083	0.435	0.002	1.000	1.000
0.850	0.880	0.044	0.100	0.270	1.560	0.083	0.435	0.002	1.000	1.000
0.865	0.880	0.044	0.100	0.440	1.560	0.094	0.435	0.002	1.000	1.000
0.900	0.880	0.044	0.100	0.440	1.560	0.097	0.435	0.002	1.000	1.000
0.850	0.880	0.044	0.100	0.270	1.560	0.090	0.435	0.002	1.000	1.000

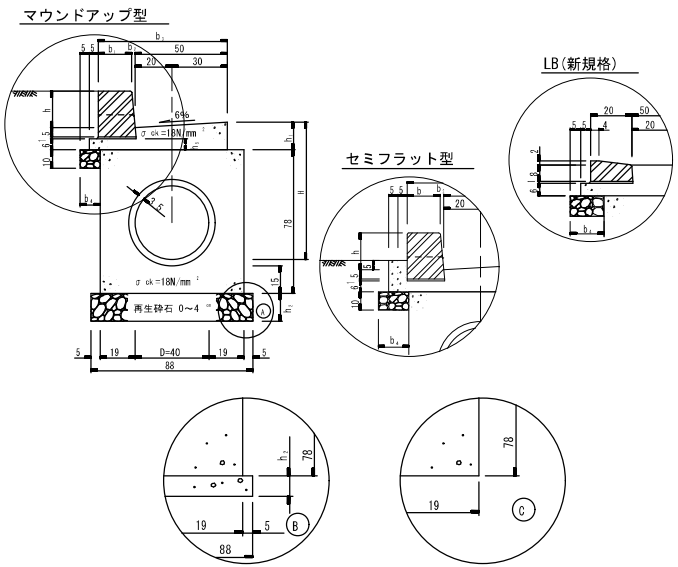
図番

街　渠　工(NGP-C)-40

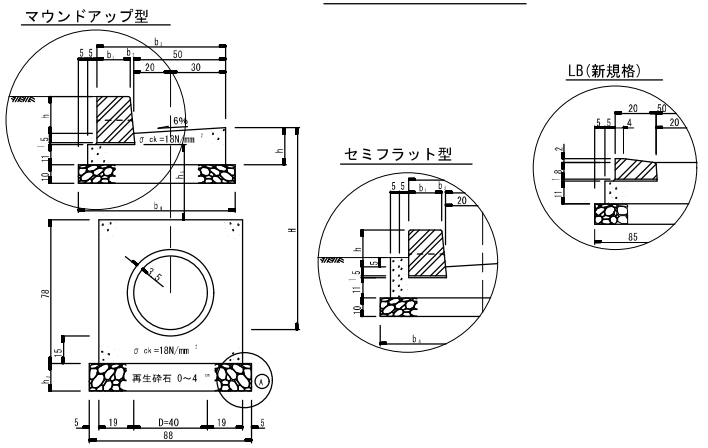
交通量区分－N6交通(C交通)

旧 名 称	GFP-C-40
新 名 称	NGP-C-40

6≦h 5 ＜21の場合



h 5 ≧21の場合



Hの変化によるh 1,h 5の変化

Hの変化	h1	h5
74.5 ～ 89.4	15 ～ 29.9	6 ～ 20.9
89.5 ～	20	21 ～

基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4cm
Ⓑ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=18N/mm²

ﾓﾙﾀﾙの品質

	配　合
据付ﾓﾙﾀﾙ	1 : 3
目地ﾓﾙﾀﾙ	1 : 2

寸　法　表

(cm)

○印施工	工　種	h	H	h1	h2 A	h2 B	h2 C	h5	b1	b2	b3	b4
	NGP-C-A-40	15	74.5	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	7.5
	A 2	7	74.5	15	15	5	0	6	15.8	0.7	66.5	7.5
	B	20	74.5	15	15	5	0	6	18	2	70	11
	B 2	7	74.5	15	15	5	0	6	19.3	0.7	70	11
	B 3	5	74.5	15	15	5	0	6	19.9	0.1	70	11
	FA	15	74.5	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	12.5
	FB	20	74.5	15	15	5	0	6	18	2	70	16
	LB	2	74.5	15	15	5	0	6	20	——	70	11
	NGP-C-A-40	15	89.5	20	15	5	0	21	15	1.5	66.5	81.5
	A 2	7	89.5	20	15	5	0	21	15.8	0.7	66.5	81.5
	B	20	89.5	20	15	5	0	21	18	2	70	85
	B 2	7	89.5	20	15	5	0	21	19.3	0.7	70	85
	B 3	5	89.5	20	15	5	0	21	19.9	0.1	70	85
	FA	15	89.5	20	15	5	0	21	15	1.5	66.5	86.5
	FB	20	89.5	20	15	5	0	21	18	2	70	90
	LB	2	89.5	20	15	5	0	21	20	——	70	85

数　量　表

(1m当り)

基礎 縁石・皿溝部 再生砕石 (t=10)m²	基礎 管渠部 Ⓐ 再生砕石 (t=15)m²	基礎 管渠部 Ⓐ ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5)m³	基礎 管渠部 Ⓑ 基礎型枠 m²	型枠 縁石・皿溝部 m²	型枠 管渠部 m²	コンクリート 縁石・皿溝部 m²	コンクリート 管渠部 m²	据付モルタル m²	ヒューム管 m	縁石 m
0.075	0.880	0.044	0.100	0.270	1.560	0.080	0.435	0.002	1.000	1.000
0.075	0.880	0.044	0.100	0.270	1.560	0.080	0.435	0.002	1.000	1.000
0.110	0.880	0.044	0.100	0.270	1.560	0.083	0.435	0.002	1.000	1.000
0.110	0.880	0.044	0.100	0.270	1.560	0.083	0.435	0.002	1.000	1.000
0.110	0.880	0.044	0.100	0.270	1.560	0.083	0.435	0.002	1.000	1.000
0.125	0.880	0.044	0.100	0.440	1.560	0.094	0.435	0.002	1.000	1.000
0.160	0.880	0.044	0.100	0.440	1.560	0.097	0.435	0.002	1.000	1.000
0.110	0.880	0.044	0.100	0.270	1.560	0.090	0.435	0.002	1.000	1.000
0.815	0.880	0.044	0.100	0.420	1.560	0.116	0.435	0.002	1.000	1.000
0.815	0.880	0.044	0.100	0.420	1.560	0.116	0.435	0.002	1.000	1.000
0.850	0.880	0.044	0.100	0.420	1.560	0.120	0.435	0.002	1.000	1.000
0.850	0.880	0.044	0.100	0.420	1.560	0.120	0.435	0.002	1.000	1.000
0.850	0.880	0.044	0.100	0.420	1.560	0.120	0.435	0.002	1.000	1.000
0.865	0.880	0.044	0.100	0.640	1.560	0.133	0.435	0.002	1.000	1.000
0.900	0.880	0.044	0.100	0.640	1.560	0.137	0.435	0.002	1.000	1.000
0.850	0.880	0.044	0.100	0.420	1.560	0.128	0.435	0.002	1.000	1.000

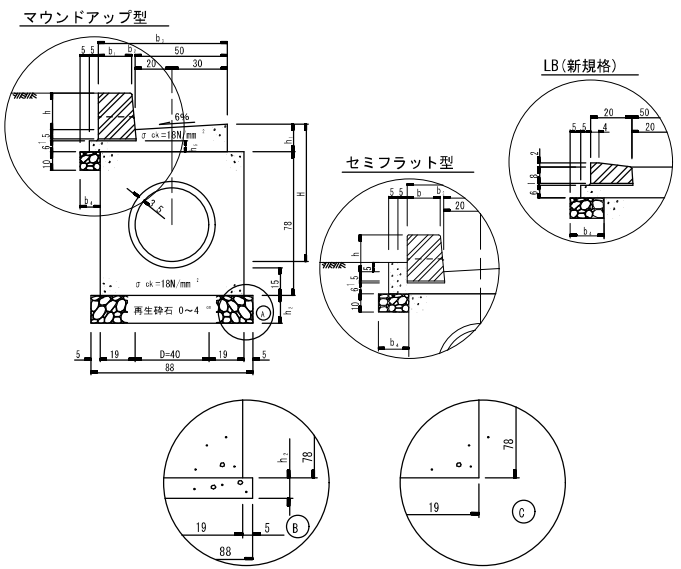
図番

街　渠　工(NGP-D)-40

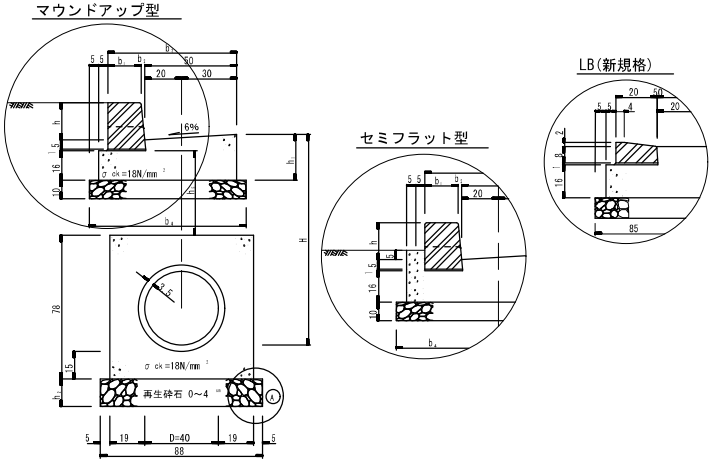
交通量区分－N7交通(D交通)

旧 名 称	GFP-D-40
新 名 称	NGP-D-40

6≦h5＜26の場合



h5≧26の場合



Hの変化によるh1,h5の変化

Hの変化	h1	h5
74.5 ～ 94.4	15 ～ 34.9	6 ～ 25.9
94.5 ～	25	26 ～

基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4cm
Ⓑ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=18N/mm²

ﾓﾙﾀﾙの品質

	配　合
据付ﾓﾙﾀﾙ	1 : 3
目地ﾓﾙﾀﾙ	1 : 2

寸　法　表

(cm)

○印施工	工　種	h	H	h1	h2 A	h2 B	h2 C	h5	b1	b2	b3	b4
	NGP-C-D -40	15	74.5	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	7.5
	NGP-D-A1-40	7	74.5	15	15	5	0	6	15.8	0.7	66.5	7.5
	B	20	74.5	15	15	5	0	6	18	2	70	11
	B2	7	74.5	15	15	5	0	6	19.3	0.7	70	11
	B3	5	74.5	15	15	5	0	6	19.9	0.1	70	11
	FA	15	74.5	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	12.5
	FB	20	74.5	15	15	5	0	6	18	2	70	16
	LB	2	74.5	15	15	5	0	6	20	——	70	11
	NGP-C-D -40	15	94.5	25	15	5	0	26	15	1.5	66.5	81.5
	NGP-D-A-40	7	94.5	25	15	5	0	26	15.8	0.7	66.5	81.5
	B	20	94.5	25	15	5	0	26	18	2	70	85
	B2	7	94.5	25	15	5	0	26	19.3	0.7	70	85
	B3	5	94.5	25	15	5	0	26	19.9	0.1	70	85
	FA	15	94.5	25	15	5	0	26	15	1.5	66.5	86.5
	FB	20	94.5	25	15	5	0	26	18	2	70	90
	LB	2	94.5	25	15	5	0	26	20	——	70	85

数　量　表

(1m当り)

○印施工	工　種	基礎 縁石・皿溝部 再生砕石 (t=10)m²	基礎 管渠部 Ⓐ 再生砕石 (t=15)m²	基礎 管渠部 Ⓑ ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5)m³	基礎 管渠部 Ⓑ 基礎型枠 m²	型枠 縁石・皿溝部 m²	型枠 管渠部 m²	ｺﾝｸﾘｰﾄ 縁石・皿溝部 m²	ｺﾝｸﾘｰﾄ 管渠部 m²	据付ﾓﾙﾀﾙ m²	ﾋｭｰﾑ管 m	縁　石 m
	NGP-C-D -40	0.075	0.880	0.044	0.100	0.270	1.560	0.080	0.435	0.002	1.000	1.000
	NGP-D-A1-40	0.075	0.880	0.044	0.100	0.270	1.560	0.080	0.435	0.002	1.000	1.000
	B	0.110	0.880	0.044	0.100	0.270	1.560	0.083	0.435	0.002	1.000	1.000
	B2	0.110	0.880	0.044	0.100	0.270	1.560	0.083	0.435	0.002	1.000	1.000
	B3	0.110	0.880	0.044	0.100	0.270	1.560	0.083	0.435	0.002	1.000	1.000
	FA	0.125	0.880	0.044	0.100	0.440	1.560	0.094	0.435	0.002	1.000	1.000
	FB	0.160	0.880	0.044	0.100	0.440	1.560	0.097	0.435	0.002	1.000	1.000
	LB	0.110	0.880	0.044	0.100	0.270	1.560	0.090	0.435	0.002	1.000	1.000
	NGP-C-D -40	0.815	0.880	0.044	0.100	0.570	1.560	0.152	0.435	0.002	1.000	1.000
	NGP-D-A-40	0.815	0.880	0.044	0.100	0.570	1.560	0.152	0.435	0.002	1.000	1.000
	B	0.850	0.880	0.044	0.100	0.570	1.560	0.158	0.435	0.002	1.000	1.000
	B2	0.850	0.880	0.044	0.100	0.570	1.560	0.158	0.435	0.002	1.000	1.000
	B3	0.850	0.880	0.044	0.100	0.570	1.560	0.158	0.435	0.002	1.000	1.000
	FA	0.865	0.880	0.044	0.100	0.840	1.560	0.171	0.435	0.002	1.000	1.000
	FB	0.900	0.880	0.044	0.100	0.840	1.560	0.177	0.435	0.002	1.000	1.000
	LB	0.850	0.880	0.044	0.100	0.570	1.560	0.165	0.435	0.002	1.000	1.000

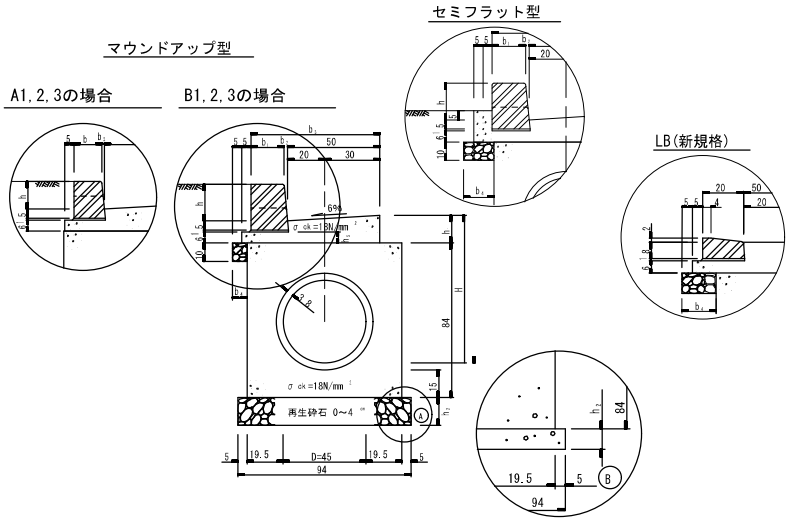
図番

街　渠　工(NGP-L)-45

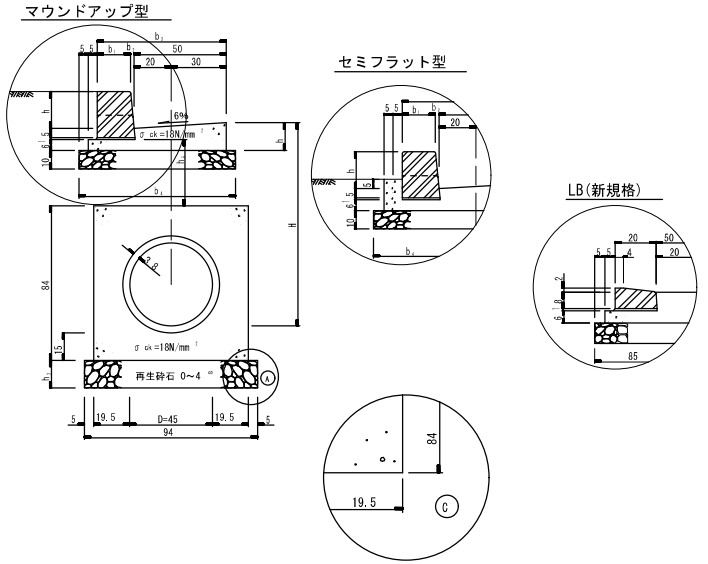
交通量区分－N1～N5交通(LAB交通)

旧 名 称	GFP-L-45
新 名 称	NGP-L-45

$6 \leqq h_5 < 16$の場合



$h_5 \geqq 16$の場合



Hの変化によるh_1,h_5の変化

Hの変化	h_1	h_5
80.2 ～ 90.1	15 ～ 24.9	6 ～ 15.9
90.2 ～	15	16 ～

基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4cm
Ⓑ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σ_{ck}=18N/mm²

ﾓﾙﾀﾙの品質

	配　合
据付ﾓﾙﾀﾙ	1 : 3
目地ﾓﾙﾀﾙ	1 : 2

寸　法　表

(cm)

○印施工	工　種	h	H	h_1	h_2 A	h_2 B	h_2 C	h_5	b_1	b_2	b_3	b_4
	NGP-L-A-45	15	80.2	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	0
	A_3	7	80.2	15	15	5	0	6	15.8	0.7	66.5	0
	B	20	80.2	15	15	5	0	6	18	2	70	8.0
	B_3	7	80.2	15	15	5	0	6	19.3	0.7	70	8.0
	B_3	5	80.2	15	15	5	0	6	19.9	0.1	70	8.0
	FA	15	80.2	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	10.0
	FB	20	80.2	15	15	5	0	6	18	2	70	13.0
	LB	2	80.2	15	15	5	0	6	20	——	70	8.0
	NGP-L-A-45	15	90.2	15	15	5	0	16	15	1.5	66.5	81.5
	A_3	7	90.2	15	15	5	0	16	15.8	0.7	66.5	81.5
	B	20	90.2	15	15	5	0	16	18	2	70	85
	B_3	7	90.2	15	15	5	0	16	19.3	0.7	70	85
	B_3	5	90.2	15	15	5	0	16	19.9	0.1	70	85
	FA	15	90.2	15	15	5	0	16	15	1.5	66.5	86.5
	FB	20	90.2	15	15	5	0	16	18	2	70	90
	LB	2	90.2	15	15	5	0	16	20	——	70	85

数　量　表

(1m当り)

基礎 縁石・皿溝部 再生砕石 (t=10)m²	基礎 管渠部 Ⓐ 再生砕石 (t=15)m²	基礎 管渠部 Ⓐ ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5)m³	基礎 管渠部 Ⓑ 基礎型枠 m²	型枠 縁石・皿溝部 m²	型枠 管渠部 m²	ｺﾝｸﾘｰﾄ 縁石・皿溝部 m²	ｺﾝｸﾘｰﾄ 管渠部 m²	据付ﾓﾙﾀﾙ m²	ﾋｭｰﾑ管 m	縁　石 m
0	0.940	0.047	0.100	0.270	1.680	0.080	0.489	0.002	1.000	1.000
0	0.940	0.047	0.100	0.270	1.680	0.080	0.489	0.002	1.000	1.000
0.080	0.940	0.047	0.100	0.270	1.680	0.083	0.489	0.002	1.000	1.000
0.080	0.940	0.047	0.100	0.270	1.680	0.083	0.489	0.002	1.000	1.000
0.080	0.940	0.047	0.100	0.270	1.680	0.083	0.489	0.002	1.000	1.000
0.100	0.940	0.047	0.100	0.440	1.680	0.094	0.489	0.002	1.000	1.000
0.130	0.940	0.047	0.100	0.440	1.680	0.097	0.489	0.002	1.000	1.000
0.080	0.940	0.047	0.100	0.270	1.680	0.090	0.489	0.002	1.000	1.000
0.815	0.940	0.047	0.100	0.270	1.680	0.080	0.489	0.002	1.000	1.000
0.815	0.940	0.047	0.100	0.270	1.680	0.080	0.489	0.002	1.000	1.000
0.850	0.940	0.047	0.100	0.270	1.680	0.083	0.489	0.002	1.000	1.000
0.850	0.940	0.047	0.100	0.270	1.680	0.083	0.489	0.002	1.000	1.000
0.850	0.940	0.047	0.100	0.270	1.680	0.083	0.489	0.002	1.000	1.000
0.865	0.940	0.047	0.100	0.440	1.680	0.094	0.489	0.002	1.000	1.000
0.900	0.940	0.047	0.100	0.440	1.680	0.097	0.489	0.002	1.000	1.000
0.850	0.940	0.047	0.100	0.270	1.680	0.090	0.489	0.002	1.000	1.000

図番

街　渠　工(NGP-C)-45

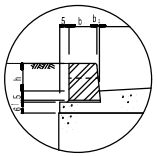
交通量区分－N6交通(C交通)

旧 名 称	GFP-C-45
新 名 称	NGP-C-45

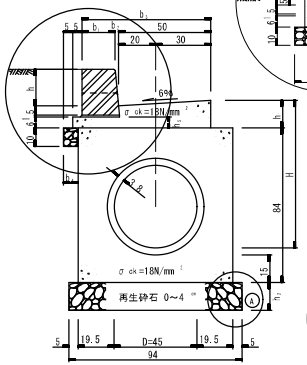
6≦h 5＜21の場合

マウンドアップ型

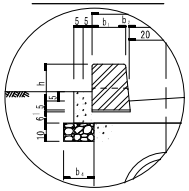
A1,2,3の場合



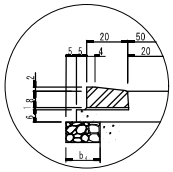
B1,2,3の場合

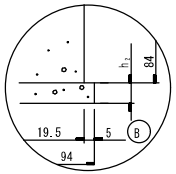


セミフラット型



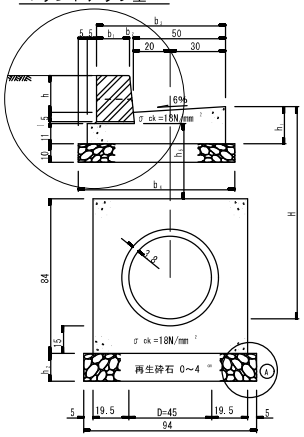
LB(新規格)



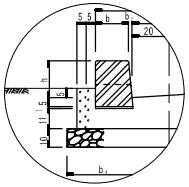


h 5≧21の場合

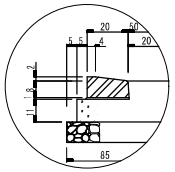
マウンドアップ型

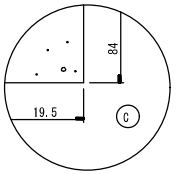


セミフラット型



LB(新規格)





Hの変化によるh 1,h 5の変化

Hの変化	h 1	h 5
80.2 ～ 95.1	15 ～ 29.9	6 ～ 20.9
95.2 ～	20	21 ～

基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4cm
Ⓑ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=18N/mm²

ﾓﾙﾀﾙの品質

	配　合
据付ﾓﾙﾀﾙ	1 : 3
目地ﾓﾙﾀﾙ	1 : 2

寸　法　表

(cm)

○印集工	工　種	h	H	h 1	h 2			h 5	b 1	b 2	b 3	b 4
					A	B	C					
	NGP-C-A-45	15	80.2	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	0
	A 3	7	80.2	15	15	5	0	6	15.8	0.7	66.5	0
	B	20	80.2	15	15	5	0	6	18	2	70	8.0
	B 2	7	80.2	15	15	5	0	6	19.3	0.7	70	8.0
	B 3	5	80.2	15	15	5	0	6	19.9	0.1	70	8.0
	FA	15	80.2	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	10.0
	FB	20	80.2	15	15	5	0	6	18	2	70	13.0
	LB	2	80.2	15	15	5	0	6	20	——	70	8.0
	NGP-C-A-45	15	95.2	20	15	5	0	21	15	1.5	66.5	81.5
	A 3	7	95.2	20	15	5	0	21	15.8	0.7	66.5	81.5
	B	20	95.2	20	15	5	0	21	18	2	70	85
	B 2	7	95.2	20	15	5	0	21	19.3	0.7	70	85
	B 3	5	95.2	20	15	5	0	21	19.9	0.1	70	85
	FA	15	95.2	20	15	5	0	21	15	1.5	66.5	86.5
	FB	20	95.2	20	15	5	0	21	18	2	70	90
	LB	2	95.2	20	15	5	0	21	20	——	70	85

数　量　表

(1m当り)

基礎				型枠		コンクリート					
縁石・皿溝部	Ⓐ 管渠部		Ⓑ	縁石・皿溝部	管渠部	縁石・皿溝部	管渠部	据付ﾓﾙﾀﾙ	ヒューム管	縁石	
再生砕石 (t=10)m²	再生砕石 (t=15)m²	ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5)m³	基礎型枠 m²	m²	m²	m²	m²	m²	m	m	
0	0.940	0.047	0.100	0.270	1.680	0.080	0.489	0.002	1.000	1.000	
0	0.940	0.047	0.100	0.270	1.680	0.080	0.489	0.002	1.000	1.000	
0.080	0.940	0.047	0.100	0.270	1.680	0.083	0.489	0.002	1.000	1.000	
0.080	0.940	0.047	0.100	0.270	1.680	0.083	0.489	0.002	1.000	1.000	
0.080	0.940	0.047	0.100	0.270	1.680	0.083	0.489	0.002	1.000	1.000	
0.100	0.940	0.047	0.100	0.440	1.680	0.094	0.489	0.002	1.000	1.000	
0.130	0.940	0.047	0.100	0.440	1.680	0.097	0.489	0.002	1.000	1.000	
0.080	0.940	0.047	0.100	0.270	1.680	0.090	0.489	0.002	1.000	1.000	
0.815	0.940	0.047	0.100	0.420	1.680	0.116	0.489	0.002	1.000	1.000	
0.815	0.940	0.047	0.100	0.420	1.680	0.116	0.489	0.002	1.000	1.000	
0.850	0.940	0.047	0.100	0.420	1.680	0.120	0.489	0.002	1.000	1.000	
0.850	0.940	0.047	0.100	0.420	1.680	0.120	0.489	0.002	1.000	1.000	
0.850	0.940	0.047	0.100	0.420	1.680	0.120	0.489	0.002	1.000	1.000	
0.865	0.940	0.047	0.100	0.640	1.680	0.133	0.489	0.002	1.000	1.000	
0.900	0.940	0.047	0.100	0.640	1.680	0.137	0.489	0.002	1.000	1.000	
0.850	0.940	0.047	0.100	0.420	1.680	0.128	0.489	0.002	1.000	1.000	

図番

街　渠　工(NGP-D)-45

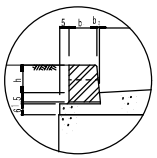
交通量区分－N7交通(D交通)

旧 名 称	GFP-D-45
新 名 称	NGP-D-45

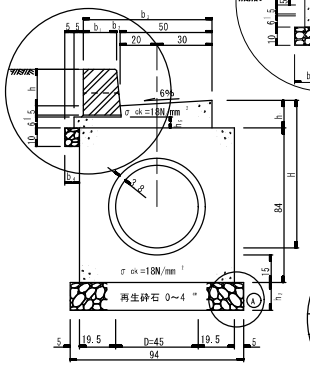
6≦h 5 ＜26の場合

マウンドアップ型

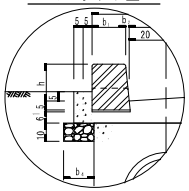
A1,2,3の場合



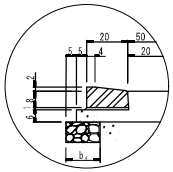
B1,2,3の場合

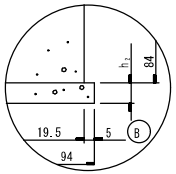


セミフラット型



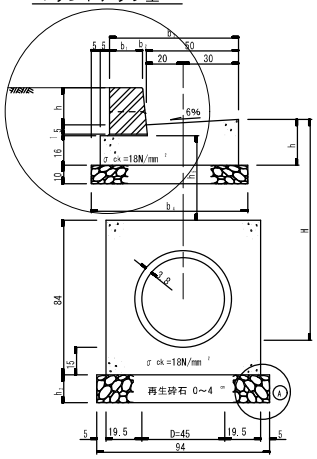
LB(新規格)



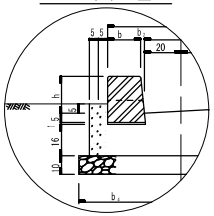


h 5 ≧26の場合

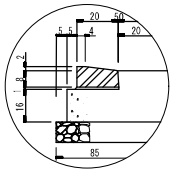
マウンドアップ型

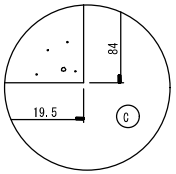


セミフラット型



LB(新規格)





Hの変化によるh 1,h 5の変化

Hの変化	h 1	h 5
80.2 ～ 100.1	15 ～ 34.9	6 ～ 25.9
100.2 ～	25	26 ～

基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4cm
Ⓑ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σ ck =18N/mm²

ﾓﾙﾀﾙの品質

	配　合
据付ﾓﾙﾀﾙ	1 : 3
目地ﾓﾙﾀﾙ	1 : 2

寸　法　表

(cm)

○印施工	工　種	h	H	h 1	h 2 A	h 2 B	h 2 C	h 5	b 1	b 2	b 3	b 4
	NGP-D-A-45	15	80.2	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	0
	A 3	7	80.2	15	15	5	0	6	15.8	0.7	66.5	0
	B	20	80.2	15	15	5	0	6	18	2	70	8.0
	B 3	7	80.2	15	15	5	0	6	19.3	0.7	70	8.0
	B 3	5	80.2	15	15	5	0	6	19.9	0.1	70	8.0
	FA	15	80.2	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	10.0
	FB	20	80.2	15	15	5	0	6	18	2	70	13.0
	LB	2	80.2	15	15	5	0	6	20	——	70	8.0
	NGP-D-A-45	15	100.2	25	15	5	0	26	15	1.5	66.5	81.5
	A 3	7	100.2	25	15	5	0	26	15.8	0.7	66.5	81.5
	B	20	100.2	25	15	5	0	26	18	2	70	85
	B 3	7	100.2	25	15	5	0	26	19.3	0.7	70	85
	B 3	5	100.2	25	15	5	0	26	19.9	0.1	70	85
	FA	15	100.2	25	15	5	0	26	15	1.5	66.5	86.5
	FB	20	100.2	25	15	5	0	26	18	2	70	90
	LB	2	100.2	25	15	5	0	26	20	——	70	85

数　量　表

(1m当り)

基礎 縁石・皿溝部 再生砕石 (t=10)m²	基礎 管渠部 Ⓐ 再生砕石 (t=15)m²	基礎 管渠部 Ⓑ ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5)m³	基礎 管渠部 Ⓑ 基礎型枠 m²	型枠 縁石・皿溝部 m²	型枠 管渠部 m²	ｺﾝｸﾘｰﾄ 縁石・皿溝部 m²	ｺﾝｸﾘｰﾄ 管渠部 m²	据付ﾓﾙﾀﾙ m²	ﾋｭｰﾑ管 m	縁　石 m
0	0.940	0.047	0.100	0.270	1.680	0.080	0.489	0.002	1.000	1.000
0	0.940	0.047	0.100	0.270	1.680	0.080	0.489	0.002	1.000	1.000
0.080	0.940	0.047	0.100	0.270	1.680	0.083	0.489	0.002	1.000	1.000
0.080	0.940	0.047	0.100	0.270	1.680	0.083	0.489	0.002	1.000	1.000
0.080	0.940	0.047	0.100	0.270	1.680	0.083	0.489	0.002	1.000	1.000
0.100	0.940	0.047	0.100	0.440	1.680	0.094	0.489	0.002	1.000	1.000
0.130	0.940	0.047	0.100	0.440	1.680	0.097	0.489	0.002	1.000	1.000
0.080	0.940	0.047	0.100	0.270	1.680	0.090	0.489	0.002	1.000	1.000
0.815	0.940	0.047	0.100	0.570	1.680	0.152	0.489	0.002	1.000	1.000
0.815	0.940	0.047	0.100	0.570	1.680	0.152	0.489	0.002	1.000	1.000
0.850	0.940	0.047	0.100	0.570	1.680	0.158	0.489	0.002	1.000	1.000
0.850	0.940	0.047	0.100	0.570	1.680	0.158	0.489	0.002	1.000	1.000
0.850	0.940	0.047	0.100	0.570	1.680	0.158	0.489	0.002	1.000	1.000
0.865	0.940	0.047	0.100	0.840	1.680	0.171	0.489	0.002	1.000	1.000
0.900	0.940	0.047	0.100	0.840	1.680	0.177	0.489	0.002	1.000	1.000
0.850	0.940	0.047	0.100	0.570	1.680	0.165	0.489	0.002	1.000	1.000

図番

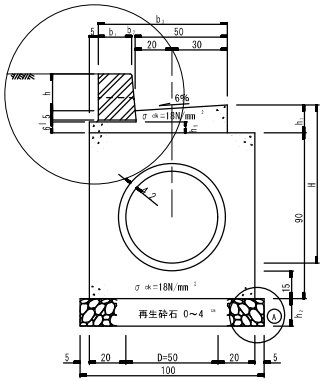
街　渠　工(NGP-L)-50

交通量区分－N1～N5交通(LAB交通)

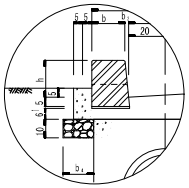
旧 名 称	GFP-L-50
新 名 称	NGP-L-50

$6 \leqq h_5 < 16$の場合

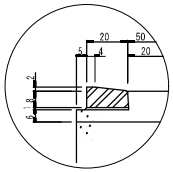
マウンドアップ型

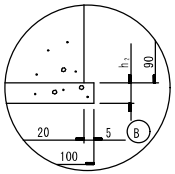


セミフラット型



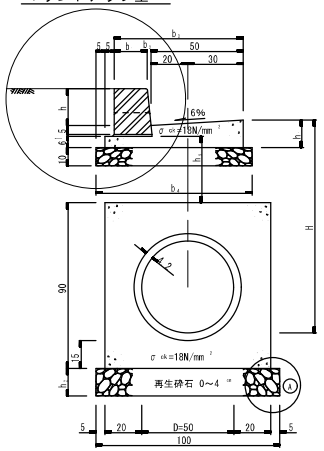
LB(新規格)



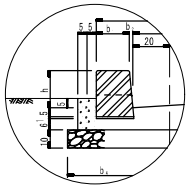


$h_5 \geqq 16$の場合

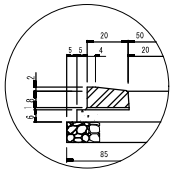
マウンドアップ型

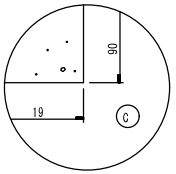


セミフラット型



LB(新規格)





Hの変化によるh_1,h_5の変化

Hの変化	h_1	h_5
85.8 ～ 95.7	15 ～ 24.9	6 ～ 15.9
95.8 ～	15	16 ～

基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4cm
Ⓑ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σ_{ck}=18N/mm²

ﾓﾙﾀﾙの品質

	配　合
据付ﾓﾙﾀﾙ	1 : 3
目地ﾓﾙﾀﾙ	1 : 2

寸　法　表

(cm)

○印施工	工　種	h	H	h_1	h_2 A	h_2 B	h_2 C	h_5	b_1	b_2	b_3	b_4
	NGP-L-A-50	15	85.8	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	0
	A 2	7	85.8	15	15	5	0	6	15.8	0.7	66.5	0
	B	20	85.8	15	15	5	0	6	18	2	70	0
	B 2	7	85.8	15	15	5	0	6	19.3	0.7	70	0
	B 1	5	85.8	15	15	5	0	6	19.9	0.1	70	0
	FA	15	85.8	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	10.0
	FB	20	85.8	15	15	5	0	6	18	2	70	10.0
	LB	2	85.8	15	15	5	0	6	20	——	70	0
	NGP-L-A-50	15	95.8	15	15	5	0	16	15	1.5	66.5	81.5
	A 2	7	95.8	15	15	5	0	16	15.8	0.7	66.5	81.5
	B	20	95.8	15	15	5	0	16	18	2	70	85
	B 2	7	95.8	15	15	5	0	16	19.3	0.7	70	85
	B 1	5	95.8	15	15	5	0	16	19.9	0.1	70	85
	FA	15	95.8	15	15	5	0	16	15	1.5	66.5	86.5
	FB	20	95.8	15	15	5	0	16	18	2	70	90
	LB	2	95.8	15	15	5	0	16	20	——	70	85

数　量　表

(1m当り)

基礎 縁石・皿溝部 再生砕石 (t=10)m²	基礎 管渠部 Ⓐ 再生砕石 (t=15)m²	基礎 管渠部 Ⓑ ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5)m³	基礎 管渠部 Ⓑ 基礎型枠 m²	型枠 縁石・皿溝部 m²	型枠 管渠部 m²	ｺﾝｸﾘｰﾄ 縁石・皿溝部 m²	ｺﾝｸﾘｰﾄ 管渠部 m²	据付ﾓﾙﾀﾙ m²	ﾋｭｰﾑ管 m	縁石 m
0	1.000	0.050	0.100	0.270	1.800	0.080	0.542	0.002	1.000	1.000
0	1.000	0.050	0.100	0.270	1.800	0.080	0.542	0.002	1.000	1.000
0	1.000	0.050	0.100	0.270	1.800	0.083	0.542	0.002	1.000	1.000
0	1.000	0.050	0.100	0.270	1.800	0.083	0.542	0.002	1.000	1.000
0	1.000	0.050	0.100	0.270	1.800	0.083	0.542	0.002	1.000	1.000
0.100	1.000	0.050	0.100	0.440	1.800	0.094	0.542	0.002	1.000	1.000
0.100	1.000	0.050	0.100	0.440	1.800	0.097	0.542	0.002	1.000	1.000
0	1.000	0.050	0.100	0.270	1.800	0.090	0.542	0.002	1.000	1.000
0.815	1.000	0.050	0.100	0.270	1.800	0.080	0.542	0.002	1.000	1.000
0.815	1.000	0.050	0.100	0.270	1.800	0.080	0.542	0.002	1.000	1.000
0.850	1.000	0.050	0.100	0.270	1.800	0.083	0.542	0.002	1.000	1.000
0.850	1.000	0.050	0.100	0.270	1.800	0.083	0.542	0.002	1.000	1.000
0.850	1.000	0.050	0.100	0.270	1.800	0.083	0.542	0.002	1.000	1.000
0.865	1.000	0.050	0.100	0.440	1.800	0.094	0.542	0.002	1.000	1.000
0.900	1.000	0.050	0.100	0.440	1.800	0.097	0.542	0.002	1.000	1.000
0.850	1.000	0.050	0.100	0.270	1.800	0.090	0.542	0.002	1.000	1.000

図番

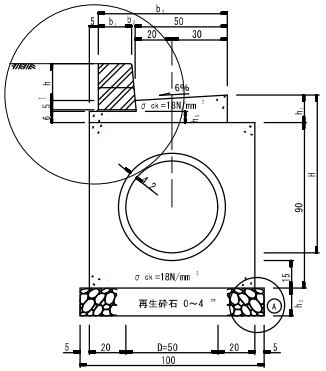
街　渠　工(NGP-C)-50

交通量区分－N6交通(C交通)

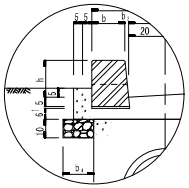
旧 名 称	GFP-C-50
新 名 称	NGP-C-50

6≦h 5 <21の場合

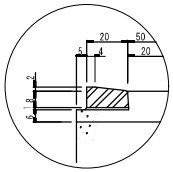
マウンドアップ型

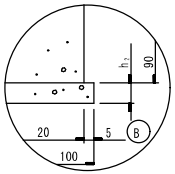


セミフラット型



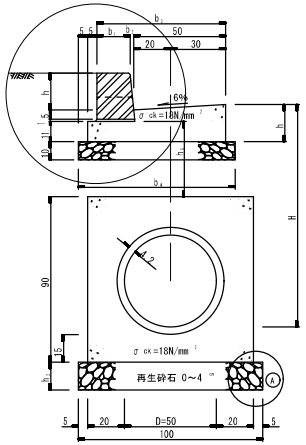
LB(新規格)



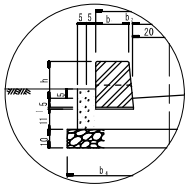


h 5 ≧21の場合

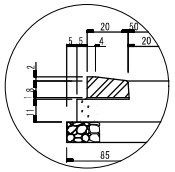
マウンドアップ型

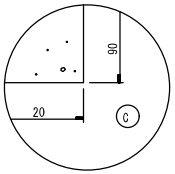


セミフラット型



LB(新規格)





Hの変化によるh 1 ,h 5 の変化

Hの変化	h	h 5
85.8 ～ 100.7	15 ～ 29.9	6 ～ 20.9
100.8 ～	20	21 ～

基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4cm
Ⓑ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=18N/mm²

ﾓﾙﾀﾙの品質

	配　合
据付ﾓﾙﾀﾙ	1 : 3
目地ﾓﾙﾀﾙ	1 : 2

寸　法　表

(cm)

○印施工	工　種	h	H	h 1	h 2			h 5	b 1	b 2	b 3	b 4
					A	B	C					
	NGP-C-A-50	15	85.8	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	0
	A 2	7	85.8	15	15	5	0	6	15.8	0.7	66.5	0
	B	20	85.8	15	15	5	0	6	18	2	70	0
	B 2	7	85.8	15	15	5	0	6	19.3	0.7	70	0
	B 3	5	85.8	15	15	5	0	6	19.9	0.1	70	0
	FA	15	85.8	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	10.0
	FB	20	85.8	15	15	5	0	6	18	2	70	10.0
	LB	2	85.8	15	15	5	0	6	20	——	70	0
	NGP-C-A-50	15	100.8	20	15	5	0	21	15	1.5	66.5	81.5
	A 2	7	100.8	20	15	5	0	21	15.8	0.7	66.5	81.5
	B	20	100.8	20	15	5	0	21	18	2	70	85
	B 2	7	100.8	20	15	5	0	21	19.3	0.7	70	85
	B 3	5	100.8	20	15	5	0	21	19.9	0.1	70	85
	FA	15	100.8	20	15	5	0	21	15	1.5	66.5	86.5
	FB	20	100.8	20	15	5	0	21	18	2	70	90
	LB	2	100.8	20	15	5	0	21	20	——	70	85

数　量　表

(1m当り)

基礎				型枠		コンクリート					
縁石・皿溝部	Ⓐ 管渠部		Ⓑ	縁石・皿溝部	管渠部	縁石・皿溝部	管渠部	据付ﾓﾙﾀﾙ	ヒューム管	縁　石
再生砕石 (t=10)m²	再生砕石 (t=15)m²	ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5)m³	基礎型枠 m²	m²	m²	m²	m²	m²	m	m
0	1.000	0.050	0.100	0.270	1.800	0.080	0.542	0.002	1.000	1.000
0	1.000	0.050	0.100	0.270	1.800	0.080	0.542	0.002	1.000	1.000
0	1.000	0.050	0.100	0.270	1.800	0.083	0.542	0.002	1.000	1.000
0	1.000	0.050	0.100	0.270	1.800	0.083	0.542	0.002	1.000	1.000
0	1.000	0.050	0.100	0.270	1.800	0.083	0.542	0.002	1.000	1.000
0.100	1.000	0.050	0.100	0.440	1.800	0.094	0.542	0.002	1.000	1.000
0.100	1.000	0.050	0.100	0.440	1.800	0.097	0.542	0.002	1.000	1.000
0	1.000	0.050	0.100	0.270	1.800	0.090	0.542	0.002	1.000	1.000
0.815	1.000	0.050	0.100	0.420	1.800	0.116	0.542	0.002	1.000	1.000
0.815	1.000	0.050	0.100	0.420	1.800	0.116	0.542	0.002	1.000	1.000
0.850	1.000	0.050	0.100	0.420	1.800	0.120	0.542	0.002	1.000	1.000
0.850	1.000	0.050	0.100	0.420	1.800	0.120	0.542	0.002	1.000	1.000
0.850	1.000	0.050	0.100	0.420	1.800	0.120	0.542	0.002	1.000	1.000
0.865	1.000	0.050	0.100	0.640	1.800	0.133	0.542	0.002	1.000	1.000
0.900	1.000	0.050	0.100	0.640	1.800	0.137	0.542	0.002	1.000	1.000
0.850	1.000	0.050	0.100	0.420	1.800	0.128	0.542	0.002	1.000	1.000

図番

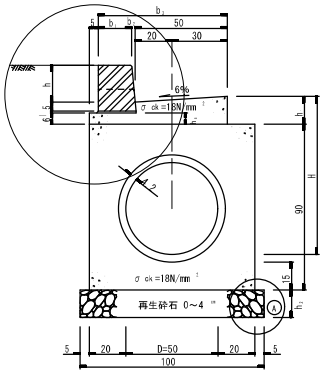
街　渠　工(NGP-D)-50

交通量区分－N7交通(D交通)

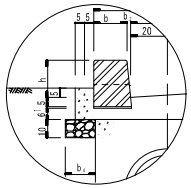
旧 名 称	GFP-D-50
新 名 称	NGP-D-50

6≦h 5 ＜26の場合

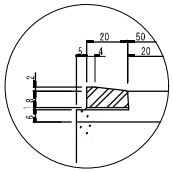
マウンドアップ型

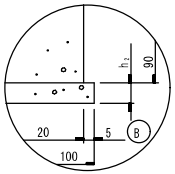


セミフラット型



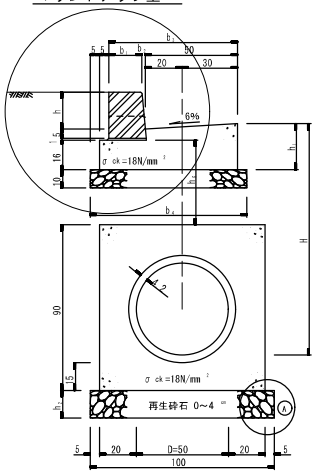
LB(新規格)



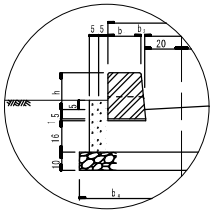


h 5 ≧26の場合

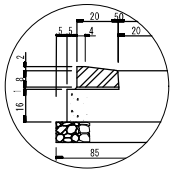
マウンドアップ型

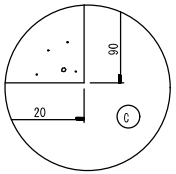


セミフラット型



LB(新規格)





Hの変化によるh 1,h 5の変化

Hの変化	h1	h5
85.8 ～ 105.7	15 ～ 34.9	6 ～ 25.9
105.8 ～	25	26 ～

基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
A	再生砕石	0～4cm
B	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=18N/mm²

ﾓﾙﾀﾙの品質

	配　合
据付ﾓﾙﾀﾙ	1 : 3
目地ﾓﾙﾀﾙ	1 : 2

寸　法　表

(cm)

○印製品	工　種	h	H	h1	h2 A	h2 B	h2 C	h5	b1	b2	b3	b4
	NGP-D-A-50	15	85.8	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	0
	A 7	7	85.8	15	15	5	0	6	15.8	0.7	66.5	0
	B	20	85.8	15	15	5	0	6	18	2	70	0
	B 7	7	85.8	15	15	5	0	6	19.3	0.7	70	0
	B 5	5	85.8	15	15	5	0	6	19.9	0.1	70	0
	FA	15	85.8	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	10.0
	FB	20	85.8	15	15	5	0	6	18	2	70	10.0
	LB	2	85.8	15	15	5	0	6	20	——	70	0
	NGP-D-A-50	15	105.8	25	15	5	0	26	15	1.5	66.5	81.5
	A 7	7	105.8	25	15	5	0	26	15.8	0.7	66.5	81.5
	B	20	105.8	25	15	5	0	26	18	2	70	85
	B 7	7	105.8	25	15	5	0	26	19.3	0.7	70	85
	B 5	5	105.8	25	15	5	0	26	19.9	0.1	70	85
	FA	15	105.8	25	15	5	0	26	15	1.5	66.5	86.5
	FB	20	105.8	25	15	5	0	26	18	2	70	90
	LB	2	105.8	25	15	5	0	26	20	——	70	85

数　量　表

(1m当り)

基礎 縁石・皿溝部 再生砕石 (t=10)m²	基礎 管渠部 A 再生砕石 (t=15)m²	基礎 管渠部 B ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5)m³	基礎 管渠部 B 基礎型枠 m²	型枠 縁石・皿溝部 m²	型枠 管渠部 m²	コンクリート 縁石・皿溝部 m²	コンクリート 管渠部 m²	据付モルタル m²	ヒューム管 m	縁石 m
0	1.000	0.050	0.100	0.270	1.800	0.080	0.542	0.002	1.000	1.000
0	1.000	0.050	0.100	0.270	1.800	0.080	0.542	0.002	1.000	1.000
0	1.000	0.050	0.100	0.270	1.800	0.083	0.542	0.002	1.000	1.000
0	1.000	0.050	0.100	0.270	1.800	0.083	0.542	0.002	1.000	1.000
0	1.000	0.050	0.100	0.270	1.800	0.083	0.542	0.002	1.000	1.000
0.100	1.000	0.050	0.100	0.440	1.800	0.094	0.542	0.002	1.000	1.000
0.100	1.000	0.050	0.100	0.440	1.800	0.097	0.542	0.002	1.000	1.000
0	1.000	0.050	0.100	0.270	1.800	0.090	0.542	0.002	1.000	1.000
0.815	1.000	0.050	0.100	0.570	1.800	0.152	0.542	0.002	1.000	1.000
0.815	1.000	0.050	0.100	0.570	1.800	0.152	0.542	0.002	1.000	1.000
0.850	1.000	0.050	0.100	0.570	1.800	0.158	0.542	0.002	1.000	1.000
0.850	1.000	0.050	0.100	0.570	1.800	0.158	0.542	0.002	1.000	1.000
0.850	1.000	0.050	0.100	0.570	1.800	0.158	0.542	0.002	1.000	1.000
0.865	1.000	0.050	0.100	0.840	1.800	0.171	0.542	0.002	1.000	1.000
0.900	1.000	0.050	0.100	0.840	1.800	0.177	0.542	0.002	1.000	1.000
0.850	1.000	0.050	0.100	0.570	1.800	0.165	0.542	0.002	1.000	1.000

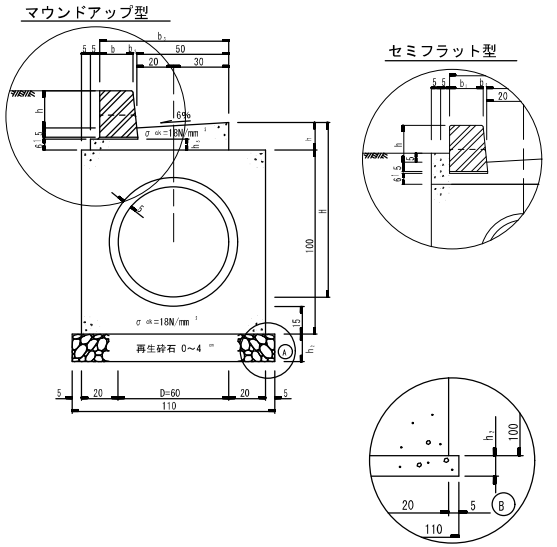
図番

街　渠　工(NGP-L)-60

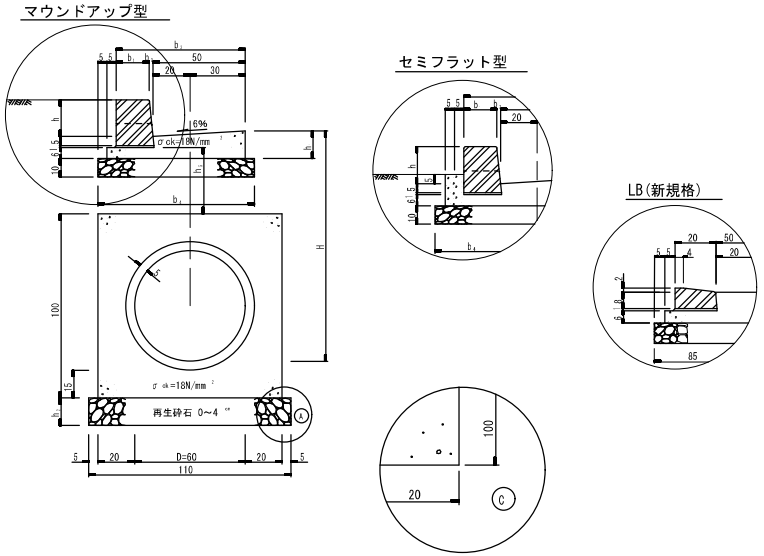
交通量区分－N1～N5交通(LAB交通)

旧 名 称	GFP-L-60
新 名 称	NGP-L-60

6≦h 5＜16の場合



h 5≧16の場合



Hの変化によるh 1,h 5の変化

Hの変化	h 1	h 5
95 ～ 104.9	15 ～ 24.9	6 ～ 15.9
105 ～	15	16 ～

基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
A	再生砕石	0～4cm
B	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σ ck =18N/mm²

ﾓﾙﾀﾙの品質

	配　合
据付ﾓﾙﾀﾙ	1 : 3
目地ﾓﾙﾀﾙ	1 : 2

寸　法　表

(cm)

○印集工	工　種	h	H	h 1	h 2 A	h 2 B	h 2 C	h 5	b 1	b 2	b 3	b 4
	NGP-L-A-60	15	95	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	0
	A 2	7	95	15	15	5	0	6	15.8	0.7	66.5	0
	B	20	95	15	15	5	0	6	18	2	70	0
	B 2	7	95	15	15	5	0	6	19.3	0.7	70	0
	B 3	5	95	15	15	5	0	6	19.9	0.1	70	0
	FA	15	95	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	0
	FB	20	95	15	15	5	0	6	18	2	70	0
	LB	2	95	15	15	5	0	6	20	——	70	0
	NGP-L-A-60	15	105	15	15	5	0	16	15	1.5	66.5	81.5
	A 2	7	105	15	15	5	0	16	15.8	0.7	66.5	81.5
	B	20	105	15	15	5	0	16	18	2	70	85
	B 2	7	105	15	15	5	0	16	19.3	0.7	70	85
	B 3	5	105	15	15	5	0	16	19.9	0.1	70	85
	FA	15	105	15	15	5	0	16	15	1.5	66.5	86.5
	FB	20	105	15	15	5	0	16	18	2	70	90
	LB	2	105	15	15	5	0	16	20	——	70	85

数　量　表

(1m当り)

基礎 縁石・皿溝部 再生砕石 (t=10)m²	基礎 管渠部 A 再生砕石 (t=15)m²	基礎 管渠部 A ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5)m³	基礎 管渠部 B 基礎型枠 m²	型枠 縁石・皿溝部 m²	型枠 管渠部 m²	ｺﾝｸﾘｰﾄ 縁石・皿溝部 m²	ｺﾝｸﾘｰﾄ 管渠部 m²	据付ﾓﾙﾀﾙ m²	ﾋｭｰﾑ管 m	縁　石 m
0	1.100	0.055	0.100	0.270	2.000	0.080	0.615	0.002	1.000	1.000
0	1.100	0.055	0.100	0.270	2.000	0.080	0.615	0.002	1.000	1.000
0	1.100	0.055	0.100	0.270	2.000	0.083	0.615	0.002	1.000	1.000
0	1.100	0.055	0.100	0.270	2.000	0.083	0.615	0.002	1.000	1.000
0	1.100	0.055	0.100	0.270	2.000	0.083	0.615	0.002	1.000	1.000
0	1.100	0.055	0.100	0.440	2.000	0.094	0.615	0.002	1.000	1.000
0	1.100	0.055	0.100	0.440	2.000	0.097	0.615	0.002	1.000	1.000
0	1.100	0.055	0.100	0.270	2.000	0.090	0.615	0.002	1.000	1.000
0.815	1.100	0.055	0.100	0.270	2.000	0.080	0.615	0.002	1.000	1.000
0.815	1.100	0.055	0.100	0.270	2.000	0.080	0.615	0.002	1.000	1.000
0.850	1.100	0.055	0.100	0.270	2.000	0.083	0.615	0.002	1.000	1.000
0.850	1.100	0.055	0.100	0.270	2.000	0.083	0.615	0.002	1.000	1.000
0.850	1.100	0.055	0.100	0.270	2.000	0.083	0.615	0.002	1.000	1.000
0.865	1.100	0.055	0.100	0.440	2.000	0.094	0.615	0.002	1.000	1.000
0.900	1.100	0.055	0.100	0.440	2.000	0.097	0.615	0.002	1.000	1.000
0.850	1.100	0.055	0.100	0.270	2.000	0.090	0.615	0.002	1.000	1.000

図番 ／

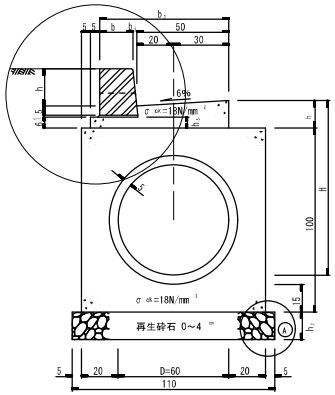
街　渠　工(NGP-C)-60

交通量区分－N6交通(C交通)

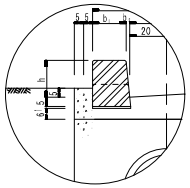
旧 名 称	GFP-C-60
新 名 称	NGP-C-60

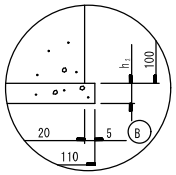
6≦h 5 <21の場合

マウンドアップ型

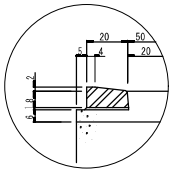


セミフラット型



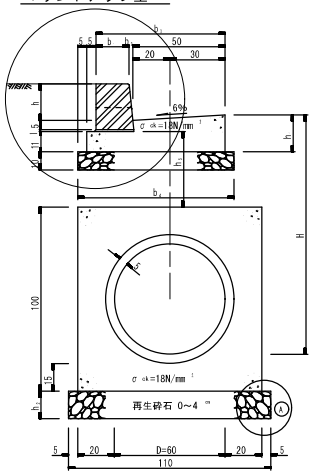


LB(新規格)

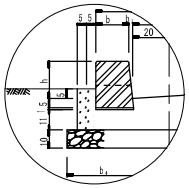


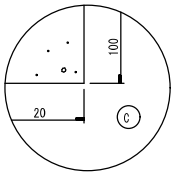
h 5 ≧21の場合

マウンドアップ型

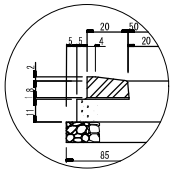


セミフラット型





LB(新規格)



Hの変化によるh 1 ,h 5 の変化

Hの変化	h1	h5
95 ～ 109.9	15 ～ 29.9	6 ～ 20.9
110 ～	20	21 ～

基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
A	再生砕石	0～4cm
B	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=18N/mm²

ﾓﾙﾀﾙの品質

	配　合
据付ﾓﾙﾀﾙ	1 : 3
目地ﾓﾙﾀﾙ	1 : 2

寸　法　表

(cm)

○印施工	工　種	h	H	h1	h2 A	h2 B	h2 C	h5	b1	b2	b3	b4
	NGP-C-A-60	15	95	15	20	10	0	6	15	1.5	66.5	0
	A 2	7	95	15	20	10	0	6	15.8	0.7	66.5	0
	B	20	95	15	20	10	0	6	18	2	70	0
	B 2	7	95	15	20	10	0	6	19.3	0.7	70	0
	B 3	5	95	15	20	10	0	6	19.9	0.1	70	0
	FA	15	95	15	20	10	0	6	15	1.5	66.5	0
	FB	20	95	15	20	10	0	6	18	2	70	0
	LB	2	95	15	20	10	0	6	20	——	70	0
	NGP-C-A-60	15	110	20	20	10	0	21	15	1.5	66.5	81.5
	A 2	7	110	20	20	10	0	21	15.8	0.7	66.5	81.5
	B	20	110	20	20	10	0	21	18	2	70	85
	B 2	7	110	20	20	10	0	21	19.3	0.7	70	85
	B 3	5	110	20	20	10	0	21	19.9	0.1	70	85
	FA	15	110	20	20	10	0	21	15	1.5	66.5	86.5
	FB	20	110	20	20	10	0	21	18	2	70	90
	LB	2	110	20	20	10	0	21	20	——	70	85

数　量　表

(1m当り)

基礎 縁石・皿溝部 再生砕石 (t=10)m²	基礎 管渠部 A 再生砕石 (t=15)m²	基礎 管渠部 B ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5)m³	基礎 管渠部 B 基礎型枠 m²	型枠 縁石・皿溝部 m²	型枠 管渠部 m²	コンクリート 縁石・皿溝部 m²	コンクリート 管渠部 m²	据付モルタル m²	ヒューム管 m	縁石 m
0	1.100	0.055	0.100	0.270	2.000	0.080	0.615	0.002	1.000	1.000
0	1.100	0.055	0.100	0.270	2.000	0.080	0.615	0.002	1.000	1.000
0	1.100	0.055	0.100	0.270	2.000	0.083	0.615	0.002	1.000	1.000
0	1.100	0.055	0.100	0.270	2.000	0.083	0.615	0.002	1.000	1.000
0	1.100	0.055	0.100	0.270	2.000	0.083	0.615	0.002	1.000	1.000
0	1.100	0.055	0.100	0.440	2.000	0.094	0.615	0.002	1.000	1.000
0	1.100	0.055	0.100	0.440	2.000	0.097	0.615	0.002	1.000	1.000
0	1.100	0.055	0.100	0.270	2.000	0.090	0.615	0.002	1.000	1.000
0.815	1.100	0.055	0.100	0.420	2.000	0.116	0.615	0.002	1.000	1.000
0.815	1.100	0.055	0.100	0.420	2.000	0.116	0.615	0.002	1.000	1.000
0.850	1.100	0.055	0.100	0.420	2.000	0.120	0.615	0.002	1.000	1.000
0.850	1.100	0.055	0.100	0.420	2.000	0.120	0.615	0.002	1.000	1.000
0.850	1.100	0.055	0.100	0.420	2.000	0.120	0.615	0.002	1.000	1.000
0.865	1.100	0.055	0.100	0.640	2.000	0.133	0.615	0.002	1.000	1.000
0.900	1.100	0.055	0.100	0.640	2.000	0.137	0.615	0.002	1.000	1.000
0.850	1.100	0.055	0.100	0.420	2.000	0.128	0.615	0.002	1.000	1.000

図番

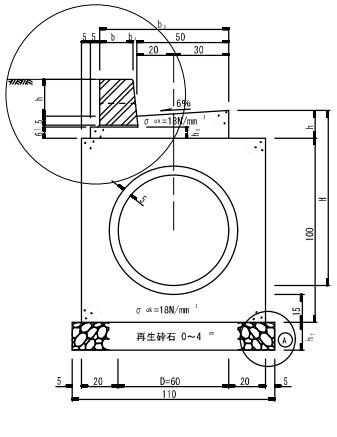
街　渠　工(NGP-D)-60

交通量区分－N7交通(D交通)

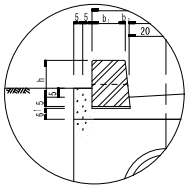
旧 名 称	GFP-D-60
新 名 称	NGP-D-60

6≦h 5＜26の場合

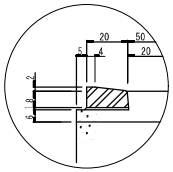
マウンドアップ型

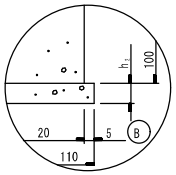


セミフラット型



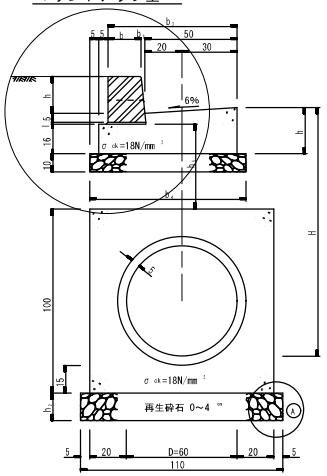
LB(新規格)



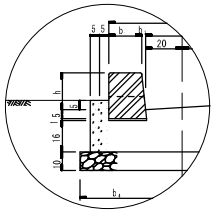


h 5≧26の場合

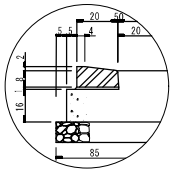
マウンドアップ型

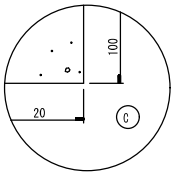


セミフラット型



LB(新規格)





Hの変化によるh 1,h 5の変化

Hの変化	h 1	h 5
95 ～ 114.9	15 ～ 34.9	6 ～ 25.9
115 ～	25	26 ～

基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4cm
Ⓑ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σ ck=18N/mm²

ﾓﾙﾀﾙの品質

	配　合
据付ﾓﾙﾀﾙ	1 : 3
目地ﾓﾙﾀﾙ	1 : 2

寸　法　表

(cm)

○印集計	工　種	h	H	h 1	h 2			h 5	b 1	b 2	b 3	b 4
					A	B	C					
	NGP-D-A-60	15	95	15	20	10	0	6	15	1.5	66.5	0
	A 2	7	95	15	20	10	0	6	15.8	0.7	66.5	0
	B	20	95	15	20	10	0	6	18	2	70	0
	B 2	7	95	15	20	10	0	6	19.3	0.7	70	0
	B 3	5	95	15	20	10	0	6	19.9	0.1	70	0
	FA	15	95	15	20	10	0	6	15	1.5	66.5	0
	FB	20	95	15	20	10	0	6	18	2	70	0
	LB	2	95	15	20	10	0	6	20	——	70	0
	NGP-D-A-60	15	115	25	20	10	0	26	15	1.5	66.5	81.5
	A 2	7	115	25	20	10	0	26	15.8	0.7	66.5	81.5
	B	20	115	25	20	10	0	26	18	2	70	85
	B 2	7	115	25	20	10	0	26	19.3	0.7	70	85
	B 3	5	115	25	20	10	0	26	19.9	0.1	70	85
	FA	15	115	25	20	10	0	26	15	1.5	66.5	86.5
	FB	20	115	25	20	10	0	26	18	2	70	90
	LB	2	115	25	20	10	0	26	20	——	70	85

数　量　表

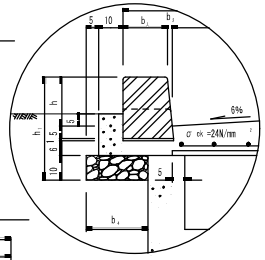
(1m当り)

基礎 縁石・皿溝部 再生砕石 (t=10)m²	基礎 管渠部 Ⓐ 再生砕石 (t=15)m²	基礎 管渠部 Ⓐ ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5)m³	基礎 管渠部 Ⓑ 基礎型枠 m²	型枠 縁石・皿溝部 m²	型枠 管渠部 m²	コンクリート 縁石・皿溝部 m²	コンクリート 管渠部 m²	据付ﾓﾙﾀﾙ m²	ヒューム管 m	縁石 m
0	1.100	0.055	0.100	0.270	2.000	0.080	0.615	0.002	1.000	1.000
0	1.100	0.055	0.100	0.270	2.000	0.080	0.615	0.002	1.000	1.000
0	1.100	0.055	0.100	0.270	2.000	0.083	0.615	0.002	1.000	1.000
0	1.100	0.055	0.100	0.270	2.000	0.083	0.615	0.002	1.000	1.000
0	1.100	0.055	0.100	0.270	2.000	0.083	0.615	0.002	1.000	1.000
0	1.100	0.055	0.100	0.440	2.000	0.094	0.615	0.002	1.000	1.000
0	1.100	0.055	0.100	0.440	2.000	0.097	0.615	0.002	1.000	1.000
0	1.100	0.055	0.100	0.270	2.000	0.090	0.615	0.002	1.000	1.000
0.815	1.100	0.055	0.100	0.570	2.000	0.152	0.615	0.002	1.000	1.000
0.815	1.100	0.055	0.100	0.570	2.000	0.152	0.615	0.002	1.000	1.000
0.850	1.100	0.055	0.100	0.570	2.000	0.158	0.615	0.002	1.000	1.000
0.850	1.100	0.055	0.100	0.570	2.000	0.158	0.615	0.002	1.000	1.000
0.850	1.100	0.055	0.100	0.570	2.000	0.158	0.615	0.002	1.000	1.000
0.865	1.100	0.055	0.100	0.840	2.000	0.171	0.615	0.002	1.000	1.000
0.900	1.100	0.055	0.100	0.840	2.000	0.177	0.615	0.002	1.000	1.000
0.850	1.100	0.055	0.100	0.570	2.000	0.165	0.615	0.002	1.000	1.000

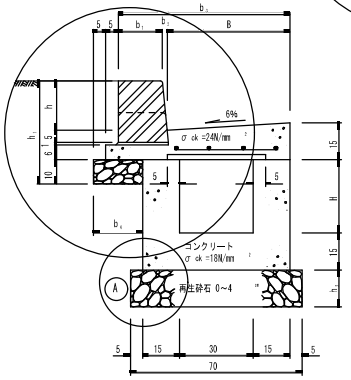
図番

街　渠　工(NGU型)

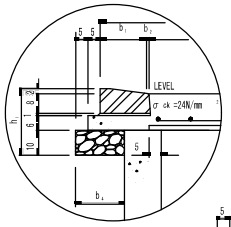
セミフラット型(A)(B)

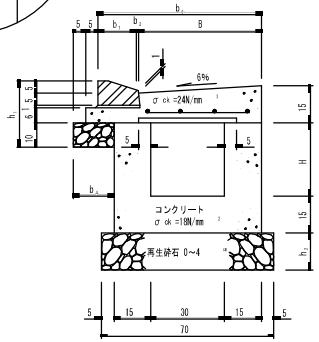


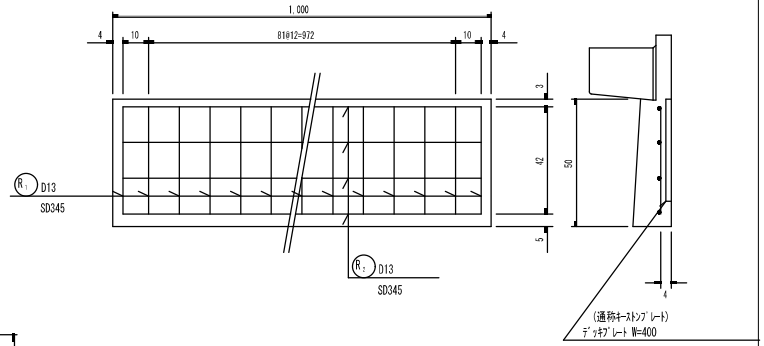
マウンドアップ型(A)(B)

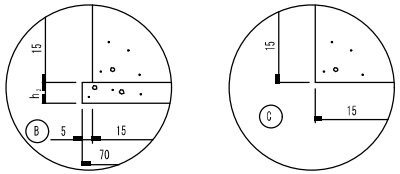


切下用(LB)(新規格)









寸　法　表

(cm)

工種	h	H	h_1	h_2 A	h_2 B	h_2 C	B	b_1	b_2	b_3	b_4
NGU－A－30	15	30	37	15	5	0	50	15	1.5	66.5	16.5
A_2	7	30	29	15	5	0	50	15.8	0.7	66.5	16.5
B	20	30	42	15	5	0	50	18	2	70	20
B_2	7	30	29	15	5	0	50	19.3	0.7	70	20
B_3	5	30	27	15	5	0	50	19.9	0.1	70	20
FA	15	30	37	15	5	0	50	15	1.5	66.5	21.5
FB	20	30	42	15	5	0	50	18	2	70	25
LB	2	30	27	15	5	0	50	20	——	70	20

数　量　表

(1m当り)

基礎 縁石・縁溝部 再生砕石 (t=10) m^2	基礎 側溝部 A 再生砕石 (t=15) m^2	基礎 側溝部 B コンクリート (t=5) m^3	基礎 側溝部 B 型枠 m^2	型枠 縁石・縁溝部 m^2	型枠 管渠部 m^2	コンクリート 縁石・縁溝部 m^3	コンクリート 管渠部 m^3	据付モルタル m^3	縁石 m	型枠 ネーストンプレート m^2	鉄筋 D13 kg
0.165	0.700	0.035	0.100	0.270	1.800	0.075	0.180	0.002	1.000	0.400	7.487
0.165	0.700	0.035	0.100	0.270	1.800	0.075	0.180	0.002	1.000	0.400	7.487
0.200	0.700	0.035	0.100	0.270	1.800	0.078	0.180	0.002	1.000	0.400	7.487
0.200	0.700	0.035	0.100	0.270	1.800	0.078	0.180	0.002	1.000	0.400	7.487
0.200	0.700	0.035	0.100	0.270	1.800	0.078	0.180	0.002	1.000	0.400	7.487
0.215	0.700	0.035	0.100	0.440	1.800	0.089	0.180	0.002	1.000	0.400	7.487
0.250	0.700	0.035	0.100	0.440	1.800	0.092	0.180	0.002	1.000	0.400	7.487
0.200	0.700	0.035	0.100	0.270	1.800	0.085	0.180	0.002	1.000	0.400	7.487

図番

プレキャスト街渠（基本（新規格））

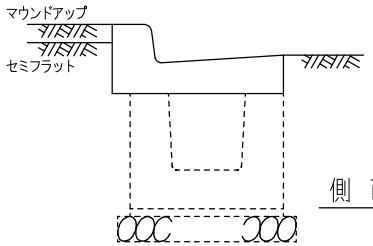
記号	PG(U)(F)
地整図面番号	L-1

標準施工断面図

PGU(F)

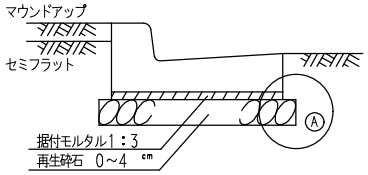
U型側溝の上に蓋版として設置する場合

※L U側溝に使用できる。



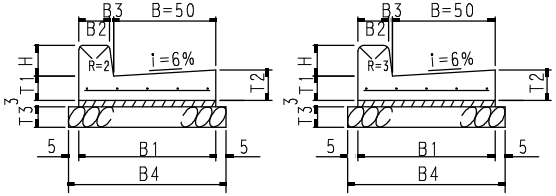
PG(F)

基礎材の上に直接設置する場合

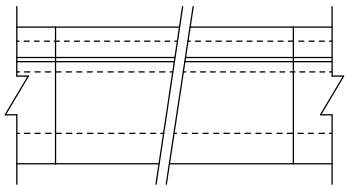


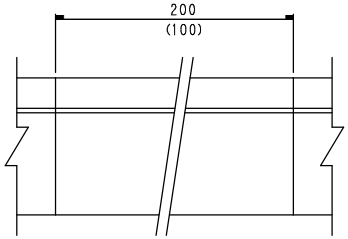
断面図

FA（セミフラット型（Aタイプ））　FB（セミフラット型（Bタイプ））

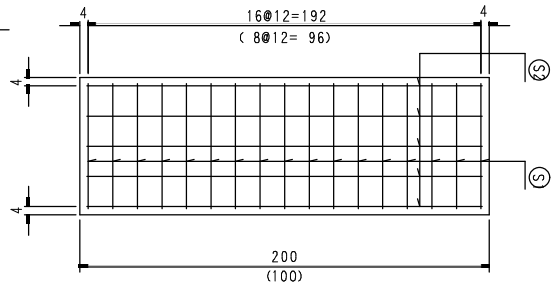


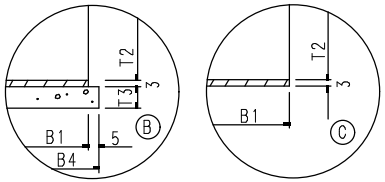
標準施工平面図





側面図





基礎の種類

区分	品質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4cm
Ⓑ	コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$

［ 適用範囲 ］

1. 活荷重は、一般車両のT－25とし道路と平行に載荷する。

寸法表

（cm）

○印施工	記号	工種	B	H	B1	B2	B3	B4	T1	T2	T3 A	T3 B	質量（参考）(kg/個) 2.0m	1.0m
	PG(F)515-A	500A×15	50	15	66.5	15	1.5	76.5	12	15	10	5	539	263
	PG(F)520-A	500A×20	50	15	66.5	15	1.5	76.5	17	20	10	5	688	342
	PG(F)525-A	500A×25	50	15	66.5	15	1.5	76.5	22	25	10	5	848	422
	PG(F)515-B	500B×15	50	20	70.0	18	2.0	80.0	12	15	10	5	615	306
	PG(F)520-B	500B×20	50	20	70.0	18	2.0	80.0	17	20	10	5	783	389
	PG(F)525-B	500B×25	50	20	70.0	18	2.0	80.0	22	25	10	5	951	473
	PG-515-C	500C×15	50	25	70.5	18	2.5	80.5	12	15	10	5	659	329
	PG-520-C	500C×20	50	25	70.5	18	2.5	80.5	17	20	10	5	826	412
	PG-525-C	500C×25	50	25	70.5	18	2.5	80.5	22	25	10	5	992	494

数量表

（1m当り）

基礎 Ⓐ 再生砕石 (t=10)m²	基礎 Ⓑ コンクリート (t=5)m³	基礎 Ⓑ 型枠 m²	据付モルタル m³	プレキャスト 延長 m
0.765	0.038	0.100	0.020	1.000
0.765	0.038	0.100	0.020	1.000
0.765	0.038	0.100	0.020	1.000
0.800	0.040	0.100	0.021	1.000
0.800	0.040	0.100	0.021	1.000
0.800	0.040	0.100	0.021	1.000
0.805	0.040	0.100	0.021	1.000
0.805	0.040	0.100	0.021	1.000
0.805	0.040	0.100	0.021	1.000

図番 ／

プレキャスト街渠(基本(新規格))

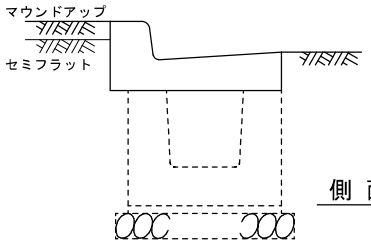
記　号	PG(U)
地整図面番号	L-1

標準施工断面図

ＰＧＵ

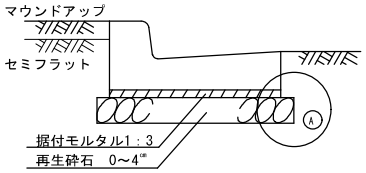
U型側溝の上に蓋版として設置する場合

※ＬＵ側溝に使用できる。

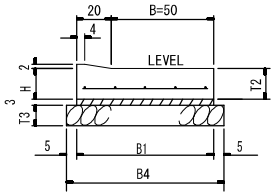


ＰＧ

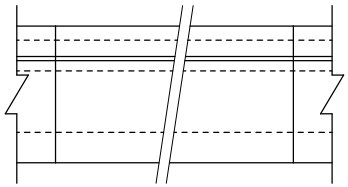
基礎材の上に直接設置する場合

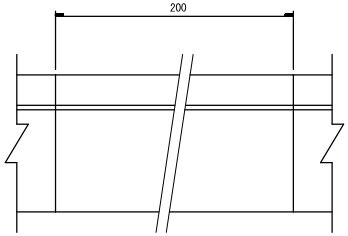


ＬＢ<切下用カラー(新規格)>

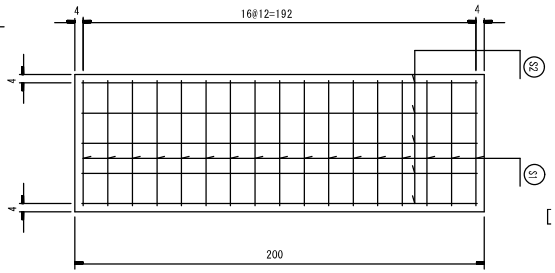


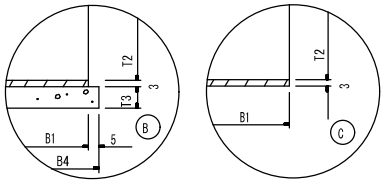
標準施工平面図





側面図





基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4cm
Ⓑ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σ_{ck} =18N/mm^2

［ 適用範囲 ］

1．活荷重は、一般車両のT-25とし道路と平行に載荷する。

寸　法　表

(cm)

○印集工	記号	工種	B	H	B1	B2	B3	B4	T1	T2	T3 A	T3 B	質量(参考)(kg/個) 2.0m	質量(参考)(kg/個) 1.5m
	PG515-N-LB	切下用Lカラー LAB交通	50	15	70.0	——	——	80.0	——	15	10	5	506	——
	PG520-N-LB	切下用Lカラー C交通	50	20	70.0	——	——	80.0	——	20	10	5	671	——
	PG525-N-LB	切下用Lカラー D交通	50	25	70.0	——	——	80.0	——	25	10	5	836	——

数　量　表

(1m当り)

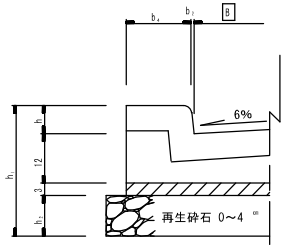
基礎 Ⓐ 再生砕石 (t=10) m^2	基礎 Ⓑ ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5) m^3	基礎 Ⓑ 型枠 m^2	据付モルタル m^3	プレキャスト街渠 m
0.800	0.040	0.100	0.021	1.000
0.800	0.040	0.100	0.021	1.000
0.800	0.040	0.100	0.021	1.000

図番

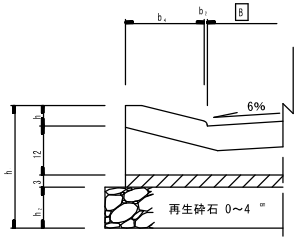
プレキャスト街渠(車道乗入)

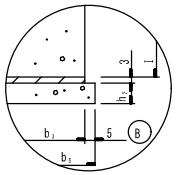
旧 名 称	PG(U)-A2, B2, B3
新 名 称	PG515-N-A2, B2, B3

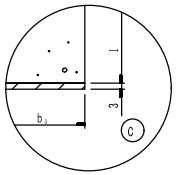
PG515-N-A(B)2



PG515-N-B3







基礎の種類

区分	品 質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4cm
Ⓑ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σ_{ck} =18N/mm^2

寸 法 表

(cm)

○印施工	工 種	B	h	I	h1 A	h1 B	h1 C	h2 A	h2 B	b2	b3	b4	b5	L			質量(kg/個) 2.0m	質量(kg/個) 1.0m
	PG515-N-A2	50	7	15	32	27	22	10	5	0.7	66.5	15.8	76.5	99.5	—	199.5	465	232
	PG515-N-B2	50	7	15	32	27	22	10	5	0.7	70	19.3	80	99.5	—	199.5	495	247
	PG515-N-B3	50	5	15	30	25	20	10	5	0.1	70	19.9	80	99.5	—	199.5	463	231

数 量 表

(1m当り)

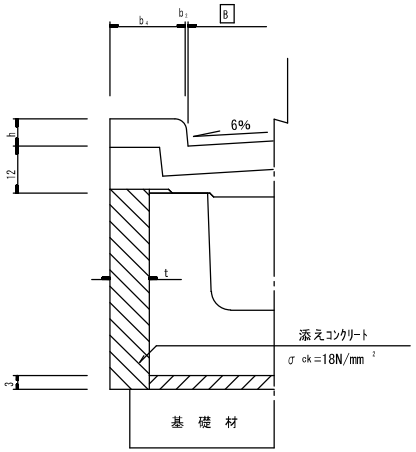
	基礎 Ⓐ 再生砕石 (t=10)m^2	基礎 Ⓑ ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5)m^3	基礎 Ⓑ 型枠 m^2	モルタル m^3	プレキャスト街渠 m
PG515-N-A2	0.765	0.038	0.100	0.020	1.000
PG515-N-B2	0.800	0.040	0.100	0.021	1.000
PG515-N-B3	0.800	0.040	0.100	0.021	1.000

図番

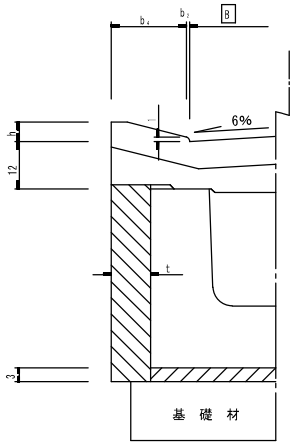
プレキャスト街渠(車道乗入)

旧 名 称	PGU-A2, B2, B3
新 名 称	PGU-N-A2, B2, B3

PGU-N-A(B)2



PGU-N-B3



※添えコンクリートは別途計上

基礎の種類

区分	品 質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4cm
Ⓑ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=18N/mm²

寸 法 表

(cm)

○印施工	工 種	B	h	I	h1			h2		b2	b3	b4	b5	L		質量(kg/個)	
					A	B	C	A	B							2.0m	1.0m
	PGU-N-A2	50	7	15	——	——	——	——	——	0.7	——	15.8	——	99.5	199.5	469	234
	PGU-N-B2	50	7	15	——	——	——	——	——	0.7	——	19.3	——	99.5	199.5	498	248
	PGU-N-B3	50	5	15	——	——	——	——	——	0.1	——	19.9	——	99.5	199.5	466	232

数 量 表

(1m当り)

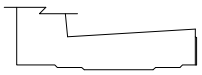
t		基礎 Ⓐ 再生砕石 (t=10)m²	基礎 Ⓑ ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5)m³	モルタル m³	プレキャスト街渠 m
A	B				
6.5	——	——	——	——	1.000
——	10	——	——	——	1.000
——	10	——	——	——	1.000

図番 ／

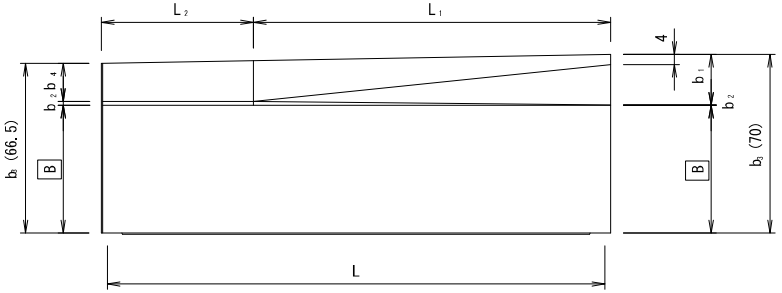
プレキャスト街渠(車道すりつけ)

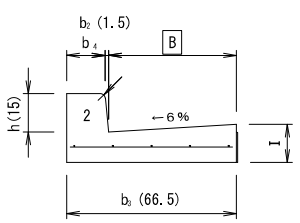
PG515-S-A-B3 L=200

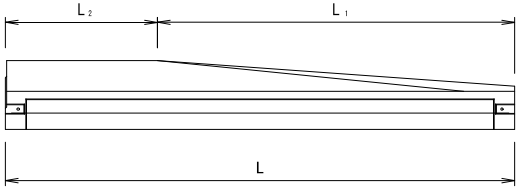
旧名称	PG-B3-S
新名称	PG515-S-A-B3

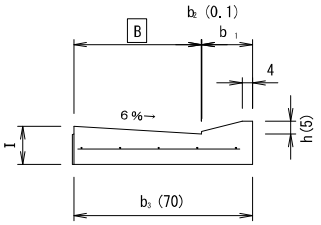


PGU型の場合の底部形状は、上図の通りとなる。









［適用範囲］

1．活荷重は、一般車両のT-25とし道路と平行に用いる。

寸法表

(cm)

○印着工	工種	B	h	I	b1	b2	b3	b4	R	L	L1	L2			質量(kg/個) 2.0m	質量(kg/個) 1.0m	
	PG515-S-A-B3	50	15～5	15	19.9	1.5～0.1	66.5～70	15	—	199.5	140	59.5			502	—	

数量表

(1m当り)

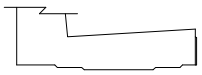
プレキャスト街渠 m												
1.000												

図番

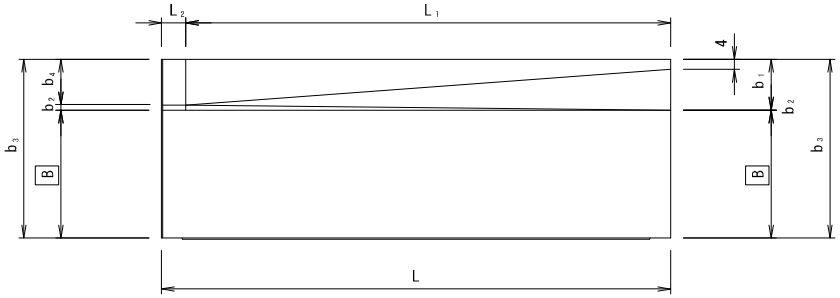
プレキャスト街渠(車道すりつけ)

PG515-S-B-B3 L=200

旧名称	
新名称	PG515-S-B-B3

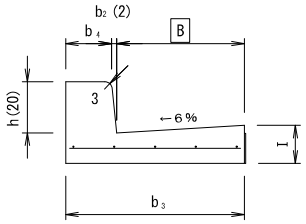


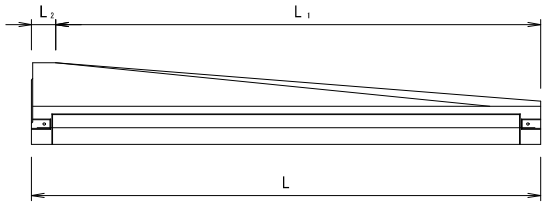
PGU型の場合の底部形状は、上図の通りとなる。

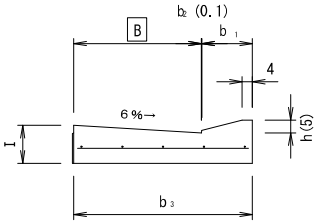


［適用範囲］

1．活荷重は、一般車両のT-25とし道路と平行に用いる。







寸法表

(cm)

○印施工	工種	B	h	I	b1	b2	b3	b4	R	L	L1	L2			質量(kg/個) 2.0m	質量(kg/個) 1.0m
	PG515-S-B-B3	50	20～5	15	19.9	2.0～0.1	70	18	—	199.5	190	9.5			540	—

数量表

(1m当り)

	プレキャスト街渠 m												
	1.000												

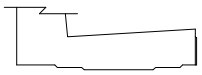
図番

No. 59-3

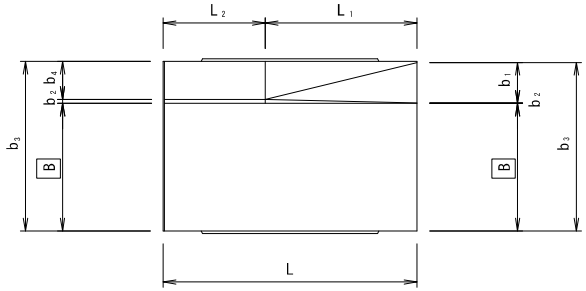
プレキャスト街渠(車道すりつけ)

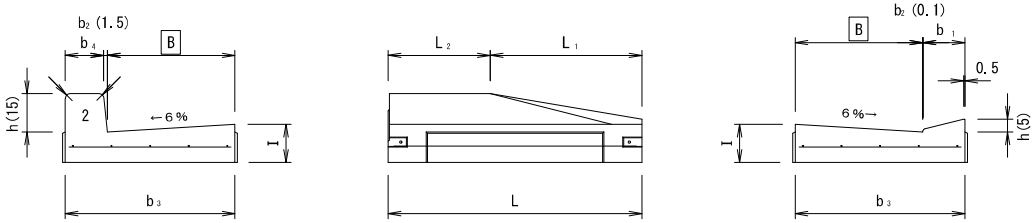
PGF515-S4-A-B3 L=100

旧名称	
新名称	PG515-S4-A-B3



PGU型の場合の底部形状は、上図の通りとなる。





［適用範囲］

1．活荷重は、一般車両のT-25とし道路と平行に用いる。

寸法表

(cm)

○印着工	工種	B	h	I	b_1	b_2	b_3	b_4	R	L	L_1	L_2				質量(kg/個) 2.0m	質量(kg/個) 1.0m
	PGF515-S4-A-B3	50	15～5	15	16.4	1.5～0.1	66.5	15	—	99.5	59.5	40				—	250

数量表

(1m当り)

	プレキャスト街渠 m
	1.000

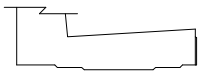
図番 ／

No. 59-4

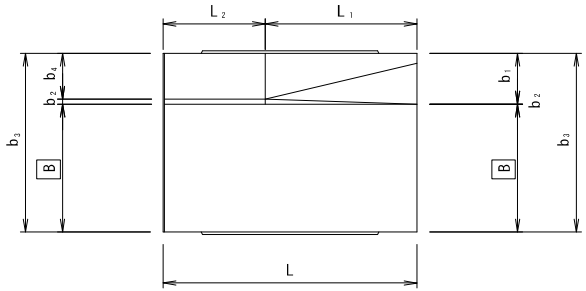
プレキャスト街渠(車道すりつけ)

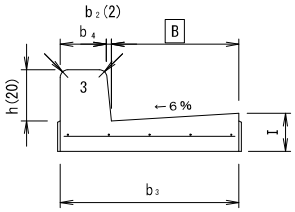
PGF515-S4-B-B3 L=100

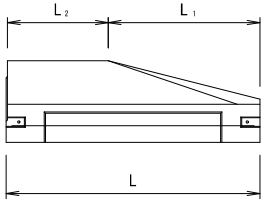
旧名称	
新名称	PG515-S4-B-B3

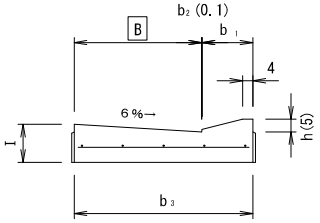


PGU型の場合の底部形状は、上図の通りとなる。









［適用範囲］

1．活荷重は、一般車両のT-25とし道路と平行に用いる。

寸法表

(cm)

○印形工	工種	B	h	I	b1	b2	b3	b4	R	L	L1	L2				質量(kg/個) 2.0m	質量(kg/個) 1.0m
	PGF515-S4-B-B3	50	20～5	15	19.9	2.0～0.1	70	18	—	99.5	59.5	40				—	284

数量表

(1m当り)

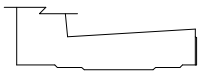
プレキャスト街渠 m	
	1.000

図番

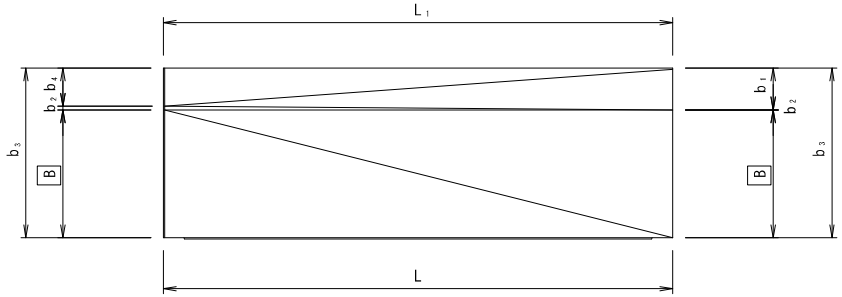
プレキャスト街渠(歩道すりつけ)

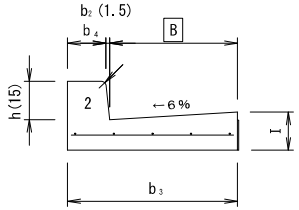
PG515-S0-A-LB L=200

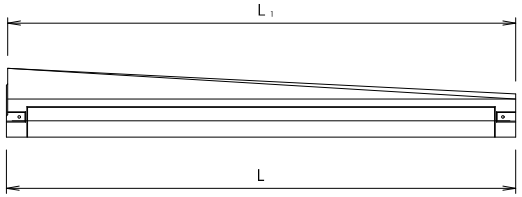
旧名称	
新名称	PG515-S0-A-LB

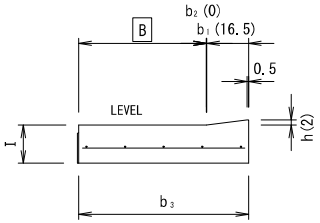


PGU型の場合の底部形状は、上図の通りとなる。









［適用範囲］

1．活荷重は、一般車両のT-25とし道路と平行に用いる。

寸法表

(cm)

○印着工	工種	B	h	I	b_1	b_2	b_3	b_4	R	L	L_1	L_2				質量(kg/個) 2.0m	質量(kg/個) 1.0m
	PG515-S0-A-LB	50	15～2	15	16.5	1.5～0	66.5	15	—	199.5	199.5	—				500	—

数量表

(1m当り)

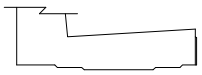
プレキャスト街渠 m	
	1.000

図番 ／

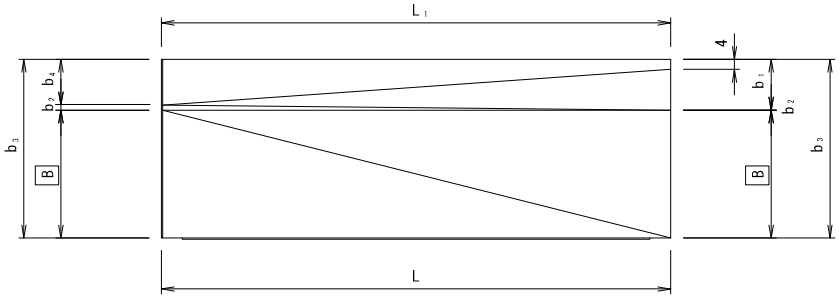
プレキャスト街渠(歩道すりつけ)

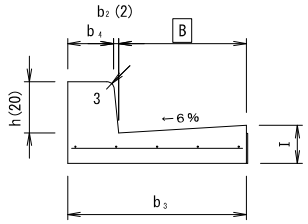
PG515-S-B-LB L=200

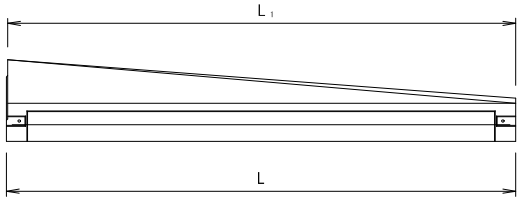
旧名称	
新名称	PG515-S-B-LB

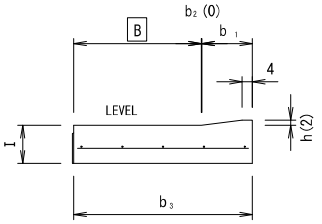


PGU型の場合の底部形状は、上図の通りとなる。









［適用範囲］

1．活荷重は、一般車両のT-25とし道路と平行に用いる。

寸法表

(cm)

○印形工	工種	B	h	I	b1	b2	b3	b4	R	L	L1	L2				質量(kg/個) 2.0m	質量(kg/個) 1.0m
	PG515-S-B-LB	50	20～2	15	20	2.0～0	70	18	—	199.5	199.5	—				558	—

数量表

(1m当り)

個 プレキャスト街渠												
1.000												

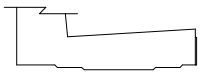
図番

No. 60-5

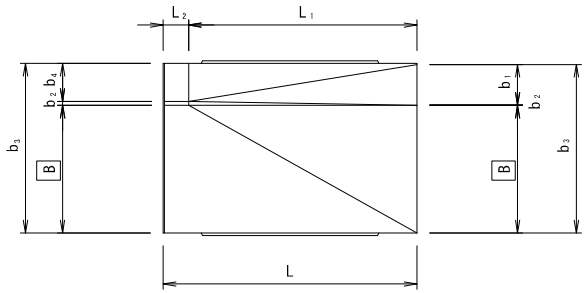
プレキャスト街渠(歩道すりつけ)

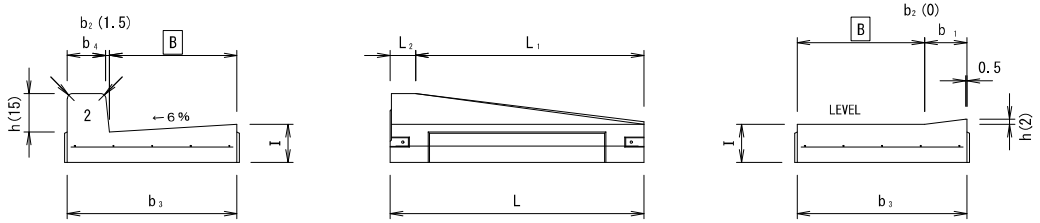
PGF515-S-A-LB L=100

旧名称	
新名称	PGF515-S-A-LB



PGU型の場合の底部形状は、上図の通りとなる。





［適用範囲］

1．活荷重は、一般車両のT-25とし道路と平行に用いる。

寸法表

(cm)

○印形工	工種	B	h	I	b_1	b_2	b_3	b_4	R	L	L_1	L_2				質量(kg/個) 2.0m	質量(kg/個) 1.0m
	PGF515-S-A-LB	50	15～2	15	16.5	1.5～0	66.5	15	—	99.5	89.5	10				—	253

数量表

(1m当り)

㎡プレキャスト街渠	
	1.000

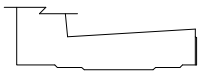
図番

No. 60-6

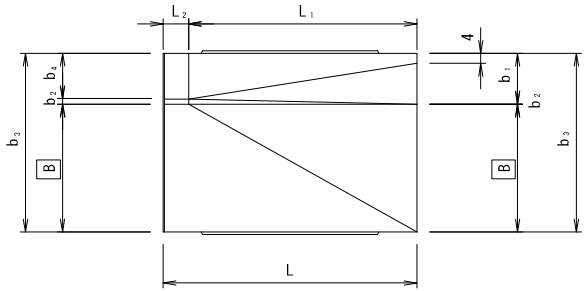
プレキャスト街渠(歩道すりつけ)

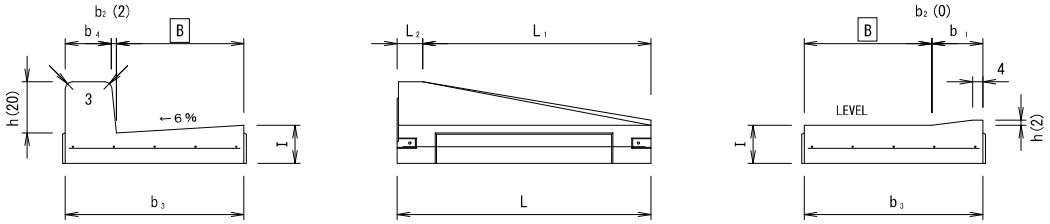
PGF515-S-B-LB L=100

旧名称	
新名称	PGF515-S-B-LB



PGU型の場合の底部形状は、上図の通りとなる。





［適用範囲］

1．活荷重は、一般車両のT-25とし道路と平行に用いる。

寸法表

(cm)

○印異工	工種	B	h	I	b_1	b_2	b_3	b_4	R	L	L_1	L_2				質量(kg/個) 2.0m	質量(kg/個) 1.0m
	PGF515-S-B-LB	50	20～2	15	20	2.0～0	70	18	—	99.5	89.5	10				—	283

数量表

(1m当り)

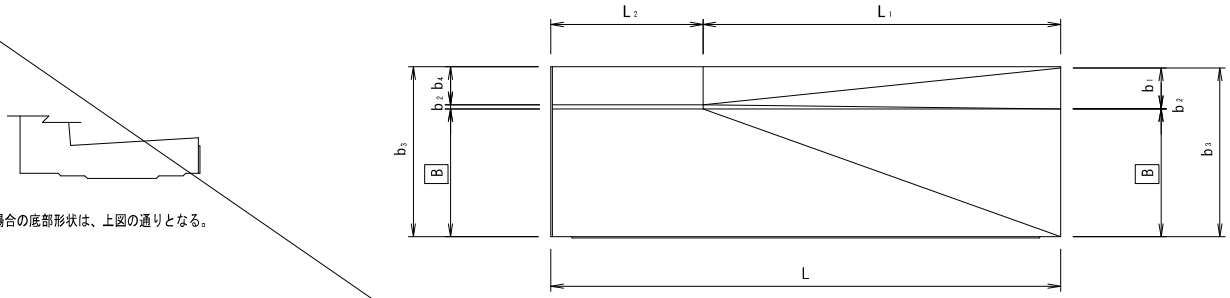
側プレキャスト街渠												
1.000												

図番

参考図

プレキャスト街渠(歩道すりつけ)

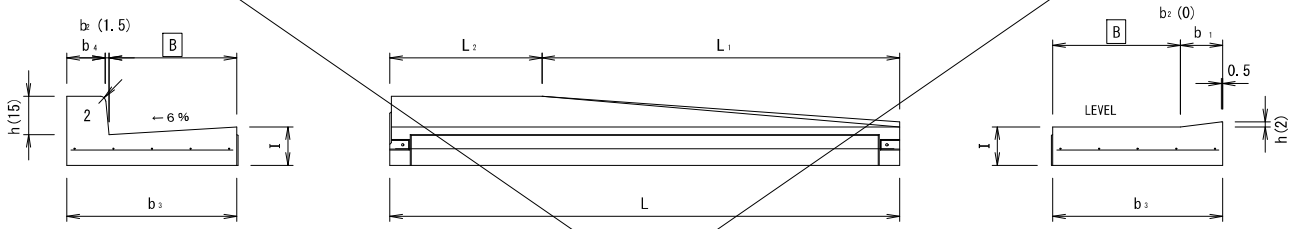
PG515-S6-A-LB L=200



PGU型の場合の底部形状は、上図の通りとなる。

［適用範囲］

1．活荷重は、一般車両のT-25とし道路と平行に用いる。



寸　法　表

(cm)

記号	工種	B	h	I	b_1	b_2	b_3	b_4	R	L	L_1	L_2			質量(kg/個) 2.0m	1.0m
	PG515-S6-A-LB	50	15～2	15	16.5	1.5～0	66.5	15	—	199.5	140	59.5			507	—

数　量　表

(1m当り)

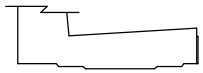
記号	m プレキャスト街渠															
	1.000															

図番

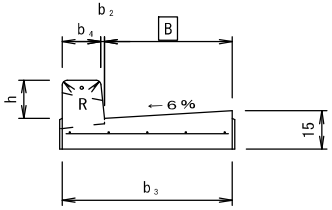
参考図

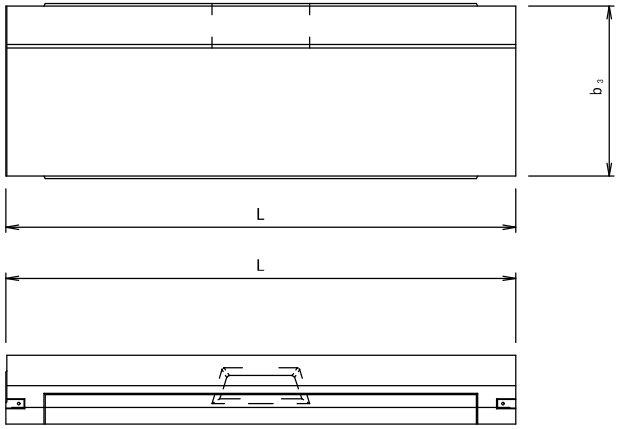
プレキャスト街渠(水抜用)

PGF515-W-A, B L=200



PGU型の場合の底部形状は、上図の通りとなる。





[適用範囲]

1．活荷重は、一般車両のT-25とし道路と平行に用いる。

( )内はBブロック

NO	種別	質量(kg)	
		L=2.0m	L=1.0m
W-A	単体使用製品質量	515	249
	組合せ使用製品質量	519	251
W-B	単体使用製品質量	595	286
	組合せ使用製品質量	597	287

寸法表

(cm)

○印施工	工種	B	h	I	b_1	b_2	b_3	b_4	R	L	L_1	L_2	質量(kg/個) 2.0m	質量(kg/個) 1.0m
	PGF515-W-A	50	15	15	–	1.5	66.5	15	2	199.5	–	–	515	249
	PGF515-W-B	50	20	15	–	2.0	70	18	3	199.5	–	–	595	286

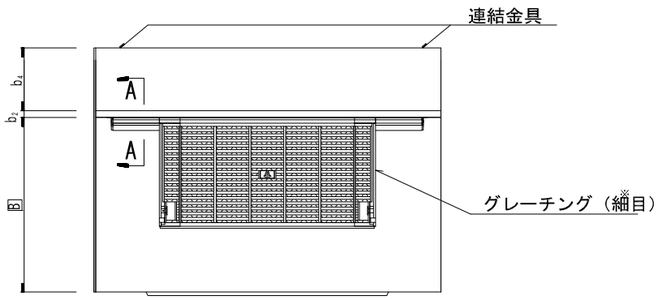
数量表

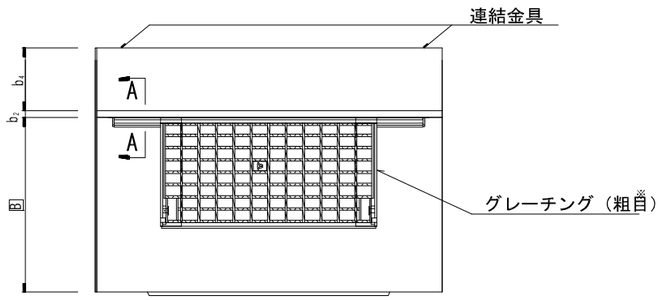
(1m当り)

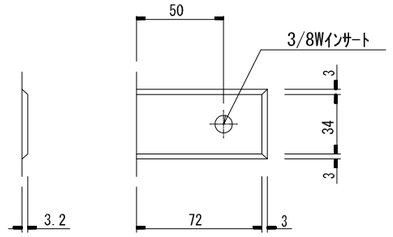
	m プレキャスト街渠
PGF515-W-A	1.000
PGF515-W-B	1.000

図番

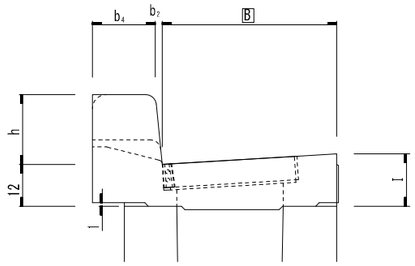
プレキャスト街渠(桝)

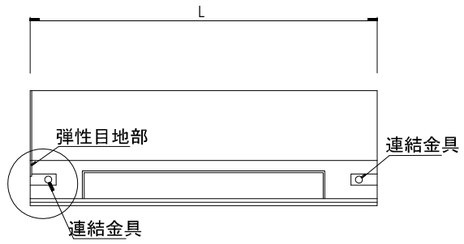




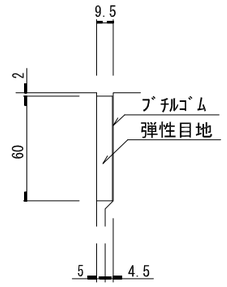


連結金具部詳細図　(mm)

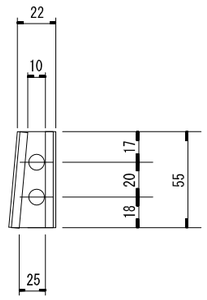




※神戸市章付　180°開閉式 スリットタイプ（テーパー付）を標準とする。
グレーチング:285x600
受け枠:317x620



弾性目地部詳細　(mm)



スリット部詳細（Ａ－Ａ断面）

寸　法　表　(cm)

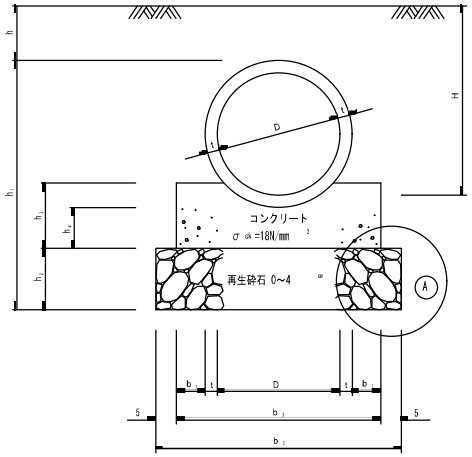
○印施工	工　種	B	h	I	b_2	b_4	L										
	PGU - K - A	50	15	15	1.5	15.0	99.5										
	PGU - K - B	50	20	15	2.0	18.0	99.5										
	PGU - NK - A2	50	7	15	0.7	15.8	99.5										
	PGU - NK - B3	50	5	15	0.1	19.9	99.5										
	PGUF - K - A	50	15	15	1.5	15.0	99.5										
	PGUF - K - B	50	20	15	2.0	18.0	99.5										
	PGU - NKH - A2	50	7	15	0.7	15.8	99.5										
	PGU - NKH - B3	50	5	15	0.1	19.9	99.5										

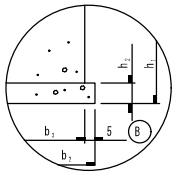
数　量　表　(1m当り)

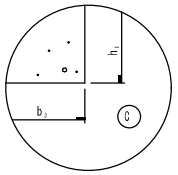
m プレキャスト街渠											質量 (kg/個) 1.0m	
1.000											230	
1.000											272	
1.000											201	
1.000											199	
1.000											233	
1.000											275	
1.000											201	
1.000											199	

図番

管 渠 工（PH1）







基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
A	再生砕石	0～4cm
B	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σ_{ck} =18N/mm²

寸　法　表

(cm)

○印	工　種	D	h_1			h_2		h_3	h_4	t	b_1	b_2	b_3				
			A	B	C	A	B										
	PH₁－（200）	20	50.4	40.4	35.4	15	5	14	10	2.7	7.3	50	40				
	（250）	25	55.6	45.6	40.6	15	5	15	10	2.8	7.2	55	45				
	（300）	30	61.0	51.0	46.0	15	5	16	10	3.0	7.0	60	50				
	（350）	35	66.4	56.4	51.4	15	5	17	10	3.2	6.8	65	55				
	（400）	40	77.0	67.0	62.0	15	5	22	15	3.5	4.0	65	55				
	（450）	45	82.6	72.6	67.6	15	5	23	15	3.8	3.7	70	60				
	（500）	50	88.4	78.4	73.4	15	5	24	15	4.2	3.3	75	65				
	（600）	60	105.0	95.0	85.0	20	10	26	15	5.0	2.5	85	75				
	（700）	70	121.6	111.6	101.6	20	10	32	20	5.8	1.7	95	85				
	（800）	80	133.2	123.2	113.2	20	10	34	20	6.6	0.9	105	95				
	（900）	90	145.0	135.0	125.0	20	10	36	20	7.5	0	115	105				
	（1000）	100	156.4	146.4	136.4	20	10	38	20	8.2	1.8	130	120				
	（1100）	110	172.6	162.6	152.6	20	10	44	25	8.8	1.2	140	130				
	（1200）	120	184.0	174.0	164.0	20	10	46	25	9.5	0.5	150	140				
	（1350）	135	200.6	190.6	180.6	20	10	48	25	10.3	2.2	170	160				

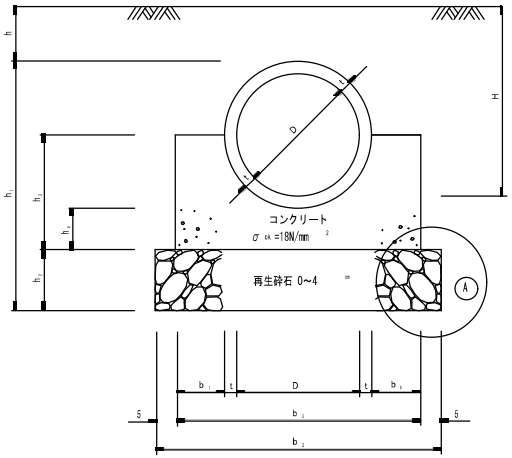
数　量　表

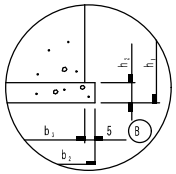
(1m当り)

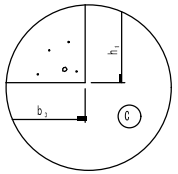
基礎 A 再生砕石 (t=15)m²	基礎 A 再生砕石 (t=20)m²	基礎 B ｺﾝｸﾘｰﾄ m³	基礎 B 型枠 m²	m² 型　枠	m³ ｺﾝｸﾘｰﾄ	m ﾋｭｰﾑ管						
0.500	——	0.025	0.100	0.280	0.047	1.000						
0.550	——	0.028	0.100	0.300	0.055	1.000						
0.600	——	0.030	0.100	0.320	0.061	1.000						
0.650	——	0.033	0.100	0.340	0.069	1.000						
0.650	——	0.033	0.100	0.440	0.091	1.000						
0.700	——	0.035	0.100	0.460	0.100	1.000						
0.750	——	0.038	0.100	0.480	0.108	1.000						
——	0.850	0.085	0.200	0.520	0.126	1.000						
——	0.950	0.095	0.200	0.640	0.183	1.000						
——	1.050	0.105	0.200	0.680	0.204	1.000						
——	1.150	0.115	0.200	0.720	0.226	1.000						
——	1.300	0.130	0.200	0.760	0.267	1.000						
——	1.400	0.140	0.200	0.880	0.351	1.000						
——	1.500	0.150	0.200	0.920	0.379	1.000						
——	1.700	0.170	0.200	0.960	0.441	1.000						

図番

管 渠 工（PH2）







基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4cm
Ⓑ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σ_{ck} =18N/mm²

寸　法　表

(cm)

○前施工	工　種	D	h1			h2		h3	h4	t	b1	b2	b3
			A	B	C	A	B						
	PH2ー（200）	20	50.4	40.4	35.4	15	5	23	10	2.7	12.3	60	50
	（250）	25	55.6	45.6	40.6	15	5	26	10	2.8	12.2	65	55
	（300）	30	61.0	51.0	46.0	15	5	28	10	3.0	12.0	70	60
	（350）	35	66.4	56.4	51.4	15	5	31	10	3.2	11.8	75	65
	（400）	40	77.0	67.0	62.0	15	5	39	15	3.5	11.5	80	70
	（450）	45	82.6	72.6	67.6	15	5	42	15	3.8	11.2	85	75
	（500）	50	88.4	78.4	73.4	15	5	45	15	4.2	10.8	90	80
	（600）	60	105.0	95.0	85.0	20	10	50	15	5.0	10.0	100	90
	（700）	70	121.6	111.6	101.6	20	10	61	20	5.8	11.7	115	105
	（800）	80	133.2	123.2	113.2	20	10	67	20	6.6	13.4	130	120
	（900）	90	145.0	135.0	125.0	20	10	73	20	7.5	15.0	145	135
	（1000）	100	156.4	146.4	136.4	20	10	79	20	8.2	14.3	155	145
	（1100）	110	172.6	162.6	152.6	20	10	89	25	8.8	16.2	170	160
	（1200）	120	184.0	174.0	164.0	20	10	95	25	9.5	18.0	185	175
	（1350）	135	200.6	190.6	180.6	20	10	103	25	10.3	17.2	200	190

数　量　表

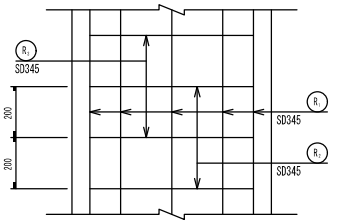
(1m当り)

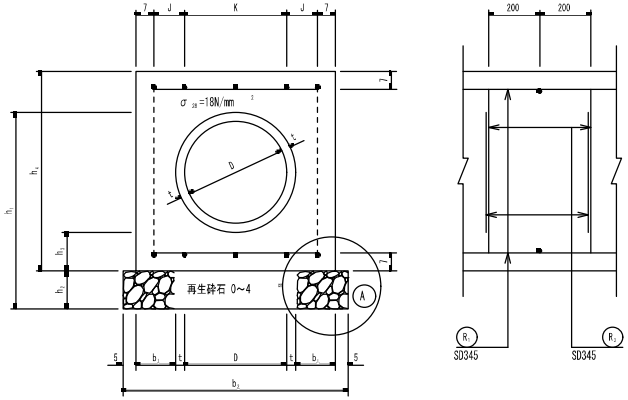
基礎 Ⓐ 再生砕石 (t=15)m²	基礎 Ⓐ 再生砕石 (t=20)m²	基礎 Ⓑ ｺﾝｸﾘｰﾄ m³	基礎 Ⓑ 型枠 m²	m² 型　枠	m³ ｺﾝｸﾘｰﾄ	m ﾋｭｰﾑ管
0.600	——	0.030	0.100	0.460	0.090	1.000
0.650	——	0.033	0.100	0.520	0.106	1.000
0.700	——	0.035	0.100	0.560	0.117	1.000
0.750	——	0.038	0.100	0.620	0.134	1.000
0.800	——	0.040	0.100	0.780	0.186	1.000
0.850	——	0.043	0.100	0.840	0.206	1.000
0.900	——	0.045	0.100	0.900	0.226	1.000
——	1.000	0.100	0.200	1.000	0.258	1.000
——	1.150	0.115	0.200	1.220	0.379	1.000
——	1.300	0.130	0.200	1.340	0.463	1.000
——	1.450	0.145	0.200	1.460	0.553	1.000
——	1.550	0.155	0.200	1.580	0.613	1.000
——	1.700	0.170	0.200	1.780	0.785	1.000
——	1.850	0.185	0.200	1.900	0.904	1.000
——	2.000	0.200	0.200	2.060	1.006	1.000

図番

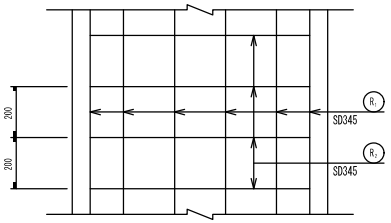
管 渠 工 (PH4)

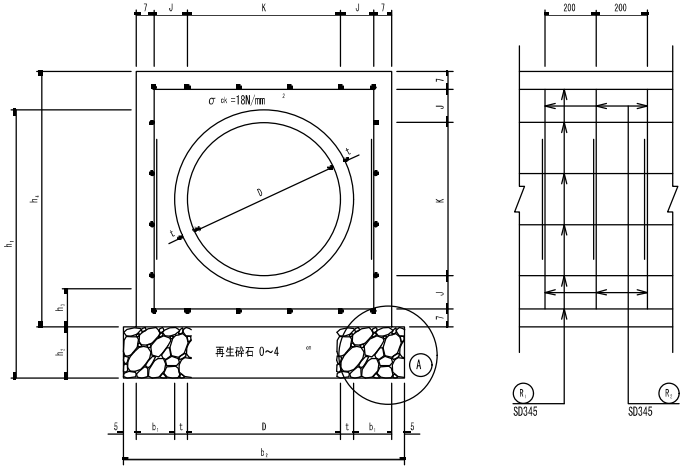
D≦50の場合



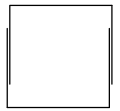


D≧60の場合

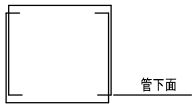




D=400以上
鉄筋加工図

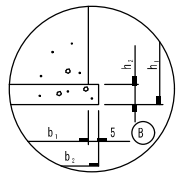


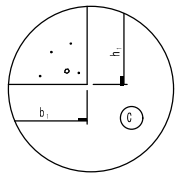
D=350以下
鉄筋加工図



基礎の種類

区分	品 質	形状・寸法
A	再生砕石	0~4cm
B	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=18N/mm²





寸 法 表

(cm)

印	工 種	D	h1 A	h1 B	h1 C	h2 A	h2 B	h3	h4	t	b1	b2	R1 Y本 D13	R1 Y本 D16	R2 D13 本	R2 D13 L(cm)	R3 D13 本	R3 D13 L(cm)	J (mm)	K (mm)
	PH4-(200)	20	50.4	40.4	35.4	15	5	10	46	2.7	10.3	56	6	——	5	32	5	111	——	320(=2×160)
	(250)	25	55.6	45.6	40.6	15	5	10	52	2.8	10.7	62	6	——	5	38	5	123	——	380(=2×190)
	(300)	30	61.0	51.0	46.0	15	5	10	56	3.0	10.0	66	6	——	5	42	5	131	——	420(=2×210)
	(350)	35	66.4	56.4	51.4	15	5	10	62	3.2	10.3	72	8	——	5	48	5	143	140	200
	(400)	40	77.0	67.0	62.0	15	5	15	78	3.5	15.5	88	10	——	5	64	5	175	120	400(=2×200)
	(450)	45	82.6	72.6	67.6	15	5	15	84	3.8	15.7	94	10	——	5	70	5	187	150	400(=2×200)
	(500)	50	88.4	78.4	73.4	15	5	15	90	4.2	15.8	100	——	10	5	76	5	199	180	400(=2×200)
	(600)	60	105.0	95.0	85.0	20	10	15	100	5.0	15.0	110	20	——	10	219	—	——	130	600(=3×200)
	(700)	70	121.6	111.6	101.6	20	10	20	122	5.8	20.2	132	24	——	10	263	—	——	140	800(=4×200)
	(800)	80	133.2	123.2	113.2	20	10	20	134	6.6	20.4	144	——	24	10	287	—	——	——	1200(=6×200)
	(900)	90	145.0	135.0	125.0	20	10	20	146	7.5	20.5	156	——	28	10	311	—	——	160	1000(=5×200)
	(1000)	100	156.4	146.4	136.4	20	10	20	158	8.2	20.8	168	——	32	10	335	—	——	120	1200(=6×200)

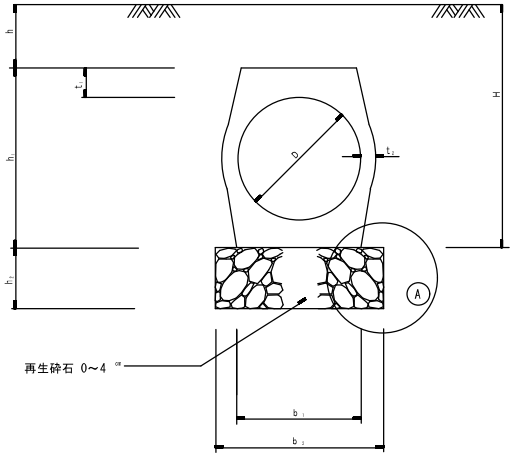
数 量 表

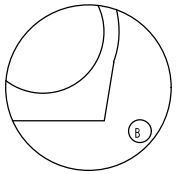
(1m当り)

基礎 A 再生砕石 (t=15)m²	基礎 A 再生砕石 (t=20)m²	基礎 B ｺﾝｸﾘｰﾄ m³	基礎 B 型枠 m²	m² 型 枠	m³ ｺﾝｸﾘｰﾄ	m ﾋｭｰﾑ管	鉄筋 (kg) D13	鉄筋 (kg) D16
0.560	——	0.028	0.100	0.920	0.161	1.000	13.084	——
0.620	——	0.031	0.100	1.040	0.197	1.000	13.980	——
0.660	——	0.033	0.100	1.120	0.212	1.000	14.577	——
0.720	——	0.036	0.100	1.240	0.250	1.000	17.462	——
0.880	——	0.044	0.100	1.560	0.435	1.000	21.840	——
0.940	——	0.047	0.100	1.680	0.488	1.000	22.736	——
1.000	——	0.050	0.100	1.800	0.542	1.000	13.681	15.600
——	1.100	0.110	0.200	2.000	0.615	1.000	41.691	——
——	1.320	0.132	0.200	2.440	0.965	1.000	50.049	——
——	1.440	0.144	0.200	2.680	1.113	1.000	28.557	37.440
——	1.560	0.156	0.200	2.920	1.266	1.000	30.945	43.680
——	1.680	0.168	0.200	3.160	1.432	1.000	33.333	49.920

図番 ／

鉄筋コンクリート台付管工（重圧管）





基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4cm
Ⓑ	———	———

寸　法　表

(cm)

○印施工	工　種	D	h_1	h_2 A	h_2 B	t_1	t_2	b	b_2
	重圧管 （Φ300）	30	43.6	15	——	6.8	4.2	27.2	47
	（Φ350）	35	49.4	15	——	7.2	4.4	31.0	51
	（Φ400）	40	56.0	15	——	8.0	5.0	35.4	55
	（Φ450）	45	62.6	15	——	8.8	5.4	39.6	60
	（Φ500）	50	68.8	15	——	9.4	5.8	43.6	64
	（Φ600）	60	80.0	15	——	10.0	6.2	51.4	81
	（Φ700）	70	93.8	15	——	11.9	6.9	59.4	89
	（Φ800）	80	104.6	15	——	12.3	7.6	67.4	97
	（Φ900）	90	116.8	15	——	13.4	8.3	75.4	105
	（Φ1000）	100	131.0	15	——	15.5	9.0	84.0	114

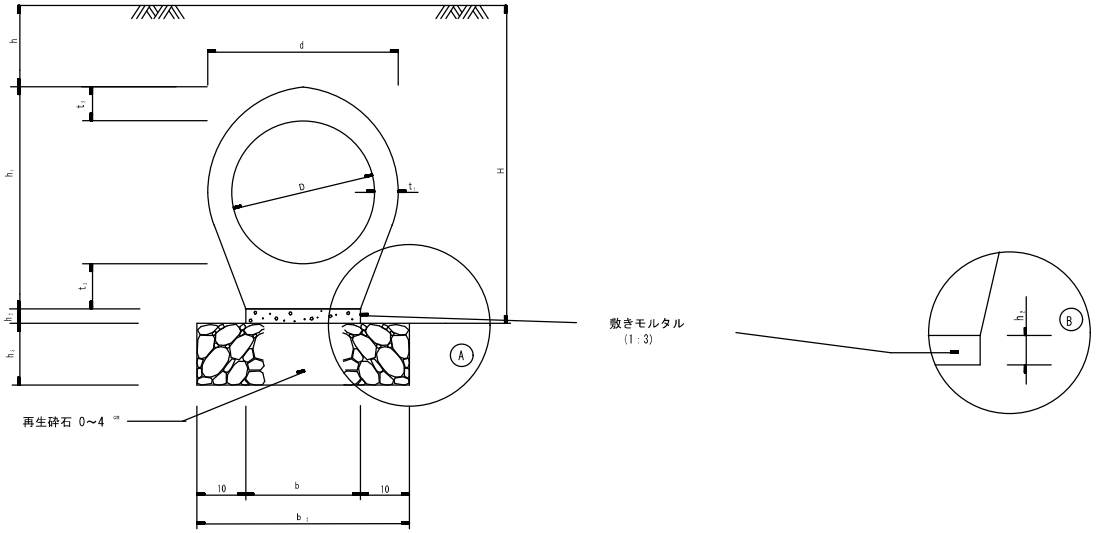
数　量　表

(1m当り)

基礎 Ⓐ 再生砕石 (t=15)m²	本 重圧管
0.470	0.500
0.510	0.500
0.550	0.500
0.600	0.500
0.640	0.500
0.810	0.500
0.890	0.500
0.970	0.500
1.050	0.500
1.140	0.500

図番

鉄筋コンクリート台付管工（バイコン台付管）



基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4cm
Ⓑ	――	――

寸　法　表

(cm)

○印施工	工　種	D	h1	h2	h3 A	h3 B	t1	t2	t3	b1	b2	d
	バイコン台付管　(Φ300)	30	46.4	3	15	——	5.0	6.9	9.5	24	44	40.0
	(Φ350)	35	52.2	3	15	——	5.4	7.2	10.0	28	48	45.8
	(Φ400)	40	58.1	3	15	——	5.8	7.4	10.7	32	52	51.6
	(Φ450)	45	66.0	3	15	——	6.2	9.6	11.4	36	56	57.4
	(Φ500)	50	72.3	3	15	——	6.5	10.1	12.2	40	60	63.0
	(Φ600)	60	84.3	3	15	——	7.1	11.0	13.3	45	65	74.2
	(Φ700)	70	96.6	3	15	——	7.7	11.9	14.7	50	70	85.4
	(Φ800)	80	109.0	3	15	——	8.3	12.9	16.1	55	75	96.6
	(Φ900)	90	121.2	3	15	——	8.9	13.8	17.4	60	80	107.8
	(Φ1000)	100	133.5	3	20	——	9.5	14.7	18.8	65	85	119.0

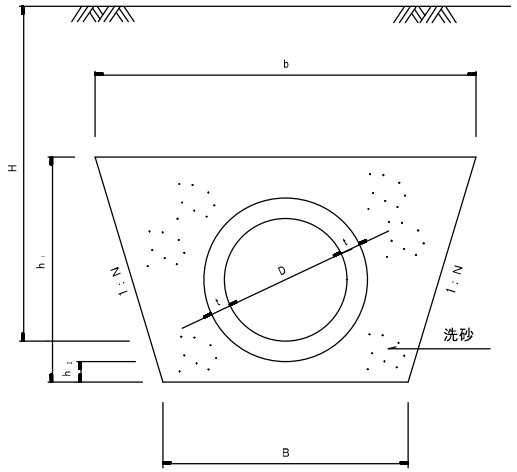
数　量　表

(1m当り)

基礎 Ⓐ 再生砕石 (t=15)m²	基礎 Ⓑ 再生砕石 (t=20)m²	敷き モルタル m³	バイコン 台付管 本
0.440	——	0.007	0.500
0.480	——	0.008	0.500
0.520	——	0.009	0.400
0.560	——	0.010	0.400
0.600	——	0.012	0.400
0.650	——	0.014	0.400
0.700	——	0.015	0.400
0.750	——	0.017	0.400
0.800	——	0.018	0.400
——	0.850	0.020	0.400

図番

暗渠排水工（ＰＴ１）



A	N＝0.1
B	N＝0.3
C	N＝0.5

寸　法　表

(cm)

工種	D	H	b1 A	b1 B	b1 C	h1	h2	t	B
ＰＴ　(50)	5		36.2	46.6	57	26	5	2.8	31
(100)	10		42.2	54.6	67	31	5	3	36
(150)	15		49.4	64.2	79	37	5	3.5	42
(200)	20		56.6	73.8	91	43	5	4	48
(250)	25		63.8	83.4	103	49	5	4.5	54
(300)	30		71	93	115	55	5	5	60

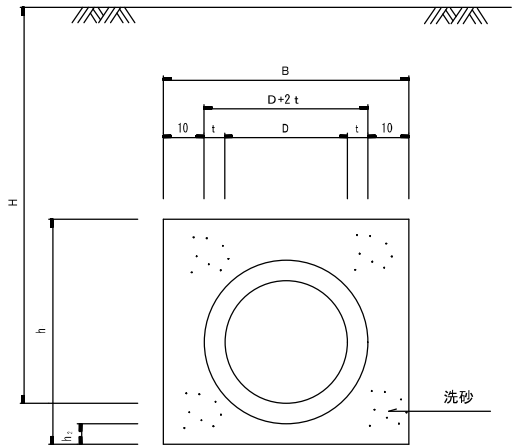
数　量　表

(1m当り)

工種	洗砂 m³ A	洗砂 m³ B	洗砂 m³ C	m 透水管
ＰＴ　(50)	0.079	0.092	0.106	1.000
(100)	0.101	0.120	0.140	1.000
(150)	0.131	0.158	0.186	1.000
(200)	0.163	0.200	0.237	1.000
(250)	0.198	0.246	0.294	1.000
(300)	0.235	0.295	0.356	1.000

図番

暗渠排水工（ＰＴ２）



寸　法　表

(cm)

○印施工	工　種	D	h_1	h_2	t	D+2t	B										
	ＰＴ２(100)	10	31	5	3	16	36										
	(150)	15	37	5	3.5	22	42										
	(200)	20	43	5	4	28	48										
	(250)	25	49	5	4.5	34	54										
	(300)	30	55	5	5	40	60										

数　量　表

(1m当り)

m^3 洗　砂	m 透水管												
0.092	1.000												
0.117	1.000												
0.145	1.000												
0.174	1.000												
0.204	1.000												

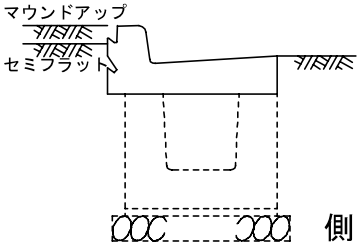
図番

プレキャスト街渠(基本(新規格))(防草タイプ)

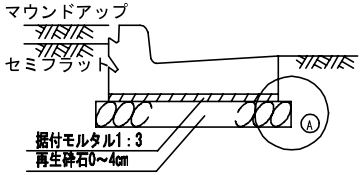
記　号	PG(U)(F)

標準施工断面図

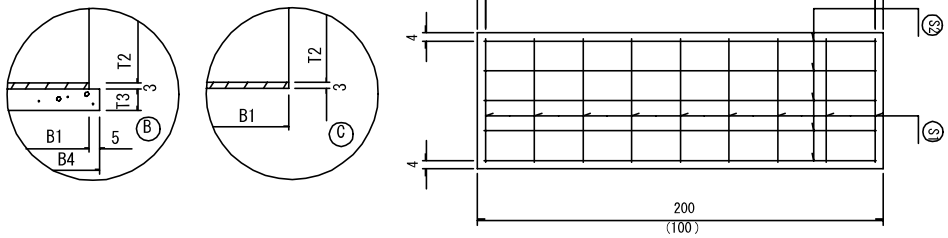
PGU(F)
U型側溝の上に蓋版として設置する場合
※ＬＵ側溝に使用できる。



PG(F)
基礎材の上に直接設置する場合

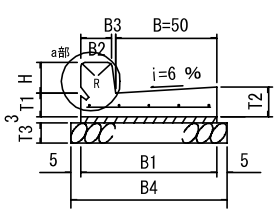


側面図

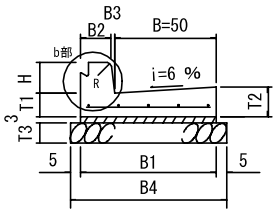


断面図

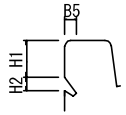
〈セミフラット型〉



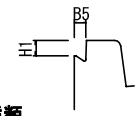
〈マウンドアップ型〉



a部詳細図



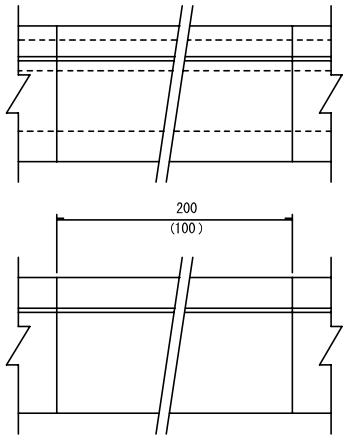
b部詳細図



基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4cm
Ⓑ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σ_{ck}=18N/mm^2

標準施工平面図



[適用範囲]
1. 活荷重は、一般車両のT-25とし、道路と平行に載荷する。
2. 歩道舗装に、アスファルト舗装またはコンクリート舗装を採用する場合に適用する。

[施工上の留意点]
防草効果を最大限発現させるために、縁石切欠き部の目地モルタルや路盤材を残さず清掃し舗装材を埋設させること。

寸法表

(cm)

○印施工	記号	工種	B	H	B1	B2	B3	B4	T1	T2	R	T3 A	T3 B	H1	H2	B5	質量(参考)(kg/個) 2.0m	質量(参考)(kg/個) 1.0m
【セミフラット型】																		
	PGF515-A	500A×15	50	15	66.5	15	1.5	76.5	12	15	2	10	5	12	4.5	3.7	529	263
	PGF520-A	500A×20	50	15	66.5	15	1.5	76.5	17	20	2	10	5	12	4.5	3.7	688	342
	PGF515-B	500B×15	50	20	70.0	18	2.0	80.0	12	15	3	10	5	12	4.5	3.7	615	306
	PGF520-B	500B×20	50	20	70.0	18	2.0	80.0	17	20	3	10	5	12	4.5	3.7	783	389
【マウンドアップ型】																		
	PG515-A	500A×15	50	15	66.5	15	1.5	76.5	12	15	2	10	5	5	-	4	522	260
	PG520-A	500A×20	50	15	66.5	15	1.5	76.5	17	20	2	10	5	5	-	4	679	339
	PG515-B	500B×15	50	20	70.0	18	2.0	80.0	12	15	3	10	5	5	-	4	609	304
	PG520-B	500B×20	50	20	70.0	18	2.0	80.0	17	20	3	10	5	5	-	4	774	386

数量表

(1m当り)

記号	基礎 Ⓐ再生砕石(t=10)m³	基礎 Ⓑコンクリート(t=5)m³	型枠 m²	据付モルタル m²	プレキャスト街渠 m
PGF515-A	0.765	0.038	0.100	0.020	1.000
PGF520-A	0.765	0.038	0.100	0.020	1.000
PGF515-B	0.800	0.040	0.100	0.021	1.000
PGF520-B	0.800	0.040	0.100	0.021	1.000
PG515-A	0.765	0.038	0.100	0.020	1.000
PG520-A	0.765	0.038	0.100	0.020	1.000
PG515-B	0.800	0.040	0.100	0.021	1.000
PG520-B	0.800	0.040	0.100	0.021	1.000

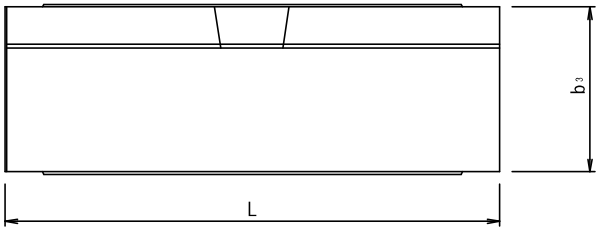
図番

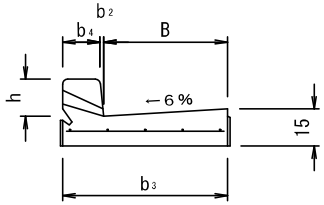
参考図

プレキャスト街渠(水抜用)(防草タイプ)

PGF515-W-A,B L=200

PGU型の場合の底部形状は、上図の通りとなる。





[適用範囲]

1．活荷重は、一般車両のT-25とし、道路と平行に用いる。
2．歩道舗装に、アスファルト舗装またはコンクリート舗装を採用する場合に適用する。

(施工上の留意点)

防草効果を最大限発現させるために、縁石切欠き部の目地モルタルや路盤材を残さず清掃し、舗装材を埋設させること。

NO	種　別	質　量　(kg)	
		L=2.0m	L=1.0m
W-A	単体使用製品質量	515	249
	組合せ使用製品質量	519	251
W-B	単体使用製品質量	595	286
	組合せ使用製品質量	597	287

寸　法　表

(cm)

切欠有無	工　種	B	h	I	b_1	b_2	b_3	b_4	R	L	L_1	L_2				質量(kg/個) 2.0m	質量(kg/個) 1.0m	
	PGF515-W-A	50	15	15	−	1.5	66.5	15	2	199.5	−	−				515	249	
	PGF515-W-B	50	20	15	−	2.0	70	18	3	199.5	−	−				595	286	
	PGUF-W-A	50	15	15	−	1.5	66.5	15	2	199.5	−	−				519	251	
	PGUF-W-B	50	20	15	−	2.0	70	18	3	199.5	−	−				597	287	

数　量　表

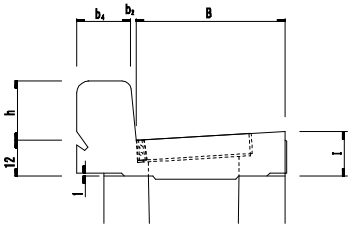
(1m当り)

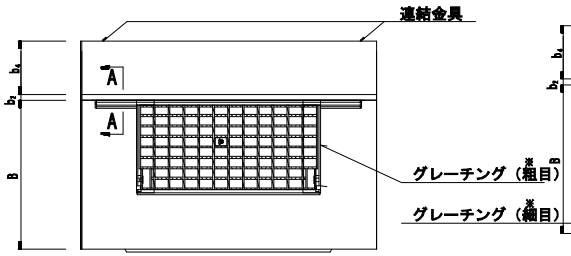
m プレキャスト個数												
1.000												
1.000												
1.000												
1.000												

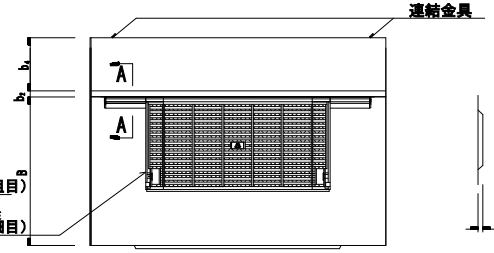
図番

プレキャスト街渠(桝)(防草タイプ)

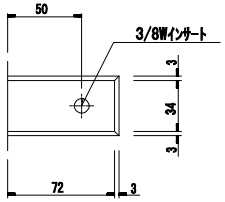
PGUF型



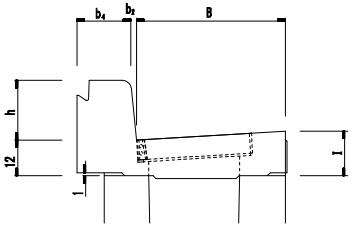


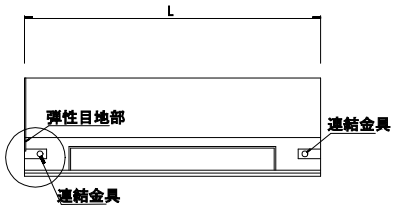


連結金具部詳細図　(mm)

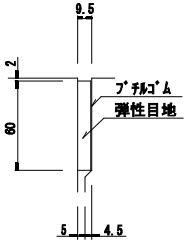


PGU型

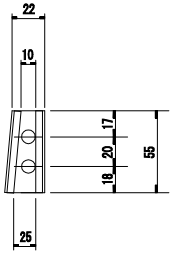




※神戸市章付　180° 開閉式 スリットタイプ（テーパー付）を標準とする。
グレーチング:285x600
受け枠:317x620



弾性目地部詳細　(mm)



スリット部詳細（Ａ－Ａ断面)(mm)

(施工上の留意点)
防草効果を最大限発現させるために、縁石切欠き部の
目地モルタルや路盤材を残さず清掃し、舗装材を埋設させること。

寸　法　表　(cm)

H章印○	工　種	B	h	I	b_2	b_4	L
	PGU－K－A	50	15	15	1.5	15.0	99.5
	PGU－K－B	50	20	15	2.0	18.0	99.5
	PGUF－K－A	50	15	15	1.5	15.0	99.5
	PGUF－K－B	50	20	15	2.0	18.0	99.5

数　量　表　(1m当り)

m プレキャスト街渠	質量 (kg/個) 1.0m
1.000	217
1.000	259
1.000	219
1.000	261

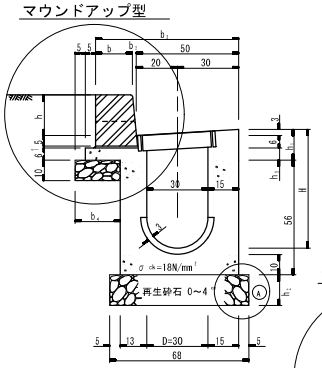
図番

街渠桝工(MGP-L)-30

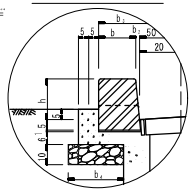
交通量区分ー N1～N5交通(LAB交通)

6≦h₅＜16の場合

マウンドアップ型

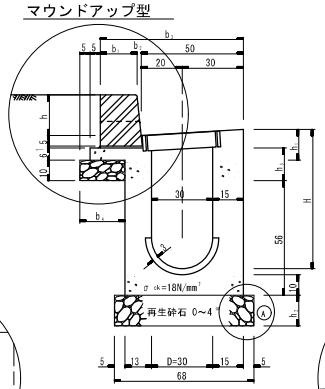


セミフラット型

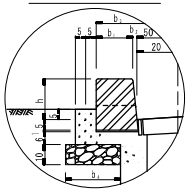


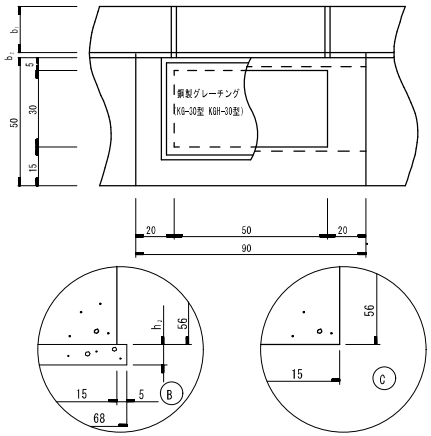
h₅≧16の場合

マウンドアップ型



セミフラット型





Hの変化によるh₁,h₅の変化

Hの変化	h₁	h₅
58 ～ 67.9	15 ～ 24.9	6 ～ 15.9
68 ～	15	16 ～

基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4cm
Ⓑ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=18N/mm²

ﾓﾙﾀﾙの品質

	配　合
据付ﾓﾙﾀﾙ	1：3
目地ﾓﾙﾀﾙ	1：2

寸　法　表

(cm)

○印集工	工　種	h	H	h₁	h₂ A	h₂ B	h₂ C	h₅	b₁	b₂	b₃	b₄
	MGP-L-A-30	15	58	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	18.5
	A₂	7	58	15	15	5	0	6	15.8	0.7	66.5	18.5
	B	20	58	15	15	5	0	6	18	2	70	22
	B₂	7	58	15	15	5	0	6	19.3	0.7	70	22
	B₃	5	58	15	15	5	0	6	19.9	0.1	70	22
	FA	15	58	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	23.5
	FB	20	58	15	15	5	0	6	18	2	70	27
	A₂H	7	58	15	15	5	0	6	15.8	0.7	66.5	18.5
	B₂H	7	58	15	15	5	0	6	19.3	0.7	70	22
	B₃H	5	58	15	15	5	0	6	19.9	0.1	70	22
	LBH	2	58	15	15	5	0	6	20	0	70	22
	MGP-L-A-30	15	68	15	15	5	0	16	15	1.5	66.5	18.5
	A₂	7	68	15	15	5	0	16	15.8	0.7	66.5	18.5
	B	20	68	15	15	5	0	16	18	2	70	22
	B₂	7	68	15	15	5	0	16	19.3	0.7	70	22
	B₃	5	68	15	15	5	0	16	19.9	0.1	70	22
	FA	15	68	15	15	5	0	16	15	1.5	66.5	23.5
	FB	20	68	15	15	5	0	16	18	2	70	27
	A₂H	7	68	15	15	5	0	16	15.8	0.7	66.5	18.5
	B₂H	7	68	15	15	5	0	16	19.3	0.7	70	22
	B₃H	5	68	15	15	5	0	16	19.9	0.1	70	22
	LBH	2	68	15	15	5	0	16	20	0	70	22

数　量　表

(1箇所当り)

基礎 縁石・皿溝部 再生砕石 (t=10)m²	基礎 桝部 Ⓐ 再生砕石 (t=15)m²	基礎 桝部 Ⓐ 再生砕石 (t=20)m²	基礎 桝部 Ⓑ ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5)m³	基礎 桝部 Ⓑ 型枠 m²	型枠 縁石・皿溝部 m³	型枠 桝部 m²	ｺﾝｸﾘｰﾄ 縁石・皿溝部 m³	ｺﾝｸﾘｰﾄ 桝部 m³	据付ﾓﾙﾀﾙ m³	ﾋｭｰﾑ管 m	縁石 m	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 粗目 枚	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 枚
0.167	0.612	——	0.031	0.090	0.365	1.456	0.050	0.184	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.167	0.612	——	0.031	0.090	0.365	1.456	0.050	0.184	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.198	0.612	——	0.031	0.090	0.365	1.456	0.052	0.184	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.198	0.612	——	0.031	0.090	0.365	1.456	0.052	0.184	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.198	0.612	——	0.031	0.090	0.365	1.456	0.052	0.184	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.212	0.612	——	0.031	0.090	0.464	1.456	0.063	0.184	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.243	0.612	——	0.031	0.090	0.464	1.456	0.064	0.184	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.167	0.612	——	0.031	0.090	0.365	1.456	0.050	0.184	0.001	0.900	0.900	——	1.000
0.198	0.612	——	0.031	0.090	0.365	1.456	0.052	0.184	0.002	0.900	0.900	——	1.000
0.198	0.612	——	0.031	0.090	0.365	1.456	0.052	0.184	0.002	0.900	0.900	——	1.000
0.198	0.612	——	0.031	0.090	0.393	1.456	0.056	0.184	0.002	0.900	0.900	——	1.000
0.167	0.612	——	0.031	0.090	0.365	1.912	0.050	0.221	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.167	0.612	——	0.031	0.090	0.365	1.912	0.050	0.221	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.198	0.612	——	0.031	0.090	0.365	1.912	0.052	0.221	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.198	0.612	——	0.031	0.090	0.365	1.912	0.052	0.221	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.198	0.612	——	0.031	0.090	0.365	1.912	0.052	0.221	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.212	0.612	——	0.031	0.090	0.464	1.912	0.063	0.221	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.243	0.612	——	0.031	0.090	0.464	1.912	0.064	0.221	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.167	0.612	——	0.031	0.090	0.365	1.912	0.050	0.221	0.001	0.900	0.900	——	1.000
0.198	0.612	——	0.031	0.090	0.365	1.912	0.052	0.221	0.002	0.900	0.900	——	1.000
0.198	0.612	——	0.031	0.090	0.365	1.912	0.052	0.221	0.002	0.900	0.900	——	1.000
0.198	0.612	——	0.031	0.090	0.393	1.912	0.056	0.221	0.002	0.900	0.900	——	1.000

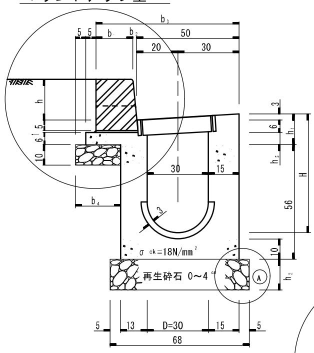
図番

街渠桝工(MGP-C)-30

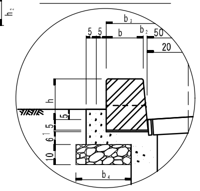
交通量区分－ N6交通(C交通)

6≦h 5＜21の場合

マウンドアップ型

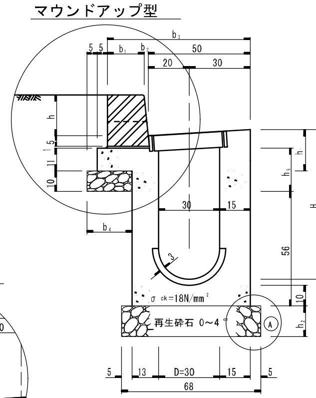


セミフラット型

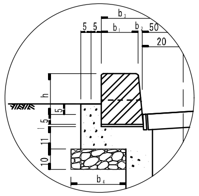


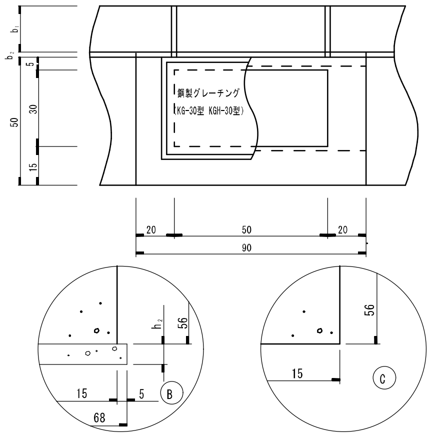
h 5≧21の場合

マウンドアップ型



セミフラット型





Hの変化によるh_1,h_5の変化

Hの変化	h_1	h_5
58 ～ 72.9	15 ～ 29.9	6 ～ 20.9
73 ～	20	21 ～

基礎の種類

区分	品質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4cm
Ⓑ	コンクリート	σ_{ck} =18N/mm²

モルタルの品質

	配合
据付モルタル	1：3
目地モルタル	1：2

寸法表

(cm)

○印施工	工種	h	H	h_1	h_2 A	h_2 B	h_2 C	h_5	b_1	b_2	b_3	b_4
	MGP-C-A-30	15	58	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	18.5
	A_2	7	58	15	15	5	0	6	15.8	0.7	66.5	18.5
	B	20	58	15	15	5	0	6	18	2	70	22
	B_2	7	58	15	15	5	0	6	19.3	0.7	70	22
	B_3	5	58	15	15	5	0	6	19.9	0.1	70	22
	FA	15	58	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	23.5
	FB	20	58	15	15	5	0	6	18	2	70	27
	A_2 H	7	58	15	15	5	0	6	15.8	0.7	66.5	18.5
	B_2 H	7	58	15	15	5	0	6	19.3	0.7	70	22
	B_3 H	5	58	15	15	5	0	6	19.9	0.1	70	22
	LBH	2	58	15	15	5	0	6	20	0	70	22
	MGP-C-A-30	15	73	20	15	5	0	21	15	1.5	66.5	18.5
	A_2	7	73	20	15	5	0	21	15.8	0.7	66.5	18.5
	B	20	73	20	15	5	0	21	18	2	70	22
	B_2	7	73	20	15	5	0	21	19.3	0.7	70	22
	B_3	5	73	20	15	5	0	21	19.9	0.1	70	22
	FA	15	73	20	15	5	0	21	15	1.5	66.5	23.5
	FB	20	73	20	15	5	0	21	18	2	70	27
	A_2 H	7	73	20	15	5	0	21	15.8	0.7	66.5	18.5
	B_2 H	7	73	20	15	5	0	21	19.3	0.7	70	22
	B_3 H	5	73	20	15	5	0	21	19.9	0.1	70	22
	LBH	2	73	20	15	5	0	21	20	0	70	22

数量表

(1箇所当り)

基礎 縁石・皿溝部 再生砕石 (t=10)m²	基礎 桝部 Ⓐ 再生砕石 (t=15)m²	基礎 桝部 Ⓐ 再生砕石 (t=20)m²	基礎 桝部 Ⓑ コンクリート (t=5)m³	基礎 桝部 Ⓑ 型枠 m²	型枠 縁石・皿溝部 m²	型枠 桝部 m²	コンクリート 縁石・皿溝部 m³	コンクリート 桝部 m³	据付モルタル m³	ヒューム管 m	縁石 m	グレーチング蓋 粗目 枚	グレーチング蓋 細目 枚
0.167	0.095	――	0.031	0.090	0.365	1.456	0.050	0.184	0.001	0.900	0.900	1.000	――
0.167	0.612	――	0.031	0.090	0.365	1.456	0.050	0.184	0.001	0.900	0.900	1.000	――
0.198	0.612	――	0.031	0.090	0.365	1.456	0.052	0.184	0.002	0.900	0.900	1.000	――
0.198	0.612	――	0.031	0.090	0.365	1.456	0.052	0.184	0.002	0.900	0.900	1.000	――
0.198	0.612	――	0.031	0.090	0.365	1.456	0.052	0.184	0.002	0.900	0.900	1.000	――
0.212	0.612	――	0.031	0.090	0.464	1.456	0.063	0.184	0.001	0.900	0.900	1.000	――
0.243	0.612	――	0.031	0.090	0.464	1.456	0.064	0.184	0.002	0.900	0.900	1.000	――
0.167	0.612	――	0.031	0.090	0.365	1.456	0.050	0.184	0.001	0.900	0.900	――	1.000
0.198	0.612	――	0.031	0.090	0.365	1.456	0.052	0.184	0.002	0.900	0.900	――	1.000
0.198	0.612	――	0.031	0.090	0.365	1.456	0.052	0.184	0.002	0.900	0.900	――	1.000
0.198	0.612	――	0.031	0.090	0.393	1.456	0.056	0.184	0.002	0.900	0.900	――	1.000
0.167	0.612	――	0.031	0.090	0.580	1.912	0.075	0.221	0.001	0.900	0.900	1.000	――
0.167	0.612	――	0.031	0.090	0.580	1.912	0.075	0.221	0.001	0.900	0.900	1.000	――
0.198	0.612	――	0.031	0.090	0.580	1.912	0.078	0.221	0.002	0.900	0.900	1.000	――
0.198	0.612	――	0.031	0.090	0.580	1.912	0.078	0.221	0.002	0.900	0.900	1.000	――
0.198	0.612	――	0.031	0.090	0.580	1.912	0.078	0.221	0.002	0.900	0.900	1.000	――
0.212	0.612	――	0.031	0.090	0.679	1.912	0.089	0.221	0.001	0.900	0.900	1.000	――
0.243	0.612	――	0.031	0.090	0.679	1.912	0.093	0.221	0.002	0.900	0.900	1.000	――
0.167	0.612	――	0.031	0.090	0.580	1.912	0.075	0.221	0.001	0.900	0.900	――	1.000
0.198	0.612	――	0.031	0.090	0.580	1.912	0.078	0.221	0.002	0.900	0.900	――	1.000
0.198	0.612	――	0.031	0.090	0.580	1.912	0.078	0.221	0.002	0.900	0.900	――	1.000
0.198	0.612	――	0.031	0.090	0.608	1.912	0.082	0.221	0.002	0.900	0.900	――	1.000

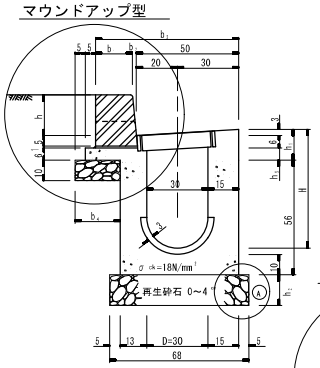
図番

街渠桝工(MGP-D)-30

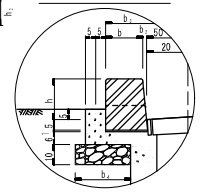
交通量区分ー N7交通(D交通)

$6 \leqq h_5 < 26$の場合

マウンドアップ型

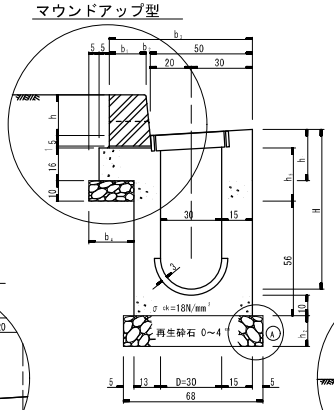


セミフラット型

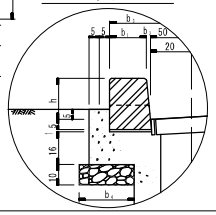


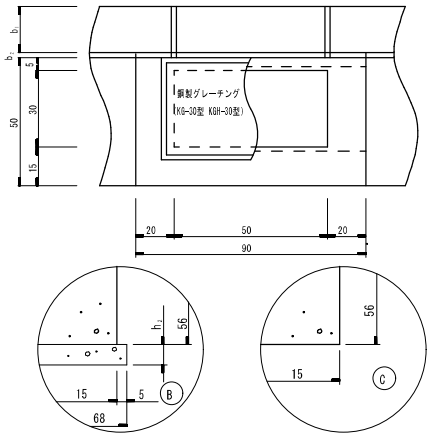
$h_5 \geqq 26$の場合

マウンドアップ型



セミフラット型





Hの変化によるh_1,h_5の変化

Hの変化	h_1	h_5
58 ～ 77.9	15 ～ 34.9	6 ～ 25.9
78 ～	25	26 ～

基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4cm
Ⓑ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σ_{ck} =18N/mm^2

ﾓﾙﾀﾙの品質

	配　合
据付ﾓﾙﾀﾙ	1 : 3
目地ﾓﾙﾀﾙ	1 : 2

寸　法　表

(cm)

○印断工	工　種	h	H	h_1	h_2 A	h_2 B	h_2 C	h_5	b_1	b_2	b_3	b_4
	MGP-D-A-30	15	58	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	18.5
	A_2	7	58	15	15	5	0	6	15.8	0.7	66.5	18.5
	B	20	58	15	15	5	0	6	18	2	70	22
	B_2	7	58	15	15	5	0	6	19.3	0.7	70	22
	B_3	5	58	15	15	5	0	6	19.9	0.1	70	22
	FA	15	58	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	23.5
	FB	20	58	15	15	5	0	6	18	2	70	27
	A_2 H	7	58	15	15	5	0	6	15.8	0.7	66.5	18.5
	B_2 H	7	58	15	15	5	0	6	19.3	0.7	70	22
	B_3 H	5	58	15	15	5	0	6	19.9	0.1	70	22
	LBH	2	58	15	15	5	0	6	20	0	70	22
	MGP-D-A-30	15	78	25	15	5	0	26	15	1.5	66.5	18.5
	A_2	7	78	25	15	5	0	26	15.8	0.7	66.5	18.5
	B	20	78	25	15	5	0	26	18	2	70	22
	B_2	7	78	25	15	5	0	26	19.3	0.7	70	22
	B_3	5	78	25	15	5	0	26	19.9	0.1	70	22
	FA	15	78	25	15	5	0	26	15	1.5	66.5	23.5
	FB	20	78	25	15	5	0	26	18	2	70	27
	A_2 H	7	78	25	15	5	0	26	15.8	0.7	66.5	18.5
	B_2 H	7	78	25	15	5	0	26	19.3	0.7	70	22
	B_3 H	5	78	25	15	5	0	26	19.9	0.1	70	22
	LBH	2	78	25	15	5	0	26	20	0	70	22

数　量　表

(1箇所当り)

基礎 縁石・皿溝部 再生砕石 (t=10)m^2	基礎 桝部 Ⓐ 再生砕石 (t=15)m^2	基礎 桝部 Ⓐ 再生砕石 (t=20)m^2	基礎 桝部 Ⓑ ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5)m^3	基礎 桝部 Ⓑ 型枠 m^2	型枠 縁石・皿溝部 m^2	型枠 桝部 m^2	ｺﾝｸﾘｰﾄ 縁石・皿溝部 m^3	ｺﾝｸﾘｰﾄ 桝部 m^3	据付ﾓﾙﾀﾙ m^3	ﾋｭｰﾑ管 m	縁石 m	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 粗目 枚	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 枚
0.167	0.612	——	0.031	0.090	0.365	1.456	0.050	0.184	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.167	0.612	——	0.031	0.090	0.365	1.456	0.050	0.184	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.198	0.612	——	0.031	0.090	0.365	1.456	0.052	0.184	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.198	0.612	——	0.031	0.090	0.365	1.456	0.052	0.184	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.198	0.612	——	0.031	0.090	0.365	1.456	0.052	0.184	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.212	0.612	——	0.031	0.090	0.464	1.456	0.063	0.184	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.243	0.612	——	0.031	0.090	0.464	1.456	0.064	0.184	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.167	0.612	——	0.031	0.090	0.365	1.456	0.050	0.184	0.001	0.900	0.900	——	1.000
0.198	0.612	——	0.031	0.090	0.365	1.456	0.052	0.184	0.002	0.900	0.900	——	1.000
0.198	0.612	——	0.031	0.090	0.365	1.456	0.052	0.184	0.002	0.900	0.900	——	1.000
0.198	0.612	——	0.031	0.090	0.393	1.456	0.056	0.184	0.002	0.900	0.900	——	1.000
0.167	0.612	——	0.031	0.090	0.795	1.912	0.099	0.221	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.167	0.612	——	0.031	0.090	0.795	1.912	0.099	0.221	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.198	0.612	——	0.031	0.090	0.795	1.912	0.104	0.221	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.198	0.612	——	0.031	0.090	0.795	1.912	0.104	0.221	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.198	0.612	——	0.031	0.090	0.795	1.912	0.104	0.221	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.212	0.612	——	0.031	0.090	0.894	1.912	0.116	0.221	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.243	0.612	——	0.031	0.090	0.894	1.912	0.121	0.221	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.167	0.612	——	0.031	0.090	0.795	1.912	0.099	0.221	0.001	0.900	0.900	——	1.000
0.198	0.612	——	0.031	0.090	0.795	1.912	0.104	0.221	0.002	0.900	0.900	——	1.000
0.198	0.612	——	0.031	0.090	0.795	1.912	0.104	0.221	0.002	0.900	0.900	——	1.000
0.198	0.612	——	0.031	0.090	0.823	1.912	0.108	0.221	0.002	0.900	0.900	——	1.000

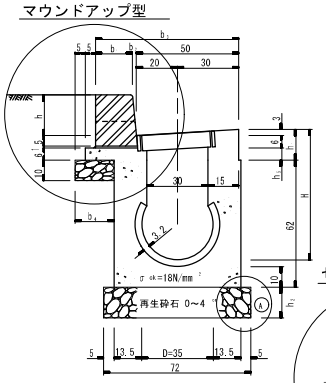
図番

街渠桝工(MGP-L)-35

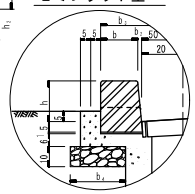
交通量区分ー N1～N5交通(LAB交通)

6≦h₅＜16の場合

マウンドアップ型

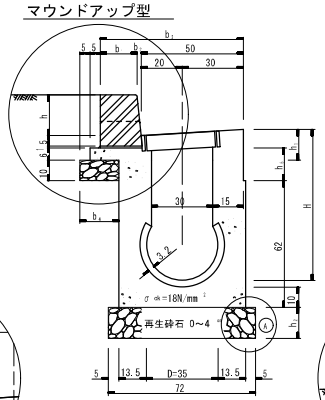


セミフラット型

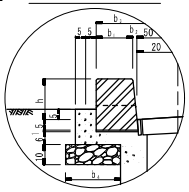


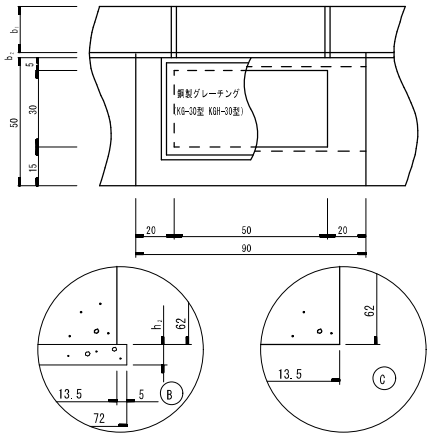
h₅≧16の場合

マウンドアップ型



セミフラット型





Hの変化によるh₁,h₅の変化

Hの変化	h₁	h₅
63.8 ～ 73.7	15 ～ 24.9	6 ～ 15.9
73.8 ～	15	16 ～

基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
(A)	再生砕石	0～4cm
(B)	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σ_{ck} =18N/mm²

モルタルの品質

	配　合
据付ﾓﾙﾀﾙ	1 : 3
目地ﾓﾙﾀﾙ	1 : 2

寸　法　表

(cm)

○印集工	工　種	h	H	h₁	h₂ A	h₂ B	h₂ C	h₅	b₁	b₂	b₃	b₄
	MGP-L-A-35	15	63.8	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	15.5
	A₃	7	63.8	15	15	5	0	6	15.8	0.7	66.5	15.5
	B	20	63.8	15	15	5	0	6	18	2	70	19
	B₂	7	63.8	15	15	5	0	6	19.3	0.7	70	19
	B₃	5	63.8	15	15	5	0	6	19.9	0.1	70	19
	FA	15	63.8	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	20.5
	FB	20	63.8	15	15	5	0	6	18	2	70	24
	A₃ H	7	63.8	15	15	5	0	6	15.8	0.7	66.5	15.5
	B₂ H	7	63.8	15	15	5	0	6	19.3	0.7	70	19
	B₃ H	5	63.8	15	15	5	0	6	19.9	0.1	70	19
	LBH	2	63.8	15	15	5	0	6	20	0	70	19
	MGP-L-A-35	15	73.8	15	15	5	0	16	15	1.5	66.5	15.5
	A₃	7	73.8	15	15	5	0	16	15.8	0.7	66.5	15.5
	B	20	73.8	15	15	5	0	16	18	2	70	19
	B₂	7	73.8	15	15	5	0	16	19.3	0.7	70	19
	B₃	5	73.8	15	15	5	0	16	19.9	0.1	70	19
	FA	15	73.8	15	15	5	0	16	15	1.5	66.5	20.5
	FB	20	73.8	15	15	5	0	16	18	2	70	24
	A₃ H	7	73.8	15	15	5	0	16	15.8	0.7	66.5	15.5
	B₂ H	7	73.8	15	15	5	0	16	19.3	0.7	70	19
	B₃ H	5	73.8	15	15	5	0	16	19.9	0.1	70	19
	LBH	2	73.8	15	15	5	0	16	20	0	70	19

数　量　表

(1箇所当り)

基礎 緑石・皿溝部 再生砕石 (t=10)m²	基礎 桝部 (A) 再生砕石 (t=15)m²	基礎 桝部 (A) 再生砕石 (t=20)m²	基礎 桝部 (B) ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5)m³	基礎 桝部 (B) 型枠 m²	型枠 緑石・皿溝部 m³	型枠 桝部 m²	ｺﾝｸﾘｰﾄ 緑石・皿溝部 m³	ｺﾝｸﾘｰﾄ 桝部 m³	据付ﾓﾙﾀﾙ m³	ﾋｭｰﾑ管 m	緑　石 m	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 粗　目 枚	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細　目 枚
0.140	0.648	——	0.032	0.090	0.365	1.386	0.050	0.203	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.140	0.648	——	0.032	0.090	0.365	1.386	0.050	0.203	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.171	0.648	——	0.032	0.090	0.365	1.386	0.052	0.203	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.171	0.648	——	0.032	0.090	0.365	1.386	0.052	0.203	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.171	0.648	——	0.032	0.090	0.365	1.386	0.052	0.203	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.185	0.648	——	0.032	0.090	0.464	1.386	0.063	0.203	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.216	0.648	——	0.032	0.090	0.464	1.386	0.064	0.203	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.140	0.648	——	0.032	0.090	0.365	1.386	0.050	0.203	0.001	0.900	0.900	——	1.000
0.171	0.648	——	0.032	0.090	0.365	1.386	0.052	0.203	0.002	0.900	0.900	——	1.000
0.171	0.648	——	0.032	0.090	0.365	1.386	0.052	0.203	0.002	0.900	0.900	——	1.000
0.171	0.648	——	0.032	0.090	0.393	1.386	0.056	0.203	0.002	0.900	0.900	——	1.000
0.140	0.648	——	0.032	0.090	0.365	1.788	0.050	0.243	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.140	0.648	——	0.032	0.090	0.365	1.788	0.050	0.243	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.171	0.648	——	0.032	0.090	0.365	1.788	0.052	0.243	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.171	0.648	——	0.032	0.090	0.365	1.788	0.052	0.243	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.171	0.648	——	0.032	0.090	0.365	1.788	0.052	0.243	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.185	0.648	——	0.032	0.090	0.464	1.788	0.063	0.243	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.216	0.648	——	0.032	0.090	0.464	1.788	0.064	0.243	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.140	0.648	——	0.032	0.090	0.365	1.788	0.050	0.243	0.001	0.900	0.900	——	1.000
0.171	0.648	——	0.032	0.090	0.365	1.788	0.052	0.243	0.002	0.900	0.900	——	1.000
0.171	0.648	——	0.032	0.090	0.365	1.788	0.052	0.243	0.002	0.900	0.900	——	1.000
0.171	0.648	——	0.032	0.090	0.393	1.788	0.056	0.243	0.002	0.900	0.900	——	1.000

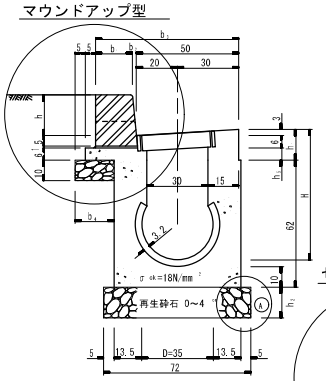
図番

街渠桝工(MGP-C)-35

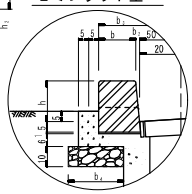
交通量区分ー N6交通(C交通)

6≦h₅<21の場合

マウンドアップ型

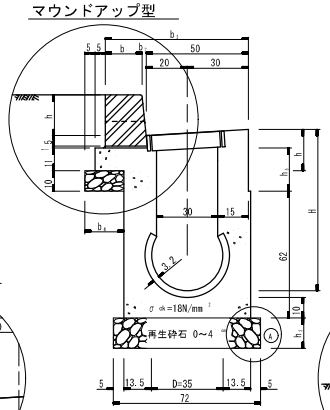


セミフラット型

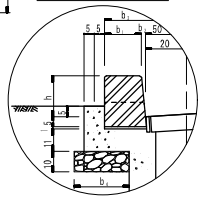


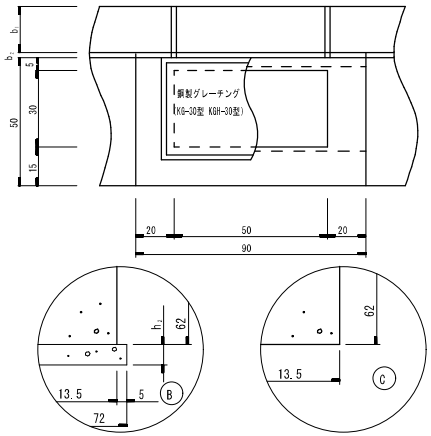
h₅≧21の場合

マウンドアップ型



セミフラット型





Hの変化によるh₁,h₅の変化

Hの変化	h₁	h₅
63.8 ～ 78.7	15 ～ 29.9	6 ～ 20.9
78.8 ～	20	21 ～

基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
(A)	再生砕石	0～4cm
(B)	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=18N/mm²

ﾓﾙﾀﾙの品質

	配　合
据付ﾓﾙﾀﾙ	1 : 3
目地ﾓﾙﾀﾙ	1 : 2

寸　法　表

(cm)

○印施工	工　種	h	H	h₁	h₂ A	h₂ B	h₂ C	h₅	b₁	b₂	b₃	b₄
	MGP-C-A-35	15	63.8	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	15.5
	A₂	7	63.8	15	15	5	0	6	15.8	0.7	66.5	15.5
	B	20	63.8	15	15	5	0	6	18	2	70	19
	B₂	7	63.8	15	15	5	0	6	19.3	0.7	70	19
	B₃	5	63.8	15	15	5	0	6	19.9	0.1	70	19
	FA	15	63.8	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	20.5
	FB	20	63.8	15	15	5	0	6	18	2	70	24
	A₂ H	7	63.8	15	15	5	0	6	15.8	0.7	66.5	15.5
	B₂ H	7	63.8	15	15	5	0	6	19.3	0.7	70	19
	B₃ H	5	63.8	15	15	5	0	6	19.9	0.1	70	19
	LBH	2	63.8	15	15	5	0	6	20	0	70	19
	MGP-C-A-35	15	78.8	20	15	5	0	21	15	1.5	66.5	15.5
	A₂	7	78.8	20	15	5	0	21	15.8	0.7	66.5	15.5
	B	20	78.8	20	15	5	0	21	18	2	70	19
	B₂	7	78.8	20	15	5	0	21	19.3	0.7	70	19
	B₃	5	78.8	20	15	5	0	21	19.9	0.1	70	19
	FA	15	78.8	20	15	5	0	21	15	1.5	66.5	20.5
	FB	20	78.8	20	15	5	0	21	18	2	70	24
	A₂ H	7	78.8	20	15	5	0	21	15.8	0.7	66.5	15.5
	B₂ H	7	78.8	20	15	5	0	21	19.3	0.7	70	19
	B₃ H	5	78.8	20	15	5	0	21	19.9	0.1	70	19
	LBH	2	78.8	20	15	5	0	21	20	0	70	19

数　量　表

(1箇所当り)

基礎 縁石・皿溝部 再生砕石 (t=10)m²	基礎 樹部 (A) 再生砕石 (t=15)m²	基礎 樹部 (A) 再生砕石 (t=20)m²	基礎 樹部 (B) ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5)m³	基礎 樹部 (B) 型枠 m²	型枠 縁石・皿溝部 m³	型枠 樹部 m²	コンクリート 縁石・皿溝部 m³	コンクリート 樹部 m³	据付ﾓﾙﾀﾙ m³	ヒューム管 m	縁石 m	グレーチング蓋 粗目 枚	グレーチング蓋 細目 枚
0.140	0.648	——	0.032	0.090	0.365	1.386	0.050	0.203	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.140	0.648	——	0.032	0.090	0.365	1.386	0.050	0.203	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.171	0.648	——	0.032	0.090	0.365	1.386	0.052	0.203	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.171	0.648	——	0.032	0.090	0.365	1.386	0.052	0.203	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.171	0.648	——	0.032	0.090	0.365	1.386	0.052	0.203	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.185	0.648	——	0.032	0.090	0.464	1.386	0.063	0.203	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.216	0.648	——	0.032	0.090	0.464	1.386	0.064	0.203	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.140	0.648	——	0.032	0.090	0.365	1.386	0.050	0.203	0.001	0.900	0.900	——	1.000
0.171	0.648	——	0.032	0.090	0.365	1.386	0.052	0.203	0.002	0.900	0.900	——	1.000
0.171	0.648	——	0.032	0.090	0.365	1.386	0.052	0.203	0.002	0.900	0.900	——	1.000
0.171	0.648	——	0.032	0.090	0.393	1.386	0.056	0.203	0.002	0.900	0.900	——	1.000
0.140	0.648	——	0.032	0.090	0.580	1.788	0.075	0.243	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.140	0.648	——	0.032	0.090	0.580	1.788	0.075	0.243	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.171	0.648	——	0.032	0.090	0.580	1.788	0.078	0.243	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.171	0.648	——	0.032	0.090	0.580	1.788	0.078	0.243	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.171	0.648	——	0.032	0.090	0.580	1.788	0.078	0.243	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.185	0.648	——	0.032	0.090	0.679	1.788	0.089	0.243	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.216	0.648	——	0.032	0.090	0.679	1.788	0.093	0.243	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.140	0.648	——	0.032	0.090	0.580	1.788	0.075	0.243	0.001	0.900	0.900	——	1.000
0.171	0.648	——	0.032	0.090	0.580	1.788	0.078	0.243	0.002	0.900	0.900	——	1.000
0.171	0.648	——	0.032	0.090	0.580	1.788	0.078	0.243	0.002	0.900	0.900	——	1.000
0.171	0.648	——	0.032	0.090	0.608	1.788	0.082	0.243	0.002	0.900	0.900	——	1.000

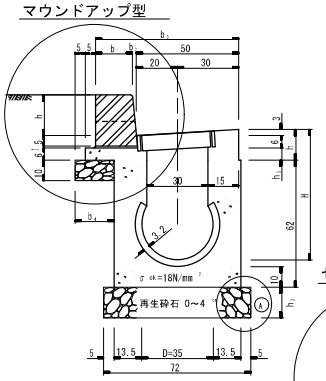
図番

街渠桝工(MGP-D)-35

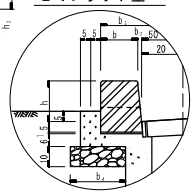
交通量区分ー N7交通(D交通)

6≦h₅＜26の場合

マウンドアップ型

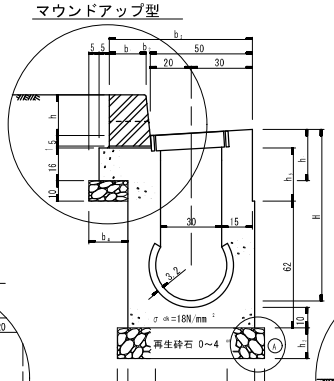


セミフラット型

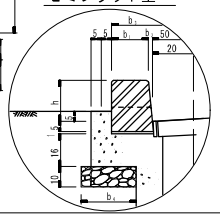


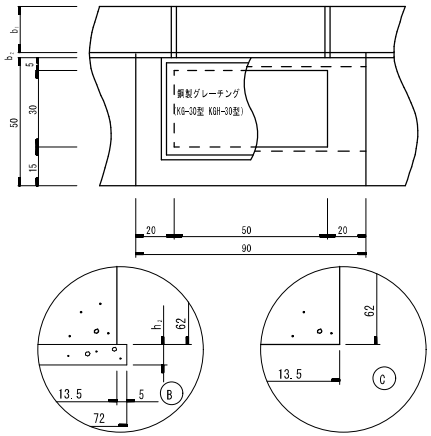
h₅≧26の場合

マウンドアップ型



セミフラット型





Hの変化によるh₁,h₅の変化

Hの変化	h₁	h₅
63.8 ～ 83.7	15 ～ 34.9	6 ～ 25.9
83.8 ～	25	26 ～

基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4cm
Ⓑ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=18N/mm²

ﾓﾙﾀﾙの品質

	配　合
据付ﾓﾙﾀﾙ	1：3
目地ﾓﾙﾀﾙ	1：2

寸　法　表

(cm)

摘要	工　種	h	H	h₁	h₂ A	h₂ B	h₂ C	h₅	b₁	b₂	b₃	b₄
	MGP-D-A-35	15	63.8	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	15.5
	A₂	7	63.8	15	15	5	0	6	15.8	0.7	66.5	15.5
	B	20	63.8	15	15	5	0	6	18	2	70	19
	B₂	7	63.8	15	15	5	0	6	19.3	0.7	70	19
	B₃	5	63.8	15	15	5	0	6	19.9	0.1	70	19
	FA	15	63.8	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	20.5
	FB	20	63.8	15	15	5	0	6	18	2	70	24
	A₂ H	7	63.8	15	15	5	0	6	15.8	0.7	66.5	15.5
	B₂ H	7	63.8	15	15	5	0	6	19.3	0.7	70	19
	B₃ H	5	63.8	15	15	5	0	6	19.9	0.1	70	19
	LBH	2	63.8	15	15	5	0	6	20	0	70	19
	MGP-D-A-35	15	83.8	25	15	5	0	26	15	1.5	66.5	15.5
	A₂	7	83.8	25	15	5	0	26	15.8	0.7	66.5	15.5
	B	20	83.8	25	15	5	0	26	18	2	70	19
	B₂	7	83.8	25	15	5	0	26	19.3	0.7	70	19
	B₃	5	83.8	25	15	5	0	26	19.9	0.1	70	19
	FA	15	83.8	25	15	5	0	26	15	1.5	66.5	20.5
	FB	20	83.8	25	15	5	0	26	18	2	70	24
	A₂ H	7	83.8	25	15	5	0	26	15.8	0.7	66.5	15.5
	B₂ H	7	83.8	25	15	5	0	26	19.3	0.7	70	19
	B₃ H	5	83.8	25	15	5	0	26	19.9	0.1	70	19
	LBH	2	83.8	25	15	5	0	26	20	0	70	19

数　量　表

(1箇所当り)

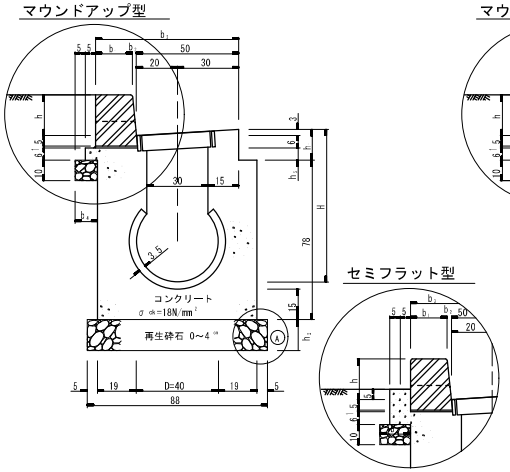
摘要	工　種	基礎 縁石・皿溝部 再生砕石 (t=10)m²	基礎 桝部 Ⓐ 再生砕石 (t=15)m²	基礎 桝部 Ⓐ 再生砕石 (t=20)m²	基礎 桝部 Ⓑ ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5)m³	基礎 桝部 Ⓑ 型枠 m²	型枠 縁石・皿溝部 m³	型枠 桝部 m²	ｺﾝｸﾘｰﾄ 縁石・皿溝部 m³	ｺﾝｸﾘｰﾄ 桝部 m³	据付ﾓﾙﾀﾙ m³	ﾋｭｰﾑ管 m	縁石 m	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 粗目 枚	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 枚
	MGP-D-A-35	0.140	0.648	——	0.032	0.090	0.365	1.386	0.050	0.203	0.001	0.900	0.900	1.000	——
	A₂	0.140	0.648	——	0.032	0.090	0.365	1.386	0.050	0.203	0.001	0.900	0.900	1.000	——
	B	0.171	0.648	——	0.032	0.090	0.365	1.386	0.052	0.203	0.002	0.900	0.900	1.000	——
	B₂	0.171	0.648	——	0.032	0.090	0.365	1.386	0.052	0.203	0.002	0.900	0.900	1.000	——
	B₃	0.171	0.648	——	0.032	0.090	0.365	1.386	0.052	0.203	0.002	0.900	0.900	1.000	——
	FA	0.185	0.648	——	0.032	0.090	0.464	1.386	0.063	0.203	0.001	0.900	0.900	1.000	——
	FB	0.216	0.648	——	0.032	0.090	0.464	1.386	0.064	0.203	0.002	0.900	0.900	1.000	——
	A₂ H	0.140	0.648	——	0.032	0.090	0.365	1.386	0.050	0.203	0.001	0.900	0.900	——	1.000
	B₂ H	0.171	0.648	——	0.032	0.090	0.365	1.386	0.052	0.203	0.002	0.900	0.900	——	1.000
	B₃ H	0.171	0.648	——	0.032	0.090	0.365	1.386	0.052	0.203	0.002	0.900	0.900	——	1.000
	LBH	0.171	0.648	——	0.032	0.090	0.393	1.386	0.056	0.203	0.002	0.900	0.900	——	1.000
	MGP-D-A-35	0.140	0.648	——	0.032	0.090	0.795	1.788	0.099	0.243	0.001	0.900	0.900	1.000	——
	A₂	0.140	0.648	——	0.032	0.090	0.795	1.788	0.099	0.243	0.001	0.900	0.900	1.000	——
	B	0.171	0.648	——	0.032	0.090	0.795	1.788	0.104	0.243	0.002	0.900	0.900	1.000	——
	B₂	0.171	0.648	——	0.032	0.090	0.795	1.788	0.104	0.243	0.002	0.900	0.900	1.000	——
	B₃	0.171	0.648	——	0.032	0.090	0.795	1.788	0.104	0.243	0.002	0.900	0.900	1.000	——
	FA	0.185	0.648	——	0.032	0.090	0.894	1.788	0.116	0.243	0.001	0.900	0.900	1.000	——
	FB	0.216	0.648	——	0.032	0.090	0.894	1.788	0.121	0.243	0.002	0.900	0.900	1.000	——
	A₂ H	0.140	0.648	——	0.032	0.090	0.795	1.788	0.099	0.243	0.001	0.900	0.900	——	1.000
	B₂ H	0.171	0.648	——	0.032	0.090	0.795	1.788	0.104	0.243	0.002	0.900	0.900	——	1.000
	B₃ H	0.171	0.648	——	0.032	0.090	0.795	1.788	0.104	0.243	0.002	0.900	0.900	——	1.000
	LBH	0.171	0.648	——	0.032	0.090	0.823	1.788	0.108	0.243	0.002	0.900	0.900	——	1.000

図番

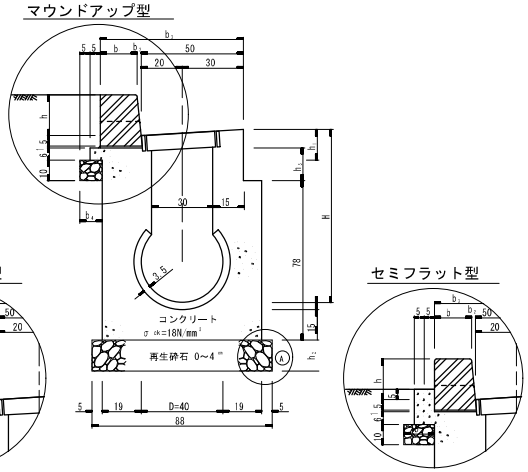
街渠桝工(MGP-L)-40

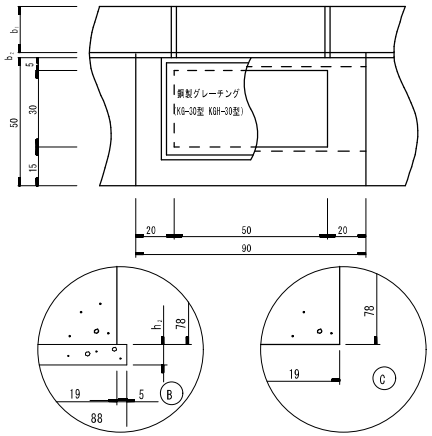
交通量区分－ N1～N5交通(LAB交通)

6≦h5＜16の場合



h5≧16の場合





Hの変化によるh1,h5の変化

Hの変化	h1	h5
74.5 ～ 84.4	15 ～ 24.9	6 ～ 15.9
84.5 ～	15	16 ～

基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4cm
Ⓑ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σ_{ck}=18N/mm^2

ﾓﾙﾀﾙの品質

	配　合
据付ﾓﾙﾀﾙ	1：3
目地ﾓﾙﾀﾙ	1：2

寸　法　表

(cm)

○印施工	工　種	h	H	h1	h2 A	h2 B	h2 C	h5	b1	b2	b3	b4
	MGP-L-A-40	15	74.5	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	7.5
	A2	7	74.5	15	15	5	0	6	15.8	0.7	66.5	7.5
	B	20	74.5	15	15	5	0	6	18	2	70	11
	B2	7	74.5	15	15	5	0	6	19.3	0.7	70	11
	B3	5	74.5	15	15	5	0	6	19.9	0.1	70	11
	FA	15	74.5	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	12.5
	FB	20	74.5	15	15	5	0	6	18	2	70	16
	A2 H	7	74.5	15	15	5	0	6	15.8	0.7	66.5	7.5
	B2 H	7	74.5	15	15	5	0	6	19.3	0.7	70	11
	B3 H	5	74.5	15	15	5	0	6	19.9	0.1	70	11
	LBH	2	74.5	15	15	5	0	6	20	0	70	11
	MGP-L-A-40	15	84.5	15	15	5	0	16	15	1.5	66.5	7.5
	A2	7	84.5	15	15	5	0	16	15.8	0.7	66.5	7.5
	B	20	84.5	15	15	5	0	16	18	2	70	11
	B2	7	84.5	15	15	5	0	16	19.3	0.7	70	11
	B3	5	84.5	15	15	5	0	16	19.9	0.1	70	11
	FA	15	84.5	15	15	5	0	16	15	1.5	66.5	12.5
	FB	20	84.5	15	15	5	0	16	18	2	70	16
	A2 H	7	84.5	15	15	5	0	16	15.8	0.7	66.5	7.5
	B2 H	7	84.5	15	15	5	0	16	19.3	0.7	70	11
	B3 H	5	84.5	15	15	5	0	16	19.9	0.1	70	11
	LBH	2	84.5	15	15	5	0	16	20	0	70	11

数　量　表

(1箇所当り)

基礎 縁石・皿溝部 再生砕石 (t=10)m2	基礎 桝部 Ⓐ 再生砕石 (t=15)m2	基礎 桝部 Ⓐ 再生砕石 (t=20)m2	基礎 桝部 Ⓑ ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5)m3	基礎 桝部 Ⓑ 基礎型枠 m2	型枠 縁石・皿溝部 m3	型枠 桝部 m2	ｺﾝｸﾘｰﾄ 縁石・皿溝部 m3	ｺﾝｸﾘｰﾄ 桝部 m3	据付ﾓﾙﾀﾙ m3	ﾋｭｰﾑ管 m	縁石 m	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 粗目 枚	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 枚
0.068	0.792	——	0.040	0.090	0.365	1.750	0.050	0.363	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.068	0.792	——	0.040	0.090	0.365	1.750	0.050	0.363	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.099	0.792	——	0.040	0.090	0.365	1.750	0.052	0.363	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.099	0.792	——	0.040	0.090	0.365	1.750	0.052	0.363	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.099	0.792	——	0.040	0.090	0.365	1.750	0.052	0.363	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.113	0.792	——	0.040	0.090	0.464	1.750	0.063	0.363	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.144	0.792	——	0.040	0.090	0.464	1.750	0.064	0.363	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.068	0.792	——	0.040	0.090	0.365	1.750	0.050	0.363	0.001	0.900	0.900	——	1.000
0.099	0.792	——	0.040	0.090	0.365	1.750	0.052	0.363	0.002	0.900	0.900	——	1.000
0.099	0.792	——	0.040	0.090	0.365	1.750	0.052	0.363	0.002	0.900	0.900	——	1.000
0.099	0.792	——	0.040	0.090	0.393	1.750	0.056	0.363	0.002	0.900	0.900	——	1.000
0.068	0.792	——	0.040	0.090	0.365	2.168	0.050	0.410	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.068	0.792	——	0.040	0.090	0.365	2.168	0.050	0.410	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.099	0.792	——	0.040	0.090	0.365	2.168	0.052	0.410	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.099	0.792	——	0.040	0.090	0.365	2.168	0.052	0.410	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.099	0.792	——	0.040	0.090	0.365	2.168	0.052	0.410	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.113	0.792	——	0.040	0.090	0.464	2.168	0.063	0.410	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.144	0.792	——	0.040	0.090	0.464	2.168	0.064	0.410	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.068	0.792	——	0.040	0.090	0.365	2.168	0.050	0.410	0.001	0.900	0.900	——	1.000
0.099	0.792	——	0.040	0.090	0.365	2.168	0.052	0.410	0.002	0.900	0.900	——	1.000
0.099	0.792	——	0.040	0.090	0.365	2.168	0.052	0.410	0.002	0.900	0.900	——	1.000
0.099	0.792	——	0.040	0.090	0.393	2.168	0.056	0.410	0.002	0.900	0.900	——	1.000

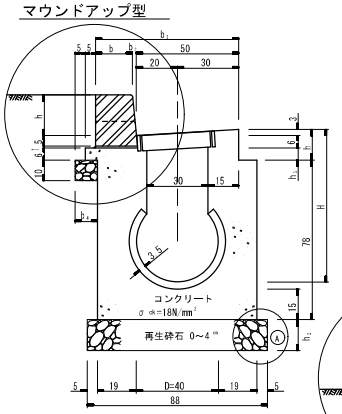
図番

街渠桝工(MGP-C)-40

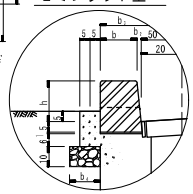
交通量区分－ N6交通(C交通)

$6 \leqq h_5 < 21$の場合

マウンドアップ型

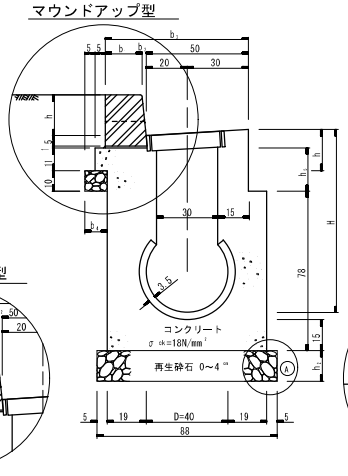


セミフラット型

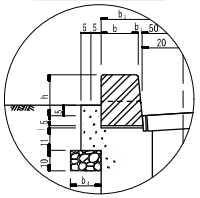


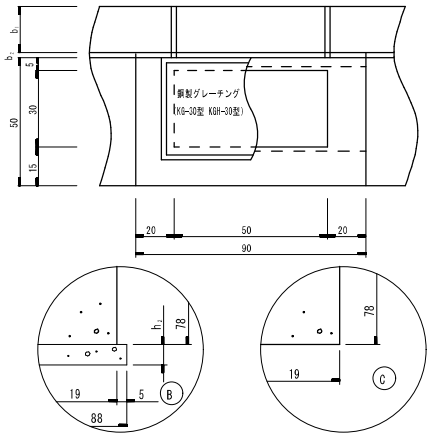
$h_5 \geqq 21$の場合

マウンドアップ型



セミフラット型





Hの変化によるh_1,h_5の変化

Hの変化	h_1	h_5
74.5 ～ 89.4	15 ～ 29.9	6 ～ 20.9
89.5 ～	20	21 ～

基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4cm
Ⓑ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σ_{ck}=18N/mm²

ﾓﾙﾀﾙの品質

	配　合
据付ﾓﾙﾀﾙ	1 : 3
目地ﾓﾙﾀﾙ	1 : 2

寸　法　表

(cm)

○印集工	工　種	h	H	h_1	h_2 A	h_2 B	h_2 C	h_5	b_1	b_2	b_3	b_4
	MGP-C-A-40	15	74.5	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	7.5
	A_2	7	74.5	15	15	5	0	6	15.8	0.7	66.5	7.5
	B	20	74.5	15	15	5	0	6	18	2	70	11
	B_2	7	74.5	15	15	5	0	6	19.3	0.7	70	11
	B_3	5	74.5	15	15	5	0	6	19.9	0.1	70	11
	FA	15	74.5	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	12.5
	FB	20	74.5	15	15	5	0	6	18	2	70	16
	A_2 H	7	74.5	15	15	5	0	6	15.8	0.7	66.5	7.5
	B_2 H	7	74.5	15	15	5	0	6	19.3	0.7	70	11
	B_3 H	5	74.5	15	15	5	0	6	19.9	0.1	70	11
	LBH	2	74.5	15	15	5	0	6	20	0	70	11
	MGP-C-A-40	15	89.5	20	15	5	0	21	15	1.5	66.5	7.5
	A_2	7	89.5	20	15	5	0	21	15.8	0.7	66.5	7.5
	B	20	89.5	20	15	5	0	21	18	2	70	11
	B_2	7	89.5	20	15	5	0	21	19.3	0.7	70	11
	B_3	5	89.5	20	15	5	0	21	19.9	0.1	70	11
	FA	15	89.5	20	15	5	0	21	15	1.5	66.5	12.5
	FB	20	89.5	20	15	5	0	21	18	2	70	16
	A_2 H	7	89.5	20	15	5	0	21	15.8	0.7	66.5	7.5
	B_2 H	7	89.5	20	15	5	0	21	19.3	0.7	70	11
	B_3 H	5	89.5	20	15	5	0	21	19.9	0.1	70	11
	LBH	2	89.5	20	15	5	0	21	20	0	70	11

数　量　表

(1箇所当り)

基礎 縁石・皿溝部 再生砕石 (t=10)m²	基礎 桝部 Ⓐ 再生砕石 (t=15)m²	基礎 桝部 Ⓐ 再生砕石 (t=20)m²	基礎 桝部 Ⓑ ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5)m³	基礎 桝部 Ⓑ 基礎型枠 m²	型枠 縁石・皿溝部 m³	型枠 桝部 m²	ｺﾝｸﾘｰﾄ 縁石・皿溝部 m³	ｺﾝｸﾘｰﾄ 桝部 m³	据付ﾓﾙﾀﾙ m³	ﾋｭｰﾑ管 m	縁石 m	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 粗目 枚	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 枚
0.068	0.792	——	0.040	0.090	0.365	1.750	0.050	0.363	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.068	0.792	——	0.040	0.090	0.365	1.750	0.050	0.363	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.099	0.792	——	0.040	0.090	0.365	1.750	0.052	0.363	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.099	0.792	——	0.040	0.090	0.365	1.750	0.052	0.363	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.099	0.792	——	0.040	0.090	0.365	1.750	0.052	0.363	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.113	0.792	——	0.040	0.090	0.464	1.750	0.063	0.363	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.144	0.792	——	0.040	0.090	0.464	1.750	0.064	0.363	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.068	0.792	——	0.040	0.090	0.365	1.750	0.050	0.363	0.001	0.900	0.900	——	1.000
0.099	0.792	——	0.040	0.090	0.365	1.750	0.052	0.363	0.002	0.900	0.900	——	1.000
0.099	0.792	——	0.040	0.090	0.365	1.750	0.052	0.363	0.002	0.900	0.900	——	1.000
0.099	0.792	——	0.040	0.090	0.393	1.750	0.056	0.363	0.002	0.900	0.900	——	1.000
0.068	0.792	——	0.040	0.090	0.580	2.168	0.075	0.410	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.068	0.792	——	0.040	0.090	0.580	2.168	0.075	0.410	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.099	0.792	——	0.040	0.090	0.580	2.168	0.078	0.410	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.099	0.792	——	0.040	0.090	0.580	2.168	0.078	0.410	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.099	0.792	——	0.040	0.090	0.580	2.168	0.078	0.410	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.113	0.792	——	0.040	0.090	0.679	2.168	0.089	0.410	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.144	0.792	——	0.040	0.090	0.679	2.168	0.093	0.410	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.068	0.792	——	0.040	0.090	0.580	2.168	0.075	0.410	0.001	0.900	0.900	——	1.000
0.099	0.792	——	0.040	0.090	0.580	2.168	0.078	0.410	0.002	0.900	0.900	——	1.000
0.099	0.792	——	0.040	0.090	0.580	2.168	0.078	0.410	0.002	0.900	0.900	——	1.000
0.099	0.792	——	0.040	0.090	0.608	2.168	0.082	0.410	0.002	0.900	0.900	——	1.000

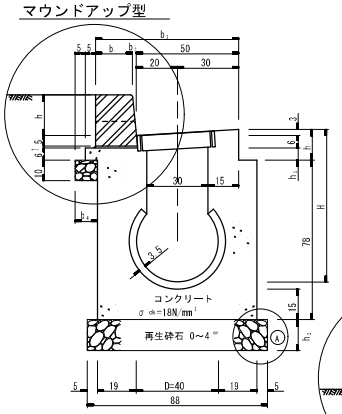
図番

街渠桝工(MGP-D)-40

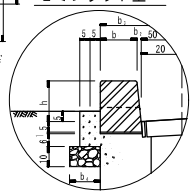
交通量区分ー N7交通(D交通)

$6 \leqq h_5 < 26$の場合

マウンドアップ型

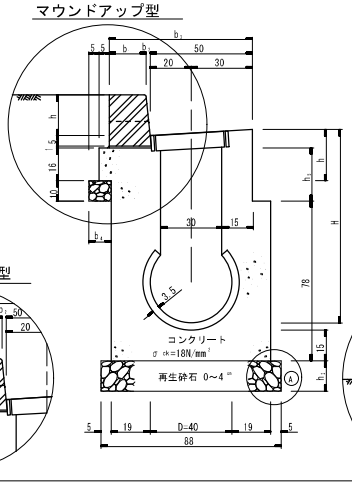


セミフラット型

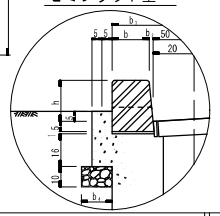


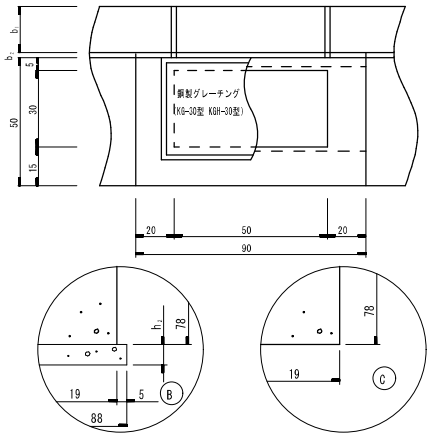
$h_5 \geqq 26$の場合

マウンドアップ型



セミフラット型





Hの変化によるh_1,h_5の変化

Hの変化	h_1	h_5
74.5 ～ 94.4	15 ～ 34.9	6 ～ 25.9
94.5 ～	25	26 ～

基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4cm
Ⓑ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σ_{ck}=18N/mm²

ﾓﾙﾀﾙの品質

	配　合
据付ﾓﾙﾀﾙ	1 : 3
目地ﾓﾙﾀﾙ	1 : 2

寸　法　表

(cm)

○印施工	工　種	h	H	h_1	h_2 A	h_2 B	h_2 C	h_5	b_1	b_2	b_3	b_4
	MGP-D-A-40	15	74.5	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	7.5
	A₂	7	74.5	15	15	5	0	6	15.8	0.7	66.5	7.5
	B	20	74.5	15	15	5	0	6	18	2	70	11
	B₂	7	74.5	15	15	5	0	6	19.3	0.7	70	11
	B₃	5	74.5	15	15	5	0	6	19.9	0.1	70	11
	FA	15	74.5	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	12.5
	FB	20	74.5	15	15	5	0	6	18	2	70	16
	A₂ H	7	74.5	15	15	5	0	6	15.8	0.7	66.5	7.5
	B₂ H	7	74.5	15	15	5	0	6	19.3	0.7	70	11
	B₃ H	5	74.5	15	15	5	0	6	19.9	0.1	70	11
	LBH	2	74.5	15	15	5	0	6	20	0	70	11
	MGP-D-A-40	15	94.5	25	15	5	0	26	15	1.5	66.5	7.5
	A₂	7	94.5	25	15	5	0	26	15.8	0.7	66.5	7.5
	B	20	94.5	25	15	5	0	26	18	2	70	11
	B₂	7	94.5	25	15	5	0	26	19.3	0.7	70	11
	B₃	5	94.5	25	15	5	0	26	19.9	0.1	70	11
	FA	15	94.5	25	15	5	0	26	15	1.5	66.5	12.5
	FB	20	94.5	25	15	5	0	26	18	2	70	16
	A₂ H	7	94.5	25	15	5	0	26	15.8	0.7	66.5	7.5
	B₂ H	7	94.5	25	15	5	0	26	19.3	0.7	70	11
	B₃ H	5	94.5	25	15	5	0	26	19.9	0.1	70	11
	LBH	2	94.5	25	15	5	0	26	20	0	70	11

数　量　表

(1箇所当り)

基礎 縁石・皿溝部 再生砕石 (t=10)m²	基礎 桝部 Ⓐ 再生砕石 (t=15)m²	基礎 桝部 Ⓐ 再生砕石 (t=20)m²	基礎 桝部 Ⓑ コンクリート (t=5)m³	基礎 桝部 Ⓑ 基礎型枠 m²	型枠 縁石・皿溝部 m³	型枠 桝部 m²	コンクリート 縁石・皿溝部 m³	コンクリート 桝部 m³	据付モルタル m³	ヒューム管 m	縁石 m	グレーチング蓋 粗目 枚	グレーチング蓋 細目 枚
0.068	0.792	——	0.040	0.090	0.365	1.750	0.050	0.363	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.068	0.792	——	0.040	0.090	0.365	1.750	0.050	0.363	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.099	0.792	——	0.040	0.090	0.365	1.750	0.052	0.363	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.099	0.792	——	0.040	0.090	0.365	1.750	0.052	0.363	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.099	0.792	——	0.040	0.090	0.365	1.750	0.052	0.363	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.113	0.792	——	0.040	0.090	0.464	1.750	0.063	0.363	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.144	0.792	——	0.040	0.090	0.464	1.750	0.064	0.363	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.068	0.792	——	0.040	0.090	0.365	1.750	0.050	0.363	0.001	0.900	0.900	——	1.000
0.099	0.792	——	0.040	0.090	0.365	1.750	0.052	0.363	0.002	0.900	0.900	——	1.000
0.099	0.792	——	0.040	0.090	0.365	1.750	0.052	0.363	0.002	0.900	0.900	——	1.000
0.099	0.792	——	0.040	0.090	0.393	1.750	0.056	0.363	0.002	0.900	0.900	——	1.000
0.068	0.792	——	0.040	0.090	0.795	2.168	0.099	0.410	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.068	0.792	——	0.040	0.090	0.795	2.168	0.099	0.410	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.099	0.792	——	0.040	0.090	0.795	2.168	0.104	0.410	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.099	0.792	——	0.040	0.090	0.795	2.168	0.104	0.410	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.099	0.792	——	0.040	0.090	0.795	2.168	0.104	0.410	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.113	0.792	——	0.040	0.090	0.894	2.168	0.116	0.410	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.144	0.792	——	0.040	0.090	0.894	2.168	0.121	0.410	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.068	0.792	——	0.040	0.090	0.795	2.168	0.099	0.410	0.001	0.900	0.900	——	1.000
0.099	0.792	——	0.040	0.090	0.795	2.168	0.104	0.410	0.002	0.900	0.900	——	1.000
0.099	0.792	——	0.040	0.090	0.795	2.168	0.104	0.410	0.002	0.900	0.900	——	1.000
0.099	0.792	——	0.040	0.090	0.823	2.168	0.108	0.410	0.002	0.900	0.900	——	1.000

図番

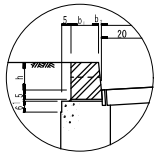
街渠桝工(MGP-L)-45

交通量区分－ N1～N5交通(LAB交通)

6≦h5＜16の場合

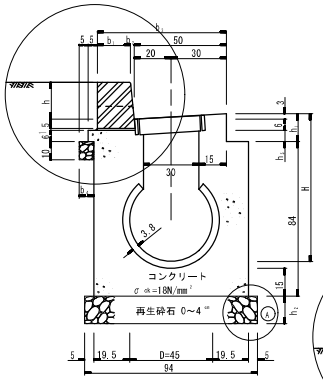
A1,2,3の場合

マウンドアップ型

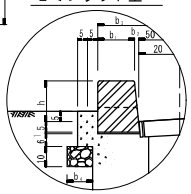


B1,2,3の場合

マウンドアップ型

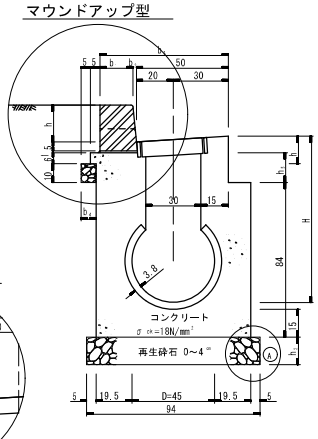


セミフラット型

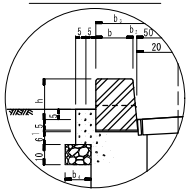


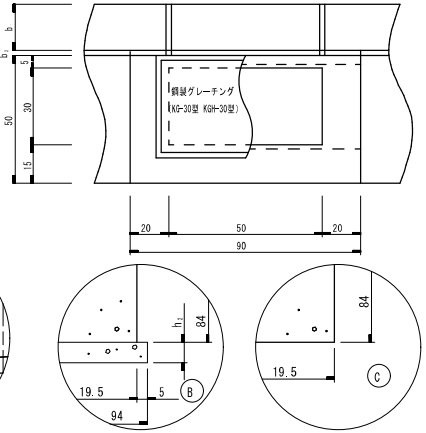
h5≧16の場合

マウンドアップ型



セミフラット型





Hの変化によるh1,h5の変化

Hの変化	h1	h5
80.2 ～ 90.1	15 ～ 24.9	6 ～ 15.9
90.2 ～	15	16 ～

基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4cm
Ⓑ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=18N/mm²

ﾓﾙﾀﾙの品質

	配　合
据付ﾓﾙﾀﾙ	1 : 3
目地ﾓﾙﾀﾙ	1 : 2

寸　法　表

(cm)

○印施工	工　種	h	H	h1	h2 A	h2 B	h2 C	h5	b1	b2	b3	b4
	MGP-L-A-45	15	80.2	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	——
	A2	7	80.2	15	15	5	0	6	15.8	0.7	66.5	——
	B	20	80.2	15	15	5	0	6	18	2	70	8.0
	B2	7	80.2	15	15	5	0	6	19.3	0.7	70	8.0
	B3	5	80.2	15	15	5	0	6	19.9	0.1	70	8.0
	FA	15	80.2	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	10.0
	FB	20	80.2	15	15	5	0	6	18	2	70	13.0
	A2 H	7	80.2	15	15	5	0	6	15.8	0.7	66.5	——
	B2 H	7	80.2	15	15	5	0	6	19.3	0.7	70	8.0
	B3 H	5	80.2	15	15	5	0	6	19.9	0.1	70	8.0
	LBH	2	80.2	15	15	5	0	6	20	0	70	8.0
	MGP-L-A-45	15	90.2	15	15	5	0	16	15	1.5	66.5	——
	A2	7	90.2	15	15	5	0	16	15.8	0.7	66.5	——
	B	20	90.2	15	15	5	0	16	18	2	70	8.0
	B2	7	90.2	15	15	5	0	16	19.3	0.7	70	8.0
	B3	5	90.2	15	15	5	0	16	19.9	0.1	70	8.0
	FA	15	90.2	15	15	5	0	16	15	1.5	66.5	10.0
	FB	20	90.2	15	15	5	0	16	18	2	70	13.0
	A2 H	7	90.2	15	15	5	0	16	15.8	0.7	66.5	——
	B2 H	7	90.2	15	15	5	0	16	19.3	0.7	70	8.0
	B3 H	5	90.2	15	15	5	0	16	19.9	0.1	70	8.0
	LBH	2	90.2	15	15	5	0	16	20	0	70	8.0

数　量　表

(1箇所当り)

○印施工	工　種	基礎 縁石・皿溝部 再生砕石 (t=10)m²	基礎 桝部 Ⓐ 再生砕石 (t=15)m²	基礎 桝部 Ⓐ 再生砕石 (t=20)m²	基礎 桝部 Ⓑ ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5)m³	基礎 桝部 Ⓑ 基礎型枠 m²	型枠 縁石・皿溝部 m³	型枠 桝部 m²	ｺﾝｸﾘｰﾄ 縁石・皿溝部 m³	ｺﾝｸﾘｰﾄ 桝部 m³	据付ﾓﾙﾀﾙ m³	ﾋｭｰﾑ管 m	縁　石 m	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 粗　目 枚	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細　目 枚
	MGP-L-A-45	——	0.846	——	0.042	0.090	0.365	1.861	0.050	0.410	0.001	0.900	0.900	1.000	——
	A2	——	0.846	——	0.042	0.090	0.365	1.861	0.050	0.410	0.001	0.900	0.900	1.000	——
	B	0.072	0.846	——	0.042	0.090	0.365	1.861	0.052	0.410	0.002	0.900	0.900	1.000	——
	B2	0.072	0.846	——	0.042	0.090	0.365	1.861	0.052	0.410	0.002	0.900	0.900	1.000	——
	B3	0.072	0.846	——	0.042	0.090	0.365	1.861	0.052	0.410	0.002	0.900	0.900	1.000	——
	FA	0.090	0.846	——	0.042	0.090	0.464	1.861	0.063	0.410	0.001	0.900	0.900	1.000	——
	FB	0.117	0.846	——	0.042	0.090	0.464	1.861	0.064	0.410	0.002	0.900	0.900	1.000	——
	A2 H	——	0.846	——	0.042	0.090	0.365	1.861	0.050	0.410	0.001	0.900	0.900	——	1.000
	B2 H	0.072	0.846	——	0.042	0.090	0.365	1.861	0.052	0.410	0.002	0.900	0.900	——	1.000
	B3 H	0.072	0.846	——	0.042	0.090	0.365	1.861	0.052	0.410	0.002	0.900	0.900	——	1.000
	LBH	0.072	0.846	——	0.042	0.090	0.393	1.861	0.056	0.410	0.002	0.900	0.900	——	1.000
	MGP-L-A-45	——	0.846	——	0.042	0.090	0.365	2.285	0.050	0.460	0.001	0.900	0.900	1.000	——
	A2	——	0.846	——	0.042	0.090	0.365	2.285	0.050	0.460	0.001	0.900	0.900	1.000	——
	B	0.072	0.846	——	0.042	0.090	0.365	2.285	0.052	0.460	0.002	0.900	0.900	1.000	——
	B2	0.072	0.846	——	0.042	0.090	0.365	2.285	0.052	0.460	0.002	0.900	0.900	1.000	——
	B3	0.072	0.846	——	0.042	0.090	0.365	2.285	0.052	0.460	0.002	0.900	0.900	1.000	——
	FA	0.090	0.846	——	0.042	0.090	0.464	2.285	0.063	0.460	0.001	0.900	0.900	1.000	——
	FB	0.117	0.846	——	0.042	0.090	0.464	2.285	0.064	0.460	0.002	0.900	0.900	1.000	——
	A2 H	——	0.846	——	0.042	0.090	0.365	2.285	0.050	0.460	0.001	0.900	0.900	——	1.000
	B2 H	0.072	0.846	——	0.042	0.090	0.365	2.285	0.052	0.460	0.002	0.900	0.900	——	1.000
	B3 H	0.072	0.846	——	0.042	0.090	0.365	2.285	0.052	0.460	0.002	0.900	0.900	——	1.000
	LBH	0.072	0.846	——	0.042	0.090	0.393	2.285	0.056	0.460	0.002	0.900	0.900	——	1.000

図番

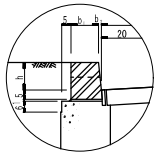
街渠桝工(MGP-C)-45

交通量区分ー N6交通(C交通)

6≦h₅<21の場合

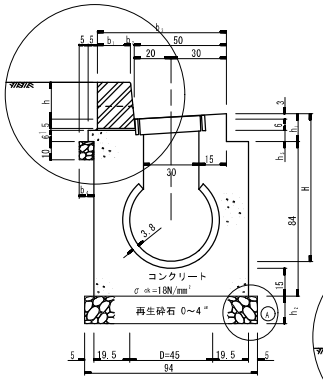
A1,2,3の場合

マウンドアップ型

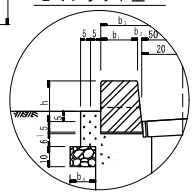


B1,2,3の場合

マウンドアップ型

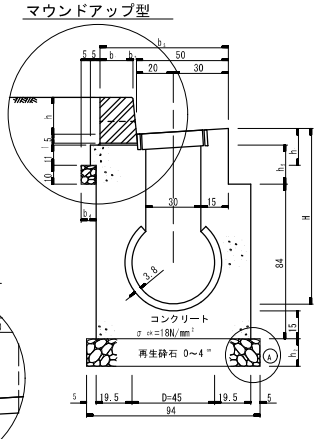


セミフラット型

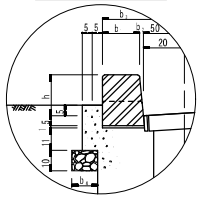


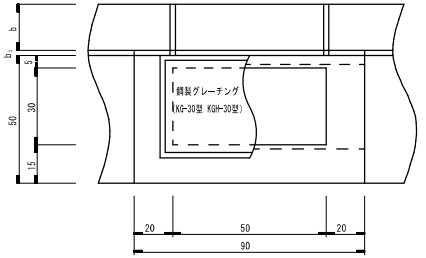
h₅≧21の場合

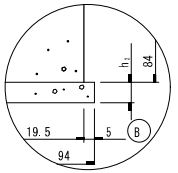
マウンドアップ型

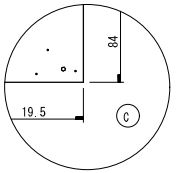


セミフラット型









Hの変化によるh₁,h₅の変化

Hの変化	h_1	h_5
80.2 ～ 95.1	15 ～ 29.9	6 ～ 20.9
95.2 ～	20	21 ～

基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4cm
Ⓑ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σ_{ck}=18N/mm²

モルタルの品質

	配　合
据付ﾓﾙﾀﾙ	1 : 3
目地ﾓﾙﾀﾙ	1 : 2

寸　法　表

(cm)

○印東工	工　種	h	H	h_1	h_2 A	h_2 B	h_2 C	h_5	b_1	b_2	b_3	b_4
	MGP-C-A-45	15	80.2	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	——
	A_2	7	80.2	15	15	5	0	6	15.8	0.7	66.5	——
	B	20	80.2	15	15	5	0	6	18	2	70	8.0
	B_2	7	80.2	15	15	5	0	6	19.3	0.7	70	8.0
	B_3	5	80.2	15	15	5	0	6	19.9	0.1	70	8.0
	FA	15	80.2	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	10.0
	FB	20	80.2	15	15	5	0	6	18	2	70	13.0
	A_2 H	7	80.2	15	15	5	0	6	15.8	0.7	66.5	——
	B_2 H	7	80.2	15	15	5	0	6	19.3	0.7	70	8.0
	B_3 H	5	80.2	15	15	5	0	6	19.9	0.1	70	8.0
	LBH	2	80.2	15	15	5	0	6	20	0	70	8.0
	MGP-C-A-45	15	95.2	20	15	5	0	21	15	1.5	66.5	——
	A_2	7	95.2	20	15	5	0	21	15.8	0.7	66.5	——
	B	20	95.2	20	15	5	0	21	18	2	70	8.0
	B_2	7	95.2	20	15	5	0	21	19.3	0.7	70	8.0
	B_3	5	95.2	20	15	5	0	21	19.9	0.1	70	8.0
	FA	15	95.2	20	15	5	0	21	15	1.5	66.5	10.0
	FB	20	95.2	20	15	5	0	21	18	2	70	13.0
	A_2 H	7	95.2	20	15	5	0	21	15.8	0.7	66.5	——
	B_2 H	7	95.2	20	15	5	0	21	19.3	0.7	70	8.0
	B_3 H	5	95.2	20	15	5	0	21	19.9	0.1	70	8.0
	LBH	2	95.2	20	15	5	0	21	20	0	70	8.0

数　量　表

(1箇所当り)

基礎 緑石・皿溝部 再生砕石 (t=10)m²	基礎 桝部 Ⓐ 再生砕石 (t=15)m²	基礎 桝部 Ⓐ 再生砕石 (t=20)m²	基礎 桝部 Ⓑ コンクリート (t=5)m³	基礎 桝部 Ⓑ 基礎型枠 m²	型枠 緑石・皿溝部 m²	型枠 桝部 m²	コンクリート 緑石・皿溝部 m³	コンクリート 桝部 m³	据付モルタル m³	ヒューム管 m	緑石 m	グレーチング蓋 粗目 枚	グレーチング蓋 細目 枚
——	0.846	——	0.042	0.090	0.365	1.861	0.050	0.410	0.001	0.900	0.900	1.000	——
——	0.846	——	0.042	0.090	0.365	1.861	0.050	0.410	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.072	0.846	——	0.042	0.090	0.365	1.861	0.052	0.410	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.072	0.846	——	0.042	0.090	0.365	1.861	0.052	0.410	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.072	0.846	——	0.042	0.090	0.365	1.861	0.052	0.410	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.090	0.846	——	0.042	0.090	0.464	1.861	0.063	0.410	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.117	0.846	——	0.042	0.090	0.464	1.861	0.064	0.410	0.002	0.900	0.900	1.000	——
——	0.846	——	0.042	0.090	0.365	1.861	0.050	0.410	0.001	0.900	0.900	——	1.000
0.072	0.846	——	0.042	0.090	0.365	1.861	0.052	0.410	0.002	0.900	0.900	——	1.000
0.072	0.846	——	0.042	0.090	0.365	1.861	0.052	0.410	0.002	0.900	0.900	——	1.000
0.072	0.846	——	0.042	0.090	0.393	1.861	0.056	0.410	0.002	0.900	0.900	——	1.000
——	0.846	——	0.042	0.090	0.580	2.285	0.075	0.460	0.001	0.900	0.900	1.000	——
——	0.846	——	0.042	0.090	0.580	2.285	0.075	0.460	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.072	0.846	——	0.042	0.090	0.580	2.285	0.078	0.460	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.072	0.846	——	0.042	0.090	0.580	2.285	0.078	0.460	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.072	0.846	——	0.042	0.090	0.580	2.285	0.078	0.460	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.090	0.846	——	0.042	0.090	0.679	2.285	0.089	0.460	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.117	0.846	——	0.042	0.090	0.679	2.285	0.093	0.460	0.002	0.900	0.900	1.000	——
——	0.846	——	0.042	0.090	0.580	2.285	0.075	0.460	0.001	0.900	0.900	——	1.000
0.072	0.846	——	0.042	0.090	0.580	2.285	0.078	0.460	0.002	0.900	0.900	——	1.000
0.072	0.846	——	0.042	0.090	0.580	2.285	0.078	0.460	0.002	0.900	0.900	——	1.000
0.072	0.846	——	0.042	0.090	0.608	2.285	0.082	0.460	0.002	0.900	0.900	——	1.000

図番

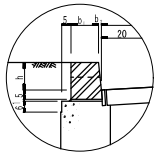
街渠桝工(MGP-D)-45

交通量区分ー N7交通(D交通)

6≦h₅<26の場合

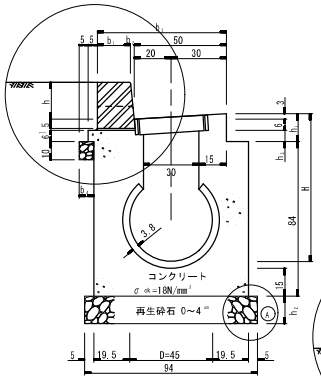
A1,2,3の場合

マウンドアップ型

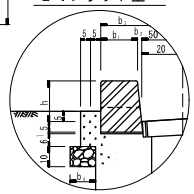


B1,2,3の場合

マウンドアップ型

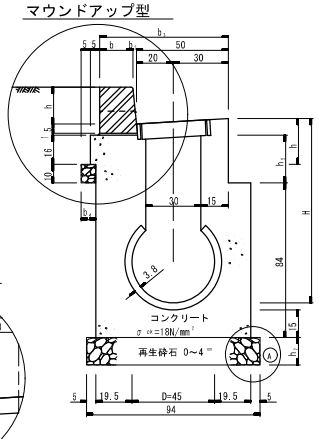


セミフラット型

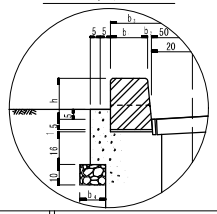


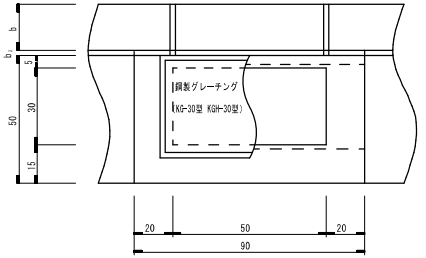
h₅≧26の場合

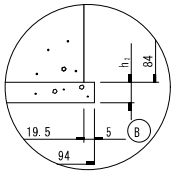
マウンドアップ型

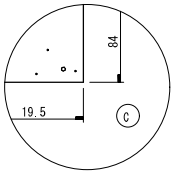


セミフラット型









Hの変化によるh₁,h₅の変化

Hの変化	h_1	h_5
80.2 ～ 100.1	15 ～ 34.9	6 ～ 25.9
100.2 ～	25	26 ～

基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4cm
Ⓑ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σ_{ck}=18N/mm²

モルタルの品質

	配　合
据付ﾓﾙﾀﾙ	1 : 3
目地ﾓﾙﾀﾙ	1 : 2

寸　法　表

(cm)

○印底土	工　種	h	H	h_1	h_2 A	h_2 B	h_2 C	h_5	b_1	b_2	b_3	b_4
	MGP-D-A-45	15	80.2	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	——
	A_2	7	80.2	15	15	5	0	6	15.8	0.7	66.5	——
	B	20	80.2	15	15	5	0	6	18	2	70	8.0
	B_2	7	80.2	15	15	5	0	6	19.3	0.7	70	8.0
	B_3	5	80.2	15	15	5	0	6	19.9	0.1	70	8.0
	FA	15	80.2	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	10.0
	FB	20	80.2	15	15	5	0	6	18	2	70	13.0
	A_2 H	7	80.2	15	15	5	0	6	15.8	0.7	66.5	——
	B_2 H	7	80.2	15	15	5	0	6	19.3	0.7	70	8.0
	B_3 H	5	80.2	15	15	5	0	6	19.9	0.1	70	8.0
	LBH	2	80.2	15	15	5	0	6	20	0	70	8.0
	MGP-D-A-45	15	100.2	25	15	5	0	26	15	1.5	66.5	——
	A_2	7	100.2	25	15	5	0	26	15.8	0.7	66.5	——
	B	20	100.2	25	15	5	0	26	18	2	70	8.0
	B_2	7	100.2	25	15	5	0	26	19.3	0.7	70	8.0
	B_3	5	100.2	25	15	5	0	26	19.9	0.1	70	8.0
	FA	15	100.2	25	15	5	0	26	15	1.5	66.5	10.0
	FB	20	100.2	25	15	5	0	26	18	2	70	13.0
	A_2 H	7	100.2	25	15	5	0	26	15.8	0.7	66.5	——
	B_2 H	7	100.2	25	15	5	0	26	19.3	0.7	70	8.0
	B_3 H	5	100.2	25	15	5	0	26	19.9	0.1	70	8.0
	LBH	2	100.2	25	15	5	0	26	20	0	70	8.0

数　量　表

(1箇所当り)

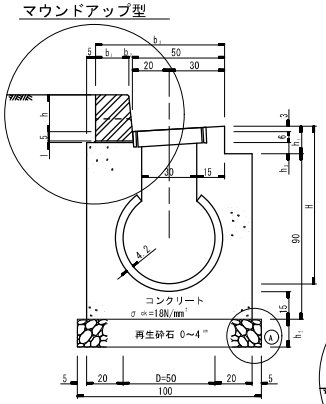
基礎 縁石・皿溝部 再生砕石 (t=10)m²	基礎 桝部 Ⓐ 再生砕石 (t=15)m²	基礎 桝部 Ⓐ 再生砕石 (t=20)m²	基礎 桝部 Ⓑ コンクリート (t=5)m³	基礎 桝部 Ⓑ 基礎型枠 m²	型枠 縁石・皿溝部 m³	型枠 桝部 m²	コンクリート 縁石・皿溝部 m³	コンクリート 桝部 m³	据付モルタル m³	ヒューム管 m	縁石 m	グレーチング蓋 粗目 枚	グレーチング蓋 細目 枚
——	0.846	——	0.042	0.090	0.365	1.861	0.050	0.410	0.001	0.900	0.900	1.000	——
——	0.846	——	0.042	0.090	0.365	1.861	0.050	0.410	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.072	0.846	——	0.042	0.090	0.365	1.861	0.052	0.410	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.072	0.846	——	0.042	0.090	0.365	1.861	0.052	0.410	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.072	0.846	——	0.042	0.090	0.365	1.861	0.052	0.410	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.090	0.846	——	0.042	0.090	0.464	1.861	0.063	0.410	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.117	0.846	——	0.042	0.090	0.464	1.861	0.064	0.410	0.002	0.900	0.900	1.000	——
——	0.846	——	0.042	0.090	0.365	1.861	0.050	0.410	0.001	0.900	0.900	——	1.000
0.072	0.846	——	0.042	0.090	0.365	1.861	0.052	0.410	0.002	0.900	0.900	——	1.000
0.072	0.846	——	0.042	0.090	0.365	1.861	0.052	0.410	0.002	0.900	0.900	——	1.000
0.072	0.846	——	0.042	0.090	0.393	1.861	0.056	0.410	0.002	0.900	0.900	——	1.000
——	0.846	——	0.042	0.090	0.795	2.285	0.099	0.460	0.001	0.900	0.900	1.000	——
——	0.846	——	0.042	0.090	0.795	2.285	0.099	0.460	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.072	0.846	——	0.042	0.090	0.795	2.285	0.104	0.460	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.072	0.846	——	0.042	0.090	0.795	2.285	0.104	0.460	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.072	0.846	——	0.042	0.090	0.795	2.285	0.104	0.460	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.090	0.846	——	0.042	0.090	0.894	2.285	0.116	0.460	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.117	0.846	——	0.042	0.090	0.894	2.285	0.121	0.460	0.002	0.900	0.900	1.000	——
——	0.846	——	0.042	0.090	0.795	2.285	0.099	0.460	0.001	0.900	0.900	——	1.000
0.072	0.846	——	0.042	0.090	0.795	2.285	0.104	0.460	0.002	0.900	0.900	——	1.000
0.072	0.846	——	0.042	0.090	0.795	2.285	0.104	0.460	0.002	0.900	0.900	——	1.000
0.072	0.846	——	0.042	0.090	0.823	2.285	0.108	0.460	0.002	0.900	0.900	——	1.000

図番

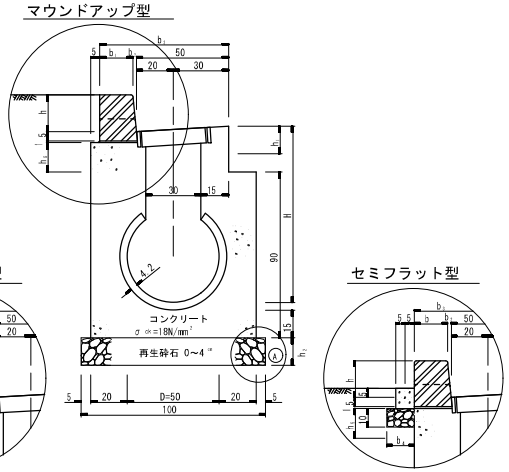
街渠桝工(MGP-L)-50

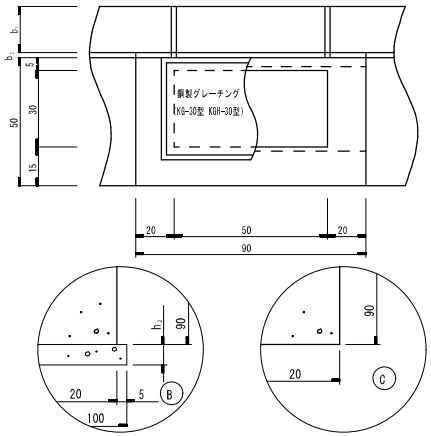
交通量区分ー N1～N5交通(LAB交通)

6≦h₅＜16の場合



h₅≧16の場合





Hの変化によるh₁,h₅の変化

Hの変化	h₁	h₅
85.8 ～ 95.7	15 ～ 24.9	6 ～ 15.9
95.8 ～	15	16 ～

基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4cm
Ⓑ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σ_{ck}=18N/mm²

ﾓﾙﾀﾙの品質

	配　合
据付ﾓﾙﾀﾙ	1 : 3
目地ﾓﾙﾀﾙ	1 : 2

寸　法　表

(cm)

○印施工	工　種	h	H	h₁	h₂ A	h₂ B	h₂ C	h₅	b₁	b₂	b₃	b₄
	MGP-L-A-50	15	85.8	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	——
	A₂	7	85.8	15	15	5	0	6	15.8	0.7	66.5	——
	B	20	85.8	15	15	5	0	6	18	2	70	——
	B₂	7	85.8	15	15	5	0	6	19.3	0.7	70	——
	B₃	5	85.8	15	15	5	0	6	19.9	0.1	70	——
	FA	15	85.8	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	10.0
	FB	20	85.8	15	15	5	0	6	18	2	70	10.0
	A₂ H	7	85.8	15	15	5	0	6	15.8	0.7	66.5	——
	B₂ H	7	85.8	15	15	5	0	6	19.3	0.7	70	——
	B₃ H	5	85.8	15	15	5	0	6	19.9	0.1	70	——
	LBH	2	85.8	15	15	5	0	6	20	0	70	——
	MGP-L-A-50	15	95.8	15	15	5	0	16	15	1.5	66.5	——
	A₂	7	95.8	15	15	5	0	16	15.8	0.7	66.5	——
	B	20	95.8	15	15	5	0	16	18	2	70	——
	B₂	7	95.8	15	15	5	0	16	19.3	0.7	70	——
	B₃	5	95.8	15	15	5	0	16	19.9	0.1	70	——
	FA	15	95.8	15	15	5	0	16	15	1.5	66.5	10.0
	FB	20	95.8	15	15	5	0	16	18	2	70	10.0
	A₂ H	7	95.8	15	15	5	0	16	15.8	0.7	66.5	——
	B₂ H	7	95.8	15	15	5	0	16	19.3	0.7	70	——
	B₃ H	5	95.8	15	15	5	0	16	19.9	0.1	70	——
	LBH	2	95.8	15	15	5	0	16	20	0	70	——

数　量　表

(1箇所当り)

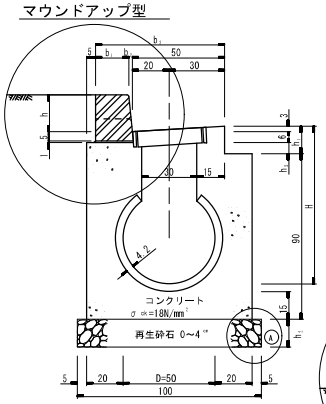
基礎 縁石・皿溝部 再生砕石 (t=10)m²	基礎 桝部 Ⓐ 再生砕石 (t=15)m²	基礎 桝部 Ⓐ 再生砕石 (t=20)m²	基礎 桝部 Ⓑ ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5)m³	基礎 桝部 Ⓑ 基礎型枠 m²	型枠 縁石・皿溝部 m³	型枠 桝部 m²	ｺﾝｸﾘｰﾄ 縁石・皿溝部 m³	ｺﾝｸﾘｰﾄ 桝部 m³	据付ﾓﾙﾀﾙ m³	ヒューム管 m	縁石 m	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 粗目 枚	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 枚
——	0.900	——	0.045	0.090	0.311	1.975	0.050	0.457	0.001	0.900	0.900	1.000	——
——	0.900	——	0.045	0.090	0.311	1.975	0.050	0.457	0.001	0.900	0.900	1.000	——
——	0.900	——	0.045	0.090	0.311	1.975	0.052	0.457	0.002	0.900	0.900	1.000	——
——	0.900	——	0.045	0.090	0.311	1.975	0.052	0.457	0.002	0.900	0.900	1.000	——
——	0.900	——	0.045	0.090	0.311	1.975	0.052	0.457	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.090	0.900	——	0.045	0.090	0.410	1.975	0.063	0.457	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.090	0.900	——	0.045	0.090	0.410	1.975	0.064	0.457	0.002	0.900	0.900	1.000	——
——	0.900	——	0.045	0.090	0.311	1.975	0.050	0.457	0.001	0.900	0.900	——	1.000
——	0.900	——	0.045	0.090	0.311	1.975	0.052	0.457	0.002	0.900	0.900	——	1.000
——	0.900	——	0.045	0.090	0.311	1.975	0.052	0.457	0.002	0.900	0.900	——	1.000
——	0.900	——	0.045	0.090	0.339	1.975	0.056	0.457	0.002	0.900	0.900	——	1.000
——	0.900	——	0.045	0.090	0.311	2.405	0.050	0.510	0.001	0.900	0.900	1.000	——
——	0.900	——	0.045	0.090	0.311	2.405	0.050	0.510	0.001	0.900	0.900	1.000	——
——	0.900	——	0.045	0.090	0.311	2.405	0.052	0.510	0.002	0.900	0.900	1.000	——
——	0.900	——	0.045	0.090	0.311	2.405	0.052	0.510	0.002	0.900	0.900	1.000	——
——	0.900	——	0.045	0.090	0.311	2.405	0.052	0.510	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.090	0.900	——	0.045	0.090	0.410	2.405	0.063	0.510	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.090	0.900	——	0.045	0.090	0.410	2.405	0.064	0.510	0.002	0.900	0.900	1.000	——
——	0.900	——	0.045	0.090	0.311	2.405	0.050	0.510	0.001	0.900	0.900	——	1.000
——	0.900	——	0.045	0.090	0.311	2.405	0.052	0.510	0.002	0.900	0.900	——	1.000
——	0.900	——	0.045	0.090	0.311	2.405	0.052	0.510	0.002	0.900	0.900	——	1.000
——	0.900	——	0.045	0.090	0.339	2.405	0.056	0.510	0.002	0.900	0.900	——	1.000

図番

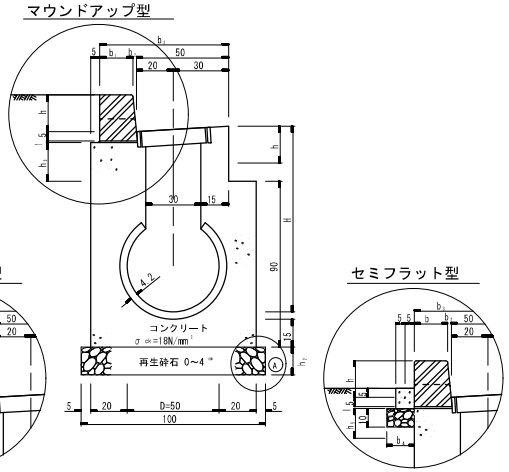
街渠桝工(MGP-C)-50

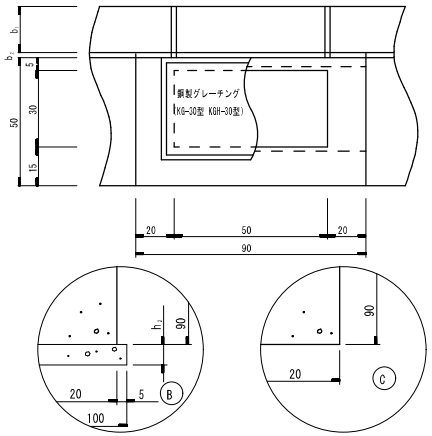
交通量区分ー N6交通(C交通)

6≦h₅<21の場合



h₅≧21の場合





Hの変化によるh₁,h₅の変化

Hの変化	h_1	h_5
85.8 ～ 100.7	15 ～ 29.9	6 ～ 20.9
100.8 ～	20	21 ～

基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4cm
Ⓑ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σ_{ck}=18N/mm²

ﾓﾙﾀﾙの品質

	配　合
据付ﾓﾙﾀﾙ	1 : 3
目地ﾓﾙﾀﾙ	1 : 2

寸　法　表

(cm)

○印集工	工　種	h	H	h_1	h_2 A	h_2 B	h_2 C	h_5	b_1	b_2	b_3	b_4
	MGP-C-A-50	15	85.8	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	——
	A_2	7	85.8	15	15	5	0	6	15.8	0.7	66.5	——
	B	20	85.8	15	15	5	0	6	18	2	70	——
	B_2	7	85.8	15	15	5	0	6	19.3	0.7	70	——
	B_3	5	85.8	15	15	5	0	6	19.9	0.1	70	——
	FA	15	85.8	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	10.0
	FB	20	85.8	15	15	5	0	6	18	2	70	10.0
	A_2 H	7	85.8	15	15	5	0	6	15.8	0.7	66.5	——
	B_2 H	7	85.8	15	15	5	0	6	19.3	0.7	70	——
	B_3 H	5	85.8	15	15	5	0	6	19.9	0.1	70	——
	LBH	2	85.8	15	15	5	0	6	20	0	70	——
	MGP-C-A-50	15	100.8	20	15	5	0	21	15	1.5	66.5	——
	A_2	7	100.8	20	15	5	0	21	15.8	0.7	66.5	——
	B	20	100.8	20	15	5	0	21	18	2	70	——
	B_2	7	100.8	20	15	5	0	21	19.3	0.7	70	——
	B_3	5	100.8	20	15	5	0	21	19.9	0.1	70	——
	FA	15	100.8	20	15	5	0	21	15	1.5	66.5	10.0
	FB	20	100.8	20	15	5	0	21	18	2	70	10.0
	A_2 H	7	100.8	20	15	5	0	21	15.8	0.7	66.5	——
	B_2 H	7	100.8	20	15	5	0	21	19.3	0.7	70	——
	B H	5	100.8	20	15	5	0	21	19.9	0.1	70	——
	LBH	2	100.8	20	15	5	0	21	20	0	70	——

数　量　表

(1箇所当り)

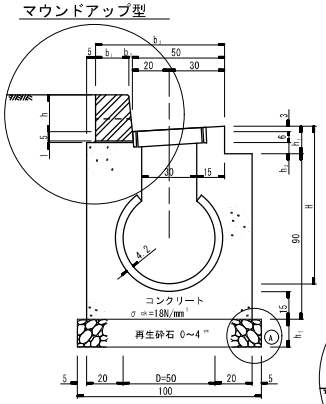
基礎 緑石・皿溝部 再生砕石 (t=10)m²	基礎 桝部 Ⓐ 再生砕石 (t=15)m²	基礎 桝部 Ⓐ 再生砕石 (t=20)m²	基礎 桝部 Ⓑ ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5)m³	基礎 桝部 Ⓑ 基礎型枠 m²	型枠 緑石・皿溝部 m³	型枠 桝部 m²	ｺﾝｸﾘｰﾄ 緑石・皿溝部 m³	ｺﾝｸﾘｰﾄ 桝部 m³	据付ﾓﾙﾀﾙ m³	ヒューム管 m	緑　石 m	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 粗　目 枚	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細　目 枚
——	0.900	——	0.045	0.090	0.311	1.975	0.050	0.457	0.001	0.900	0.900	1.000	——
——	0.900	——	0.045	0.090	0.311	1.975	0.050	0.457	0.001	0.900	0.900	1.000	——
——	0.900	——	0.045	0.090	0.311	1.975	0.052	0.457	0.002	0.900	0.900	1.000	——
——	0.900	——	0.045	0.090	0.311	1.975	0.052	0.457	0.002	0.900	0.900	1.000	——
——	0.900	——	0.045	0.090	0.311	1.975	0.052	0.457	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.090	0.900	——	0.045	0.090	0.410	1.975	0.063	0.457	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.090	0.900	——	0.045	0.090	0.410	1.975	0.064	0.457	0.002	0.900	0.900	1.000	——
——	0.900	——	0.045	0.090	0.311	1.975	0.050	0.457	0.001	0.900	0.900	——	1.000
——	0.900	——	0.045	0.090	0.311	1.975	0.052	0.457	0.002	0.900	0.900	——	1.000
——	0.900	——	0.045	0.090	0.311	1.975	0.052	0.457	0.002	0.900	0.900	——	1.000
——	0.900	——	0.045	0.090	0.339	1.975	0.056	0.457	0.002	0.900	0.900	——	1.000
——	0.900	——	0.045	0.090	0.481	2.405	0.075	0.510	0.001	0.900	0.900	1.000	——
——	0.900	——	0.045	0.090	0.481	2.405	0.075	0.510	0.001	0.900	0.900	1.000	——
——	0.900	——	0.045	0.090	0.481	2.405	0.078	0.510	0.002	0.900	0.900	1.000	——
——	0.900	——	0.045	0.090	0.481	2.405	0.078	0.510	0.002	0.900	0.900	1.000	——
——	0.900	——	0.045	0.090	0.481	2.405	0.078	0.510	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.090	0.900	——	0.045	0.090	0.580	2.405	0.089	0.510	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.090	0.900	——	0.045	0.090	0.580	2.405	0.093	0.510	0.002	0.900	0.900	1.000	——
——	0.900	——	0.045	0.090	0.481	2.405	0.075	0.510	0.001	0.900	0.900	——	1.000
——	0.900	——	0.045	0.090	0.481	2.405	0.078	0.510	0.002	0.900	0.900	——	1.000
——	0.900	——	0.045	0.090	0.481	2.405	0.078	0.510	0.002	0.900	0.900	——	1.000
——	0.900	——	0.045	0.090	0.509	2.405	0.082	0.510	0.002	0.900	0.900	——	1.000

図番

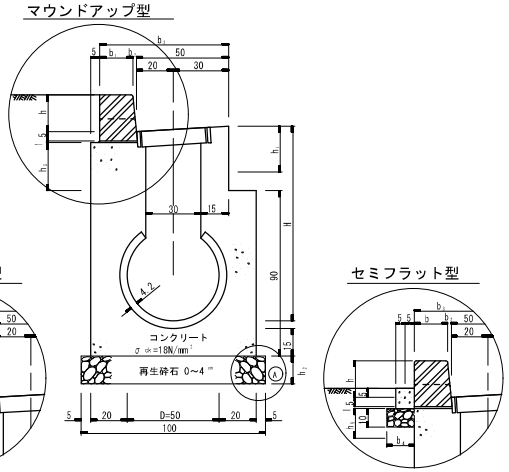
街渠桝工(MGP-D)-50

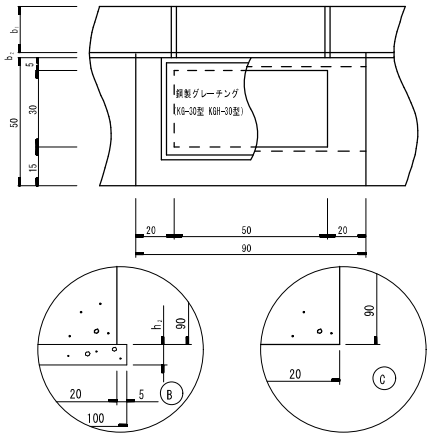
交通量区分ー N7交通(D交通)

6≦h 5＜26の場合



h 5≧26の場合





Hの変化によるh 1,h 5の変化

Hの変化	h 1	h 5
85.8 ～ 105.7	15 ～ 34.9	6 ～ 25.9
105.8 ～	25	26 ～

基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4cm
Ⓑ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σ ck=18N/mm²

ﾓﾙﾀﾙの品質

	配　合
据付ﾓﾙﾀﾙ	1 : 3
目地ﾓﾙﾀﾙ	1 : 2

寸　法　表

(cm)

○印集工	工　種	h	H	h 1	h 2 A	h 2 B	h 2 C	h 5	b 1	b 2	b 3	b 4
	MGP-D-A-50	15	85.8	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	——
	A 2	7	85.8	15	15	5	0	6	15.8	0.7	66.5	——
	B	20	85.8	15	15	5	0	6	18	2	70	——
	B 2	7	85.8	15	15	5	0	6	19.3	0.7	70	——
	B 3	5	85.8	15	15	5	0	6	19.9	0.1	70	——
	FA	15	85.8	15	15	5	0	6	15	1.5	66.5	10.0
	FB	20	85.8	15	15	5	0	6	18	2	70	10.0
	A 2 H	7	85.8	15	15	5	0	6	15.8	0.7	66.5	——
	B 2 H	7	85.8	15	15	5	0	6	19.3	0.7	70	——
	B 3 H	5	85.8	15	15	5	0	6	19.9	0.1	70	——
	LBH	2	85.8	15	15	5	0	6	20	0	70	——
	MGP-D-A-50	15	105.8	25	15	5	0	26	15	1.5	66.5	——
	A 2	7	105.8	25	15	5	0	26	15.8	0.7	66.5	——
	B	20	105.8	25	15	5	0	26	18	2	70	——
	B 2	7	105.8	25	15	5	0	26	19.3	0.7	70	——
	B 3	5	105.8	25	15	5	0	26	19.9	0.1	70	——
	FA	15	105.8	25	15	5	0	26	15	1.5	66.5	10.0
	FB	20	105.8	25	15	5	0	26	18	2	70	10.0
	A 2 H	7	105.8	25	15	5	0	26	15.8	0.7	66.5	——
	B 2 H	7	105.8	25	15	5	0	26	19.3	0.7	70	——
	B 3 H	5	105.8	25	15	5	0	26	19.9	0.1	70	——
	LBH	2	105.8	25	15	5	0	26	20	0	70	——

数　量　表

(1箇所当り)

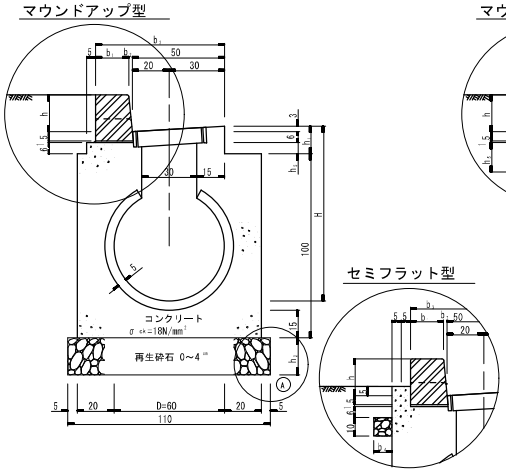
基礎 縁石・皿溝部 再生砕石 (t=10)m²	基礎 桝部 Ⓐ 再生砕石 (t=15)m²	基礎 桝部 Ⓐ 再生砕石 (t=20)m²	基礎 桝部 Ⓑ ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5)m³	基礎 桝部 Ⓑ 基礎型枠 m²	型枠 縁石・皿溝部 m³	型枠 桝部 m²	ｺﾝｸﾘｰﾄ 縁石・皿溝部 m³	ｺﾝｸﾘｰﾄ 桝部 m³	据付ﾓﾙﾀﾙ m³	ヒューム管 m	縁石 m	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 粗目 枚	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 枚
——	0.900	——	0.045	0.090	0.311	1.975	0.050	0.457	0.001	0.900	0.900	1.000	——
——	0.900	——	0.045	0.090	0.311	1.975	0.050	0.457	0.001	0.900	0.900	1.000	——
——	0.900	——	0.045	0.090	0.311	1.975	0.052	0.457	0.002	0.900	0.900	1.000	——
——	0.900	——	0.045	0.090	0.311	1.975	0.052	0.457	0.002	0.900	0.900	1.000	——
——	0.900	——	0.045	0.090	0.311	1.975	0.052	0.457	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.090	0.900	——	0.045	0.090	0.410	1.975	0.063	0.457	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.090	0.900	——	0.045	0.090	0.410	1.975	0.064	0.457	0.002	0.900	0.900	1.000	——
——	0.900	——	0.045	0.090	0.311	1.975	0.050	0.457	0.001	0.900	0.900	——	1.000
——	0.900	——	0.045	0.090	0.311	1.975	0.052	0.457	0.002	0.900	0.900	——	1.000
——	0.900	——	0.045	0.090	0.311	1.975	0.052	0.457	0.002	0.900	0.900	——	1.000
——	0.900	——	0.045	0.090	0.339	1.975	0.056	0.457	0.002	0.900	0.900	——	1.000
——	0.900	——	0.045	0.090	0.651	2.405	0.099	0.510	0.001	0.900	0.900	1.000	——
——	0.900	——	0.045	0.090	0.651	2.405	0.099	0.510	0.001	0.900	0.900	1.000	——
——	0.900	——	0.045	0.090	0.651	2.405	0.104	0.510	0.002	0.900	0.900	1.000	——
——	0.900	——	0.045	0.090	0.651	2.405	0.104	0.510	0.002	0.900	0.900	1.000	——
——	0.900	——	0.045	0.090	0.651	2.405	0.104	0.510	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.090	0.900	——	0.045	0.090	0.750	2.405	0.116	0.510	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.090	0.900	——	0.045	0.090	0.750	2.405	0.121	0.510	0.002	0.900	0.900	1.000	——
——	0.900	——	0.045	0.090	0.651	2.405	0.099	0.510	0.001	0.900	0.900	——	1.000
——	0.900	——	0.045	0.090	0.651	2.405	0.104	0.510	0.002	0.900	0.900	——	1.000
——	0.900	——	0.045	0.090	0.651	2.405	0.104	0.510	0.002	0.900	0.900	——	1.000
——	0.900	——	0.045	0.090	0.679	2.405	0.108	0.510	0.002	0.900	0.900	——	1.000

図番

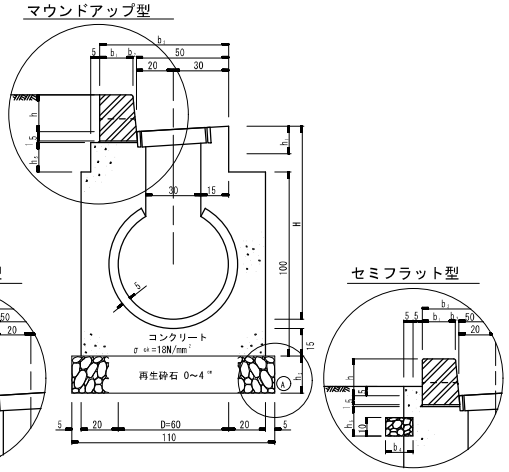
街渠桝工(MGP-L)-60

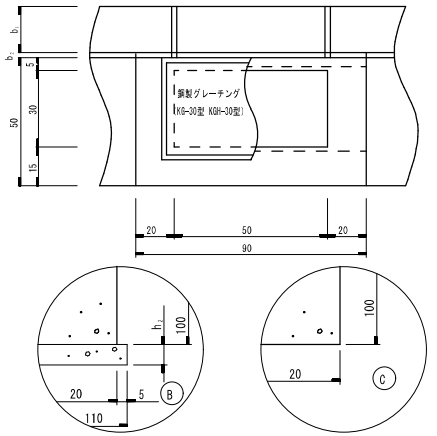
交通量区分ー N1～N5交通(LAB交通)

6≦h 5 <16の場合



h 5 ≧16の場合





Hの変化によるh 1 ,h 5 の変化

Hの変化	h 1	h 5
95 ～ 109.9	15 ～ 24.9	6 ～ 15.9
105 ～	15	16 ～

基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4cm
Ⓑ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σ ck =18N/mm²

ﾓﾙﾀﾙの品質

	配　合
据付ﾓﾙﾀﾙ	1 : 3
目地ﾓﾙﾀﾙ	1 : 2

寸　法　表

(cm)

○印施工	工　種	h	H	h 1	h 2 A	h 2 B	h 2 C	h 5	b 1	b 2	b 3	b 4
	MGP-L-A-60	15	95	15	20	10	0	6	15	1.5	66.5	——
	A 2	7	95	15	20	10	0	6	15.8	0.7	66.5	——
	B	20	95	15	20	10	0	6	18	2	70	——
	B 2	7	95	15	20	10	0	6	19.3	0.7	70	——
	B 3	5	95	15	20	10	0	6	19.9	0.1	70	——
	FA	15	95	15	20	10	0	6	15	1.5	66.5	5.0
	FB	20	95	15	20	10	0	6	18	2	70	5.0
	A 2 H	7	95	15	20	10	0	6	15.8	0.7	66.5	——
	B 2 H	7	95	15	20	10	0	6	19.3	0.7	70	——
	B 3 H	5	95	15	20	10	0	6	19.9	0.1	70	——
	LBH	2	95	15	20	10	0	6	20	0	70	——
	MGP-L-A-60	15	105	15	20	10	0	16	15	1.5	66.5	——
	A 2	7	105	15	20	10	0	16	15.8	0.7	66.5	——
	B	20	105	15	20	10	0	16	18	2	70	——
	B 2	7	105	15	20	10	0	16	19.3	0.7	70	——
	B 3	5	105	15	20	10	0	16	19.9	0.1	70	——
	FA	15	105	15	20	10	0	16	15	1.5	66.5	5.0
	FB	20	105	15	20	10	0	16	18	2	70	5.0
	A 2 H	7	105	15	20	10	0	16	15.8	0.7	66.5	——
	B 2 H	7	105	15	20	10	0	16	19.3	0.7	70	——
	B 3 H	5	105	15	20	10	0	16	19.9	0.1	70	——
	LBH	2	105	15	20	10	0	16	20	0	70	——

数　量　表

(1箇所当り)

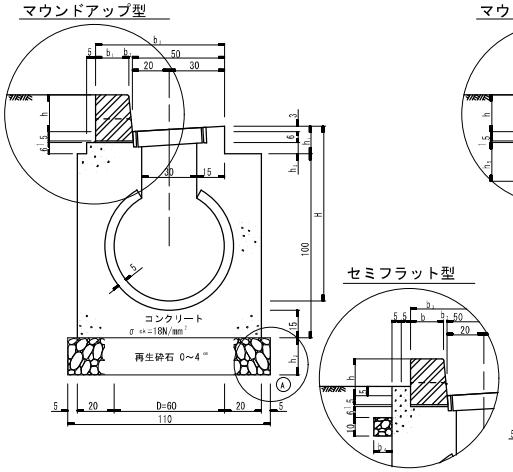
基礎 縁石・皿溝部 再生砕石 (t=10)m²	基礎 樹部 Ⓐ 再生砕石 (t=15)m²	基礎 樹部 Ⓐ 再生砕石 (t=20)m²	基礎 樹部 Ⓑ ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5)m³	基礎 樹部 Ⓑ 基礎型枠 m²	型枠 縁石・皿溝部 m³	型枠 樹部 m²	コンクリート 縁石・皿溝部 m³	コンクリート 樹部 m³	据付モルタル m³	ヒューム管 m	縁石 m	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 粗目 枚	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 枚
——	——	0.990	0.099	0.180	0.311	2.126	0.050	0.524	0.001	0.900	0.900	1.000	——
——	——	0.990	0.099	0.180	0.311	2.126	0.050	0.524	0.001	0.900	0.900	1.000	——
——	——	0.990	0.099	0.180	0.311	2.126	0.052	0.524	0.002	0.900	0.900	1.000	——
——	——	0.990	0.099	0.180	0.311	2.126	0.052	0.524	0.002	0.900	0.900	1.000	——
——	——	0.990	0.099	0.180	0.311	2.126	0.052	0.524	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.045	——	0.990	0.099	0.180	0.410	2.126	0.063	0.524	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.045	——	0.990	0.099	0.180	0.410	2.126	0.064	0.524	0.002	0.900	0.900	1.000	——
——	——	0.990	0.099	0.180	0.311	2.126	0.050	0.524	0.001	0.900	0.900	——	1.000
——	——	0.990	0.099	0.180	0.311	2.126	0.052	0.524	0.002	0.900	0.900	——	1.000
——	——	0.990	0.099	0.180	0.311	2.126	0.052	0.524	0.002	0.900	0.900	——	1.000
——	——	0.990	0.099	0.180	0.339	2.126	0.056	0.524	0.002	0.900	0.900	——	1.000
——	——	0.990	0.099	0.180	0.311	2.566	0.050	0.581	0.001	0.900	0.900	1.000	——
——	——	0.990	0.099	0.180	0.311	2.566	0.050	0.581	0.001	0.900	0.900	1.000	——
——	——	0.990	0.099	0.180	0.311	2.566	0.052	0.581	0.002	0.900	0.900	1.000	——
——	——	0.990	0.099	0.180	0.311	2.566	0.052	0.581	0.002	0.900	0.900	1.000	——
——	——	0.990	0.099	0.180	0.311	2.566	0.052	0.581	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.045	——	0.990	0.099	0.180	0.410	2.566	0.063	0.581	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.045	——	0.990	0.099	0.180	0.410	2.566	0.064	0.581	0.002	0.900	0.900	1.000	——
——	——	0.990	0.099	0.180	0.311	2.566	0.050	0.581	0.001	0.900	0.900	——	1.000
——	——	0.990	0.099	0.180	0.311	2.566	0.052	0.581	0.002	0.900	0.900	——	1.000
——	——	0.990	0.099	0.180	0.311	2.566	0.052	0.581	0.002	0.900	0.900	——	1.000
——	——	0.990	0.099	0.180	0.339	2.566	0.056	0.581	0.002	0.900	0.900	——	1.000

図番

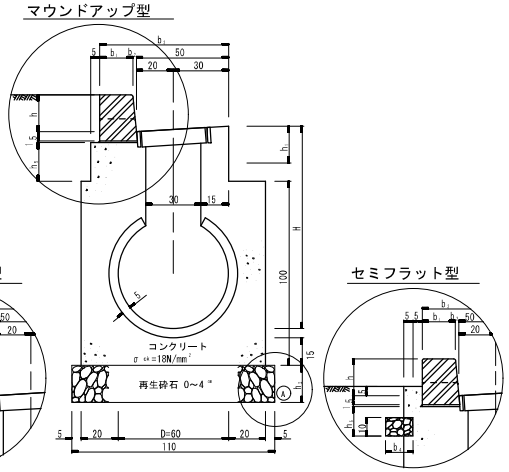
街渠桝工(MGP-C)-60

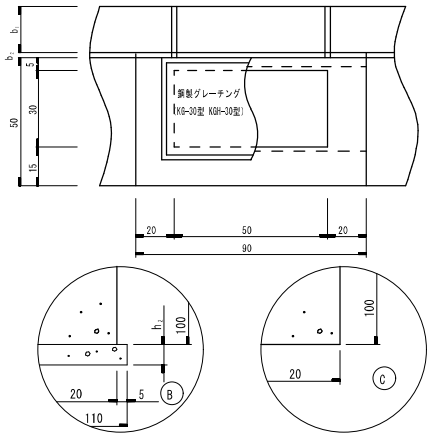
交通量区分ー N6交通(C交通)

$6 \leqq h_5 < 21$の場合



$h_5 \geqq 21$の場合





Hの変化によるh_1, h_5の変化

Hの変化	h_1	h_5
95 ～ 109.9	15 ～ 29.9	6 ～ 20.9
110 ～	20	21 ～

基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4cm
Ⓑ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σ_{ck} =18N/mm²

ﾓﾙﾀﾙの品質

	配　合
据付ﾓﾙﾀﾙ	1 : 3
目地ﾓﾙﾀﾙ	1 : 2

寸　法　表

(cm)

○印集工	工　種	h	H	h_1	h_2 A	h_2 B	h_2 C	h_5	b_1	b_2	b_3	b_4
	MGP-C-A-60	15	95	15	20	10	0	6	15	1.5	66.5	——
	A₂	7	95	15	20	10	0	6	15.8	0.7	66.5	——
	B	20	95	15	20	10	0	6	18	2	70	——
	B₂	7	95	15	20	10	0	6	19.3	0.7	70	——
	B₃	5	95	15	20	10	0	6	19.9	0.1	70	——
	FA	15	95	15	20	10	0	6	15	1.5	66.5	5.0
	FB	20	95	15	20	10	0	6	18	2	70	5.0
	A₂H	7	95	15	20	10	0	6	15.8	0.7	66.5	——
	B₂H	7	95	15	20	10	0	6	19.3	0.7	70	——
	B₃H	5	95	15	20	10	0	6	19.9	0.1	70	——
	LBH	2	95	15	20	10	0	6	20	0	70	——
	MGP-C-A-60	15	110	20	20	10	0	21	15	1.5	66.5	——
	A₂	7	110	20	20	10	0	21	15.8	0.7	66.5	——
	B	20	110	20	20	10	0	21	18	2	70	——
	B₂	7	110	20	20	10	0	21	19.3	0.7	70	——
	B₃	5	110	20	20	10	0	21	19.9	0.1	70	——
	FA	15	110	20	20	10	0	21	15	1.5	66.5	5.0
	FB	20	110	20	20	10	0	21	18	2	70	5.0
	A₂H	7	110	20	20	10	0	21	15.8	0.7	66.5	——
	B₂H	7	110	20	20	10	0	21	19.3	0.7	70	——
	B₃H	5	110	20	20	10	0	21	19.9	0.1	70	——
	LBH	2	110	20	20	10	0	21	20	0	70	——

数　量　表

(1箇所当り)

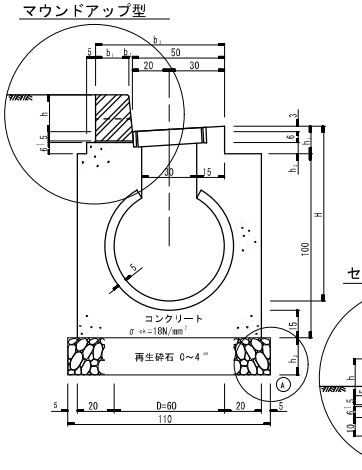
基礎 Ⓐ 再生砕石 (t=10)m²	基礎 Ⓐ 再生砕石 (t=15)m²	基礎 樹部 Ⓐ 再生砕石 (t=20)m²	基礎 樹部 Ⓑ ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5)m³	基礎型枠 m²	型枠 縁石・皿溝部 m³	型枠 樹部 m²	ｺﾝｸﾘｰﾄ 縁石・皿溝部 m³	ｺﾝｸﾘｰﾄ 樹部 m³	据付ﾓﾙﾀﾙ m³	ヒューム管 m	縁石 m	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 粗目 枚	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 枚
——	——	0.990	0.099	0.180	0.311	2.126	0.050	0.524	0.001	0.900	0.900	1.000	——
——	——	0.990	0.099	0.180	0.311	2.126	0.050	0.524	0.001	0.900	0.900	1.000	——
——	——	0.990	0.099	0.180	0.311	2.126	0.052	0.524	0.002	0.900	0.900	1.000	——
——	——	0.990	0.099	0.180	0.311	2.126	0.052	0.524	0.002	0.900	0.900	1.000	——
——	——	0.990	0.099	0.180	0.311	2.126	0.052	0.524	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.045	——	0.990	0.099	0.180	0.410	2.126	0.063	0.524	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.045	——	0.990	0.099	0.180	0.410	2.126	0.064	0.524	0.002	0.900	0.900	1.000	——
——	——	0.990	0.099	0.180	0.311	2.126	0.050	0.524	0.001	0.900	0.900	——	1.000
——	——	0.990	0.099	0.180	0.311	2.126	0.052	0.524	0.002	0.900	0.900	——	1.000
——	——	0.990	0.099	0.180	0.311	2.126	0.052	0.524	0.002	0.900	0.900	——	1.000
——	——	0.990	0.099	0.180	0.339	2.126	0.056	0.524	0.002	0.900	0.900	——	1.000
——	——	0.990	0.099	0.180	0.481	2.566	0.075	0.581	0.001	0.900	0.900	1.000	——
——	——	0.990	0.099	0.180	0.481	2.566	0.075	0.581	0.001	0.900	0.900	1.000	——
——	——	0.990	0.099	0.180	0.481	2.566	0.078	0.581	0.002	0.900	0.900	1.000	——
——	——	0.990	0.099	0.180	0.481	2.566	0.078	0.581	0.002	0.900	0.900	1.000	——
——	——	0.990	0.099	0.180	0.481	2.566	0.078	0.581	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.045	——	0.990	0.099	0.180	0.580	2.566	0.089	0.581	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.045	——	0.990	0.099	0.180	0.580	2.566	0.093	0.581	0.002	0.900	0.900	1.000	——
——	——	0.990	0.099	0.180	0.481	2.566	0.075	0.581	0.001	0.900	0.900	——	1.000
——	——	0.990	0.099	0.180	0.481	2.566	0.078	0.581	0.002	0.900	0.900	——	1.000
——	——	0.990	0.099	0.180	0.481	2.566	0.078	0.581	0.002	0.900	0.900	——	1.000
——	——	0.990	0.099	0.180	0.509	2.566	0.082	0.581	0.002	0.900	0.900	——	1.000

図番

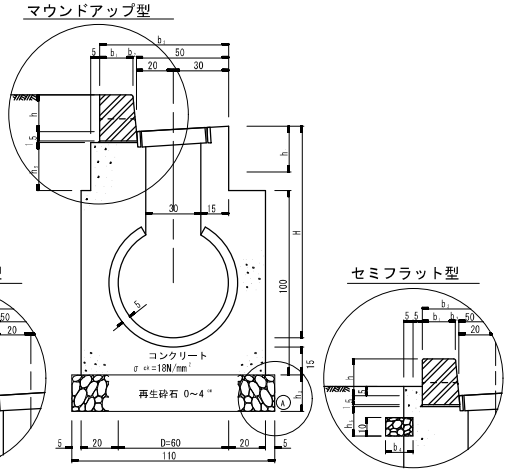
街渠桝工(MGP-D)-60

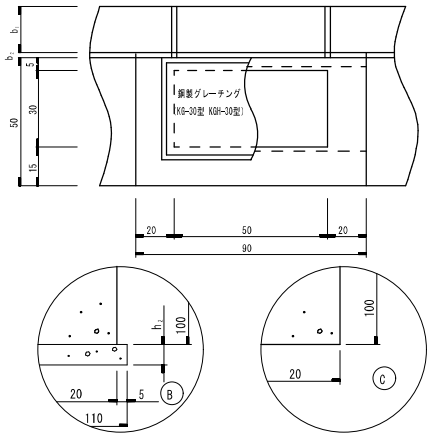
交通量区分ー N7交通(D交通)

$6 \leqq h_5 < 26$の場合



$h_5 \geqq 26$の場合





Hの変化によるh_1,h_5の変化

Hの変化	h_1	h_5
95 ～ 114.9	15 ～ 34.9	6 ～ 25.9
115 ～	25	26 ～

基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4cm
Ⓑ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σ_{ck} =18N/mm²

ﾓﾙﾀﾙの品質

	配　合
据付ﾓﾙﾀﾙ	1 : 3
目地ﾓﾙﾀﾙ	1 : 2

寸　法　表

(cm)

○印施工	工　種	h	H	h_1	h_2 A	h_2 B	h_2 C	h_5	b_1	b_2	b_3	b_4
	MGP-D-A-60	15	95	15	20	10	0	6	15	1.5	66.5	——
	A_2	7	95	15	20	10	0	6	15.8	0.7	66.5	——
	B	20	95	15	20	10	0	6	18	2	70	——
	B_2	7	95	15	20	10	0	6	19.3	0.7	70	——
	B_3	5	95	15	20	10	0	6	19.9	0.1	70	——
	FA	15	95	15	20	10	0	6	15	1.5	66.5	5.0
	FB	20	95	15	20	10	0	6	18	2	70	5.0
	A_2 H	7	95	15	20	10	0	6	15.8	0.7	66.5	——
	B_2 H	7	95	15	20	10	0	6	19.3	0.7	70	——
	B_3 H	5	95	15	20	10	0	6	19.9	0.1	70	——
	LBH	2	95	15	20	10	0	6	20	0	70	——
	MGP-D-A-60	15	115	25	20	10	0	26	15	1.5	66.5	——
	A_2	7	115	25	20	10	0	26	15.8	0.7	66.5	——
	B	20	115	25	20	10	0	26	18	2	70	——
	B_2	7	115	25	20	10	0	26	19.3	0.7	70	——
	B_3	5	115	25	20	10	0	26	19.9	0.1	70	——
	FA	15	115	25	20	10	0	26	15	1.5	66.5	5.0
	FB	20	115	25	20	10	0	26	18	2	70	5.0
	A_2 H	7	115	25	20	10	0	26	15.8	0.7	66.5	——
	B_2 H	7	115	25	20	10	0	26	19.3	0.7	70	——
	B_3 H	5	115	25	20	10	0	26	19.9	0.1	70	——
	LBH	2	115	25	20	10	0	26	20	0	70	——

数　量　表

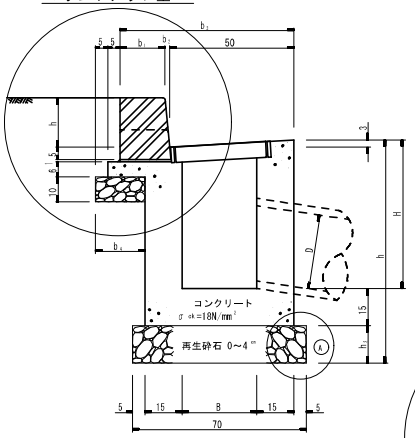
(1箇所当り)

基礎 縁石・皿溝部 再生砕石 (t=10)m²	基礎 桝部 Ⓐ 再生砕石 (t=15)m²	基礎 桝部 Ⓐ 再生砕石 (t=20)m²	基礎 桝部 Ⓑ ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5)m³	基礎 桝部 Ⓑ 基礎型枠 m²	型枠 縁石・皿溝部 m³	型枠 桝部 m²	ｺﾝｸﾘｰﾄ 縁石・皿溝部 m³	ｺﾝｸﾘｰﾄ 桝部 m³	据付ﾓﾙﾀﾙ m³	ﾋｭｰﾑ管 m	縁石 m	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 粗目 枚	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 枚
——	——	0.990	0.099	0.180	0.311	2.126	0.050	0.524	0.001	0.900	0.900	1.000	——
——	——	0.990	0.099	0.180	0.311	2.126	0.050	0.524	0.001	0.900	0.900	1.000	——
——	——	0.990	0.099	0.180	0.311	2.126	0.052	0.524	0.002	0.900	0.900	1.000	——
——	——	0.990	0.099	0.180	0.311	2.126	0.052	0.524	0.002	0.900	0.900	1.000	——
——	——	0.990	0.099	0.180	0.311	2.126	0.052	0.524	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.045	——	0.990	0.099	0.180	0.410	2.126	0.063	0.524	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.045	——	0.990	0.099	0.180	0.410	2.126	0.064	0.524	0.002	0.900	0.900	1.000	——
——	——	0.990	0.099	0.180	0.311	2.126	0.050	0.524	0.001	0.900	0.900	——	1.000
——	——	0.990	0.099	0.180	0.311	2.126	0.052	0.524	0.002	0.900	0.900	——	1.000
——	——	0.990	0.099	0.180	0.311	2.126	0.052	0.524	0.002	0.900	0.900	——	1.000
——	——	0.990	0.099	0.180	0.339	2.126	0.056	0.524	0.002	0.900	0.900	——	1.000
——	——	0.990	0.099	0.180	0.651	2.566	0.099	0.581	0.001	0.900	0.900	1.000	——
——	——	0.990	0.099	0.180	0.651	2.566	0.099	0.581	0.001	0.900	0.900	1.000	——
——	——	0.990	0.099	0.180	0.651	2.566	0.104	0.581	0.002	0.900	0.900	1.000	——
——	——	0.990	0.099	0.180	0.651	2.566	0.104	0.581	0.002	0.900	0.900	1.000	——
——	——	0.990	0.099	0.180	0.651	2.566	0.104	0.581	0.002	0.900	0.900	1.000	——
0.045	——	0.990	0.099	0.180	0.750	2.566	0.116	0.581	0.001	0.900	0.900	1.000	——
0.045	——	0.990	0.099	0.180	0.750	2.566	0.121	0.581	0.002	0.900	0.900	1.000	——
——	——	0.990	0.099	0.180	0.651	2.566	0.099	0.581	0.001	0.900	0.900	——	1.000
——	——	0.990	0.099	0.180	0.651	2.566	0.104	0.581	0.002	0.900	0.900	——	1.000
——	——	0.990	0.099	0.180	0.651	2.566	0.104	0.581	0.002	0.900	0.900	——	1.000
——	——	0.990	0.099	0.180	0.679	2.566	0.108	0.581	0.002	0.900	0.900	——	1.000

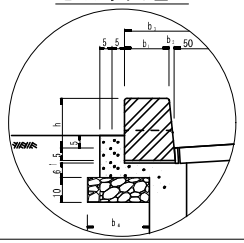
図番

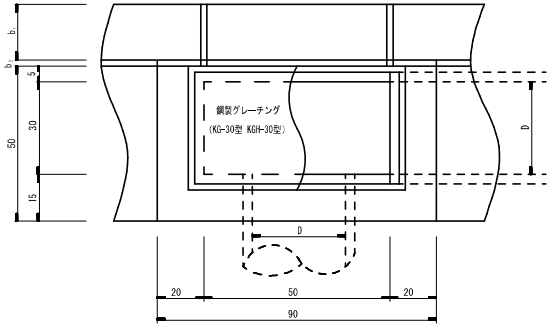
街渠桝工(MS-L)

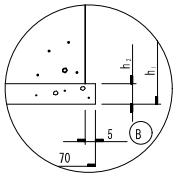
マウンドアップ型

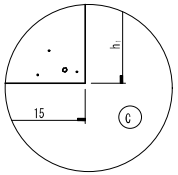


セミフラット型









交通量区分－ N1～N5交通(LAB交通)

基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
A	再生砕石	0～4cm
B	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σ_{ck} =18N/mm^2

ﾓﾙﾀﾙの品質

	配　合
据付ﾓﾙﾀﾙ	1 : 3
目地ﾓﾙﾀﾙ	1 : 2

寸　法　表

(cm)

○印施工	工　種	B	h	H	h_1 A	h_1 B	h_1 C	h_2 A	h_2 B	h_2 C	b_1	b_2	b_3	b_4	D
	MS- L -A	30	15	60	90	80	75	15	5	0	15	1.5	66.5	16.5	30
	A$_2$	30	7	60	90	80	75	15	5	0	15.8	0.7	66.5	16.5	30
	B	30	20	60	90	80	75	15	5	0	18	2	70	20	30
	B$_2$	30	7	60	90	80	75	15	5	0	19.3	0.7	70	20	30
	B$_3$	30	5	60	90	80	75	15	5	0	19.9	0.1	70	20	30
	FA	30	15	60	90	80	75	15	5	0	15	1.5	66.5	21.5	30
	FB	30	20	60	90	80	75	15	5	0	18	2	70	25	30
	A$_2$H	30	7	60	90	80	75	15	5	0	15.8	0.7	66.5	16.5	30
	B$_2$H	30	7	60	90	80	75	15	5	0	19.3	0.7	70	20	30
	B$_3$H	30	5	60	90	80	75	15	5	0	19.9	0.1	70	20	30
	LBH	30	2	60	90	80	75	15	5	0	20.0	0	70	20	30
	MS- L -A	30	15	60	90	80	75	15	5	0	15	1.5	66.5	16.5	30
	A$_2$	30	7	60	90	80	75	15	5	0	15.8	0.7	66.5	16.5	30
	B	30	20	60	90	80	75	15	5	0	18	2	70	20	30
	B$_2$	30	7	60	90	80	75	15	5	0	19.3	0.7	70	20	30
	B$_3$	30	5	60	90	80	75	15	5	0	19.9	0.1	70	20	30
	FA	30	15	60	90	80	75	15	5	0	15	1.5	66.5	21.5	30
	FB	30	20	60	90	80	75	15	5	0	18	2	70	25	30
	A$_2$H	30	7	60	90	80	75	15	5	0	15.8	0.7	66.5	16.5	30
	B$_2$H	30	7	60	90	80	75	15	5	0	19.3	0.7	70	20	30
	B$_3$H	30	5	60	90	80	75	15	5	0	19.9	0.1	70	20	30
	LBH	30	2	60	90	80	75	15	5	0	20.0	0	70	20	30

数　量　表

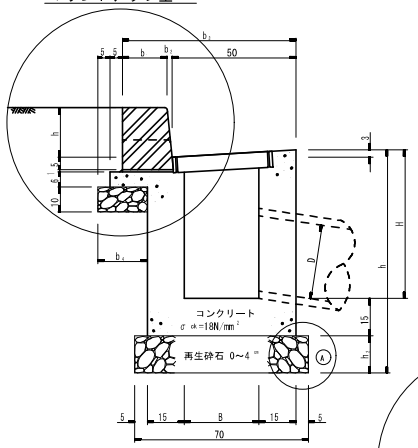
(1箇所当り)

基礎 縁石・皿溝部 再生砕石 (t=10) m^2	基礎 (A)樹部 再生砕石 (t=15) m^2	基礎 (B)樹部 ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5) m^3	基礎 (B)樹部 基礎型枠 m^2	型枠 縁石・皿溝部 m^2	型枠 樹部 m^2	ｺﾝｸﾘｰﾄ 縁石・皿溝部 m^3	ｺﾝｸﾘｰﾄ 樹部 m^3	据付ﾓﾙﾀﾙ m^2	縁石 m	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 粗目 枚	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 枚	取り込み管 本数 本
0.149	0.630	0.032	0.090	0.465	2.575	0.049	0.243	0.002	0.900	1.000	——	1.000
0.149	0.630	0.032	0.090	0.465	2.575	0.049	0.243	0.002	0.900	1.000	——	1.000
0.180	0.630	0.032	0.090	0.469	2.575	0.051	0.243	0.002	0.900	1.000	——	1.000
0.180	0.630	0.032	0.090	0.469	2.575	0.051	0.243	0.002	0.900	1.000	——	1.000
0.180	0.630	0.032	0.090	0.469	2.575	0.051	0.243	0.002	0.900	1.000	——	1.000
0.194	0.630	0.032	0.090	0.624	2.575	0.061	0.243	0.002	0.900	1.000	——	1.000
0.225	0.630	0.032	0.090	0.628	2.575	0.063	0.243	0.002	0.900	1.000	——	1.000
0.149	0.630	0.032	0.090	0.465	2.575	0.049	0.243	0.002	0.900	——	1.000	1.000
0.180	0.630	0.032	0.090	0.469	2.575	0.051	0.243	0.002	0.900	——	1.000	1.000
0.180	0.630	0.032	0.090	0.469	2.575	0.051	0.243	0.002	0.900	——	1.000	1.000
0.180	0.630	0.032	0.090	0.469	2.575	0.057	0.243	0.002	0.900	——	1.000	1.000
0.149	0.630	0.032	0.090	0.465	2.371	0.049	0.228	0.002	0.900	1.000	——	2.000
0.149	0.630	0.032	0.090	0.465	2.371	0.049	0.228	0.002	0.900	1.000	——	2.000
0.180	0.630	0.032	0.090	0.469	2.371	0.051	0.228	0.002	0.900	1.000	——	2.000
0.180	0.630	0.032	0.090	0.469	2.371	0.051	0.228	0.002	0.900	1.000	——	2.000
0.180	0.630	0.032	0.090	0.469	2.371	0.051	0.228	0.002	0.900	1.000	——	2.000
0.194	0.630	0.032	0.090	0.624	2.371	0.061	0.228	0.002	0.900	1.000	——	2.000
0.225	0.630	0.032	0.090	0.628	2.371	0.063	0.228	0.002	0.900	1.000	——	2.000
0.149	0.630	0.032	0.090	0.465	2.371	0.049	0.228	0.002	0.900	——	1.000	2.000
0.180	0.630	0.032	0.090	0.469	2.371	0.051	0.228	0.002	0.900	——	1.000	2.000
0.180	0.630	0.032	0.090	0.469	2.371	0.051	0.228	0.002	0.900	——	1.000	2.000
0.180	0.630	0.032	0.090	0.469	2.371	0.057	0.228	0.002	0.900	——	1.000	2.000

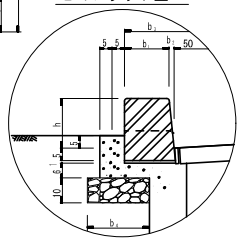
図番

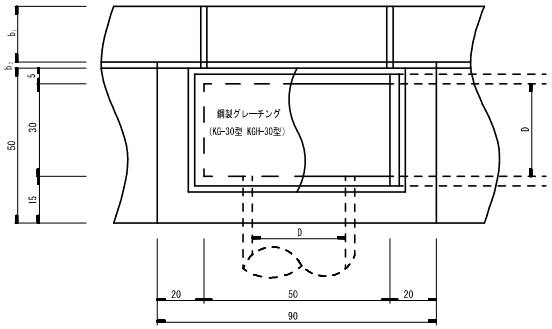
街渠桝工(MS-L)

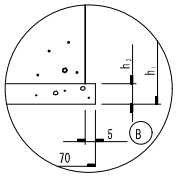
マウンドアップ型

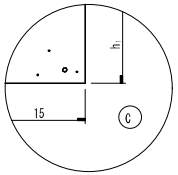


セミフラット型









交通量区分ー N1～N5交通(LAB交通)

基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
A	再生砕石	0～4cm
B	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σ_{ck}=18N/mm²

ﾓﾙﾀﾙの品質

	配　合
据付ﾓﾙﾀﾙ	1 : 3
目地ﾓﾙﾀﾙ	1 : 2

寸　法　表

(cm)

○印施工	工　種	B	h	H	h_1 A	h_1 B	h_1 C	h_2 A	h_2 B	h_2 C	b_1	b_2	b_3	b_4	D
	MS- L -A	30	15	60	90	80	75	15	5	0	15	1.5	66.5	16.5	30
	A_2	30	7	60	90	80	75	15	5	0	15.8	0.7	66.5	16.5	30
	B	30	20	60	90	80	75	15	5	0	18	2	70	20	30
	B_2	30	7	60	90	80	75	15	5	0	19.3	0.7	70	20	30
	B_3	30	5	60	90	80	75	15	5	0	19.9	0.1	70	20	30
	FA	30	15	60	90	80	75	15	5	0	15	1.5	66.5	21.5	30
	FB	30	20	60	90	80	75	15	5	0	18	2	70	25	30
	A_2 H	30	7	60	90	80	75	15	5	0	15.8	0.7	66.5	16.5	30
	B_2 H	30	7	60	90	80	75	15	5	0	19.3	0.7	70	20	30
	B_3 H	30	5	60	90	80	75	15	5	0	19.9	0.1	70	20	30
	LBH	30	2	60	90	80	75	15	5	0	20	0	70	20	30
	MS- L -A	30	15	60	90	80	75	15	5	0	15	1.5	66.5	16.5	30
	A_2	30	7	60	90	80	75	15	5	0	15.8	0.7	66.5	16.5	30
	B	30	20	60	90	80	75	15	5	0	18	2	70	20	30
	B_2	30	7	60	90	80	75	15	5	0	19.3	0.7	70	20	30
	B_3	30	5	60	90	80	75	15	5	0	19.9	0.1	70	20	30
	FA	30	15	60	90	80	75	15	5	0	15	1.5	66.5	21.5	30
	FB	30	20	60	90	80	75	15	5	0	18	2	70	25	30
	A_2 H	30	7	60	90	80	75	15	5	0	15.8	0.7	66.5	16.5	30
	B_2 H	30	7	60	90	80	75	15	5	0	19.3	0.7	70	20	30
	B_3 H	30	5	60	90	80	75	15	5	0	19.9	0.1	70	20	30
	LBH	30	2	60	90	80	75	15	5	0	20	0	70	20	30

数　量　表

(1箇所当り)

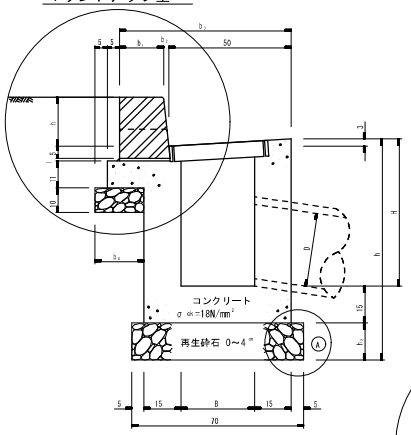
○印施工	工　種	基礎 縁石・皿溝部 再生砕石 (t=10)m²	基礎 Ⓐ 樹部 再生砕石 (t=15)m²	基礎 Ⓑ 樹部 ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5)m³	基礎 Ⓑ 樹部 基礎型枠 m²	型枠 縁石・皿溝部 m²	型枠 樹部 m²	ｺﾝｸﾘｰﾄ 縁石・皿溝部 m³	ｺﾝｸﾘｰﾄ 樹部 m³	据付ﾓﾙﾀﾙ m²	縁石 m	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 粗目 枚	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 枚	取り込み管 本数 本
	MS- L -A	0.149	0.630	0.032	0.090	0.465	2.168	0.049	0.212	0.002	0.900	1.000	——	3.000
	A_2	0.149	0.630	0.032	0.090	0.465	2.168	0.049	0.212	0.002	0.900	1.000	——	3.000
	B	0.180	0.630	0.032	0.090	0.469	2.168	0.051	0.212	0.002	0.900	1.000	——	3.000
	B_2	0.180	0.630	0.032	0.090	0.469	2.168	0.051	0.212	0.002	0.900	1.000	——	3.000
	B_3	0.180	0.630	0.032	0.090	0.469	2.168	0.051	0.212	0.002	0.900	1.000	——	3.000
	FA	0.194	0.630	0.032	0.090	0.624	2.168	0.061	0.212	0.002	0.900	1.000	——	3.000
	FB	0.225	0.630	0.032	0.090	0.628	2.168	0.063	0.212	0.002	0.900	1.000	——	3.000
	A_2 H	0.149	0.630	0.032	0.090	0.465	2.168	0.049	0.212	0.002	0.900	——	1.000	3.000
	B_2 H	0.180	0.630	0.032	0.090	0.469	2.168	0.051	0.212	0.002	0.900	——	1.000	3.000
	B_3 H	0.180	0.630	0.032	0.090	0.469	2.168	0.051	0.212	0.002	0.900	——	1.000	3.000
	LBH	0.180	0.630	0.032	0.090	0.469	2.168	0.057	0.212	0.002	0.900	——	1.000	3.000
	MS- L -A	0.149	0.630	0.032	0.090	0.465	1.964	0.049	0.197	0.002	0.900	1.000	——	4.000
	A_2	0.149	0.630	0.032	0.090	0.465	1.964	0.049	0.197	0.002	0.900	1.000	——	4.000
	B	0.180	0.630	0.032	0.090	0.469	1.964	0.051	0.197	0.002	0.900	1.000	——	4.000
	B_2	0.180	0.630	0.032	0.090	0.469	1.964	0.051	0.197	0.002	0.900	1.000	——	4.000
	B_3	0.180	0.630	0.032	0.090	0.469	1.964	0.051	0.197	0.002	0.900	1.000	——	4.000
	FA	0.194	0.630	0.032	0.090	0.624	1.964	0.061	0.197	0.002	0.900	1.000	——	4.000
	FB	0.225	0.630	0.032	0.090	0.628	1.964	0.063	0.197	0.002	0.900	1.000	——	4.000
	A_2 H	0.149	0.630	0.032	0.090	0.465	1.964	0.049	0.197	0.002	0.900	——	1.000	4.000
	B_2 H	0.180	0.630	0.032	0.090	0.469	1.964	0.051	0.197	0.002	0.900	——	1.000	4.000
	B_3 H	0.180	0.630	0.032	0.090	0.469	1.964	0.051	0.197	0.002	0.900	——	1.000	4.000
	LBH	0.180	0.630	0.032	0.090	0.469	1.964	0.057	0.197	0.002	0.900	——	1.000	4.000

図番

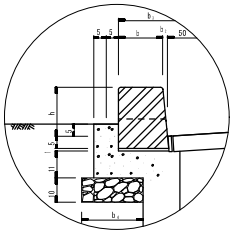
街渠桝工(MS-C)

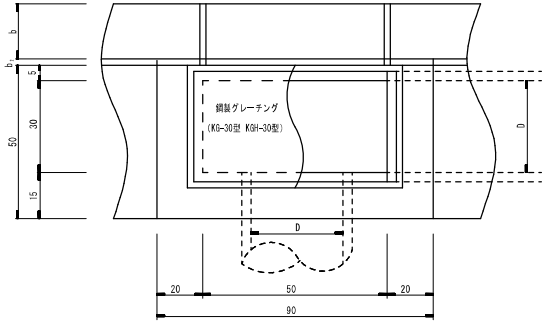
交通量区分ー N6交通(C交通)

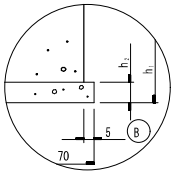
マウンドアップ型

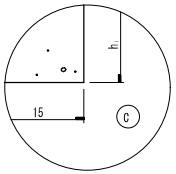


セミフラット型









基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
A	再生砕石	0～4cm
B	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σ_{ck}=18N/mm²

ﾓﾙﾀﾙの品質

	配　合
据付ﾓﾙﾀﾙ	1 : 3
目地ﾓﾙﾀﾙ	1 : 2

寸　法　表

(cm)

○印施工	工　種	B	h	H	h_1 A	h_1 B	h_1 C	h_2 A	h_2 B	h_2 C	b_1	b_2	b_3	b_4	D
	MS- C -A	30	15	60	90	80	75	15	5	0	15	1.5	66.5	16.5	30
	A 2	30	7	60	90	80	75	15	5	0	15.8	0.7	66.5	16.5	30
	B	30	20	60	90	80	75	15	5	0	18	2	70	20	30
	B 2	30	7	60	90	80	75	15	5	0	19.3	0.7	70	20	30
	B 3	30	5	60	90	80	75	15	5	0	19.9	0.1	70	20	30
	FA	30	15	60	90	80	75	15	5	0	15	1.5	66.5	21.5	30
	FB	30	20	60	90	80	75	15	5	0	18	2	70	25	30
	A 2 H	30	7	60	90	80	75	15	5	0	15.8	0.7	66.5	16.5	30
	B 2 H	30	7	60	90	80	75	15	5	0	19.3	0.7	70	20	30
	B 3 H	30	5	60	90	80	75	15	5	0	19.9	0.1	70	20	30
	LBH	30	2	60	90	80	75	15	5	0	20	0	70	20	30
	MS- C -A	30	15	60	90	80	75	15	5	0	15	1.5	66.5	16.5	30
	A 2	30	7	60	90	80	75	15	5	0	15.8	0.7	66.5	16.5	30
	B	30	20	60	90	80	75	15	5	0	18	2	70	20	30
	B 2	30	7	60	90	80	75	15	5	0	19.3	0.7	70	20	30
	B 3	30	5	60	90	80	75	15	5	0	19.9	0.1	70	20	30
	FA	30	15	60	90	80	75	15	5	0	15	1.5	66.5	21.5	30
	FB	30	20	60	90	80	75	15	5	0	18	2	70	25	30
	A 2 H	30	7	60	90	80	75	15	5	0	15.8	0.7	66.5	16.5	30
	B 2 H	30	7	60	90	80	75	15	5	0	19.3	0.7	70	20	30
	B 3 H	30	5	60	90	80	75	15	5	0	19.9	0.1	70	20	30
	LBH	30	2	60	90	80	75	15	5	0	20	0	70	20	30

数　量　表

(1箇所当り)

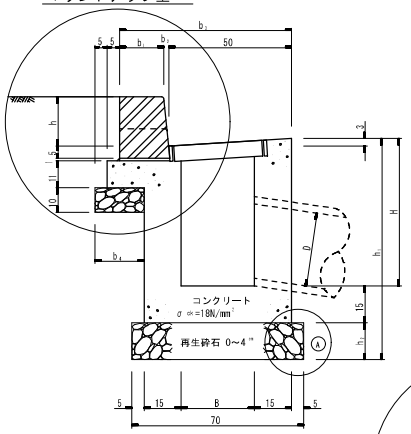
工　種	基礎 縁石・皿溝部 再生砕石 (t=10)m²	基礎 桝部 Ⓐ 再生砕石 (t=15)m²	基礎 桝部 Ⓑ コンクリート (t=5)m³	基礎 桝部 Ⓑ 基礎型枠 m²	型枠 縁石・皿溝部 m²	型枠 桝部 m²	コンクリート 縁石・皿溝部 m³	コンクリート 桝部 m³	据付モルタル m²	縁石 m	グレーチング蓋 粗目 枚	グレーチング蓋 細目 枚	取り込み管本数 本
MS- C -A	0.149	0.630	0.032	0.090	0.736	2.345	0.073	0.223	0.002	0.900	1.000	——	1.000
A 2	0.149	0.630	0.032	0.090	0.736	2.345	0.073	0.223	0.002	0.900	1.000	——	1.000
B	0.180	0.630	0.032	0.090	0.744	2.345	0.077	0.223	0.002	0.900	1.000	——	1.000
B 2	0.180	0.630	0.032	0.090	0.744	2.345	0.077	0.223	0.002	0.900	1.000	——	1.000
B 3	0.180	0.630	0.032	0.090	0.744	2.345	0.077	0.223	0.002	0.900	1.000	——	1.000
FA	0.194	0.630	0.032	0.090	0.945	2.345	0.088	0.223	0.002	0.900	1.000	——	1.000
FB	0.225	0.630	0.032	0.090	0.953	2.345	0.092	0.223	0.002	0.900	1.000	——	1.000
A 2 H	0.149	0.630	0.032	0.090	0.736	2.345	0.073	0.223	0.002	0.900	——	1.000	1.000
B 2 H	0.180	0.630	0.032	0.090	0.744	2.345	0.077	0.223	0.002	0.900	——	1.000	1.000
B 3 H	0.180	0.630	0.032	0.090	0.744	2.345	0.077	0.223	0.002	0.900	——	1.000	1.000
LBH	0.180	0.630	0.032	0.090	0.744	2.345	0.084	0.223	0.002	0.900	——	1.000	1.000
MS- C -A	0.149	0.630	0.032	0.090	0.736	2.141	0.073	0.208	0.002	0.900	1.000	——	2.000
A 2	0.149	0.630	0.032	0.090	0.736	2.141	0.073	0.208	0.002	0.900	1.000	——	2.000
B	0.180	0.630	0.032	0.090	0.744	2.141	0.077	0.208	0.002	0.900	1.000	——	2.000
B 2	0.180	0.630	0.032	0.090	0.744	2.141	0.077	0.208	0.002	0.900	1.000	——	2.000
B 3	0.180	0.630	0.032	0.090	0.744	2.141	0.077	0.208	0.002	0.900	1.000	——	2.000
FA	0.194	0.630	0.032	0.090	0.945	2.141	0.088	0.208	0.002	0.900	1.000	——	2.000
FB	0.225	0.630	0.032	0.090	0.953	2.141	0.092	0.208	0.002	0.900	1.000	——	2.000
A 2 H	0.149	0.630	0.032	0.090	0.736	2.141	0.073	0.208	0.002	0.900	——	1.000	2.000
B 2 H	0.180	0.630	0.032	0.090	0.744	2.141	0.077	0.208	0.002	0.900	——	1.000	2.000
B 3 H	0.180	0.630	0.032	0.090	0.744	2.141	0.077	0.208	0.002	0.900	——	1.000	2.000
LBH	0.180	0.630	0.032	0.090	0.744	2.141	0.084	0.208	0.002	0.900	——	1.000	2.000

図番

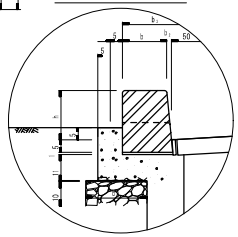
街渠桝工(MS-C)

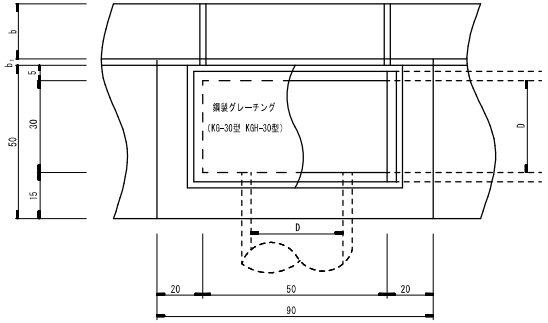
交通量区分ー N6交通(C交通)

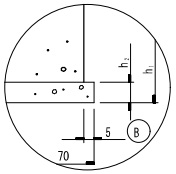
マウンドアップ型

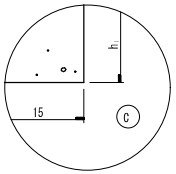


セミフラット型









基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4cm
Ⓑ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σ_{ck} =18N/mm^2

モルタルの品質

	配　合
据付ﾓﾙﾀﾙ	1 : 3
目地ﾓﾙﾀﾙ	1 : 2

寸　法　表

(cm)

○印施工	工　種	B	h	H	h_1 A	h_1 B	h_1 C	h_2 A	h_2 B	h_2 C	b_1	b_2	b_3	b_4	D
	MS- C -A	30	15	60	90	80	75	15	5	0	15	1.5	66.5	16.5	30
	A$_2$	30	7	60	90	80	75	15	5	0	15.8	0.7	66.5	16.5	30
	B	30	20	60	90	80	75	15	5	0	18	2	70	20	30
	B$_2$	30	7	60	90	80	75	15	5	0	19.3	0.7	70	20	30
	B$_3$	30	5	60	90	80	75	15	5	0	19.9	0.1	70	20	30
	FA	30	15	60	90	80	75	15	5	0	15	1.5	66.5	21.5	30
	FB	30	20	60	90	80	75	15	5	0	18	2	70	25	30
	A$_2$H	30	7	60	90	80	75	15	5	0	15.8	0.7	66.5	16.5	30
	B$_2$H	30	7	60	90	80	75	15	5	0	19.3	0.7	70	20	30
	B$_3$H	30	5	60	90	80	75	15	5	0	19.9	0.1	70	20	30
	LBH	30	2	60	90	80	75	15	5	0	20	0	70	20	30
	MS- C -A	30	15	60	90	80	75	15	5	0	15	1.5	66.5	16.5	30
	A$_2$	30	7	60	90	80	75	15	5	0	15.8	0.7	66.5	16.5	30
	B	30	20	60	90	80	75	15	5	0	18	2	70	20	30
	B$_2$	30	7	60	90	80	75	15	5	0	19.3	0.7	70	20	30
	B$_3$	30	5	60	90	80	75	15	5	0	19.9	0.1	70	20	30
	FA	30	15	60	90	80	75	15	5	0	15	1.5	66.5	21.5	30
	FB	30	20	60	90	80	75	15	5	0	18	2	70	25	30
	A$_2$H	30	7	60	90	80	75	15	5	0	15.8	0.7	66.5	16.5	30
	B$_2$H	30	7	60	90	80	75	15	5	0	19.3	0.7	70	20	30
	B$_3$H	30	5	60	90	80	75	15	5	0	19.9	0.1	70	20	30
	LBH	30	2	60	90	80	75	15	5	0	20	0	70	20	30

数　量　表

(1箇所当り)

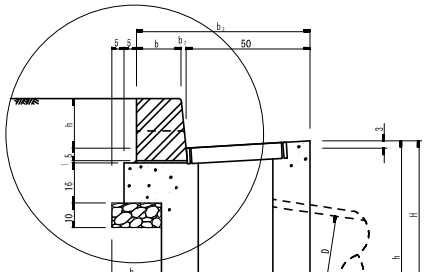
基礎 縁石・皿溝部 再生砕石 (t=10)m^2	基礎 桝部 Ⓐ 再生砕石 (t=15)m^2	基礎 桝部 Ⓑ ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5)m^3	基礎 桝部 Ⓑ 基礎型枠 m^2	型枠 縁石・皿溝部 m^2	型枠 桝部 m^2	ｺﾝｸﾘｰﾄ 縁石・皿溝部 m^3	ｺﾝｸﾘｰﾄ 桝部 m^3	据付ﾓﾙﾀﾙ m^3	縁石 m	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 粗目 枚	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 枚	取り込み管 本数 本
0.149	0.630	0.032	0.090	0.736	1.938	0.073	0.193	0.002	0.900	1.000	——	3.000
0.149	0.630	0.032	0.090	0.736	1.938	0.073	0.193	0.002	0.900	1.000	——	3.000
0.180	0.630	0.032	0.090	0.744	1.938	0.077	0.193	0.002	0.900	1.000	——	3.000
0.180	0.630	0.032	0.090	0.744	1.938	0.077	0.193	0.002	0.900	1.000	——	3.000
0.180	0.630	0.032	0.090	0.744	1.938	0.077	0.193	0.002	0.900	1.000	——	3.000
0.194	0.630	0.032	0.090	0.945	1.938	0.088	0.193	0.002	0.900	1.000	——	3.000
0.225	0.630	0.032	0.090	0.953	1.938	0.092	0.193	0.002	0.900	1.000	——	3.000
0.149	0.630	0.032	0.090	0.736	1.938	0.073	0.193	0.002	0.900	——	1.000	3.000
0.180	0.630	0.032	0.090	0.744	1.938	0.077	0.193	0.002	0.900	——	1.000	3.000
0.180	0.630	0.032	0.090	0.744	1.938	0.077	0.193	0.002	0.900	——	1.000	3.000
0.180	0.630	0.032	0.090	0.744	1.938	0.084	0.193	0.002	0.900	——	1.000	3.000
0.149	0.630	0.032	0.090	0.736	1.734	0.073	0.177	0.002	0.900	1.000	——	4.000
0.149	0.630	0.032	0.090	0.736	1.734	0.073	0.177	0.002	0.900	1.000	——	4.000
0.180	0.630	0.032	0.090	0.744	1.734	0.077	0.177	0.002	0.900	1.000	——	4.000
0.180	0.630	0.032	0.090	0.744	1.734	0.077	0.177	0.002	0.900	1.000	——	4.000
0.180	0.630	0.032	0.090	0.744	1.734	0.077	0.177	0.002	0.900	1.000	——	4.000
0.194	0.630	0.032	0.090	0.945	1.734	0.088	0.177	0.002	0.900	1.000	——	4.000
0.225	0.630	0.032	0.090	0.953	1.734	0.092	0.177	0.002	0.900	1.000	——	4.000
0.149	0.630	0.032	0.090	0.736	1.734	0.073	0.177	0.002	0.900	——	1.000	4.000
0.180	0.630	0.032	0.090	0.744	1.734	0.077	0.177	0.002	0.900	——	1.000	4.000
0.180	0.630	0.032	0.090	0.744	1.734	0.077	0.177	0.002	0.900	——	1.000	4.000
0.180	0.630	0.032	0.090	0.744	1.734	0.084	0.177	0.002	0.900	——	1.000	4.000

図番

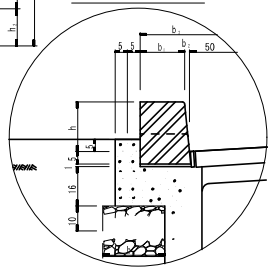
街渠桝工(MS-D)

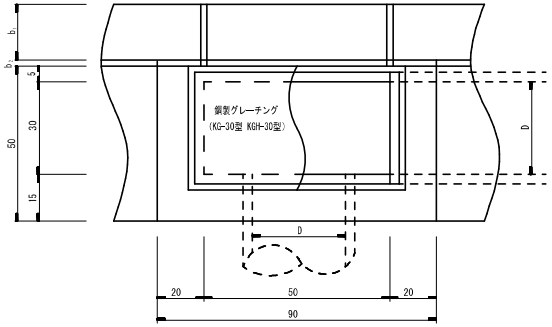
交通量区分ー N7交通(D交通)

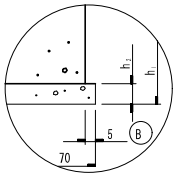
マウンドアップ型

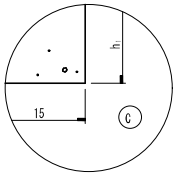


セミフラット型









基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4cm
Ⓑ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σ_{ck} =18N/mm²

ﾓﾙﾀﾙの品質

	配　合
据付ﾓﾙﾀﾙ	1 : 3
目地ﾓﾙﾀﾙ	1 : 2

寸　法　表

(cm)

○印着工	工　種	B	h	H	h_1 A	h_1 B	h_1 C	h_2 A	h_2 B	h_2 C	b_1	b_2	b_3	b_4	D
	MS- D -A	30	15	60	90	80	105	15	5	0	15	1.5	66.5	16.5	30
	A$_2$	30	7	60	90	80	105	15	5	0	15.8	0.7	66.5	16.5	30
	B	30	20	60	90	80	105	15	5	0	18	2	70	20	30
	B$_2$	30	7	60	90	80	105	15	5	0	19.3	0.7	70	20	30
	B$_3$	30	5	60	90	80	105	15	5	0	19.9	0.1	70	20	30
	FA	30	15	60	90	80	105	15	5	0	15	1.5	66.5	21.5	30
	FB	30	20	60	90	80	105	15	5	0	18	2	70	25	30
	A$_2$H	30	7	60	90	80	105	15	5	0	15.8	0.7	66.5	16.5	30
	B$_2$H	30	7	60	90	80	105	15	5	0	19.3	0.7	70	20	30
	B$_3$H	30	5	60	90	80	105	15	5	0	19.9	0.1	70	20	30
	LBH	30	2	60	90	80	105	15	5	0	20	0	70	20	30
	MS- D -A	30	15	60	90	80	105	15	5	0	15	1.5	66.5	16.5	30
	A$_2$	30	7	60	90	80	105	15	5	0	15.8	0.7	66.5	16.5	30
	B	30	20	60	90	80	105	15	5	0	18	2	70	20	30
	B$_2$	30	7	60	90	80	105	15	5	0	19.3	0.7	70	20	30
	B$_3$	30	5	60	90	80	105	15	5	0	19.9	0.1	70	20	30
	FA	30	15	60	90	80	105	15	5	0	15	1.5	66.5	21.5	30
	FB	30	20	60	90	80	105	15	5	0	18	2	70	25	30
	A$_2$H	30	7	60	90	80	105	15	5	0	15.8	0.7	66.5	16.5	30
	B$_2$H	30	7	60	90	80	105	15	5	0	19.3	0.7	70	20	30
	B$_3$H	30	5	60	90	80	105	15	5	0	19.9	0.1	70	20	30
	LBH	30	2	60	90	80	105	15	5	0	20	0	70	20	30

数　量　表

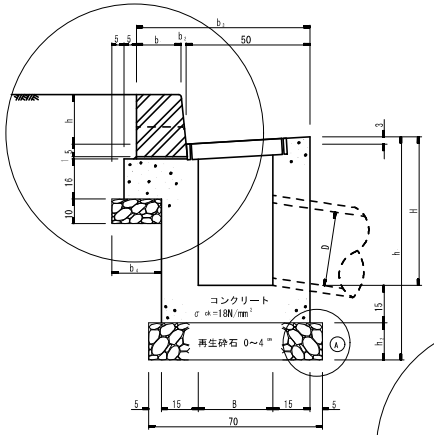
(1箇所当り)

基礎 縁石・皿溝部 再生砕石 (t=10)m²	基礎 樹部 Ⓐ 再生砕石 (t=15)m²	基礎 樹部 Ⓑ ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5)m³	基礎 樹部 Ⓑ 基礎型枠 m²	型枠 縁石・皿溝部 m²	型枠 樹部 m²	ｺﾝｸﾘｰﾄ 縁石・皿溝部 m³	ｺﾝｸﾘｰﾄ 樹部 m³	据付ﾓﾙﾀﾙ m²	縁石 m	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 粗目 枚	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 枚	取り込み管 本数 本
0.149	0.630	0.032	0.090	1.008	2.115	0.098	0.204	0.002	0.900	1.000	——	1.000
0.149	0.630	0.032	0.090	1.008	2.115	0.098	0.204	0.002	0.900	1.000	——	1.000
0.180	0.630	0.032	0.090	1.019	2.115	0.103	0.204	0.002	0.900	1.000	——	1.000
0.180	0.630	0.032	0.090	1.019	2.115	0.103	0.204	0.002	0.900	1.000	——	1.000
0.180	0.630	0.032	0.090	1.019	2.115	0.103	0.204	0.002	0.900	1.000	——	1.000
0.194	0.630	0.032	0.090	1.267	2.115	0.115	0.204	0.002	0.900	1.000	——	1.000
0.225	0.630	0.032	0.090	1.278	2.115	0.120	0.204	0.002	0.900	1.000	——	1.000
0.149	0.630	0.032	0.090	1.008	2.115	0.098	0.204	0.002	0.900	——	1.000	1.000
0.180	0.630	0.032	0.090	1.019	2.115	0.103	0.204	0.002	0.900	——	1.000	1.000
0.180	0.630	0.032	0.090	1.019	2.115	0.103	0.204	0.002	0.900	——	1.000	1.000
0.180	0.630	0.032	0.090	1.019	2.115	0.110	0.204	0.002	0.900	——	1.000	1.000
0.149	0.630	0.032	0.090	1.008	1.911	0.098	0.189	0.002	0.900	1.000	——	2.000
0.149	0.630	0.032	0.090	1.008	1.911	0.098	0.189	0.002	0.900	1.000	——	2.000
0.180	0.630	0.032	0.090	1.019	1.911	0.103	0.189	0.002	0.900	1.000	——	2.000
0.180	0.630	0.032	0.090	1.019	1.911	0.103	0.189	0.002	0.900	1.000	——	2.000
0.180	0.630	0.032	0.090	1.019	1.911	0.103	0.189	0.002	0.900	1.000	——	2.000
0.194	0.630	0.032	0.090	1.267	1.911	0.115	0.189	0.002	0.900	1.000	——	2.000
0.225	0.630	0.032	0.090	1.278	1.911	0.120	0.189	0.002	0.900	1.000	——	2.000
0.149	0.630	0.032	0.090	1.008	1.911	0.098	0.189	0.002	0.900	——	1.000	2.000
0.180	0.630	0.032	0.090	1.019	1.911	0.103	0.189	0.002	0.900	——	1.000	2.000
0.180	0.630	0.032	0.090	1.019	1.911	0.103	0.189	0.002	0.900	——	1.000	2.000
0.180	0.630	0.032	0.090	1.019	1.911	0.110	0.189	0.002	0.900	——	1.000	2.000

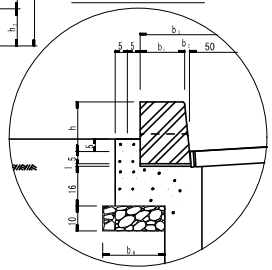
図番

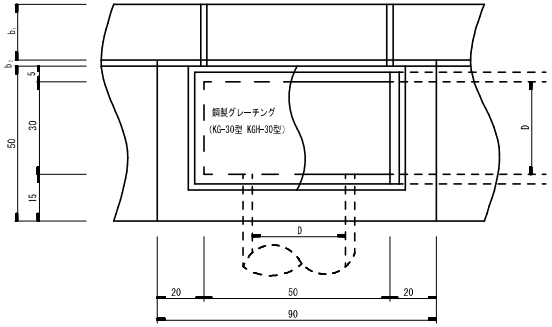
街渠桝工(MS-D)

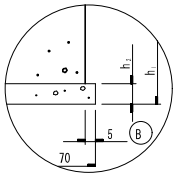
マウンドアップ型

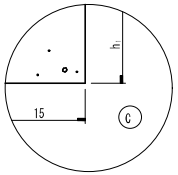


セミフラット型









交通量区分ー N7交通(D交通)

基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0~4cm
Ⓑ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σ_{ck}=18N/mm²

ﾓﾙﾀﾙの品質

	配　合
据付ﾓﾙﾀﾙ	1 : 3
目地ﾓﾙﾀﾙ	1 : 2

寸　法　表

(cm)

○印施工	工　種	B	h	H	h_1 A	h_1 B	h_1 C	h_2 A	h_2 B	h_2 C	b_1	b_2	b_3	b_4	D
	MS- D -A	30	15	60	90	80	105	15	5	0	15	1.5	66.5	16.5	30
	A 2	30	7	60	90	80	105	15	5	0	15.8	0.7	66.5	16.5	30
	B	30	20	60	90	80	105	15	5	0	18	2	70	20	30
	B 2	30	7	60	90	80	105	15	5	0	19.3	0.7	70	20	30
	B 3	30	5	60	90	80	105	15	5	0	19.9	0.1	70	20	30
	FA	30	15	60	90	80	105	15	5	0	15	1.5	66.5	21.5	30
	FB	30	20	60	90	80	105	15	5	0	18	2	70	25	30
	A 2 H	30	7	60	90	80	105	15	5	0	15.8	0.7	66.5	16.5	30
	B 2 H	30	7	60	90	80	105	15	5	0	19.3	0.7	70	20	30
	B 3 H	30	5	60	90	80	105	15	5	0	19.9	0.1	70	20	30
	LBH	30	2	60	90	80	105	15	5	0	20	0	70	20	30
	MS- D -A	30	15	60	90	80	105	15	5	0	15	1.5	66.5	16.5	30
	A 2	30	7	60	90	80	105	15	5	0	15.8	0.7	66.5	16.5	30
	B	30	20	60	90	80	105	15	5	0	18	2	70	20	30
	B 2	30	7	60	90	80	105	15	5	0	19.3	0.7	70	20	30
	B 3	30	5	60	90	80	105	15	5	0	19.9	0.1	70	20	30
	FA	30	15	60	90	80	105	15	5	0	15	1.5	66.5	21.5	30
	FB	30	20	60	90	80	105	15	5	0	18	2	70	25	30
	A 2 H	30	7	60	90	80	105	15	5	0	15.8	0.7	66.5	16.5	30
	B 2 H	30	7	60	90	80	105	15	5	0	19.3	0.7	70	20	30
	B 3 H	30	5	60	90	80	105	15	5	0	19.9	0.1	70	20	30
	LBH	30	2	60	90	80	105	15	5	0	20	0	70	20	30

数　量　表

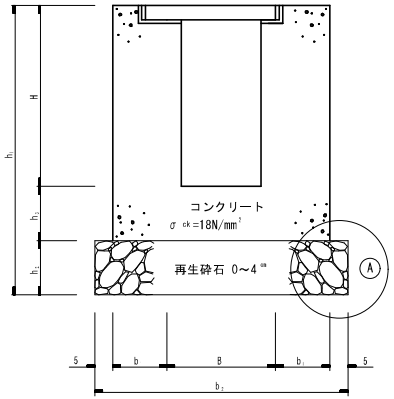
(1箇所当り)

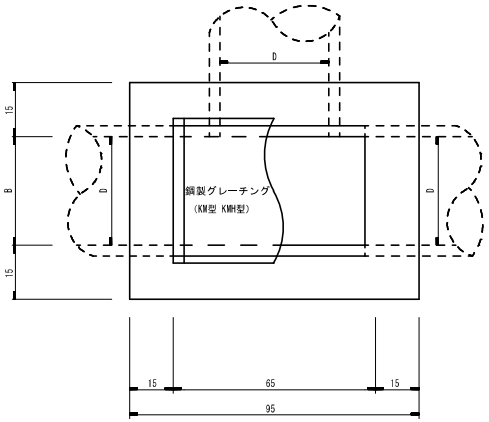
基礎 縁石・皿溝部 再生砕石 (t=10)m²	基礎 桝部 Ⓐ 再生砕石 (t=15)m²	基礎 桝部 Ⓑ ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5)m³	基礎 桝部 Ⓑ 基礎型枠 m²	型枠 縁石・皿溝部 m²	型枠 桝部 m²	ｺﾝｸﾘｰﾄ 縁石・皿溝部 m³	ｺﾝｸﾘｰﾄ 桝部 m³	据付ﾓﾙﾀﾙ m²	縁石 m	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 粗目 枚	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 枚	取り込み管 本数 本
0.149	0.630	0.032	0.090	1.008	1.708	0.098	0.173	0.002	0.900	1.000	——	3.000
0.149	0.630	0.032	0.090	1.008	1.708	0.098	0.173	0.002	0.900	1.000	——	3.000
0.180	0.630	0.032	0.090	1.019	1.708	0.103	0.173	0.002	0.900	1.000	——	3.000
0.180	0.630	0.032	0.090	1.019	1.708	0.103	0.173	0.002	0.900	1.000	——	3.000
0.180	0.630	0.032	0.090	1.019	1.708	0.103	0.173	0.002	0.900	1.000	——	3.000
0.194	0.630	0.032	0.090	1.267	1.708	0.115	0.173	0.002	0.900	1.000	——	3.000
0.225	0.630	0.032	0.090	1.278	1.708	0.120	0.173	0.002	0.900	1.000	——	3.000
0.149	0.630	0.032	0.090	1.008	1.708	0.098	0.173	0.002	0.900	——	1.000	3.000
0.180	0.630	0.032	0.090	1.019	1.708	0.103	0.173	0.002	0.900	——	1.000	3.000
0.180	0.630	0.032	0.090	1.019	1.708	0.103	0.173	0.002	0.900	——	1.000	3.000
0.180	0.630	0.032	0.090	1.019	1.708	0.110	0.173	0.002	0.900	——	1.000	3.000
0.149	0.630	0.032	0.090	1.008	1.504	0.098	0.158	0.002	0.900	1.000	——	4.000
0.149	0.630	0.032	0.090	1.008	1.504	0.098	0.158	0.002	0.900	1.000	——	4.000
0.180	0.630	0.032	0.090	1.019	1.504	0.103	0.158	0.002	0.900	1.000	——	4.000
0.180	0.630	0.032	0.090	1.019	1.504	0.103	0.158	0.002	0.900	1.000	——	4.000
0.180	0.630	0.032	0.090	1.019	1.504	0.103	0.158	0.002	0.900	1.000	——	4.000
0.194	0.630	0.032	0.090	1.267	1.504	0.115	0.158	0.002	0.900	1.000	——	4.000
0.225	0.630	0.032	0.090	1.278	1.504	0.120	0.158	0.002	0.900	1.000	——	4.000
0.149	0.630	0.032	0.090	1.008	1.504	0.098	0.158	0.002	0.900	——	1.000	4.000
0.180	0.630	0.032	0.090	1.019	1.504	0.103	0.158	0.002	0.900	——	1.000	4.000
0.180	0.630	0.032	0.090	1.019	1.504	0.103	0.158	0.002	0.900	——	1.000	4.000
0.180	0.630	0.032	0.090	1.019	1.504	0.110	0.158	0.002	0.900	——	1.000	4.000

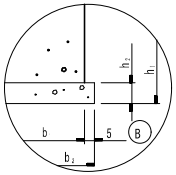
図番

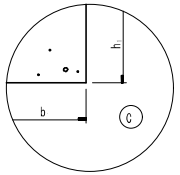
桝　工(MKU.MKUH)

H≦55の場合









Hの区分によるh₂,h₃の変化

Hの区分 ＼ 記号・基礎	h₂ A	h₂ B	h₂ C	h₃
H≦55	15	5	0	15

基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4cm
Ⓑ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=18N/mm²

寸　法　表

(cm)

○印底工	工　種	B	H	h₁ A	h₁ B	h₁ C	h₂ A	h₂ B	h₃	b₁	b₂	D	N
	MKU(30×50)	30	50	80	70	65	15	5	15	15	70	30	3
	(40×50)	40	50	80	70	65	15	5	15	15	80	30	3
	(50×50)	50	50	80	70	65	15	5	15	15	90	30	3
	MKUH(30×50)	30	50	80	70	65	15	5	15	15	70	30	3
	(40×50)	40	50	80	70	65	15	5	15	15	80	30	3
	(50×50)	50	50	80	70	65	15	5	15	15	90	30	3

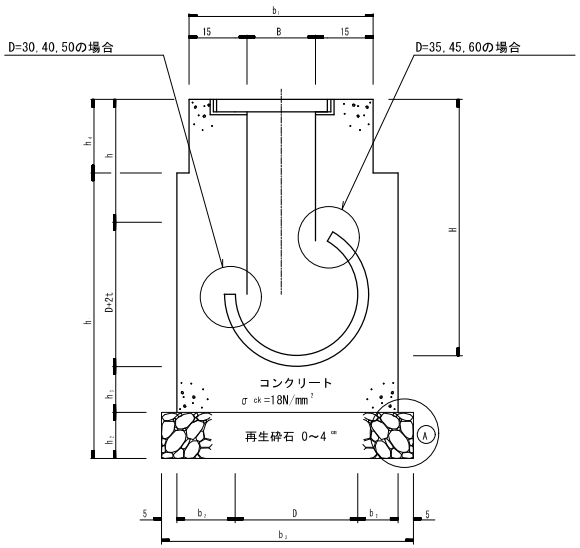
数　量　表

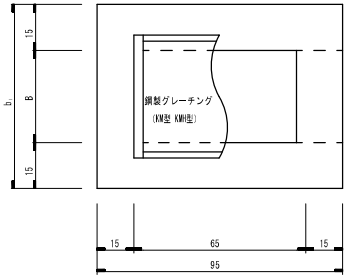
(1ヶ所当り)

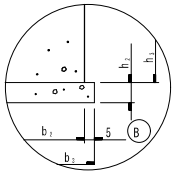
基礎 Ⓐ 再生砕石 (t=15)m²	基礎 Ⓑ ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5)m³	基礎 Ⓑ 基礎型枠 m²	取込管本数3本 型　枠 m²	ｺﾝｸﾘｰﾄ m³	ヒューム管 φ300 m	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 粗　目 枚	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細　目 枚
0.665	0.033	0.067	2.533	0.222	0.450	1.000	——
0.760	0.038	0.076	2.750	0.250	0.450	1.000	——
0.855	0.043	0.086	2.961	0.277	0.450	1.000	——
0.665	0.033	0.067	2.533	0.222	0.450	——	1.000
0.760	0.038	0.076	2.750	0.250	0.450	——	1.000
0.855	0.043	0.086	2.961	0.277	0.450	——	1.000

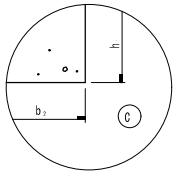
図番

桝　工(MKP.MKPH)









基礎の種類

区分	品　質	形状・寸法
Ⓐ	再生砕石	0～4cm
Ⓑ	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σ_{ck} =18N/mm²

寸　法　表

(cm)

○印施工	工　種	D	H	h	h1			h2		h3	B	b1	b2	b3	t	h4
					A	B	C	A	B							
	MKP (300)	30	73	40	71	61	56	15	5	10	30	60	15	70	3.0	30
	(350)	35	78.2	40	77	67	62	15	5	10	30	60	13.5	72	3.2	29.4
	(400)	40	83.5	40	93	83	78	15	5	15	40	70	19	88	3.5	24
	(450)	45	88.8	40	99	89	84	15	5	15	40	70	19.5	94	3.8	23.6
	(500)	50	94.2	40	105	95	90	15	5	15	50	80	20	100	4.2	23.4
	(600)	60	105	40	120	110	100	20	10	15	50	80	20	110	5.0	25
	MKPH (300)	30	73	40	71	61	56	15	5	10	30	60	15	70	3.0	30
	(350)	35	78.2	40	77	67	62	15	5	10	30	60	13.5	72	3.2	29.4
	(400)	40	83.5	40	93	83	78	15	5	15	40	70	19	88	3.5	24
	(450)	45	88.8	40	99	89	84	15	5	15	40	70	19.5	94	3.8	23.6
	(500)	50	94.2	40	105	95	90	15	5	15	50	80	20	100	4.2	23.4
	(600)	60	105	40	120	110	100	20	10	15	50	80	20	110	5.0	25

数　量　表

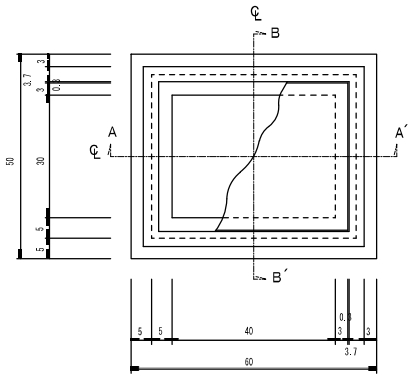
(1ヶ所当り)

基礎 Ⓐ 再生砕石 (t=15.20)m²	基礎 Ⓑ ｺﾝｸﾘｰﾄ (t=5,10)m³	基礎 Ⓑ 基礎型枠 m²	取込管本数3本 型　枠 m²	ｺﾝｸﾘｰﾄ m³	ヒューム管 φ300 m	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 粗　目 枚	細　目 枚
0.665	0.033	0.095	2.990	0.335	0.950	1.000	——
0.684	0.034	0.095	2.918	0.327	0.950	1.000	——
0.836	0.042	0.095	3.458	0.502	0.950	1.000	——
0.893	0.045	0.095	3.269	0.521	0.950	1.000	——
0.950	0.048	0.095	3.923	0.615	0.950	1.000	——
1.045	0.105	0.190	3.853	0.648	0.950	1.000	——
0.665	0.033	0.095	2.990	0.335	0.950	——	1.000
0.684	0.034	0.095	2.918	0.327	0.950	——	1.000
0.836	0.042	0.095	3.458	0.502	0.950	——	1.000
0.893	0.045	0.095	3.269	0.521	0.950	——	1.000
0.950	0.048	0.095	3.923	0.615	0.950	——	1.000
1.045	0.105	0.190	3.853	0.648	0.950	——	1.000

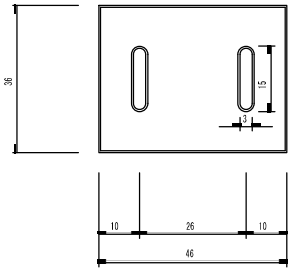
図番

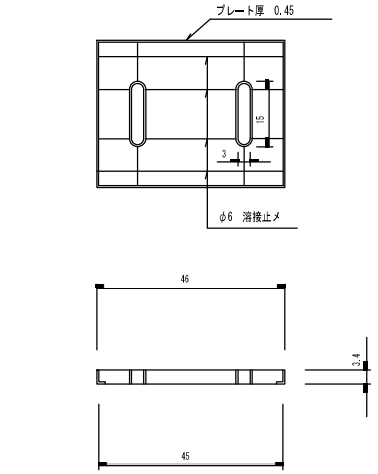
雨 水 桝 工

平 面 図

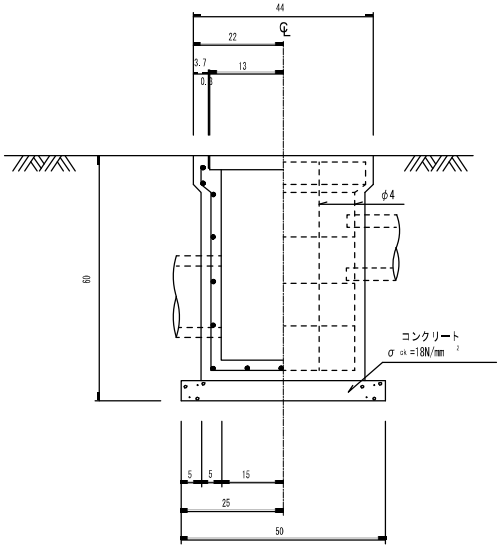


蓋板詳細図

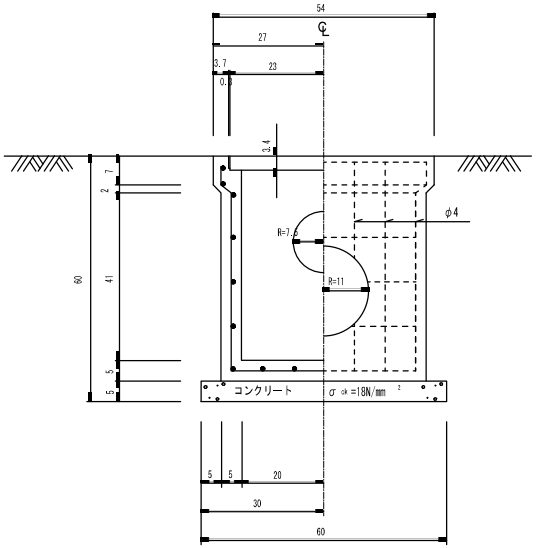




B～B´



A～A´



本体重量 130kg ， 蓋重量 14kg

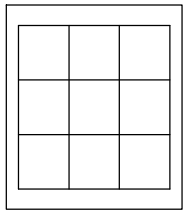
雨 水 桝 工 1ヶ所当所要数量表

	名 称	形 状 寸 法	数 量
	桝 及 蓋 板	内径40×30 cm	1.0組
	基礎コンクリート	σck=18N/mm²	0.015m³
	基 礎 型 枠		0.110m³

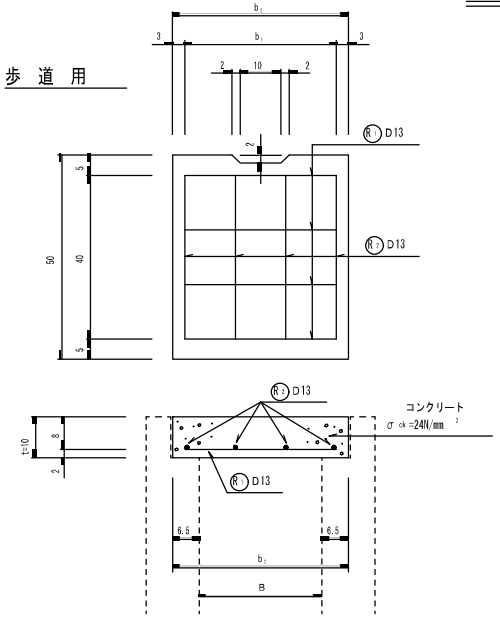
図番

床版架設工（RCプレキャスト床版）

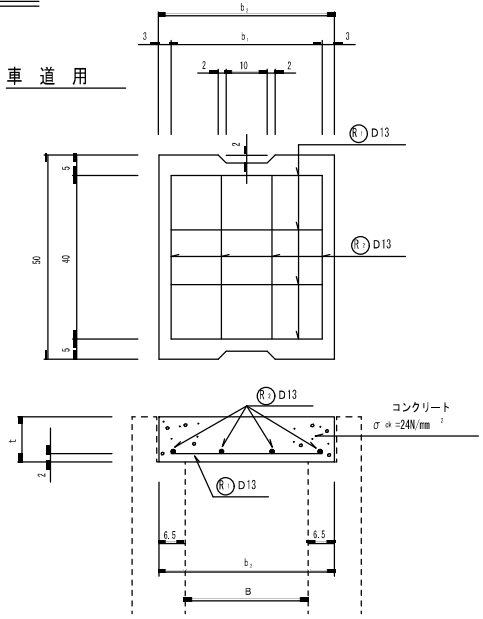
手掛りなし



歩　道　用



車　道　用



寸　法　表

(cm)

印	工　種	B	b_1	b_2	R1 鉄筋D13 本数	R1 鉄筋D13 長さ	R2 鉄筋D13 本数	R2 鉄筋D13 長さ	t
	UB－(1～3)用	30	37	43	4	37	4	40	10
		40	47	53	4	47	4	40	10
		50	57	63	4	57	4	40	10
		60	67	73	4	67	4	40	10
		70	77	83	4	77	4	40	10
	UB－(1～3)R用	30	37	43	4	37	4	40	11
		40	47	53	4	47	4	40	12
		50	57	63	4	57	4	40	13

数　量　表

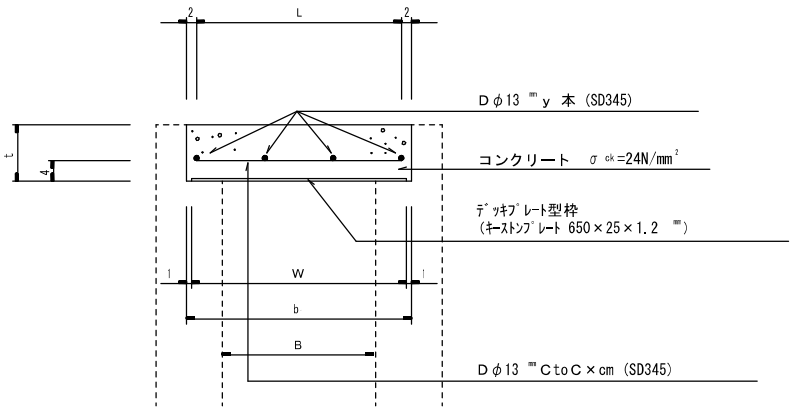
(1.0m当り)

枚 プレキャスト床版	kg/m 重　量
2.000	102.0
2.000	126.0
2.000	150.0
2.000	174.0
2.000	198.0
2.000	112.0
2.000	150.0
2.000	194.0

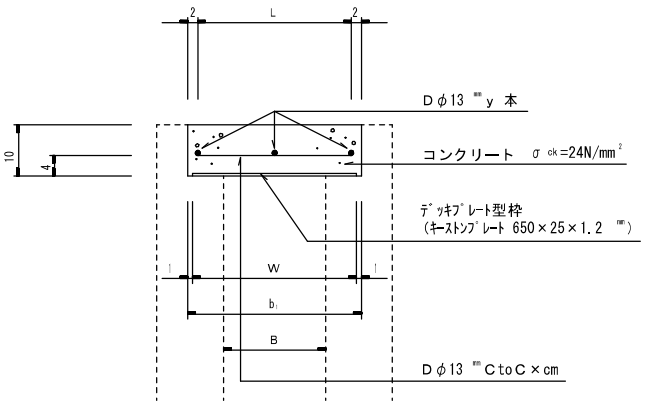
図番

床版架設工（RC現場打床版）

ＵＢ－(1～3)－Ｒ用



ＵＢ－(1～3)用



寸　法　表

(cm)

○印施工	工　種	B	b1	t	x 間隔	x 本数	x L1	y 本数	y L1	L	W
	ＵＢ－(1～3)Ｒ用	30	44	11	10	10	40	4	100	40	42
		40	54	12	10	10	50	4	100	50	52
		50	64	13	10	10	60	4	100	60	62
	ＵＢ－(1～3)用	20	34	10	25	4	30	3	100	30	32
		30	44	10	25	4	40	4	100	40	42
		40	54	10	25	4	50	4	100	50	52
		50	64	10	25	4	60	4	100	60	62

数　量　表

(1m当り)

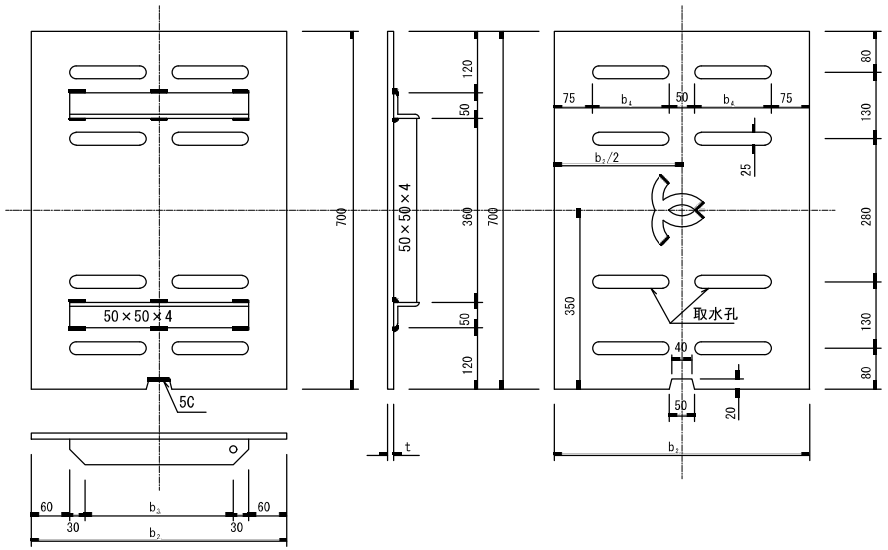
コンクリート m³	型枠 ｷｰｽﾄﾝﾌﾟﾚｰﾄ m²	鉄筋 D13 kg
0.043	0.420	7.960
0.058	0.520	8.955
0.075	0.620	9.950
0.030	0.320	4.179
0.039	0.420	5.572
0.048	0.520	5.970
0.056	0.620	6.368

図番

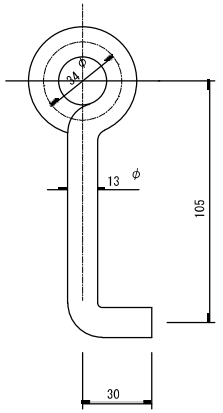
鉄蓋設置工　1枚1組

単位mm

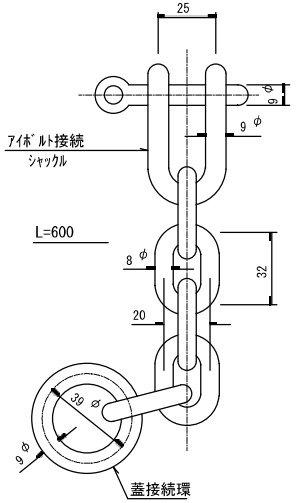
蓋詳細図



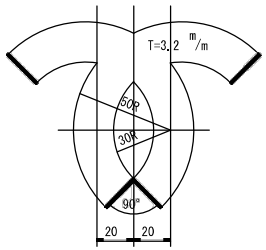
鎖取付ｱｲﾎﾞﾙﾄ



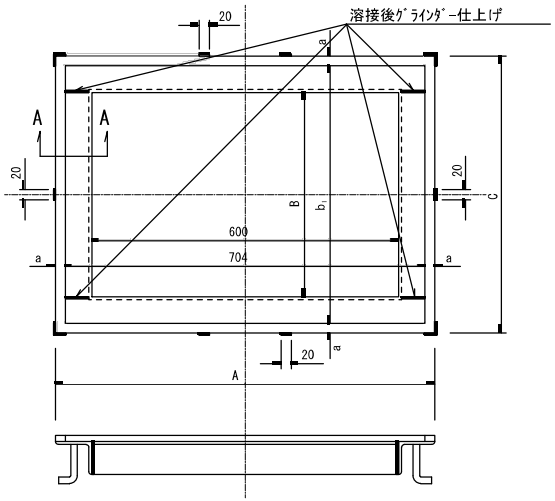
鎖詳細図



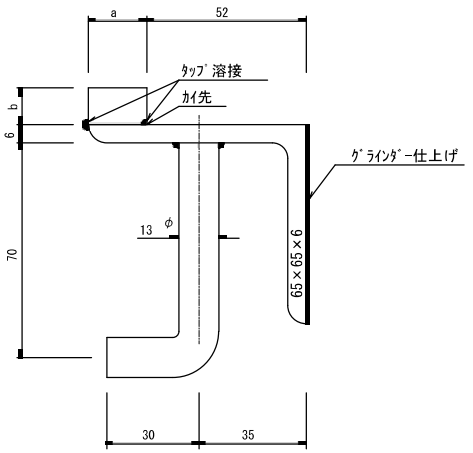
市　章　詳　細



受枠詳細図



A-A断面



材料表（鋼鉄製蓋及枠）

品番	名称	数量	材質	形状・寸法
1	蓋	1枚	SS41P	
2	蓋補強	2枚	SS41A	
3	市章	1ヶ	SS41P	T=3.2
4	枠	1組	SS41A	
5	枠固定埋込ボルト	4本	SS41B	φ13 L=150
6	鎖取付ｱｲﾎﾞﾙﾄ	1本	SS41B	
7	接続環	1ヶ	SS41B	
8	鎖	1本	SS41	L=600
9	ｼｬｯｸﾙ	1ヶ	SS41	
10	総重量			

寸法表　(MM)

○印施工	t	A	B	a	b	b_1	b_2	b_3	b_4	C		蓋番号	重量(kg/組)
	9	742	300	19	9	404	400	220	100	442		01	36.3
	9	742	400	19	9	504	500	320	150	542		02	43.0
	9	742	500	19	9	604	600	420	200	642		03	49.8
	12	730	300	13	13	404	400	220	100	430		04	42.9
	12	730	400	13	13	504	500	320	150	530		05	51.3
	12	730	500	13	13	604	600	420	200	630		06	59.6

塗　装
蓋裏面及び枠その他盗難防止金具等は、すべて
防錆塗料 5621を1回塗布する事。

注）太線は溶接部

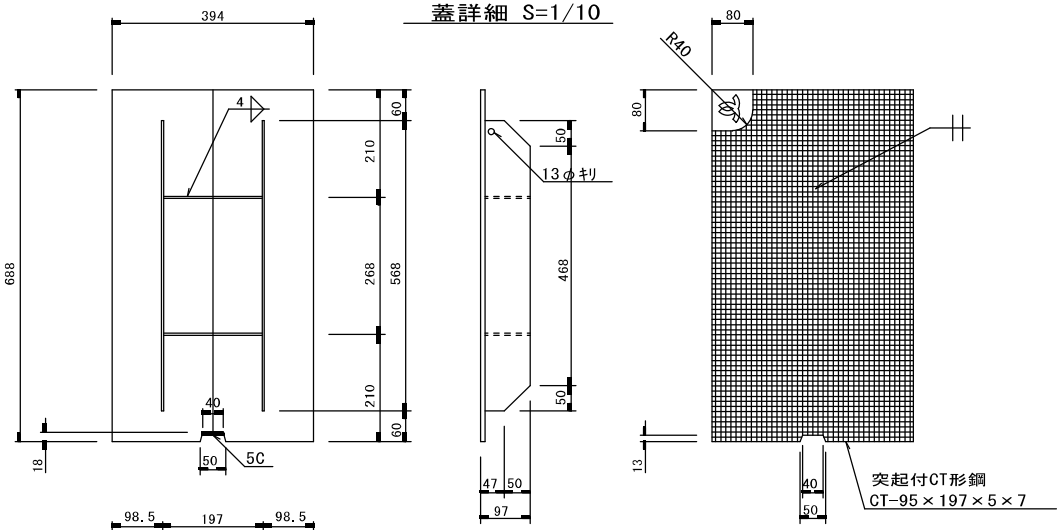
図番

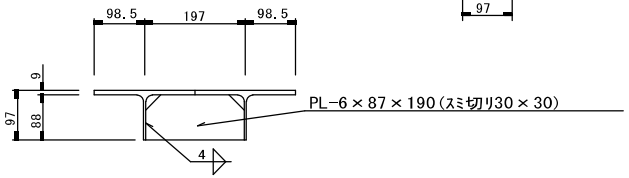
鉄蓋設置工（桝用）

蓋番号 13

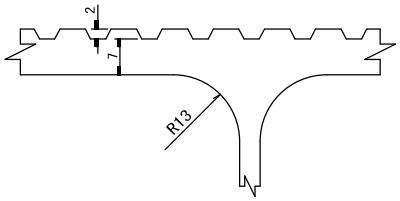
1枚蓋 滑り止め
内径30×60 歩道用

蓋詳細 S=1/10



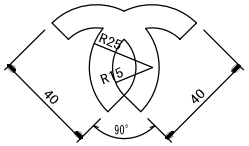


表面突起形状 S=1/1

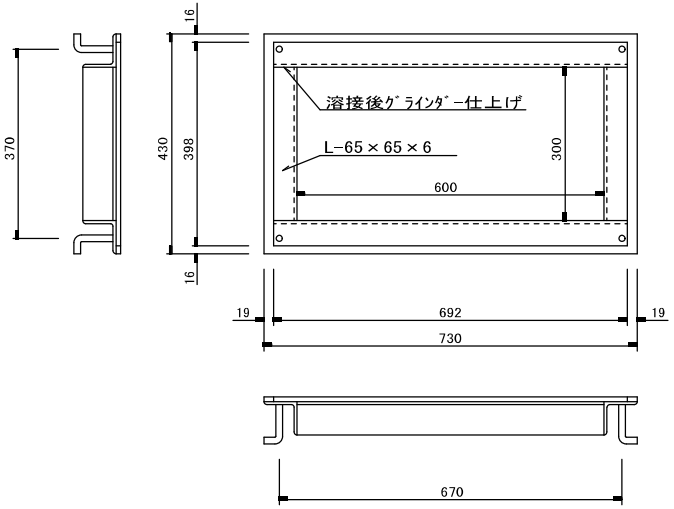


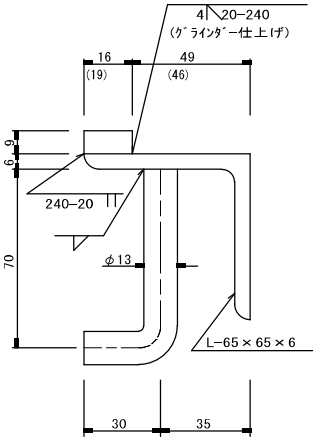
市章詳細 S=1/2

市章文字は3.2mm鉄板で
仕上げ溶接止めとする。

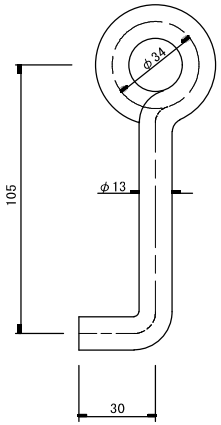


枠詳細 S=1/10

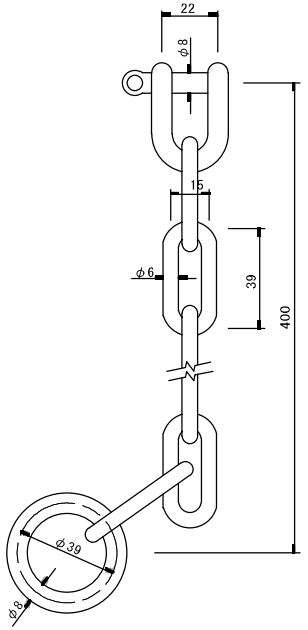




S=1/2



鎖取付ｱｲﾎﾞﾙﾄ S=1/2



ｱｲﾎﾞﾙﾄ接続ｼｬｯｸﾙ
L=400 S=1/2

1ｾｯﾄ重量 37.0kg

図番

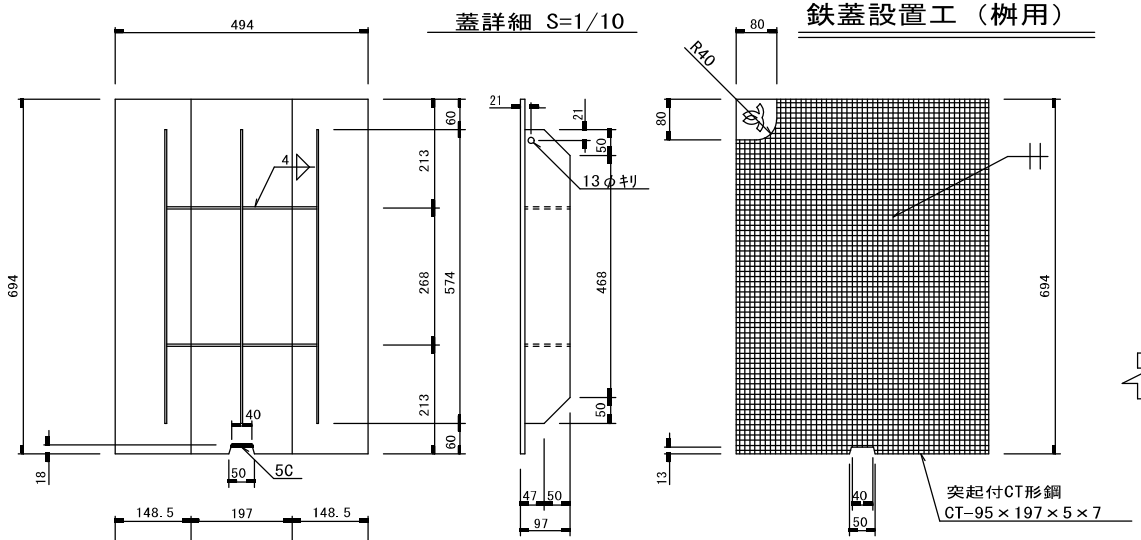
9KOKAK02

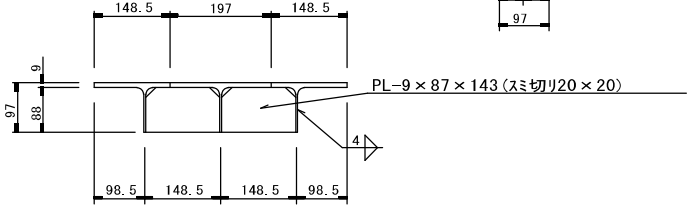
鉄蓋設置工（桝用）

蓋番号 14

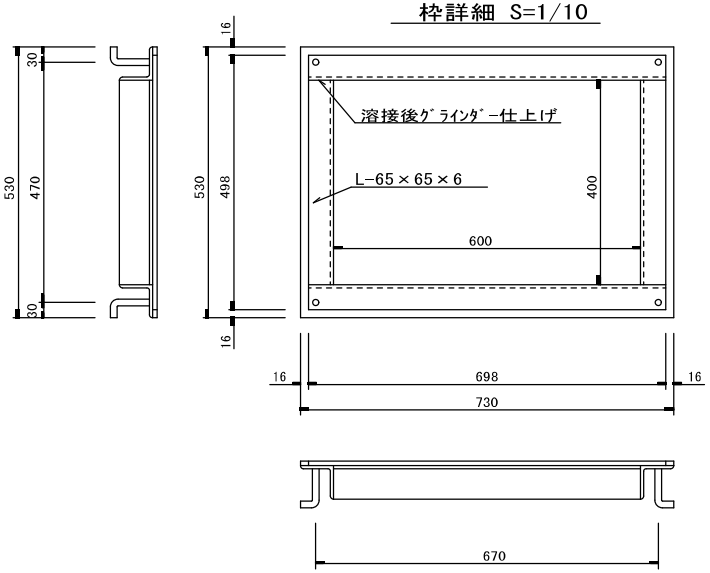
1枚蓋 滑り止め
内径40×60 歩道用

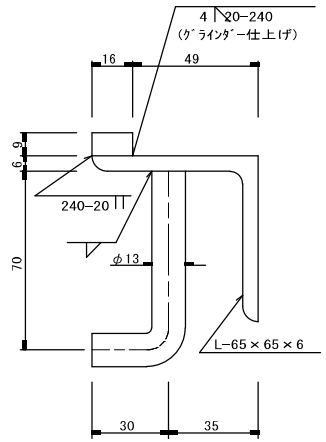
蓋詳細 S=1/10





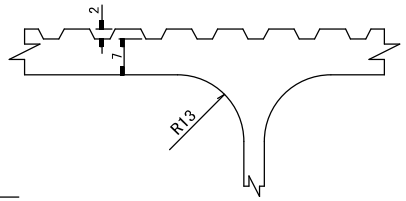
枠詳細 S=1/10

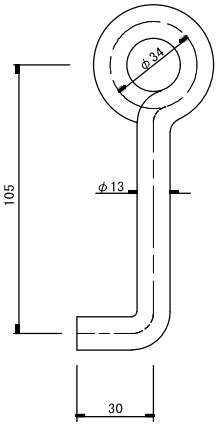




S=1/2

表面突起形状 S=1/1

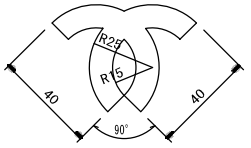


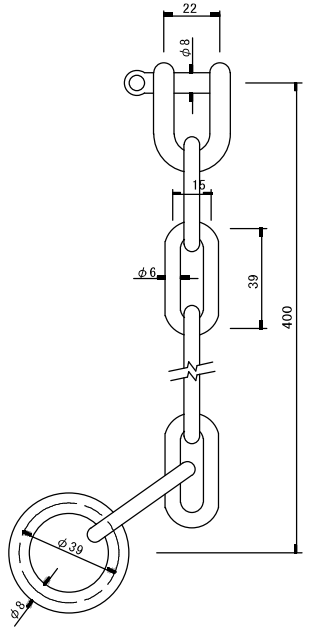


鎖取付アイボルト S=1/2

市章詳細 S=1/2

市章文字は3.2mm鉄板で
仕上げ溶接止めとする。





アイボルト接続シャックル
L=400 S=1/2

1セット重量 45.5kg

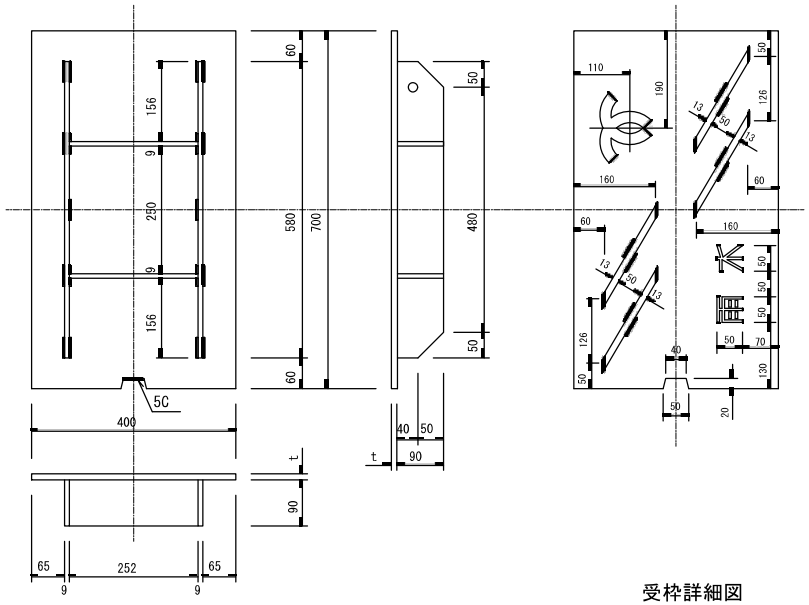
図番

9KOKAKO3

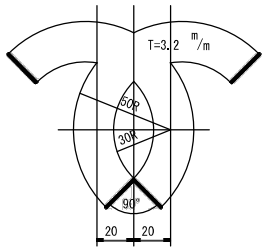
鉄蓋設置工　2枚1組

単位mm

蓋詳細図

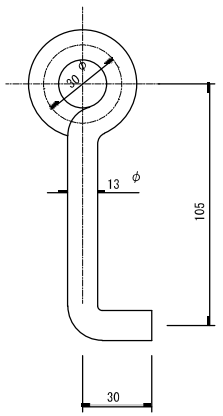


市　章　詳　細

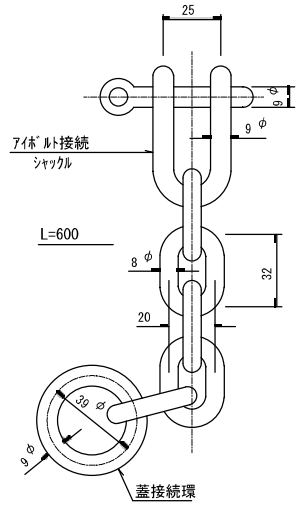


市章文字及び斜模様材は3.2　鉄板でm/m
仕上げ溶接止めとする。

鎖取付ｱｲﾎﾞﾙﾄ



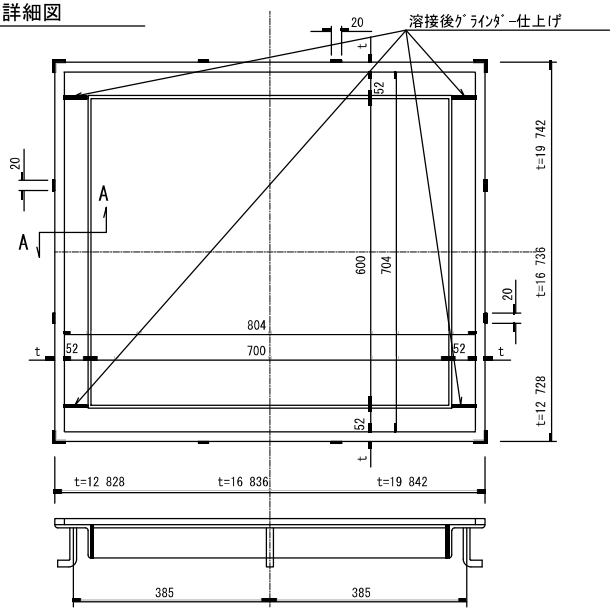
鎖詳細図



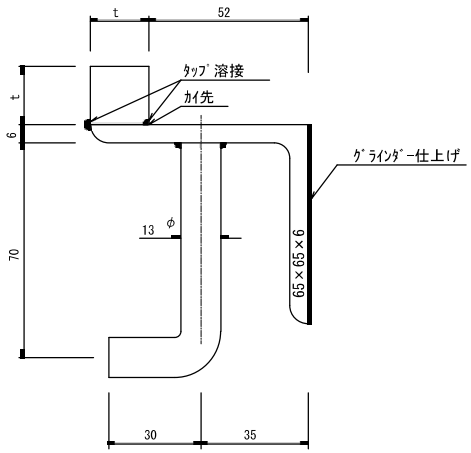
塗　装
蓋裏面及び枠その他盗難防止金具等は、すべて
防錆塗料 5621を1回塗布する事。

○印施工	t	蓋番号	重量(kg/組)
	12	07	92.6
	16	08	110.3
	19	09	123.9

受枠詳細図



A-A断面



注）太線は溶接部

材料表（鋼鉄製蓋及枠）

品番	名称	数量	材質	形状・寸法
1	蓋	2枚	SS41P	
2	蓋補強	4枚	SS41P	
3	市章及び文字	2ヶ	SS41P	T=3.2
4	枠	1組	SS41A	
5	枠固定埋込ボルト	8本	SS41B	φ13 L=150
6	鎖取付ｱｲﾎﾞﾙﾄ	2本	SS41B	
7	接続環	2ヶ	SS41B	
8	鎖	2本	SS41	L=600
9	ｼｬｯｸﾙ	2ヶ	SS41	
10	総重量			

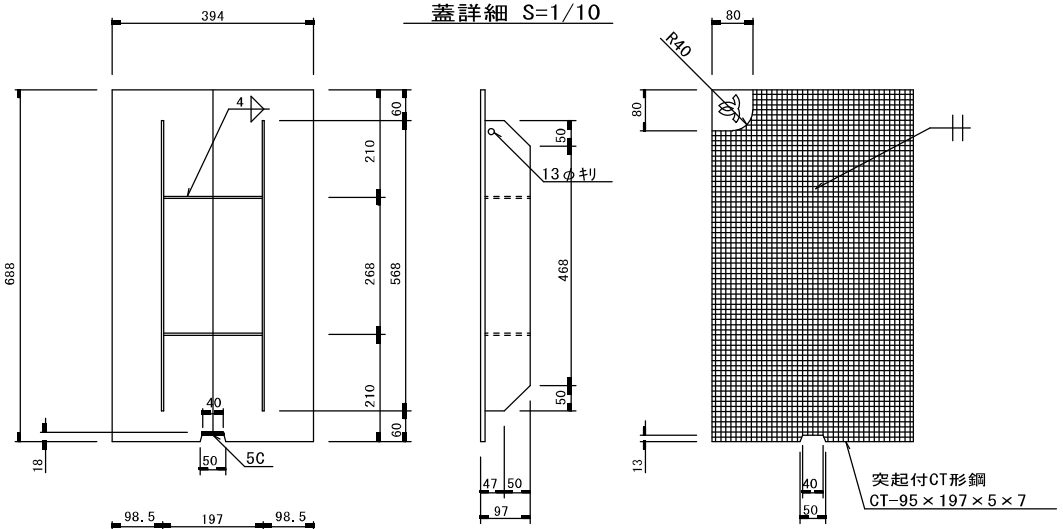
図番

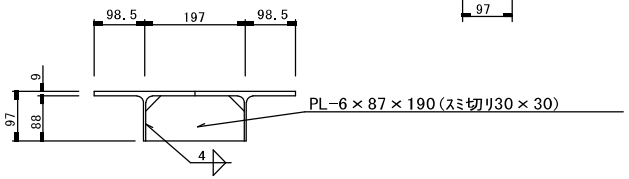
鉄蓋設置工（桝用）

蓋番号 15

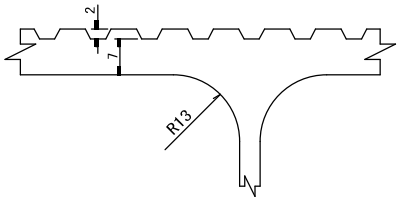
2枚蓋 滑り止め
内径60×70 歩道用

蓋詳細 S=1/10



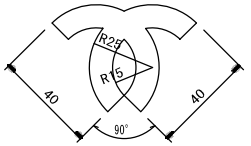


表面突起形状 S=1/1

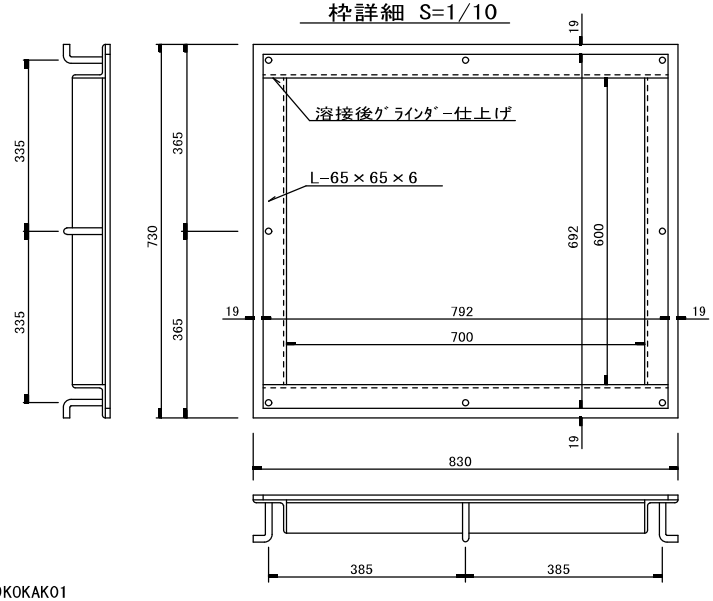


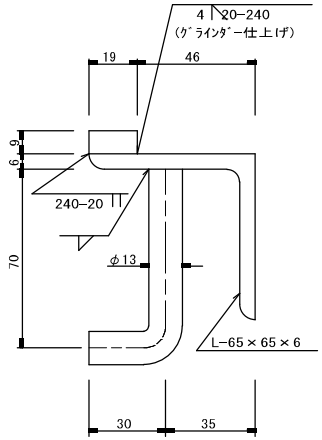
市章詳細 S=1/2

市章文字は3.2mm鉄板で
仕上げ溶接止めとする。

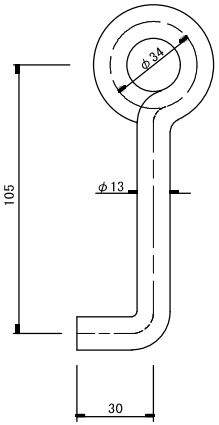


枠詳細 S=1/10

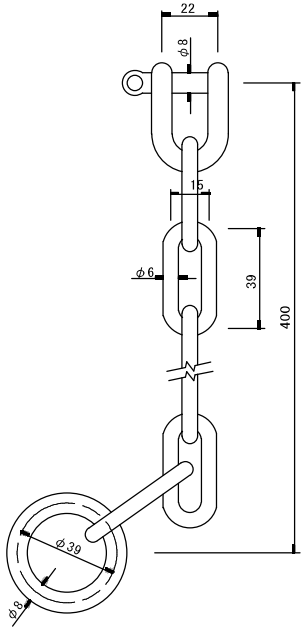




S=1/2



鎖取付アイボルト S=1/2



アイボルト接続シャックル
L=400 S=1/2

1セット重量 67.0kg

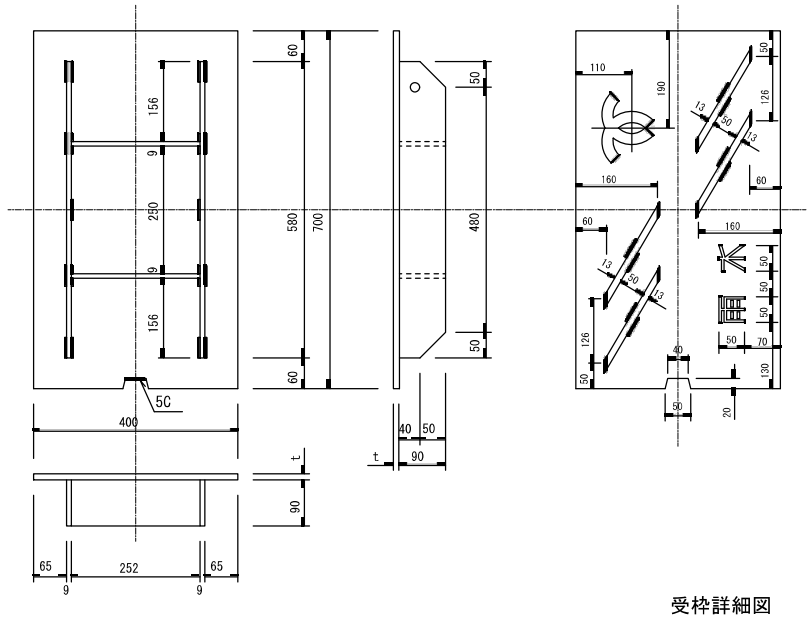
図番

9KOKAK01

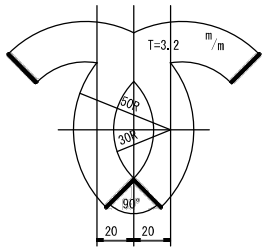
鉄蓋設置工　3枚1組

単位mm

蓋詳細図

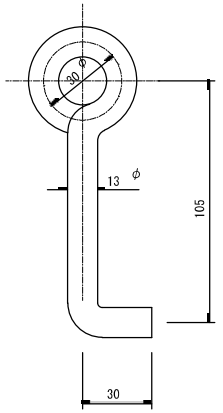


市　章　詳　細

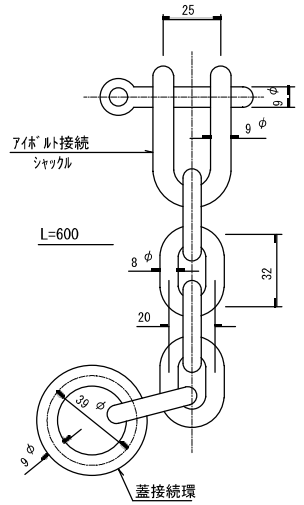


市章文字及び斜模様材は3.2　鉄板で$^{m}/_{m}$
仕上げ溶接止めとする。

鎖取付ｱｲﾎﾞﾙﾄ



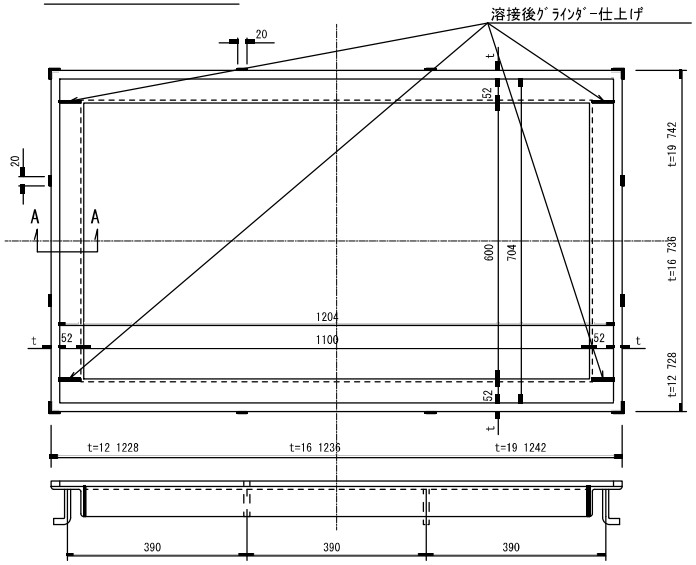
鎖詳細図



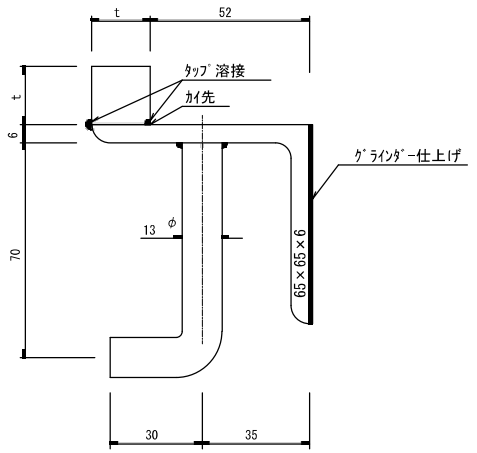
塗　装
蓋裏面及び枠その他盗難防止金具等は、すべて
防錆塗料 5621を1回塗布する事。

○印施工	t	蓋番号	重量(kg/組)
	12	10	134.2
	16	11	160.7
	19	12	180.7

受枠詳細図



A-A断面



注）太線は溶接部

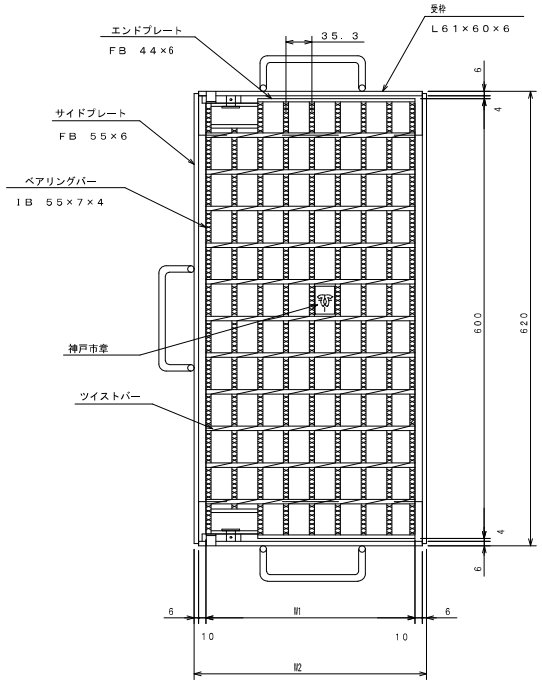
材料表（鋼鉄製蓋及枠）

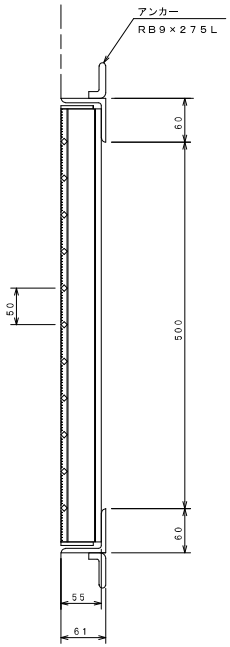
品番	名　　称	数　量	材　質	形状・寸法
1	蓋	3枚	SS41P	
2	蓋補強	6枚	SS41P	
3	市章及び文字	3ヶ	SS41P	T=3.2
4	枠	1組	SS41A	
5	枠固定埋込ボルト	10本	SS41B	φ13 L=150
6	鎖取付ｱｲﾎﾞﾙﾄ	3本	SS41B	
7	接続環	3ヶ	SS41B	
8	鎖	3本	SS41	L=600
9	ｼｬｯｸﾙ	3ヶ	SS41	
10	総重量			

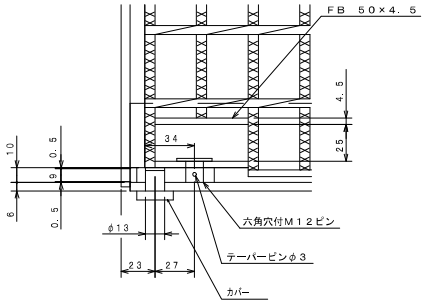
図番

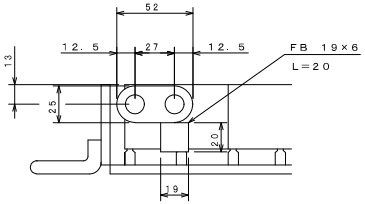
鋼製グレーチング蓋設置工　（現場打街渠桝用）Ｔ－２５　粗目

スリットなし

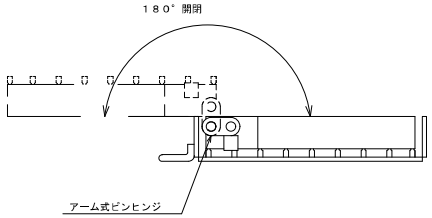








アーム式ピンヒンジ詳細



表面処理

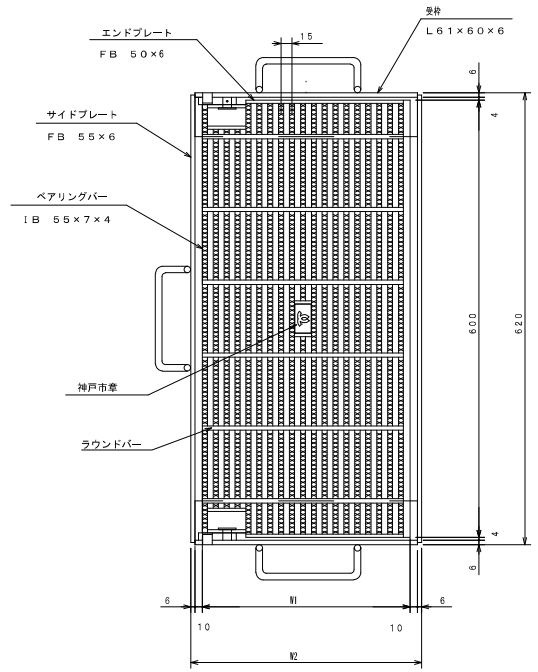
粗目　　本体～亜鉛メッキ、受枠～黒ペイント

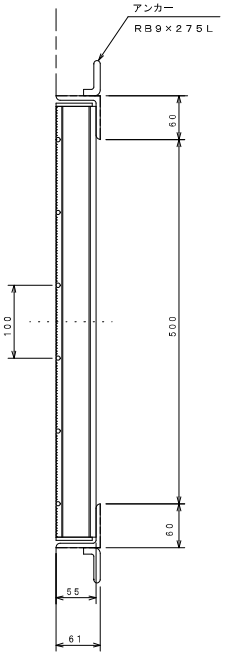
寸　法　表					
工　　種	W1	W2	Kg鋼製蓋	Kg受枠	蓋番号
ＫＧ-30	285	317	13.7	6.8	２０
ＫＧ-40	395	428	17.9	7.9	２１
ＫＧ-50	501	533	27.5	9.1	２２

図番

鋼製グレーチング蓋設置工　（現場打街渠桝用）Ｔ－２５　細目

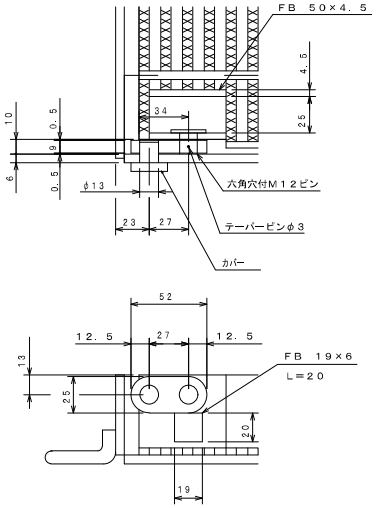
スリットなし



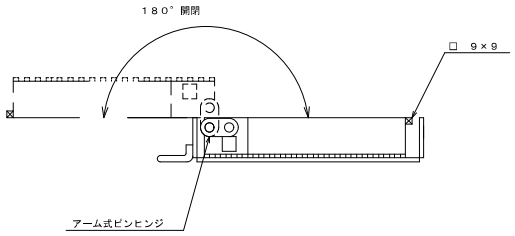


ヒンジキャップ図

（ステンレス製）



アーム式ピンヒンジ詳細



ベアリングバー上面

（ノンスリップ）

表面処理

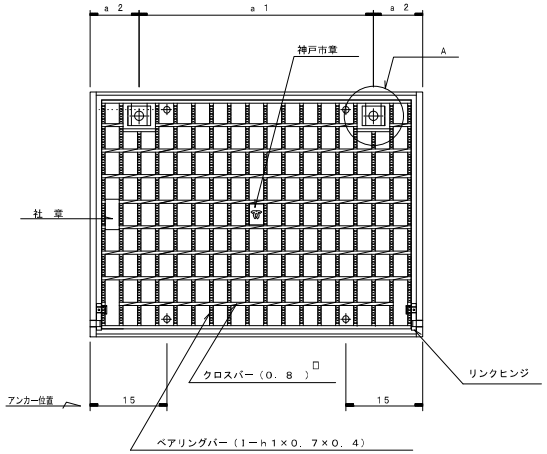
細目　　本体～亜鉛メッキ、受枠～黒ペイント

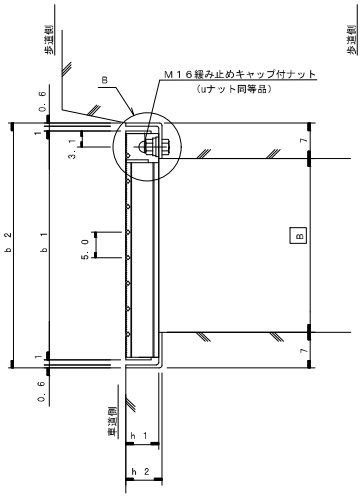
寸　法　表

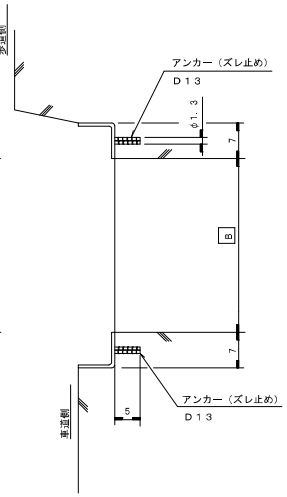
工　種	W1	W2	Kg鋼製蓋	Kg受枠	蓋番号
ＫＧＨ-30	295	317	27.1	6.8	２３
ＫＧＨ-40	396	428	36.8	7.9	２４
ＫＧＨ-50	501	533	46.3	9.1	２５

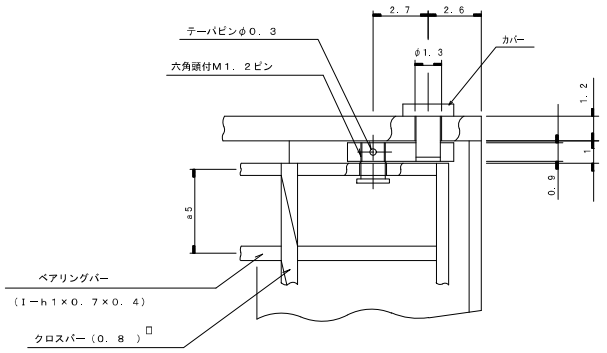
図番

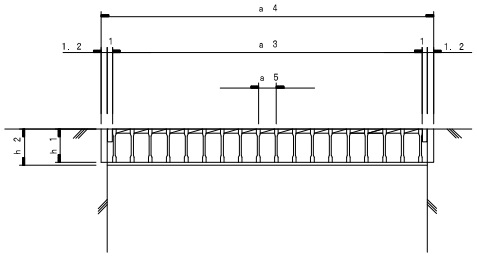
鋼製グレーチング蓋設置工（桝用）Ｔ－２５　粗目

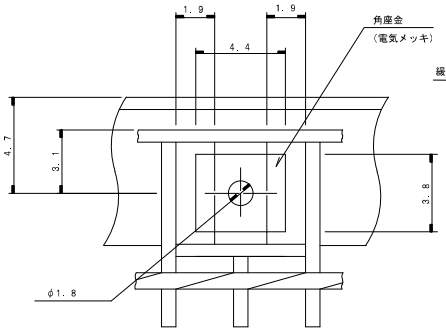


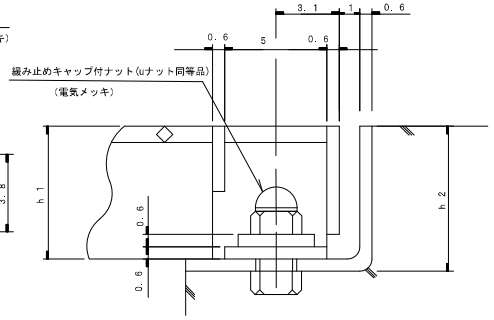


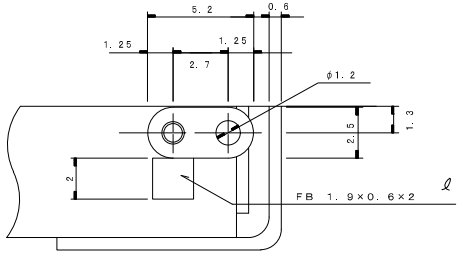










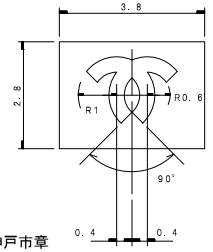


リンクヒンジ詳細

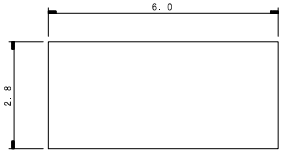
A部詳細

B部詳細

表面処理
本体及び受枠共～亜鉛メッキ



神戸市章



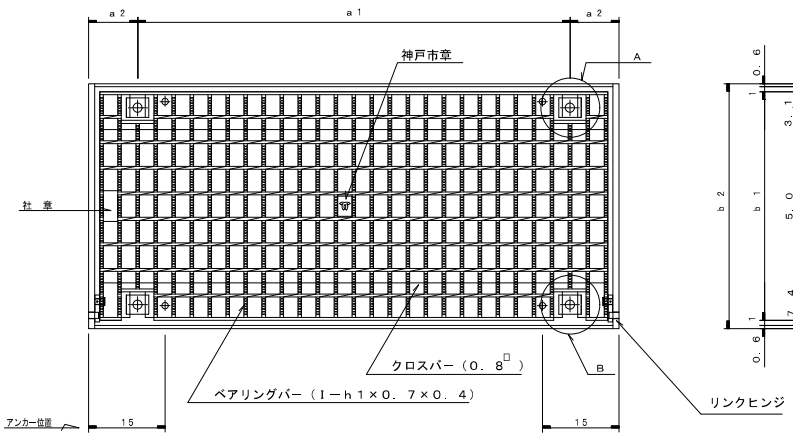
社章、製造年（西暦下２桁）

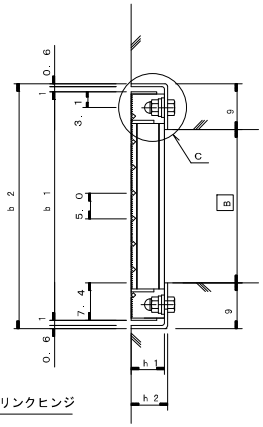
寸　法　表

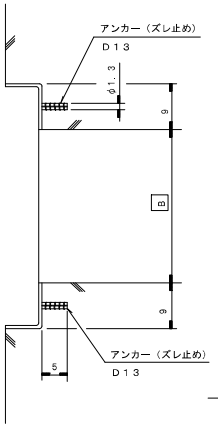
○印施工	工　種	B	a 1	a 2	a 3	a 4	a 5	b 1	b 2	h 1	h 2	kg 鋼製蓋	kg 受　枠	蓋番号			
	KM－30	30	45．9	9．6	60．7	65．1	3．53	40．8	44	5．0	5．6	17．2	11．9	２６			
	KM－40	40	45．9	9．6	60．7	65．1	3．53	50．8	54	6．5	7．1	26．9	15．2	２７			
	KM－50	50	45．9	9．6	60．7	65．1	3．53	60．8	64	8．0	8．6	39．9	19．2	２８			

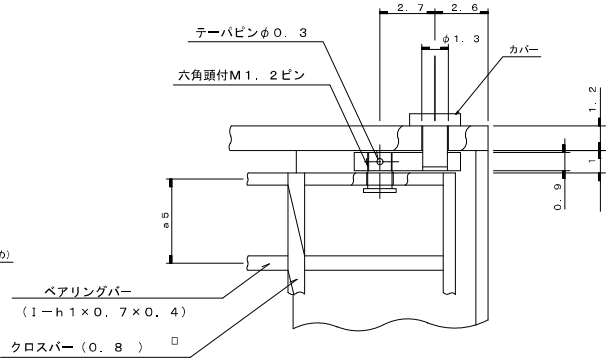
図番

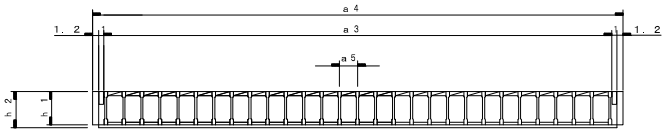
鋼製グレーチング蓋設置工　（横断側溝用）Ｔ－２５　粗目

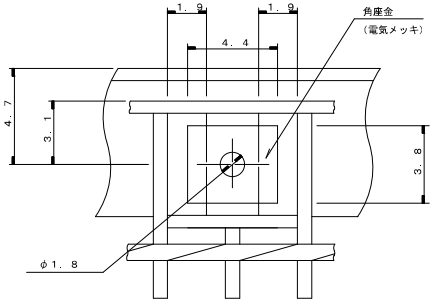




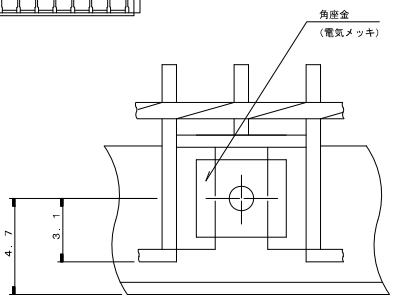




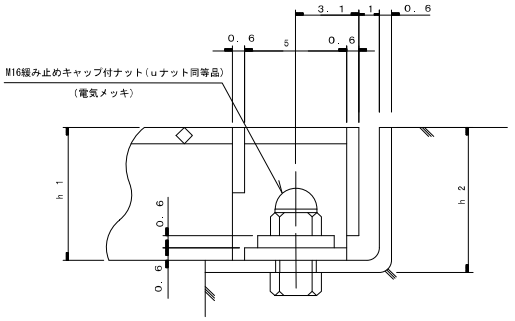




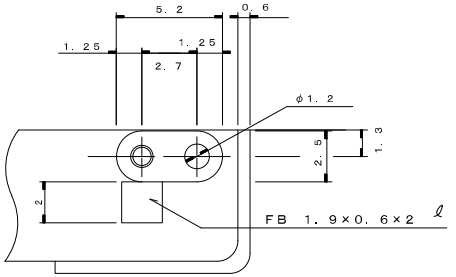
Ａ部詳細



Ｂ部詳細



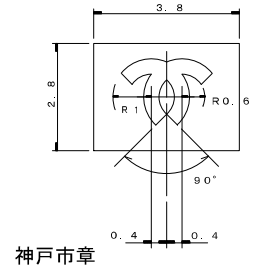
Ｃ部詳細



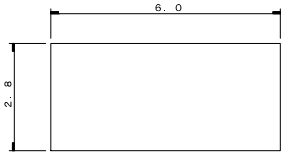
リンクヒンジ詳細

表面処理
本体及び受枠共～亜鉛メッキ

ベアリングバー上面
（ノンスリップ）



神戸市章



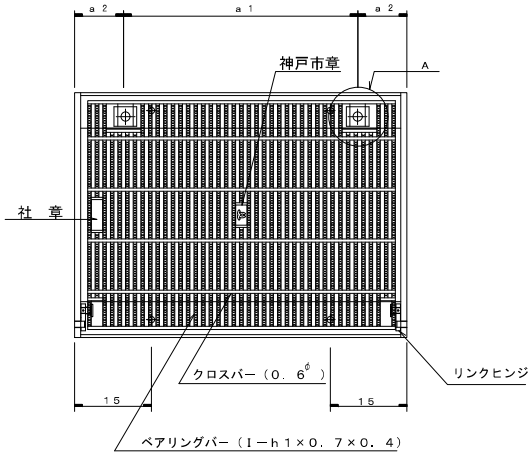
社章、製造年（西暦下２桁）

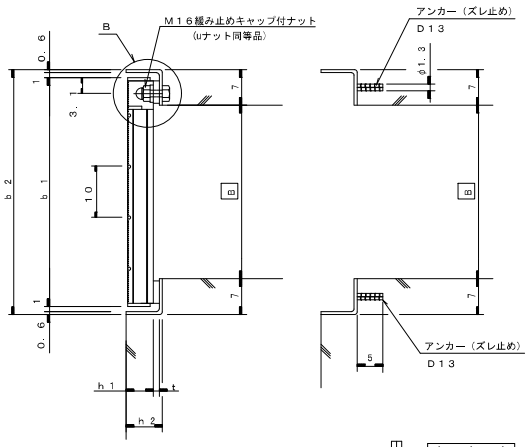
寸　　法　　表

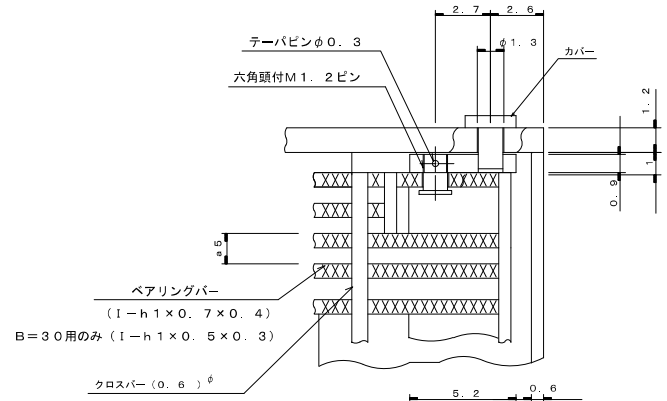
○印施工	工　　種	B	a 1	a 2	a 3	a 4	a 5	b 1	b 2	h 1	h 2	kg 鋼製蓋	kg 受　枠	蓋番号			
	KO－30	30	84．7	9．6	99．5	103．9	3．53	44．8	48	6．5	7．1	38．6	21．3	29			
	KO－40	40	84．7	9．6	99．5	103．9	3．53	54．8	58	7．5	8．1	53．5	24．3	30			
	KO－50	50	84．7	9．6	99．5	103．9	3．53	64．8	68	9．0	9．6	76．1	29．3	31			

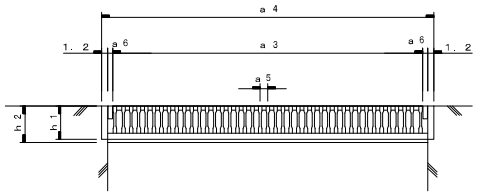
図番

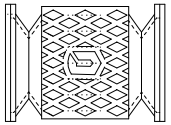
鋼製グレーチング蓋設置工（桝用）Ｔ－２５　細目





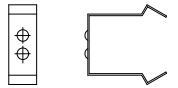






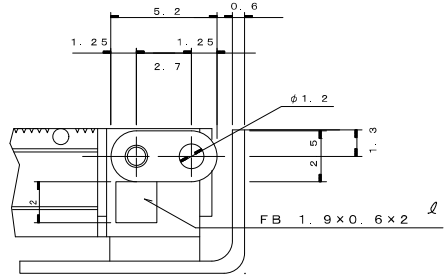
ボルキャップ詳細図

（ゴム製）

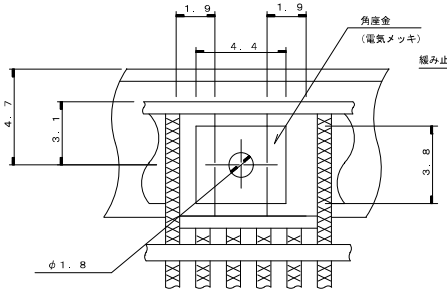


ヒンジキャップ図

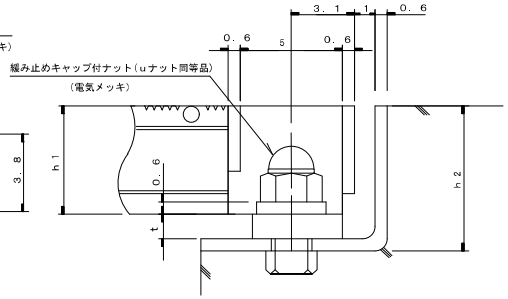
（ステンレス製）



リンクヒンジ詳細



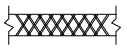
Ａ部詳細

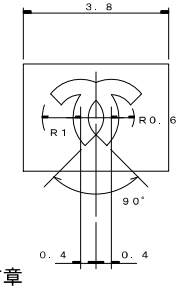


Ｂ部詳細

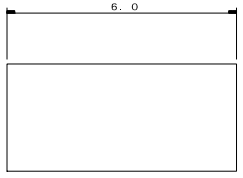
表面処理

本体及び受枠共～亜鉛メッキ





神戸市章



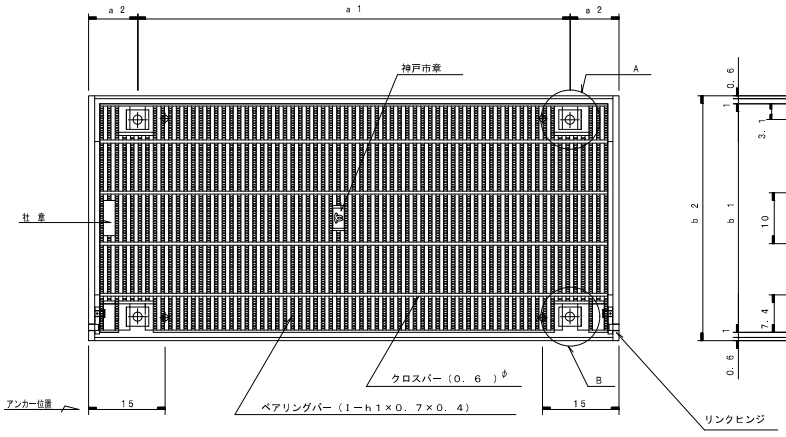
社章、製造年（西暦下２桁）

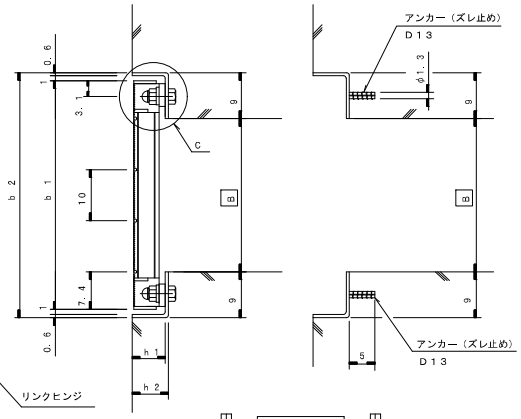
寸　法　表

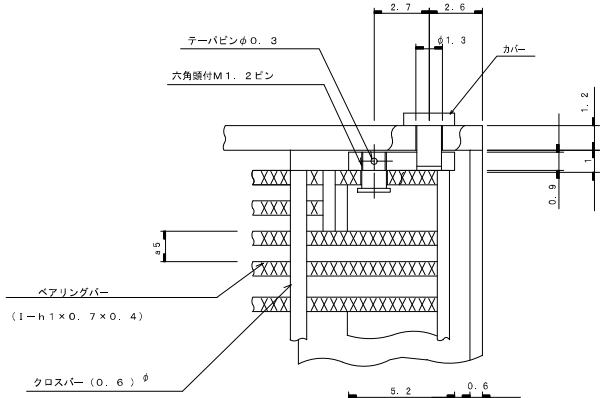
○印施工	工　種	B	a１	a２	a３	a４	a５	a６	b１	b２	h１	t	h２	kg 鋼製蓋	kg 受　枠	蓋番号
	KMH－３０	３０	45．9	９．６	60．5	65．1	１．５	１．１	40.8	44	４．４	０．６	５．６	26.2	11.9	３２
	KMH－４０	４０	45．9	９．６	60．６	65．1	１．５	１．０５	50.8	54	５．０	１．６	７．１	50.2	15.2	３３
	KMH－５０	５０	45．9	９．６	60．６	65．１	１．５	１．０５	60.8	64	５．５	２．５	８．６	59.9	19.2	３４

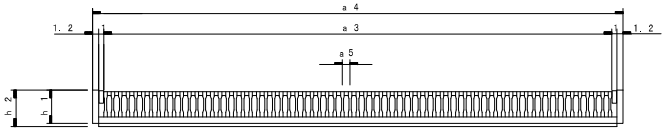
図番

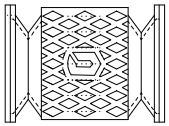
鋼製グレーチング蓋設置工　（横断側溝用）Ｔ－２５　細目





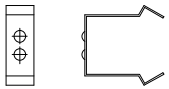






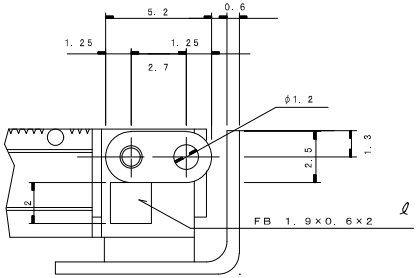
ボルキャップ詳細図

（ゴム製）

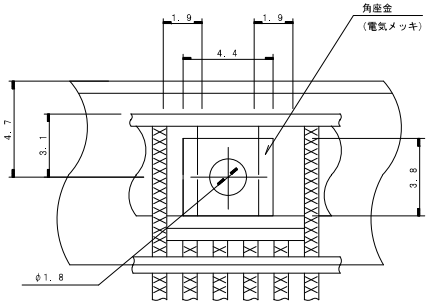


ヒンジキャップ図

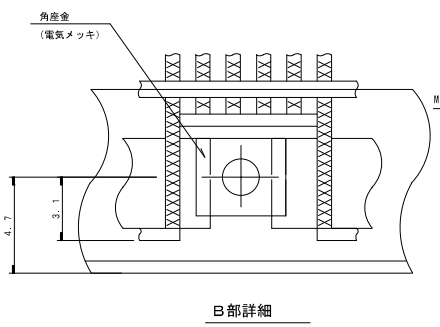
（ステンレス製）



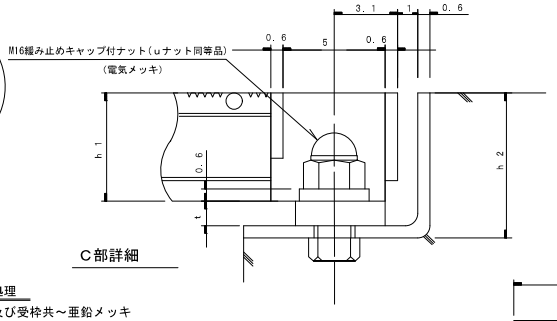
リンクヒンジ詳細



Ａ部詳細



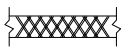
Ｂ部詳細



Ｃ部詳細

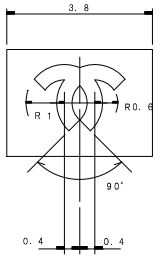
表面処理

本体及び受枠共～亜鉛メッキ

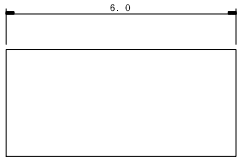


ベアリングバー上面

（ノンスリップ）



神戸市章



社章、製造年（西暦下２桁）

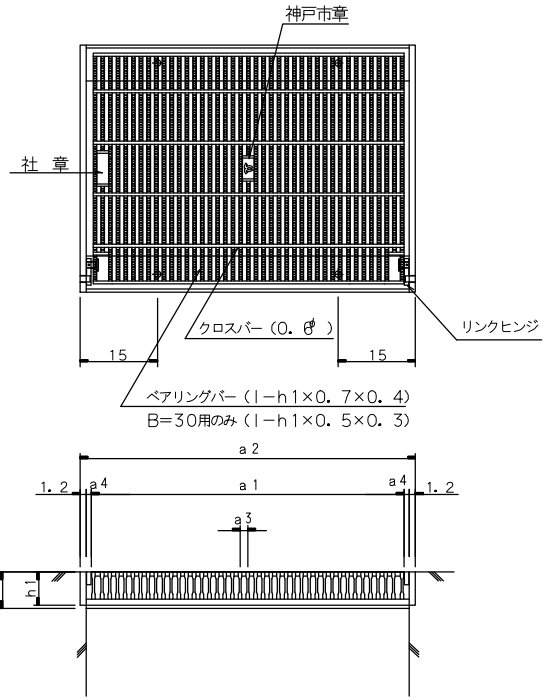
寸　　法　　表

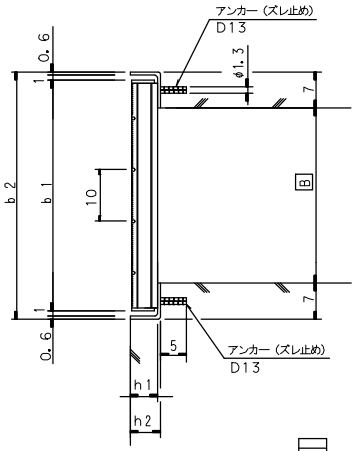
○印施工	工　種	B	a 1	a 2	a 3	a 4	a 5	b 1	b 2	h 1	t	h 2	kg 鋳鉄蓋	kg 受 枠	蓋番号		
	KOH－30	30	84．7	9．6	99．5	103．9	1．5	44．8	48	5．0	1．2	7．1	71．1	21．3	35		
	KOH－40	40	84．7	9．6	99．5	103．9	1．5	54．8	58	5．0	2．5	8．1	81．9	24．3	36		
	KOH－50	50	84．7	9．6	99．5	103．9	1．5	64．8	68	5．5	3．5	9．6	104．8	29．3	37		

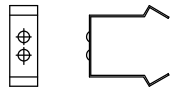
図番

鋼製グレーチング蓋設置工（桝用）T－25　細目

（歩道乗入部）

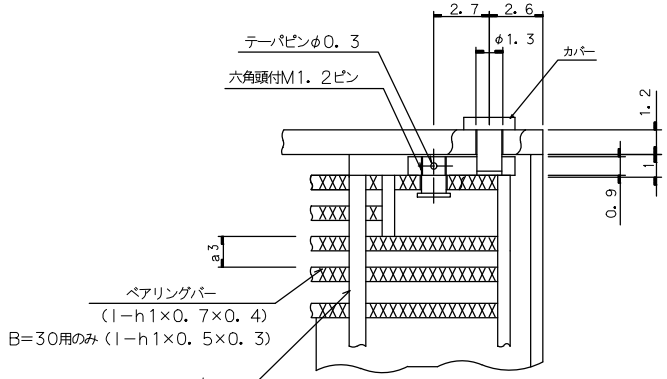


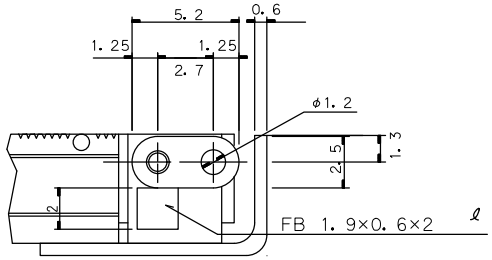




ヒンジキャップ図

（ステンレス製）





リンクヒンジ詳細

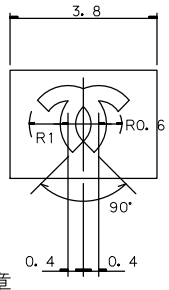
表面処理
本体及び受枠共～亜鉛メッキ

寸　法　表

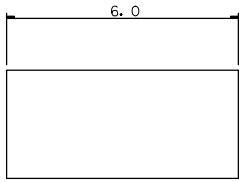
施工	工　種	B	a1	a2	a3	a4	b1	b2	h1	h2	kg 鋼製蓋	kg 受　枠	蓋番号				
	KMHH－30	30	60.5	65.1	1.5	1.1	40.8	44	4.4	5.0	23.7	10.0	38				
	KMHH－40	40	60.6	65.1	1.5	1.05	50.8	54	5.0	5.6	43.5	12.8	39				
	KMHH－50	50	60.6	65.1	1.5	1.05	60.8	64	5.5	6.1	56.6	14.7	40				

ベアリングバー上面

（ノンスリップ）



神戸市章

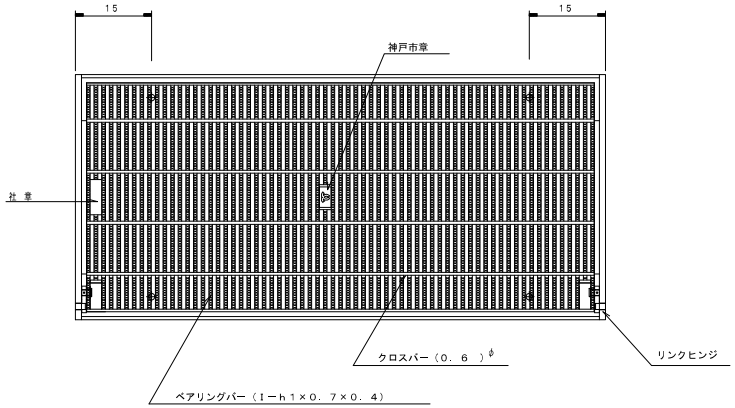


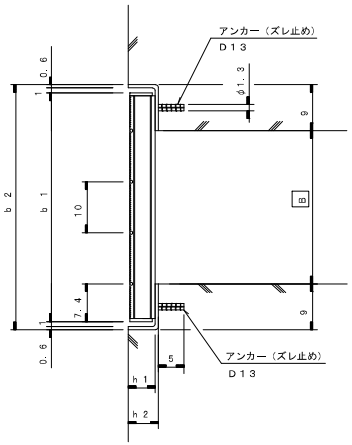
社章、製造年（西暦下2桁）

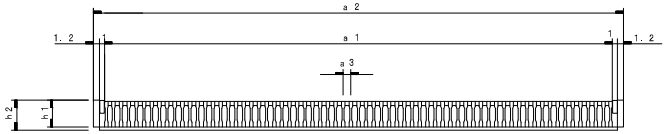
図番

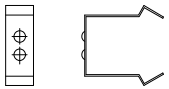
鋼製グレーチング蓋設置工　（横断側溝用）Ｔ－２５　細目

（歩道乗入部）



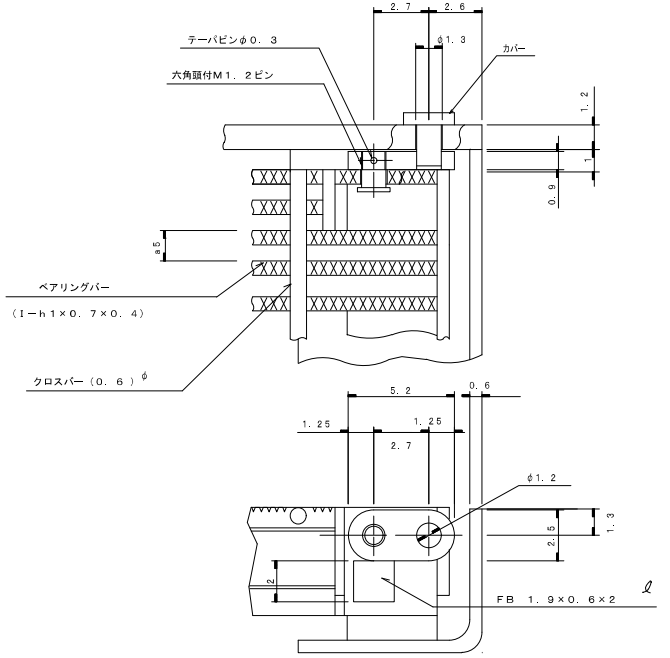






ヒンジキャップ図

（ステンレス製）



リンクヒンジ詳細

表面処理

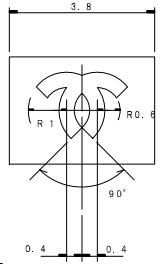
本体及び受枠共～亜鉛メッキ

寸　　法　　表

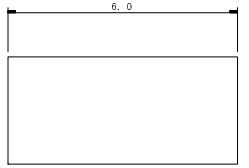
○印施工	工　種	B	a1	a2	a3	b1	b2	h1	h2	kg 鋼製蓋	kg 受枠	蓋番号					
	KOHH−30	30	99.5	103.9	1.5	44.8	48	5.0	5.6	62.8	18.8	41					
	KOHH−40	40	99.5	103.9	1.5	54.8	58	5.0	5.6	76.4	19.8	42					
	KOHH−50	50	99.5	103.9	1.5	64.8	68	5.5	6.1	90.1	21.3	43					

ベアリングバー上面

（ノンスリップ）



神戸市章

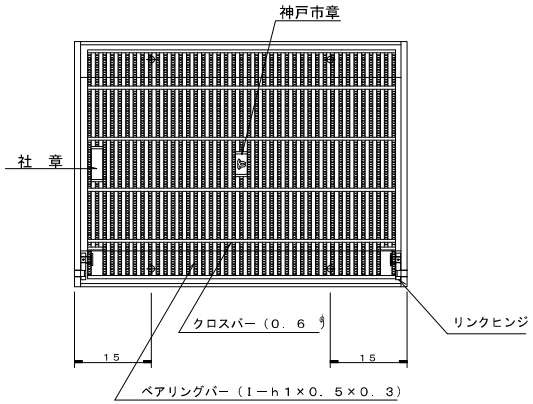


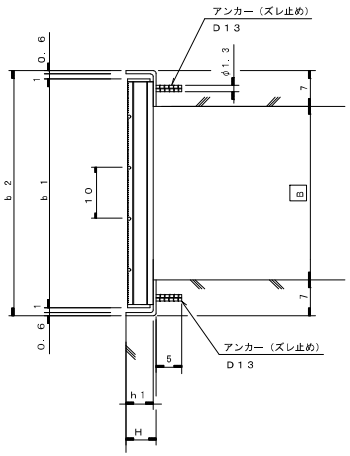
社章、製造年（西暦下２桁）

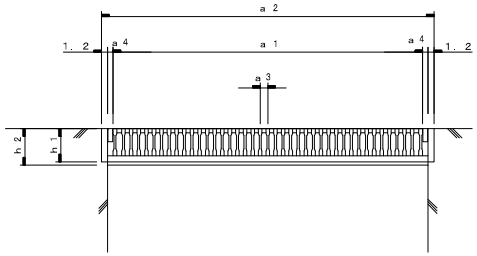
図番

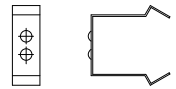
鋼製グレーチング蓋設置工（桝用）Ｔ－２　細目

（歩道一般部）



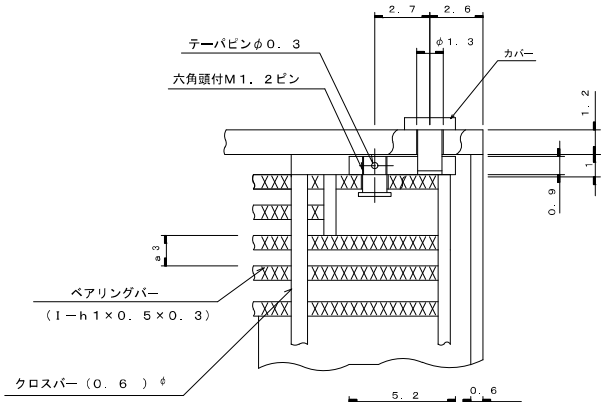


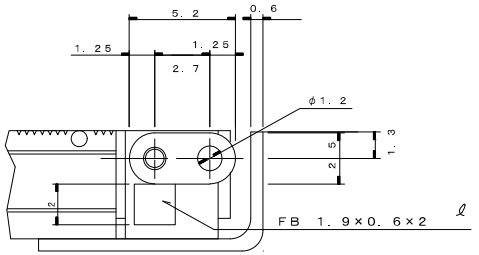




ヒンジキャップ図

（ステンレス製）





リンクヒンジ詳細

表面処理

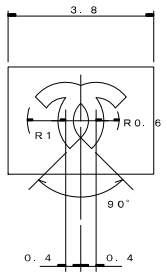
本体及び受枠共～亜鉛メッキ

寸　　法　　表

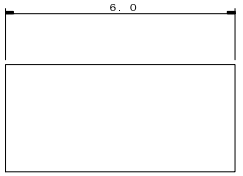
〇印座Ｈ	工　　種	Ｂ	ａ１	ａ２	ａ３	ａ４	ｂ１	ｂ２	ｈ１	Ｈ	ｋｇ 鋼製蓋	ｋｇ 受　枠	蓋番号				
	ＫＭＨＨ２－３０	３０	６０．５	６５．１	１．５	１．１	４０．８	４４	３．８	４．４	２０．６	１０．１	４４				
	ＫＭＨＨ２－４０	４０	６０．５	６５．１	１．５	１．１	５０．８	５４	３．８	４．４	２５．４	１０．９	４５				
	ＫＭＨＨ２－５０	５０	６０．５	６５．１	１．５	１．１	６０．８	６４	３．８	４．４	３０．２	１１．６	４６				

ベアリングバー上面

（ノンスリップ）



神戸市章

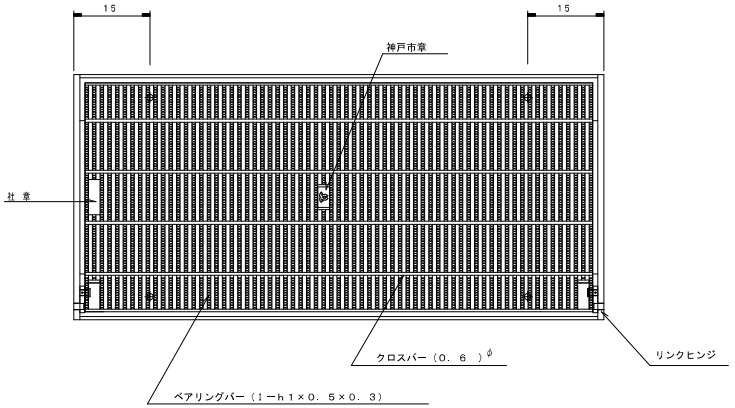


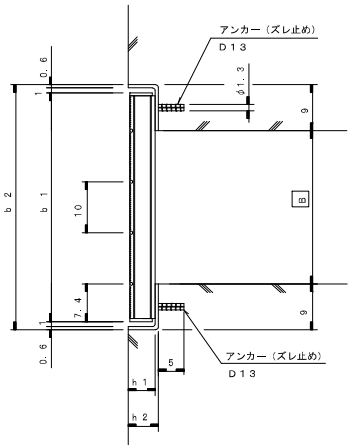
社章、製造年（西暦下２桁）

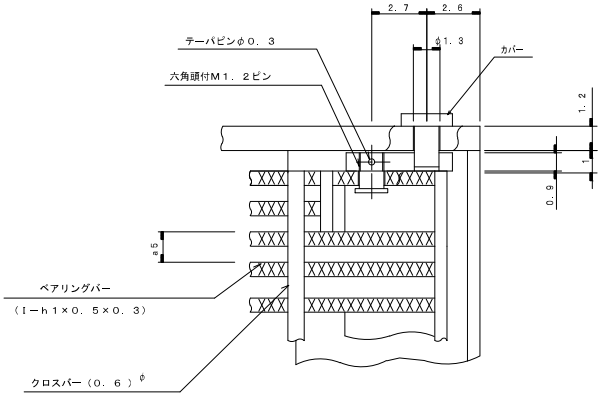
図番

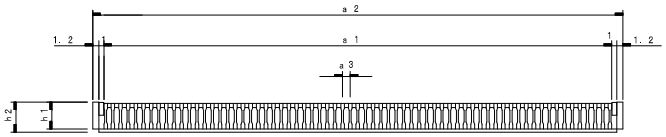
鋼製グレーチング蓋設置工　（横断側溝用）Ｔ－２　細目

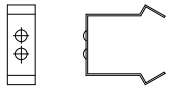
（歩道一般部）





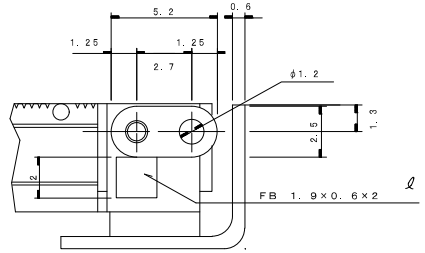






ヒンジキャップ図

（ステンレス製）



リンクヒンジ詳細

表面処理

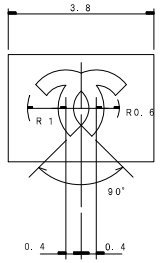
本体及び受枠共～亜鉛メッキ

寸　　法　　表

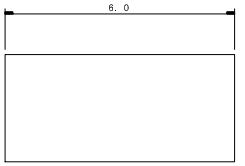
○印施工	工　種	B	a 1	a 2	a 3	b 1	b 2	h 1	h 2	kg 鋳製蓋	kg 受 枠	蓋番号					
	KOHH2−30	30	99．5	103．9	1．5	44．8	48	3．8	4．4	36．7	16．2	47					
	KOHH2−40	40	99．5	103．9	1．5	54．8	58	3．8	4．4	44．6	17．0	48					
	KOHH2−50	50	99．5	103．9	1．5	64．8	68	3．8	4．4	52．5	17．7	49					

ベアリングバー上面

（ノンスリップ）



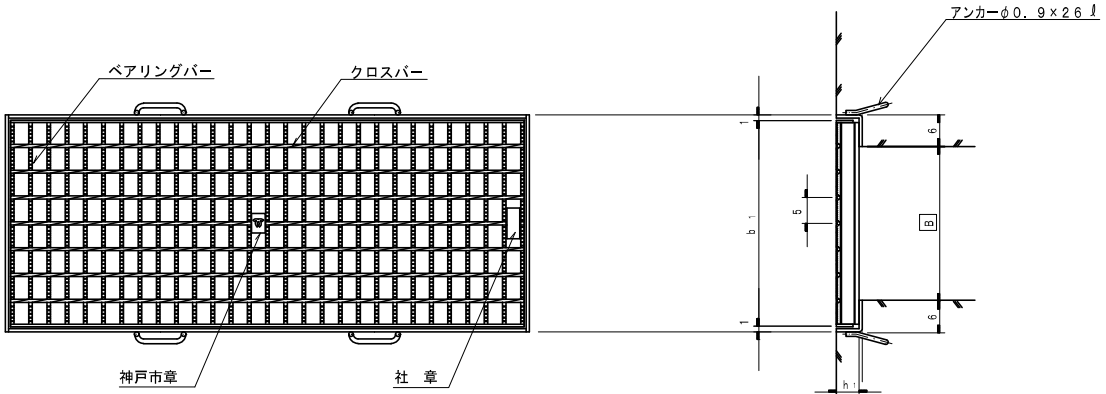
神戸市章

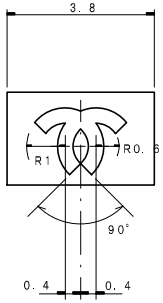


社章、製造年（西暦下２桁）

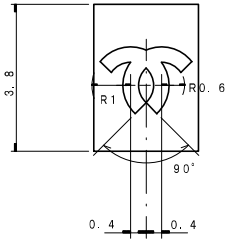
図番

鋼製グレーチング蓋設置工（ＵＢＧ側溝用）Ｔ－２５　粗目

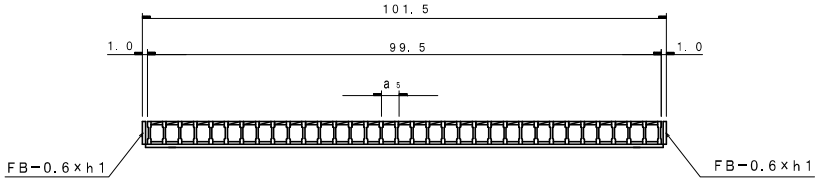


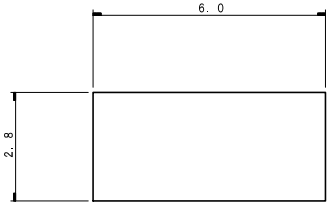


神戸市章
ｈ１＝４４以下



神戸市章
ｈ１＝５０以上





ベアリングバー上面
（ノンスリップ）

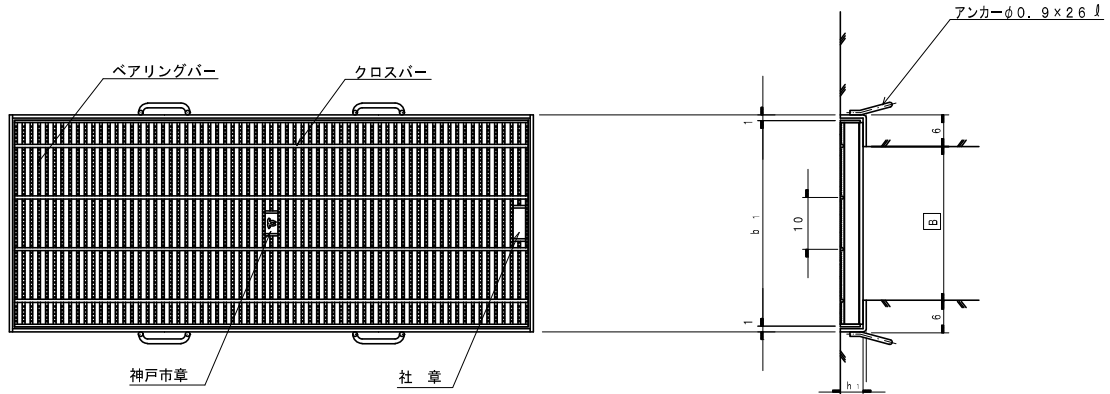
社章、製造年（西暦下２桁）

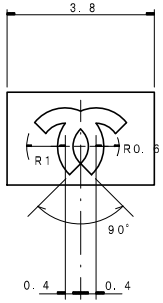
寸　法　表　（cm）

印無し	工　種	B	b_1	a_1	h_1	H	kg 鋼製蓋	kg 受　枠	蓋番号
	UBG－20	20	30	3.0	4.4	5.0	16.2	11.6	50
	UBG－25	25	35	3.0	4.4	5.0	18.7	11.8	51
	UBG－30	30	40	3.53	5.0	5.6	27.4	13.1	52
	UBG－35	35	45	3.53	5.5	6.1	33.3	13.8	53
	UBG－40	40	50	3.53	6.5	7.1	42.8	15.5	54
	UBG－45	45	55	3.53	7.5	8.1	53.6	17.3	55
	UBG－50	50	60	3.53	8.0	8.6	63.7	18.0	56

図番

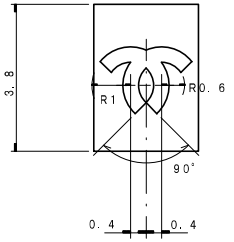
鋼製グレーチング蓋設置工（ＵＢＧ側溝用）Ｔ－２５　細目





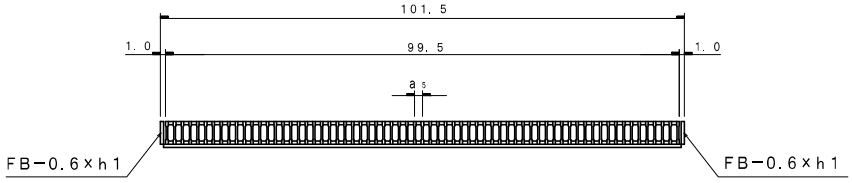
神戸市章

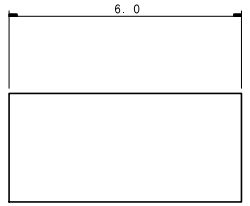
ｈ１＝４４以下



神戸市章

ｈ１＝５０以上





ベアリングバー上面

（ノンスリップ）

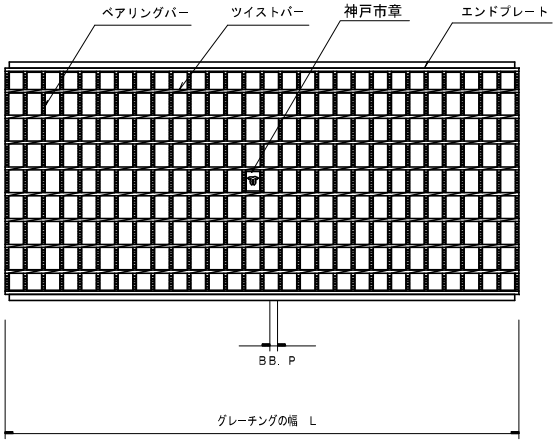
社章、製造年（西暦下２桁）

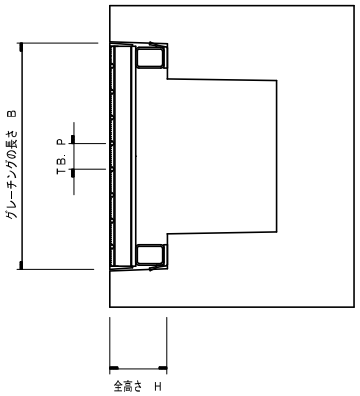
寸　　法　　表　　（cm）

印無し	工　種	B	b１	a１	h１	H	kg 鋼製蓋	kg 受　枠	蓋番号
	UBGH－20	20	30	1.5	3.2	3.8	20.0	10.2	57
	UBGH－25	25	35	1.5	3.8	4.4	27.4	11.1	58
	UBGH－30	30	40	1.5	4.4	5.0	38.0	12.0	59
	UBGH－35	35	45	1.5	4.4	5.0	42.4	12.2	60
	UBGH－40	40	50	1.5	5.0	5.6	70.0	13.5	61
	UBGH－45	45	55	1.5	5.0	5.6	76.7	13.8	62
	UBGH－50	50	60	1.5	5.0	5.6	83.6	14.0	63

図番

鋼製グレーチング蓋設置工　（ＵＢ－Ｐ側溝用）Ｔ－２５　粗目





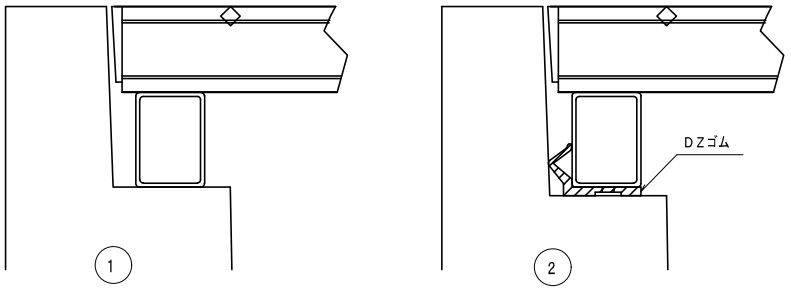
［　標　準　品　］

表面処理：亜鉛メッキ

呼び名		荷重条件	溝幅 W	グレーチング寸法（mm） L	B	H	BB. P	TB. P	エン形状	重量	対応する側溝	蓋番号
K230	S	T−25	30	50. 1	43. 8	11. 0 (5. 0)	3. 53	5. 0	①	20. 0	PU43系	64
	L			99. 5						38. 9		67
K240	S	T−25	40	50. 1	53. 8	12. 0 (6. 0)	3. 53	5. 0	①	26. 8	PU44系	65
	L			99. 5						52. 7		68
K250	S	T−25	50	50. 1	63. 8	13. 0 (7. 5)	3. 53	5. 0	①	36. 1	PU45系	66
	L			50. 1						69. 9		69

＊（ ）内寸法は、ＧＲ高さを示します。

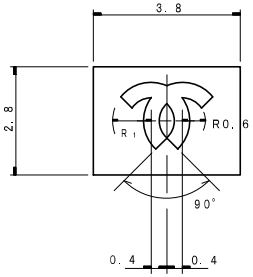
［　エンド形状　］



［　騒音防止型（ゴムつき）］

呼び名		荷重条件	溝幅 W	グレーチング寸法（mm） L	B	H	BB. P	TB. P	エン形状	重量	対応する側溝	蓋番号
K230	SR	T−25	30	50. 1	43. 8	11. 0 (5. 0)	3. 53	5. 0	②	19. 3	PU43系	70
	LR			99. 5						38. 5		73
K240	SR	T−25	40	50. 1	53. 8	12. 0 (6. 0)	3. 53	5. 0	②	26. 2	PU44系	71
	LR			99. 5						52. 1		74
K250	SR	T−25	50	50. 1	63. 8	13. 0 (7. 5)	3. 53	5. 0	②	35. 9	PU45系	72
	LR			99. 5						69. 3		75

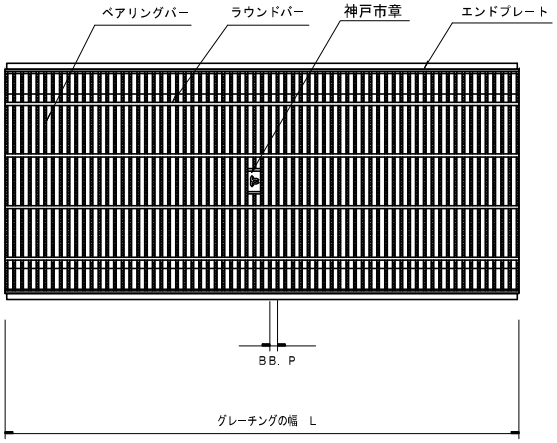
ベアリングバー上面
（ノンスリップ）

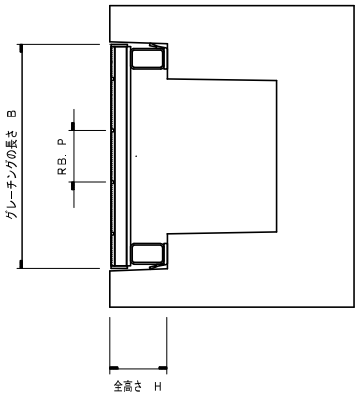


神戸市章

図番

鋼製グレーチング蓋設置工　（ＵＢ－Ｐ側溝用）Ｔ－２５　細目





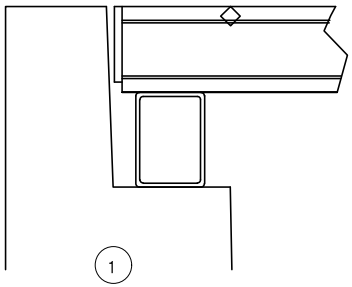
［　標　準　品　］

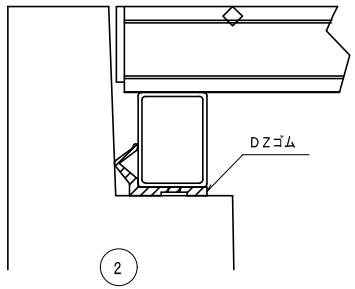
表面処理：亜鉛メッキ

呼び名		荷重条件	溝幅 W	グレーチング寸法（mm） L	B	H	BB. P	RB. P	エンド形状	重量	対応する側溝	蓋番号
K230	SH	T－25	30	50. 0	43. 4	11. 0	1. 5	10. 0	①	28. 9	PU43系	76
	LH			99. 5		(3. 8)				57. 8		79
K240	SH	T－25	40	50. 1	53. 4	12. 0	1. 5	10. 0	①	38. 8	PU44系	77
	LH			99. 5		(5. 0)				77. 6		80
K250	SH	T－25	50	50. 1	63. 4	13. 0	1. 5	10. 0	①	49. 0	PU45系	78
	LH			99. 5		(5. 0)				98. 0		81

＊（　）内寸法は、ＧＲ高さを示します。

［　エンド形状　］

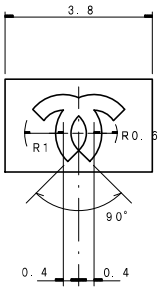




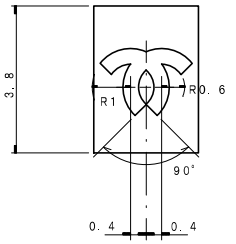
［　騒音防止型（ゴムつき）］

呼び名		荷重条件	溝幅 W	グレーチング寸法（mm） L	B	H	BB. P	RB. P	エンド形状	重量	対応する側溝	蓋番号
K230	SHR	T－25	30	50. 0	43. 4	11. 0	1. 5	10. 0	②	28. 6	PU43系	82
	LHR			99. 5		(3. 8)				57. 2		85
K240	SHR	T－25	40	50. 1	53. 4	12. 0	1. 5	10. 0	②	39. 0	PU44系	83
	LHR			99. 5		(5. 0)				78. 0		86
K250	SHR	T－25	50	50. 1	63. 4	13. 0	1. 5	10. 0	②	48. 3	PU45系	84
	LHR			99. 5		(5. 0)				96. 6		87

ベアリングバー上面
（ノンスリップ）



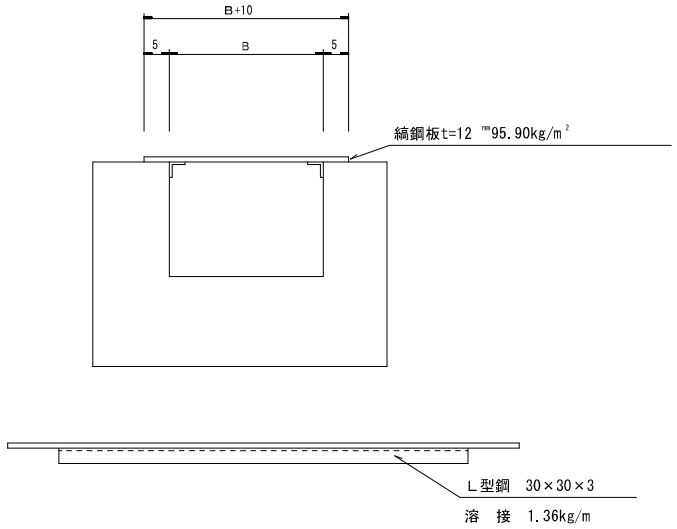
神戸市章
ｈ１＝４４以下

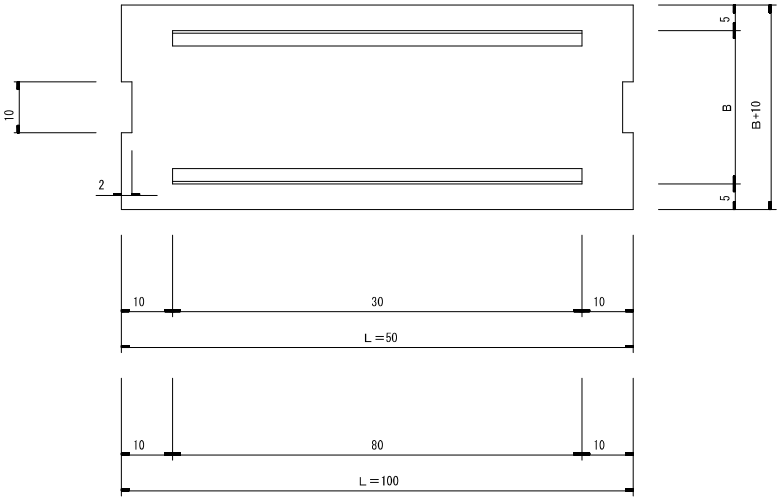


神戸市章
ｈ１＝５０以上

図番

鉄 板 蓋 工





寸 法 表

(cm)

○印施工	工 種	B															
	L＝50	20															
		25															
		30															
		35															
		40															
	L＝100	20															
		25															
		30															
		35															
		40															

数 量 表

(1m当り)

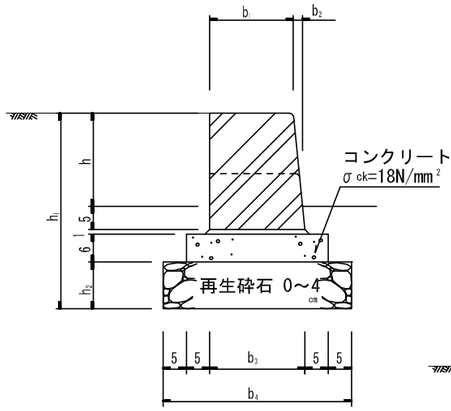
kg 縞鋼板	kg L型鋼											
14.00	0.81											
16.39	0.81											
18.79	0.81											
21.19	0.81											
23.59	0.81											
28.38	2.17											
33.18	2.17											
37.97	2.17											
42.77	2.17											
47.56	2.17											

図番

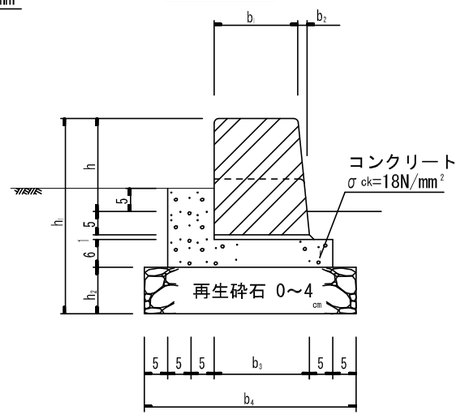
路　側　工（タイプ１）

＜歩車道境界ブロック＞

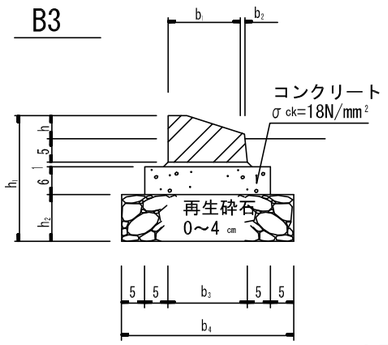
マウンドアップ型
A、A2、B、B2、C



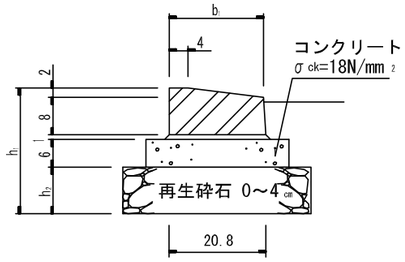
セミフラット型
FA、FB



B3

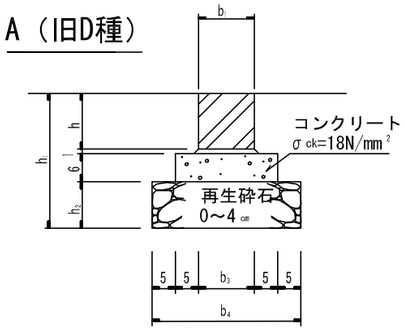


LB



＜地先境界ブロック＞

A（旧D種）



モルタルの品質

	配　合
据付モルタル	1　：　3
目地モルタル	1　：　2

寸　法　表　(cm)

○印施工	工　種	h	h_1	h_2	b_1	b_2	b_3	b_4
	〈歩車道境界ブロック〉							
	A	15	37	10	15	1.5	17	37
	A2	7	29	10	15.8	0.7	17	37
	B	20	42	10	18	2.0	20.5	40.5
	B2	7	29	10	19.3	0.7	20.5	40.5
	B3	5	27	10	19.9	0.1	20.5	40.5
	C	25	47	10	18	2.5	21	41
	FA	15	37	10	15	1.5	17	42
	FB	20	42	10	18	2.0	20.5	45.5
	LB	2	27	10	20	－	20.8	40.8
	〈地先境界ブロック〉							
	A（旧D種）	12	29	10	12	－	12	32

数　量　表　(1m当り)

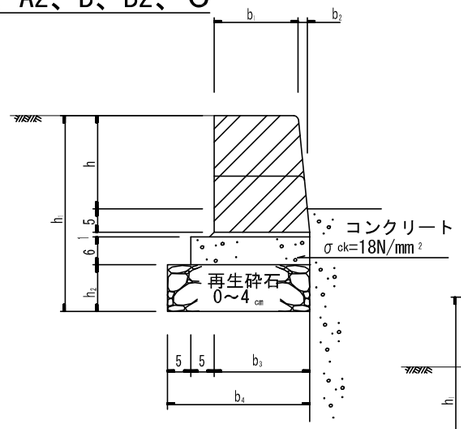
基礎 再生砕石 (t=10)m²	型枠 m³	ｺﾝｸﾘｰﾄ m³	据付ﾓﾙﾀﾙ m³	縁石 m
0.370	0.120	0.016	0.002	1.000
0.370	0.120	0.016	0.002	1.000
0.405	0.120	0.018	0.002	1.000
0.405	0.120	0.018	0.002	1.000
0.405	0.120	0.018	0.002	1.000
0.410	0.120	0.019	0.002	1.000
0.420	0.290	0.030	0.002	1.000
0.455	0.290	0.032	0.002	1.000
0.408	0.120	0.018	0.002	1.000
0.320	0.120	0.013	0.001	1.000

図番

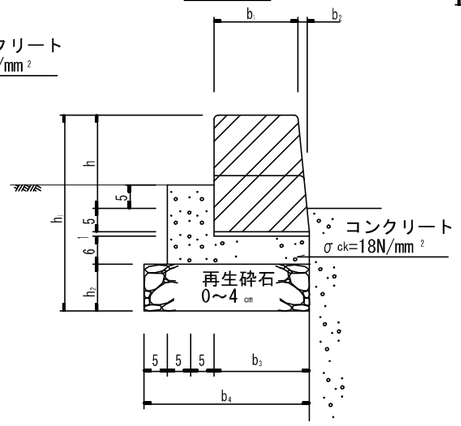
路　側　工（タイプ２）

＜歩車道境界ブロック＞

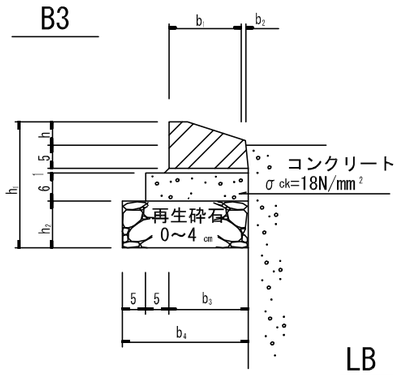
マウンドアップ型
A、A2、B、B2、C



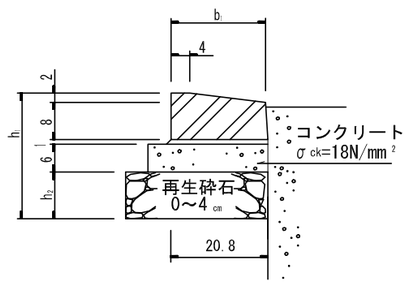
セミフラット型
FA、FB



B3

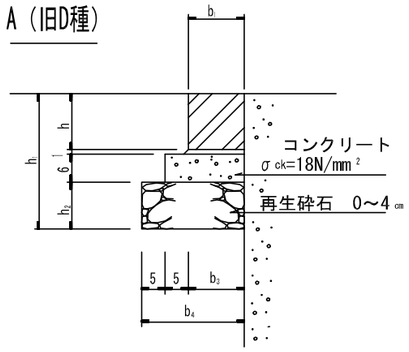


LB



＜地先境界ブロック＞

A（旧D種）



モルタルの品質

	配　合
据付モルタル	1　：　3
目地モルタル	1　：　2

寸　法　表　(cm)

○印施工	工　種	h	h_1	h_2	b_1	b_2	b_3	b_4
	〈歩車道境界ブロック〉							
	A	15	37	10	15	1.5	17	27
	A2	7	29	10	15.8	0.7	17	27
	B	20	42	10	18	2.0	20.5	30.5
	B2	7	29	10	19.3	0.7	20.5	30.5
	B3	5	27	10	19.9	0.1	20.5	30.5
	C	25	47	10	18	2.5	21	31
	FA	15	37	10	15	1.5	17	32
	FB	20	42	10	18	2.0	20.5	35.5
	LB	2	27	10	20	－	20.8	30.8
	〈地先境界ブロック〉							
	A（旧D種）	12	29	10	12	－	12	22

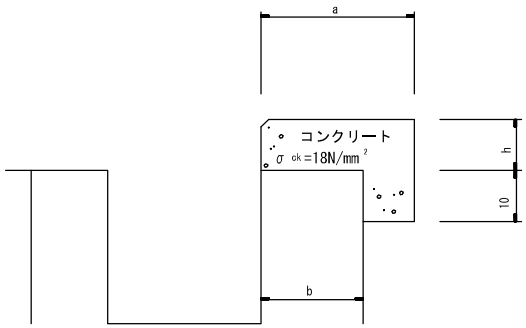
数　量　表　(1m当り)

基礎 再生砕石 (t=10)m²	型　枠 m²	ｺﾝｸﾘｰﾄ m³	据付ﾓﾙﾀﾙ m³	縁　石 m
0.270	0.060	0.013	0.002	1.000
0.270	0.060	0.013	0.002	1.000
0.305	0.060	0.015	0.002	1.000
0.305	0.060	0.015	0.002	1.000
0.305	0.060	0.015	0.002	1.000
0.310	0.060	0.016	0.002	1.000
0.320	0.230	0.027	0.002	1.000
0.355	0.230	0.029	0.002	1.000
0.308	0.060	0.015	0.002	1.000
0.220	0.060	0.010	0.001	1.000

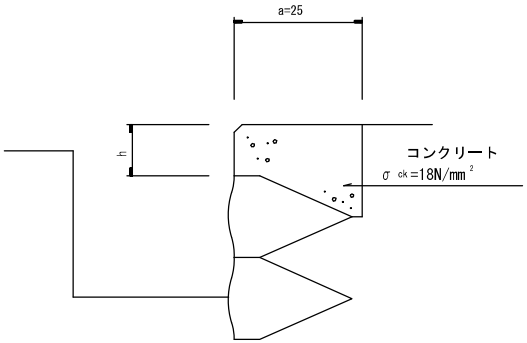
図番　／

嵩上工

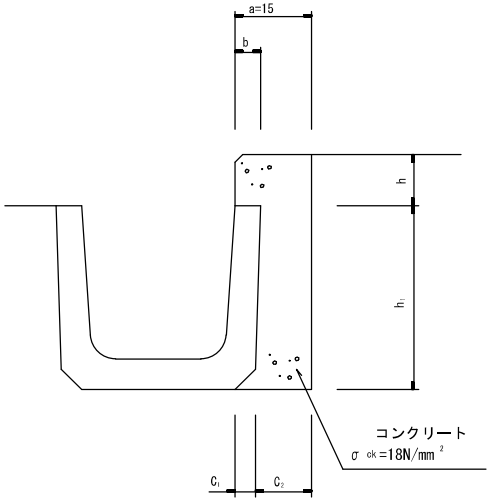
側　溝　嵩　上　工



石積側溝嵩上工



U型トラフ嵩上工



寸　法　表

(cm)

○印施工	工　種	a	h	b	C_1	C_2	h_1
	側溝嵩上工a=25 h=10	25	10	15	–	–	–
	a=30 h=10	30	10	20	–	–	–
	石積側溝嵩上工　h=10	25	10	–	–	–	–
	U型ﾄﾗﾌ嵩上工 150 h=10	15	10	3.0	3.5	12.0	18.5
	180 h=10	15	10	3.5	4.0	11.5	22.0
	240 h=10	15	10	4.5	5.0	10.5	29.0
	300A h=10	15	10	5.0	6.0	10.0	30.0
	300B h=10	15	10	5.0	6.0	10.0	36.0
	300C h=10	15	10	5.0	6.5	10.0	42.5
	360A h=10	15	10	5.0	6.5	10.0	36.5
	360B h=10	15	10	5.0	6.5	10.0	42.5
	450　h=10	15	10	5.5	7.0	9.5	52.0
	600　h=10	15	10	6.0	7.5	9.0	67.5

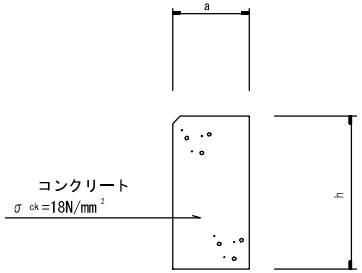
数　量　表

(1m当り)

m^2 型　枠	m^3 ｺﾝｸﾘｰﾄ
0.300	0.035
0.300	0.040
0.300	0.035
0.385	0.038
0.420	0.041
0.490	0.046
0.500	0.046
0.560	0.053
0.625	0.060
0.565	0.054
0.625	0.060
0.720	0.066
0.875	0.079

図番

舗 装 止 工



寸 法 表

(cm)

○印施工	工 種	a	h														
	舗装止工 a=15 h=15	15	15														
	a=15 h=20	15	20														
	a=15 h=25	15	25														
	a=15 h=30	15	30														
	a=15 h=35	15	35														
	a=15 h=40	15	40														

数 量 表

(1m当り)

m^2 型 枠	m^3 ｺﾝｸﾘｰﾄ											
0.300	0.023											
0.400	0.030											
0.500	0.038											
0.600	0.045											
0.700	0.053											
0.800	0.060											

図番

防護柵設置工(ガードレール、ガードパイプ)

ガードレール

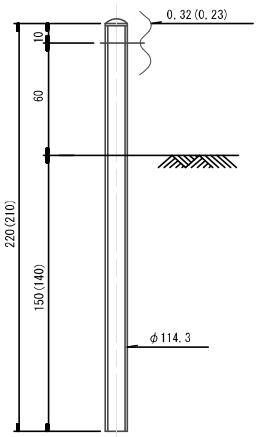
ガードパイプ

路側用

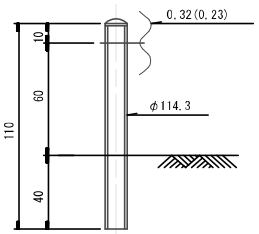
分離帯用

歩車道境界用

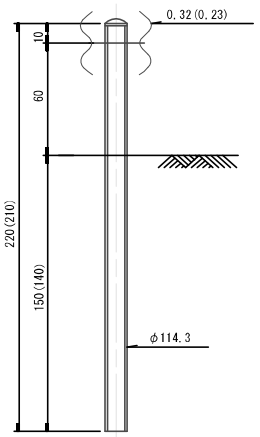
Gr-B-4E
(Gr-C-4E)



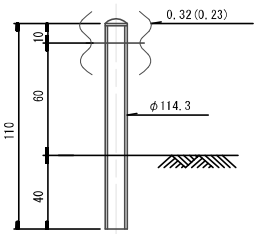
Gr-B-2B
(Gr-C-2B)



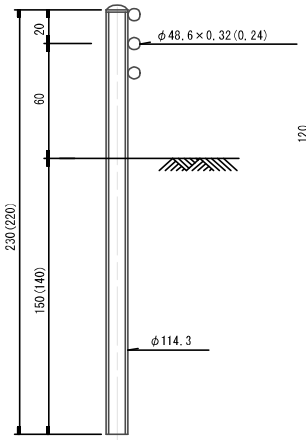
Gr-Bm-4E
(Gr-Cm-4E)



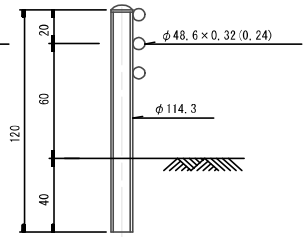
Gr-Bm-2B
(Gr-Cm-2B)



Gp-Bp-2E
(Gp-Cp-2E)



Gp-Bp-2B
(Gp-Cp-2B)



注)

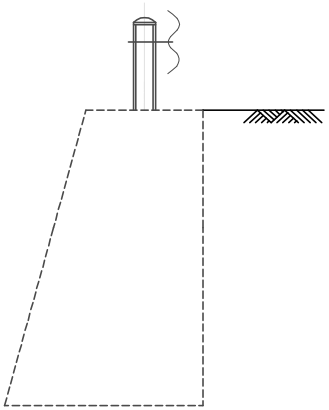
- 仕様記号の表記は以下のとおりである
  - ①仕様記号は、防護柵形式記号、種別記号、間隔を示す数字、埋込み区分から構成する
  - ②防護柵形式記号は、Gr:ガードレール,Gp:ガードパイプとする
  - ③埋込み区分は、E:土中埋込み用,B:構造物設置用とする
  - ④寸法表記のうち、() 書き寸法はC種
- 土中埋込用については、設置する地盤の形状、土質条件、背面土量を十分照査すること
- 構造物設置用については、設置する構造物の耐力を十分に照査すること

図番

防護柵設置工（ガードレール、ガードパイプ）

構造物設置用

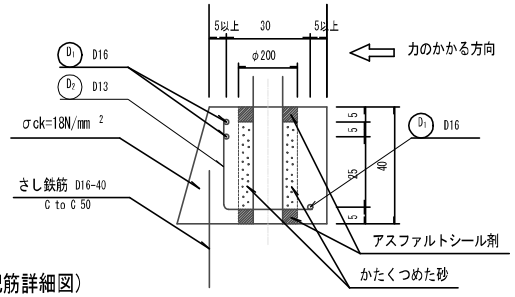
〔設置イメージ〕



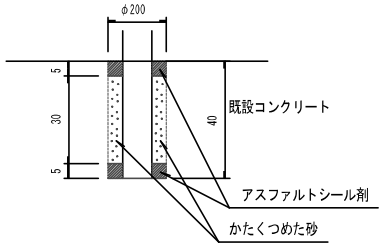
※防護柵設置工にあたり、設置する構造物の耐力を十分に照査すること

〔布基礎〕

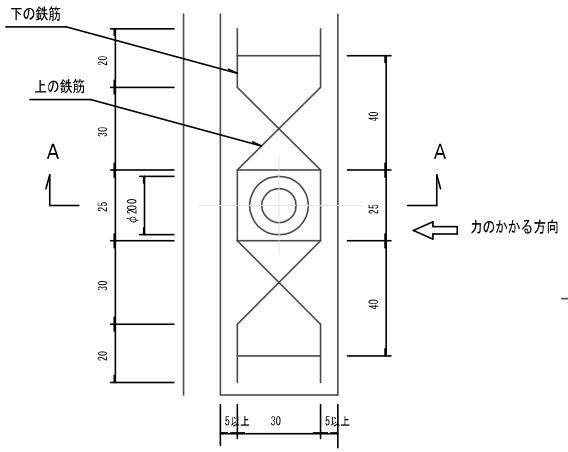
A－A断面



〔削孔基礎〕

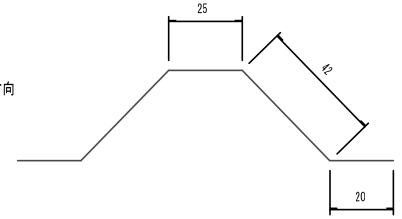


平 面 図（配筋詳細図）



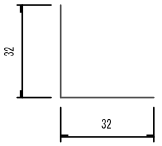
1組当り

D1 D16－149×3本



1組当り

D2 D13－64×4本



注）ガードレール支柱φ114.3（B種、C種）
鉄筋規格：SD345

寸　法　表

(CM)

〇印施工	L　種																
	布基礎																
	削孔基礎																

数　量　表

(10m当り)

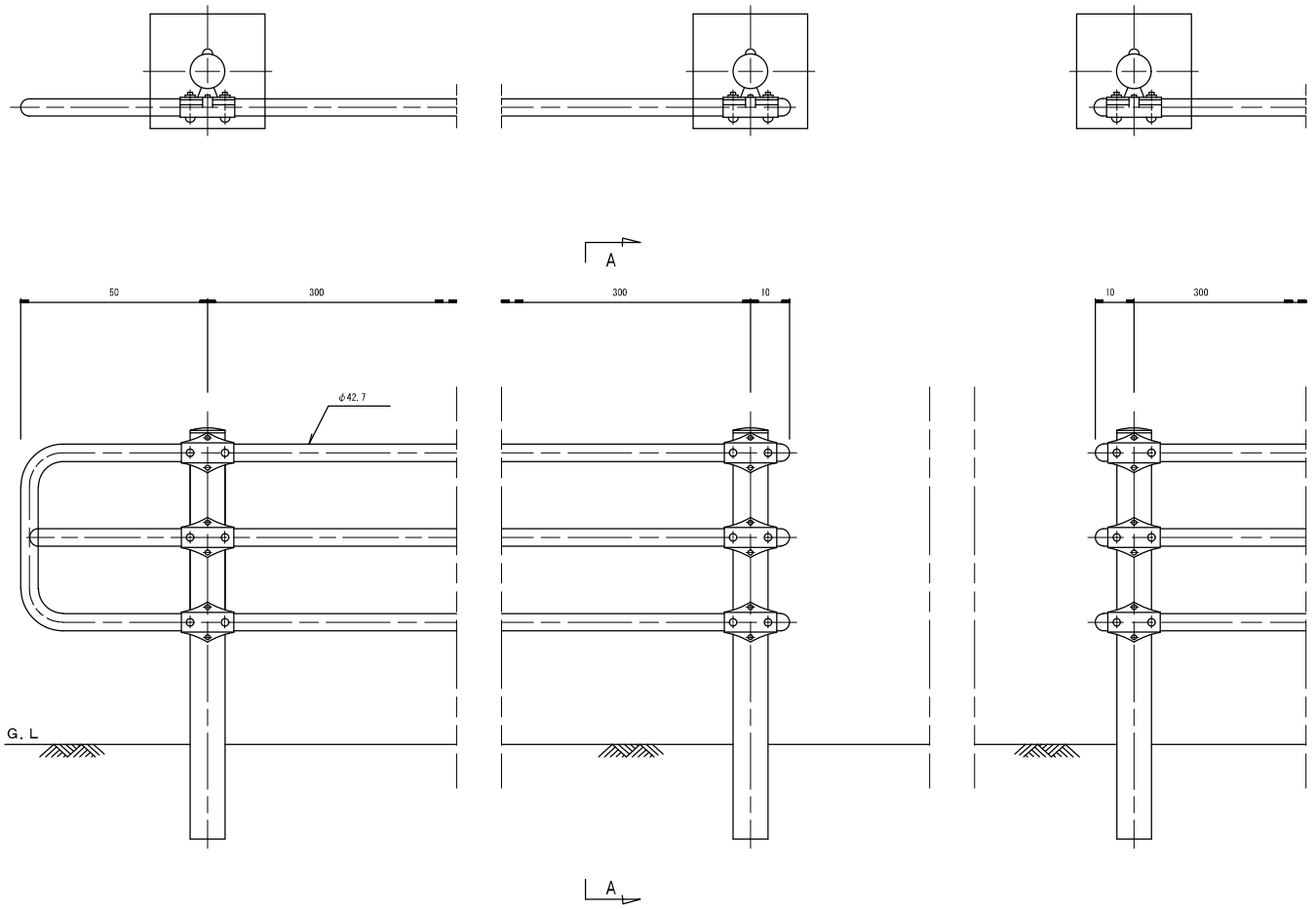
		m 円形型枠	鉄筋 kg D16	鉄筋 kg D13	m³ 砂	t アスファルトシール	t さし鉄筋 D16				
	布基礎	2.000	34.866	12.736	0.032	0.011	0.012				
	削孔基礎				0.032	0.011					

図番

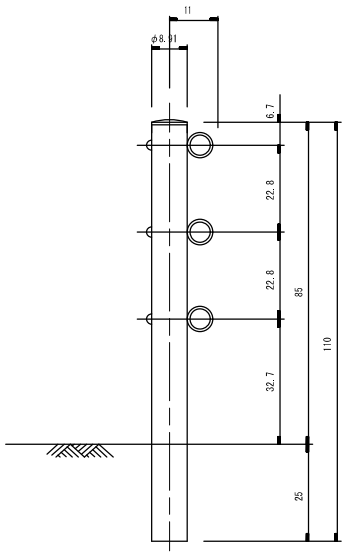
[5-1-4]

防護柵設置工（Ｐ種）

乱横断防止柵



Ａ－Ａ断面



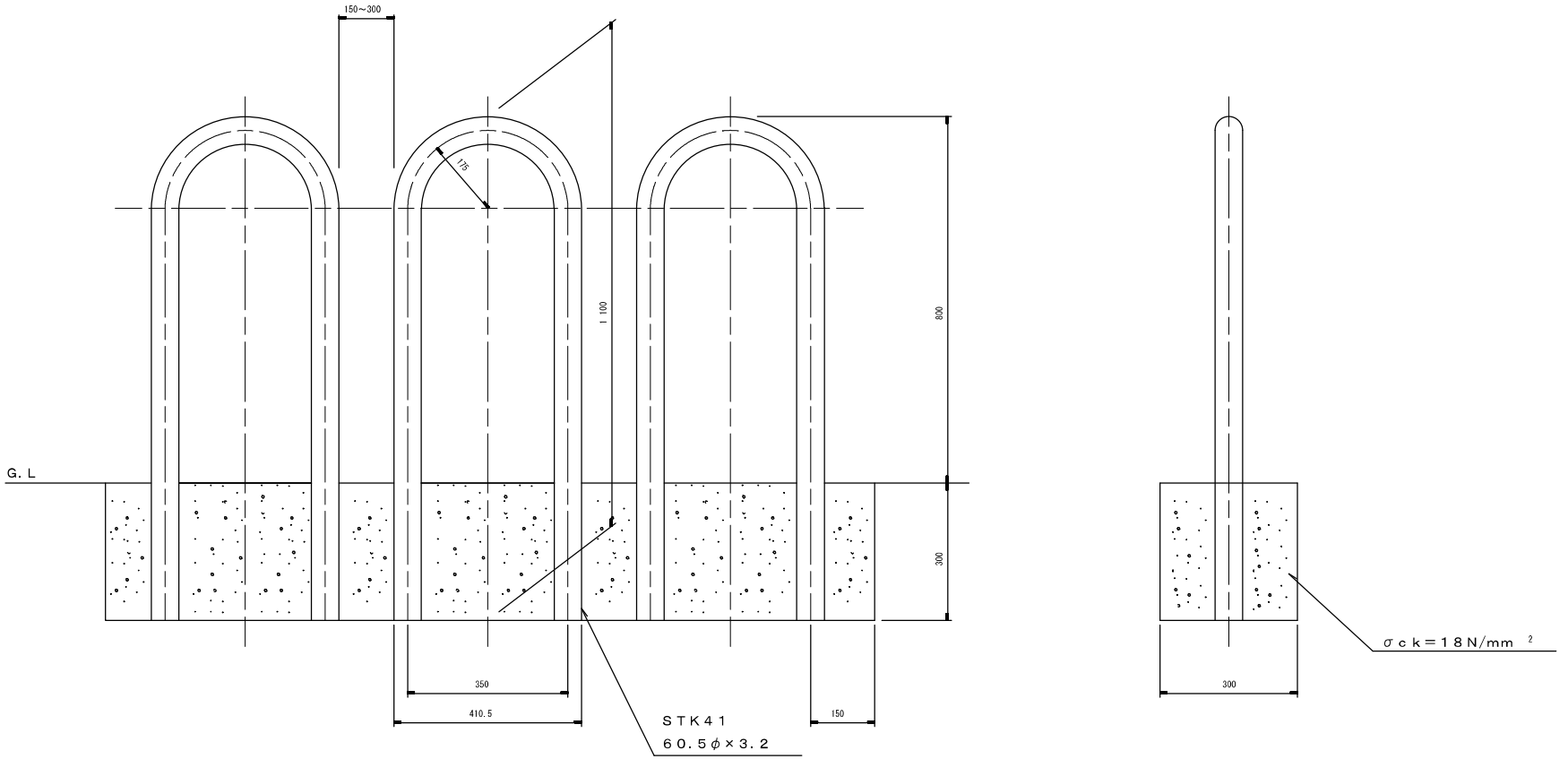
※　表面仕上げは、亜鉛メッキ＋白色粉体塗装とする。

※　景観等を考慮する場合は、ダークブラウン塗装を採用することができる。

図番

防護柵設置工（Ｐ種）

交差点用乱横断防止柵（神戸市型）



表面仕上げは、亜鉛メッキ＋白色粉体塗装とする。

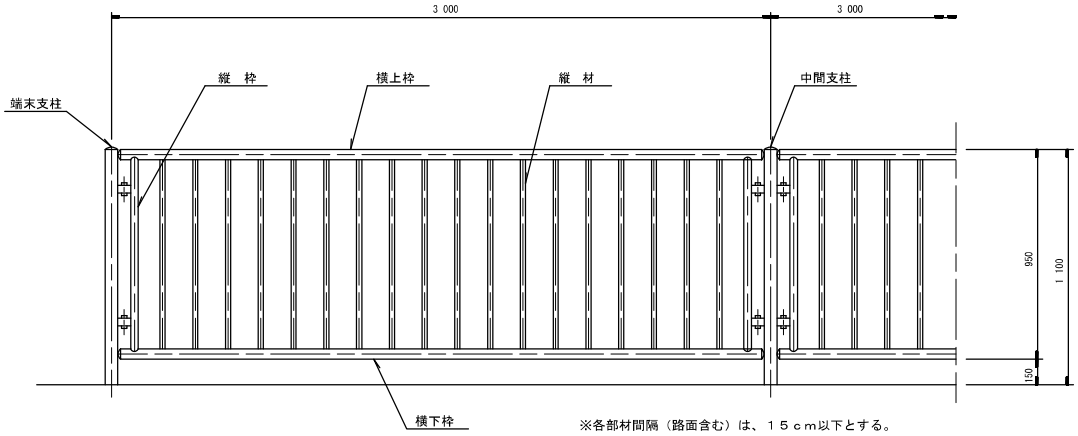
注）美観を考慮しなければならない場合は、基礎コンクリートの天端は、歩道舗装厚だけ下げるものとする。

※　景観等を考慮する場合は、ダークブラウン塗装を採用することができる。

図番

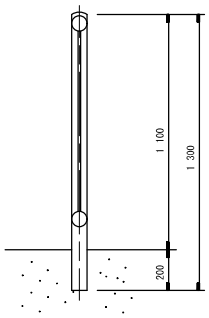
防護柵設置工（Ｐ種）

転落防止柵

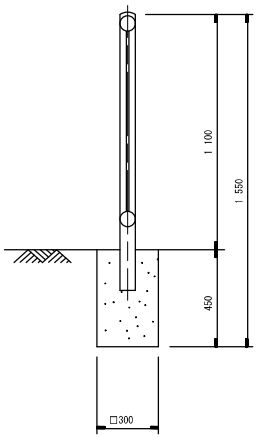


※各部材間隔（路面含む）は、１５ｃｍ以下とする。

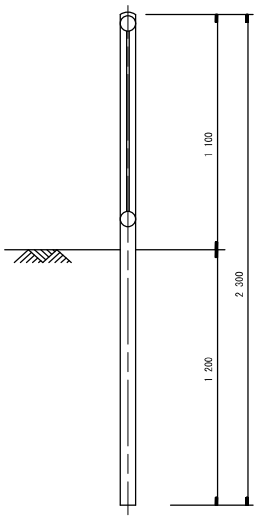
コンクリート埋込用（W）



コンクリートブロック用（C）



土中用（E）



※表面仕上げは、亜鉛メッキとする。

設　計　強　度	備　　考
垂直荷重 ５９０Ｎ/ｍ（６０ｋｇ　ｆ/ｍ）以上 水平荷重 ３９０Ｎ/ｍ（４０ｋｇ　ｆ/ｍ）以上	荷重は、防止柵の最上部に作用するものとする。 このとき、部材の耐力を許容限度として設計することができる。

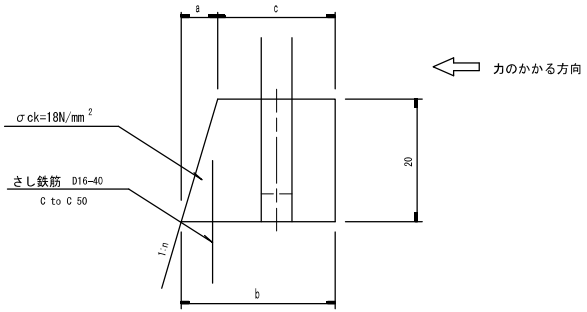
図番

防護柵設置工（Ｐ種）

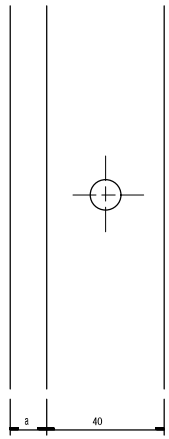
基礎工

〔布　基　礎〕

A－A断面



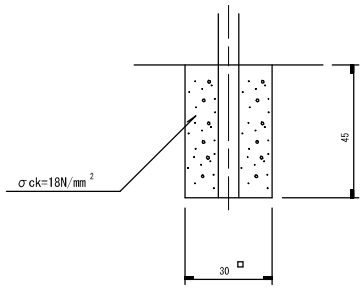
平面図



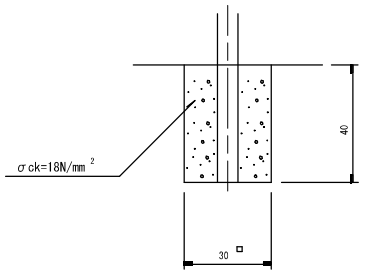
※　鉄筋規格：ＳＤ３４５

〔独立基礎〕

転落防止柵

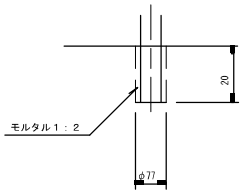


乱横断防止柵

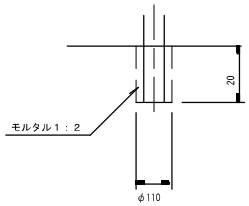


〔削孔基礎〕

転落防止柵



乱横断防止柵



寸　法　表

(CM)

工種番号	Ｌ　種	勾配	a	b	c												
	布基礎																
	独立基礎(転落防止柵)																
	〃　(乱横断防止柵)																
	削孔基礎																

数　量　表

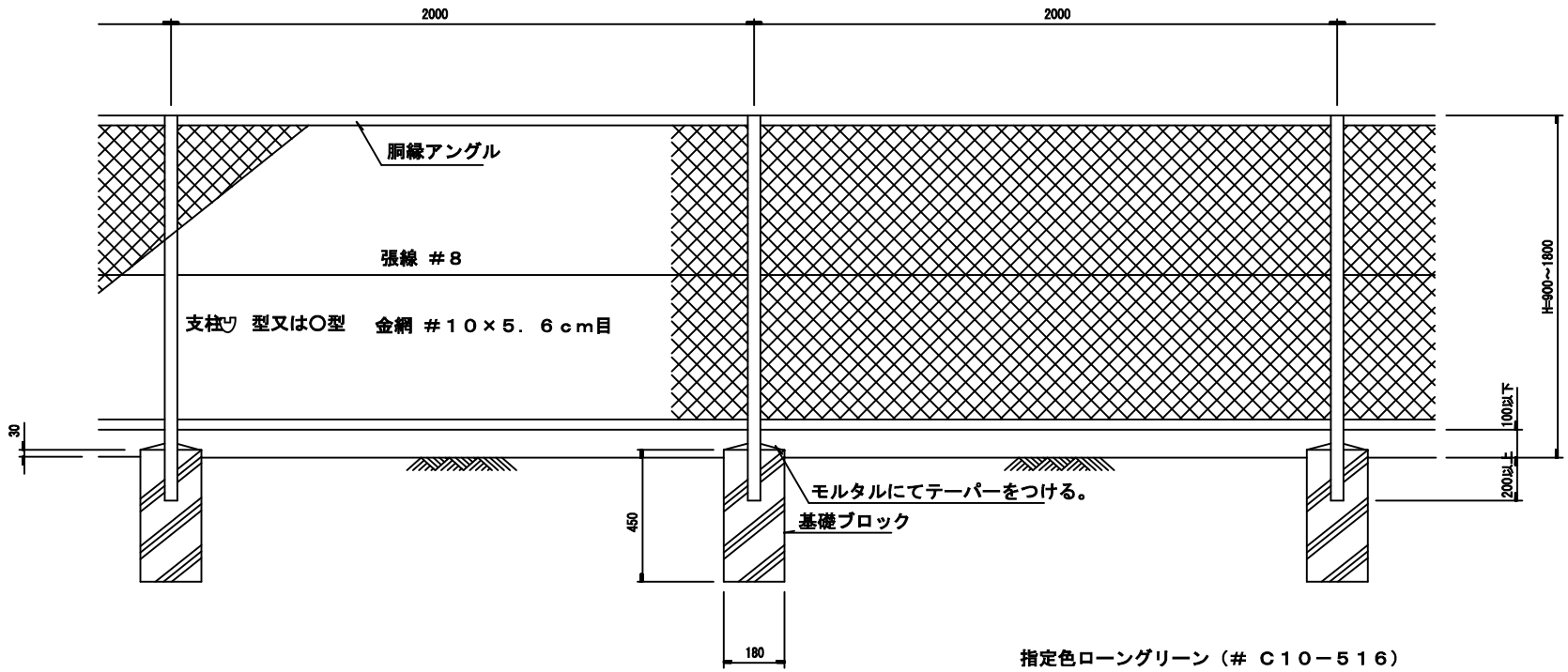
(10m当り)

m^3 コンクリート	m^2 型　枠	kg 鉄　筋 φ16	m^3 モルタル									
0.13	1.8	—	—									
0.12	1.6	—	—									
—	—	—	0.002									

図番

立入防止柵工（フェンス）

S=1/20



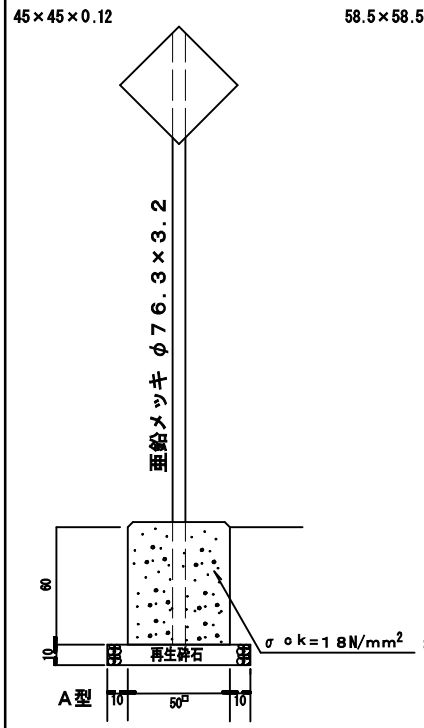
※基礎砕石の厚さは、金網柵用は10ｃｍ以下、門扉用は20ｃｍ以下を標準とする。

図番

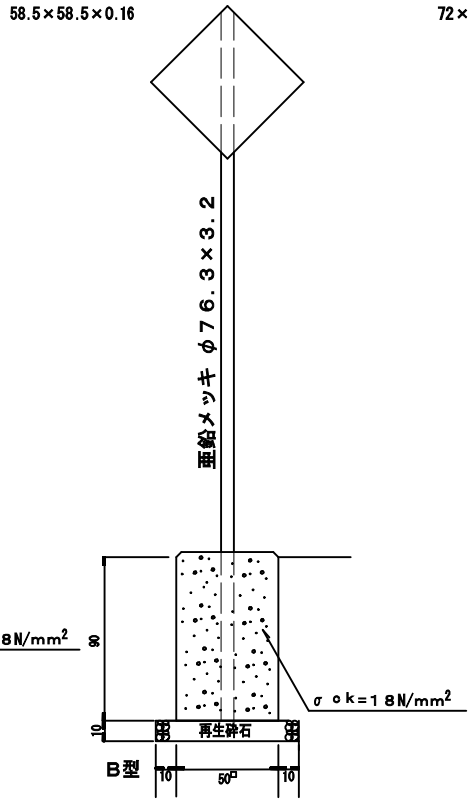
警戒、規制標識設置工　S＝1/30

警戒標識（２０１A～２１５）

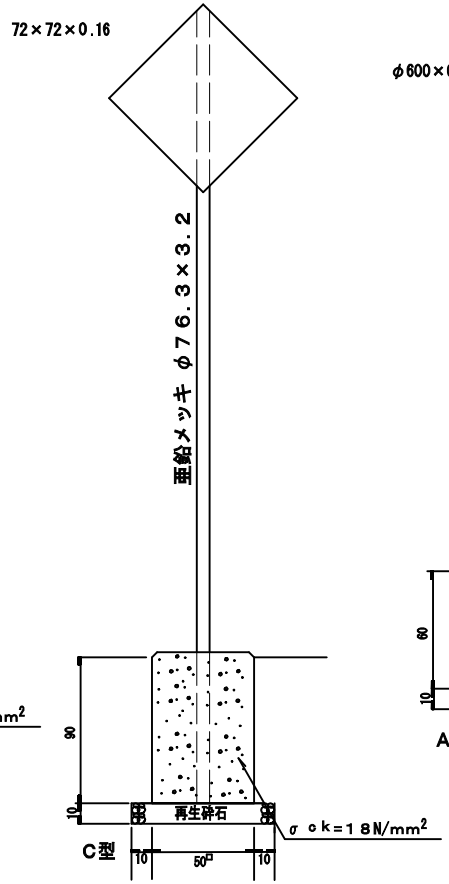
１.０倍



１.３倍

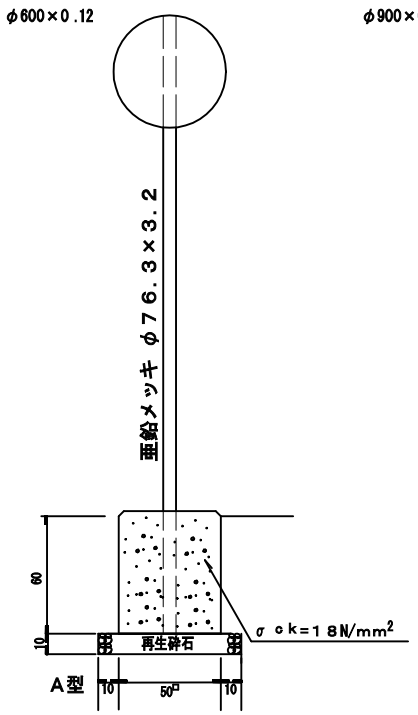


１.６倍

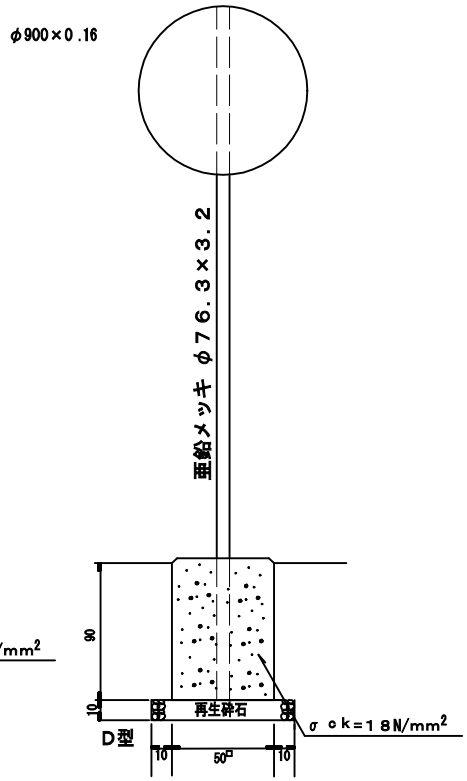


規制標識（３２０～３２２）

１.０倍



１.５倍



（亜鉛メッキＨＤＺＴ７７とする）

数　量　表

（１ヶ所当）

工種	工種	型枠 m²	コンクリート m³	再生砕石 m²
	A　型	1.200	0.150	0.490
	B　型	1.800	0.225	0.490
	C　型	1.800	0.225	0.490
	D　型	1.800	0.200	0.490
				注2)

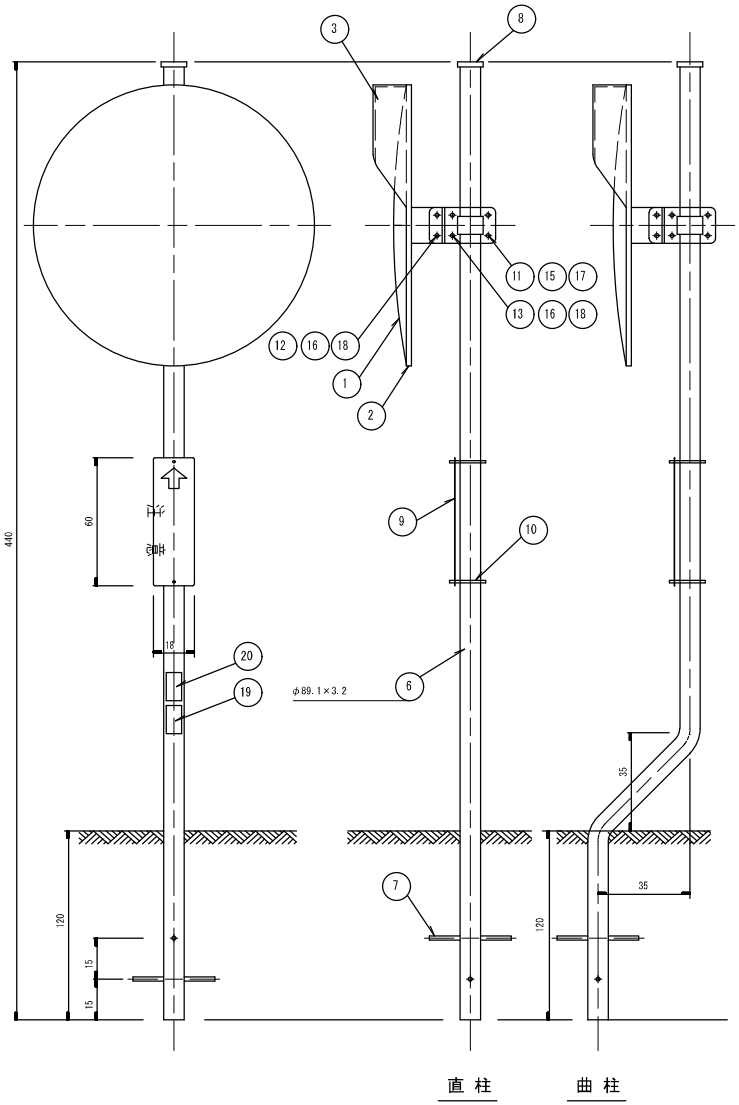
注1）路面より標識板の下端までの高さは原則として2.5m以上とする。
ただし、路上施設帯において歩行者の通行の障害とならないことが認められる場合は1.8m以上の設置高さとすることができる。

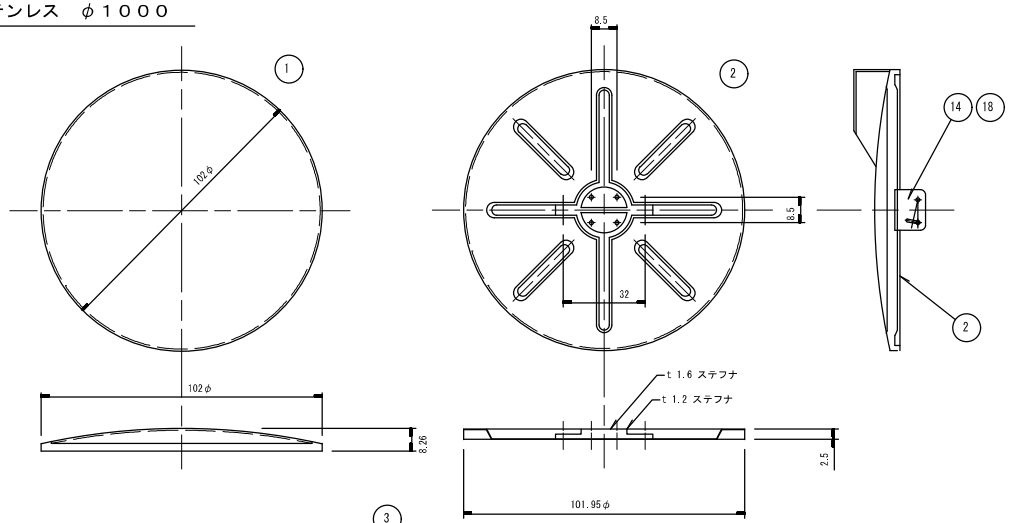
注2）基礎底面が岩盤の場合は、均しコンクリートとする。

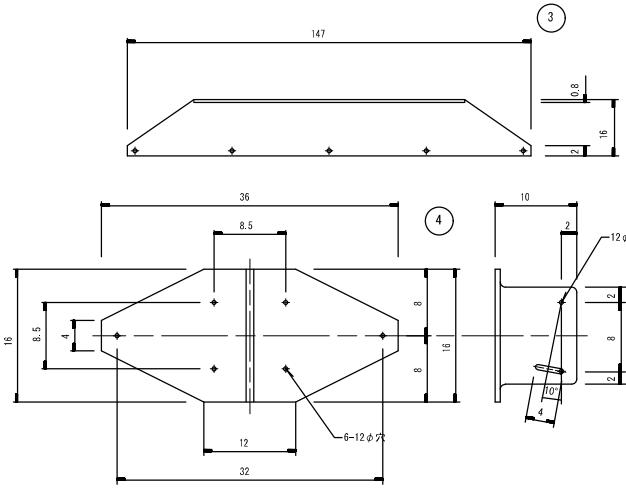
図番

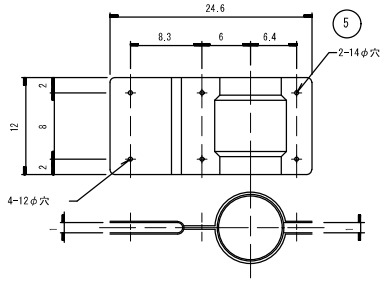
道路反射鏡（カーブミラー）設置工

一面鏡ステンレス　φ１０００







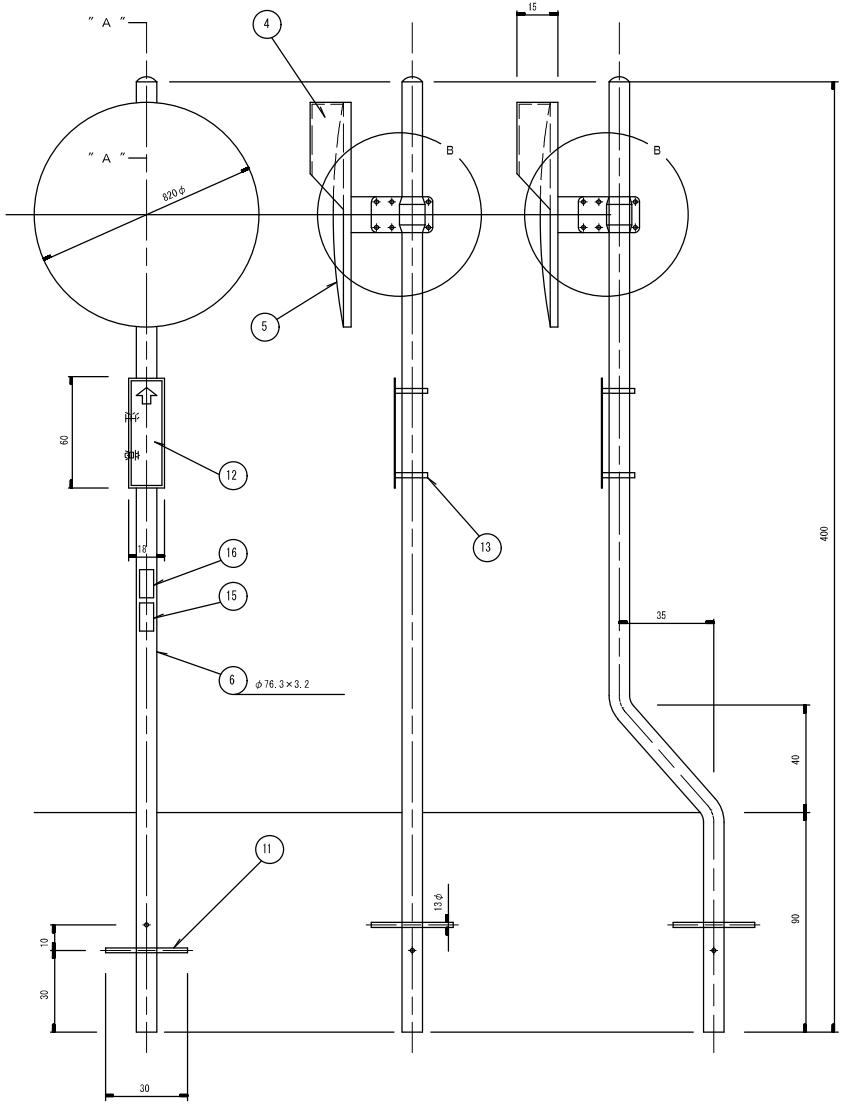


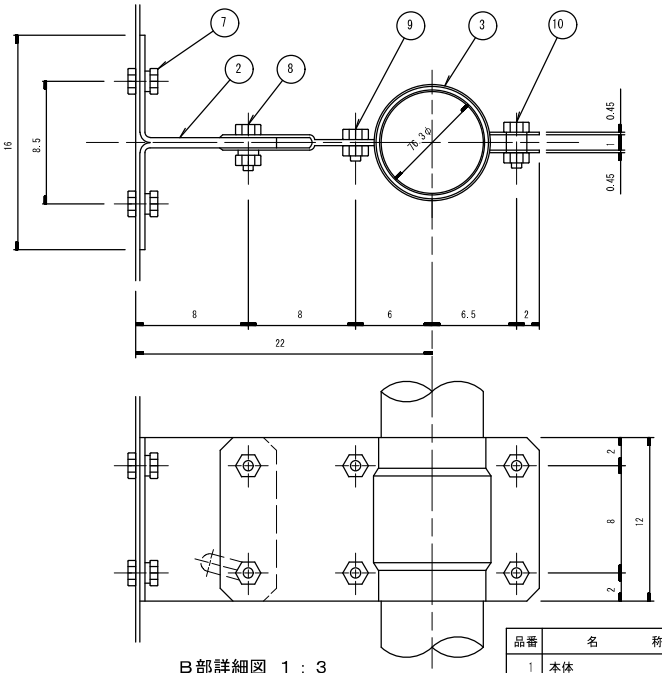
品番	名　　称	数量	材　　質	備　　考
1	ミラー	1	SUS304	
2	バックプレート	1	SPGC	t0.9
3	フード	1	SUS430	t0.4
4	ブラケットミラーサイド	1	SS41	t4.5 Znメッキ
5	ブラケットポールサイド	1	SS41	t4.5 Znメッキ
6	ポール	1	STK41	Znメッキ
7	アンカー	2		13φ×300
8	キャップ	1	ポリエチレン	
9	コーションプレート	1	SPGC	t2.0
10	バンド	2	SUS	t0.3
11	ボルト	2	市販品 Ｚｎメッキ	12φ×40
12	ボルト	2	市販品 Ｚｎメッキ	10φ×35
13	ボルト	2	市販品 Ｚｎメッキ	10φ×25
14	ボルト	6	市販品 Ｚｎメッキ	10φ×15
15	ナット	2	市販品 Ｚｎメッキ	12φ
16	ナット	4	市販品 Ｚｎメッキ	10φ
17	歯付座金	2		12φ
18	歯付座金	10		10φ
19	設置年月日シール	1	白色反射シート	200×60
20	所属シール	1	白色反射シート	200×60

図番

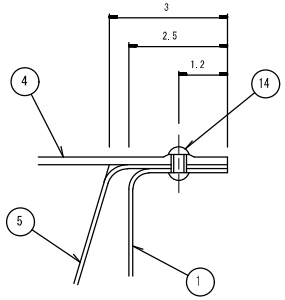
道路反射鏡（カーブミラー）設置工

一面鏡ステンレス　φ８００





B部詳細図　１：３



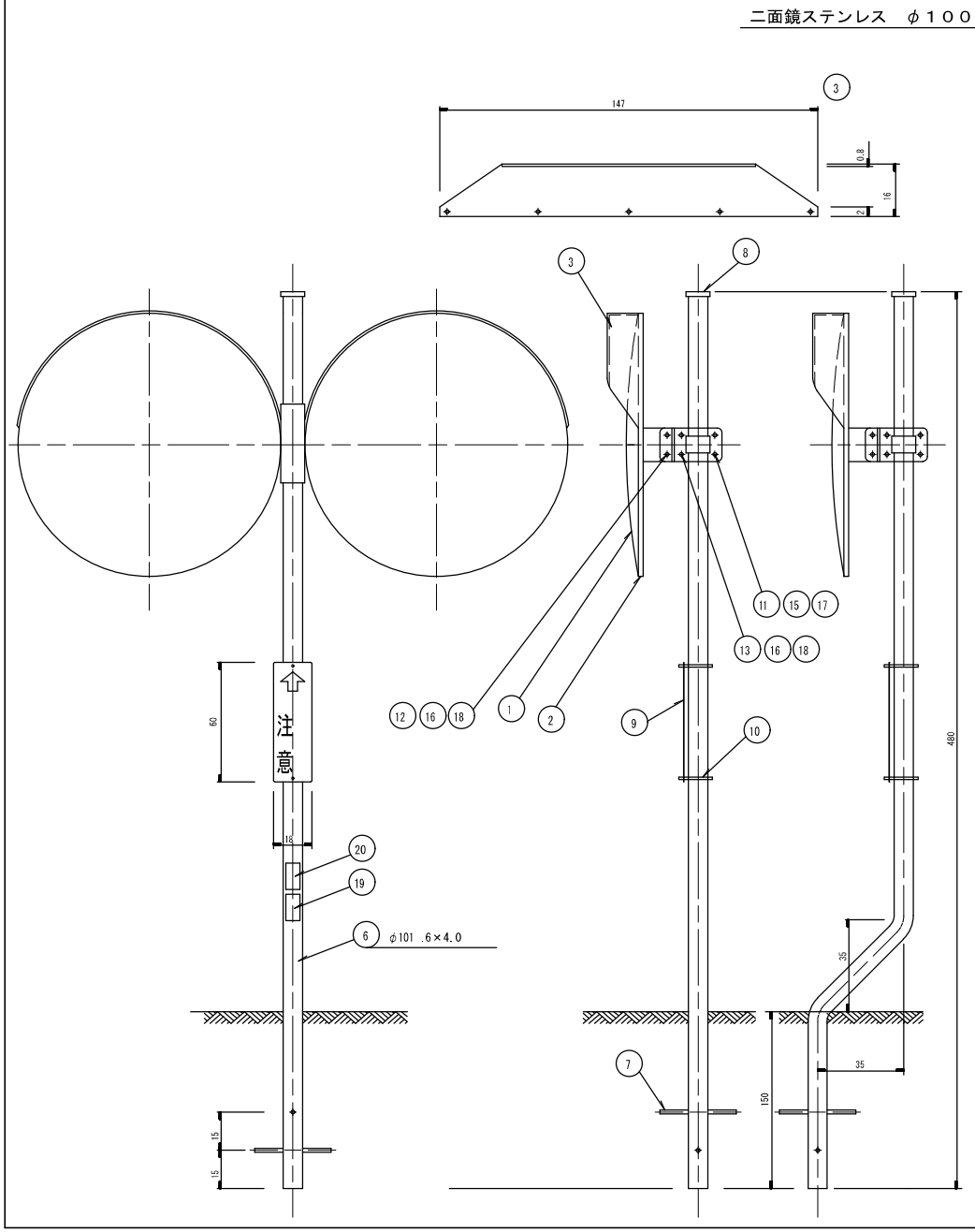
"A"ー"A"断面図　１：１

品番	名　　称	数量	材　　質	備　　考
1	本体	1	SPGC	
2	本体取付金具	1	SS41P	Ｚｎメッキ
3	柱取付金具	1	SS41P	Ｚｎメッキ
4	フード	1	FRP	
5	鏡	1	SUS304	t1.0
6	柱	1	STK41	Ｚｎメッキ
7	ボルト	4	市販品 Ｚｎメッキ	M10×15 （N歯付W共）
8	ボルト	2	市販品 Ｚｎメッキ	M10×35 （N歯付W共）
9	ボルト	2	市販品 Ｚｎメッキ	M10×25 （N歯付W共）
10	ボルト	2	市販品 Ｚｎメッキ	M12×40 （N歯付W共）
11	アンカー棒	2		13φ×300
12	標識板	1	SPGC	t2.0
13	標識板取付金具	2	SUS	t0.3
14	リベット	9	アルミ	
15	設置年月日シール	1	白色反射シート	200×60
16	所属シール	1	白色反射シート	200×60

図番

道路反射鏡（カーブミラー）設置工

二面鏡ステンレス　φ１０００

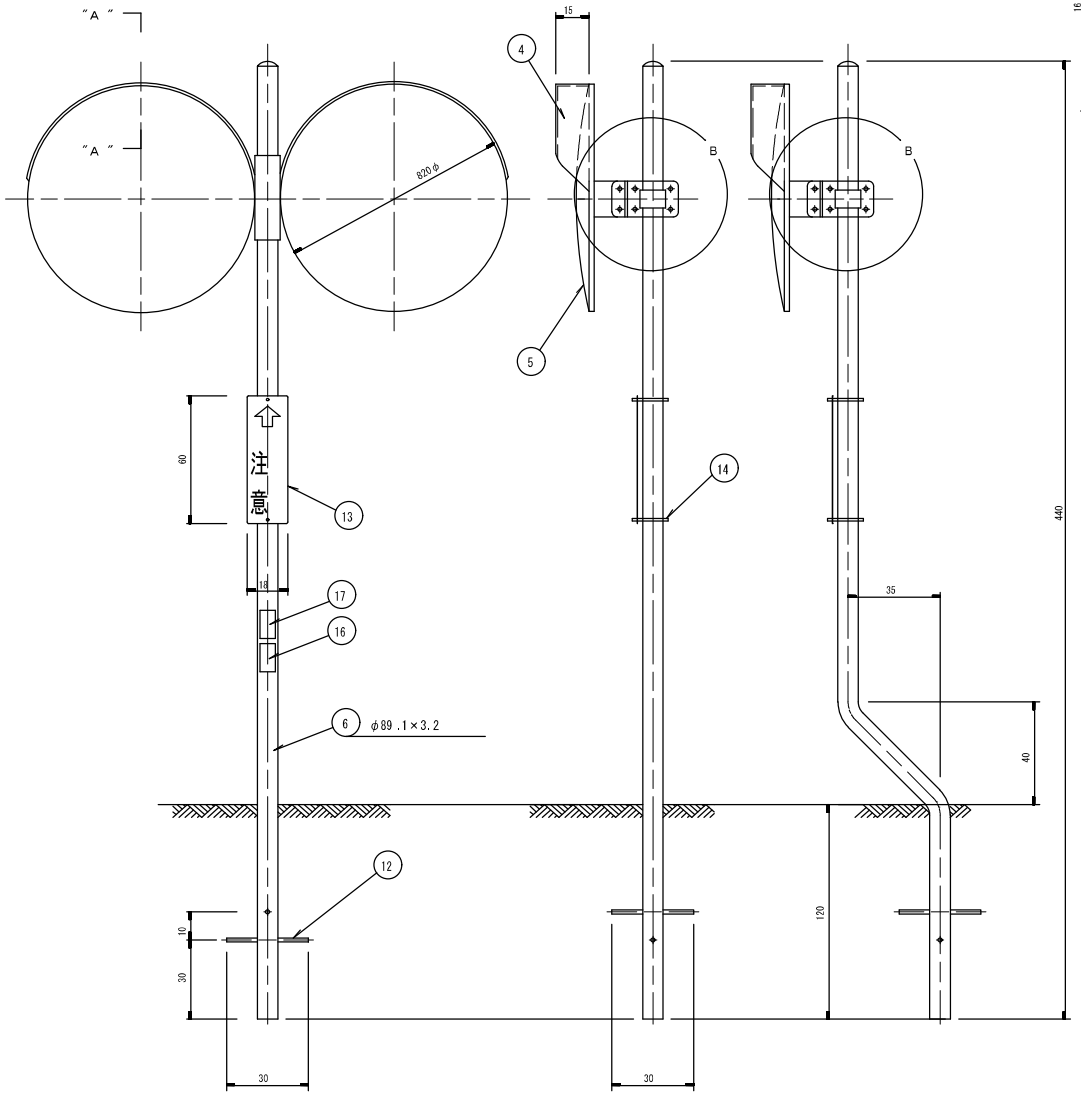


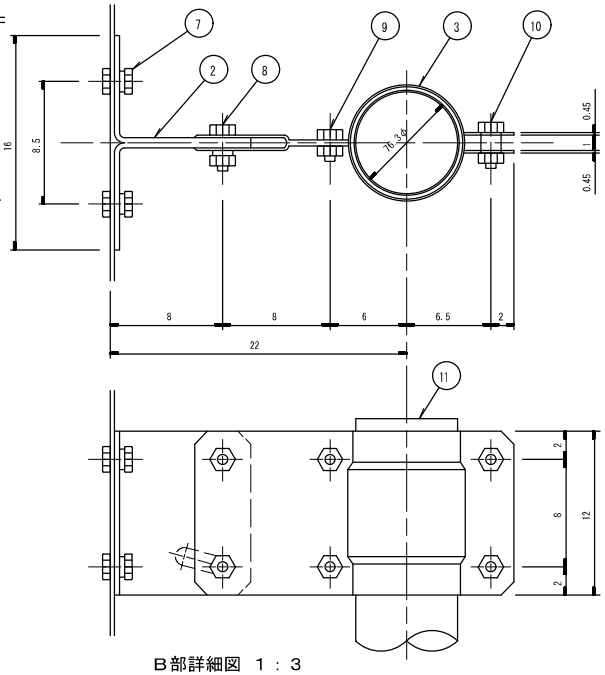
品番	名　　称	数量	材　　質	備　　考
1	ミラー	2	SUS304	t1.2
2	バックプレート	2	SPGC	t0.9
3	フード	2	SUS430	t0.4
4	ブラケットミラーサイド	2	SS41	t4.5 Znメッキ
5	ブラケットポールサイド	2	SS41	t4.5 Znメッキ
6	ポール	1	STK41	Znメッキ
7	アンカー	2		13φ×300
8	キャップ	1	ポリエチレン	
9	コーションプレート	1	SPGC	t2.0
10	バンド	2	SUS	t0.3
11	ボルト	4	市販品　Ｚｎメッキ	12φ×40
12	ボルト	4	市販品　Ｚｎメッキ	10φ×35
13	ボルト	4	市販品　Ｚｎメッキ	10φ×25
14	ボルト	12	市販品　Ｚｎメッキ	10φ×15
15	ナット	4	市販品　Ｚｎメッキ	12φ
16	ナット	8	市販品　Ｚｎメッキ	10φ
17	歯付座金	4		12φ
18	歯付座金	20		10φ
19	設置年月日シール	1	白色反射シート	200×60
20	所属シール	1	白色反射シート	200×60

図番

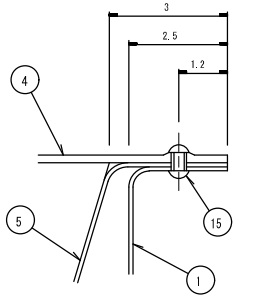
道路反射鏡（カーブミラー）設置工

二面鏡ステンレス　φ８００





B部詳細図　１：３

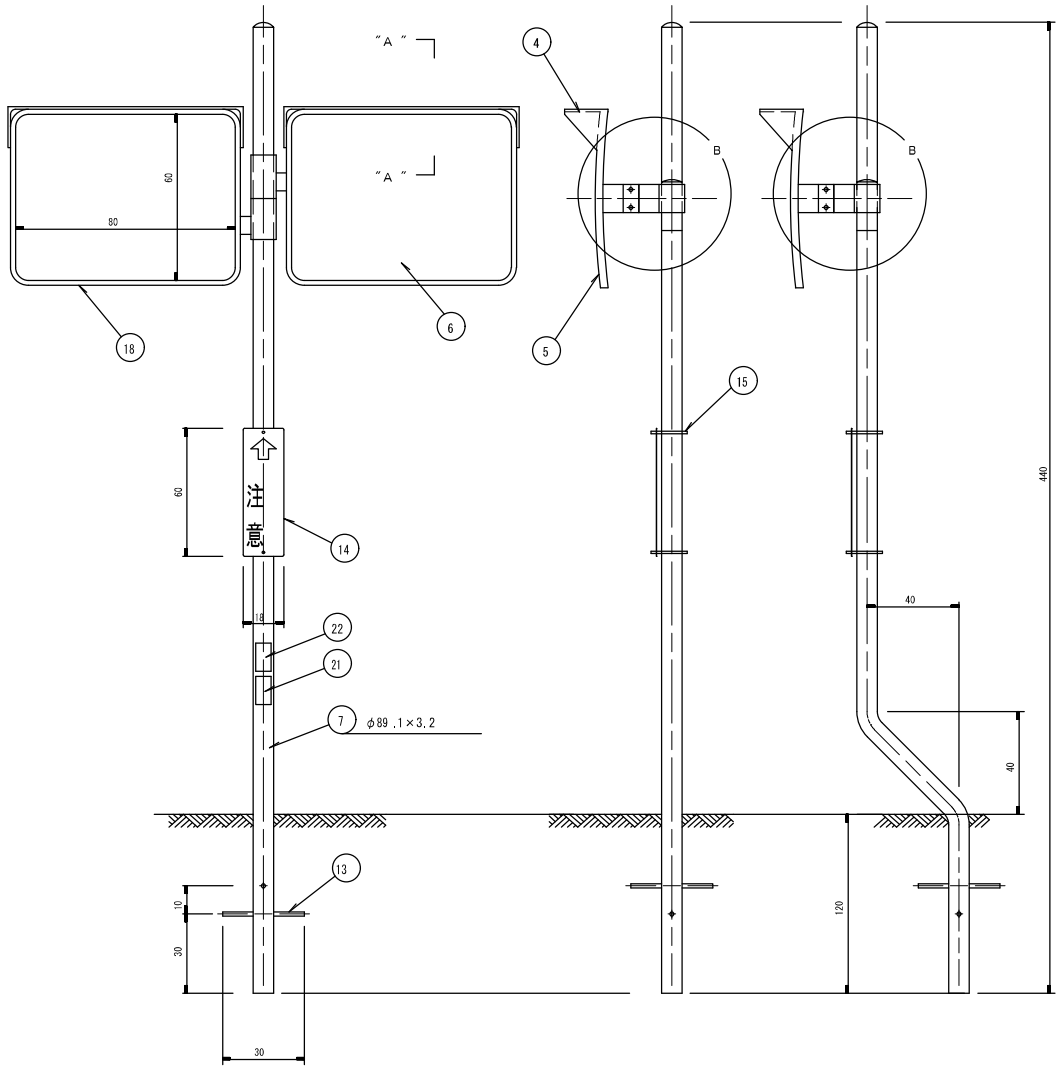


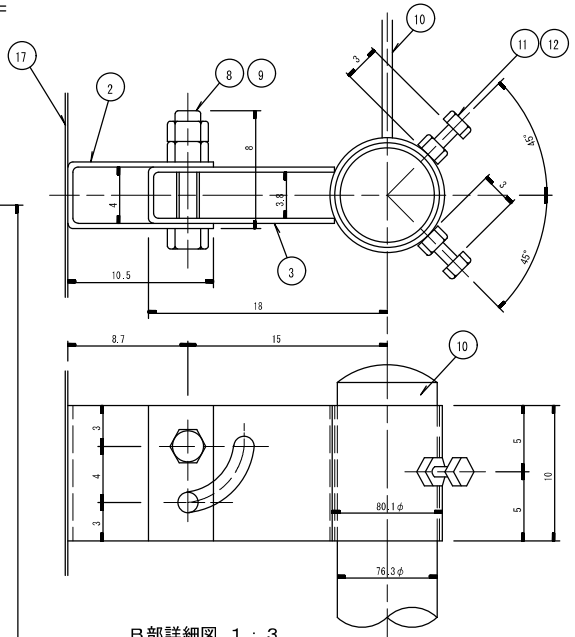
品番	名　　称	数量	材　　質	備　　考
1	本体	2	SPGC	
2	本体取付金具	2	SS41P	Ｚｎメッキ
3	腕木取付金具	2	SS41P	Ｚｎメッキ
4	フード	2	FRP	
5	鏡	2	SUS304	t1.0
6	柱	1	STK41	Ｚｎメッキ
7	ボルト	8	市販品　Ｚｎメッキ	M10×15（Ｎ歯付Ｗ共）
8	ボルト	4	市販品　Ｚｎメッキ	M10×35（Ｎ歯付Ｗ共）
9	ボルト	4	市販品　Ｚｎメッキ	M10×25（Ｎ歯付Ｗ共）
10	ボルト	4	市販品　Ｚｎメッキ	M12×40（Ｎ歯付Ｗ共）
11	腕木	2	SGP	Ｚｎメッキ
12	アンカー棒	2		13φ×300
13	標識板	1	SPGC	t2.0
14	標識板取付金具	1	SUS	t0.3
15	リベット	18	アルミ	
16	設置年月日シール	1	白色反射シート	200×60
17	所属シール	1	白色反射シート	200×60

図番

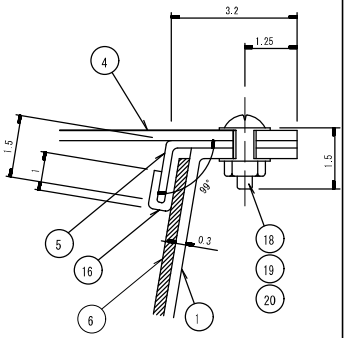
道路反射鏡（カーブミラー）設置工

二面鏡アクリル　６００×８００





B部詳細図　１：３



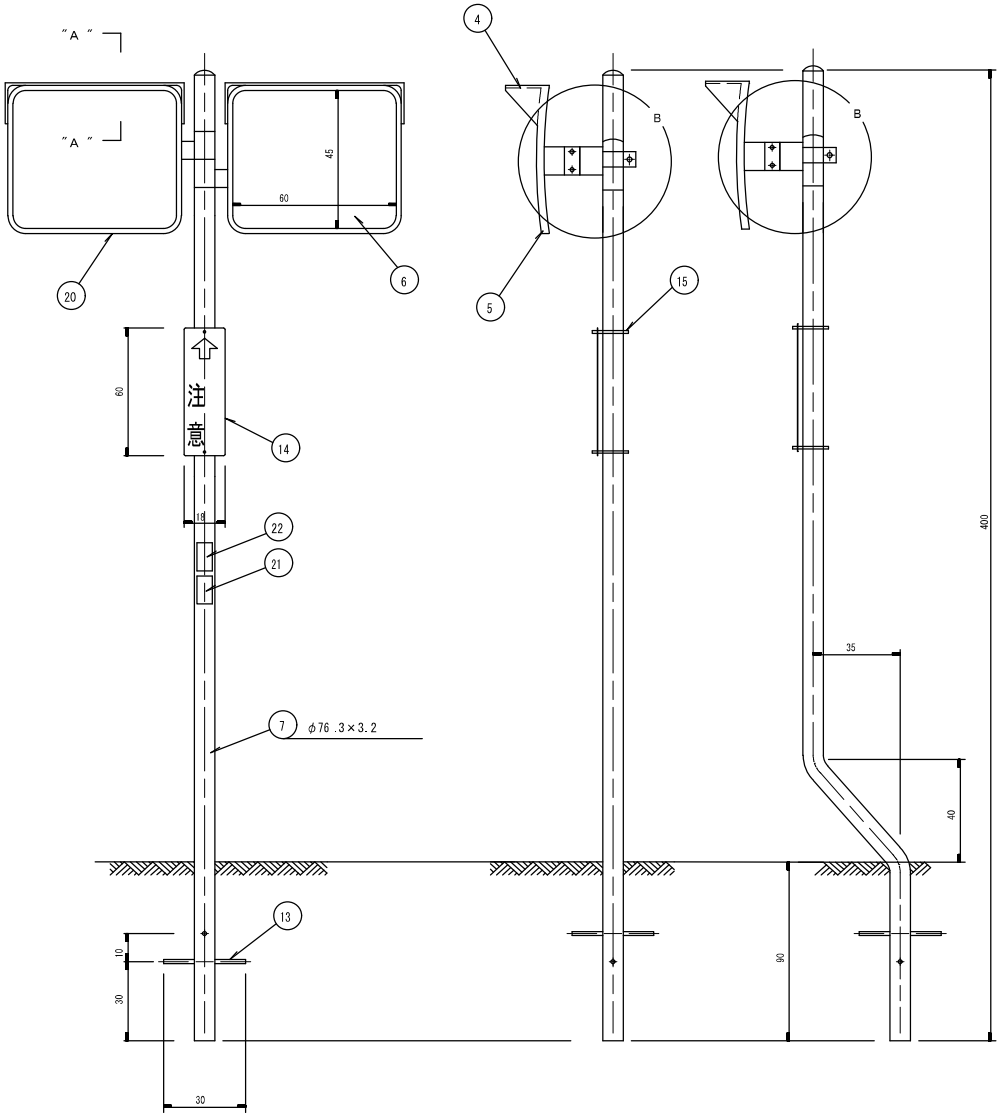
"A"ー"A"断面図　１：１

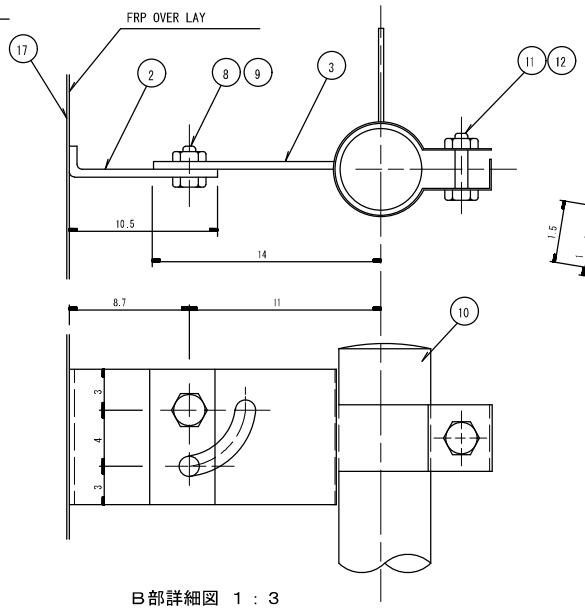
品番	名　　称	数量	材　　質	備　　考
1	カーブミラー本体	2	FRP	
2	本体取付金具	2	SS41P	Znメッキ
3	腕木取付金具	2	SS41P	Znメッキ
4	フード	2	FRP	
5	スチフナ	2	FRP	
6	鏡	2	アクリル	PCA樹脂
7	柱	1	STK41	Znメッキ
8	本体取付金具用ボルト	4	市販品	Znメッキ
9	本体取付金具用ナット	8	市販品	Znメッキ
10	腕木	2	SGP	Znメッキ
11	腕木取付金具用ボルト	4	市販品	Znメッキ
12	腕木取付金具用ナット	4	市販品	Znメッキ
13	アンカー棒	2		φ13×300
14	標識板	1	SPGC	t2.0
15	標識板取付金具	2	SUS	t0.3
16	ゴムパッキン	2	軟質ゴム	
17	本体補強金具	2	SS41P	塗装
18	スチフナ取付用平小ネジ	20	BsBM	
19	スチフナ取付用ナット	20	BsBM	
20	スチフナ取付用座金	40	BsBM	
21	設置年月日シール	1	白色反射シート	200×60
22	所属シール	1	白色反射シート	200×60

図番

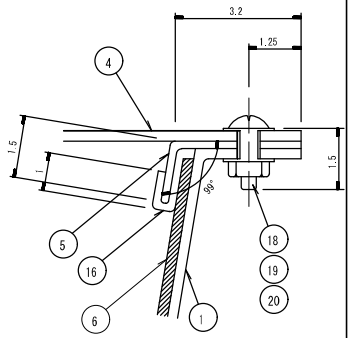
道路反射鏡（カーブミラー）設置工

二面鏡アクリル　４５０×６００





B部詳細図　１：３



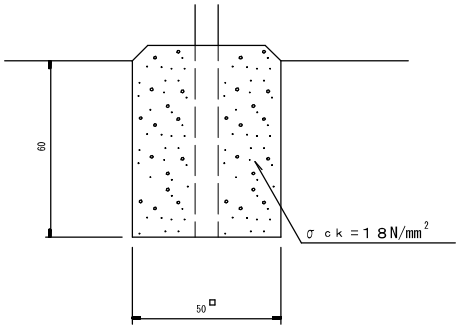
"A"—"A"断面図　１：１

品番	名　　称	数量	材　　質	備　　考
1	カーブミラー本体	2	FRP	
2	本体取付金具	2	SS41P	Znメッキ
3	腕木取付金具	2	SS41P	Znメッキ
4	フード	2	FRP	
5	スチフナ	2	FRP	
6	鏡	2	アクリル	PCA樹脂
7	柱	1	STK41	Znメッキ
8	本体取付金具用ボルト	4	市販品	Znメッキ
9	本体取付金具用ナット	4	市販品	Znメッキ
10	腕木	2	SGP	Znメッキ
11	腕木取付金具用ボルト	2	市販品	Znメッキ
12	腕木取付金具用ナット	2	市販品	Znメッキ
13	アンカー棒	2		φ13×300
14	標識板	1	SPGC	t2.0
15	標識板取付金具	2	SUS	t0.3
16	ゴムパッキン	2	軟質ゴム	
17	本体補強金具	2	SS41P	塗装
18	スチフナ取付用平小ネジ	20	BsBM	
19	スチフナ取付用ナット	20	BsBM	
20	スチフナ取付用座金	40	BsBM	
21	設置年月日シール	1	白色反射シート	200×60
22	所属シール	1	白色反射シート	200×60

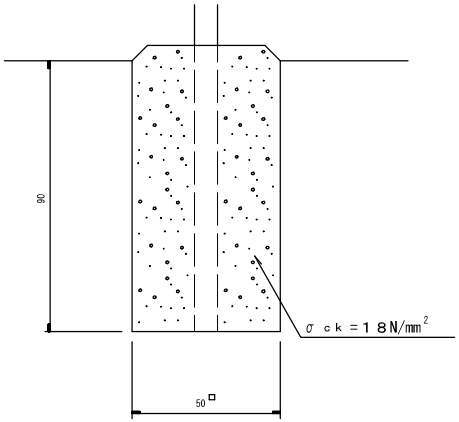
図番

道路反射鏡（カーブミラー）設置工基礎構造図　　S＝1／20

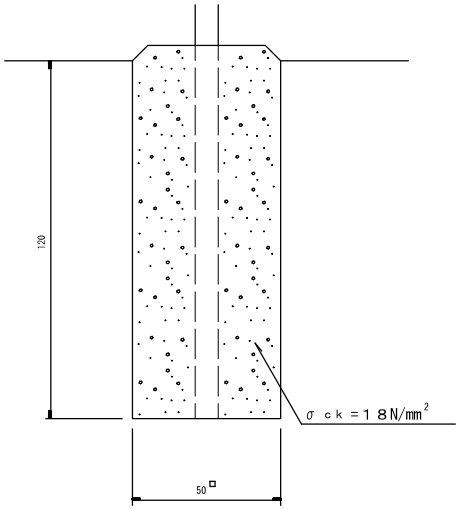
A　型



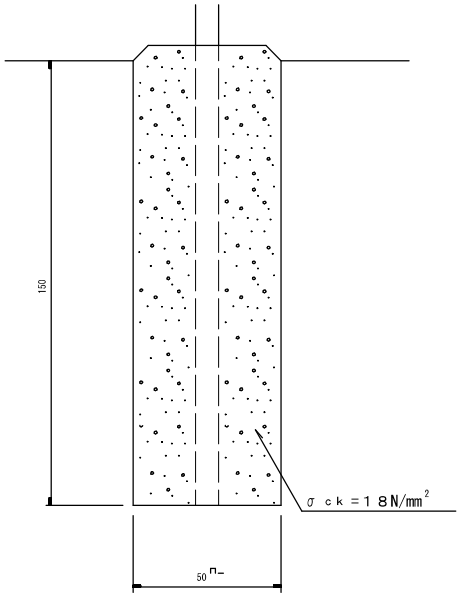
B　型



C　型



D　型



種別		基礎タイプ
アクリル	450×600　（一面）	A
	600×800　（〃）	B
	450×600　（二面）	B
	600×800　（〃）	C
ステンレス	φ600　（一面）	A
	φ800　（〃）	B
	φ1000　（〃）	C
	φ600　（二面）	B
	φ800　（〃）	C
	φ1000　（〃）	D

数　量　表

（1ヶ所当）

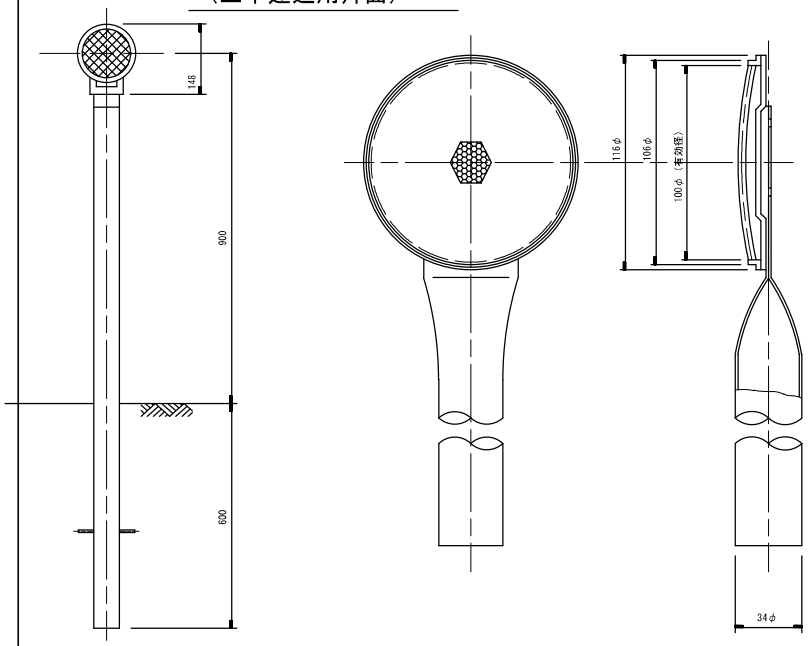
工種	型枠 m²	コンクリート m³
A　型	1.200	0.150
B　型	1.800	0.225
C　型	2.400	0.300
D　型	3.000	0.375

図番

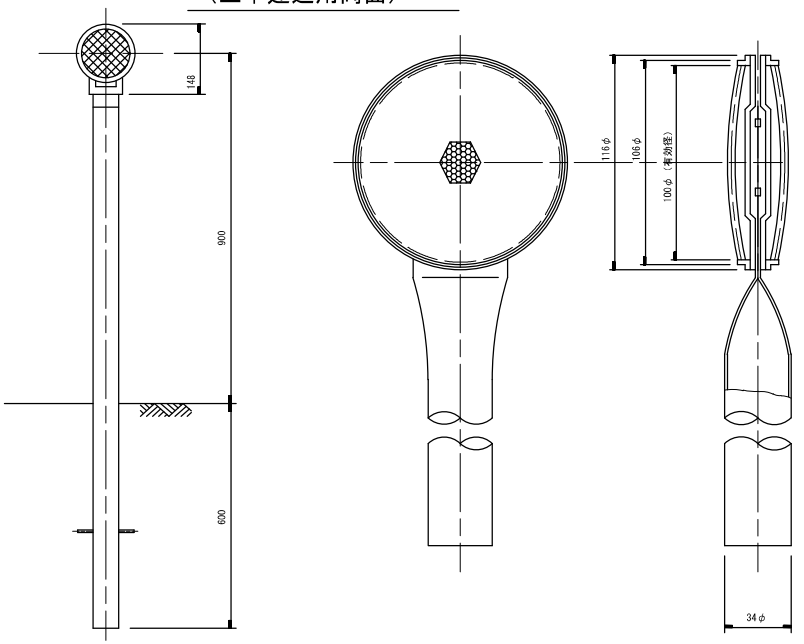
[5-2-8]

視線誘導標（デリネーター）設置工

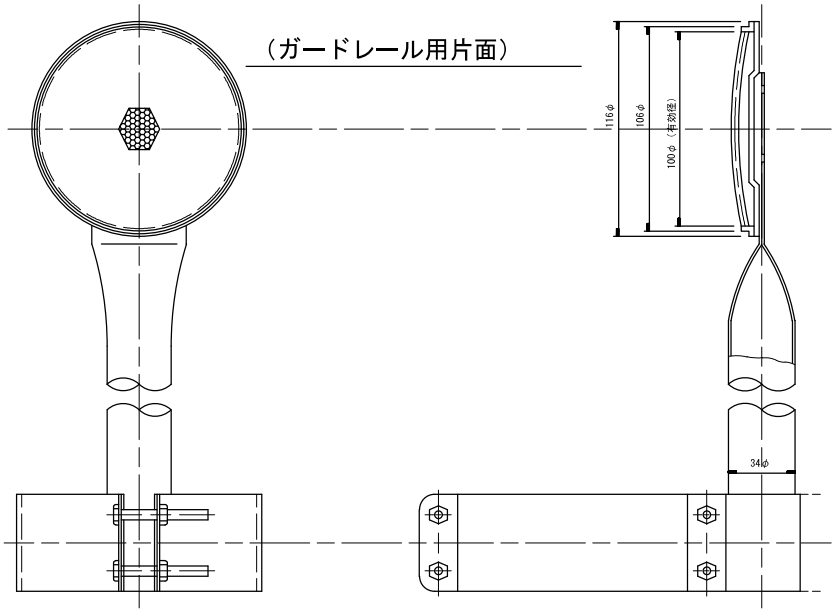
（土中建込用片面）



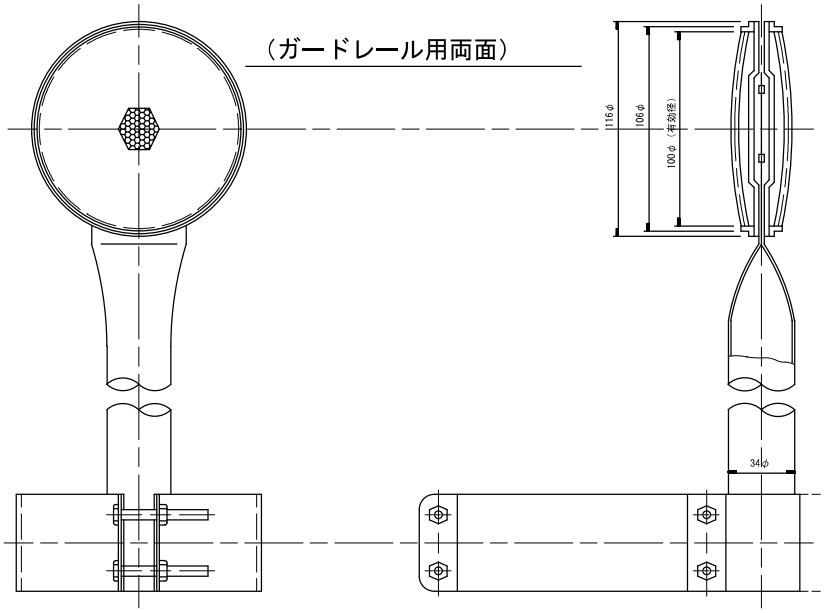
（土中建込用両面）



（ガードレール用片面）



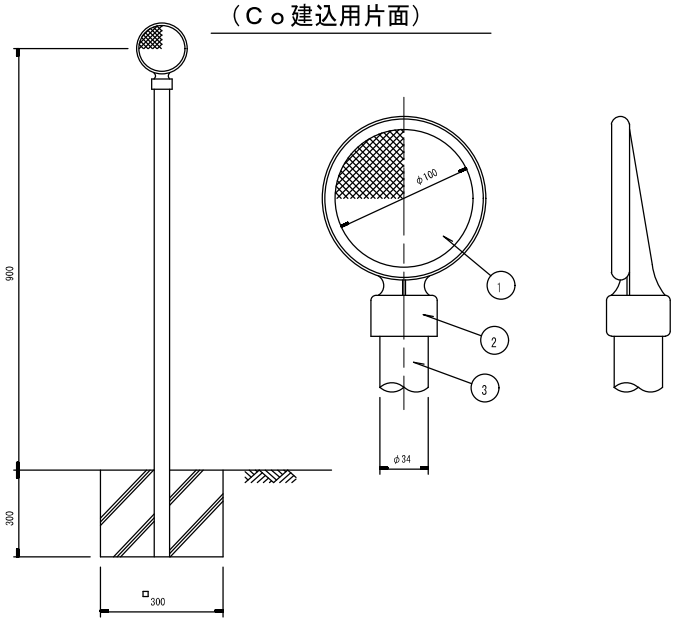
（ガードレール用両面）



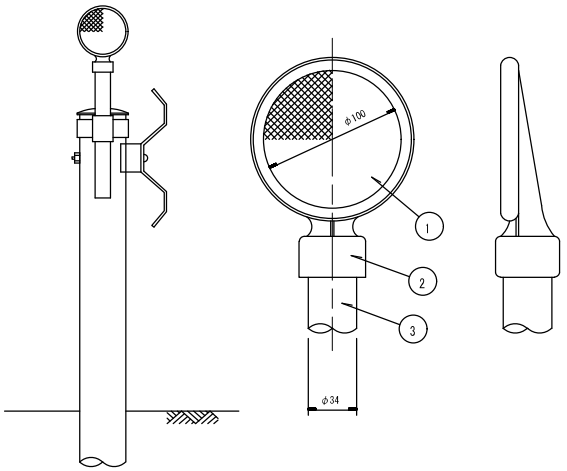
図番

視線誘導標（デリネーター）設置工

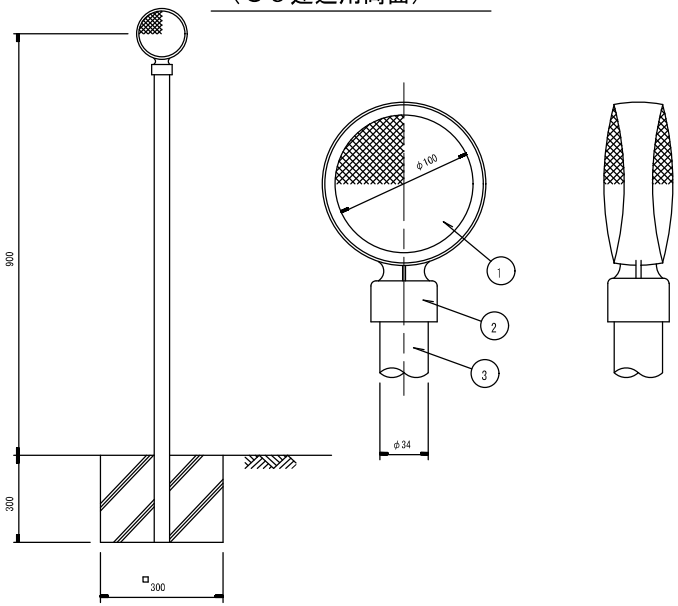
（Ｃｏ建込用片面）



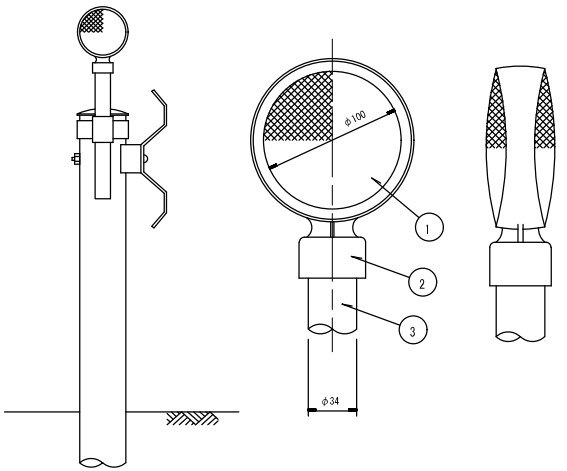
（構造物取付用片面）



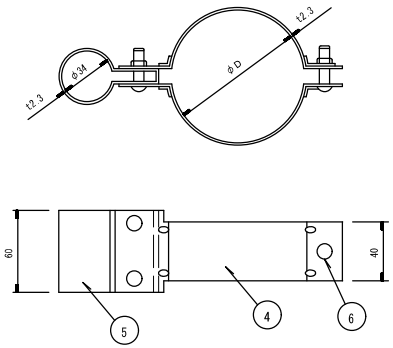
（Ｃｏ建込用両面）



（構造物取付用両面）



ガードレール取付金具標準詳細図



φD
１３９．８
１１４．３
１０１．６
８９．１

部番	名　　称
1	反射体 φ１００
2	反射体取付枠
3	支 柱 φ３４．０
4	親 金 具 φD
5	子供金具 φ３４．０
6	ボルト・ナット

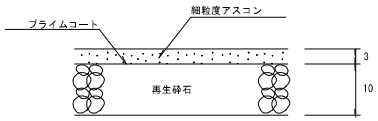
図番

注）◆設計書等で指定がない場合は、再生砕石はRC-30を使用する
◆乗入部の舗装区分
［区分①－１］普通・小型貨物自動車が乗り入れる場合
［区分②－１］普通貨物自動車（最大積載重量6.5t未満）等が乗り入れる場合
［区分②－２］大型貨物自動車（最大積載重量6.5t以上）等が乗り入れる場合

歩 道 舗 装 工
（アスファルト工・コンクリート工）

非透水

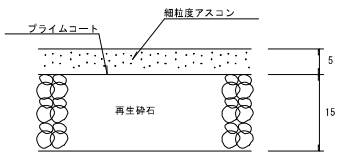
アスファルト工 一般部



※歩行者や自転車以外に、管理用車両や限定された一般車両の通行がある場合は、別途考慮する。

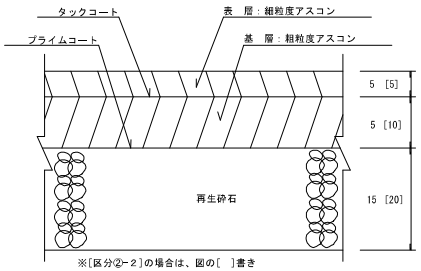
アスファルト工数量表　１００m² 当り	
細粒度アスコン	１００ m²
プライムコート	１００ m²
再 生 砕 石	別途計上

アスファルト工　乗入部［区分①－１］



アスファルト工数量表　１００m² 当り	
細粒度アスコン	１００ m³
プライムコート	１００ m²
再 生 砕 石	別途計上

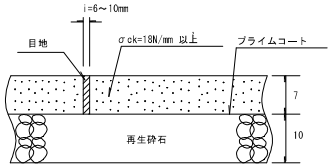
アスファルト工　乗入部　［区分②－１］・［区分②－２］



※［区分②－２］の場合は、図の［ ］書きの舗装構成とする（基層２層転圧）

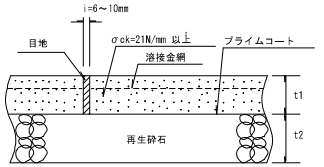
アスファルト工数量表　１００m² 当り	
細粒度アスコン	１００ m²
粗粒度アスコン	１００ m²
再生砕石	別途計上
タックコート	１００ m²
プライムコート	１００ m²

コンクリート工　一般部



コンクリート工数量表　１００m² 当り	
コンクリート	7.0～25.0m³
再 生 砕 石	別途計上
型枠、目地材	１式
養　生　材	１式
プライムコート	１００ m²

コンクリート工　乗入部

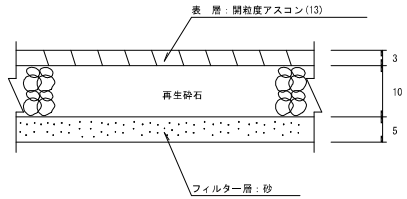


	セメントコンクリート舗装	
	コンクリート (t1)	路盤 (t2)
［区分①－１］	15	10
［区分②－１］	20	20
［区分②－２］	25	25

［注１］５mに１箇所目地を設置することを標準とする。
［注２］目地は舗装面に合わせること。
［注３］路床土は良質土を用いるものとする。
［注４］乗入部の舗装厚は出入りする車種の最大のものを適用する。
［注５］乗入部には、表面から版厚の約1/3(15cmの版厚の場合は版の中央)の位置に鉄網(異形鉄線溶接金網CD6、網目15cm×15cm、JIS G 3551)を設置する。

透　水

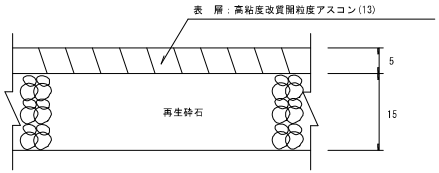
透水性アスファルト工 一般部



※歩行者や自転車以外に、管理用車両や限定された一般車両の通行がある場合は、別途考慮する。

透水性アスファルト工数量表　１００m³ 当り	
開粒度アスコン	１００ m³
再生砕石	別途計上
砂	5.0m³

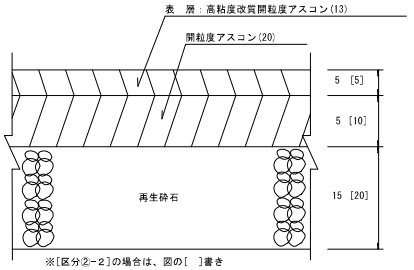
透水性アスファルト工 乗入部【区分①－１】



※細粒度５ｃｍを透水性アスファルト混合物に変えて、特にフィルター層は設けない構造とする。
また、開粒度アスファルトは骨材飛散がみられるため、高粘度改質開粒度アスファルトを使用する。

透水性アスファルト工数量表　１００m² 当り	
高粘度改質開粒度アスコン	１００ m³
再生砕石	別途計上

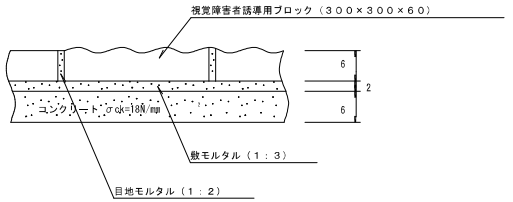
透水性アスファルト工 乗入部 【区分②－１】・【区分②－２】



※［区分②－２］の場合は、図の［ ］書きの舗装構成とする（基層２層転圧）

透水性アスファルト工数量表　１００m² 当り	
高粘度改質開粒度アスコン	１００ m²
開粒度アスコン	１００ m²
再生砕石	別途計上

視覚障害者誘導用ブロック工 （３００×３００×６０）



視覚障害者誘導用ブロック工数量表　１００枚当り	
視覚障害者誘導用ブロック	１００ 枚
敷モルタル	0.189 m³
目地モルタル	0.027 m³
コンクリート	0.567 m³
型　　枠	1.932 m²

※視覚障害者誘導用ブロックの輝度比を確保するため、コンクリート工で囲うことは行わない
※視覚障害者誘導用ブロックは原則、透水性のものは使用しない

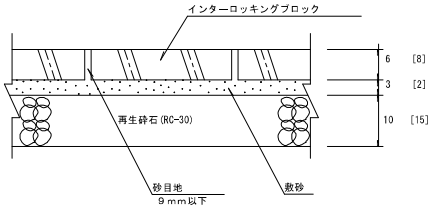
図番

注）◆設計書等で指定がない場合は、再生砕石はRC-30を使用する
◆乗入部の舗装区分
[区分①-１]普通・小型貨物自動車が乗り入れる場合
[区分①-２]普通・小型貨物自動車の交通量が多い（駐車場など）、又はインロクの破損が懸念される場合
[区分②-１]普通貨物自動車（最大積載重量6.5t未満）等が乗り入れる場合
[区分②-２]大型貨物自動車（最大積載重量6.5t以上）等が乗り入れる場合

歩 道 舗 装 工
（インターロッキング舗装工）

非透水

一般部　乗入部　［区分①-１］



※[　]書きは、乗入部[区分①-１]

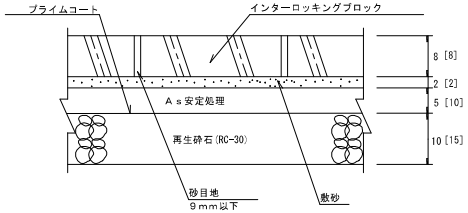
一般部

インターロッキングブロック舗装工数量表	１００ｍ²当り
インターロッキングブロック	１００ ｍ²
敷材料(砂)	３．８７０ ｍ³
再生砕石	別途計上

乗入部　［区分①-１］

インターロッキングブロック舗装工数量表	１００ｍ²当り
インターロッキングブロック	１００ ｍ²
敷材料(砂)	２．５８０ ｍ³
再生砕石	別途計上

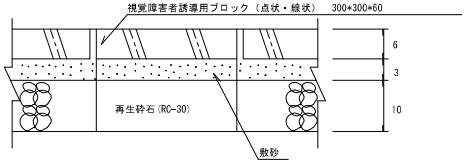
乗入部
［区分①-２］・［区分②-１］・［区分②-２］



※［区分②-１］及び［区分②-２］の場合は、コンクリート舗装、又は、
図の［　］書きの舗装構成とする

インターロッキングブロック舗装工数量表	１００ｍ²当り
インターロッキングブロック	１００ ｍ²
敷材料(砂)	２，５８０ ｍ³
アスファルト安定処理材	１００ ｍ²
再生砕石	別途計上
プライムコート	１００ ｍ²

視覚障害者誘導用ブロック

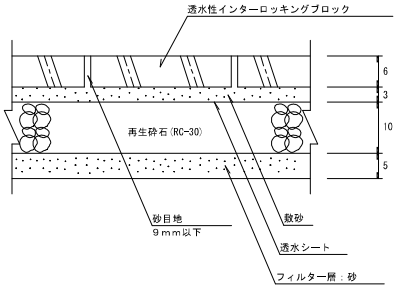


※乗入部の構造はインロクの場合（区分①-1、①-2、②-1、②-2）と同等とする。

視覚障害者誘導用ブロック工数量表	１００枚当り
視覚障害者誘導用ブロック	１００ 枚
敷材料(砂)	０．３６６ ｍ³
再生砕石	別途計上

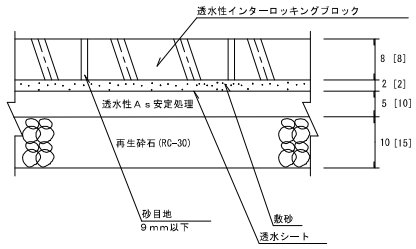
透 水

一　般　部



透水性ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ工数量表　１００m²当り	
透水性ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ	１００ ｍ²
敷材料(砂)	３，８７０ ｍ³
透水シート	１００ ｍ²
再生砕石	別途計上
フィルター層(砂)	５，０００ ｍ³

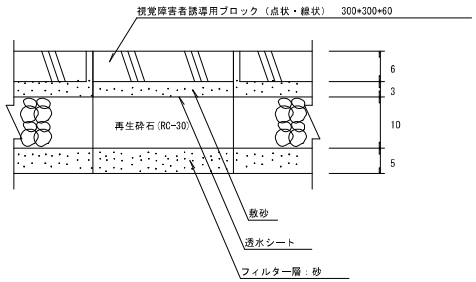
乗入部
［区分①-１］・［区分①-２］・［区分②-１］・［区分②-２］



※［区分②-１］及び［区分②-２］の場合は、コンクリート舗装、又は、
図の［　］書きの舗装構成とする

透水性ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ舗装工数量表　１００m²当り	
透水性ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ	１００ ｍ²
敷材料(砂)	２，５８０ ｍ³
透水シート	１００ ｍ²
透水性アスファルト安定処理材	１００ ｍ²
再生砕石	別途計上

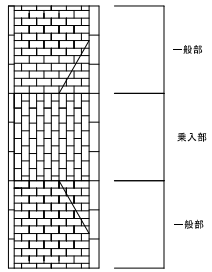
視覚障害者誘導用ブロック

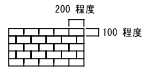


※乗入部の構造は、インロクの場合（区分①-1、①-2、②-1、②-2）と同等とする

視覚障害者誘導用ブロック工数量表	１００枚当り
視覚障害者誘導用ブロック	１００ 枚
敷材料(砂)	０．３６６ ｍ³
透水シート	９．４４９ ｍ²
再生砕石	別途計上
フィルター層(砂)	０．４７２ ｍ³

インターロッキングブロック敷設パターン





※乗入部の敷設パターンは横断方
向に目地が通らないように注
意すること

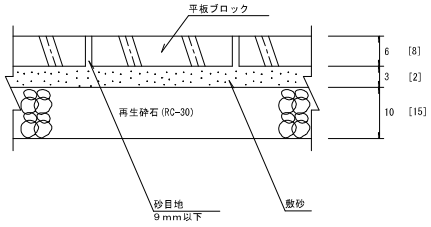
図番

注）◆設計書等で指定がない場合は、再生砕石はRC-30を使用する
◆乗入部の舗装区分
[区分①-１]普通・小型貨物自動車が乗り入れる場合
[区分①-２]普通・小型貨物自動車の交通量が多い（駐車場など）、又はインロクの破損が懸念される場合
[区分②-１]普通貨物自動車（最大積載重量6.5t未満）等が乗り入れる場合
[区分②-２]大型貨物自動車（最大積載重量6.5t以上）等が乗り入れる場合

歩 道 舗 装 工
（平板ブロック舗装工）

非透水

一般部　乗入部　［区分①-１］



※［ ］書きは、乗入部[区分①-１]

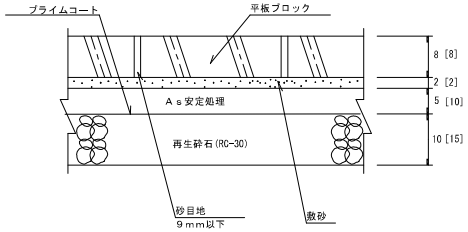
一般部

平板ブロック工数量表　１００㎡　当り	
平板ブロック	１０６２　枚
敷材料(砂)	３．８７０㎥
再生砕石	別途計上

乗入部　［区分①-１］

平板ブロック工数量表　１００㎡　当り	
平板ブロック	１０６２　枚
敷材料(砂)	２．５８０㎥
再生砕石	別途計上

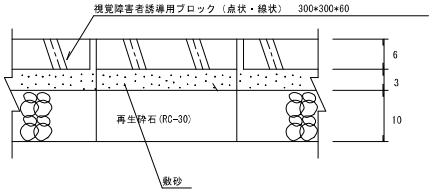
乗入部
［区分①-２］・［区分②-１］・［区分②-２］



※［区分②-１］及び［区分②-２］の場合は、コンクリート舗装、又は、図の［ ］書きの舗装構成とする

平板ブロック工数量表　１００㎡　当り	
平板ブロック	１０６２　枚
敷材料(砂)	２．５８０㎥
アスファルト安定処理材	１００㎡
再生砕石	別途計上
プライムコート	１００㎡

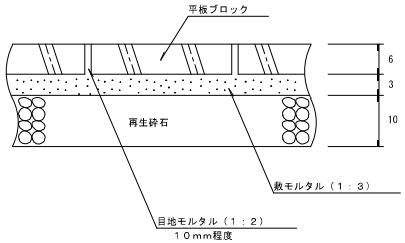
視覚障害者誘導用ブロック



※乗入部の構造は、平板ブロックの場合（区分①-1、①-2、②-1、②-2）と同等とする

視覚障害者誘導用ブロック工数量表　１００枚当り	
視覚障害者誘導用ブロック	１００　枚
敷材料(砂)	０．３６６㎥
再生砕石	別途計上

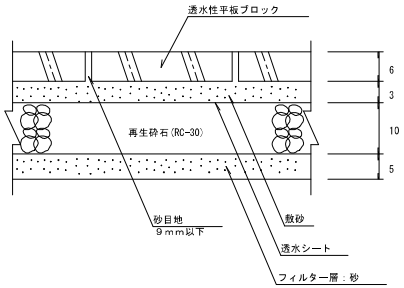
コンクリート平板舗装工



ｺﾝｸﾘｰﾄ平板舗装工数量表　１００㎡　当り	
平板ブロック	１，０６２ 枚
モ ル タ ル	３．４２㎥
再 生 砕 石	別途計上

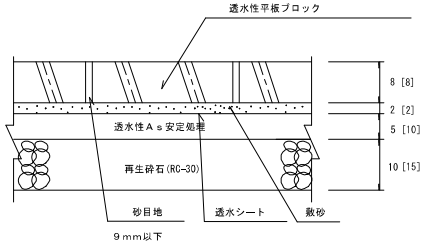
透 水

一　般　部



透水性平板ブロック工数量表　１００㎡　当り	
透水性平板ブロック	１０６２　枚
敷材料(砂)	３，８７０㎥
透水シート	１００㎡
再生砕石	別途計上
フィルター層(砂)	５，０００㎥

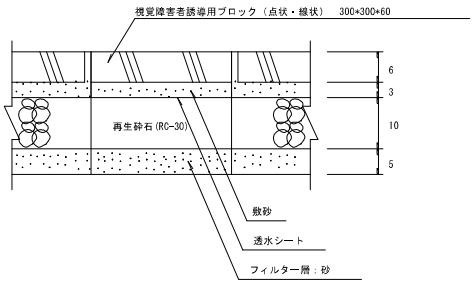
乗入部
［区分①-１］・［区分①-２］・［区分②-１］・［区分②-２］



※［区分②-１］及び［区分②-２］の場合は、コンクリート舗装、又は、図の［ ］書きの舗装構成とする

透水性平板ブロック工数量表　１００㎡　当り	
透水性平板ブロック	１０６２　枚
敷材料(砂)	２．５８０㎥
透水シート	１００㎡
透水性アスファルト安定処理材	１００㎡
再生砕石	別途計上

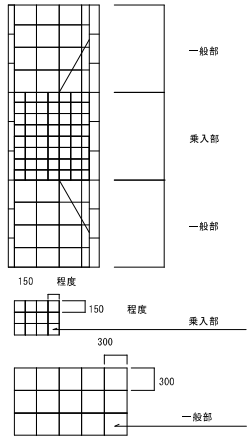
視覚障害者誘導用ブロック



※乗入部の構造は、平板ブロックの場合（区分①-1、①-2、②-1、②-2）と同等とする

視覚障害者誘導用ブロック工数量表　１００枚当り	
視覚障害者誘導用ブロック	１００　枚
敷材料(砂)	０．３６６㎥
透水シート	９．４４９㎡
再生砕石	別途計上
フィルター層(砂)	０．４７２㎥

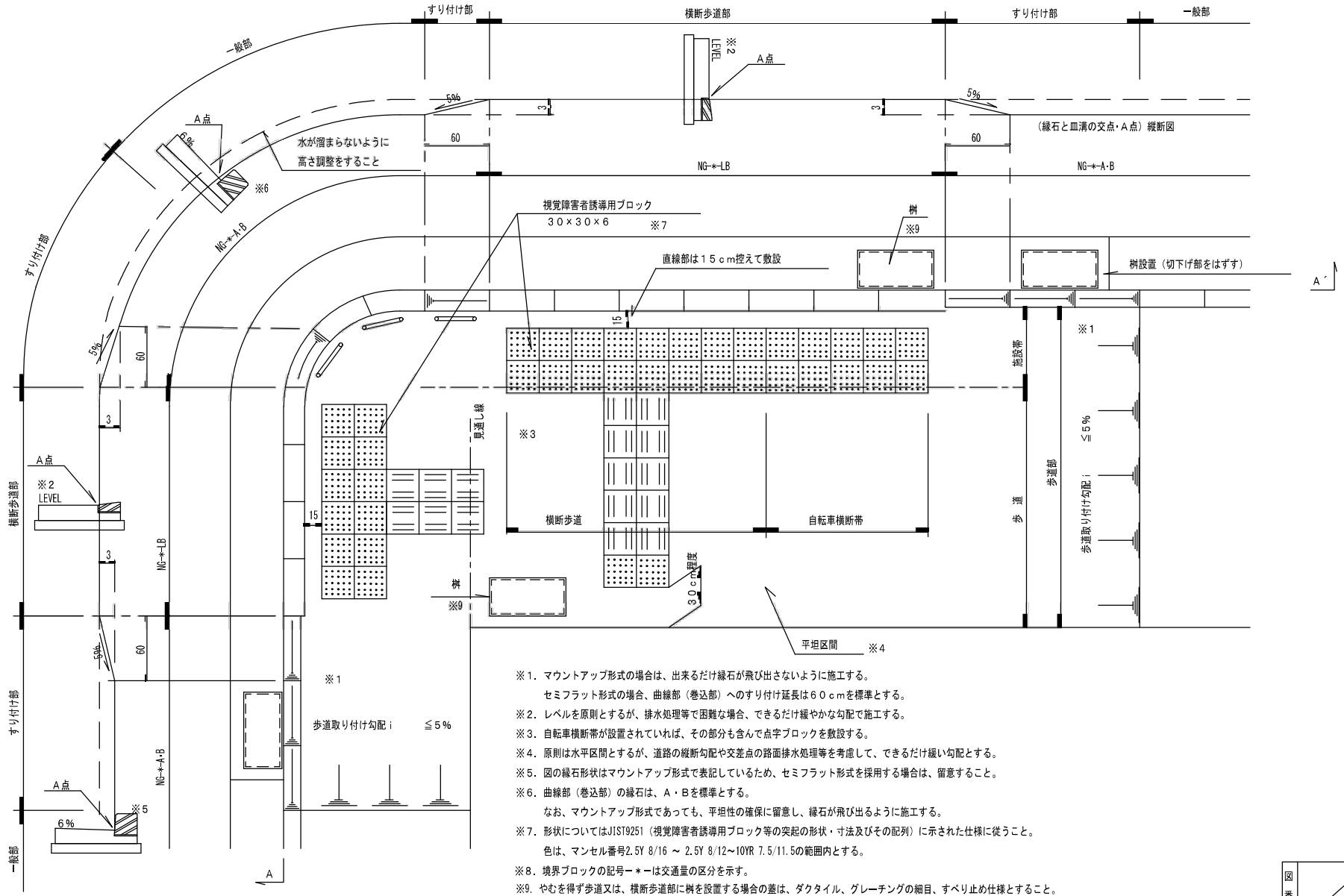
平板ブロック　敷設パターン



※乗入部に使用する平板ブロックは150×150程度の小ブロックを採用することが望ましい

図番

歩道切下げ部標準図（1）　S＝1：40

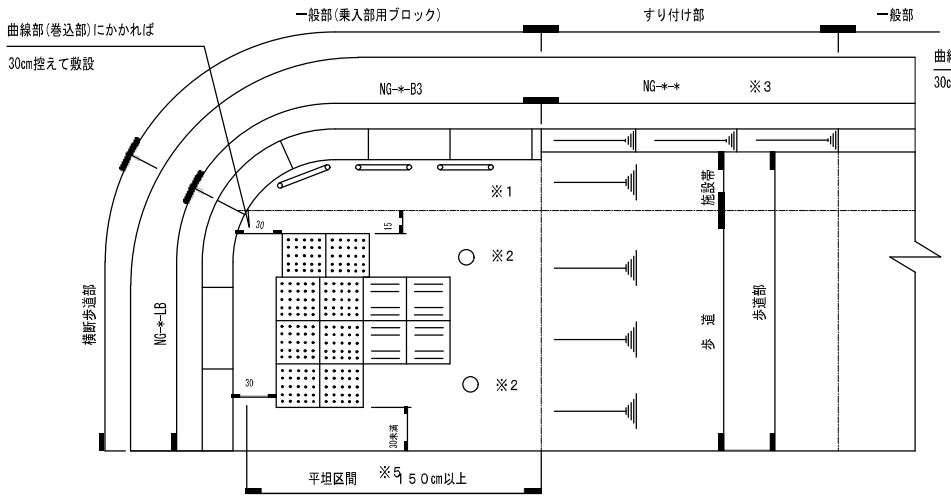


※1．マウントアップ形式の場合は、出来るだけ縁石が飛び出さないように施工する。
　　セミフラット形式の場合、曲線部（巻込部）へのすり付け延長は６０ｃｍを標準とする。
※2．レベルを原則とするが、排水処理等で困難な場合、できるだけ緩やかな勾配で施工する。
※3．自転車横断帯が設置されていれば、その部分も含んで点字ブロックを敷設する。
※4．原則は水平区間とするが、道路の縦断勾配や交差点の路面排水処理等を考慮して、できるだけ緩い勾配とする。
※5．図の縁石形状はマウントアップ形式で表記しているため、セミフラット形式を採用する場合は、留意すること。
※6．曲線部（巻込部）の縁石は、Ａ・Ｂを標準とする。
　　なお、マウントアップ形式であっても、平坦性の確保に留意し、縁石が飛び出るように施工する。
※7．形状についてはJIST9251（視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列）に示された仕様に従うこと。
　　色は、マンセル番号2.5Y 8/16 ～ 2.5Y 8/12～10YR 7.5/11.5の範囲内とする。
※8．境界ブロックの記号ー＊ーは交通量の区分を示す。
※9．やむを得ず歩道又は、横断歩道部に桝を設置する場合の蓋は、ダクタイル、グレーチングの細目、すべり止め仕様とすること。

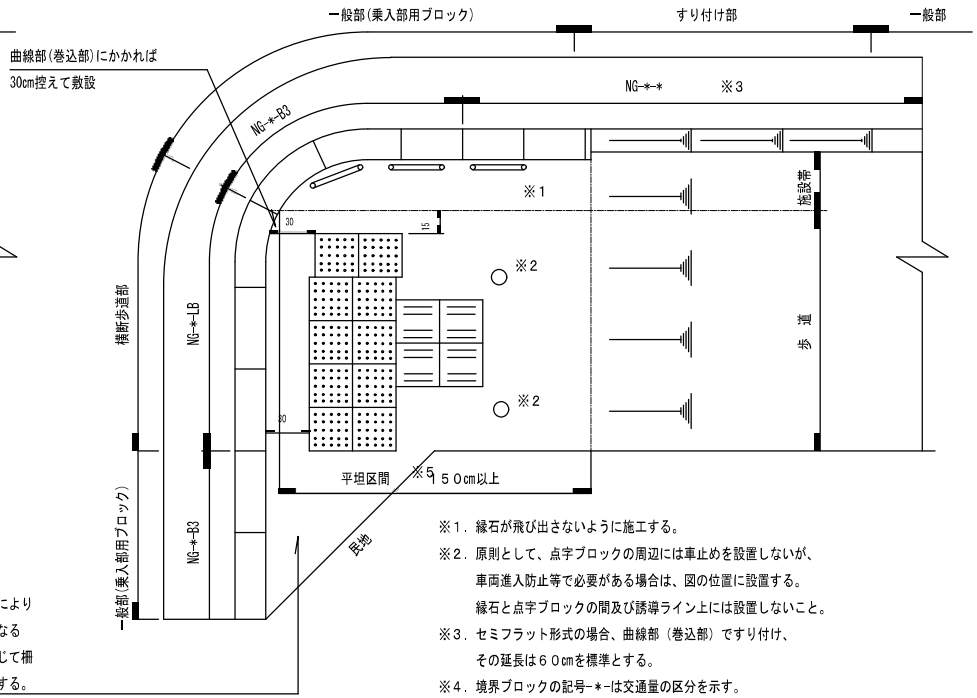
図番

歩道切下げ部標準図（2）

平面図　S＝1：40

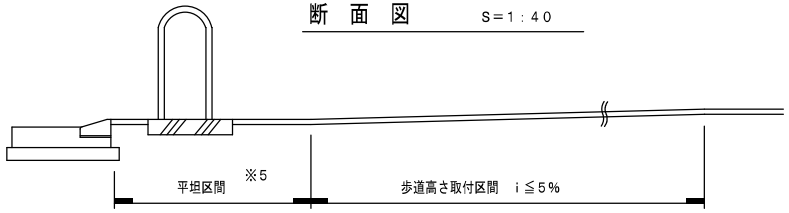


平面図　S＝1：40



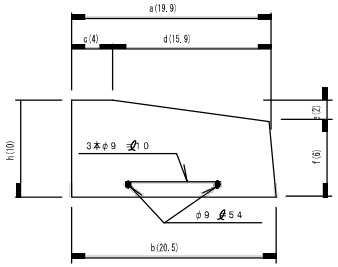
民地の構造物等により
車両より死角となる
場合は必要に応じて柵
等の設置を検討する。

断面図　S＝1：40



※1．縁石が飛び出さないように施工する。
※2．原則として、点字ブロックの周辺には車止めを設置しないが、
車両進入防止等で必要がある場合は、図の位置に設置する。
縁石と点字ブロックの間及び誘導ライン上には設置しないこと。
※3．セミフラット形式の場合、曲線部（巻込部）ですり付け、
その延長は６０cmを標準とする。
※4．境界ブロックの記号-*-は交通量の区分を示す。
※5．平坦区間とはできる限り平ら（縦断勾配を付さない構造）で、かつ、
車いす使用者が転回する際に支障となる柵や標識などが存在しない
区間をいう。

縁石ブロック　S＝1：6



許容差 (mm)	a.c.e	b.h. ℓ
	±2	±3

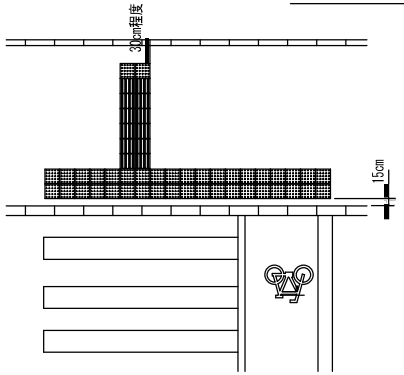
色調ーマンセル番号１０ＧＹ 8/4～１０ＧＹ ６　　.5/6の範囲内とする。
品質ー平板の強度はＪＩＳ Ａ ５３０７（コンクリート境界ブロック）の
６．１に規定する曲げ試験を行った場合は、破壊荷重は９００ｋｇ
以上とする。

図番

視覚障害者誘導用ブロック設置工（1）

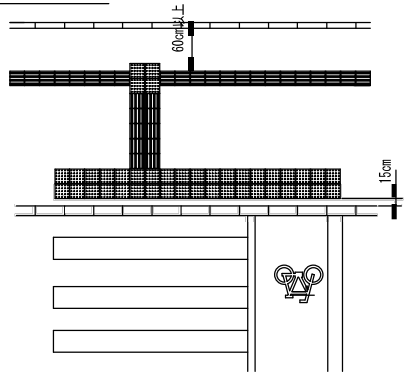
横断部の敷設

歩道幅員が広い場合



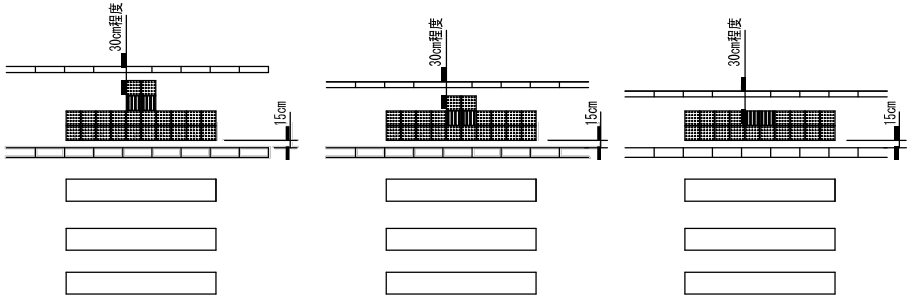
継続的直線歩行を案内していない場合

※



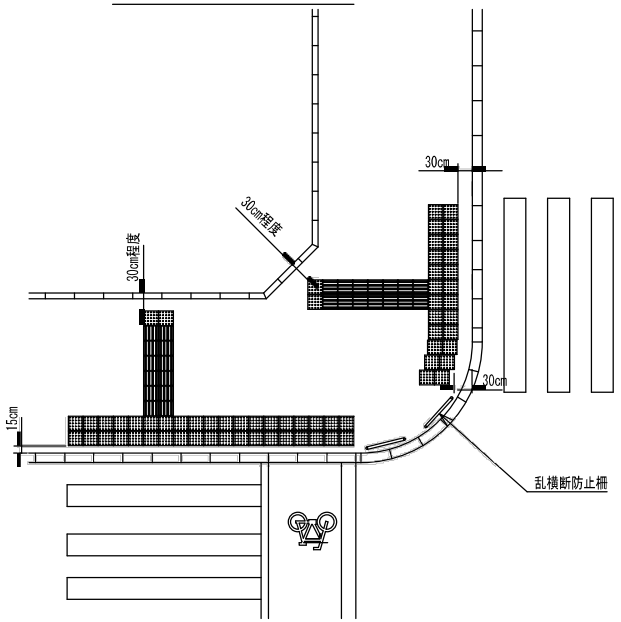
継続的直線歩行を案内している場合
※1.0～2.0m程度確保することが望ましい。

歩道幅員が狭い場合

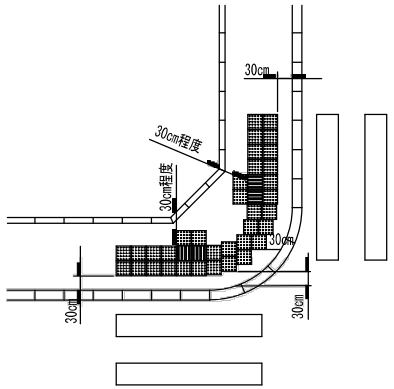


歩道巻き込み部の敷設

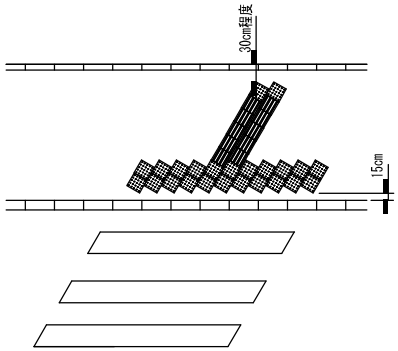
歩道幅員が広い場合



歩道幅員が狭い場合



横断歩道歩道が斜めの場合の敷設



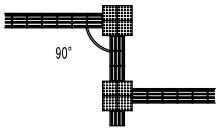
図番

[5-3-6]

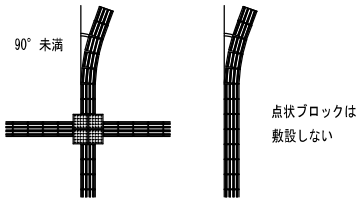
視覚障害者誘導用ブロック設置工（２）

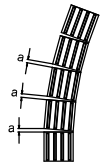
方向が変わる誘導ラインの敷設

（イ）９０°



（ロ）９０°未満

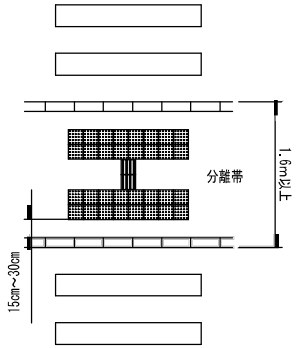




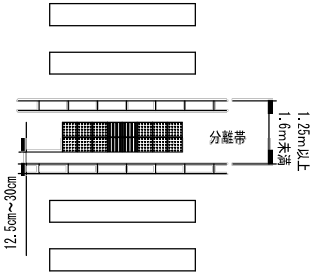
a：10cm以下

分離帯部の敷設

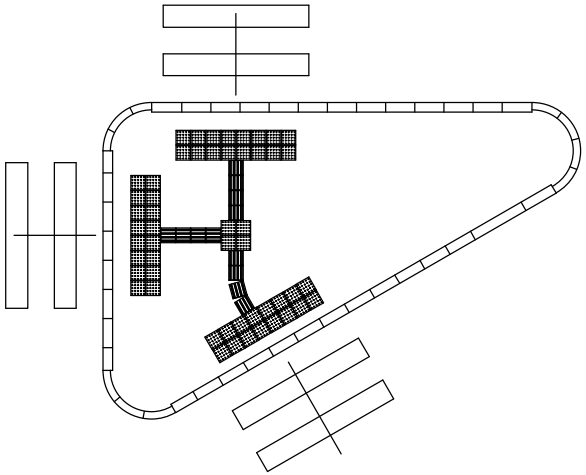
分離帯幅員　W　　≦1.60m



分離帯幅員　1.25m　　≦W＜1.60m

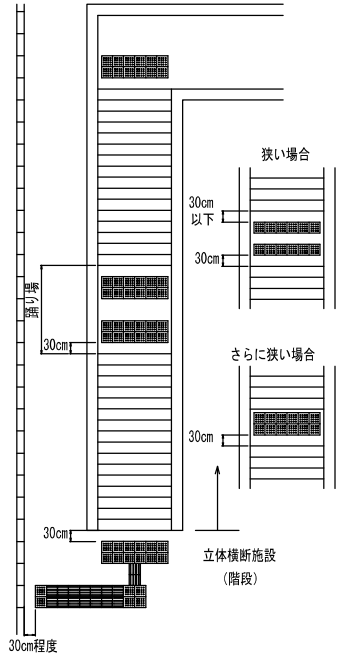


広い分離帯の場合

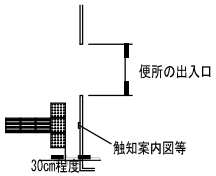


※点状ブロックはできる限り２列ずつ敷設すること。

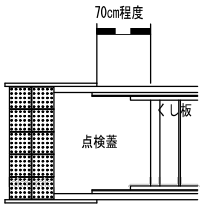
立体横断施設部等の敷設



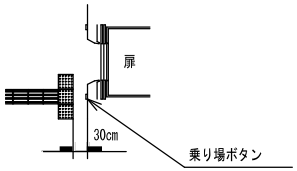
便所の敷設方法



エスカレータの敷設方法



エレベーター乗り場の敷設

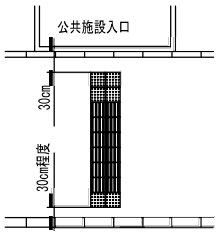


図番

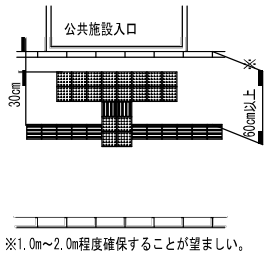
視覚障害者誘導用ブロック設置工（3）

公共施設出入口部の敷設

道路との境界に扉等の構造物がある場合



継続的直線歩行を案内していない場合

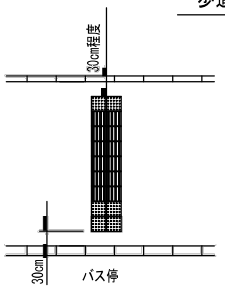


※1.0m～2.0m程度確保することが望ましい。

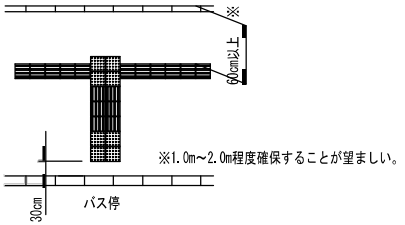
継続的直線歩行を案内している場合

バス停車場部の敷設

歩道が広い場合



継続的直線歩行を案内していない場合



継続的直線歩行を案内している場合

※公共施設出入口部が階段である場合などは、現地の状況に応じて、
適宜点状ブロックの設置幅を工夫すること。

図番

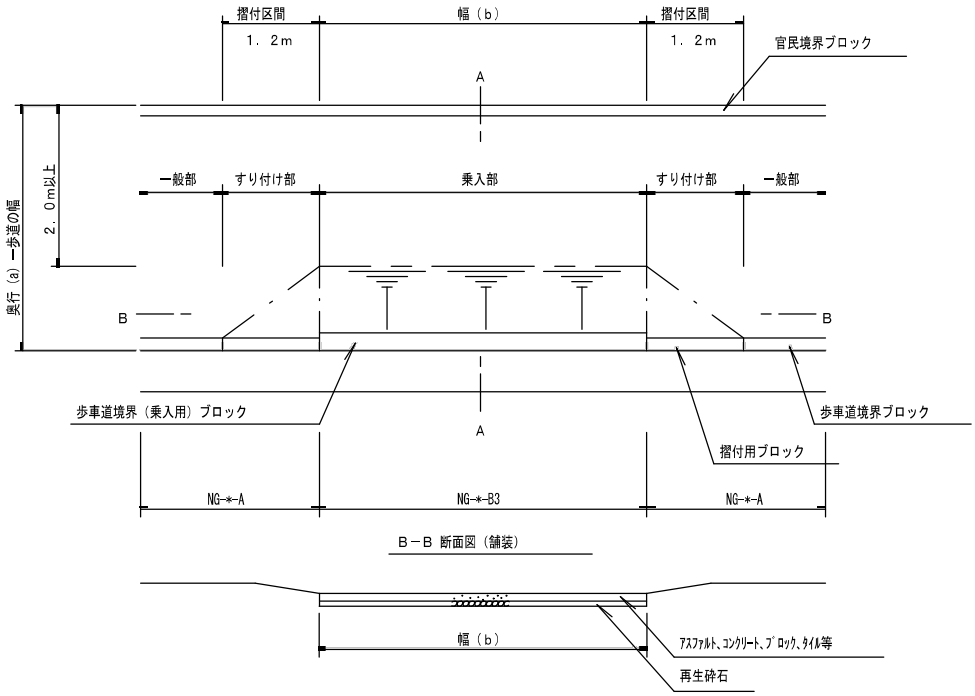
歩道乗入部　平面図　①

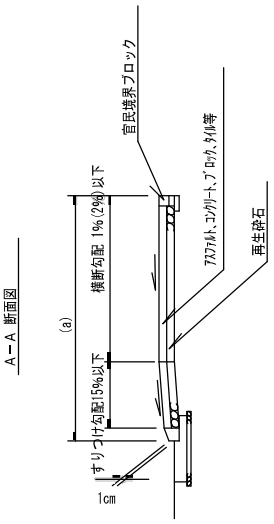
（マウントアップ形式で残幅員が有効で２．０m以上ある場合）

〔A 型 ブ ロ ッ ク〕

※ガソリンスタンド、路外駐車場、店舗、工事等（営業用）に出入りし、乗入れ回数が
　頻繁な場合、コンクリート舗装のうえ縁石ブロックをいれること。

※上記以外においても、必要に応じて縁石ブロックを入れることができる。





A－A 断面図

B－B 断面図（舗装）

※なお、縁石のすり付け延長は６０ｃｍを標準とする。
※境界ブロックの記号－＊－は交通量の区分を示す。

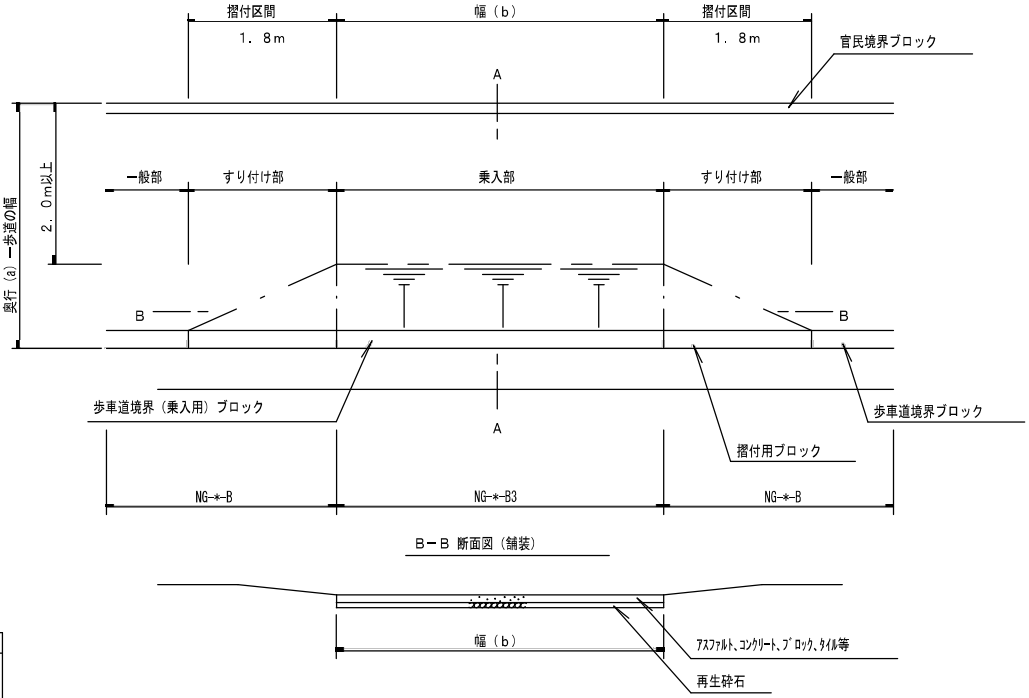
歩道乗入部　平面図　②

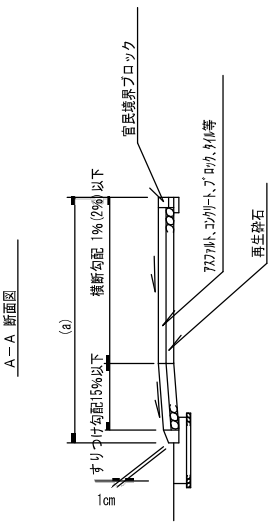
（マウントアップ形式で残幅員が有効で２．０m以上ある場合）

〔B 型 ブ ロ ッ ク〕

※ガソリンスタンド、路外駐車場、店舗、工事等（営業用）に出入りし、乗入れ回数が
　頻繁な場合、コンクリート舗装のうえ縁石ブロックをいれること。

※上記以外においても、必要に応じて縁石ブロックを入れることができる。





A－A 断面図

B－B 断面図（舗装）

※なお、縁石のすり付け延長は６０ｃｍを標準とする。
※境界ブロックの記号－＊－は交通量の区分を示す。

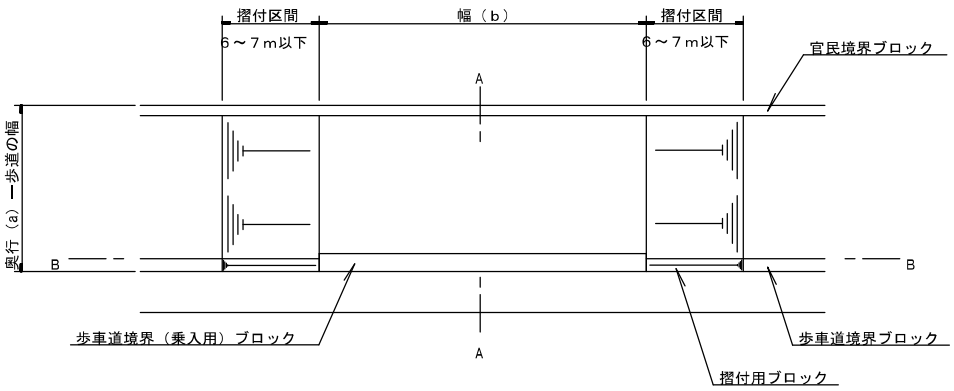
単 図

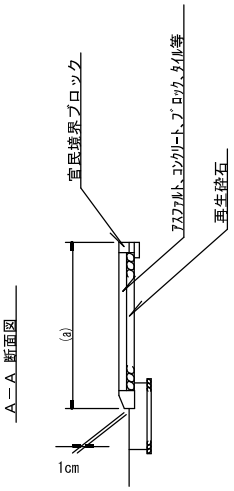
[6-5-3]

歩道乗入部　平面図　③

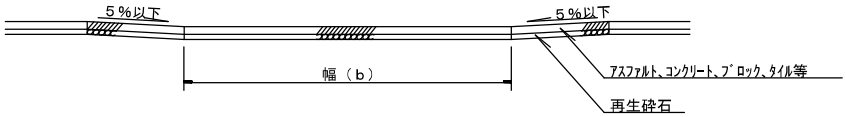
（マウントアップ形式で、残幅員が有効で２．０ｍ以上とれない場合）

〔Ａ 型 ブ ロ ッ ク〕

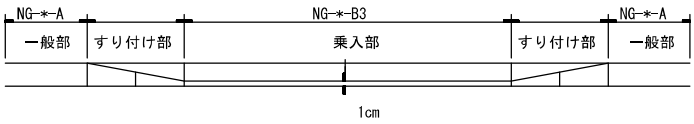




Ｂ－Ｂ 断面図（舗装）



Ｂ－Ｂ 断面図（歩車道境界Ａ型ブロック）

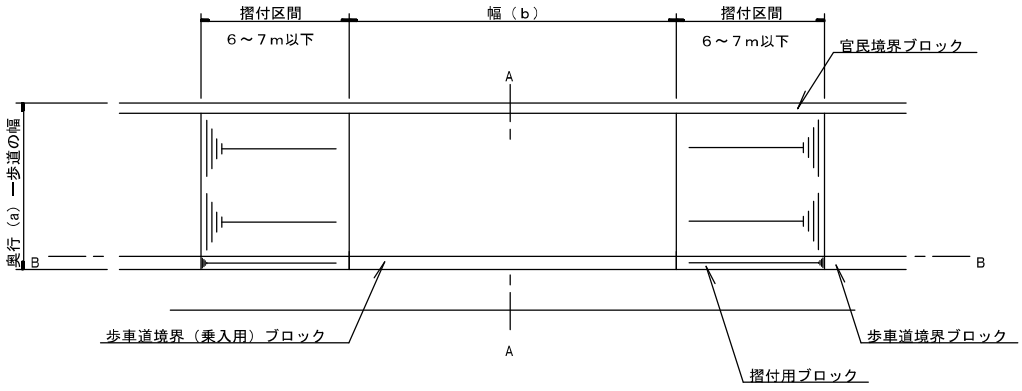


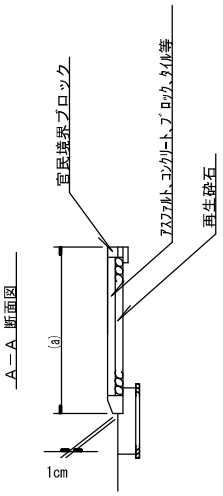
※すりつけ部の縁石は出来るだけ飛び出ないよう施工すること。
　ただし、すりつけ延長が長くなる場合はこの限りでない。

歩道乗入部　平面図　④

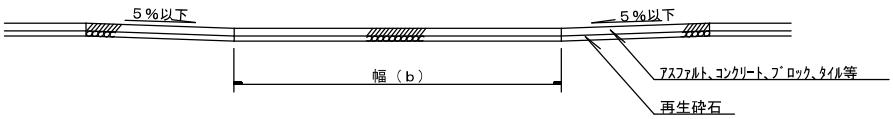
（マウントアップ形式で残幅員が有効で２．０ｍ以上とれない場合）

〔Ｂ 型 ブ ロ ッ ク〕

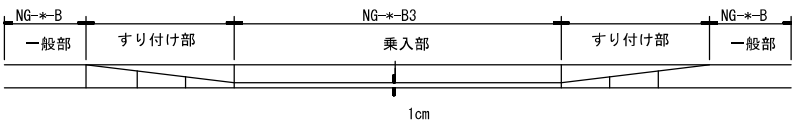




Ｂ－Ｂ 断面図（舗装）



Ｂ－Ｂ 断面図（歩車道境界Ｂ型ブロック）



※すりつけ部の縁石は出来るだけ飛び出ないよう施工すること。
　ただし、すりつけ延長が長くなる場合はこの限りでない。

図番

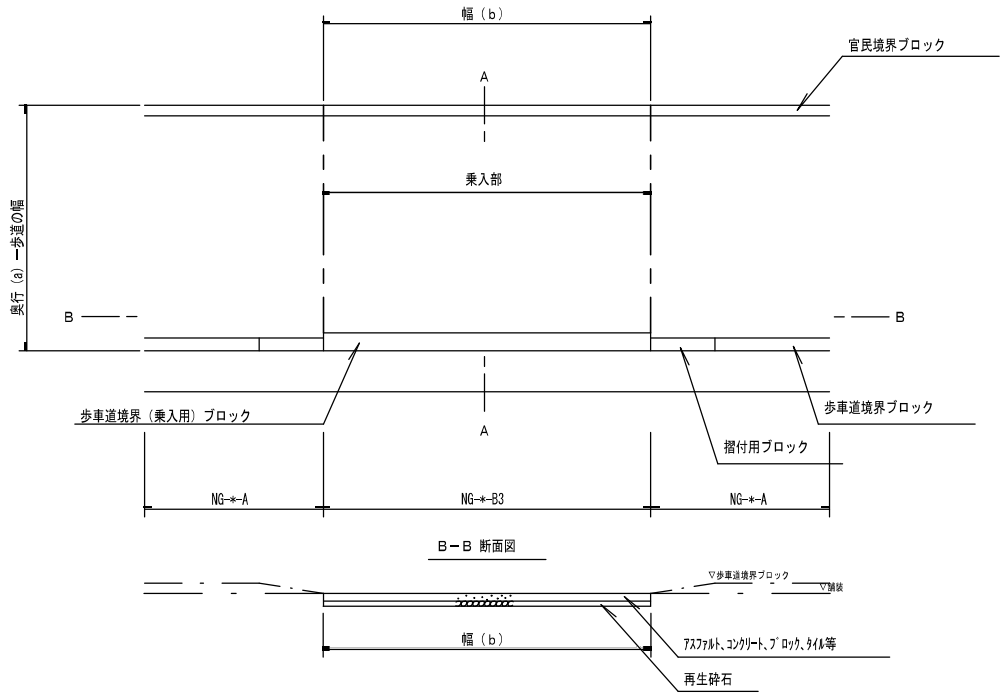
[S-3-10]

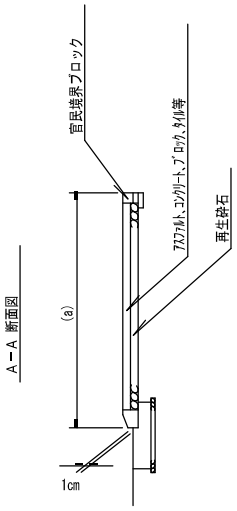
歩道乗入部　平面図　⑤　（セミフラット形式）

〔A 型 ブ ロ ッ ク〕

※ガソリンスタンド、路外駐車場、店舗、工事等（営業用）に出入りし、乗入れ回数が
　頻繁な場合、コンクリート舗装のうえ縁石ブロックをいれること。

※上記以外においても、必要に応じて縁石ブロックを入れることができる。





A－A 断面図

B－B 断面図

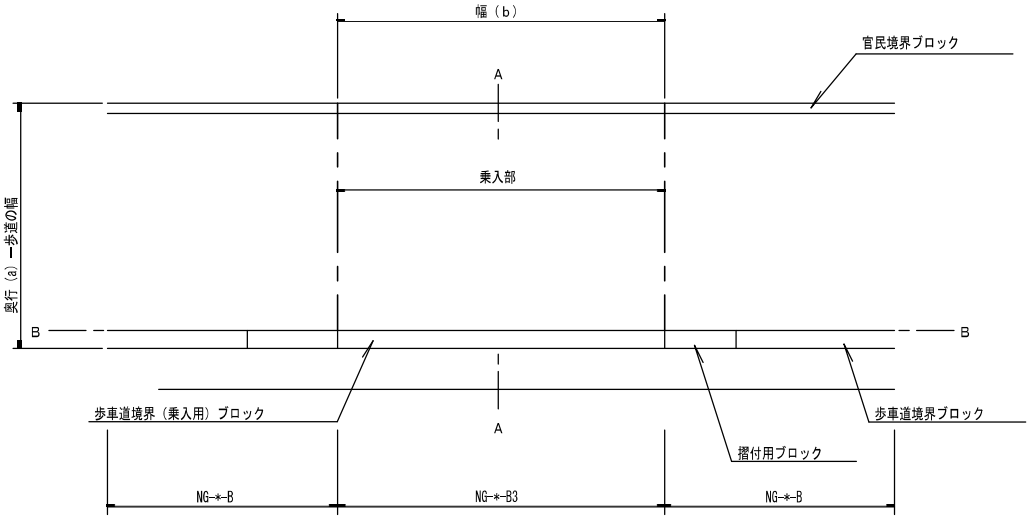
※なお、縁石のすり付け延長は６０ｃｍを標準とする。
※境界ブロックの記号－＊－は交通量の区分を示す。

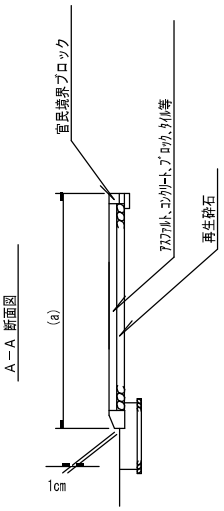
歩道乗入部　平面図　⑥　（セミフラット形式）

〔B 型 ブ ロ ッ ク〕

※ガソリンスタンド、路外駐車場、店舗、工事等（営業用）に出入りし、乗入れ回数が
　頻繁な場合、コンクリート舗装のうえ縁石ブロックをいれること。

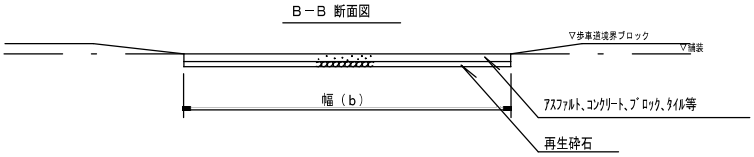
※上記以外においても、必要に応じて縁石ブロックを入れることができる。





A－A 断面図

B－B 断面図

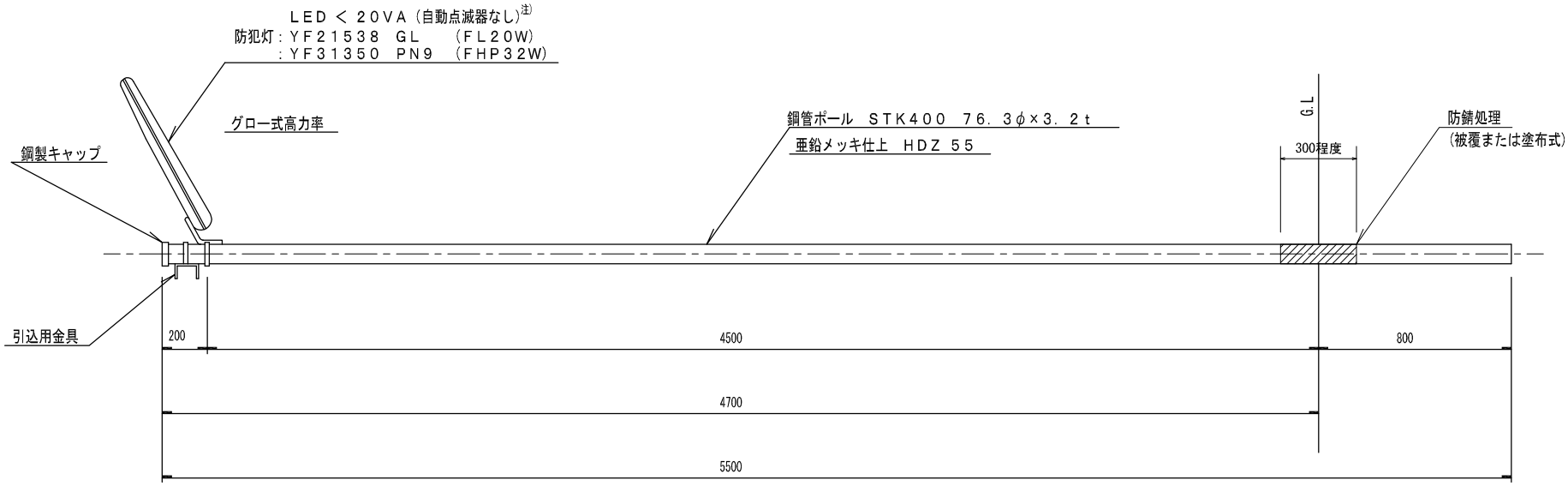


※なお、縁石のすり付け延長は６０ｃｍを標準とする。
※境界ブロックの記号－＊－は交通量の区分を示す。

単 図

一般街路灯（防犯灯）設置工

ＬＥＤ２０ＶＡ・ＦＬ２０Ｗ・ＦＨＰ３２Ｗ独立柱　ｈ＝５.５ｍ

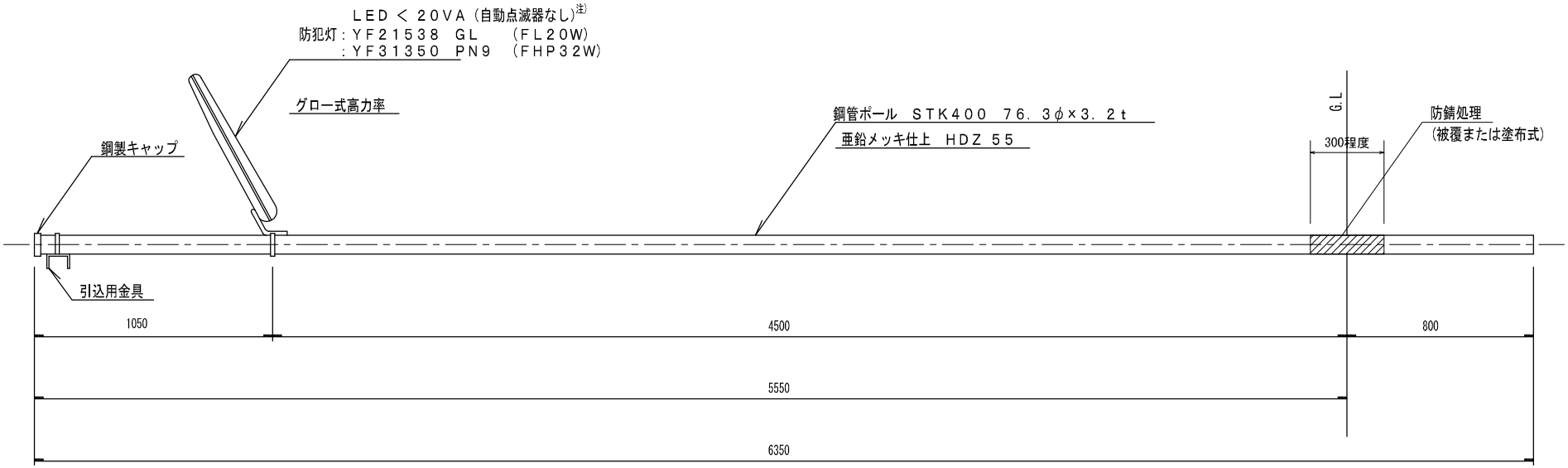


注）これまでの蛍光灯20,32W相当。

図番

一般街路灯（防犯灯）設置工

ＬＥＤ２０ＶＡ・ＦＬ２０Ｗ・ＦＨＰ３２Ｗ独立柱　ｈ＝６．３５ｍ



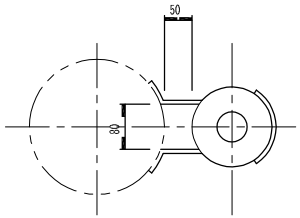
注）これまでの蛍光灯20,32W相当。

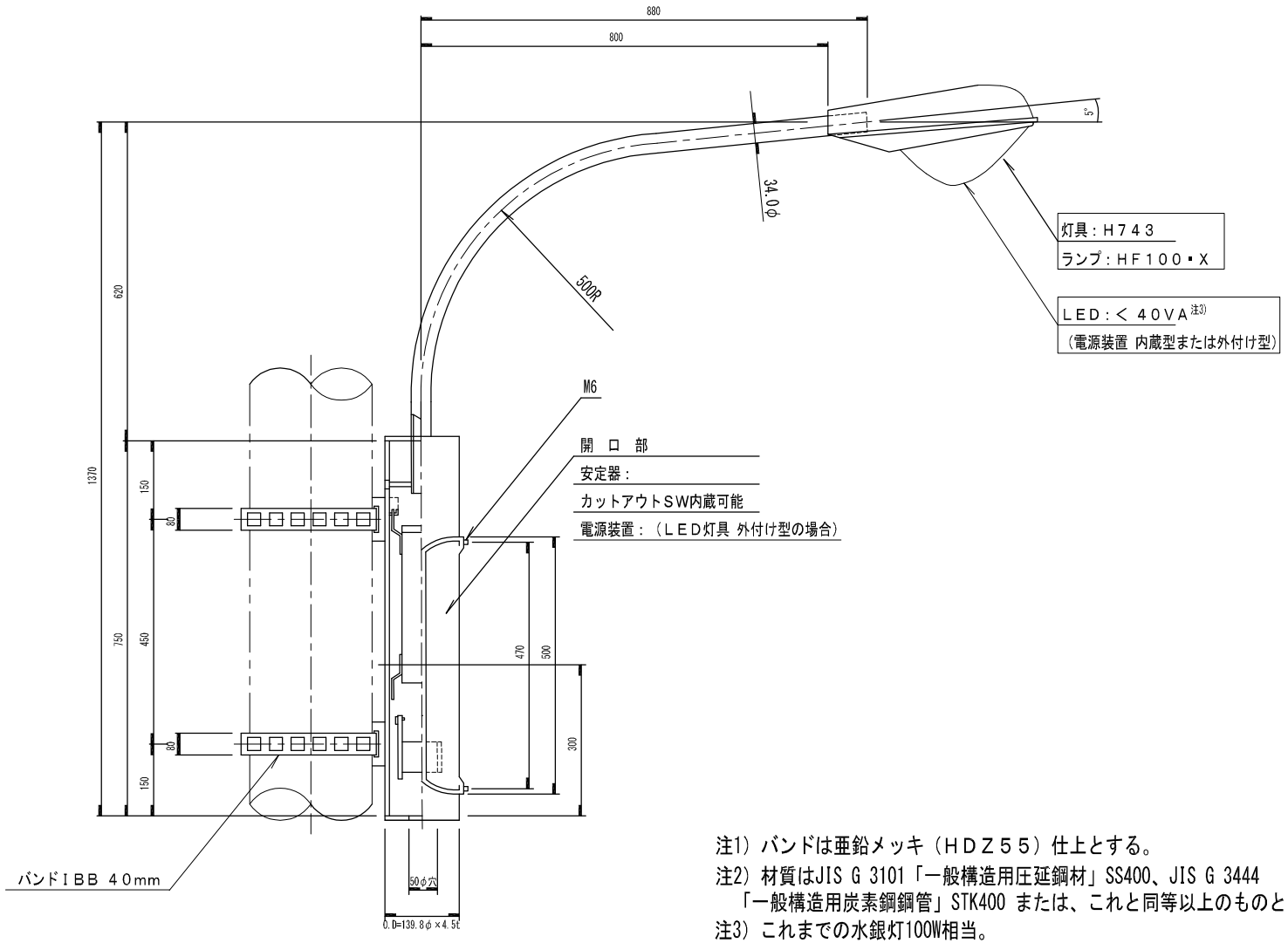
図番

[5-4-2]

道路照明灯設置工

ＬＥＤ４０ＶＡ・ＨＦ１００Ｗ　添架式





注1）バンドは亜鉛メッキ（ＨＤＺ５５）仕上とする。

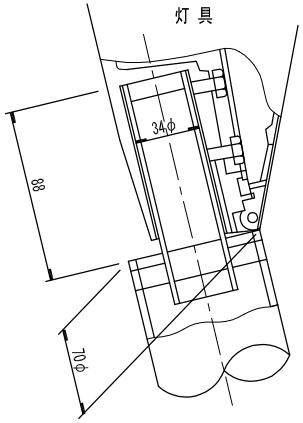
注2）材質はJIS G 3101「一般構造用圧延鋼材」SS400、JIS G 3444
「一般構造用炭素鋼鋼管」STK400 または、これと同等以上のものとする。

注3）これまでの水銀灯100W相当。

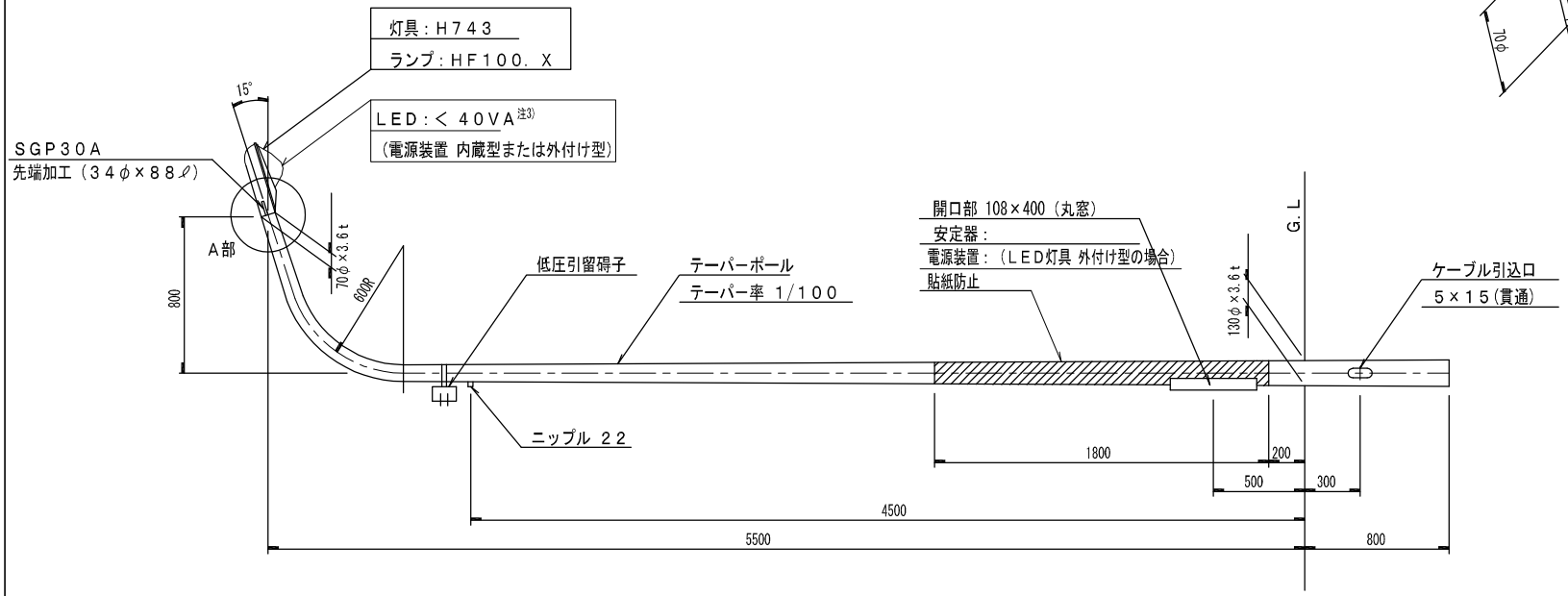
図番

道路照明灯設置工

ＬＥＤ４０ＶＡ・ＨＦ１００Ｗ　独立柱



Ａ部詳細図

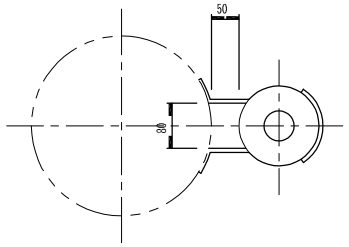


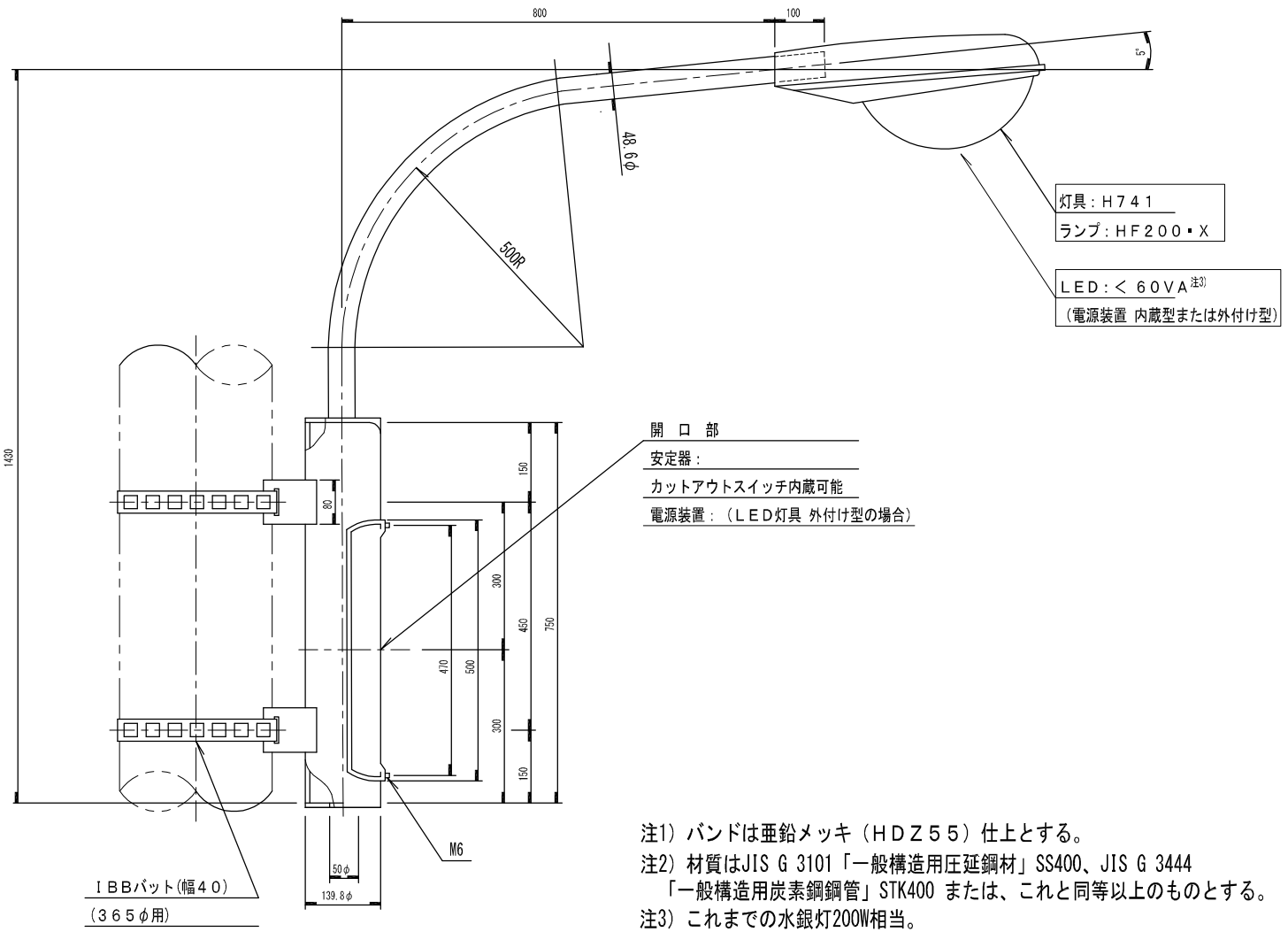
注1）ポールは亜鉛メッキ(ＨＤＺ５５)仕上とする。
注2）灯具の取替など維持管理の場合。
注3）これまでの水銀灯100W相当。

図番

道路照明灯設置工

ＬＥＤ６０ＶＡ・ＨＦ２００Ｗ　添架式





注1）バンドは亜鉛メッキ（ＨＤＺ５５）仕上とする。

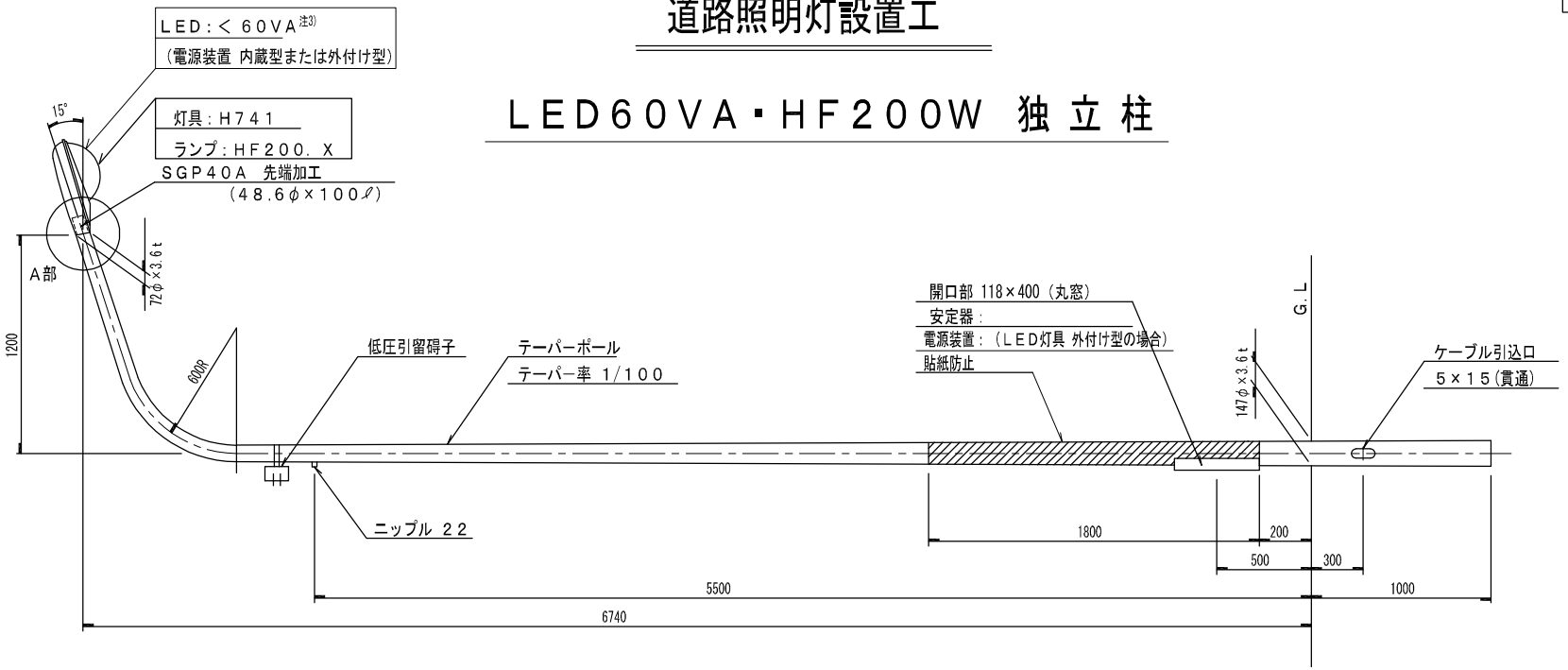
注2）材質はJIS G 3101「一般構造用圧延鋼材」SS400、JIS G 3444
「一般構造用炭素鋼鋼管」STK400 または、これと同等以上のものとする。

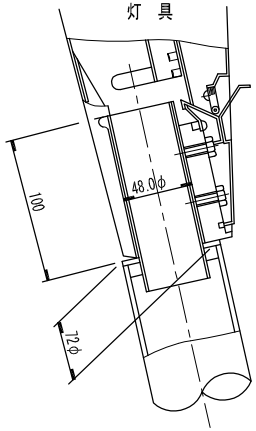
注3）これまでの水銀灯200W相当。

図番

道路照明灯設置工

ＬＥＤ６０ＶＡ・ＨＦ２００Ｗ　独立柱





A部詳細図

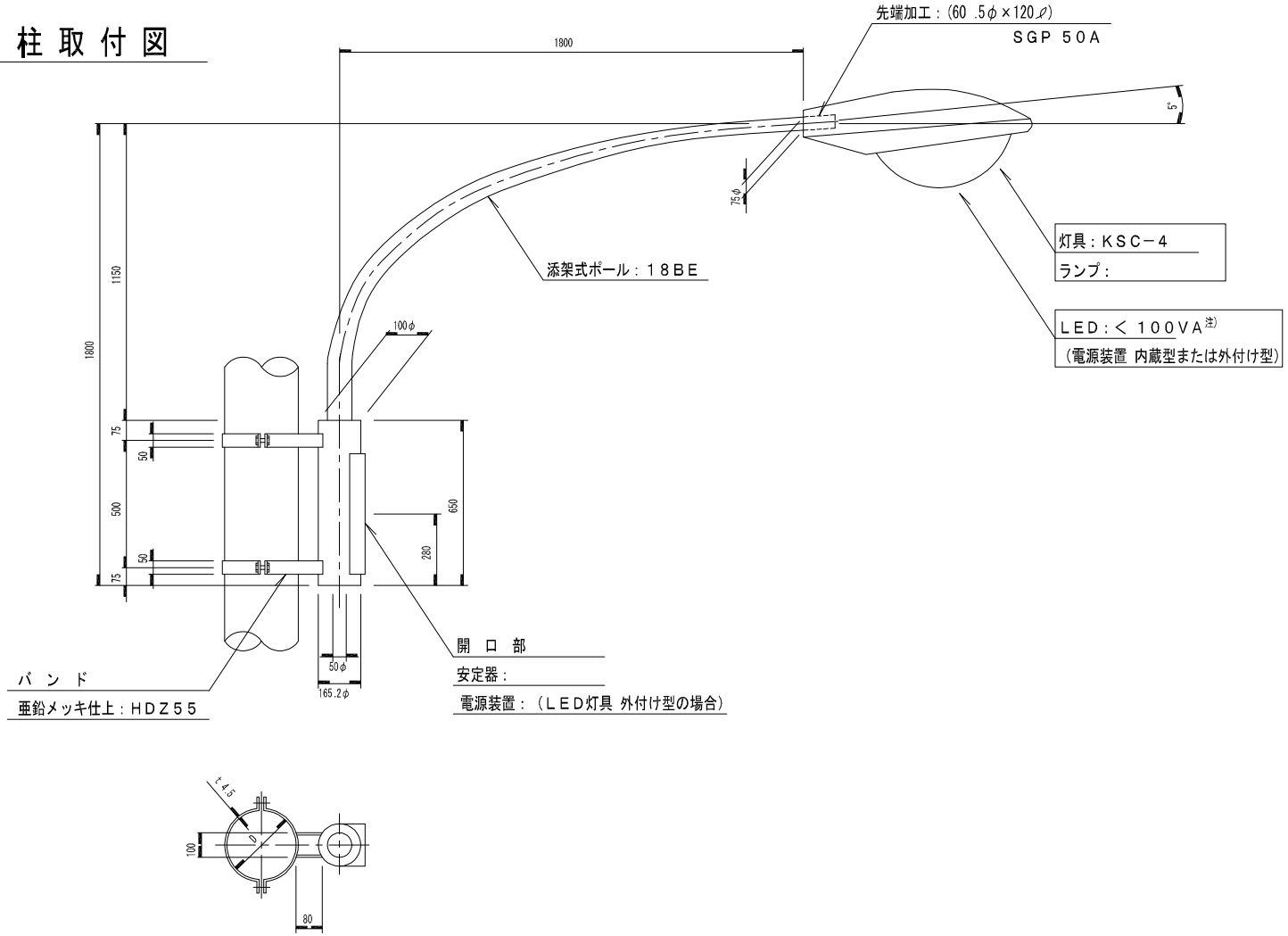
注1）ポールは亜鉛メッキ（ＨＤＺ５５）仕上とする。
注2）灯具の取替など維持管理の場合。
注3）これまでの水銀灯200W相当。

図番

道路照明灯設置工

ＬＥＤ１００ＶＡ・ＨＦ３００Ｗ、４００Ｗ　添架式（8-18BE）

コ ン 柱 取 付 図



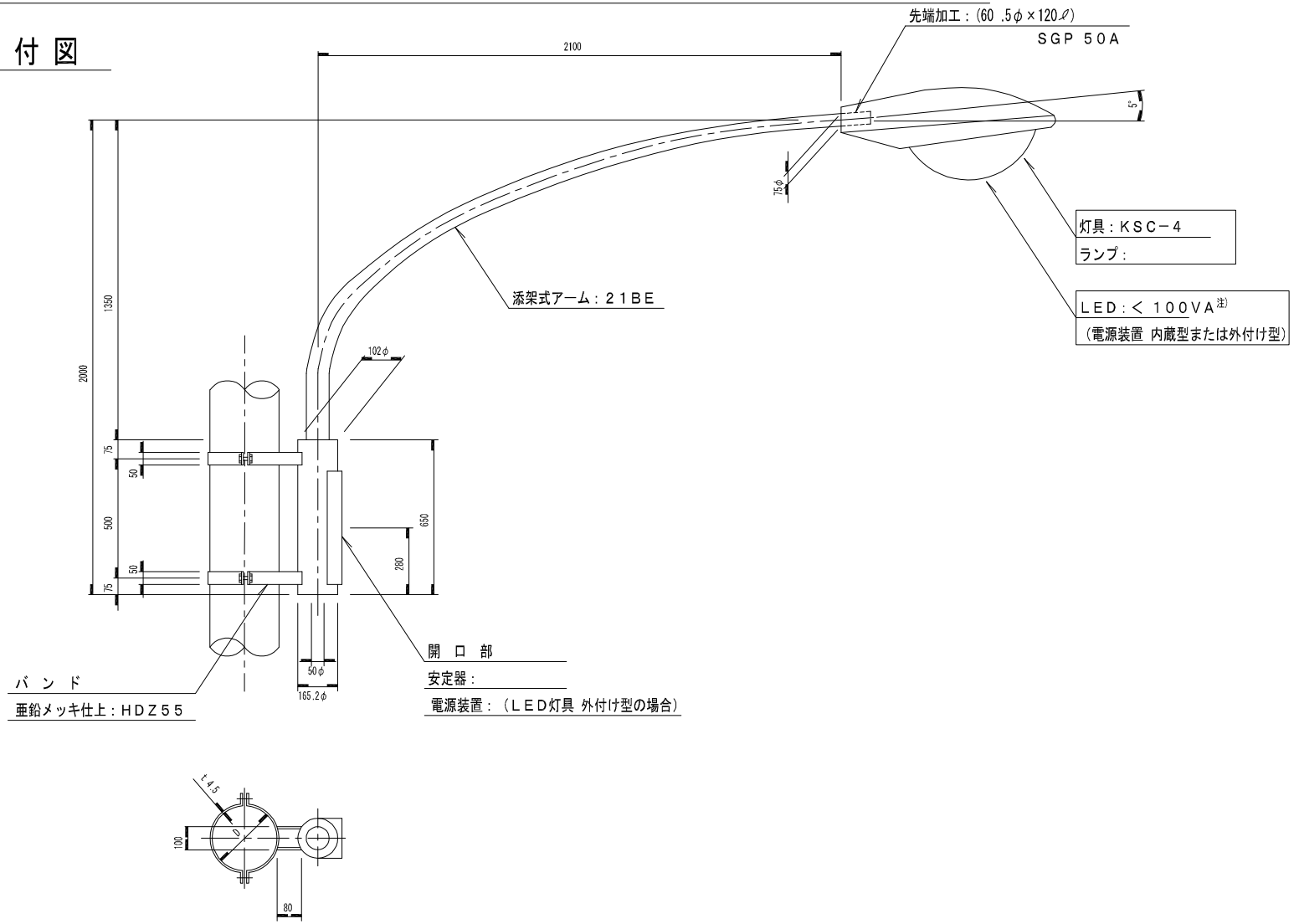
注）これまでの水銀灯300,400W相当。

図番

道路照明灯設置工

ＬＥＤ１００ＶＡ・ＨＦ３００Ｗ、４００Ｗ　添 架 式(１０－２１ＢＥ)

コ ン 柱 取 付 図



注）これまでの水銀灯300,400W相当。

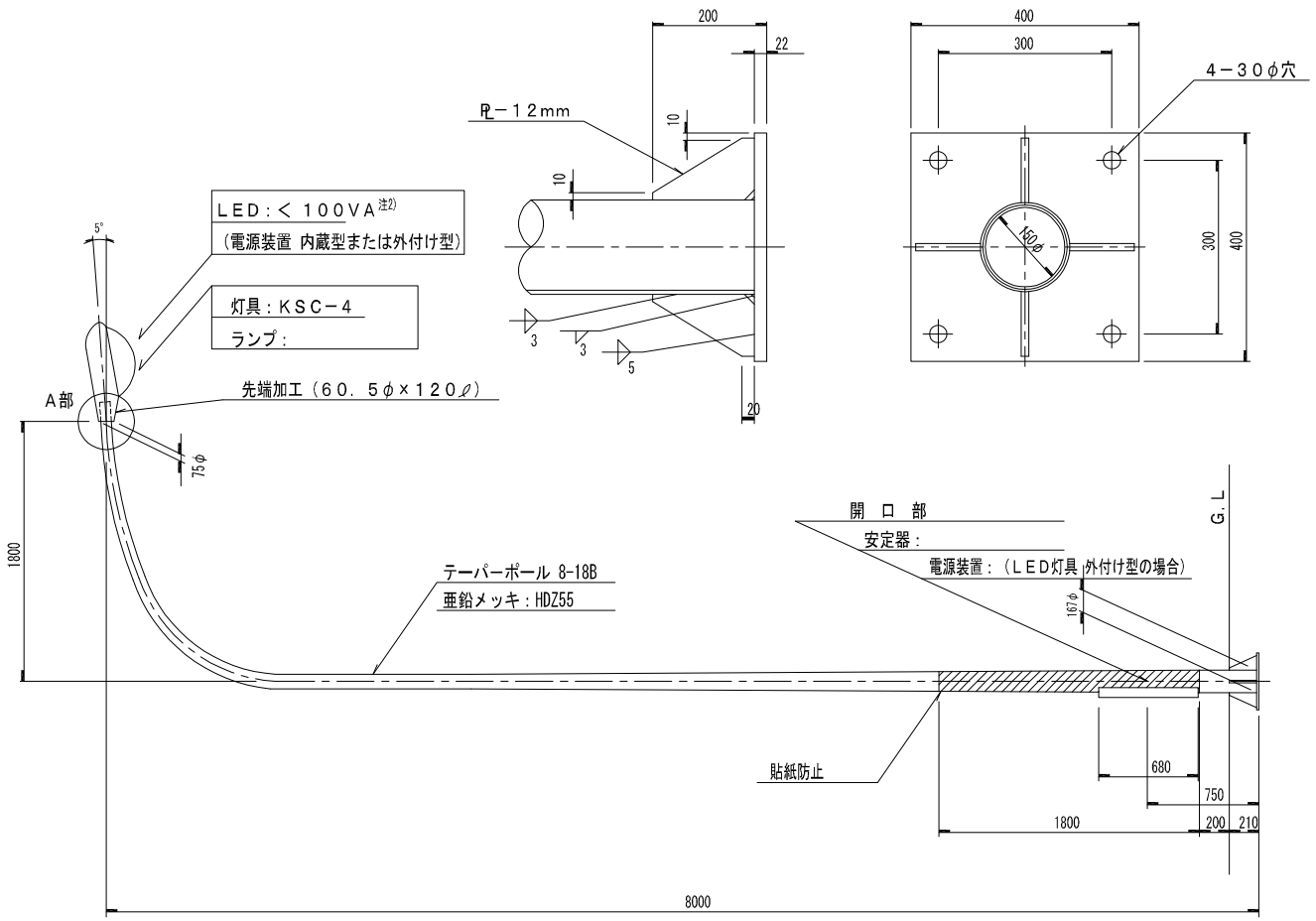
図番

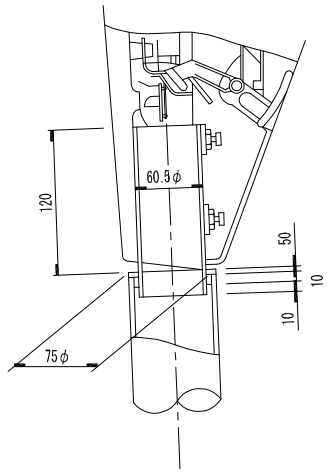
道路照明灯設置工

ＬＥＤ１００ＶＡ・ＨＦ３００Ｗ、４００Ｗ独立柱（８－１８Ｂ）

ベースプレート詳細図

注）リブは全周両面溶接とする





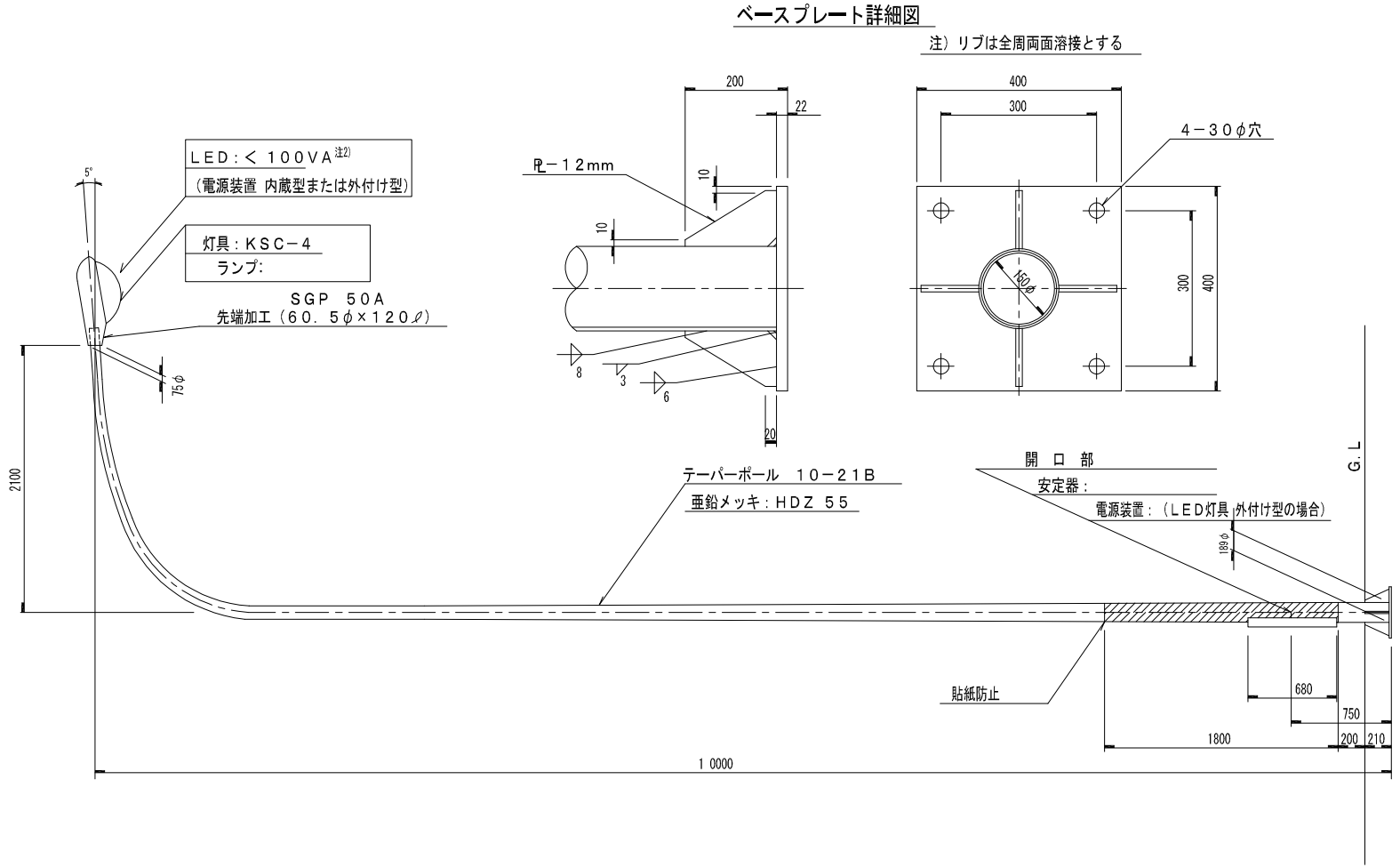
A部詳細図

注1）灯具の取替など維持管理の場合。
注2）これまでの水銀灯300,400W相当。

図番

道路照明灯設置工

ＬＥＤ１００ＶＡ・ＨＦ３００Ｗ、４００Ｗ独立柱（１０－２１Ｂ）

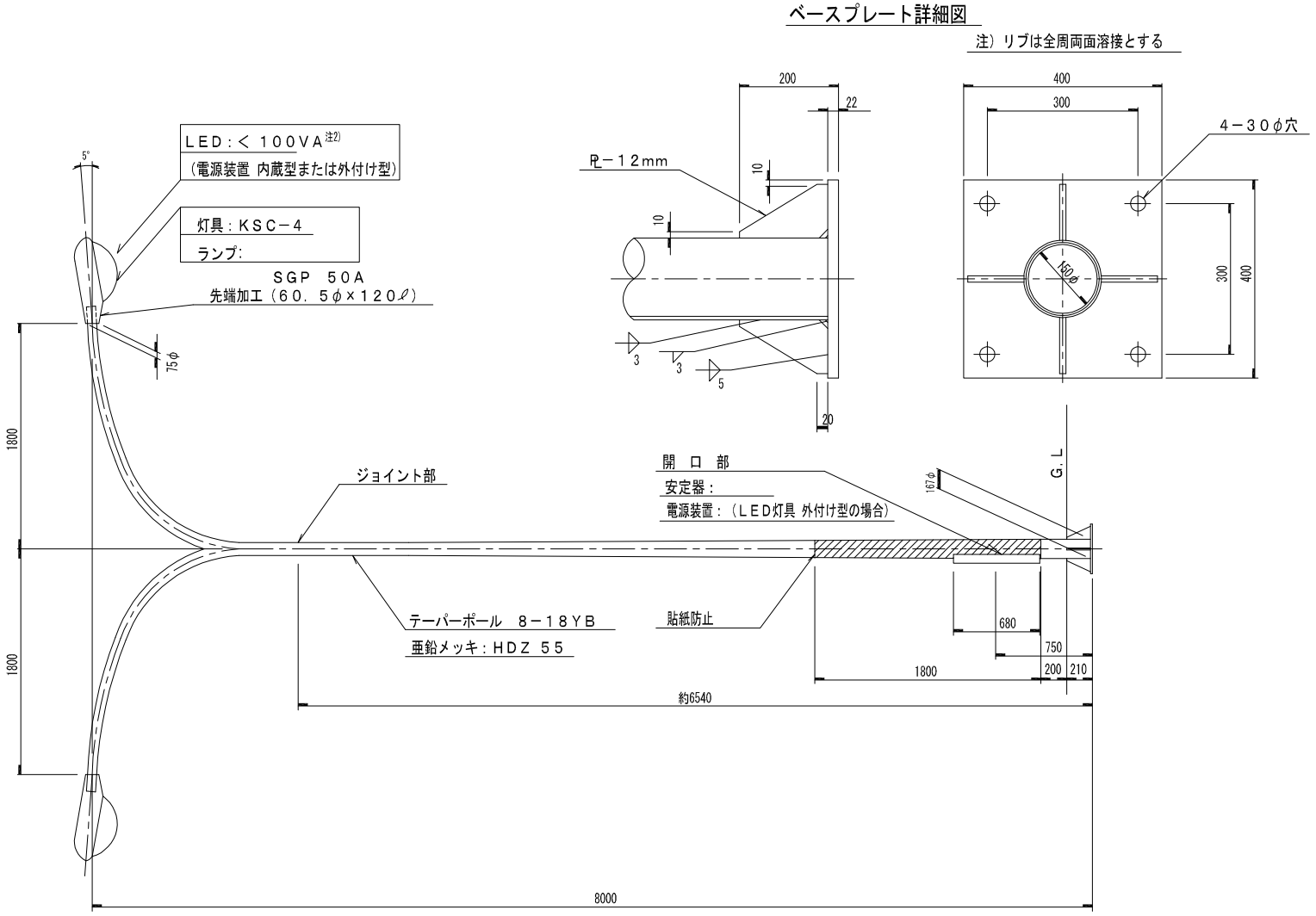


注1）灯具の取替など維持管理の場合。
注2）これまでの水銀灯300,400W相当。

図番

道路照明灯設置工

ＬＥＤ１００ＶＡ・ＨＦ３００Ｗ、４００Ｗ独立柱２灯用（８－１８ＹＢ）



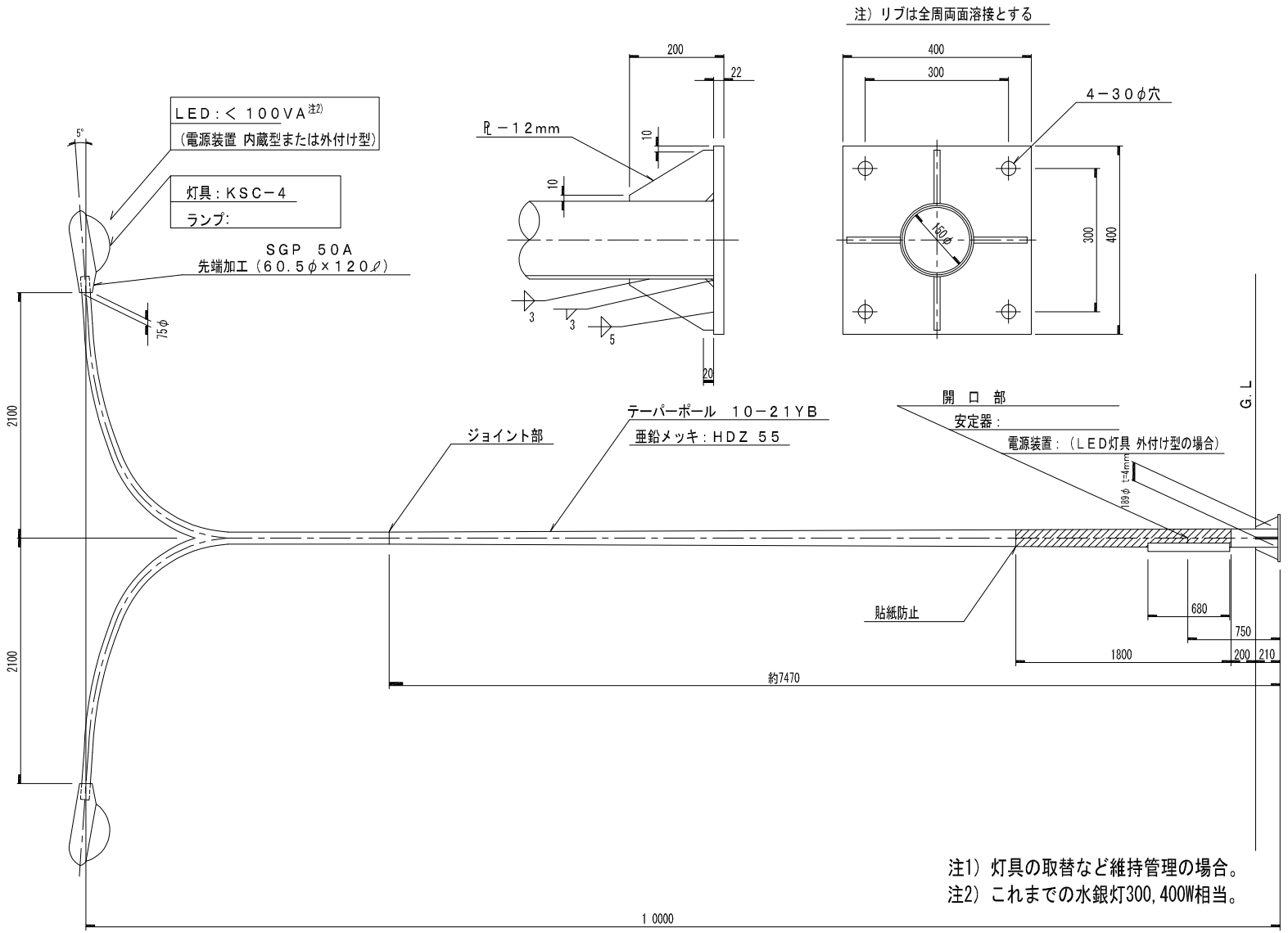
注1）灯具の取替など維持管理の場合。
注2）これまでの水銀灯300,400W相当。

図番

道路照明灯設置工

ＬＥＤ１００ＶＡ・ＨＦ３００Ｗ、４００Ｗ独立柱２灯用（１０－２１ＹＢ）

ベースプレート詳細図

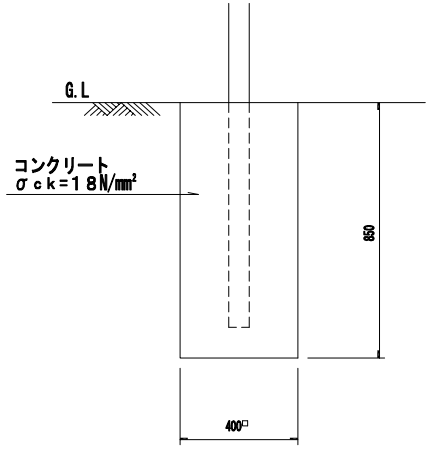


注1）灯具の取替など維持管理の場合。
注2）これまでの水銀灯300,400W相当。

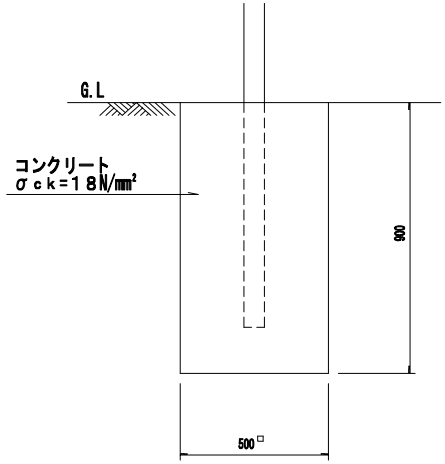
図番

照明施設基礎工　　S＝1/20

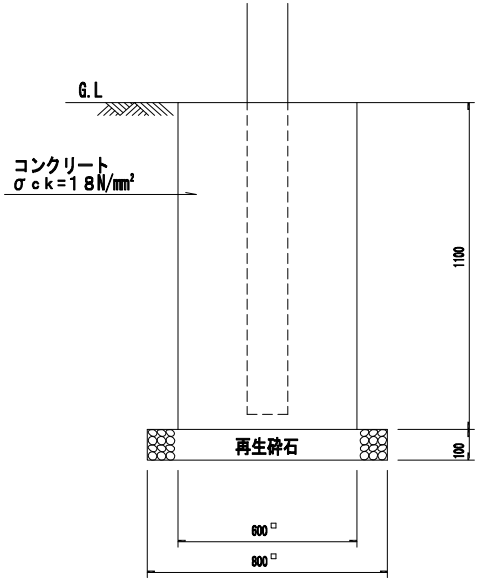
LED20VA



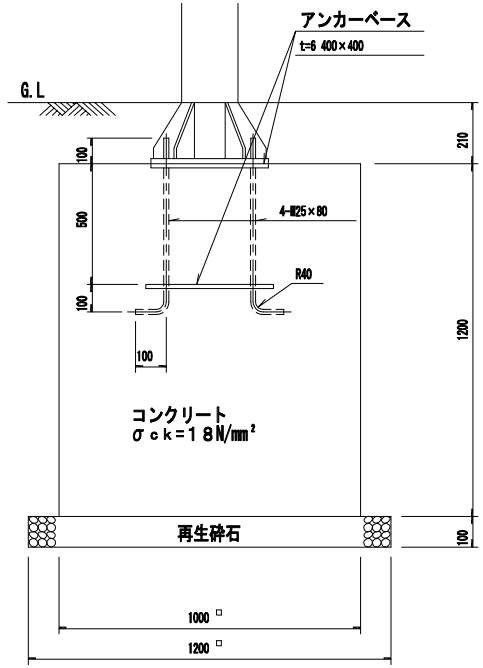
LED40VA



LED60VA



LED100VA



数　量　表

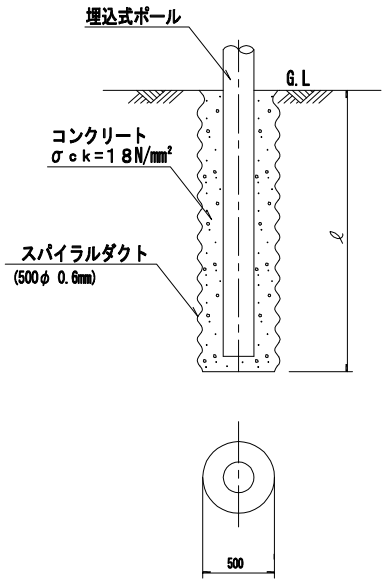
（1ヶ所当り）

○印施工	工　種	コンクリート (m³)	型　枠 (m²)	再生砕石 (m³)	アンカーボルト (組)							
	LED20VA	0.13	1.36	――	――							
	LED40VA	0.22	1.80	――	――							
	LED60VA	0.39	2.64	0.06	――							
	LED100VA	1.20	4.80	0.14	1.0							

図番

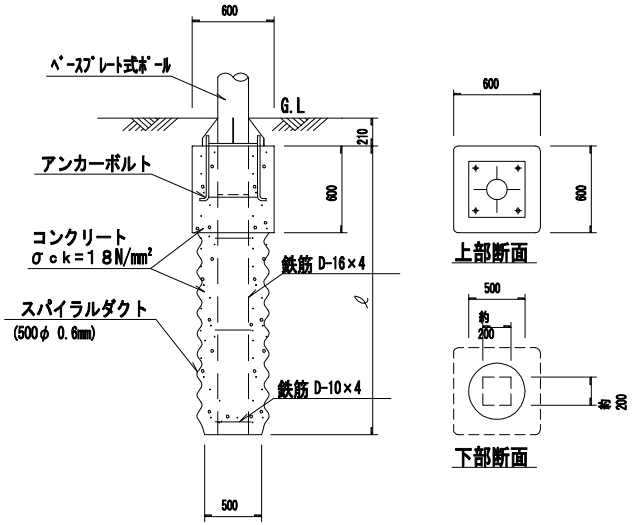
道路照明灯基礎工（1）（ＬＥＤ１００ＶＡアースオーガー掘削）

埋 込 式

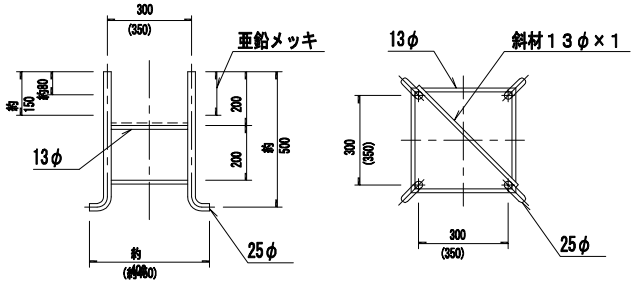


ベースプレート式

下部丸形、上部角形



アンカーボルト構造図



（ ）内は、１２ｍ型

ポール規格	ℓ (mm)
8-18B	1,600
10-21B	2,100
12-23B	2,100
8-18YB	1,800
10-21YB	2,100
12-23YB	2,400

数 量 表

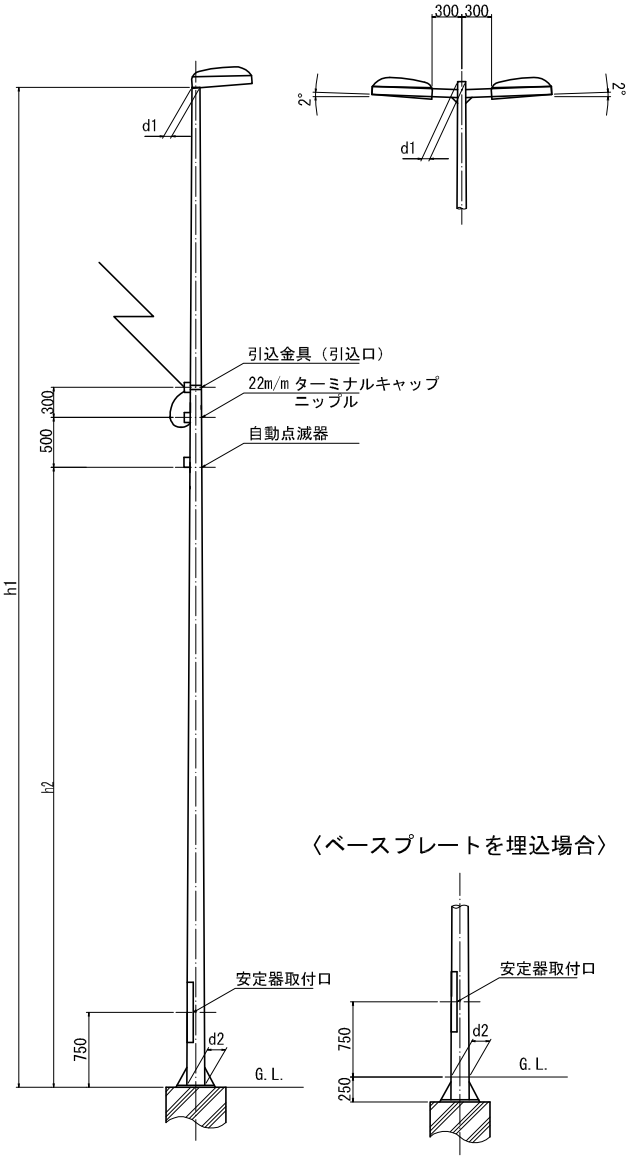
1 基 当 り

工 種		(m²) 型 枠	(m³) 生ｺﾝｸﾘｰﾄ	(組) ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ	(m) ｽﾊﾟｲﾗﾙﾀﾞｸﾄ	(kg) 鉄 筋 φ10	(kg) 鉄 筋 φ16
8-18B	埋込式	——	0.28	——	1.6	——	——
10-21B	埋込式	——	0.36	——	2.1	——	——
12-23B	埋込式	——	0.35	——	2.1	——	——
8-18YB	埋込式	——	0.32	——	1.8	——	——
10-21YB	埋込式	——	0.36	——	2.1	——	——
12-23YB	埋込式	——	0.41	——	2.4	——	——

工 種		(m²) 型 枠	(m³) 生ｺﾝｸﾘｰﾄ	(組) ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ	(m) ｽﾊﾟｲﾗﾙﾀﾞｸﾄ	(kg) 鉄 筋 φ10	(kg) 鉄 筋 φ16
8-18B	ﾍﾞｰｽﾌﾟﾚｰﾄ式	1.44	0.41	1.0	1.0	1.79	9.98
10-21B	ﾍﾞｰｽﾌﾟﾚｰﾄ式	1.44	0.51	1.0	1.5	1.79	13.1
12-23B	ﾍﾞｰｽﾌﾟﾚｰﾄ式	1.44	0.51	1.0	1.5	1.79	13.1
8-18YB	ﾍﾞｰｽﾌﾟﾚｰﾄ式	1.44	0.45	1.0	1.2	1.79	11.23
10-21YB	ﾍﾞｰｽﾌﾟﾚｰﾄ式	1.44	0.51	1.0	1.5	1.79	13.1
12-23YB	ﾍﾞｰｽﾌﾟﾚｰﾄ式	1.44	0.57	1.0	1.8	1.79	14.98

図番 ／

道路照明灯設置工



〈ベースプレートを埋込場合〉

寸法及び材料表

	ポール形式	h1	d1	d2	（h2）	参考重量(kg)
1灯用	8SB	8,000	85	165	(6,000)	133
	10SB	10,000	75	175	(6,000)	159
2灯用	8SB	8,000	85	165	(6,000)	138
	10SB	10,000	75	175	(6,000)	164

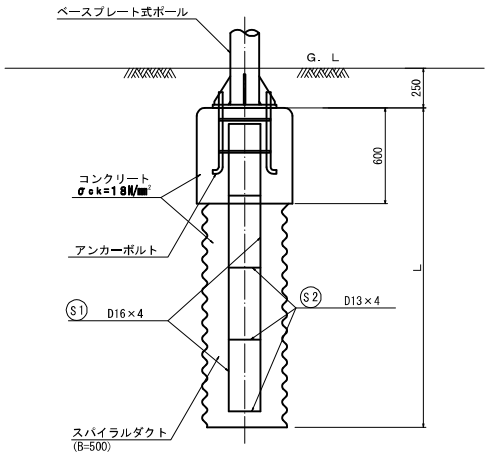
（ ）は単独型

1．ｈ２の取付高さを変更する場合は、特記仕様書により明記する。
2．新設、建替更新する場合は、当該仕様を標準とする。
3．地際部から高さ2,000㎜程度には、貼紙防止を施すこと。

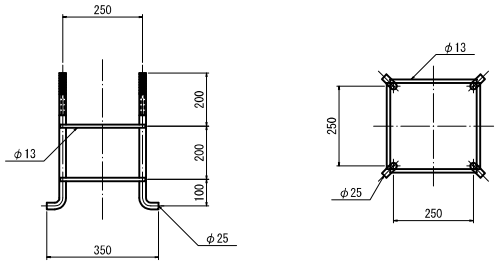
図番

道路照明灯基礎工（２）

ベースプレート式



アンカーボルト構造図



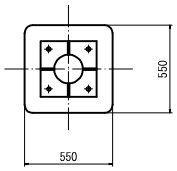
亜鉛メッキ　ＪＩＳ　Ｈ８６４１　２種（ＨＤＺ３５）

寸法及び材料表　　（１基当たり）

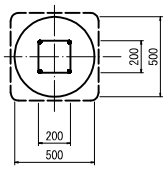
	ポール形式	寸法表 (mm)	材料表			鉄　筋　表（SD345）					
						S1			S2		
		L	コンクリート (m³)	型枠 (m²)	スパイラルダクト (mm)	径	1本当たり長さ（mm）	本数（本）	径	1本当たり長さ（mm）	本数（本）
1灯用	8SB	1,600	0.38	1.3	1,000	D16	1,400	4	D13	950	4
	10SB	2,100	0.48	1.3	1,500	D16	1,900	4	D13	950	5
2灯用	8SB	1,800	0.42	1.3	1,200	D16	1,600	4	D13	950	5
	10SB	2,100	0.48	1.3	1,500	D16	1,900	4	D13	950	5

（注）１．アンカーボルトは、ダブルナット及びワッシャー付とする。
２．Hが１８００以上の場合、S2 n＝５とする。

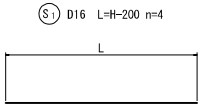
上部断面

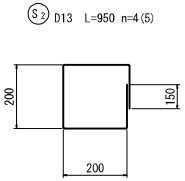


下部断面



鉄筋加工図

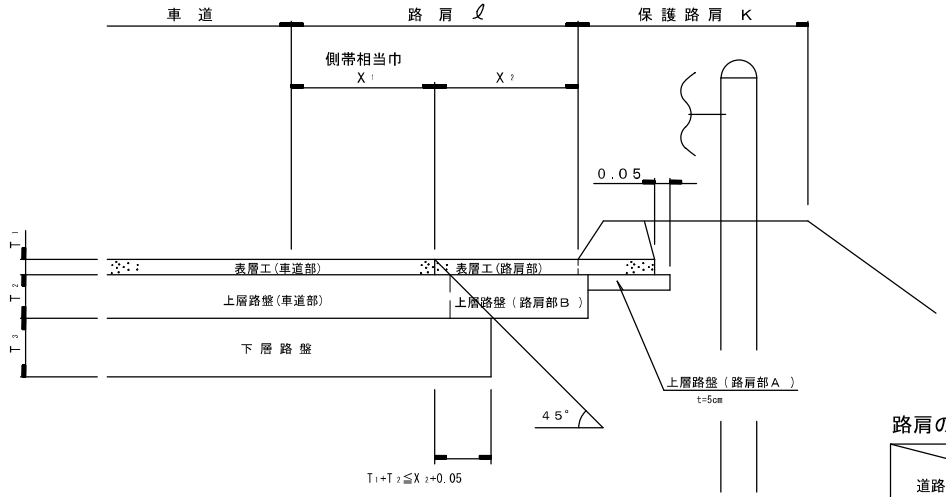




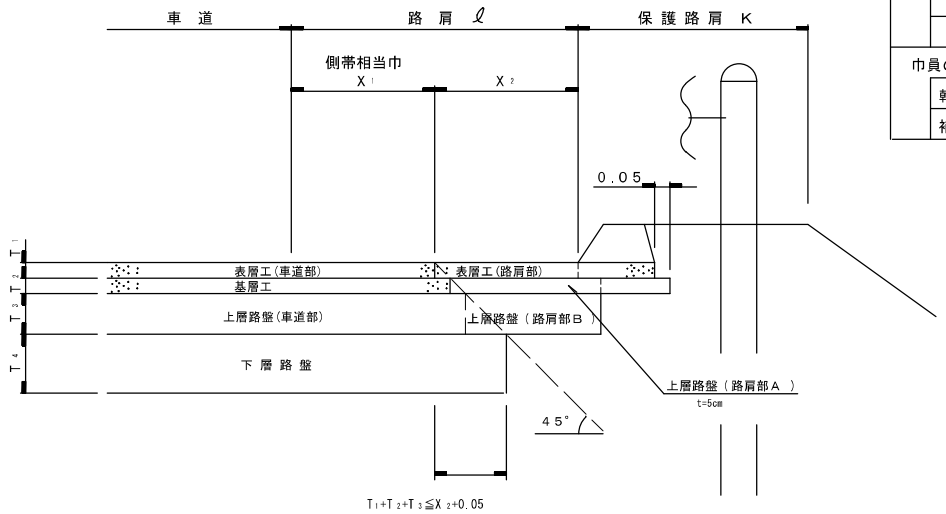
図番

路 肩 構 造 図

（一層式、防護柵、アスファルト縁石設置）



（二層式、防護柵、アスファルト縁石設置）



注）路肩が側溝等構造物に接している場合は、路肩も車道と同じ構造とする。

路肩の巾員

道路規格＼路肩の諸元	路肩巾員 ℓ	側帯相当巾	路肩舗装巾	保護路肩 K （m）		
	（m）	（車道並）X1（m）	X2 （m）	歩道なし	防護柵ｱｽｶｰﾌﾞ並設	歩 道 端
道路の区分による場合						
3種 2級	（0．50）	（0．20）	（0．30）			
3級	0．75	0．25	0．50			
4級						
巾員の標準化による場合				0．50	0．75	0．30
幹線道路Ｃ，Ｄ地域	1．25	0．50	0．75			
補助幹線道路Ｃ，Ｄ地域	1．00	0．50	0．50			

図番